

第3期近江八幡市子ども・子育て支援事業計画
ハチピープラン策定に係る調査報告書

令和6年3月
近江八幡市

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査対象	2
3.	調査期間	2
4.	調査方法	3
5.	回収状況	3
6.	調査結果の表示方法	5
II	調査結果のまとめと課題	6
1.	ニーズ調査のまとめと課題	7
2.	生活実態調査のまとめと課題	13
3.	貧困対策に関する調査のまとめと課題	19
III	調査結果	27
1.	保護者を対象とした調査	28
①	ニーズ調査	28
	お子さんと家族の状況について	28
	保護者の就労状況について	37
	育児休業制度など職場の両立支援について	46
	お子さんの幼稚園・保育所（園）子どもセンターなどの利用について	55
	不定期や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	74
	お子さんの病気等の時の対応について	80
	「こども誰でも通園制度（仮称）」について	85
	「放課後児童クラブ」等の利用について	86
	放課後の過ごし方について	93
	子どもの権利について	107
	子育て環境について	109
②	生活実態調査	125
	暮らしの状況について	125
	日々の子育てについて	129
③	貧困対策に関する調査	151
	暮らしの状況について	151
	お子さんとのかかわり方について	152
	お子さんの将来について	153

2. 児童、生徒を対象とした調査	172
①ニーズ調査	172
あなたのことについて	172
②生活実態調査	173
あなたのことについて	173
あなたのふだんの生活について	178
放課後児童クラブ（学童保育）について	179
あなたが幸せに生活するために大切なことについて	180
近江八幡市について	182
③貧困対策に関する調査	184
あなたのふだんの生活について	184
将来について	208
部活動・地域クラブ活動について	210
3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査	211
①貧困対策に関する調査	211
市内で活動する子ども・子育て支援に携わる団体	
所属団体について	211
困難な家庭の子どもの状況について	216
関係機関との連携について	221
支援活動の課題と今後の取り組みについて	224
市内の保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校	
勤務されている学校園について	229
困難な家庭の子どもへの支援について	232
IV 資料編（グラフデータ・調査票見本）	237

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

「第2期近江八幡市子ども・子育て支援事業計画ハチピープラン」が令和6年度に計画期間が終了することに伴い、「第3期近江八幡市子ども・子育て支援事業計画ハチピープラン」の策定に向け、本市の子育て家庭の状況や意向等を把握するための調査・分析を実施し、次期計画策定のための基礎資料とするために実施しました。

2. 調査対象

- ①就学前児童がいる保護者
- ②小学生児童がいる保護者
- ③小学3年生の保護者
- ④小学3年生
- ⑤小学5年生の保護者
- ⑥小学5年生
- ⑦中学2年生の保護者
- ⑧中学2年生
- ⑨市内の子育て支援団体等
- ⑩市内の保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校

3. 調査期間

- ①就学前児童がいる保護者
- ②小学生児童がいる保護者

・令和5年12月19日(火)～令和6年1月5日(金)

- ③小学3年生の保護者
- ④小学3年生
- ⑤小学5年生の保護者
- ⑥小学5年生
- ⑦中学2年生の保護者
- ⑧中学2年生

・令和6年1月10日(水)～令和6年1月23日(火)

- ⑨市内の子育て支援団体等
- ⑩市内の保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校

・令和6年2月28日(水)～令和6年3月11日(月)

4. 調査方法

- ①就学前児童がいる保護者
- ②小学生児童がいる保護者

・郵送法(郵送による配布・回収)

- ③小学3年生の保護者
- ④小学3年生
- ⑤小学5年生の保護者
- ⑥小学5年生
- ⑦中学2年生の保護者
- ⑧中学2年生

・学校を通した直接配布・郵送回収

- ⑨市内の子育て支援団体等

・メールによるWEB回答フォームQRコード及びURL送信・WEB回答フォームによる回収

- ⑩市内の保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校

・郵送による配布・郵送及びWEB回答フォームによる回収

5. 回収状況

- ①就学前児童がいる保護者

学区	八幡	島	沖島	岡山	金田	桐原	桐原東	馬淵	北里	武佐	安土	老蘇	合計
調査件数	148	12	0	83	218	146	118	25	74	44	103	29	1000
有効回収数	65	5	0	40	102	70	53	7	31	13	52	9	447
回収率(%)	43.9	41.7	0.0	48.2	46.8	47.9	44.9	28.0	41.9	29.5	50.5	31.0	44.7

- ②小学生児童がいる保護者

学区	八幡	島	沖島	岡山	金田	桐原	桐原東	馬淵	北里	武佐	安土	老蘇	無回答	合計
調査件数	139	16	0	146	191	117	83	37	64	52	127	28	—	1000
有効回収数	65	5	0	59	74	44	36	19	27	15	50	10	4	408
回収率(%)	46.8	31.3	0.0	40.4	38.7	37.6	43.4	51.4	42.2	28.8	39.4	35.7	—	40.8

- ③市内小学校に通う小学3年生の保護者

学校	八幡	島	沖島	岡山	金田	桐原	桐原東	馬淵	北里	武佐	安土	老蘇	養野洲	養護	八日市	無回答	合計
調査件数	109	20	7	113	144	95	63	22	46	45	107	35	8	1	—	—	815
有効回収数	50	9	0	55	70	34	29	12	22	16	50	19	—	—	—	2	368
回収率(%)	45.9	45.0	0.0	48.7	48.6	35.8	46.0	54.5	47.8	35.6	46.7	54.3	—	—	—	—	45.2

※調査票は学校を通して配布しているため、野洲養護学校及び八日市養護学校が調査件数に入っていますが、回答は学区のみをたずねているため有効回収数には入っていません。

④市内小学校に通う小学3年生

学校	八幡	島	沖島	岡山	金田	桐原	桐原東	馬淵	北里	武佐	安土	老蘇	養護	野洲	養護	八日市	合計
調査件数	109	20	7	113	144	95	63	22	46	45	107	35	8	1			815
有効回収数	48	12	2	52	68	32	27	12	22	15	49	19	1	1			360
回収率(%)	44.0	60.0	28.6	46.0	47.2	33.7	42.9	54.5	47.8	33.3	45.8	54.3	12.5	100.0			44.2

⑤市内小学校に通う小学5年生の保護者

学校	八幡	島	沖島	岡山	金田	桐原	桐原東	馬淵	北里	武佐	安土	老蘇	養護	野洲	養護	八日市	合計
調査件数	124	18	2	103	152	101	64	21	54	28	112	22	6	1			808
有効回収数	72	7	0	46	63	45	24	13	20	12	67	9	—	—			378
回収率(%)	58.1	38.9	0.0	44.7	41.4	44.6	37.5	61.9	37.0	42.9	59.8	40.9	—	—			46.8

※調査票は学校を通して配布しているため、野洲養護学校及び八日市養護学校が調査件数に入っていますが、回答は学区のみをたずねているため有効回収数には入っていません。

⑥市内小学校に通う小学5年生

学校	八幡	島	沖島	岡山	金田	桐原	桐原東	馬淵	北里	武佐	安土	老蘇	養護	野洲	養護	八日市	無回答	合計
調査件数	124	18	2	103	152	101	64	21	54	28	112	22	6	1			—	808
有効回収数	68	10	0	46	63	39	26	14	20	11	65	9	2	1	1		1	375
回収率(%)	54.8	55.6	0.0	44.7	41.4	38.6	40.6	66.7	37.0	39.3	58.0	40.9	33.3	100.0			—	46.4

⑦市内中学校に通う中学2年生の保護者

学区	八幡	八幡東	八幡西	安土	兄弟社	近江	養護	野洲	養護	八日市	近江市外	八幡市外	無回答	合計
調査件数	230	177	201	113	140	7	0	0	0	—			—	868
有効回収数	111	93	68	70	0	—	—	42	1				1	385
回収率(%)	48.3	52.5	33.8	61.9	0.0	—	—	—	—				—	44.4

※調査票は学校を通して配布しているため、野洲養護学校及び八日市養護学校が調査件数に入っていますが、回答は学区のみをたずねているため有効回収数には入っていません。

※同様に、近江兄弟社の有効回収数は八幡・八幡東・八幡西・安土・近江八幡市外に分散されています。

⑧市内中学校に通う中学2年生

学校	八幡	八幡東	八幡西	安土	兄弟社	近江	養護	野洲	養護	八日市	無回答	合計
調査件数	230	177	201	113	140	7	0	0	—			868
有効回収数	97	81	69	69	59	4	0	1				380
回収率(%)	42.2	45.8	34.3	61.1	42.1	57.1	0.0	—				43.8

⑨市内の子育て支援団体等

調査件数	有効回収数	回収率(%)
85	44	51.8

⑩市内の保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校

調査件数	有効回収数	回収率(%)
43	33	76.7

6. 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表がグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを中心に、注目すべき項目について、網掛けをしています。(無回答を除く)

Ⅱ 調査結果のまとめと課題

II 調査結果のまとめと課題

1. ニーズ調査のまとめと課題

●保護者を対象とした調査

【調査結果の要点】

(1)お子さんと家族の状況について

○ 問1(9)お子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。

P32

前回・前々回調査との比較

お子さんの子育てを主にしている方について、就学前児童保護者では前回・前々回調査と同様「父母ともに」が50.3%と最も多いですが、小学生児童保護者では「主に母親」が48.8%と、「父母ともに」の48.3%より、わずかに多くなりました。

○ 問2 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

P34

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいるかについて小学校区別にみると、就学前児童保護者で「いずれもない」と答えた人は桐原東が最も多く、次いで八幡でした。
小学生児童保護者では、「いずれもない」と答えた人は老蘇が最も多く、次いで岡山でした。

前回調査との比較

前回調査では、「いずれもない」と答えた人が最も多かったのは金田、ついで桐原東でした。

(2)保護者の就労状況について

○ 問3 現在の働いている状況をお答えください。

P37

保護者の就労状況についての質問では、父親はいずれも、「フルタイムで働いている」が最も多く、母親については、小中学生保護者は「パート・アルバイト等で働いている」と答えた人が多くみられました。

母親がフルタイムで働いている世帯は、就学前児童保護者では「二世帯世帯」「三世帯世帯」「母親のみ(ひとり親家庭)」が多く、小学生児童保護者では「三世帯世帯」「母親のみ(ひとり親家庭)」が多いようです。

就学前児童保護者【世帯構成×母親の就労状況】

合計	回答者数	フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中ではない)	フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中)	パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中)	パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中ではない)	以前は働いていたが、現在は働いていない	これまでに働いたことがない	無回答
二世帯世帯	386	33.9	13.5	22.0	3.6	25.9	0.3	0.8
三世帯世帯	41	26.8	26.8	19.5	2.4	24.4	0.0	0.0
父親のみ(ひとり親家庭)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
母親のみ(ひとり親家庭)	17	47.1	11.8	29.4	5.9	0.0	5.9	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

小学生児童保護者【世帯構成×母親の就労状況】

区分	回答者数	フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中ではない)	フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中)	パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中)	パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中ではない)	以前は働いていたが、現在は働いていない	これまでに働いたことがない	無回答
二世帯世帯	331	33.8	1.5	46.5	0.9	13.9	1.5	1.8
三世帯世帯	41	43.9	2.4	43.9	2.4	7.3	0.0	0.0
父親のみ(ひとり親家庭)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
母親のみ(ひとり親家庭)	30	50.0	10.0	23.3	0.0	6.7	0.0	10.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※当市調査結果

前回調査との比較

就学前児童保護者は、前回調査では、「以前働いていたが、現在は働いていない」と答えた人が最も多かったですが、今回の調査では「フルタイムで働いている」と答えた人が最も多くなっています。

類似自治体との比較

近隣の東近江市で平成31年3月に実施された『東近江市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査』では、父親はいずれも「フルタイムで就労」が多いですが、就学前児童の母親は「以前就労していたが、現在は就労していない」、小学生児童の母親は「パート・アルバイトなどで就労」と答えた人が多くなっています。

※比較グラフは資料編(グラフデータ)参照

(3) 育児休業制度など職場の両立支援について

- 問4 育児休業制度を利用しましたか。何度も取得された場合、未っ子のお子さんの場合についてお答えください。

P46

前回調査との比較

保護者の育児休業の取得についての質問では、就学前児童保護者では、父母ともに「取得した(取得中である)」と答えた人が、前回調査よりも増加しました。

- 問4-3で「育児休業を取得した後、職場復帰した」に○を付けた方におうかがいします。
問4-4 実際にはお子さんが何歳の時に職場復帰しましたか。
また、希望は何歳まで取得したかったですか。()に数字を記入してください

P51

「育児休業を取得した後、職場復帰した」と答えた人の復帰の時期について、実際と希望との差は、就学前児童保護者では「希望より早い」と答えた人が、父親33.8%、母親61.5%と最も多くなりました。

前回調査との比較

前回調査では、「希望より早い」と答えた人は、父親28.6%、母親53.4%で、いずれも今回の方が多くなっています。

(4) お子さんの病気等の時の対応について

- 問13 この1年間(本日～1年前の間)に、お子さんが病気やケガで幼稚園・保育所(園)や小学校へ行けなかったことはありますか。

P80

この1年間でお子さんが病気やケガで幼稚園・保育所(園)や小学校へ行けなかったことがあると答えた人(就学前児童保護者79.9%、小学生児童保護者81.4%)へ、その時の対応方法をたずねる質問では、いずれも「母親が休んだ」の割合が最も高く、就学前児童保護者では73.1%、小学生児童保護者では75.9%となっています。次いで、就学前児童保護者では「父親が休んだ38.1%」、小学生児童保護者では「親族・知人にみてもらった28.3%」と答えた人が多くなっています。

類似自治体との比較

前述の東近江市の調査では、就学前児童「母親が休んだ」70.7%、「父親が休んだ」26.9%で、いずれも当市の方が高い割合となっています。

※比較グラフは資料編(グラフデータ)参照

(5) 「こども誰でも通園制度(仮称)」について

- 問14 利用したい施設はどこですか。最大2つまで○をつけてください。

P85

利用したい施設は、「認定こども園」と答えた人が51.7%と最も多く、次いで「保育所」48.8%となりました。施設を選んだ理由は「家の近くにあるから」、どのような目的で利用したいかについては「同じ年頃の子とも同士で遊ばせたい」と答えた人が最も多くなりました。

(6) 「放課後児童クラブ」等の利用について

- 問17 「放課後児童クラブ」を利用したいですか。利用したい場合は、利用したい週あたりの日数とおおよその時間もお書きください。

P86

就学前児童保護者(5歳児のお子さんがおられる方のみ)で「利用したい」と答えた人は低学年での希望は22.6%、高学年での希望は13.6%で、週あたり「5日」の利用を希望している人が多くみられました。何年生まで利用したいかについては「6年生まで」と答えた人が最も多く63.8%でした。

- 問18 「放課後児童クラブ」を現在利用していますか。利用している場合は(1)(2)の両方にご回答ください。利用していない場合は、(2)へお進みください。

(1)現在の利用状況を、それぞれのお子さんの学年(2023(令和5)年4月1日現在)の欄に、利用している週あたりの日数とおおよその時間をお書きください。また、何年生まで利用したいと考えているかをお書きください。

P87

小学生児童保護者では、放課後児童クラブを利用している人は、「5日」の利用が最も多く、「小学6年生まで」の利用を希望している人が多くみられました。

- 問19 「放課後児童クラブ」を利用したいですか。利用している(したい)場合は、利用している(したい)週あたりの日数とおおよその時間、何年生まで利用したいかもお書きください。

P90

小学3年生児童保護者、小学5年生児童保護者では、放課後児童クラブを現在利用している人は、小学3年生児童保護者で29.3%、小学5年生児童保護者で18.0%でした。

(7)放課後の過ごし方について

- 問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。 ※小学生児童保護者への質問
- 問22 放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。現在の状況と、今後について、それぞれ希望する週あたりのおおよその日数をお書きください。
※小学3年生児童保護者、小学5年生児童保護者、中学2年生生徒保護者への質問

P93

P103

放課後の過ごし方についてたずねる質問では、「自宅」と答えた人の割合が高く、次いで低学年では「放課後児童クラブ」高学年では「習い事、学習塾、スポーツ少年団など」が高くなりました。

中学2年生生徒保護者では、「部活動(学校)」の回答も多くみられました。

(8)子どもの権利について

- 問23 「子どもの権利条約」(子どもの権利について、1989年に国際連合で採択され、1994年に日本でも守っていくことを約束した国際的なルール)を知っていますか。(○は1つ)

P107

前回調査との比較

「子どもの権利条約」(子どもの権利について、1989年に国際連合で採択され、1994年に日本でも守っていくことを約束した国際的なルール)について、6～7割ほどが「内容を知っている」「聞いたことがある」と答えました。前回調査では約55%であったため、今回調査の方が上回る結果となっています。

(9)子育て環境について

- 問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。

P109

市の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望をたずねる質問では、(1)最も周知されている取り組みは、就学前児童保護者では「子育て支援センター」、小学生児童保護者では「市が発行している広報・情報誌」、(2)最も利用されている取り組みは、就学前児童保護者、小学生児童保護者とも「市が発行している広報・情報誌」、(3)最も今後の利用を希望されている取り組みは、就学前児童保護者は「市が配信しているホームページやSNS等」、小学生児童保護者は「市が発行している広報・情報誌」でした。

【特徴的な項目】

(1)保護者の就労状況について

- 問3 現在の働いている状況をお答えください。

P37

前回調査との比較

保護者の就労について、前回調査時より母親の就労者が増えています。

「パート・アルバイト等で働いている」と答えた人にフルタイムで働く希望があるかをたずねる質問では、母親は、就学前児童保護者、小学生児童保護者とも、前回調査と同様「パート・アルバイト等で働き続けることを希望」と答えた人が最も多くなりました。「フルタイムで働く希望があり、実現できる見込みがある」と答えた人は、就学前児童保護者8.8%、小学生児童保護者9.8%で、前回調査の14.2%よりも5%程度低くなっています。

(2)育児休業制度など職場の両立支援について

- 問4 育児休業制度を利用しましたか。何度も取得された場合、未っ子のお子さんの場合についてお答えください。

P46

県の調査との比較

保護者の育児休業の取得について、滋賀県で実施された、『令和3年版 滋賀県の労働条件(令和3年 労働条件実態調査結果報告書)』によると、過去1年間(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の出産における、常用労働者の育児休業取得率は、男性13.2%、女性95.5%となっています。

当調査について、質問の対象をフルタイム就労者のみに絞り込んで集計したところ、育児休業を「取得した」と答えた人は、就学前児童保護者では、父親16.5%、母親89.8%、小学生児童保護者では、父親4.4%、母親65.2%と、就学前児童保護者の父親は滋賀県の調査結果よりも約3%高い値となりましたが、そのほかは、いずれも滋賀県の調査結果よりも低い値となっています。

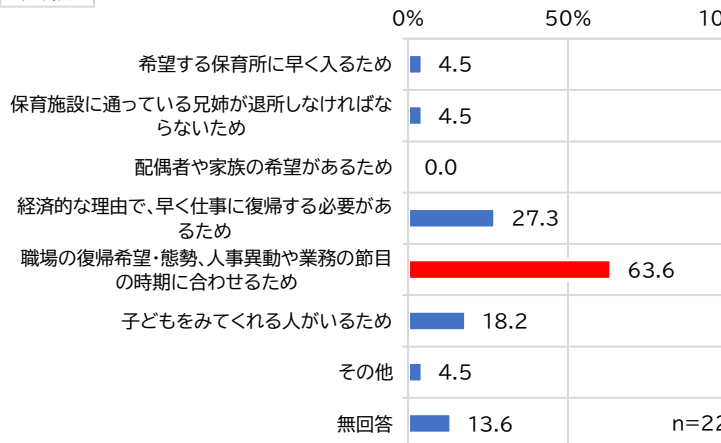
- 問4-3で「育児休業を取得した後、職場復帰した」に○を付けた方におうかがいします。
 問4-4 実際にはお子さんが何歳の時に職場復帰しましたか。
 また、希望は何歳まで取得したかったですか。()に数字を記入してください)

P51

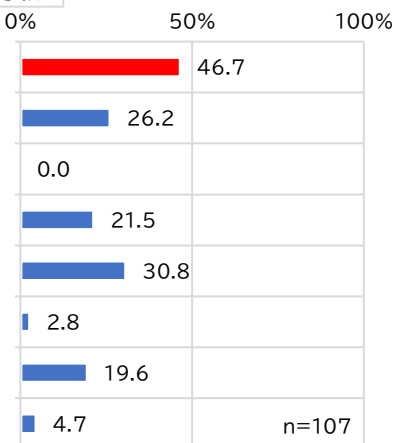
前回調査との比較

育児休業取得後の復帰時期について、希望より早く復帰したと答えた人のその理由について、就学前児童保護者では、父親は「職場の復帰希望・態勢、人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が63.6%、母親が「希望する保育所に早く入るため」が46.7%と、いずれも前回調査よりも大きく上回っています。

父親



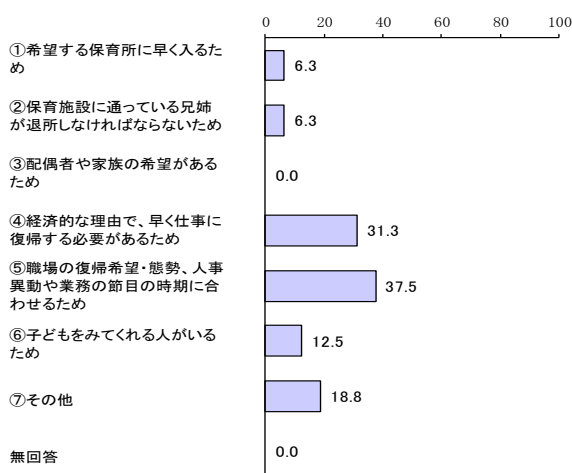
母親



※当市就学前児童 調査結果を加工

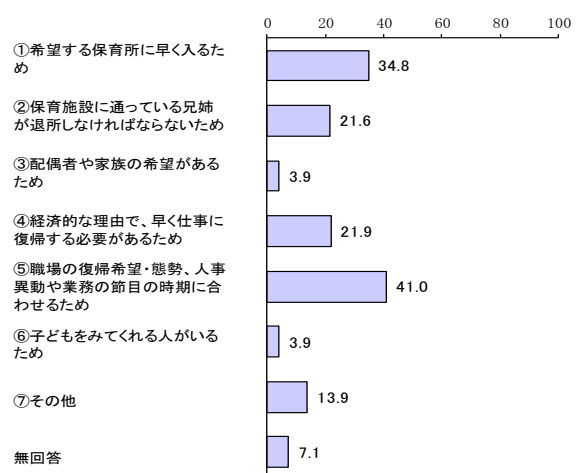
父親

回答者数 = 16



母親

回答者数 = 310



※当市就学前児童 前回調査結果

(3)お子さんの病気等の時の対応について

- 問13 この1年間(本日～1年前の間)に、お子さんが病気やケガで幼稚園・保育所(園)や小学校へ行けなかったことはありますか。

P80

前回調査との比較

お子さんが病気等の時の対応で、「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかと答えた人が、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思ったかについて、「できれば利用したい」と答えた人は、就学前児童保護者39.8%、小学生児童保護者21.9%で、就学前児童保護者については、前回調査と比べて約8%増加しました。

類似自治体との比較

前述の東近江市の調査では、「利用したい」と答えた人は22.0%であり、当市の就学前児童保護者の割合は前回調査、今回調査とも東近江市よりも高い割合でした。

※比較グラフは資料編(グラフデータ)参照

(4)子育て環境について

- 問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。

P109

市の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望をたずねる質問で、(1)最も周知されていない取り組みは、就学前児童保護者では「教育相談室(マナビィ)」、小学生児童保護者では「子ども若者相談窓口」、(2)最も利用されていない取り組みは、就学前児童保護者では「教育相談室(マナビィ)」、小学生児童保護者では「子ども若者相談窓口」、(3)最も今後利用を希望されていない取り組みは、就学前児童保護者では「子ども家庭相談室(養育相談)」、小学生児童保護者では「子育て世代包括支援センター」でした。

(1)周知状況について、貧困度別にみると、就学前児童保護者は「子ども食堂や子育てサークルなど」を除いたすべての項目で、貧困世帯の方が非貧困世帯よりも周知度が低くなっています。

(1)周知状況について、地域・近所との関わり別でみると、「よく付き合っている」と「まったく付き合っていない」との周知度の差が最も高いのは、就学前児童保護者は「幼稚園や保育所(園)での就園前児対象の広場」(よく付き合っている76.5%に対し、まったく付き合っていない34.1%)、小学生児童保護者は「市が配信しているホームページやSNS等」(よく付き合っている71.4%に対し、まったく付き合っていない47.4%)でした。

(2)利用状況について、子育て環境の評価別にみると、就学前児童保護者では、近江八幡市は子育てしやすい環境であると「まったく思わない」と答えた人は、「幼稚園や保育所(園)での就園前児対象の広場」「地域の親子広場」「子ども食堂や子育てサークルなど」の利用が他と比べて低くなっています。

小学生児童保護者では、「まったく思わない」と答えた人は、「子ども発達支援センター(発達支援)」の利用の割合が他と比べて最も低く、次いで「市が配信しているホームページやSNS等」の利用も低くなっています。

(3)今後の利用希望について、暮らしの状況別にみると、就学前児童保護者は、生活が苦しい人ほど今後の利用希望の割合は低くなっていく傾向にあります。

小学生児童保護者は、生活が苦しい人ほど「子ども食堂や子育て支援サークルなど」の利用希望の割合が高くなっています。

(3)今後の利用希望について、生活における孤立感別にみると、就学前児童保護者は、孤立感を感じる人ほど利用希望の割合が高い傾向にあります。

小学生児童保護者は、孤立感を「あまり感じない」「まったく感じない」と比べて、「強く感じる」「やや感じる」人の割合が最も高かったのは「子ども家庭相談室(養育相談)」(感じない11.2%に対し、感じる18.6%)、次いで「子ども若者相談窓口」(感じない18.2%に対し、感じる21.8%)でした。

●児童、生徒を対象とした調査

【調査結果の要点】

- 回答者の性別は、小学5年生では男49.6%、女49.3%、中学2年生では男45.5%、女52.1%でした。
- 回答者の通っている小学校(中学校)は、小学3年生では金田小学校、小学5年生では八幡小学校が多く、中学2年生では八幡中学校が多いようです。

2. 生活実態調査のまとめと課題

●保護者を対象とした調査

【調査結果の要点】

(1)暮らしの状況について

○ 問1 ご家庭の暮らしの状況(経済的な面)は、どのように感じていますか。

P125

家庭の暮らしの状況(経済的な面)についてたずねた質問では、小学生児童保護者で、苦しい(「やや苦しい」「大変苦しい」の合計)と答えた人が39.3%となりました。

小学生児童保護者は、前回調査と比較し、「普通」の割合が減り、苦しいが約10ポイント高くなっています。就学前児童保護者については、苦しいと答えた人が32.2%で、前回調査とほとんど変化はありません。

子どもの人数別にみると、就学前児童保護者、小学生児童保護者いずれも、人数が多くなるほど「苦しい」と感じる割合が高くなる傾向にあります。

子育ての楽しさ別にみると、子育てが楽しいと感じている人ほど、暮らしにゆとりがあると答えた人が多くなりました。

○ 問2 暮らしを一緒にしている方、全員の収入を合わせた「世帯全体の収入(年間のボーナス含む手取り額)」は、どのくらいですか。

P127

世帯全体の年収について、就学前児童保護者と小学生児童保護者では400～800万円未満、小学5年生児童保護者と中学2年生生徒保護者では500万円以上の回答が多くみられました。

暮らしの状況別にみると、「大変苦しい」と答えた人の半数以上は500万円未満の人で、就学前児童保護者で60.9%、小学生児童保護者で56.5%いました。

世帯全体の年収について、お子さんの保護者別にみると、母親のみのひとり親家庭では、「大変苦しい」の半数以上が回答した500万円未満は就学前児童保護者で82.4%、小学生児童保護者で73.3%でした。

ひとり親世帯に該当するか別では、「ひとり親に該当する(離婚)」では、小学5年生児童保護者79.2%、中学2年生保護者69.1%でした。

県の調査との比較

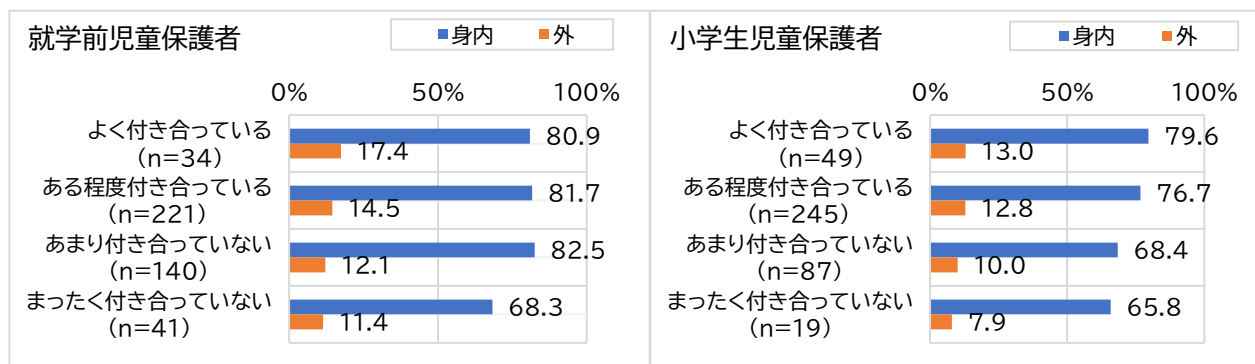
滋賀県で令和5年度に実施された『滋賀県ひとり親家庭等生活実態調査』では、母子家庭の母の年間就労収入は、近江八幡市調査と同じく「200万円～300万円未満」が最も多くなりました。

※比較グラフは資料編(グラフデータ)参照

前回・前々回調査との比較

子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談するかについてたずねた質問では、小学生児童保護者で、「配偶者」と答えた人が最も多く、前回調査で最も多かった「友人(子育て中の仲間等)や知人」を上回りました。就学前児童保護者は、前回調査と変動がなく、「配偶者」が最も多く、「父母、祖父母等の親族」が続きました。前回調査で、前々回の調査から減少した「近所の人」の割合は、さらに減少しています。

地域や近所の方とのかかわり別にみると、就学前児童保護者、小学生児童保護者いずれも「配偶者」「父母、祖父母等の親族」「友人(子育て中の仲間など)や知人」が多いですが、「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」と答えた人は、「あまり付き合っていない」「まったく付き合っていない」と答えた人に比べて、「配偶者」「父母、祖父母等の親族」の身内以外へ相談することがわずかに多くなりました。



※就学前児童保護者、小学生児童保護者「地域や近所の方とのかかわり」×「子育てに関する悩みの相談相手」のクロス集計結果について、子育てに関する悩みの相談相手の選択肢を、「配偶者」「父母、祖父母等の親族」を身内、それ

○ 問4 今後、相談をするなら、どのようなことを相談したいですか。

P133

子育てに関する悩みを今後相談するなら、どのようなことを相談したいかについて、小学生児童保護者が今回はじめて調査対象となり、「子どもの学校生活」が最も多く、37.7%を占めました。その後、「学習の定着や発達」、「子育ての不安や悩み」が続きました。

お子さんの保護者別でみると、母親のみのひとり親家庭では、就学前児童保護者は「育児の不安や悩み」、小学生児童保護者は「経済的な不安」が最も多くなりました。

(2) 日々の子育てについて

○ 問5 お子さんに対して、思わずたいたり、心を傷つけてしまうような言動をしたり、お子さんの相手や世話をしないことがありますか。

P135

前回調査との比較

子どもに対して、思わずたいたり、心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがあるかについてたずねた質問で、就学前児童保護者は、「してしまいそうになることがあるが、行動にはほとんど移していない」と答えた人が、43.8%と最も多くなり、前回調査から約9ポイント増加しました。次いで「たまにある」が30.9%となり、前回調査から、約12ポイント減少しました。

小学生児童保護者は、前回調査と順番に変動がなく、「してしまいそうになることがあるが、行動にはほとんど移していない」が最も多く、「たまにある」が続きました。

今回はじめて調査対象となった中学2年生の保護者は、「してしまいそうになることがあるが、行動にはほとんど移していない」が最も多く、「まったくない」が続きました。

子どもの人数別にみると、小学生児童保護者では、子どもの人数が多くなるほど、「よくある」「たまにある」と答えた人が多くなりました。

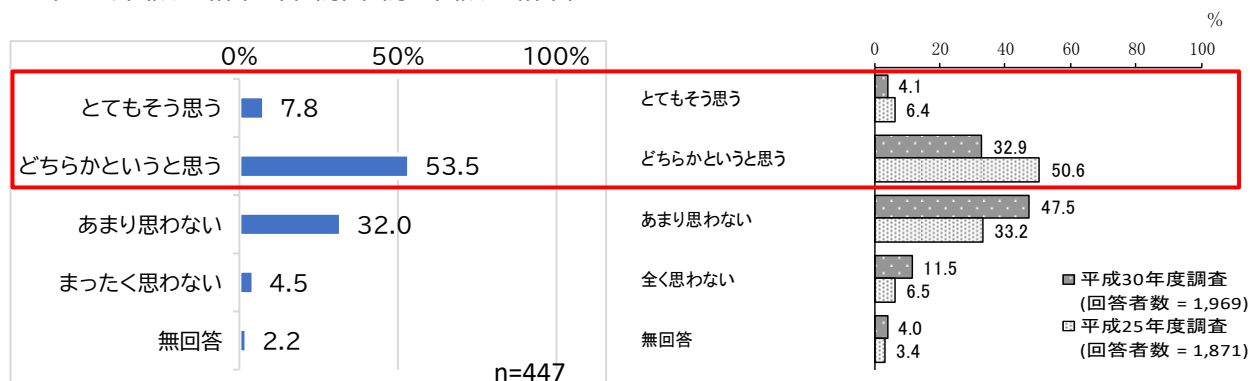
○ 問8 あなたは、近江八幡市は子育てしやすい環境であると感じていますか。

P140

近江八幡市は子育てしやすい環境であると思うかをたずねた質問で、就学前児童保護者は、「どちらかというと思う」と答えた人が最も多く、53.5%を占めました。また、「とてもそう思う」は、7.8%となりました。

前回調査との比較

前回調査から思う(「とてもそう思う」・「どちらかというと思う」の合計)と答えた人が、約24ポイント増加しました。(左:今回調査結果、右:前回・前々回調査結果)



小学生児童保護者も、思うと答えた人が、前回調査よりも約12ポイント増加しました。

○ 問9 あなたやお子さんは、地域社会全体(地域・企業・学校・行政など)で見守られている、応援されていると思いますか。

P141

地域社会全体(地域・企業・学校・行政など)で見守られている、応援されていると思うかをたずねる質問で、思う(「とてもそう思う」「どちらかというと思う」の合計)と答えた人が、就学前児童保護者、小学生児童保護者ともに、前回調査から、5ポイント程度増加しました。

○ 問10 あなたは、地域や近所の方と関わっていますか。

P143

前回調査との比較

地域や近所の方と付き合っているかをたずねた質問で、就学前児童保護者は、付き合っている(「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」の合計)と答えた人が、57.0%となり、前回調査と比べ、約10ポイント減少しました。

学年間の傾向

一方で、今回はじめて調査が行われた小学生児童保護者では、付き合っていると答えた人が、72.0%を占め、就学前児童保護者を大きく上回りました。

○ 問12 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。

P147

子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのような取り組みの充実が必要かをたずねた質問で、就学前児童保護者・小学生児童保護者ともに、「子育てへの経済的支援の充実」と答えた人が最も多くなりました。

前回調査との比較

ただし、就学前児童保護者は、前回調査と比較し、同回答が約16ポイント減少しました。(小学生児童保護者は前回調査を実施していない。)今回の調査では、「子育てしながら働きやすい職場環境への啓発」がどちらも2番目に多く、就学前児童保護者では、約9ポイント上昇しました。また、前回調査で5番以内に入らなかった「小児医療体制の充実」が、就学前児童保護者で3番目に多く、小学生児童保護者でも5番目に多い結果となりました。

【特徴的な項目】

- 問3 子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。 P129

子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談するかについてたずねた質問では、「近所の人」の割合が、過去2度の調査よりも、減少しています。また、地域や近所の方と付き合っているかをたずねた質問で、就学前児童保護者では、関わっていると答えた人が前回調査と比べ、約10ポイント減少しています。こうした結果から、地域や近所との関係の希薄化がうかがえます。

- 問5 お子さんに対して、思わずたいたり、心を傷つけてしまうような言動をしたり、お子さんの相手や世話をしないことがありますか。 P135

子どもに対して、思わずたいたり、心を傷つけてしまうような言動をしたり、お子さんの相手や世話をしないことがあるかをたずねた質問では、日々の生活において孤立感を感じる人ほど「よくある」「たまにある」と答えた人が多い傾向にありました。

- 問8 あなたは、近江八幡市は子育てしやすい環境であると感じていますか。 P140

近江八幡市は子育てしやすい環境であると感じているかについて「とてもそう思う」「どちらかと思う」と答えた人は、就学前児童保護者では「貧困世帯」の方が多く、小学生児童保護者では「非貧困世帯」の方が多くみられました。

- 問12 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。 P147

子育てをしやすいまちづくりのための取り組みについて、「子育てへの経済的支援の充実」の必要性は最も高いままではありますが、割合としては減少しました。一方で、「子育てしながら働きやすい職場環境への啓発」と、「小児医療体制の充実」について5年前よりも、取り組みの充実が必要と考えている人が多くなっています。

●児童・生徒を対象とした調査

【調査結果の要点】

(1)あなたのことについて

- 問1 あなたは、毎日が楽しいですか。 P173

毎日が楽しいかどうかをたずねる質問と、自分のことが好きかどうかをたずねる質問では、楽しい(「楽しい」「どちらかといえば楽しい」の合計)と答えた人は、前回調査で90%以上、好き(「好き」「どちらかといえば好き」の合計)と答えた人は、前回調査で80%以上と、いずれも高い水準でしたが、今回は、小学3年生の児童・小学5年生の児童ともに、さらに増加しました。

- 問3 「将来の夢」や「やってみたい仕事」はありますか。 P175

学年間の傾向

将来の夢や、やってみたい仕事があるかをたずねる質問では、「ある」と答えた人が、小学3年生の児童・小学5年生の児童では最も多くなりました。前回調査を行っていない中学2年生の生徒は、小学生と傾向が大幅に異なり、「なんとなくある」が最も多くなり、「ない」も約21%と、小学生の約2倍となっています。

前回調査との比較

小学3年生・小学5年生の児童で前回調査と比較すると、小学3年生の児童・小学5年生の児童ともに、「ある」と答えた人の割合が減りました。特に小学5年生の児童では、「ある」が約14ポイント減少しました。小学3年生の児童・小学5年生の児童ともに「なんとなくある」、「ない」の割合が増加しています。

- 問4 困ったことや悩みがあるとき、相談できる人や話ができる人がいますか。 P176

困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話を聞いてもらう人がいるかをたずねる質問では、小学5年生の児童の「いる」の割合が、前回調査の約7ポイント増加し、98.1%となりました。小学3年生の児童は、「いる」が86.4%、「いない」が3.6%とどちらも前回調査から減少しています。中学2年生の生徒は、「いない」の割合が、内閣府が令和2年度に実施した「子どもの生活状況調査」(対象は中学2年生生徒とその保護者)と比べ、約半数の4.2%にとどまりました。

(2)あなたのふだんの生活について

○ 問5 学校の授業で、わからないところはありますか。

P178

学校の授業で分からないところがあるかたずねる質問で、小学5年生では、わかる(「いつもわかる」・「だいたいわかる」の合計)と答えた人が、60.6%を占めました。

学年間の傾向

一方で、中学2年生ではわかると答えた人が、45%で、小学5年生から中学2年生にかけて、わかると答えた割合が、約15ポイント減少しました。

(3)放課後児童クラブ(学童保育)について

○ 問6 「放課後児童クラブ(学童保育)」を利用していますか。

問6で「行っている(利用している)」を選んだ方にお聞きます。

問問6-1 「放課後児童クラブ(学童保育)」は楽しいですか。

P179

前回調査との比較

放課後児童クラブの利用についての質問は、前回調査と大きな変動はありません。一方で、利用者のうち放課後児童クラブが楽しいかどうかをたずねる質問では、小学5年生の児童で楽しい(「楽しい」「どちらかといえば楽しい」の合計)と答えた人が98.5%と、前回調査から約12ポイント増加しました。

(4)あなたが幸せに生活するために大切なことについて

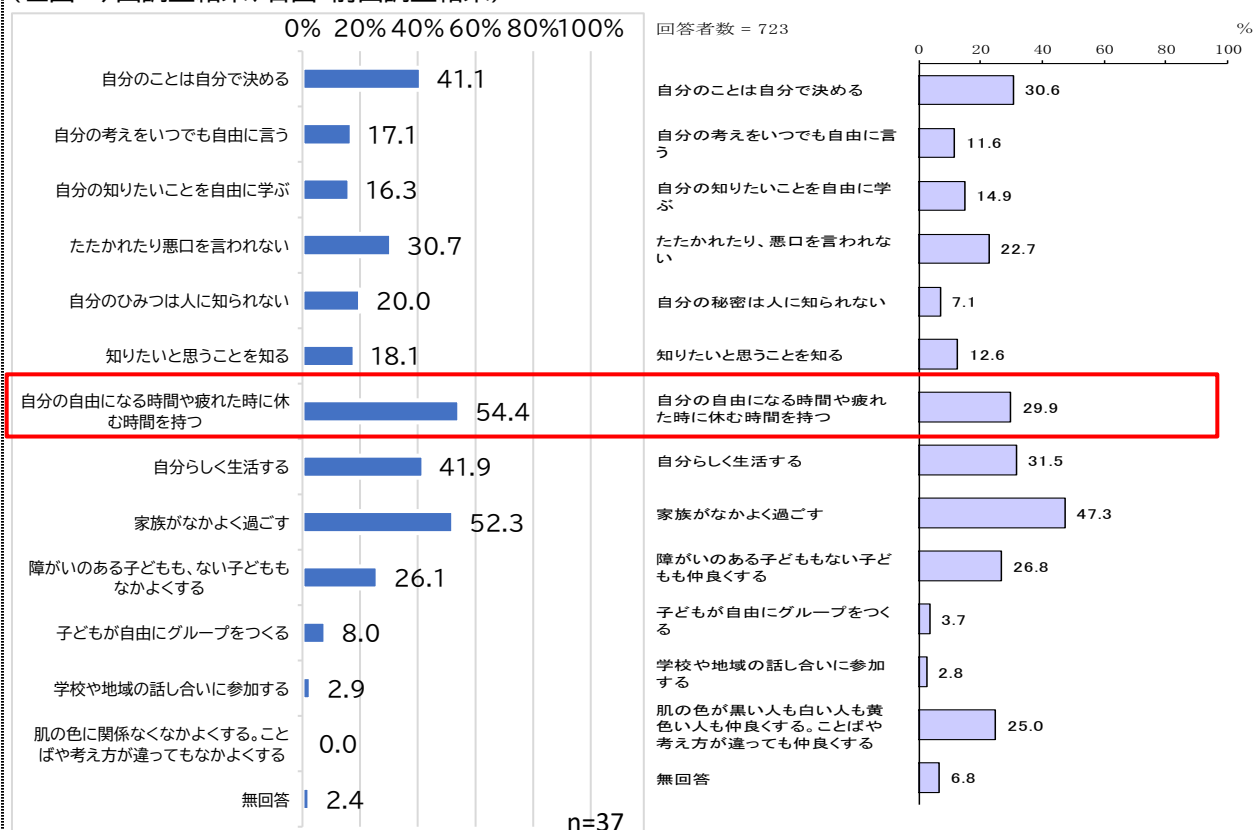
○ 問7 あなたが幸せに生活するために、特に大切だと思うものはどれですか。

P180

前回調査との比較

あなたが幸せに生活するために、特に大切だと思うものをたずねる質問では、前回調査では、「家族がなかよく過ごす」が小学3年生の児童・小学5年生の児童ともに最も多かったですが、今回は、小学5年生の児童では、「自分の自由になる時間や疲れた時に休む時間を持つ」が、前回調査よりも、約24ポイント増加し、最も多い回答となりました。なお、「家族がなかよく過ごす」は約2ポイント差で続きました。中学2年生の生徒も、選択肢の文言は若干異なりますが、「疲れた心や体を休ませる時間や自分の自由になる時間を持つこと」が最も多い回答となりました。

(左図:今回調査結果、右図:前回調査結果)



※前回調査では、「子どもが幸せに生活するために大切なこと」という項目だったことに注意。

(5)近江八幡市について

○ 問8 あなたは、近江八幡市が好きですか。

P182

近江八幡市が好きかどうかをたずねる質問では、小学3年生の児童・小学5年生の児童ともに、「好き」が「どちらかといえば好き」を大幅に上回り、その合計も、約90%と前回調査と大きな変化はありませんでした。

学年間の傾向

一方で、中学2年生の生徒は、小学生と傾向が大幅に異なり、「好き」が37.6%で、「どちらかといえば好き」が51.8%となりました。

○ 問9 あなたは、おとなになっても近江八幡市に住みたいと思いますか。

P183

おとなになっても近江八幡市に住みたいかどうかをたずねる質問では、小学3年生の児童・小学5年生の児童ともに、住みたいと思う（「住みたいと思う」「どちらかといえば住みたいと思う」の合計）が約75%と前回調査と大きな変化はありませんでした。

学年間の傾向

一方で、中学2年生の生徒は、小学生と傾向が大きく異なり、「住みたいと思う」が17.1%、「どちらかといえば住みたいと思う」が40.8%で、合計でも57.9%にとどまりました。

【特徴的な項目】

○ 問3 「将来の夢」や「やってみたい仕事」はありますか。

P175

将来の夢や、やってみたい仕事があるかをたずねる質問で、小学3年生の児童・小学5年生の児童ともに、「ある」が50%を超えているものの、「ある」の回答が前回調査と比較し、小学5年生の児童では、約14ポイント減少しました。「なんとなくある」、「ない」の割合が増加し、小学3年生の児童・小学5年生の児童ともに、「ない」が10%を超えました。

中学2年生の生徒は、「ある」が27.9%、「なんとなくある」が50.5%、「ない」が21.3%と、異なる傾向を示し、「ない」が、小学生の約2倍となっています。

○ 問5 学校の授業で、わからないところはありますか。

P178

学校の授業でわからないことがあるかについて、ひとり親に該当するか別にみると、「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人は、小学5年生の児童、中学2年生の生徒いずれも、ひとり親に「該当する（離婚）」の世帯が多くなりました。特に「ほとんどわからない」と答えた人は、中学2年生では3.8%でしたが、小学5年生では12.5%となっています。

○ 問8 あなたは、近江八幡市が好きですか。

P182

○ 問9 あなたは、おとなになっても近江八幡市に住みたいと思いますか。

P183

近江八幡市が好きかどうかや、おとなになっても近江八幡市に住みたいかどうかについてたずねる質問では、中学2年生の生徒は、小学3年生の児童・小学5年生の児童と傾向が大きく異なり、「好き」や、「住みたいと思う」といった、強い肯定の回答がどちらも小学生の回答の半数程度に減少します。

特におとなになっても近江八幡市に住みたいかについて、「住みたいと思う」「どちらかといえば住みたいと思う」の合計が57.9%で、これは、当市が令和5年度に実施した、18歳以上を対象とした市民アンケートの「ずっと住み続けたい」25.9%、「どちらかといえば住み続けたい」44.3%、合計70.2%という結果よりも低くなっています。

3. 貧困対策に関する調査のまとめと課題

●保護者を対象とした調査

【調査結果の要点】

(1)暮らしの状況について

- 問1(1)あなたの世帯は「ひとり親世帯」に該当しますか。

P151

「ひとり親世帯」に該当するかについてたずねた質問では、小学5年生児童保護者で8.5%が該当し、中学2年生生徒保護者では9.1%が該当しました。

(2)お子さんとのかかわり方について

- 問2 あなたとお子さんのかかわり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

P152

学年間の傾向

子どもとのかかわり方について、すべての項目で、小学5年生児童保護者は、中学2年生生徒保護者「子どもの生活状況調査」と比較して、あてはまる(「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計)が高い割合となっています。

国の調査との比較

「子どもの生活状況調査」と比較すると、あてはまるが少なくなっています。特に「あてはまる」単独では、すべての項目で、下回っています。

(3)お子さんの将来について

- 問3 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。

P153

子どもの将来の進学について、「大学またはそれ以上」が、中学2年生生徒保護者では55.3%となっており、「子どもの生活状況調査」と比較し、約5ポイント上回っています。

ひとり親に該当するか別でみると、ひとり親に該当しないほど、「大学またはそれ以上」の回答割合が高くなっています。また、世帯収入別でみると、世帯収入が高いほど、「大学またはそれ以上」の回答割合が高くなる傾向となっています。

上記の結果は、「子どもの生活状況調査」と同様の傾向を示しています。

- 問3で1～4と答えた方におうかがいします。

問3-1 その理由は何ですか。

P155

将来の進学の選択理由について、世帯収入別にみると、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が低い傾向があります。特に世帯収入が「600～700万円未満」より高いと、同回答は10%以下となります。

- 問4 あなたの世帯では、過去1年間に、以下のようなことがありましたか。

P157

過去1年間で起こった欠乏についてたずねた質問では、小学5年生児童保護者・中学2年生生徒保護者でいずれも「どれもあてはまらない」が35%台で最も多くなりましたが、小学5年生児童保護者で3割以上が、中学2年生生徒保護者で2割以上が、「趣味やレジャーの出費を減らした」、「食費を切りつめた」、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」と回答しました。

ひとり親に該当するか別でみると、ひとり親に該当する保護者ほど、過去1年間に起こった欠乏を選択する割合が高くなっています。

国の調査との比較

電気料金・ガス料金・水道料金の未払いについて、当市では、小学5年生児童保護者・中学2年生生徒保護者いずれも0.5%でしたが、一方で、「子どもの生活状況調査」では、3%台となっており、当市は同調査と比較し、低い水準となっています。

○ 問5 あなたの世帯では、過去1年間に、お子さんに関して以下のようなことがありましたか。 P161

過去1年間で子どもに関して起こった欠乏についてたずねた質問では、ひとり親に該当する保護者ほど、過去1年間で子どもに関して起こったことを選択する割合が高くなっています。

○ 問6 あなたは、全体として最近の生活にどれくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。 P165

最近の生活の満足度についてたずねた質問では、小学5年生児童保護者で、10段階のうち、平均「6.36」、中学2年生生徒保護者で、平均「6.64」となりました。

ひとり親に該当するか別でみると、ひとり親に該当する保護者ほど、生活の満足度の平均が低くなっています。また、世帯収入別でみると、世帯収入が高いほど、満足度の平均が高い傾向にあります。

○ 問7 あなたの世帯で、これまでに以下の支援制度を利用したことがありますか。「3. 利用したことがない」と答えた方は、その理由もお答えください。 P167

国の調査との比較

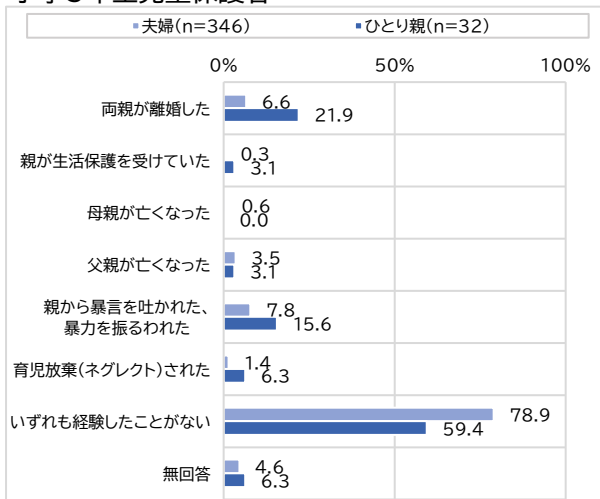
支援制度の利用についてたずねた質問では、「就学援助」を「現在利用している」と回答した人は、6.5%となりました。「子どもの生活状況調査」と比較し、約半数となっています。

ひとり親に該当するか別でみると、「就学援助」を「現在利用している」と回答した人は、小学5年生保護者で56.3%、中学2年生生徒保護者で38.5%となっています。「児童扶養手当」を「現在利用している」と回答した人は、小学5年生保護者で62.5%、中学2年生保護者で45.7%となっています。単純集計結果と同様に、ひとり親に限定しても、当市の結果は、「子どもの生活状況調査」と比較して少なくなっています。

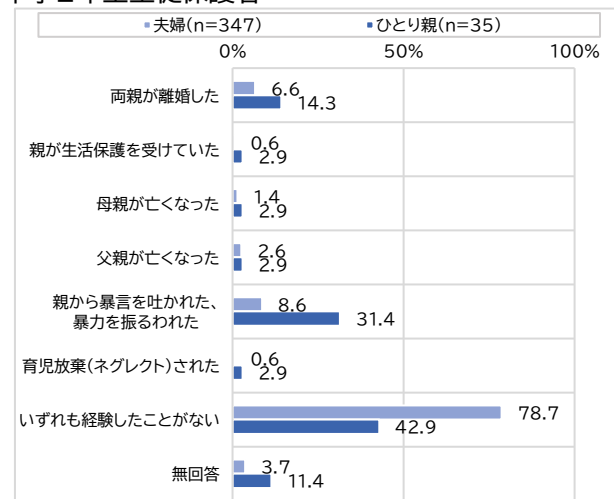
○ 問8 あなたは成人する以前に、以下のようなことがありましたか。 P170

成人する以前の経験について、全体でみると、「いずれも経験したことがない」の回答割合が高くなっていますが、世帯状況別でみると、ひとり親世帯ほど「いずれも経験したことがない」以外の回答の割合が高い傾向があります。

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者



【特徴的な項目】

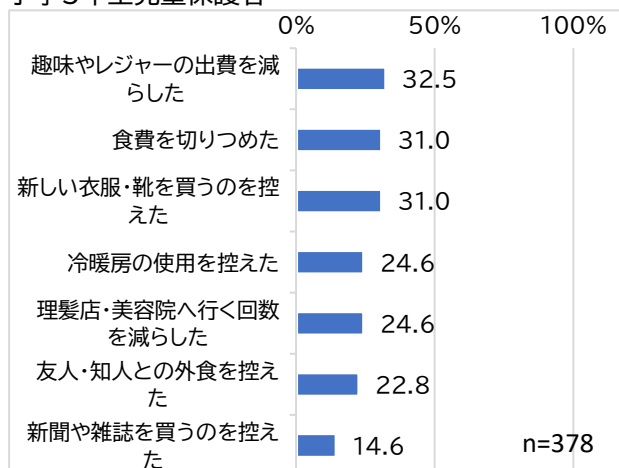
○ 問2 あなたとお子さんのかかわり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。 P152

子どもとのかかわりについて、当市の中学2年生生徒保護者では、あてはまる(「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計)が、「子どもの生活状況調査」より総じて低く、中学2年生保護者よりもあてはまるの割合が高い小学5年生児童保護者でも、「子どもの生活状況調査」の、項目のうち、「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」や、「PTA活動や保護者会、放課後学習支援等ボランティアなどへ参加している」などで、下回っており、全国よりも子どもとのかかわりについて不足している可能性がみられます。

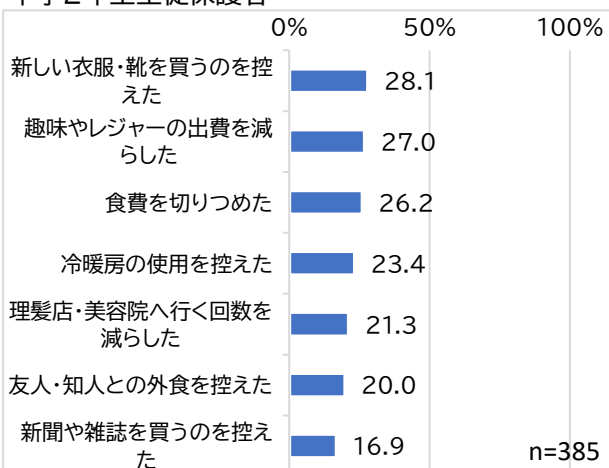
○ 問4 あなたの世帯では、過去1年間に、以下のようなことがありましたか。 P157

過去1年間の欠乏状況について、「電気・ガス・水道などが止められた」、「医療機関を受診できなかった」など、直ちに生活に影響を及ぼす項目についての回答は少ないですが、上述した買い控えや切りつめなどを中心に17項目のうち7項目で、小学5年生児童保護者・中学2年生生徒保護者のいずれも10%を超える方が該当しています。

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者



※調査結果グラフを加工

そして、ひとり親に該当する方や世帯収入が低いほど、上記に該当する傾向があります。

○ 問6 あなたは、全体として最近の生活にどれくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。 P165

生活の満足度について、中学2年生(生徒)は「7.49」となっており、保護者の生活満足度が低く、子どもとの間で、乖離があることが分かります。

○ 問7 あなたの世帯で、これまでに以下の支援制度を利用したことがありますか。「3. 利用したことがない」と答えた方は、その理由もお答えください。 P167

支援制度の利用についてたずねた質問で「就学援助」を「現在利用している」と回答した人は6.5%ですが、滋賀県内の就学援助率は令和元年度で12.1%(全国平均14.5%)のため、本調査の結果は、著しく低いことが分かります。ひとり親に限定しても「子どもの生活状況調査」よりも低い結果となっています。当市における実際の就学援助率は不明ですが、制度が浸透していない可能性があります。

ひとり親に該当するか別や、世帯収入別の結果を確認すると、傾向として、ひとり親に該当する保護者や、世帯収入が低い保護者において、そうでない保護者と比べ、欠乏が発生している、生活の満足度が低いなどといった悪影響が生じていることが分かります。

●児童・生徒を対象とした調査

【調査結果の要点】

(1)あなたのふだんの生活について

○ 問1 あなたは週にどのくらい、食事していますか。

P184

食事の回数についてたずねる質問で、小学5年生では「朝食」を「毎日食べる(週7日)」と答えた人が、87.7%を占めました。

一方で、中学2年生では、79.2%で、小学5年生から中学2年生にかけて、約9ポイント減少しました。

「朝食」に着目し、保護者がひとり親に該当するか別でみると、保護者がひとり親に該当すると、保護者がひとり親に該当しないより、「毎日食べる(週7日)」の割合が低い傾向にあります。

○ 問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。

P189

国の調査との比較

居場所等の利用についてたずねる質問で、小学5年生・中学2年生いずれも「子どもの生活状況調査」と比較し、「子ども食堂など」、「勉強を無料でみてる」、「何でも相談できる場所」について、「利用したことがある」と答えた人が、上回っています。特に「子ども食堂など」は中学2年生が9.5%となっており、「子どもの生活状況調査」の2.8%を約7ポイント上回り、小学5年生は16%と、中学2年生からさらに約7ポイント高くなりました。(子ども食堂については、滋賀県の設定数が多いことが影響している可能性がある。)

中学2年生は、全ての項目で「あれば利用したい」と答えた人が、「子どもの生活状況調査」よりも、上回っています。

ひとり親に該当するか別でみると、小学5年生児童の「学童保育・放課後子ども教室など」、小学5年生・中学2年生のいずれもで「子ども食堂など」において、保護者がひとり親に該当する児童・生徒は、保護者がひとり親に該当しない児童・生徒よりも「利用したことがある」の割合が高い傾向にあり、保護者がひとり親に該当する児童・生徒に対し、そうでない児童・生徒よりも居場所等の支援が行われていることが分かります。

○ 問4 あなたは、家族のお世話をしていますか。

P199

家族のお世話をしているかについてたずねる質問で、「している」と答えた人が、小学5年生では21.9%、中学2年生では、14.5%となりました。令和2年度の厚生労働省の調査では、中学2年生で5.7%であり、結果に乖離があります。同調査では、お世話の対象として、「きょうだい」が群を抜いて多いですが、今回の調査では、「父親」「母親」の比率が同調査よりも多いため、一般的なお手伝いについてもお世話として認識された可能性があります。

○ 問5 あなたが持っているものや使うことができるものを教えてください。

P202

所有しているものについてたずねる質問で、ひとり親に該当するか別でみると、小学5年生で、「けいたい電話・スマートフォン」を持っている割合が、保護者がひとり親に該当する児童は、保護者がひとり親に該当しない児童よりも高いです。

一方で、それ以外のものについては、全体的に、ひとり親に該当しない児童より低い傾向にあります。

○ 問6 あなたは、全体として最近の生活にどのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。

P207

国の調査との比較

最近の生活の満足度について、中学2年生は平均で、「7.49」となりました。「子どもの生活状況調査」では、「6.89」であったため、当市の生徒の生活の満足度は、約0.6点高いことが分かります。(「子どもの生活状況調査」は、令和2年度のコロナ禍での調査であったことに考慮は必要)

保護者調査同様に、保護者がひとり親に該当するか別でみると、ひとり親世帯に該当する子どもの生活の満足度は、ひとり親に該当しない世帯の子どもと比較し、低くなっています。また、世帯収入別にみると、世帯収入が高くなるほど、生活の満足度は向上していく傾向にあります。こちらは、「子どもの生活状況調査」と同じ傾向を示しています。

(2)将来について

○ 問7 あなたは、将来どの段階まで進学したいですか。

P208

将来どの段階まで進学したいかについてたずねた質問では、当市の中学2年生と「子どもの生活状況調査」の傾向は、ほぼ同じとなっていますが、当市は「まだわからない」の回答が、約8ポイント多くなっています。

将来の進学希望別でみると、「高校まで」と答えた生徒は、「自分の成績から考えて」と回答した割合が、「短大・高専・専門学校まで」、「大学またはそれ以上」と答えた生徒よりも高くなっています。
「短大・高専・専門学校まで」と答えた生徒は、「希望する学校や職業があるから」と回答した割合が高くなっています。

【特徴的な項目】

○ 問1 あなたは週にどのくらい、食事していますか。

P184

週にどのくらい食事をしているかについて、中学2年生では「毎日」と答えた割合が、「子どもの生活状況調査」と比べ、「朝食」で約3ポイント、「夏休みや冬休みなどの間の昼食」で約2ポイント下回っており、当市の中学2年生の食習慣について、全国と比べ、少し低いことが分かります。

○ 問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。

P189

居場所等の利用について、中学2年生・小学5年生いずれも「勉強を無料で見てくれる場所」や「子ども食堂など」で「あれば利用したい」が、「今後も利用したいと思わない」を上回っており、上述したように、「子どもの生活状況調査」と比較しても「あれば利用したい」の回答が多いことと合わせて、居場所等へのニーズが高いことが分かります。

○ 問4 あなたは、家族のお世話をしていますか。

P199

ヤングケアラーの実態について、本調査以上により詳細な調査は求められますが、お世話を「している」と答えた人が、小学5年生では21.9%、中学2年生では、14.5%となり、いずれも、約35%が「ほぼ毎日」と回答しています。また、「病院の付き添い」、「身体的な介護」、「通訳(日本語や手話など)」を回答した人もいるため、一定数のヤングケアラーが当市にもいる可能性があります。

○ 問6 あなたは、全体として最近の生活にどのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。

P207

保護者調査と同様に、保護者がひとり親に該当する場合や、世帯収入が低い場合、保護者がそうでない場合と比べ、生活習慣や生活の満足度などにおいて、悪影響が生じている傾向があることが分かります。

●子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査

2つの調査をとりまとめた「調査結果まとめ」となるため、設問順は、「III 調査結果」と一致しない場合があります。
所属団体と学校園、同質問の場合は所属団体の質問番号を記載しています。

【調査結果の要点】

(1)所属団体、学校園について

- 問1 所属団体で行っている支援内容を教えてください。 P211
問2 勤務されている学校園では、困難な家庭の子どもや保護者にどのような支援を行っていますか。 P232

子ども・子育て支援に携わる団体(以降、「団体」)の支援内容として、「居場所支援」が68.2%と最も多くなっており、「学習支援」や「子どもの生活能力向上支援」が40%台で続いています。

学校園では、困難な家庭の子どもの支援として、「相談(育児、発達、教育、生活相談など)」、「支援を実施している機関などの情報提供」が75.8%と最も多くなっています。

(2)困難な家庭の子どもの状況について/困難な家庭の子どもへの支援について

- 問5 所属団体における日ごろの業務の中で、経済的に困窮するなど困難を抱えている家庭(困難な家庭)の子どもや保護者に接することがありますか。 P216
P229

困難な状況がみられる子どもや保護者と接することがあるかをたずねた質問で、学校園では「ある」が66.7%、団体では、「ある」が40.9%となっています。

上記について「ある」と回答した中で、子どもや保護者に関する困難な状況のケースと接した経験についてたずねた質問で、学校園では、選択肢の20項目のうち、11項目において50%以上の学校園が接した経験があると回答しています。

最も回答が多かったのは、「朝食を食べていない」、「虐待を受けている」が81.8%、次いで「不登校(登園しない)」、「保護者が何らかの支援を受けている」が77.3%となっています。

一方で、団体では子どもや保護者に関する困難な状況のケースと接した経験について、学校園よりも項目、回答割合ともに少なくなっており、最も多いのが、「保護者が何らかの支援を受けている」、「保護者が病気である」で50%となっています。

- 問5-3 これまでの経験のなかで、困難な家庭環境が子どもにどのような悪影響を与えると感じましたか。 P218
P231

困難な家庭環境が子どもに与える悪影響についてたずねる質問で、団体、学校園ともに、「心の状態の安定性・心身の健康状態」、「健全な生活習慣」が、上位2項目となりました。

県・国の調査との比較

平成27年度における、子どもの支援に関わる県内の機関を対象とした滋賀県・龍谷大学「支援者に対するアンケート調査」では、同様の質問に対し、「こころの状態の安定性・心身の健康」が最も多く82.1%、次いで「健全な生活習慣・食習慣」(80.4%)となっていたことから、この約8年間で傾向が大きく変化していないことが分かります。

※比較グラフは資料編(グラフデータ)参照

また、令和元年度の内閣府「子供の貧困実態調査に関する研究」の「自治体支援者向け調査」において、調査対象となった7自治体のうち「経済的困難を抱える子供の特徴」では、欠食・不衛生の特徴や、心の安定、一般的な生活習慣の獲得及び自己肯定感が不足しているという結果となっており、本調査と概ね一致しています。

(3)関係機関との連携について

- 問6-2 今後、困難な家庭の子どもや保護者への支援を行ううえで、連携を考えている機関や団体などはありますか。

P222

P233

団体における他の機関や団体との連携機会について、「あまりない(年に数回程度)」が61.4%と最も多く、「よくある(週に1回以上)」は2.3%、「ときどきある(月1回～数回程度)」は15.9%と限られています。

学校園においては、「困難な家庭の子どもへの支援はしていない」の6.1%を除き、多くの機関で、連携が行われています。連携先としては、「市役所(子育て支援課・子ども家庭相談室・幼児課)」が87.9%と最も多く、「ひまわり館(障がい福祉課・発達支援課・介護保険課)」、「子ども家庭相談センター(児童相談所)」が60%台で推移しています。

(4)支援活動の課題と今後の取り組みについて

- 問9 困難な家庭の子どもや保護者に対し、どのような支援がもっと必要だと思いますか。所属する団体で実際に取り組まれている支援いかにかわらずお答えください。

P226

困難な家庭の子どもや保護者に対して必要な支援についてたずねた質問で、団体では、「相談先や居場所」、「立ち寄れる場所」、「いつでも相談や話ができる場所」、「ありのままを素直に相談できる機関」といった、相談場所の必要性についての回答が多くなっています。また、付随して、「どこに相談したらいいか」、「支援情報が届きにくい」といった、場所や支援はあるのにそれが届いていないといった課題に対する取り組みの必要性についての回答も複数挙がっています。

また、当市の助成金制度の拡充などをはじめとする経済的な支援についての意見も複数ありました。

- 問5 困難な家庭の子どもや保護者に対し、どのような支援がもっと必要だと思いますか。勤務されている学校園で実際に取り組まれている支援いかにかわらずお答えください。

P235

学校園では、「多くの関係機関が関わり適切な情報共有」、「多方面との連携」、「関係機関との連携を細やかに」といったような、連携の必要性についての回答が多くなっています。

また、「家庭への食材提供」、「フードバンクの活用」、「物資等の提供」といった直接的な支援についての回答や、「地域を挙げての訪問」、「子どもや保護者と話す」、「根気強くはたらきかける」、「根気強く連絡を取る」といった、訪問・話をするといった回答も複数挙がっています。

県の調査との比較

「支援者に対するアンケート調査」では、同様の質問に対し、「訪問による早期発見や生活支援」、「親の就労の支援」、「経済的支援」などが上位となっています。

アンケート形式は異なりますが、家庭訪問や経済的支援などについては、部分的に一致しています。

※比較グラフは参考資料参照

【特徴的な項目】

- 問5-1 困難な家庭の子どもや保護者の数は、5年前と比べてどのように変化していますか。P216
(5年前以降に設立された団体は設立時と比べてどのように変化していますか。) P229

困難な家庭の子どもや保護者の数についてたずねる質問で、団体、学校園ともに5年前と比べ「増えている」という回答が最も多くなりました。
また、減っているという回答は、団体では0%、学校園では4%にとどまっています。

- 問5-7 これまでの支援のなかで、どのような点が困難であると感じていますか。P220
P234

困難な家庭の子どもや保護者への支援にあたって、どのような点が困難かをたずねた質問(自由回答)で、団体では、「つなぎ先が少ない」、「公的機関との連携がそこまでじゃない」、「受けた相談内容をどこに繋いだらいいのか」、「学校との連携が取りにくい」といった連携についての回答が多くなっています。
支援にあたり「段階を踏む必要」や、「踏み込める範囲に限界がある」という支援に時間を要することや支援内容に限界があるという観点の回答も複数となっています。

学校園では、「相手からの情報発信がない」、「家庭訪問をさせてもらえない」、「電話がつながりにくい」、「連絡の取りづらさ」、「支援を受けることを断られた」など、保護者の相談や支援への消極的な行動により実態の把握や支援につなぐことが難しいという回答が多くなっています。

- 問7 様々な支援を行うなかで、所属団体の活動全体に対する課題はありますか。P223

団体の活動における課題として、「資金繰り」、「資金不足」といった資金面での課題や、「支援員確保」、「運営側の人手不足」といった人手の確保を課題と考えている団体が、多くを占めています。

Ⅲ 調査結果

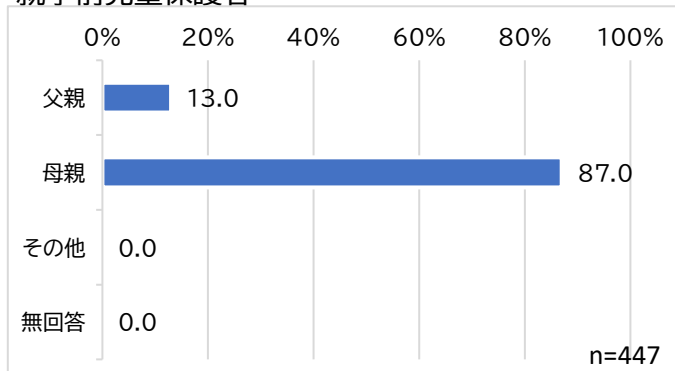
Ⅲ 調査結果

お子さんと家族の状況について

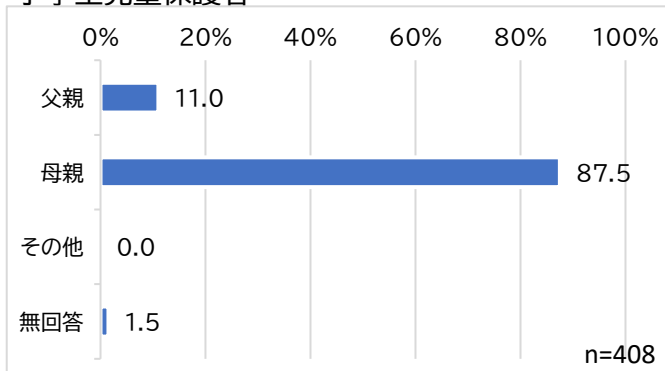
問1 現在の状況などをお答えください。
(1)お答えいただく方は、お子さんからみてどなたですか。(〇は1つ)

いずれも「母親」の割合が最も多く、8割以上が母親が回答しています。

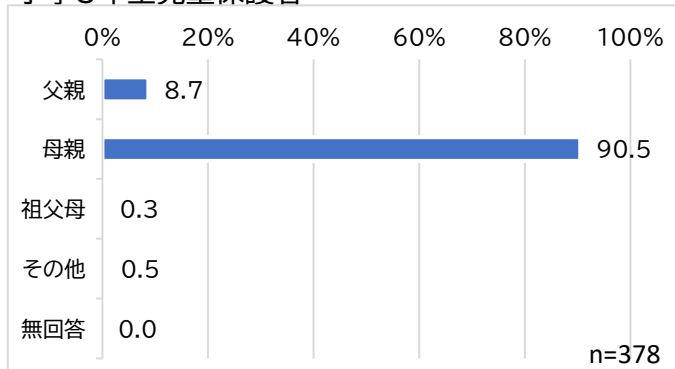
就学前児童保護者



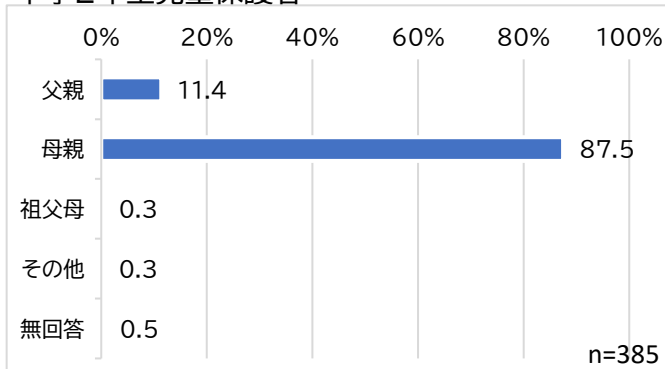
小学生児童保護者



小学5年生児童保護者



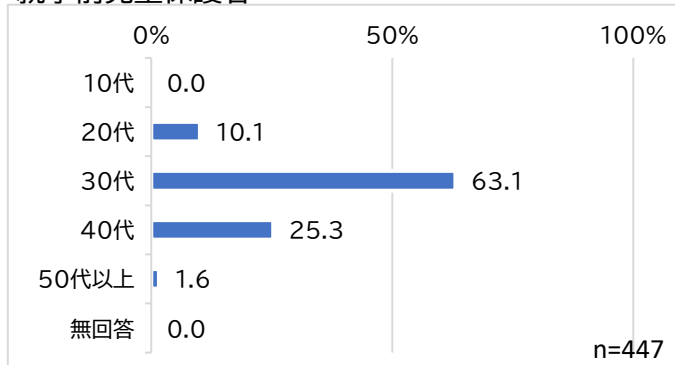
中学2年生児童保護者



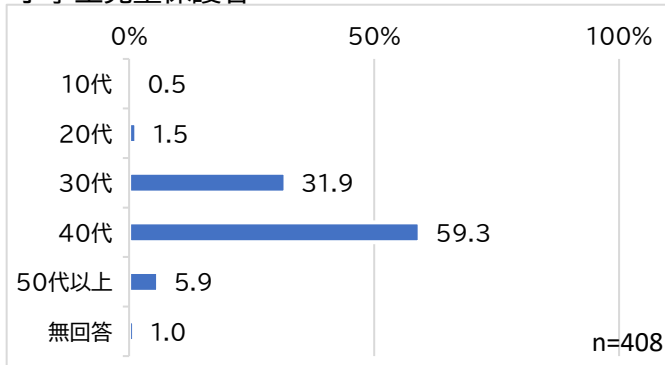
(2)お答えいただく方の年齢を教えてください。(〇は1つ)

就学前児童保護者では「30代」、小学生児童保護者では「40代」の割合が最も多くなっています。

就学前児童保護者



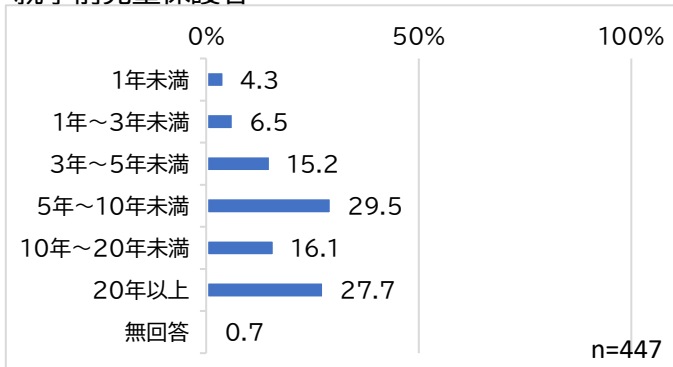
小学生児童保護者



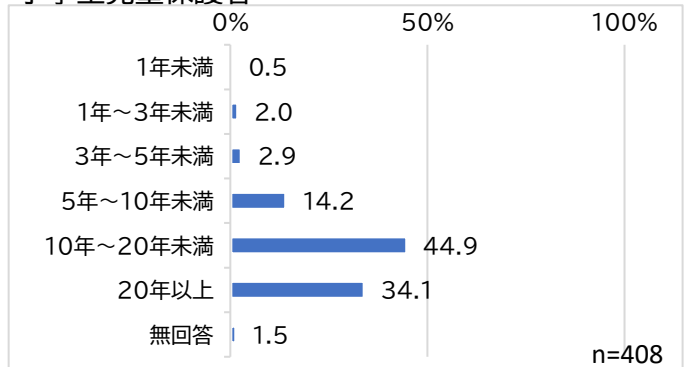
(3)お答えいただく方の近江八幡市に住んでいる期間を教えてください。(数字を記入)

就学前児童保護者では「5年～10年未満」、小学生児童保護者では「10年～20年未満」の割合が最も多くなっています。

就学前児童保護者



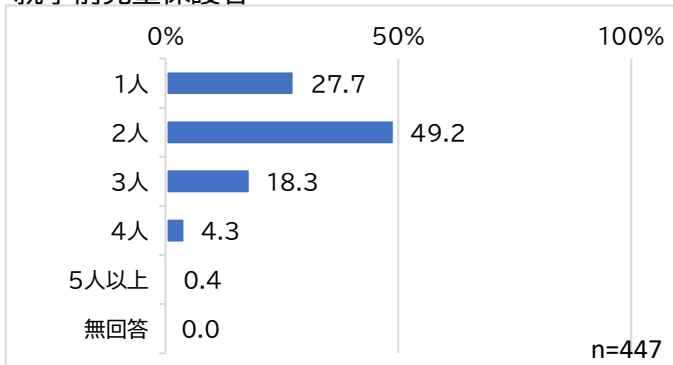
小学生児童保護者



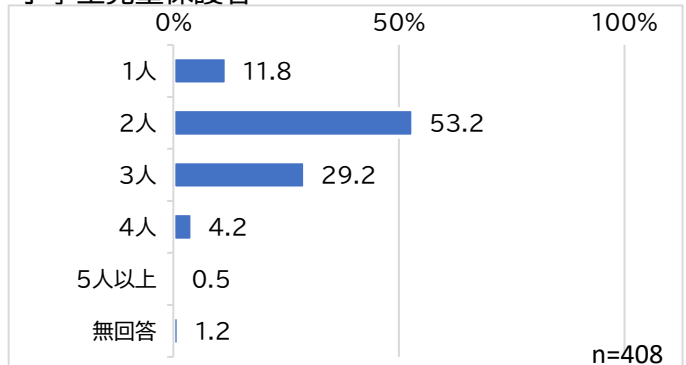
(4)お子さんの人数は何人ですか。(数字を記入)

いずれも「2人」が最も多く、5割前後が2人と回答しています。

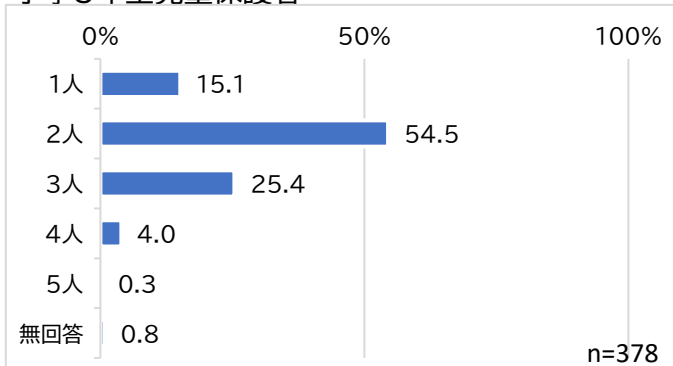
就学前児童保護者



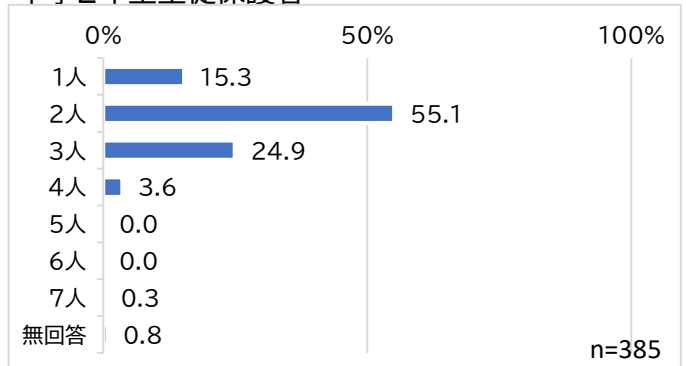
小学生児童保護者



小学5年生児童保護者



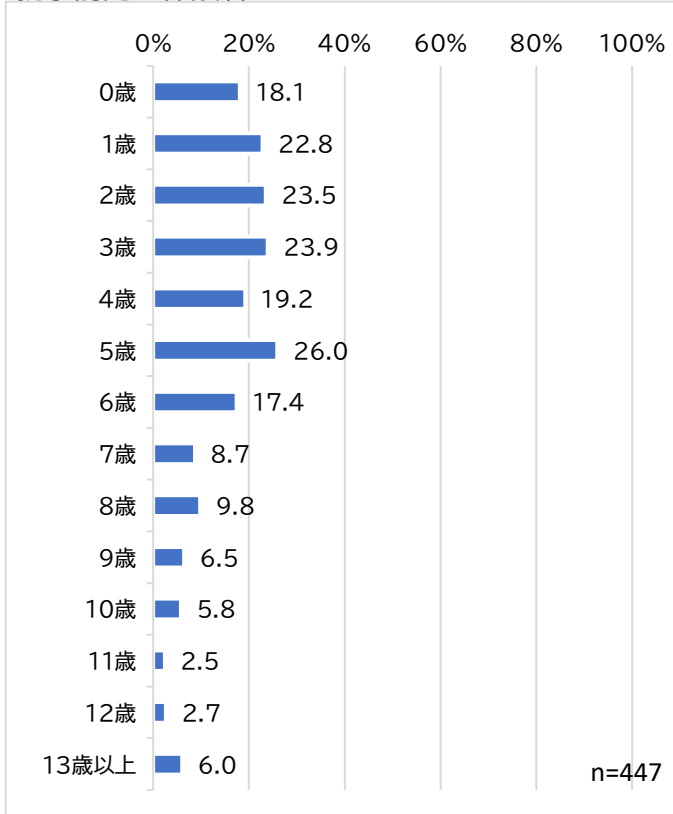
中学2年生生徒保護者



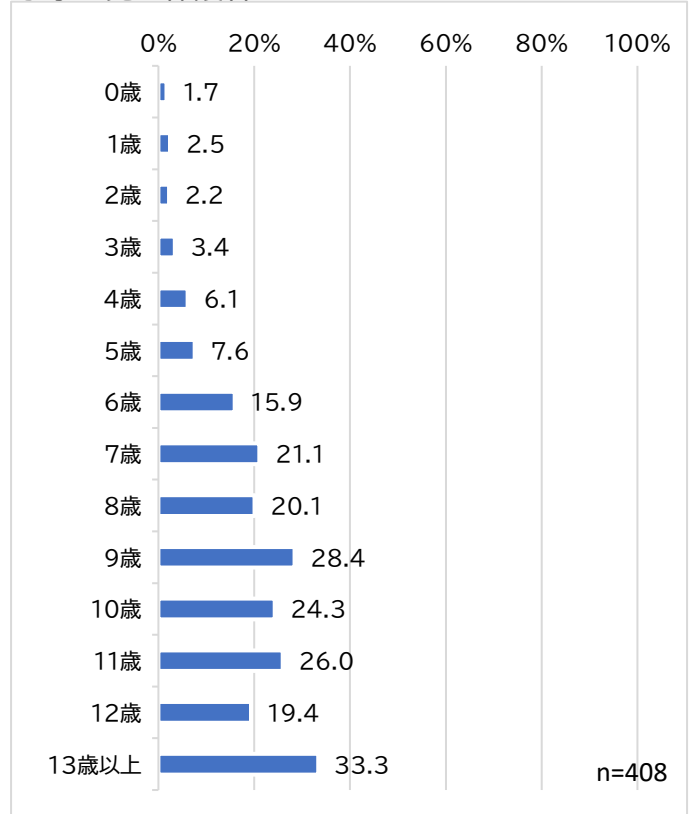
(5)お子さん全員の年齢をお答えください。(該当する欄に数字を記入)

就学前児童保護者では「0～6歳」の割合が多く、小学生児童保護者では「6～13歳以上」がの割合が多くなっています。

就学前児童保護者



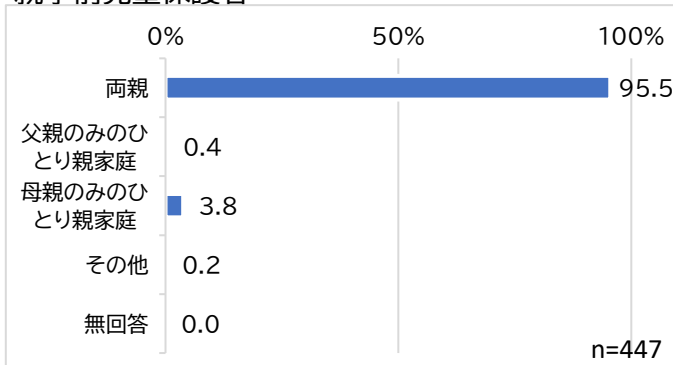
小学生児童保護者



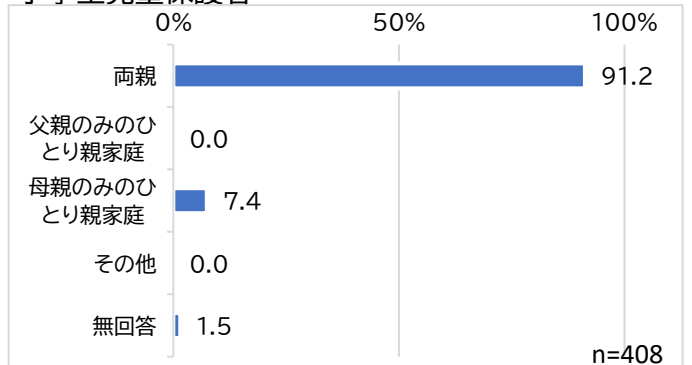
(6)お子さんの保護者はどなたですか。(〇は1つ)

いずれも「両親」が最も多い回答となっています。

就学前児童保護者



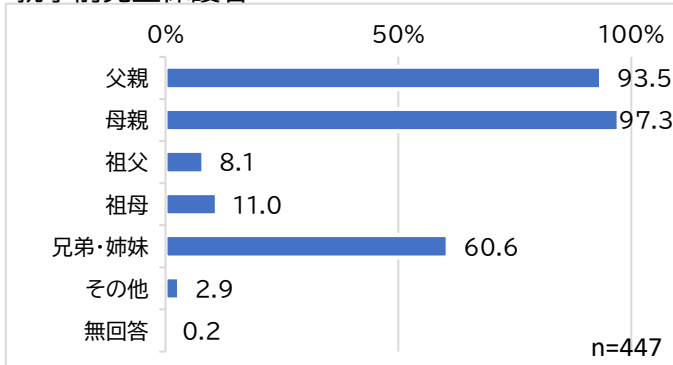
小学生児童保護者



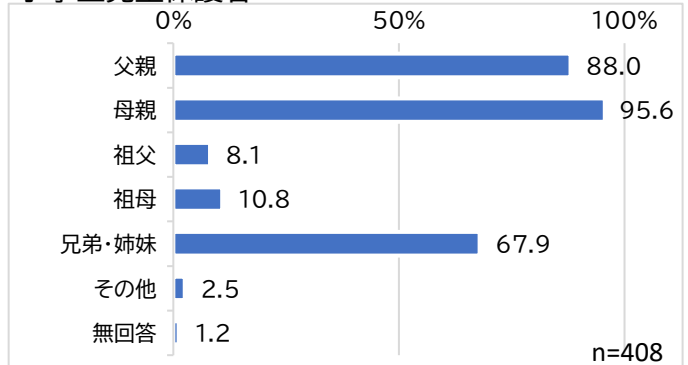
(7)同居されている方をお子さんからみた関係でお答えください。(〇はいくつでも)

いずれも「父親」と「母親」の割合が高いですが、小学3年生児童保護者では「父親」は75%と、他と比べて低くなっています。

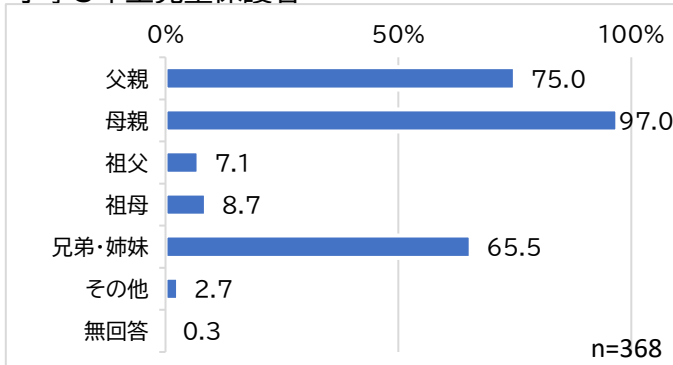
就学前児童保護者



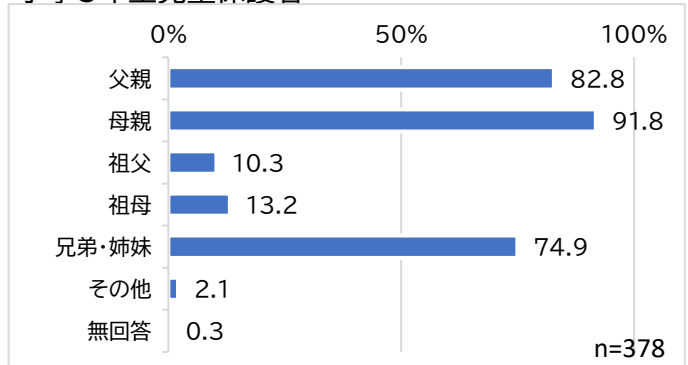
小学生児童保護者



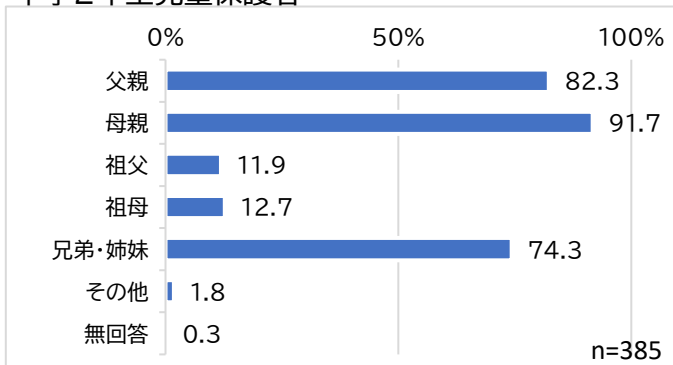
小学3年生児童保護者



小学5年生児童保護者



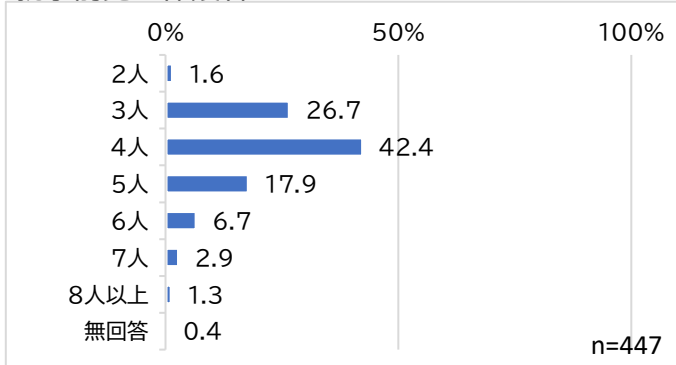
中学2年生児童保護者



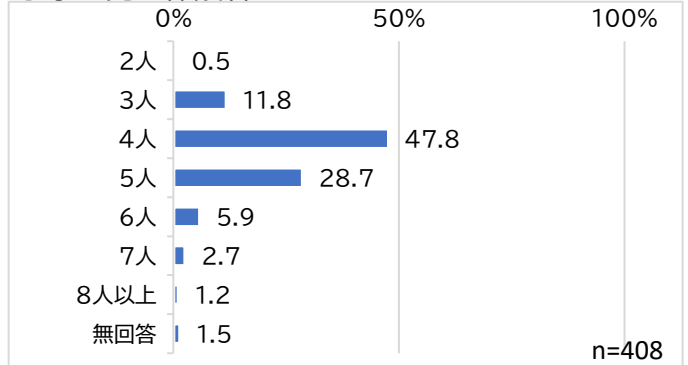
(8) お子さんを含めた同居している人数は何人ですか。(数字を記入)

いずれも「4人」が最も多く、次いで就学前児童保護者では「3人」、小学生児童保護者では「5人」と答えた人が多くみられました。

就学前児童保護者



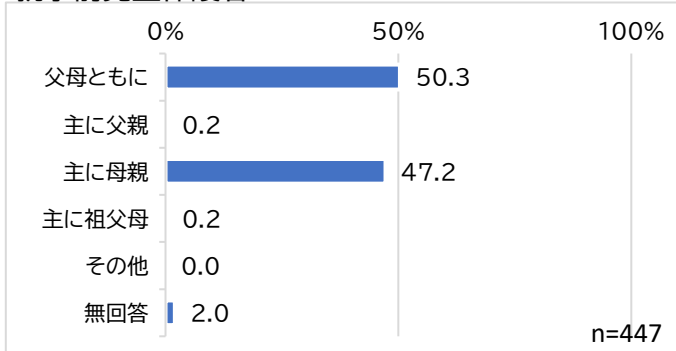
小学生児童保護者



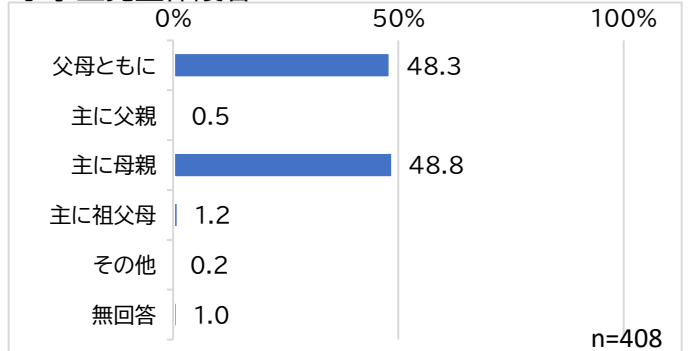
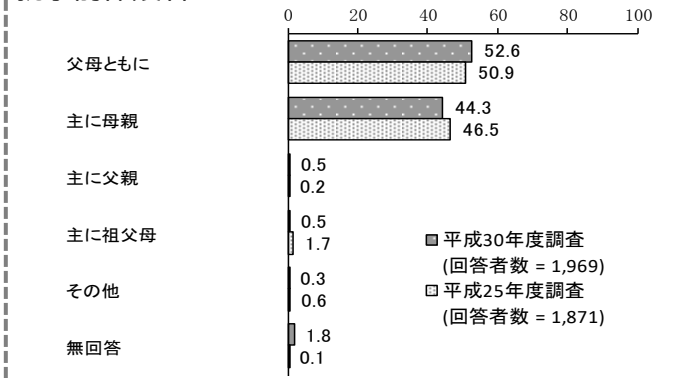
(9) お子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。(○は1つ)

就学前児童保護者では、前回及び前々回調査と同様に「父母ともに」が最も多いですが、小学生児童保護者では「主に母親」が「父母ともに」よりもわずかに多くなりました。

就学前児童保護者



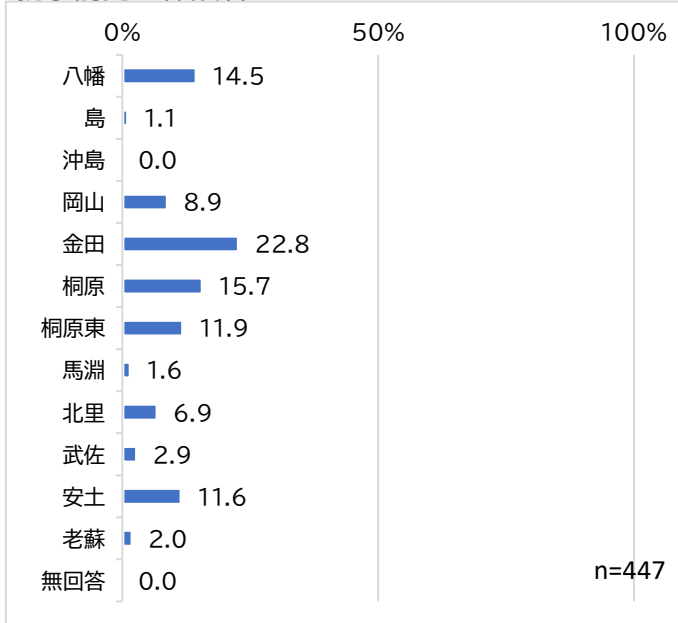
小学生児童保護者

前回、前々回調査
就学前保護者

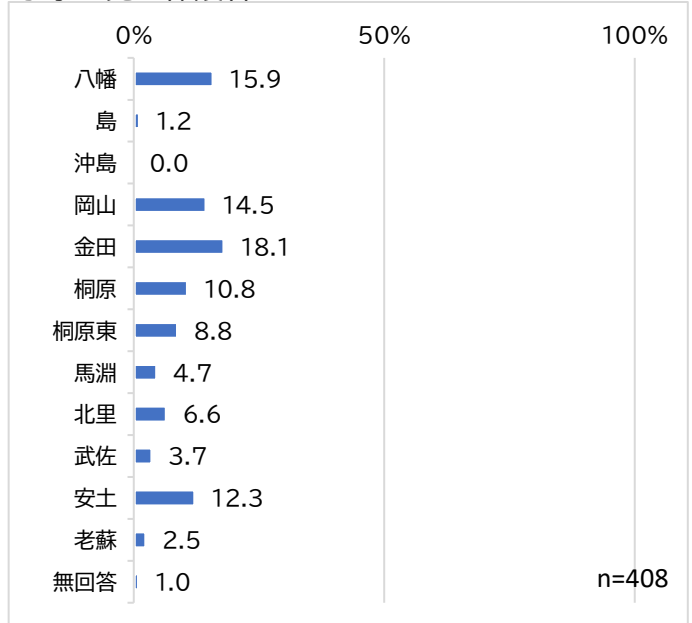
(10)お住まいの小学校(中学校)区はどこですか。(〇は1つ)

それぞれの回答者の小学校区(中学校区)の内訳は以下のとおりです。

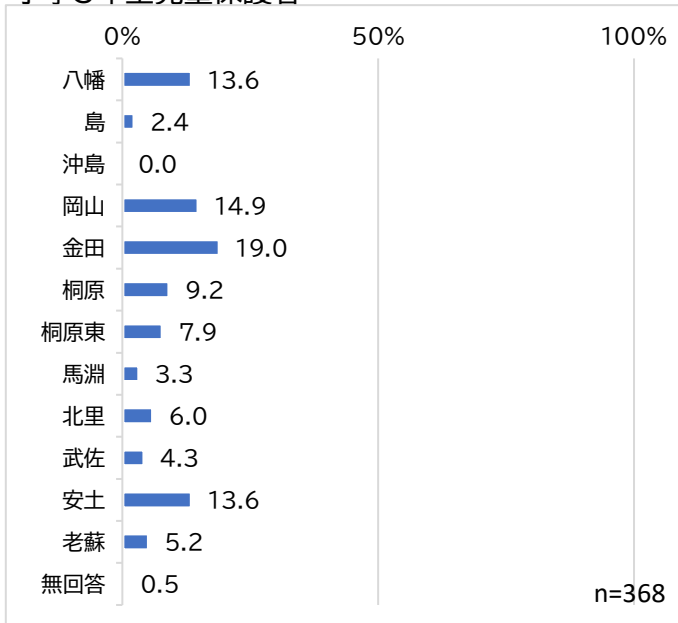
就学前児童保護者



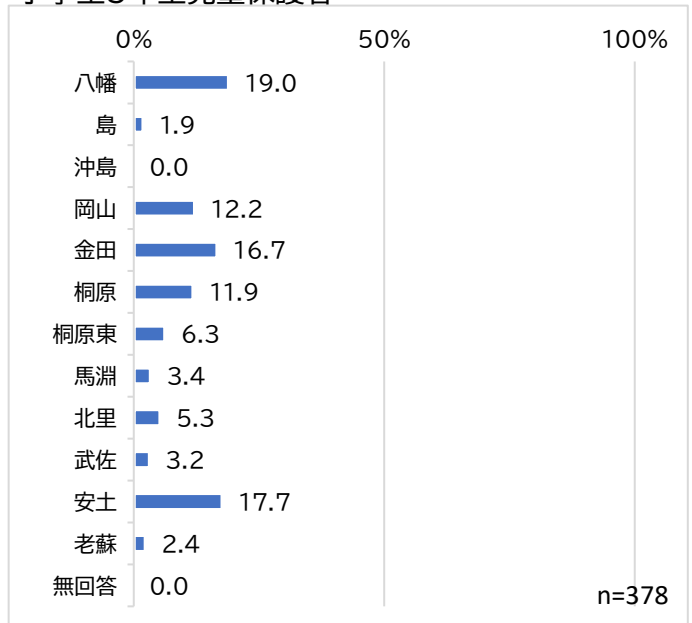
小学生児童保護者



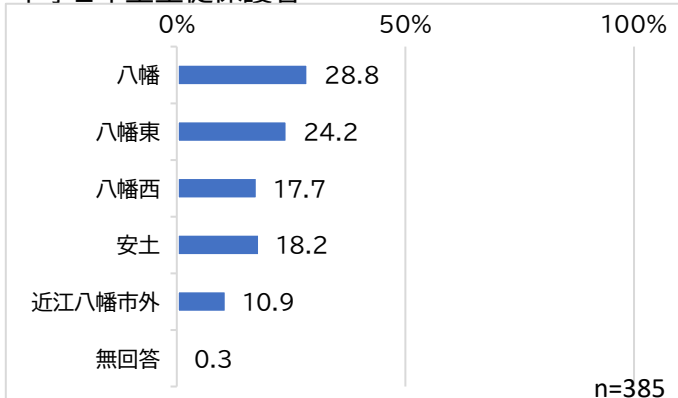
小学3年生児童保護者



小学生5年生児童保護者



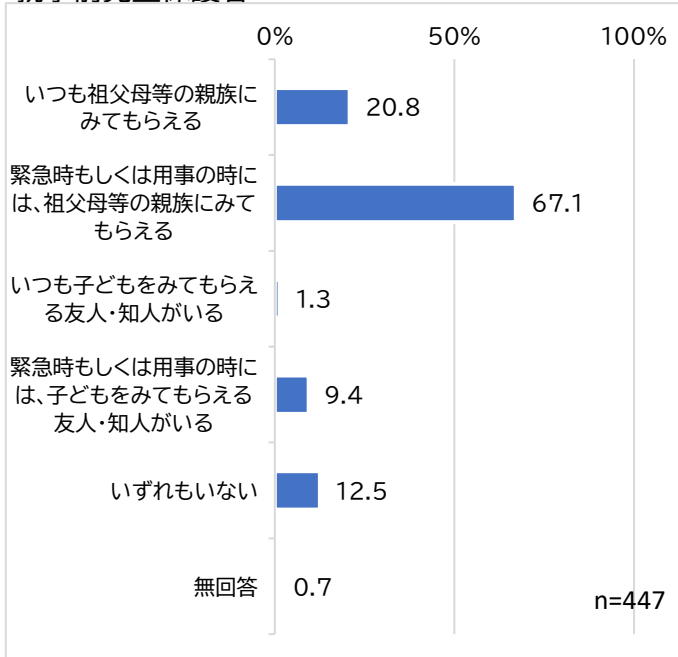
中学2年生生徒保護者



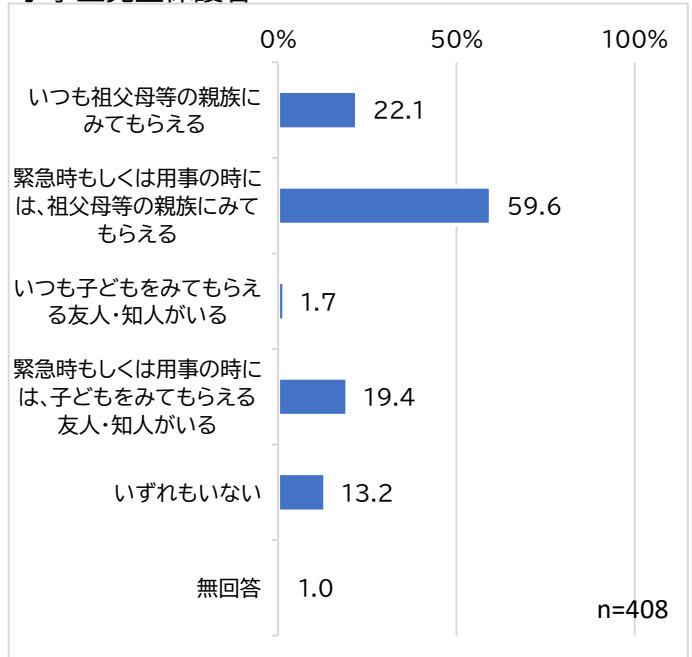
問2 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

前回と同様に、いずれも「緊急時もしくは用事の時には、祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多くなりました。小学生児童保護者より就学前児童保護者の方が割合が高く、前回よりも高くなっています。

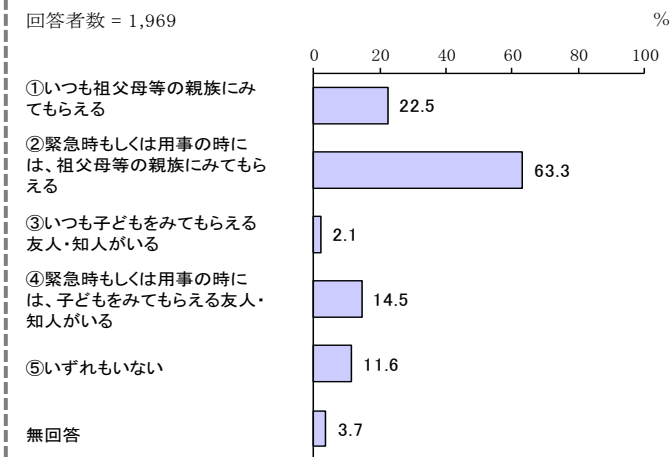
就学前児童保護者



小学生児童保護者

前回調査
就学前保護者

回答者数 = 1,969



問2 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

就学前児童保護者について、世帯区分別にみると、二世帯世帯、三世帯世帯、母親のみ(ひとり親家庭)で「緊急時もしくは用事の時には、祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人が多く、母親のみ(ひとり親家庭)では、「いつも祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人も多くみられました。
「いずれもない」と答えた人は二世帯世帯が最も多く14.0%となっています。

就学前児童保護者【世帯構成×日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人の有無】

区分	回答者数	いつも祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の時には、祖父母等の親族にみてもらえる	いつも子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の時には、子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
二世帯世帯	386	16.1	69.2	1.6	9.6	14.0	0.8
三世帯世帯	41	51.2	56.1	0.0	7.3	2.4	0.0
父親のみ(ひとり親家庭)	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
母親のみ(ひとり親家庭)	17	47.1	47.1	0.0	11.8	5.9	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

小学生児童保護者について、世帯区分別にみると、二世帯世帯、三世帯世帯で「緊急時もしくは用事の時には、祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人が多く、母親のみ(ひとり親家庭)では、「いつも祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた人が多くみられました。
「いずれもない」と答えた人は母親のみ(ひとり親家庭)が最も多く16.7%となっています。

小学生児童保護者【世帯構成×日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人の有無】

区分	回答者数	いつも祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の時には、祖父母等の親族にみてもらえる	いつも子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の時には、子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
二世帯世帯	331	18.1	62.5	1.8	20.8	14.2	0.0
三世帯世帯	41	39.0	61.0	2.4	14.6	4.9	0.0
父親のみ(ひとり親家庭)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
母親のみ(ひとり親家庭)	30	46.7	30.0	0.0	13.3	16.7	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問2 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

小学校区別にみると、就学前児童保護者は、「いずれもない」と答えた人は桐原東が最も多く、次いで八幡でした。

小学生児童保護者は、「いずれもない」と答えた人は老蘇が最も多く、次いで岡山でした。

就学前児童保護者【小学校区×日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人の有無】

学区	回答者数	親い 族つ にも み祖 ても ら父 え母 の等 の	母事緊 等の急 もの時 も親は ら族に えるみ て祖 は父 用	ていつ も子 もど をを み 知 人 が い る	友も事 人のを急 ・み時 知てに 人もは がらく い子 る用	い ず れ も い な い	無 回 答
八幡	65	13.8	69.2	1.5	13.8	16.9	0.0
島	5	20.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0
沖島	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岡山	40	22.5	75.0	0.0	15.0	2.5	2.5
金田	102	14.7	66.7	2.9	6.9	16.7	0.0
桐原	70	24.3	72.9	0.0	5.7	8.6	0.0
桐原東	53	20.8	58.5	0.0	9.4	18.9	0.0
馬淵	7	28.6	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0
北里	31	22.6	64.5	3.2	6.5	12.9	3.2
武佐	13	30.8	38.5	0.0	15.4	15.4	7.7
安土	52	28.8	67.3	1.9	9.6	7.7	0.0
老蘇	9	33.3	55.6	0.0	11.1	11.1	0.0

小学生児童保護者【小学校区×日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人の有無】

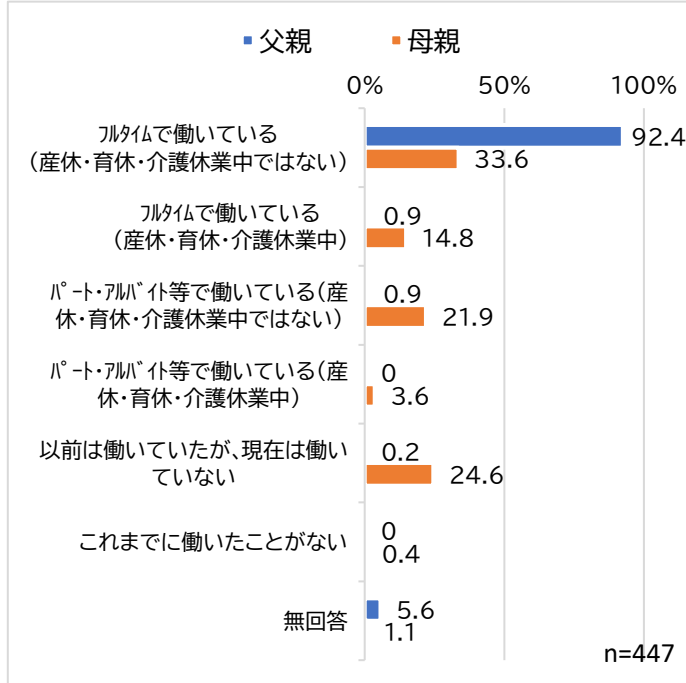
学区	回答者数	いつ も祖 父 母 等 の 親 族 に み て ら え る	緊 急 時 も し く は 用 事 の 時 に は 、 祖 父 母 等 の 親 族 に み て ら え る	いつ も子 もど をを み て ら え る 友 人 ・ 知 人 が い る	緊 急 時 も し く は 用 事 の 時 に は 、 子 も ど を み て ら え る 友 人 ・ 知 人 が い る	い ず れ も い な い	無 回 答
八幡	65	24.6	61.5	1.5	20.0	13.8	0.0
島	5	20.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0
沖島	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岡山	59	18.6	61.0	3.4	23.7	16.9	0.0
金田	74	18.9	58.1	2.7	14.9	14.9	0.0
桐原	44	25.0	54.5	0.0	25.0	9.1	0.0
桐原東	36	19.4	61.1	2.8	16.7	8.3	0.0
馬淵	19	26.3	63.2	5.3	5.3	10.5	0.0
北里	27	29.6	51.9	0.0	7.4	14.8	0.0
武佐	15	26.7	60.0	0.0	20.0	6.7	0.0
安土	50	22.0	66.0	0.0	28.0	14.0	0.0
老蘇	10	20.0	60.0	0.0	30.0	30.0	0.0

保護者の就労状況について

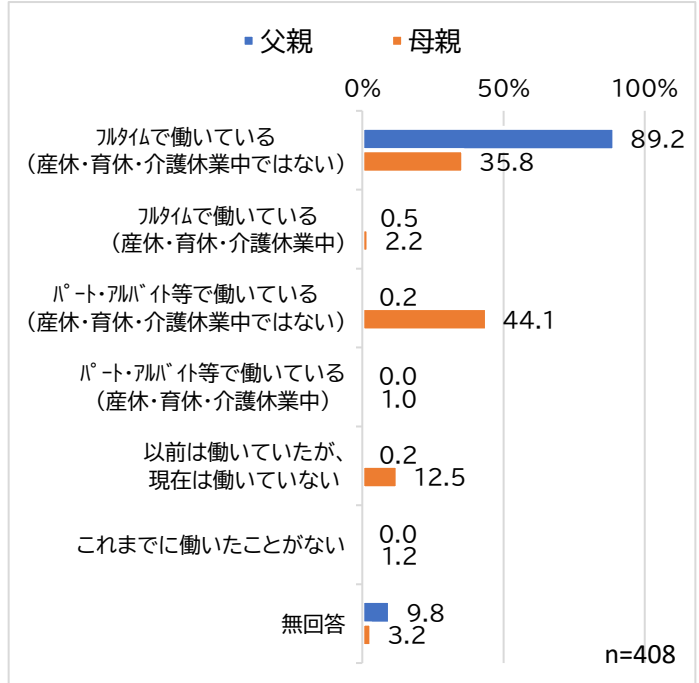
問3 現在の働いている状況をお答えください。(父母それぞれ〇は1つ)

父親は、いずれも「フルタイムで働いている」が最も多くなっています。母親は、小中学生保護者は「パート・アルバイト等で働いている」と答えた人が多くみられました。就学前児童保護者は、前回調査では、「以前働いていたが、現在は働いていない」と答えた人が最も多かったですが、今回の調査では「フルタイムで働いている」と答えた人が最も多くなっています。

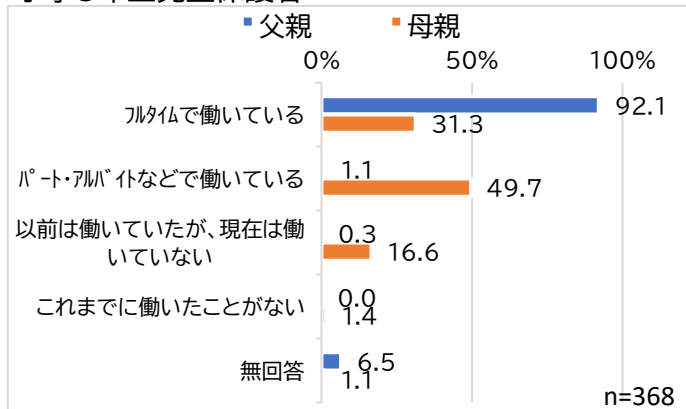
就学前児童保護者



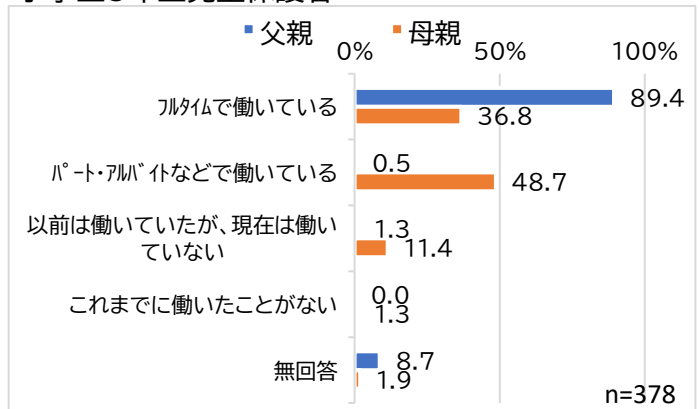
小学生児童保護者



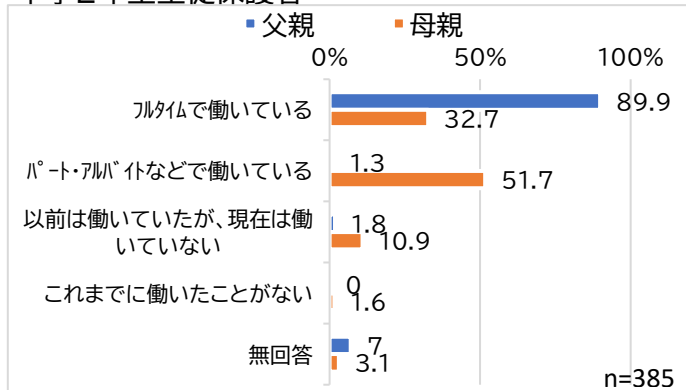
小学3年生児童保護者



小学生5年生児童保護者



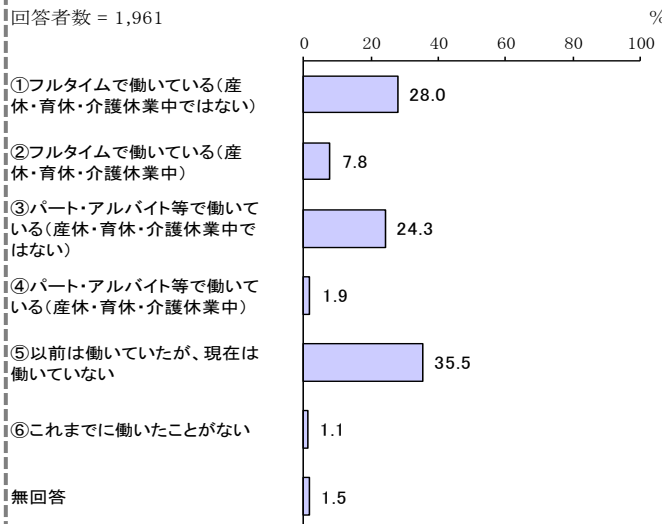
中学2年生生徒保護者



問3 現在の働いている状況をお答えください。(父母それぞれ〇は1つ)

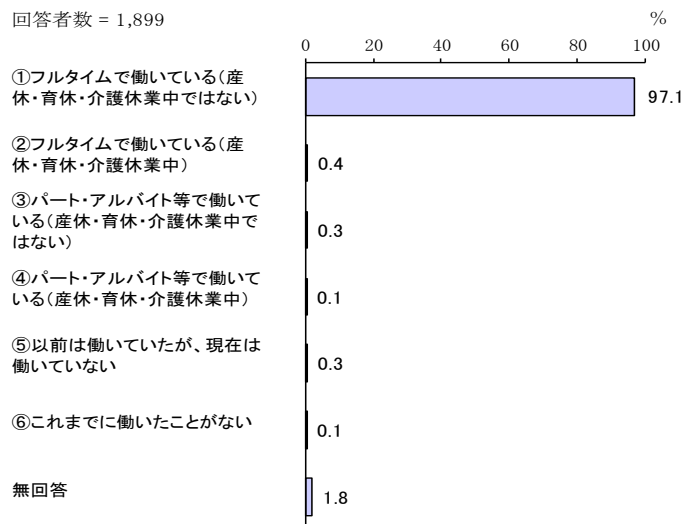
前回調査
就学前保護者
【母親】

回答者数 = 1,961



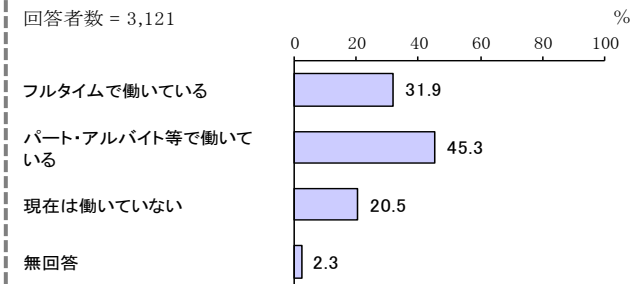
【父親】

回答者数 = 1,899



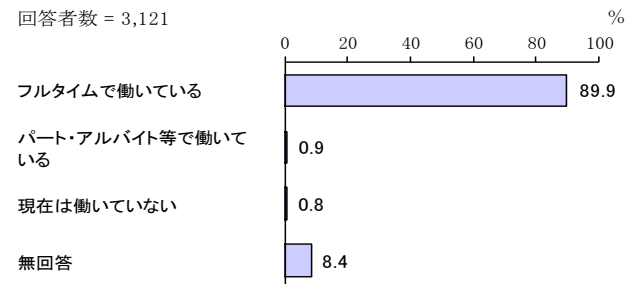
小学生保護者
【母親】

回答者数 = 3,121



【父親】

回答者数 = 3,121



問3 現在の働いている状況をお答えください。(父母それぞれ〇は1つ)

母親がフルタイムで働いている世帯は、就学前児童保護者では「二世帯世帯」「三世帯世帯」「母親のみ(ひとり親家庭)」が多く、小学生児童保護者では「三世帯世帯」「母親のみ(ひとり親家庭)」が多くなりました。

就学前児童保護者【世帯構成×母親の就労状況】

合計	回答者数	フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中ではない)	フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中)	パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中ではない)	パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中)	以前は働いていたが、現在は働いていない	これまでに働いたことがない	無回答
二世帯世帯	386	33.9	13.5	22.0	3.6	25.9	0.3	0.8
三世帯世帯	41	26.8	26.8	19.5	2.4	24.4	0.0	0.0
父親のみ(ひとり親家庭)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
母親のみ(ひとり親家庭)	17	47.1	11.8	29.4	5.9	0.0	5.9	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

小学生児童保護者【世帯構成×母親の就労状況】

区分	回答者数	フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中ではない)	フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中)	パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中ではない)	パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中)	以前は働いていたが、現在は働いていない	これまでに働いたことがない	無回答
二世帯世帯	331	33.8	1.5	46.5	0.9	13.9	1.5	1.8
三世帯世帯	41	43.9	2.4	43.9	2.4	7.3	0.0	0.0
父親のみ(ひとり親家庭)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
母親のみ(ひとり親家庭)	30	50.0	10.0	23.3	0.0	6.7	0.0	10.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

小学3年生児童保護者【世帯構成×母親の就労状況】

区分	回答者数	フルタイムで働いている	パート・アルバイトなどで働いている	以前は働いていたが、現在は働いていない	これまでに働いたことがない	無回答
二世帯世帯	330	30.6	50.6	16.7	1.5	0.6
三世帯世帯	37	37.8	43.2	16.2	0.0	2.7

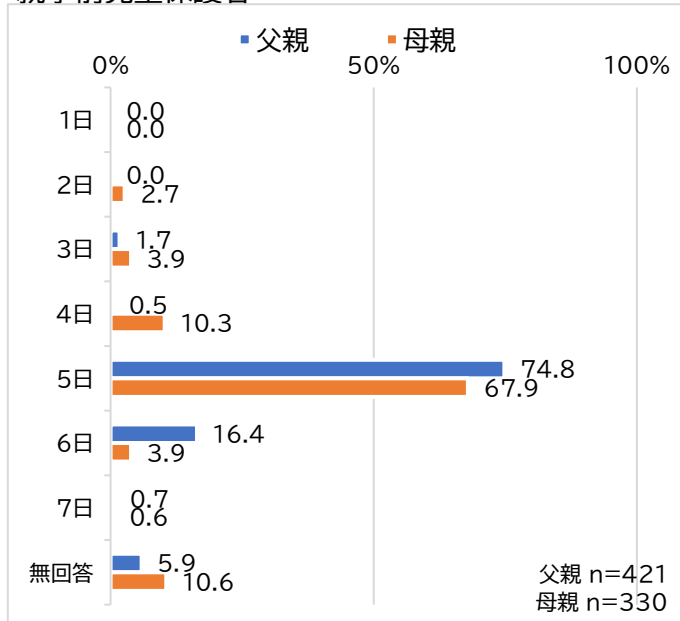
※小学3年生児童保護者の調査票にはひとり親に関する質問がないため、区分は二世帯世帯、三世帯世帯のみとなっています。

問3で「フルタイムで働いている」「パート・アルバイト等で働いている」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。

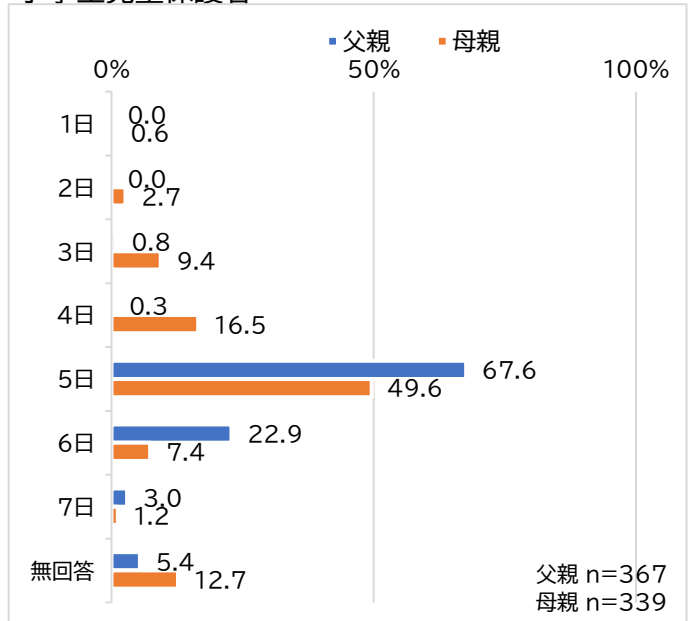
問3-1 1週間の働いている日数と、1日の働いている時間(残業時間を含む)について、もっとも多いパターンをお答えください。(父母それぞれ数字を記入)

1週間の働いている日数は、いずれも「5日」が最も多くなっています。1日の働いている時間は「8時間～9時間未満」が多くなりました。

就学前児童保護者



小学生児童保護者

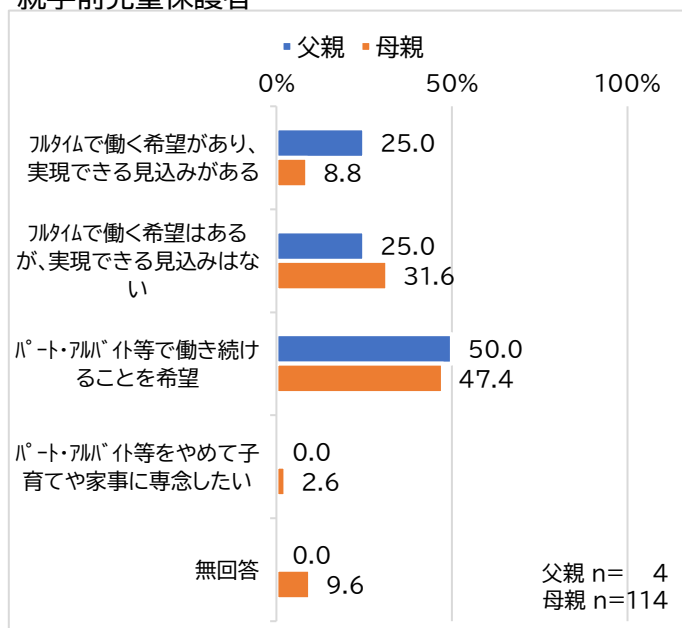


問3で「パート・アルバイト等で働いている」に○をつけた方におうかがいします。

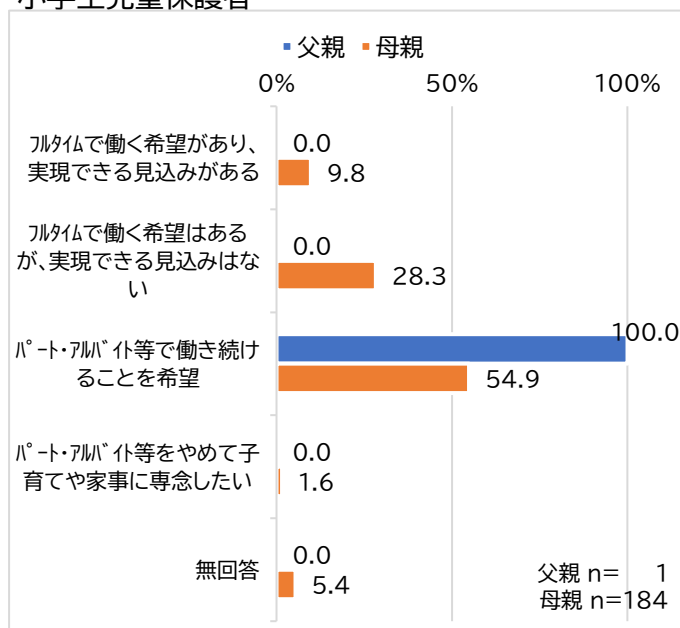
問3-2 フルタイムで働く希望はありますか。(父母それぞれ○は1つ)

母親は、いずれも前回調査と同様「パート・アルバイト等で働き続けることを希望」と答えた人が最も多くなりました。「フルタイムで働く希望があり、実現できる見込みがある」と答えた人は、前回調査よりも5%程度低くなっています。

就学前児童保護者

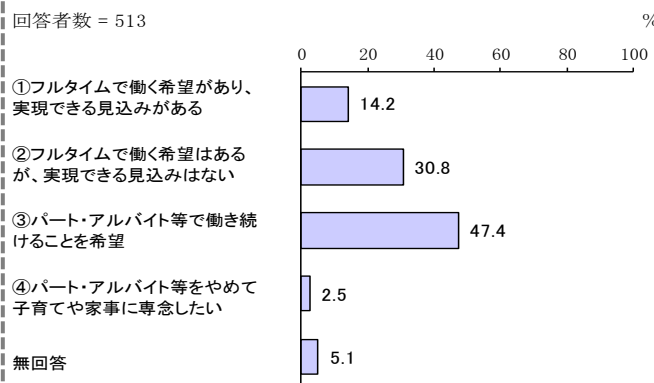


小学生児童保護者



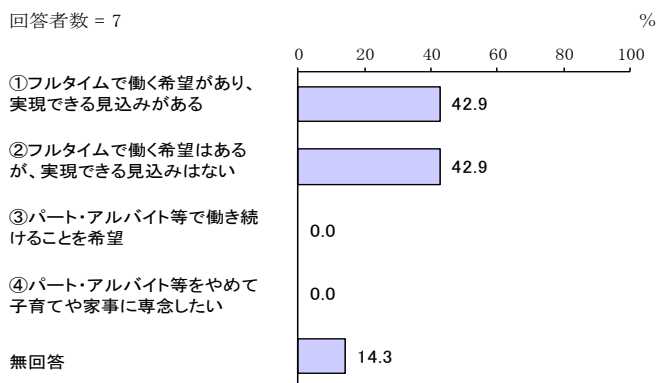
前回調査 就学前保護者 【母親】

回答者数 = 513



【父親】

回答者数 = 7



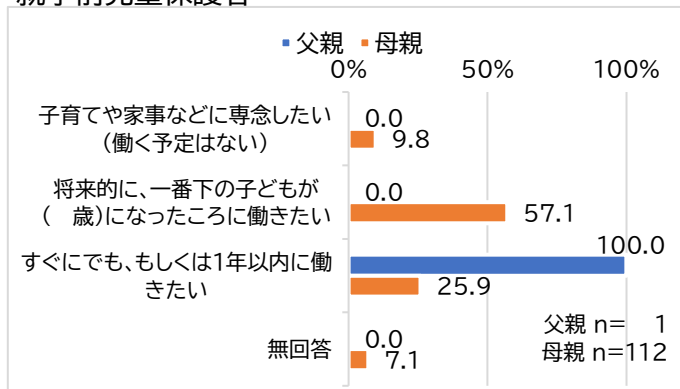
問3で「以前は働いていたが、現在は働いていない」「これまでに働いたことがない」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。

問3-3 働きたいという希望はありますか。
 (父母それぞれ○は1つ。2を選んだ方は(歳)に数字を記入してください。
 2、3を選んだ方は希望する雇用形態と勤務時間、日数を記入してください。)

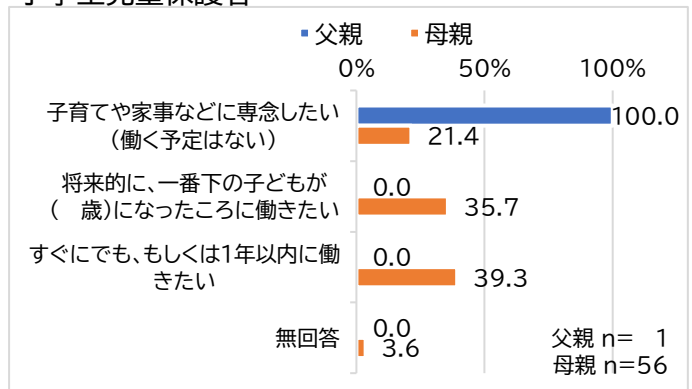
就学前児童保護者の母親は「将来的に」、小学生児童保護者の母親は「すぐにでも、もしくは1年以内に」働きたいと答えた人が最も多くなっています。小学生児童保護者の母親は、2割程度が「子育てや家事などに専念したい」と答えました。

●今後の就労希望

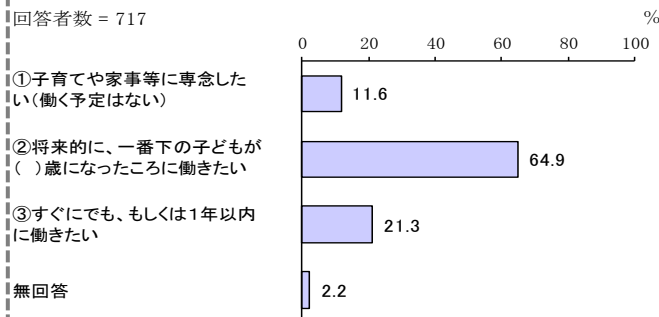
就学前児童保護者



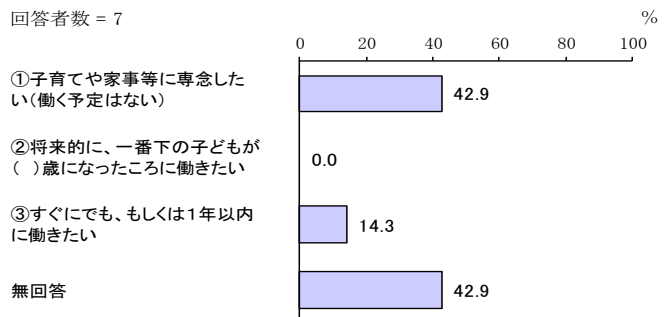
小学生児童保護者



前回調査 就学前保護者 【母親】

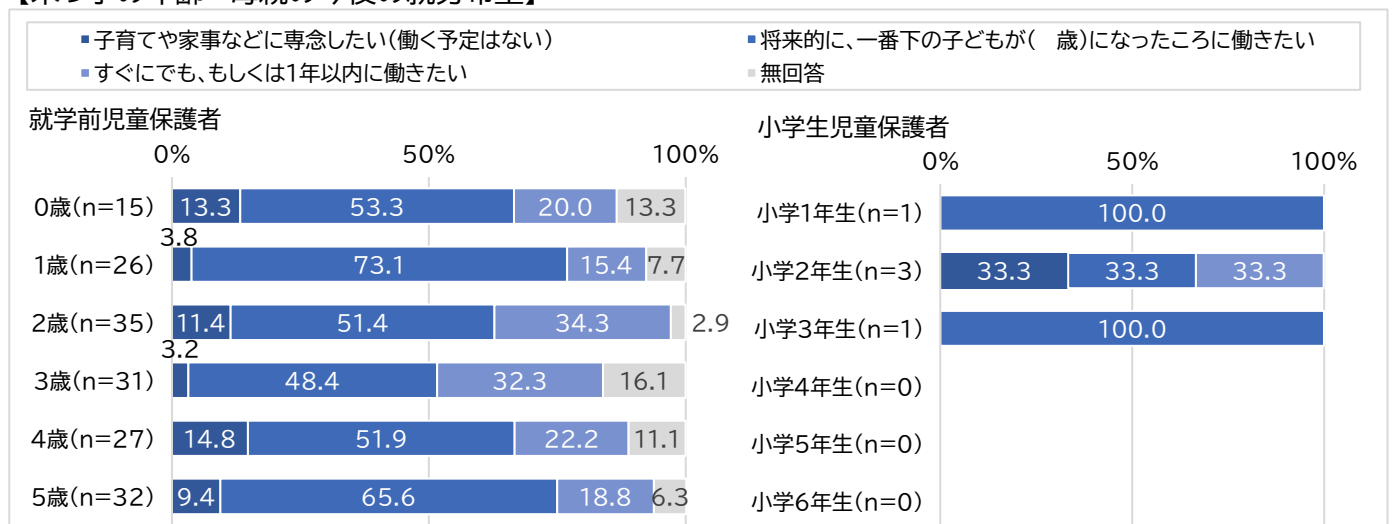


【父親】

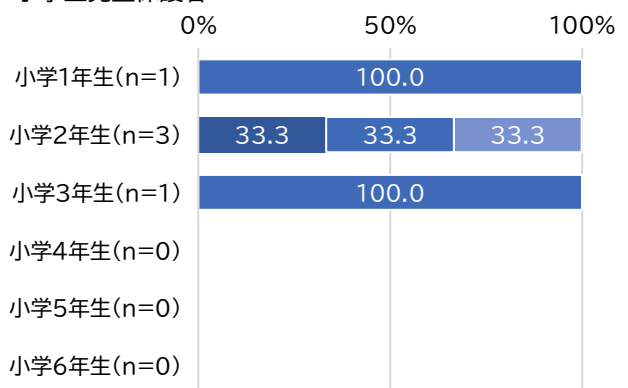


末っ子の年齢別にみると、「将来的に」「すぐにでも」働きたいと考えている人は1歳の子どもを持つ人が一番多くなりました。

【末っ子の年齢×母親の今後の就労希望】



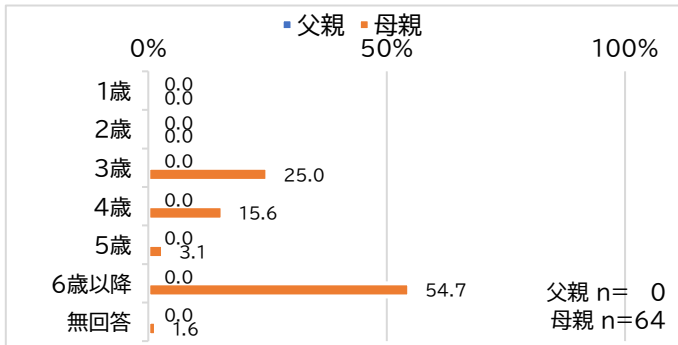
小学生児童保護者



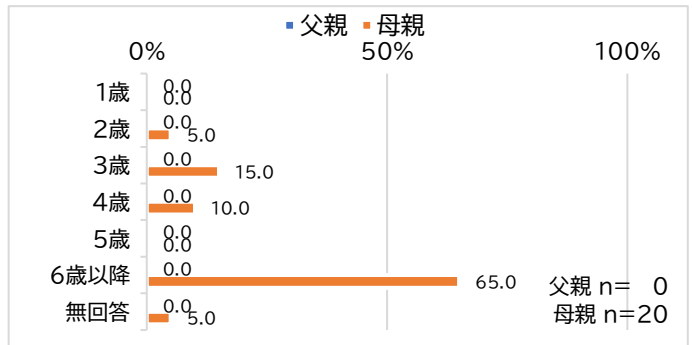
問3-3 働きたいという希望はありますか。
 (父母それぞれ〇は1つ。2を選んだ方は(歳)に数字を記入してください。
 2、3を選んだ方は希望する雇用形態と勤務時間、日数を記入してください。)

●将来的に、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか

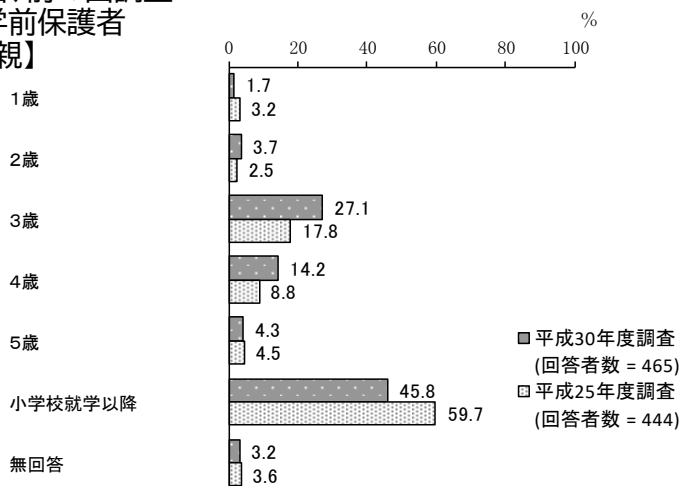
就学前児童保護者



小学生児童保護者

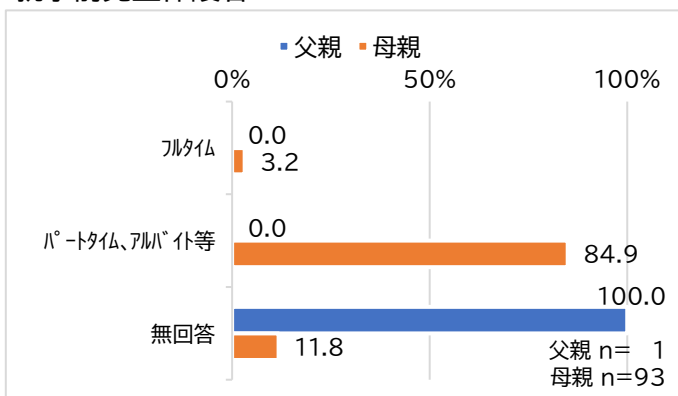


前回、前々回調査 就学前保護者 【母親】

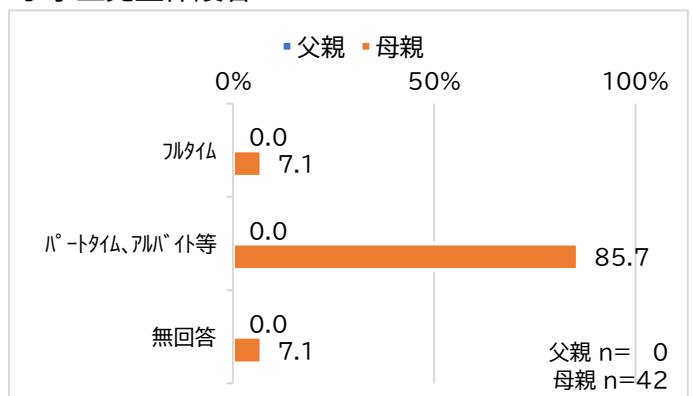


●希望する働き方

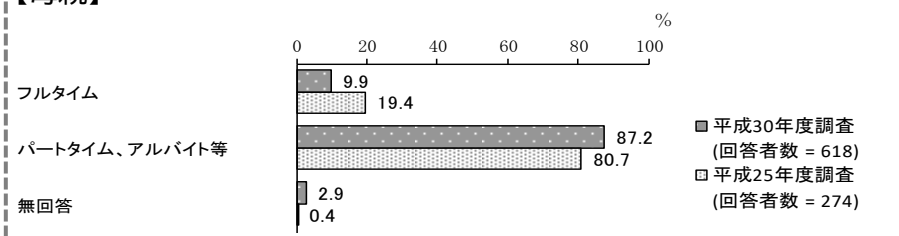
就学前児童保護者



小学生児童保護者



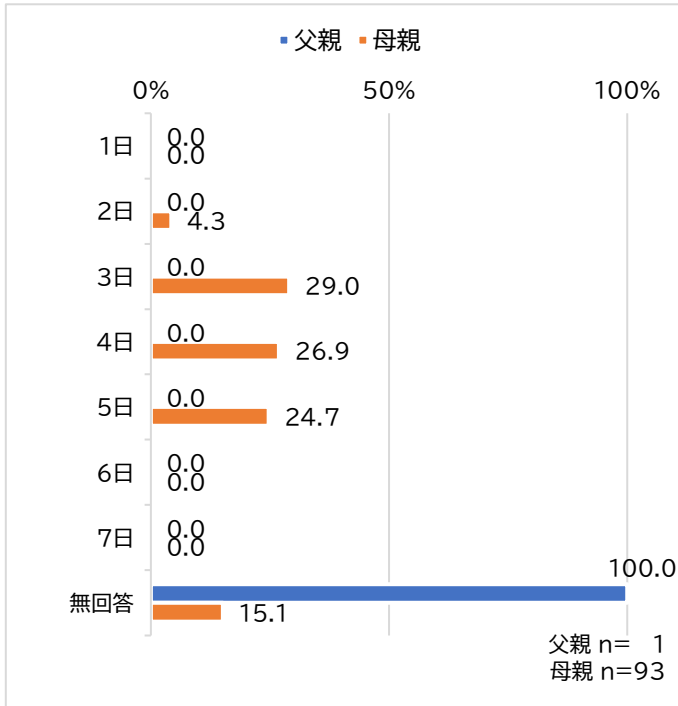
前回、前々回調査 就学前保護者 【母親】



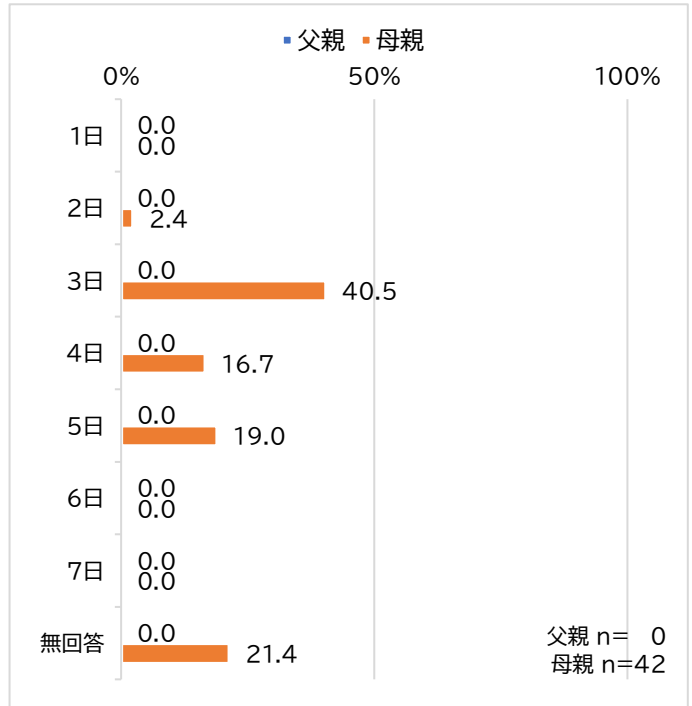
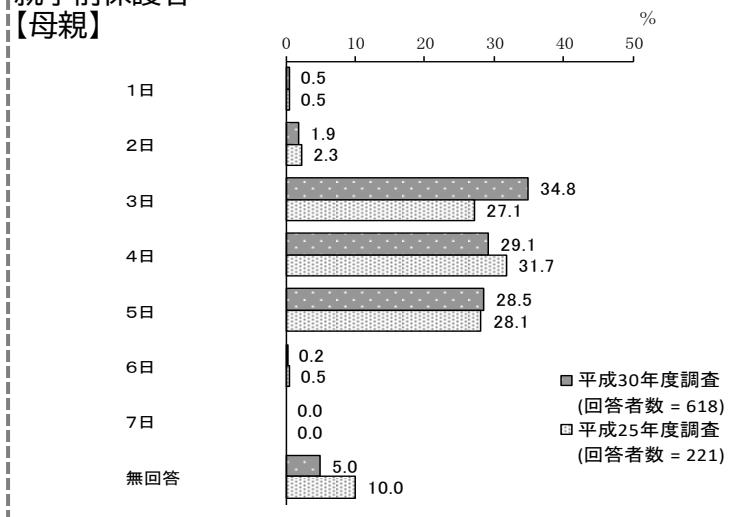
問3-3 働きたいという希望はありますか。
 (父母それぞれ〇は1つ。2を選んだ方は(歳)に数字を記入してください。
 2、3を選んだ方は希望する雇用形態と勤務時間、日数を記入してください。)

●1週当たり希望就労日数

就学前児童保護者



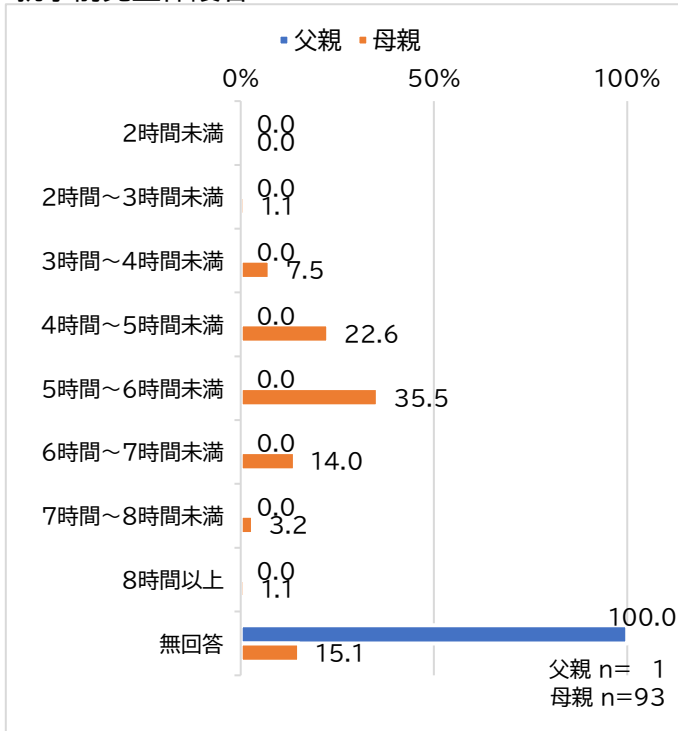
小学生児童保護者

前回、前々回調査
就学前保護者
【母親】

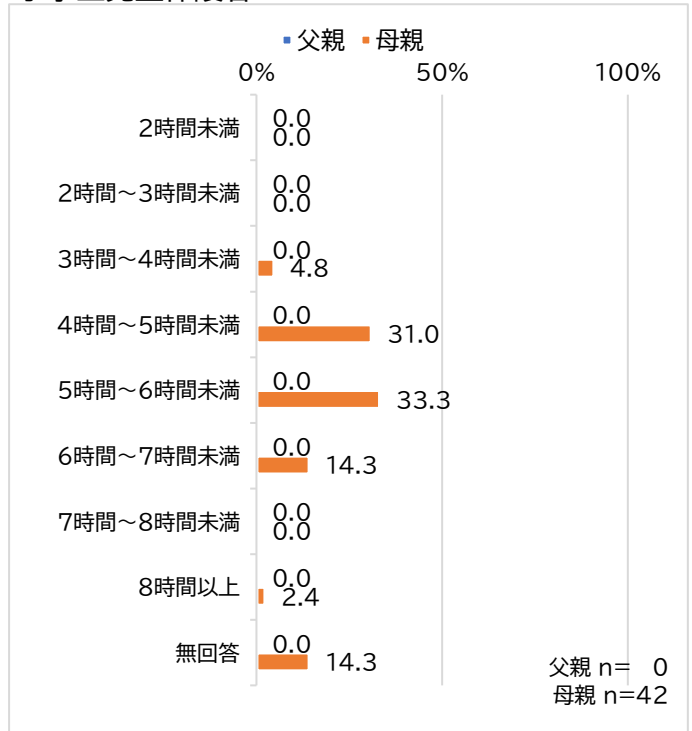
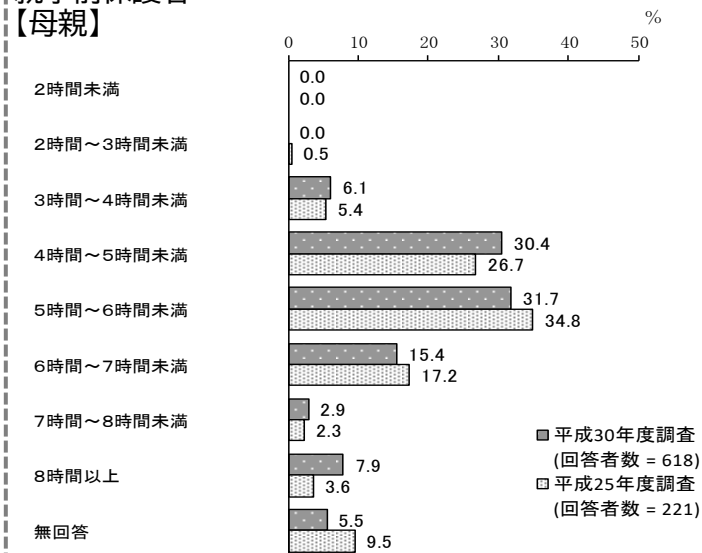
問3-3 働きたいという希望はありますか。
 (父母それぞれ〇は1つ。2を選んだ方は(歳)に数字を記入してください。
 2、3を選んだ方は希望する雇用形態と勤務時間、日数を記入してください。)

●1日当たり希望就労時間

就学前児童保護者



小学生児童保護者

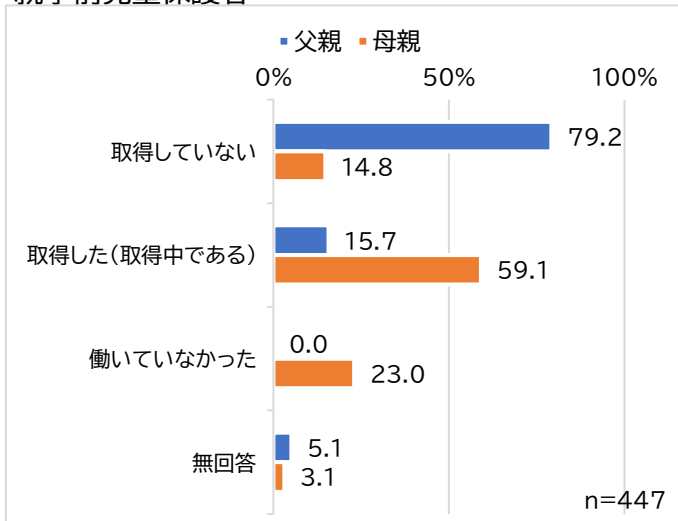
前回、前々回調査
就学前保護者
【母親】

育児休業制度など職場の両立支援について

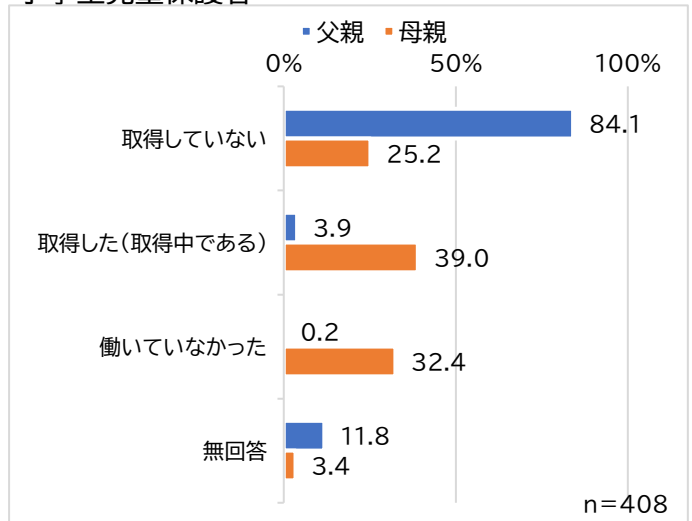
問4 育児休業制度を利用しましたか。何度も取得された場合、未っ子のお子さんの場合についてお答えください。(父母それぞれ〇は1つ)

就学前児童保護者では、父母ともに「取得した(取得中である)」と答えた人が、前回調査よりも増加しました。

就学前児童保護者

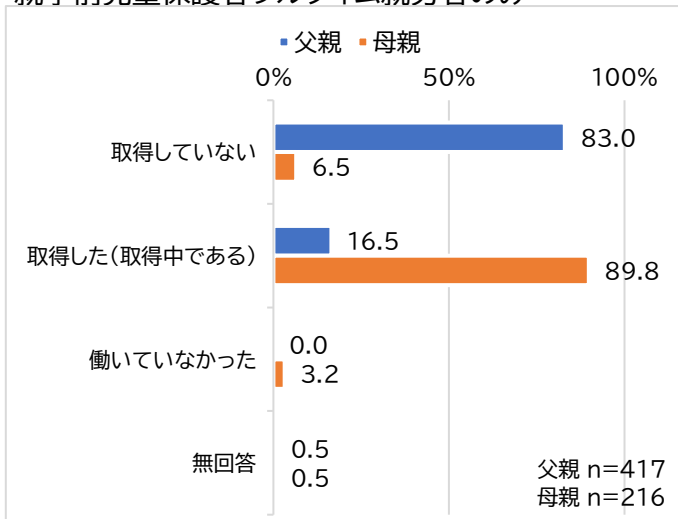


小学生児童保護者

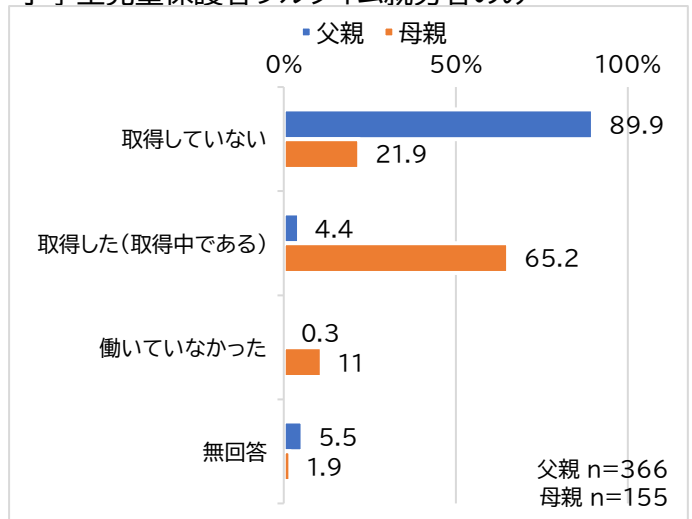


【参考】

就学前児童保護者フルタイム就労者のみ



小学生児童保護者フルタイム就労者のみ

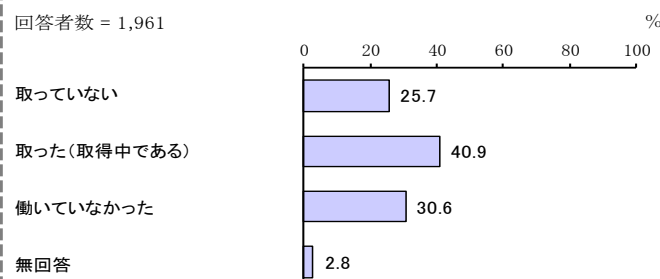


前回調査

就学前保護者

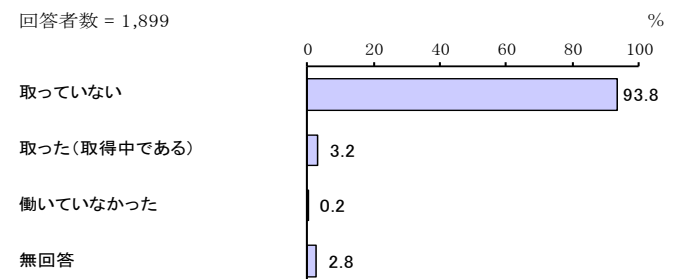
【母親】

回答者数 = 1,961



【父親】

回答者数 = 1,899

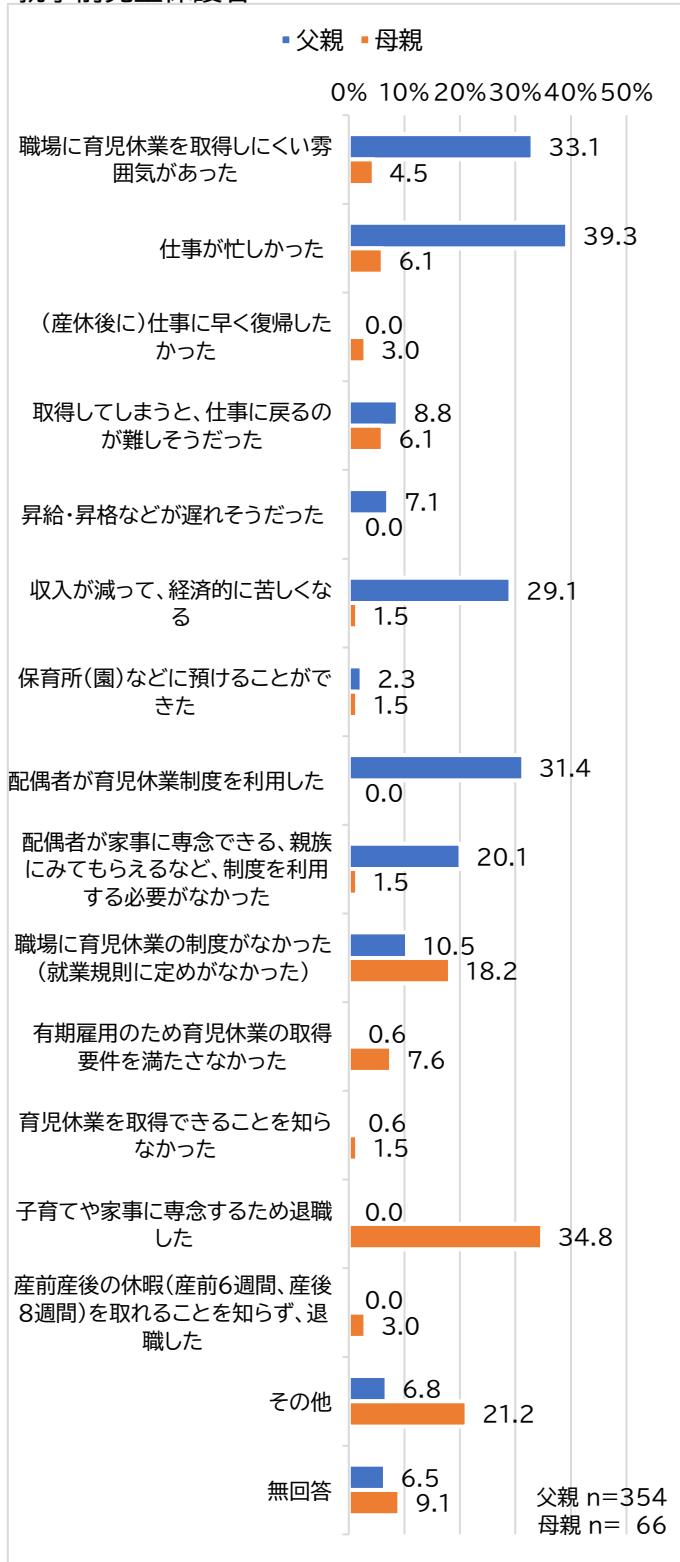


問4で「取得していない」に○をつけた方におうかがいします。

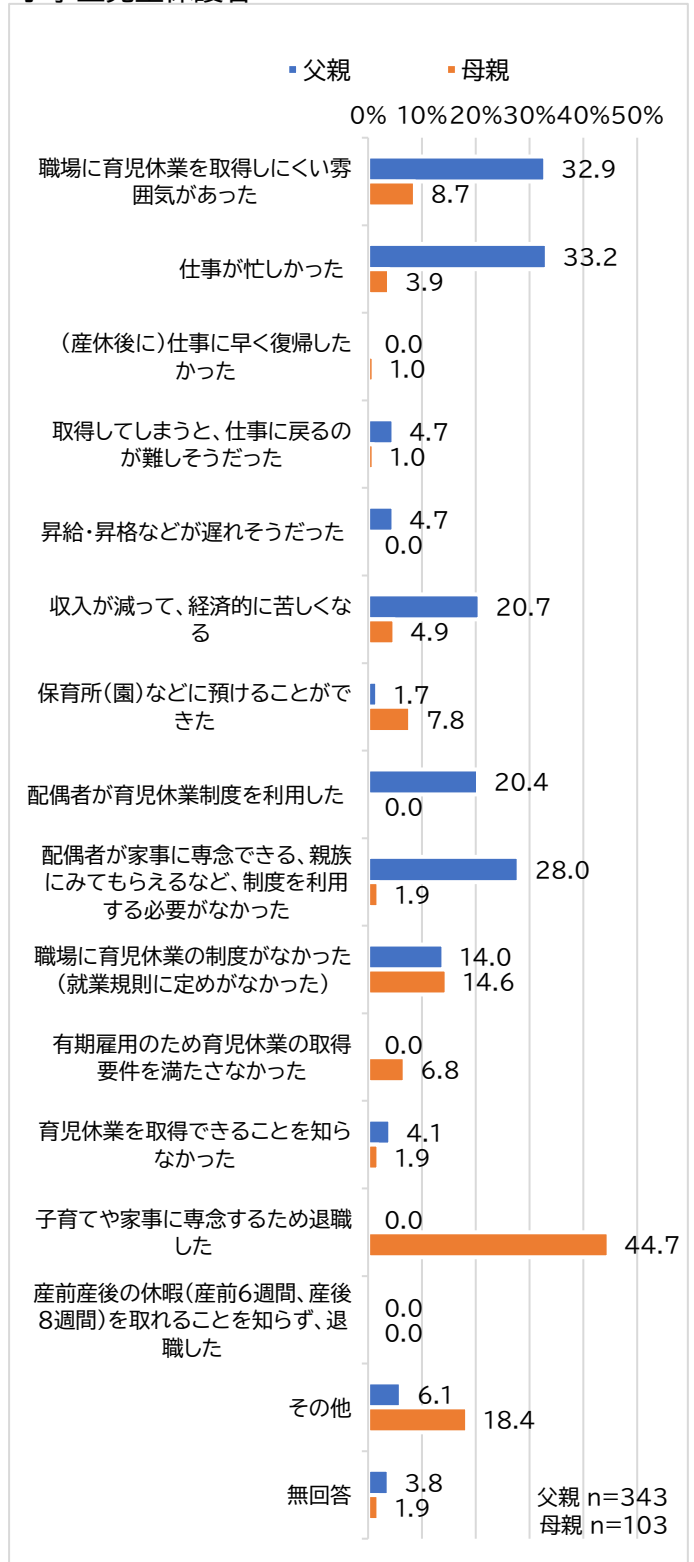
問4-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。(父母それぞれ○はいくつでも)

父親は「仕事が忙しかった」、母親は「子育てや家事に専念するために退職した」と答えた人が最も多くみられました。

就学前児童保護者



小学生児童保護者



問4-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。(父母それぞれ〇はいくつでも)

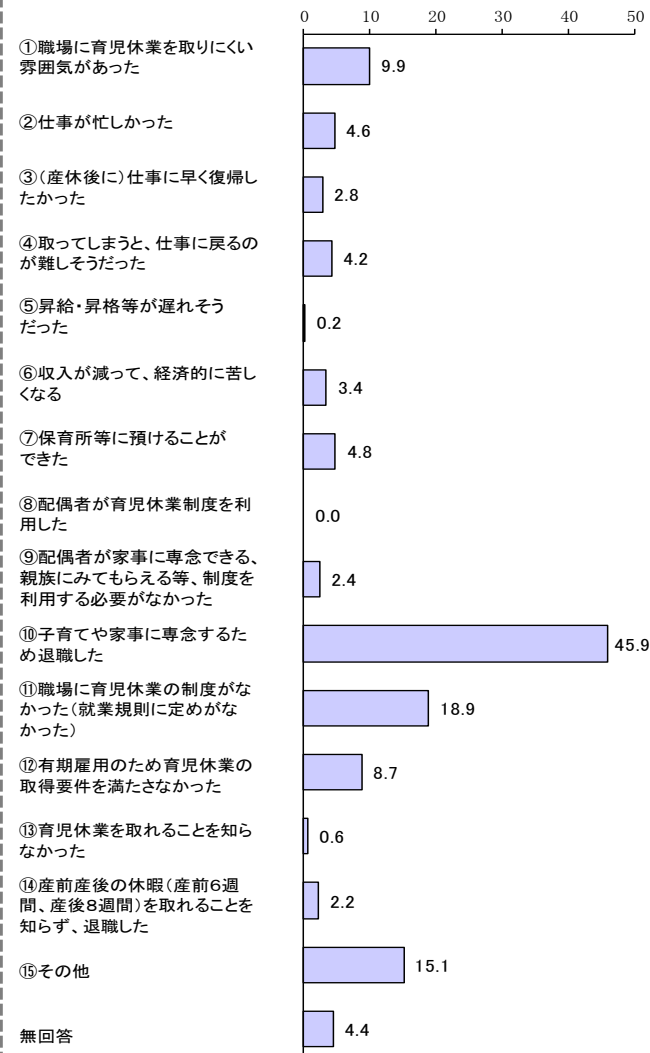
前回調査

就学前保護者

【母親】

回答者数 = 503

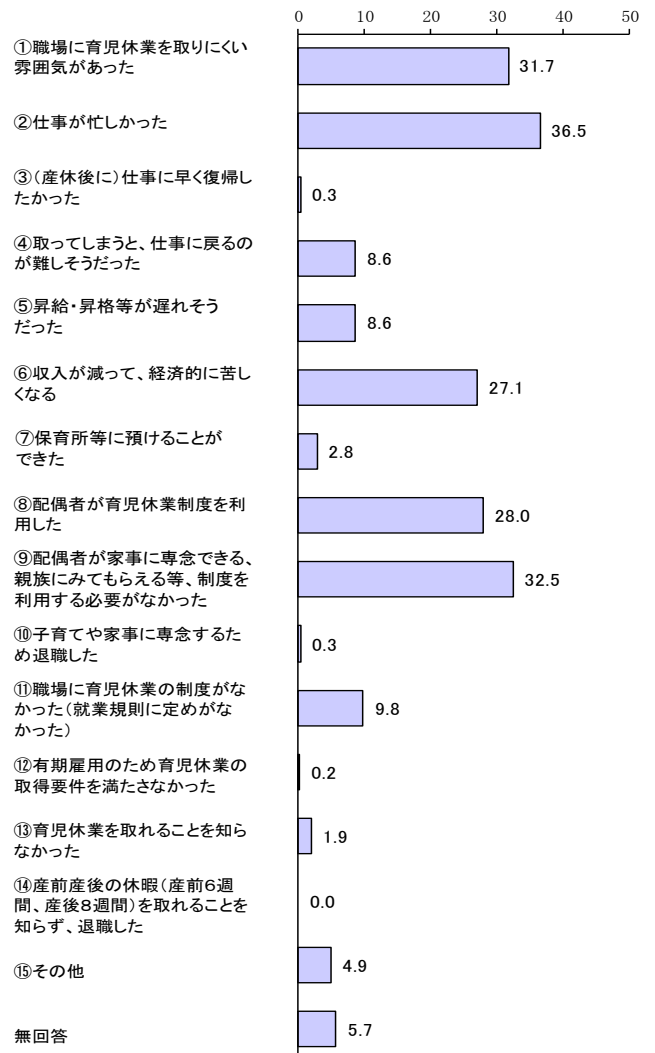
%



【父親】

回答者数 = 1,781

%

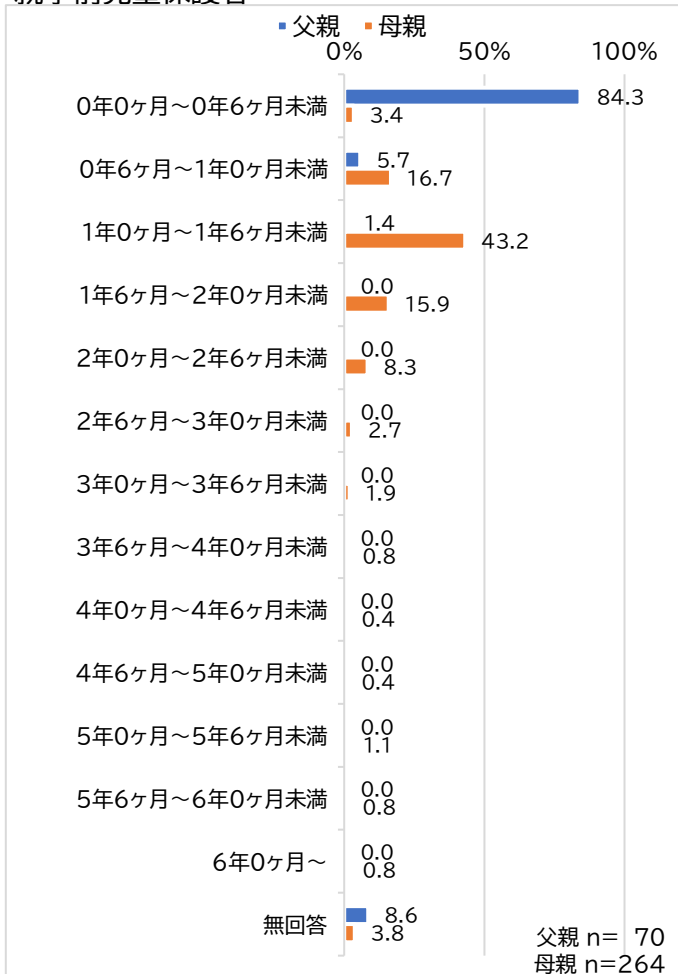


問4で「取得した(取得中である)」に○をつけた方におうかがいします。

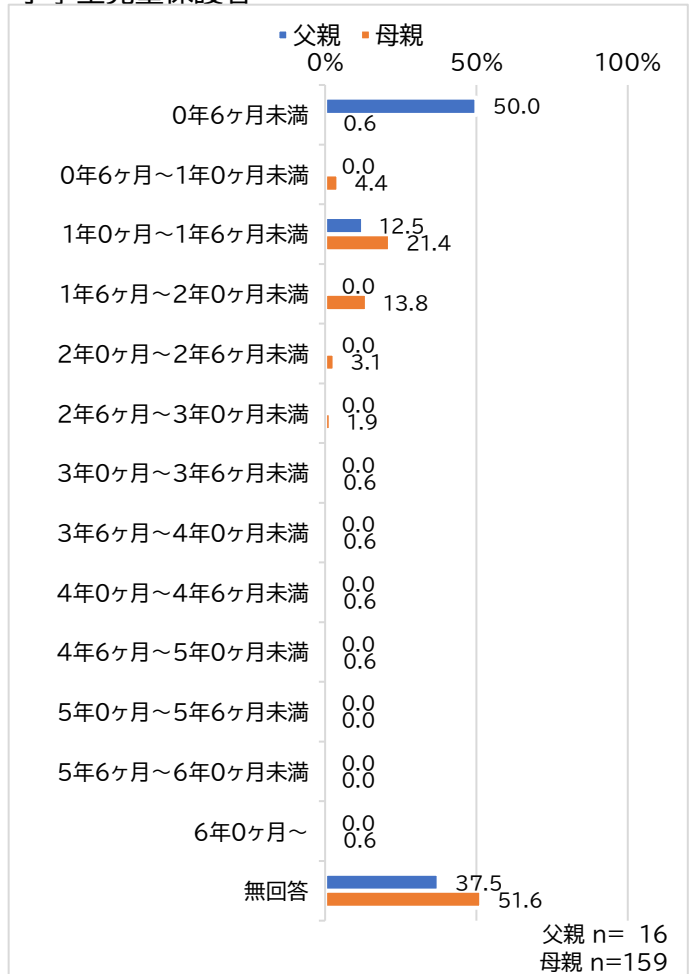
問4-2 育児休業を取得した期間を教えてください。取得中の方は、予定期間を教えてください。
(父母それぞれ)

いずれも父親は「6ヶ月未満」、母親は「1年～1年6ヶ月未満」と答えた人が最も多くなりました。

就学前児童保護者



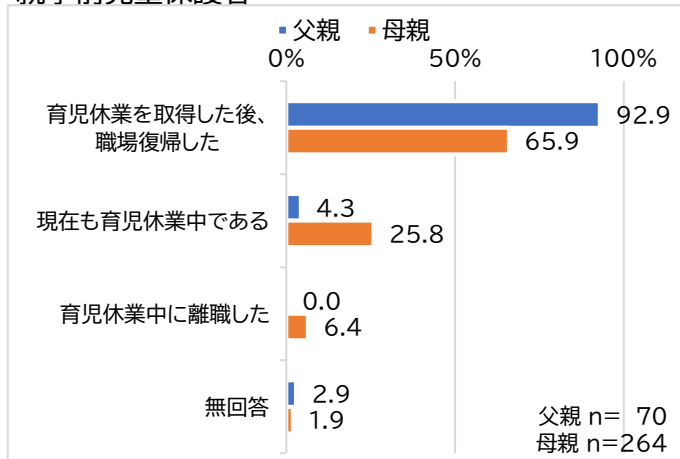
小学生児童保護者



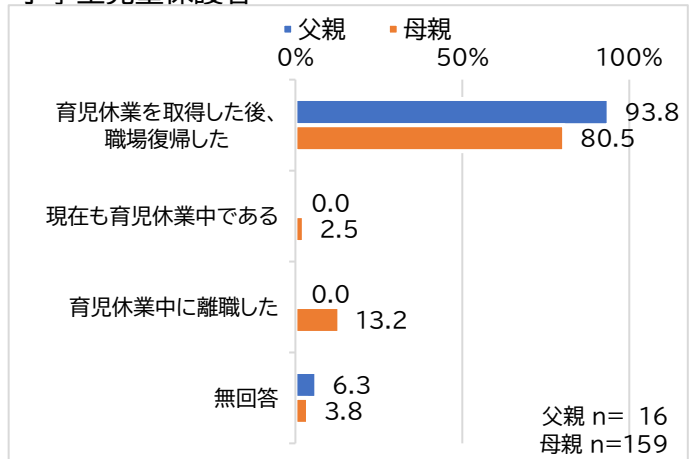
問4-3 育児休業を取得した後、職場に復帰しましたか。(父母それぞれ〇は1つ)

いずれも父母ともに「育児休業を取得した後、職場復帰した」の回答が最も多くなりました。

就学前児童保護者



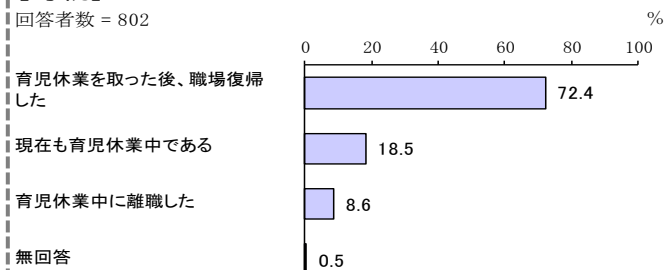
小学生児童保護者



前回調査

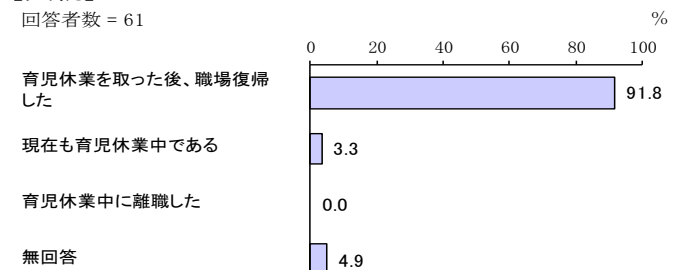
就学前保護者
【母親】

回答者数 = 802



【父親】

回答者数 = 61



問4-3で「育児休業を取得した後、職場復帰した」に○を付けた方におうかがいします。

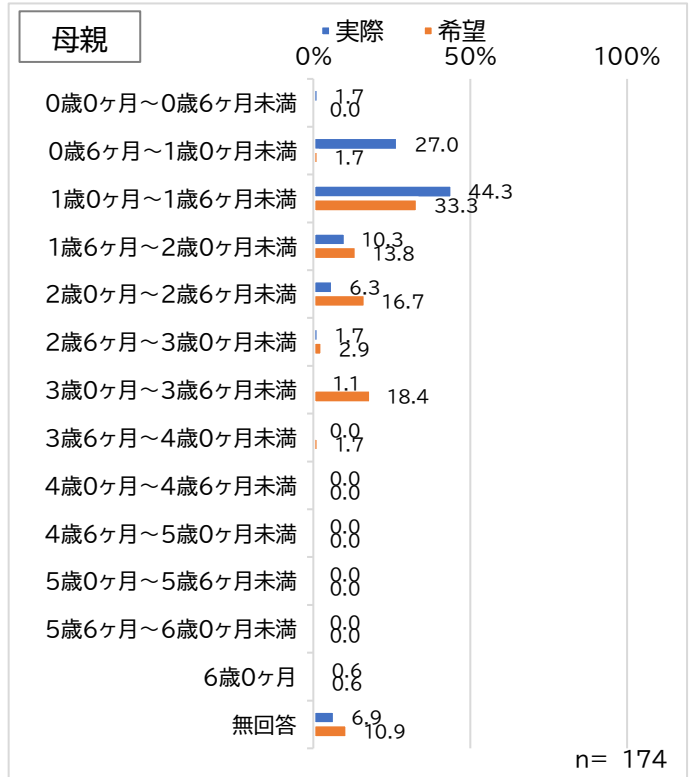
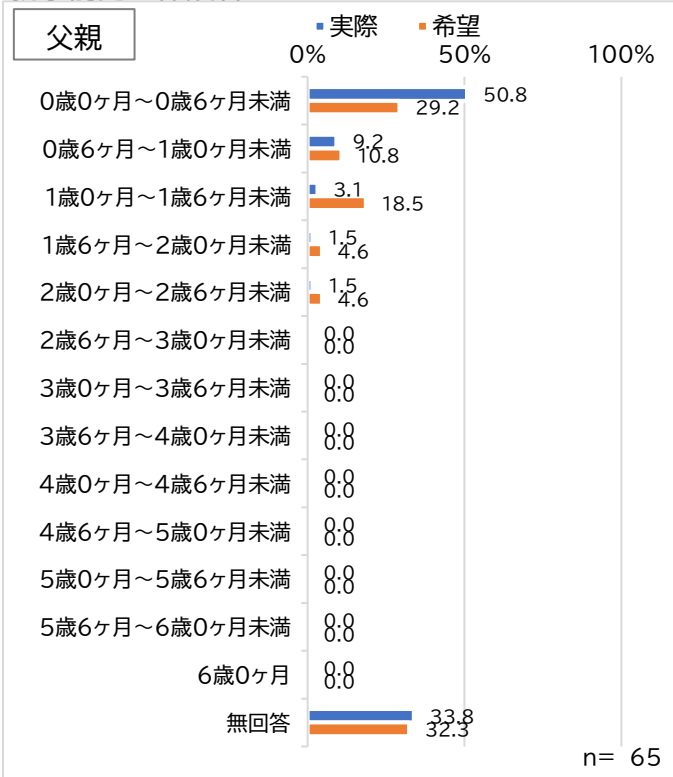
問4-4 実際にはお子さんが何歳の時に職場復帰しましたか。

また、希望は何歳まで取得したかったですか。()に数字を記入してください

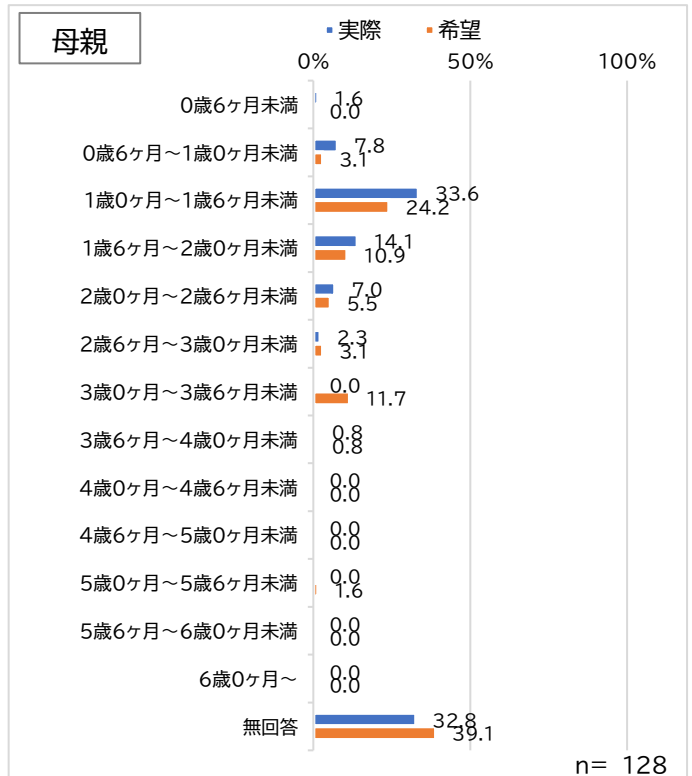
就学前児童保護者では、父親は実際、希望とも「6ヶ月未満」、母親は実際、希望とも「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も多く、小学生児童保護者では、父親は「6ヶ月未満」「1歳～1歳6ヶ月未満」が同じ割合、母親は「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も多くなりました。

前回調査と比べ、希望より早く職場復帰したと答えた人は、就学前児童保護者の母親で約8%増加しました。

就学前児童保護者



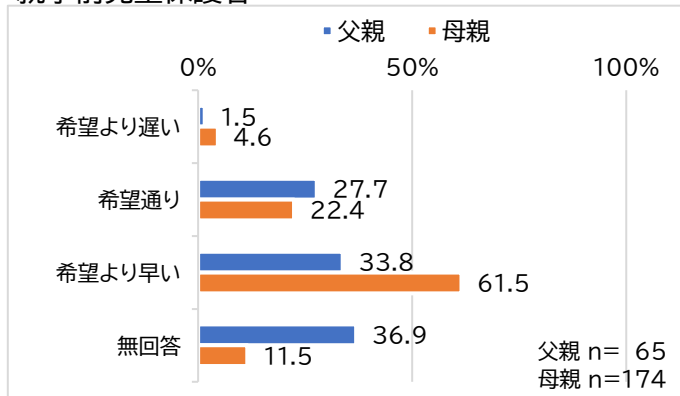
小学生児童保護者



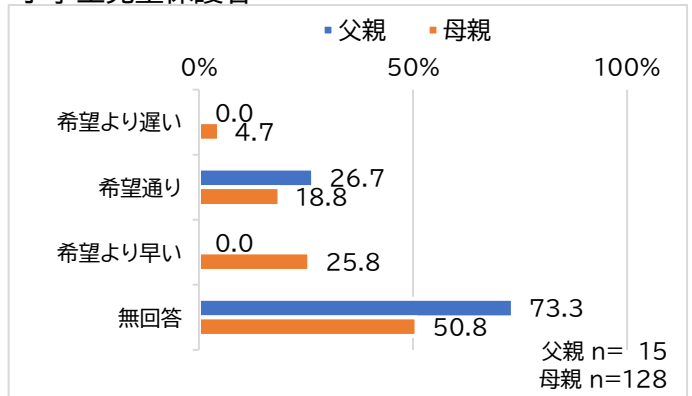
問4-4 実際にはお子さんが何歳の時に職場復帰しましたか。
また、希望は何歳まで取得したかったですか。(())に数字を記入してください

●実際と希望の差

就学前児童保護者

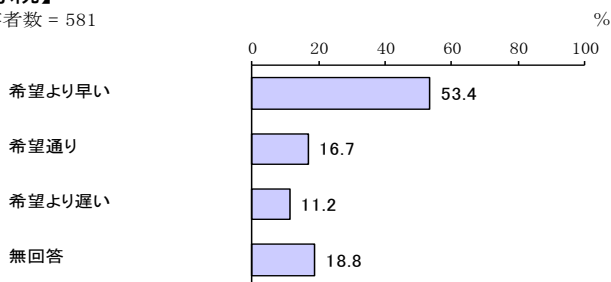


小学生児童保護者



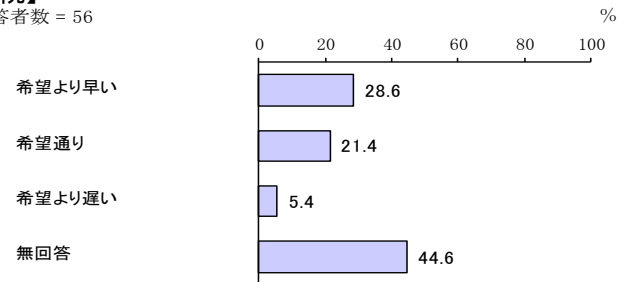
前回調査
就学前保護者
【母親】

回答者数 = 581



【父親】

回答者数 = 56



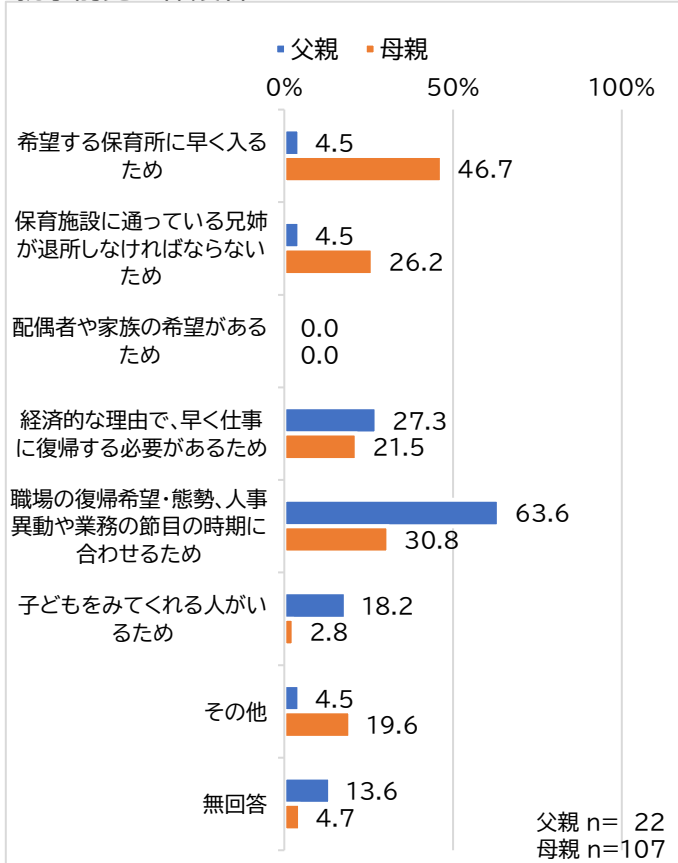
希望より早く仕事に復帰した方におうかがいします。

問4-5 希望より早く復帰した理由は何ですか。(父母それぞれ〇はいくつでも)

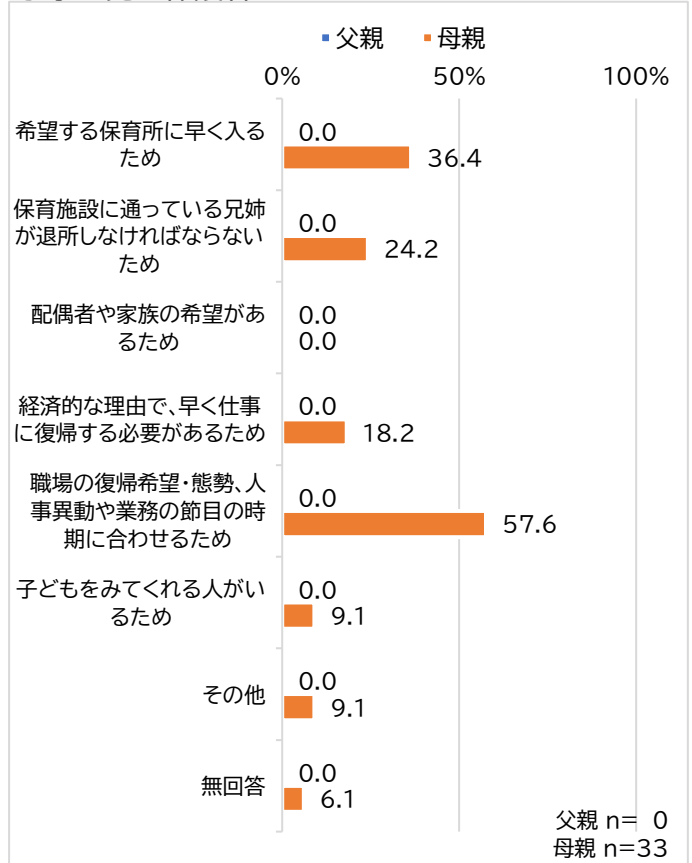
就学前児童保護者の父親は「職場の復帰希望・態勢、人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」と答えた人が最も多くなりました。母親は「希望する保育所に早く入るため」と答えた人が最も多く、前回調査よりも約12%増加しました。

小学生児童保護者の母親は「職場の復帰希望・態勢、人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が最も多く、半数以上が答えました。

就学前児童保護者

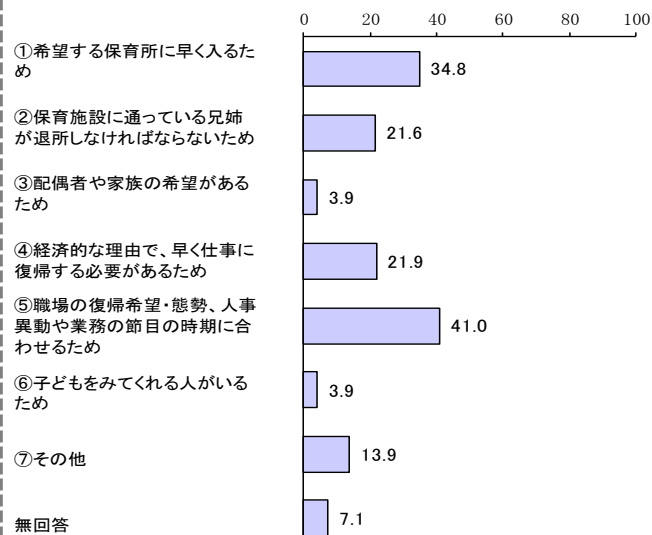


小学生児童保護者



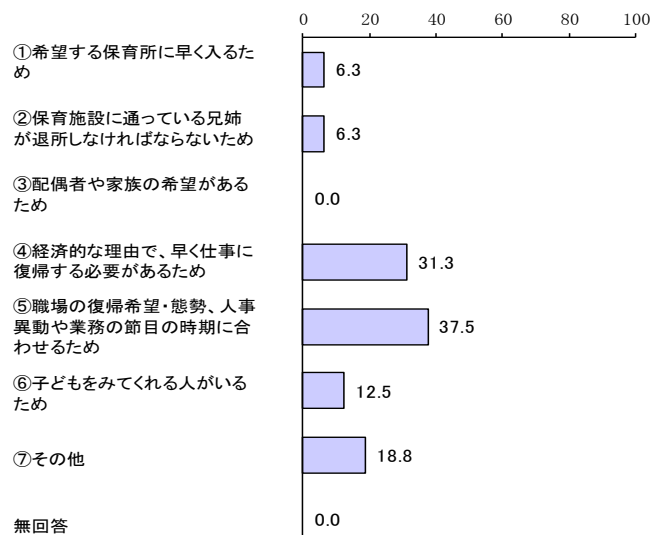
前回調査 就学前保護者 【母親】

回答者数 = 310



【父親】

回答者数 = 16

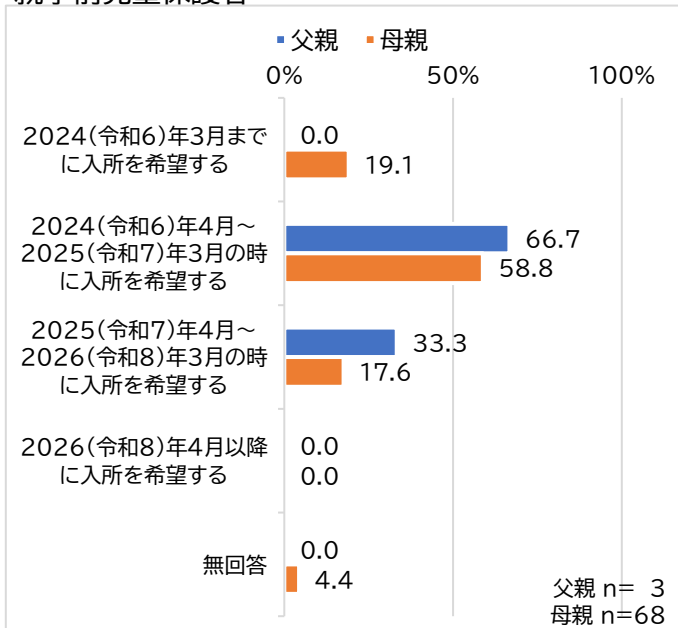


問4-3で「現在も育児休業中である」に○を付けた方におうかがいします。

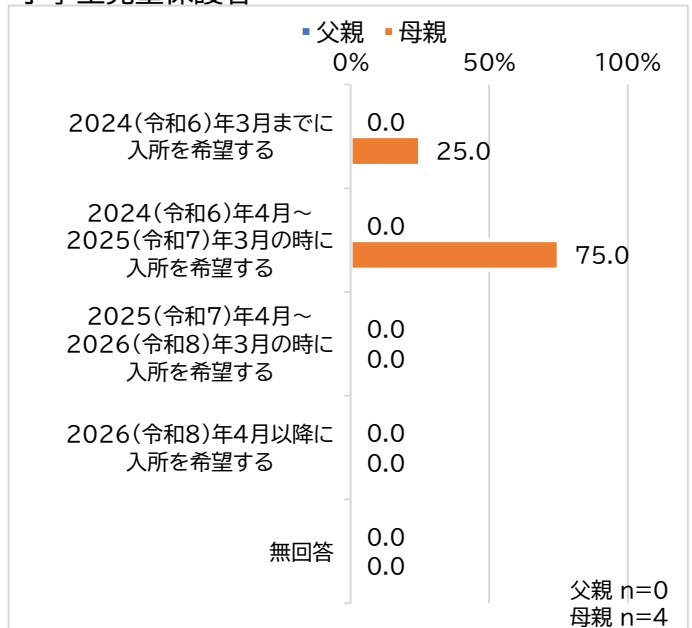
問4-6 もし希望する時期に、希望する保育施設に入れる場合、どの時期に保育施設への入所を希望しますか。(父母それぞれ○は1つ)

就学前児童保護者の母親は、半数以上が「2024(令和6)年4月～2025(令和7)年3月の時に入所を希望する」と答えました。今年の3月までの入所を希望する人は、前回調査と比べて7.3%減少しました。

就学前児童保護者

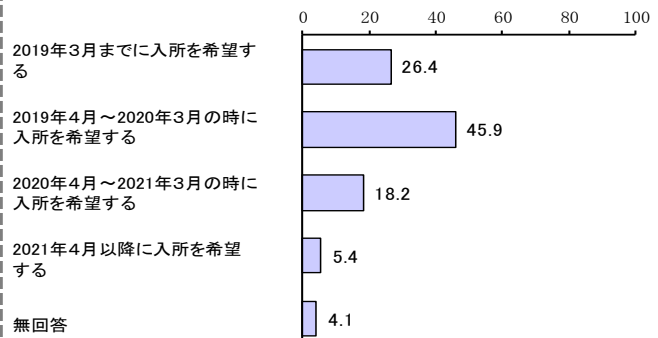


小学生児童保護者



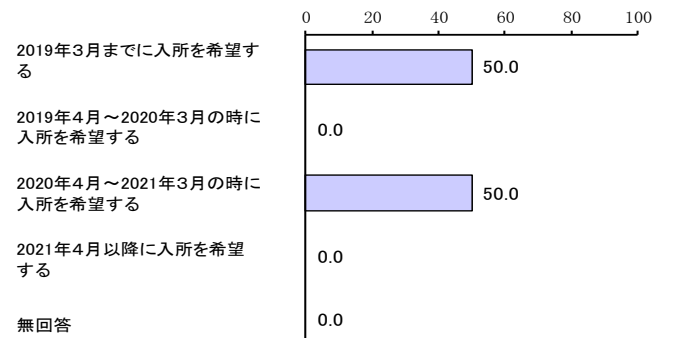
前回調査
就学前保護者
【母親】

回答者数 = 148



【父親】

回答者数 = 2



お子さんの幼稚園・保育所(園)子どもセンターなどの利用について

問5 ファミリーサポートセンター、子どもセンター、子育て支援センター等について、どの施設をどのくらい利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している(したい)ものをお答えください。利用している(したい)場合は、月ごとの利用日数、おおよその利用時間を記入してください。(利用時間は「18時」など24時間制で記入してください)

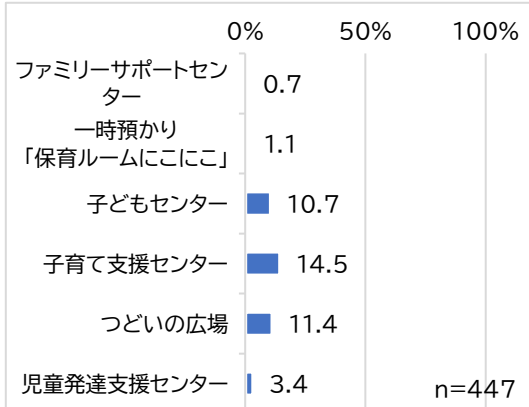
現在利用している施設は「子育て支援センター」が最も多く、今後の利用希望でも「子育て支援センター」が最も多くあげられました。

母親の就労状況別では、現在施設を利用している割合が多いのは「フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中)」「パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中)」「以前は働いていたが、現在は働いていない」と答えた人で、今後の希望では「フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中)」と答えた人が、他の区分と比べて、今後「子育て支援センター」を利用したいと考えている割合が多くなりました。

(1)現在の利用状況

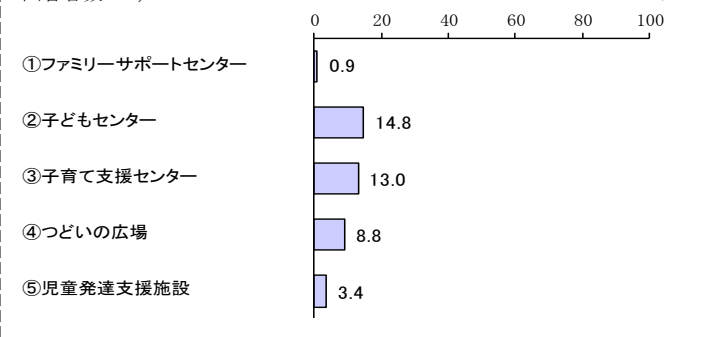
「子育て支援センター」が最も多く、次いで「つどいの広場」となりました。前回調査では「子どもセンター」が最も多かったですが、今回調査では3番目となっています。

就学前児童保護者



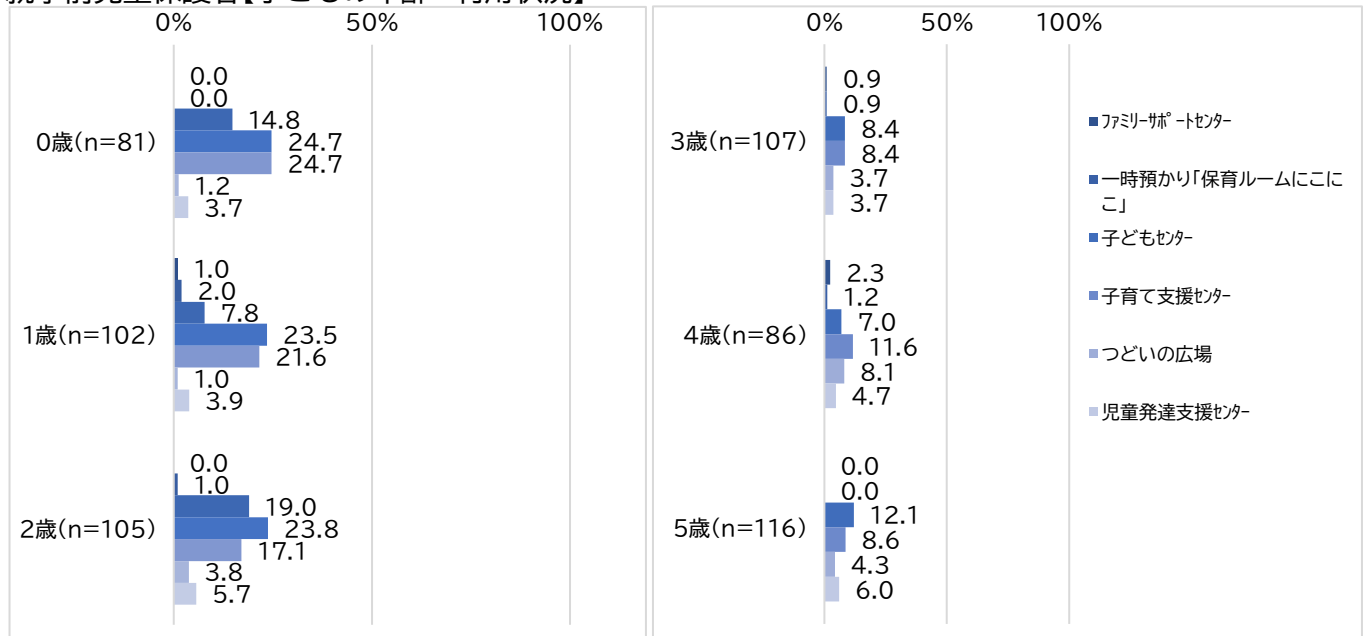
前回調査 就学前保護者

回答者数 = 1,944



子どもの年齢別にみると、0～1歳では「子育て支援センター」「つどいの広場」の利用が多く、2歳では「子育て支援センター」「子どもセンター」の利用が多くなっています。3～5歳では施設を利用している割合は減少しています。

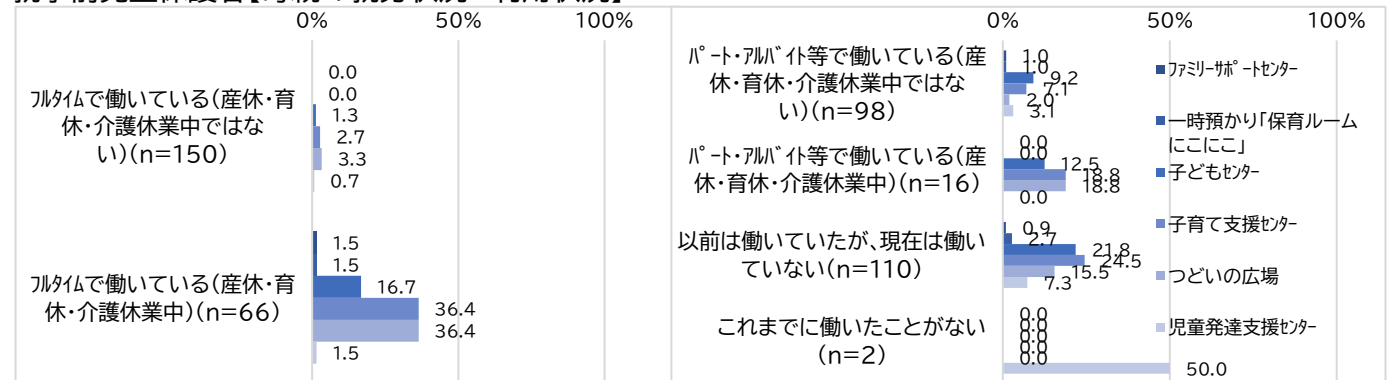
就学前児童保護者【子どもの年齢×利用状況】



問5 ファミリーサポートセンター、子どもセンター、子育て支援センター等について、どの施設をどのくらい利用していますか。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中)」「パート・アルバイト等で働いている(産休・育休・介護休業中)」「以前は働いていたが、現在は働いていない」と回答した人が施設を利用している割合が多くなっています。

就学前児童保護者【母親の就労状況×利用状況】



月あたりの利用日数

	回答者数	1～4日	5～7日	8～14日	15日～	無回答
ファミリーサポートセンター	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
一時預かり「保育ルームにここ」	5	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0
子どもセンター	48	64.6	6.3	8.3	4.2	16.7
子育て支援センター	65	56.9	16.9	9.2	1.5	15.4
つどいの広場	51	66.7	13.7	7.8	3.9	7.8
児童発達支援センター	15	66.7	13.3	0.0	0.0	20.0

利用開始時間

	回答者数	8時より前	9時から	10時から	11時から	12時から	13時から	14時から	15時から	無回答
ファミリーサポートセンター	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
一時預かり「保育ルームにここ」	5	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
子どもセンター	48	0.0	27.1	37.5	0.0	0.0	4.2	2.1	0.0	29.2
子育て支援センター	65	0.0	29.2	32.3	0.0	0.0	9.2	4.6	0.0	24.6
つどいの広場	51	0.0	9.8	45.1	9.8	0.0	11.8	2.0	0.0	21.6
児童発達支援センター	15	0.0	33.3	13.3	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	33.3

利用終了時間

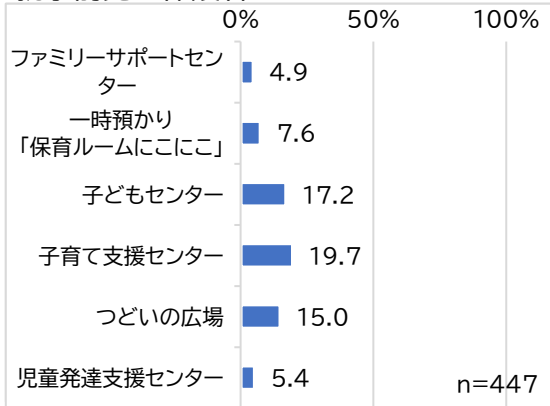
	回答者数	11時より前	12時まで	13時まで	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	無回答
ファミリーサポートセンター	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
一時預かり「保育ルームにここ」	5	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
子どもセンター	48	21.5	9.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	67.7
子育て支援センター	65	43.1	15.4	0.0	1.5	12.3	1.5	0.0	26.2
つどいの広場	51	21.6	33.3	2.0	2.0	17.6	2.0	0.0	21.6
児童発達支援センター	15	40.0	0.0	0.0	0.0	13.3	13.3	0.0	33.3

問5 ファミリーサポートセンター、子どもセンター、子育て支援センター等について、どの施設をどのくらい利用していますか。

(2)今後の希望

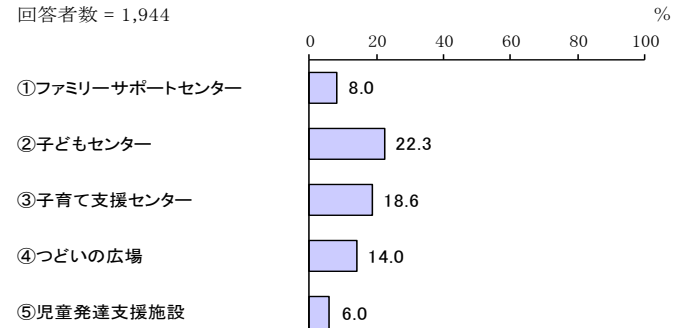
「子育て支援センター」が最も多く、次いで「子どもセンター」となりました。

就学前児童保護者



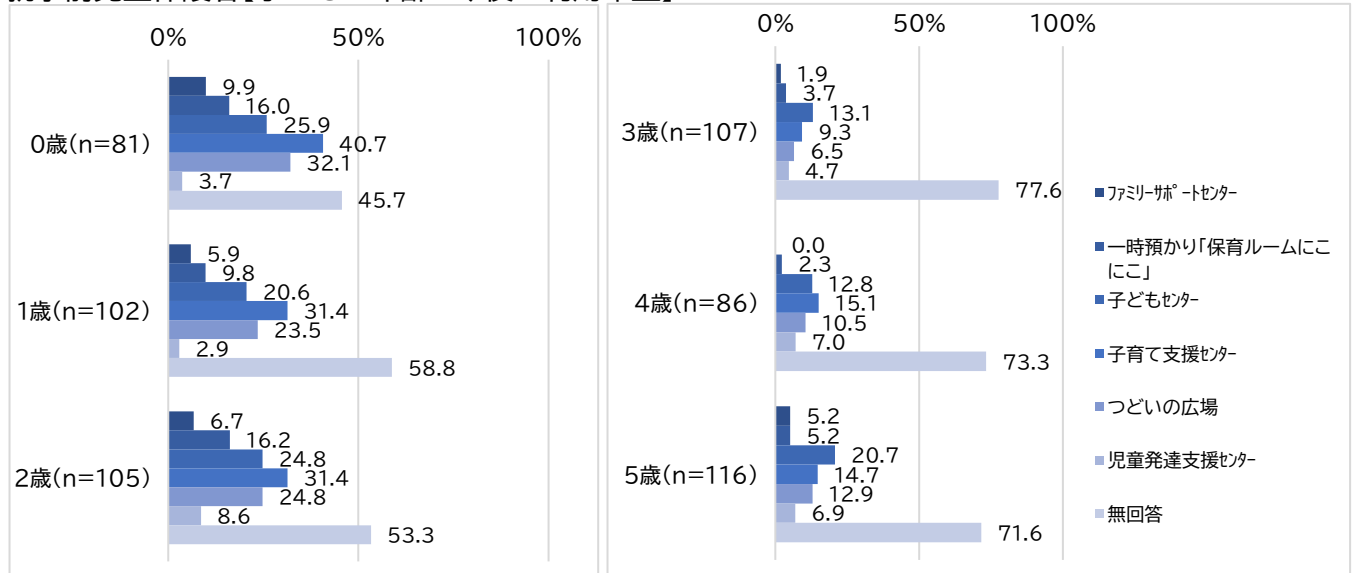
前回調査 就学前保護者

回答者数 = 1,944



年齢別にみると、0～2歳と4歳では「子育て支援センター」が最も多く、3歳と5歳では「子どもセンター」が最も多くなっています。

就学前児童保護者【子どもの年齢×今後の利用希望】

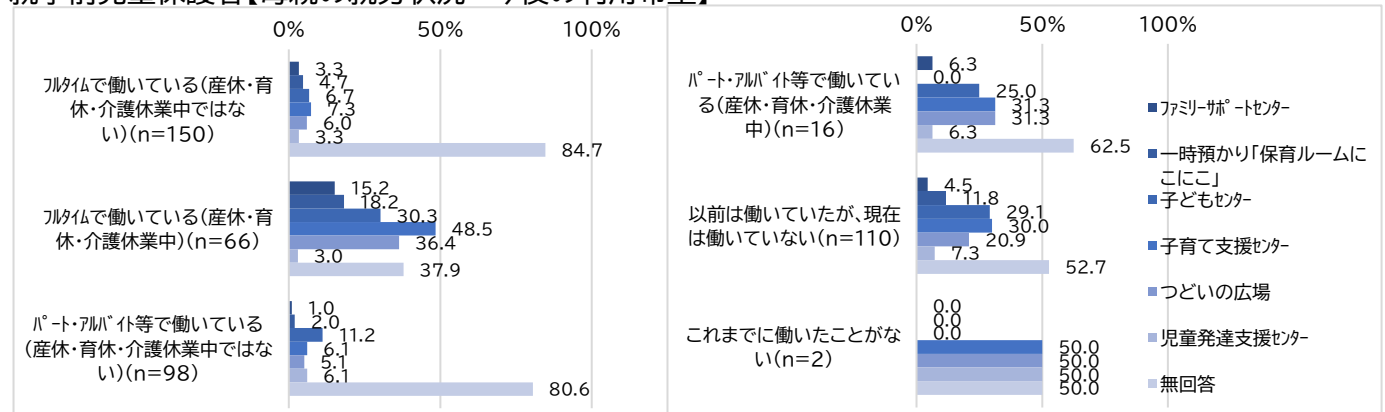


1. 保護者を対象とした調査 ①ニーズ調査

問5 ファミリーサポートセンター、子どもセンター、子育て支援センター等について、どの施設をどのくらい利用していますか。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで働いている(産休・育休・介護休業中)」の人は、他の区分と比べて、今後「子育て支援センター」を利用したいと考えている割合が最も多くなりました。

就学前児童保護者【母親の就労状況×今後の利用希望】



月あたりの利用日数

	回答者数	1～4日	5～7日	8～14日	15日～	無回答
ファミリーサポートセンター	22	50.0	0.0	9.1	0.0	40.9
一時預かり「保育ルームにこにこ」	34	64.7	0.0	8.8	0.0	26.5
子どもセンター	77	55.8	5.2	9.1	2.6	27.3
子育て支援センター	88	52.3	12.5	9.1	1.1	25.0
つどいの広場	67	56.7	10.4	9.0	1.5	22.4
児童発達支援センター	24	29.2	4.2	4.2	0.0	62.5

利用開始時間

	回答者数	8時より前	9時から	10時から	11時から	12時から	13時から	14時から	15時から	16時から	17時から	無回答
ファミリーサポートセンター	22	13.6	13.6	9.1	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	45.5
一時預かり「保育ルームにこにこ」	34	8.8	32.4	23.5	2.9	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	26.5
子どもセンター	77	2.6	23.4	27.3	0.0	0.0	6.5	3.9	1.3	0.0	0.0	35.1
子育て支援センター	88	1.1	26.1	25.0	0.0	2.3	5.7	2.3	0.0	0.0	0.0	37.5
つどいの広場	67	1.5	17.9	32.8	1.5	1.5	7.5	3.0	0.0	0.0	0.0	34.3
児童発達支援センター	24	4.2	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	70.8

利用終了時間

	回答者数	11時より前	12時まで	13時まで	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	無回答
ファミリーサポートセンター	22	4.5	0.0	0.0	4.5	18.2	9.1	4.5	13.6	45.5
一時預かり「保育ルームにこにこ」	34	2.9	5.9	17.6	5.9	17.6	8.8	8.8	5.9	26.5
子どもセンター	77	22.1	22.1	0.0	2.6	10.4	3.9	2.6	1.3	35.1
子育て支援センター	88	23.9	22.7	0.0	1.1	10.2	3.4	0.0	1.1	37.5
つどいの広場	67	13.4	31.3	1.5	3.0	14.9	1.5	0.0	0.0	34.3
児童発達支援センター	24	8.3	4.2	0.0	4.2	4.2	8.3	0.0	0.0	70.8

問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している(したい)ものについて、お子さんの年齢(2023(令和5)年4月1日現在)の欄に、下表の選択肢1～13より、利用のあるものを1つ番号でお書きください。利用している(したい)場合は、おおよその利用時間を記入してください。(利用時間は「18時」など24時間制で記入してください)
1つの年齢に2人以上いる場合は、上の子のみについてお書きください。

現在「近江八幡市内の認可保育所(園)」を利用している人は、1～4歳のお子さんが多く、今後の希望では、1～4歳に加えて、0歳のお子さんの利用希望も多くみられました。

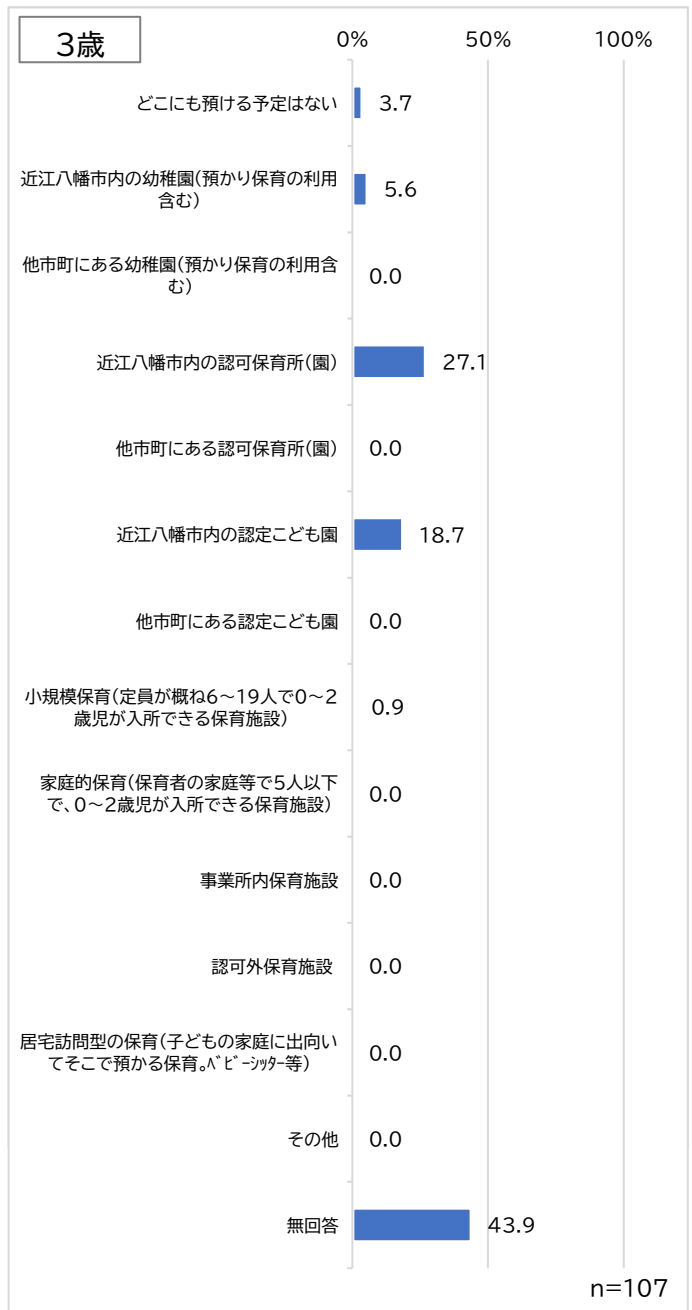
就学前児童保護者

(1)現在の利用状況

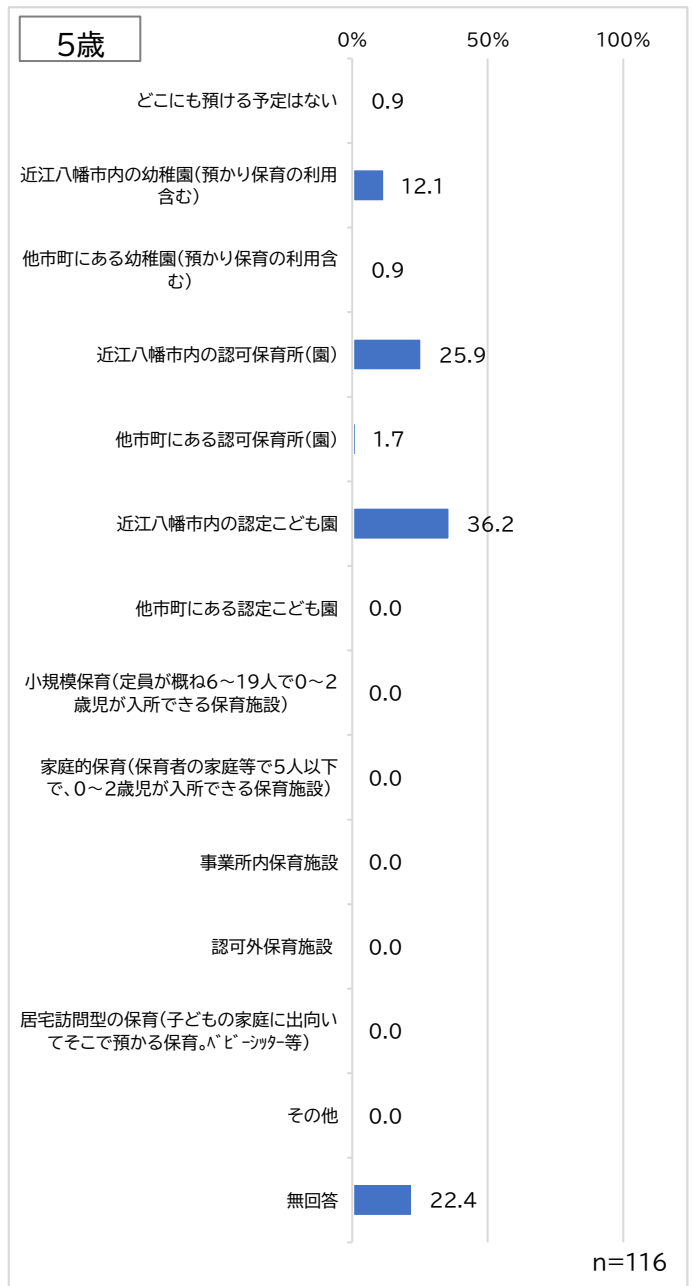
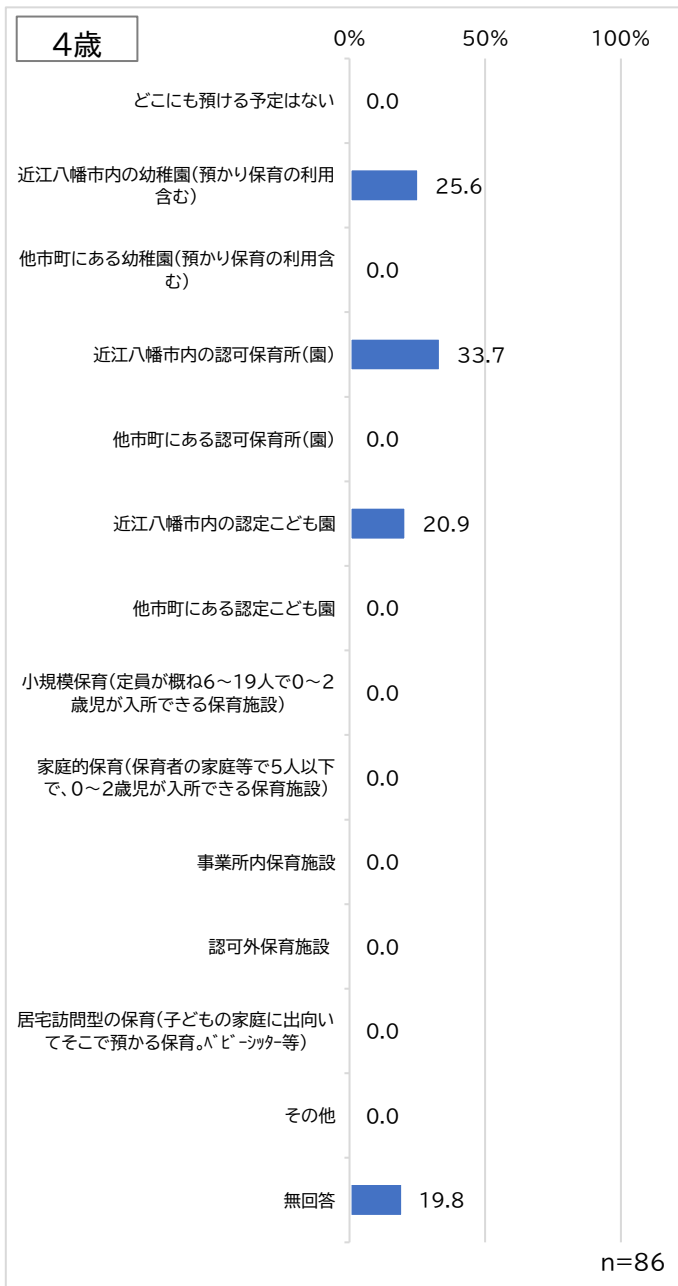
現在の利用状況は、0歳と5歳では「近江八幡市内の認定こども園」が最も多く、1～4歳では「近江八幡市内の認可保育所(園)」が最も多くなっています。



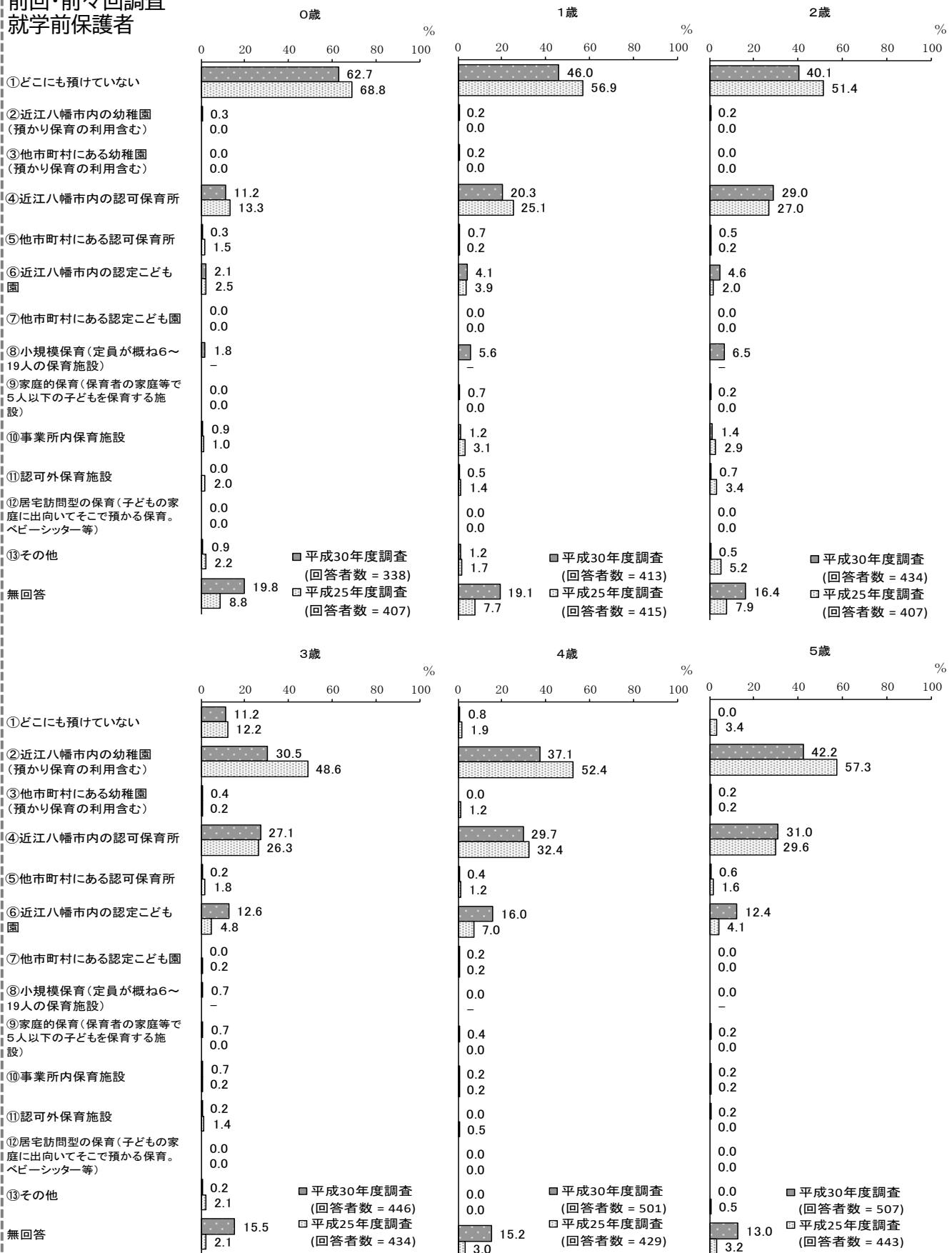
問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。



問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。



問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。

前回・前々回調査
就学前保護者

※前回調査の選択肢「どこにも預けていない」は、今回調査では「どこにも預ける予定はない」に変更しています。

問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。

利用開始時間

	回答者数	7時から	8時から	9時から	10時から	無回答
0歳	12	33.3	33.3	8.3	0.0	25.0
1歳	27	14.8	55.6	22.2	0.0	7.4
2歳	32	15.6	53.1	28.1	0.0	3.1
3歳	56	16.1	48.2	33.9	0.0	1.8
4歳	69	4.3	47.8	43.5	0.0	4.3
5歳	89	0.0	9.0	41.6	47.2	0.0

利用終了時間

	回答者数	11時より前	12時まで	13時まで	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	20時まで	無回答
0歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	41.7	0.0	0.0	25.0
1歳	27	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	25.9	29.6	37.0	0.0	0.0	3.7
2歳	32	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	21.9	31.3	43.8	0.0	0.0	0.0
3歳	56	0.0	0.0	3.6	16.1	0.0	17.9	26.8	30.4	3.6	0.0	1.8
4歳	69	0.0	0.0	1.4	34.8	0.0	14.5	24.6	18.8	0.0	1.4	4.3
5歳	89	1.1	0.0	2.2	37.1	1.1	13.5	19.1	23.6	0.0	0.0	2.2

問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。

(2)今後の利用希望

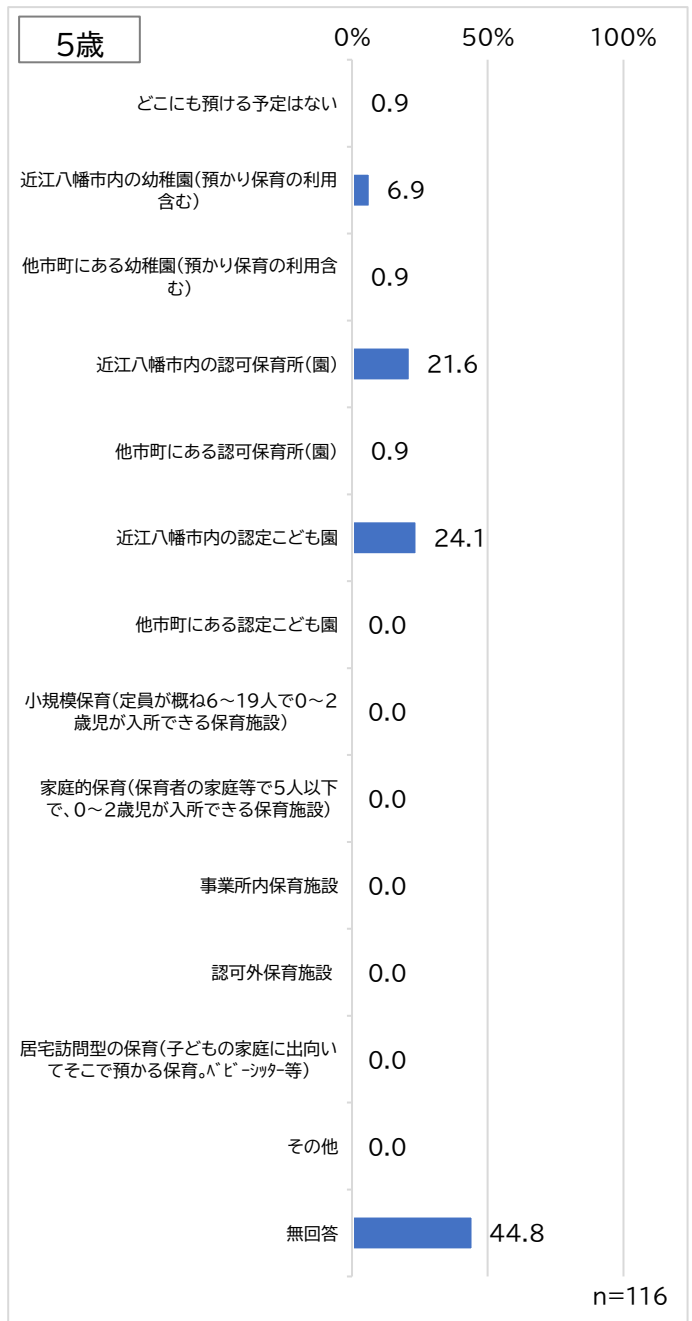
今後の希望では、0～4歳で「近江八幡市内の認可保育所(園)」の希望が最も多くみられました。



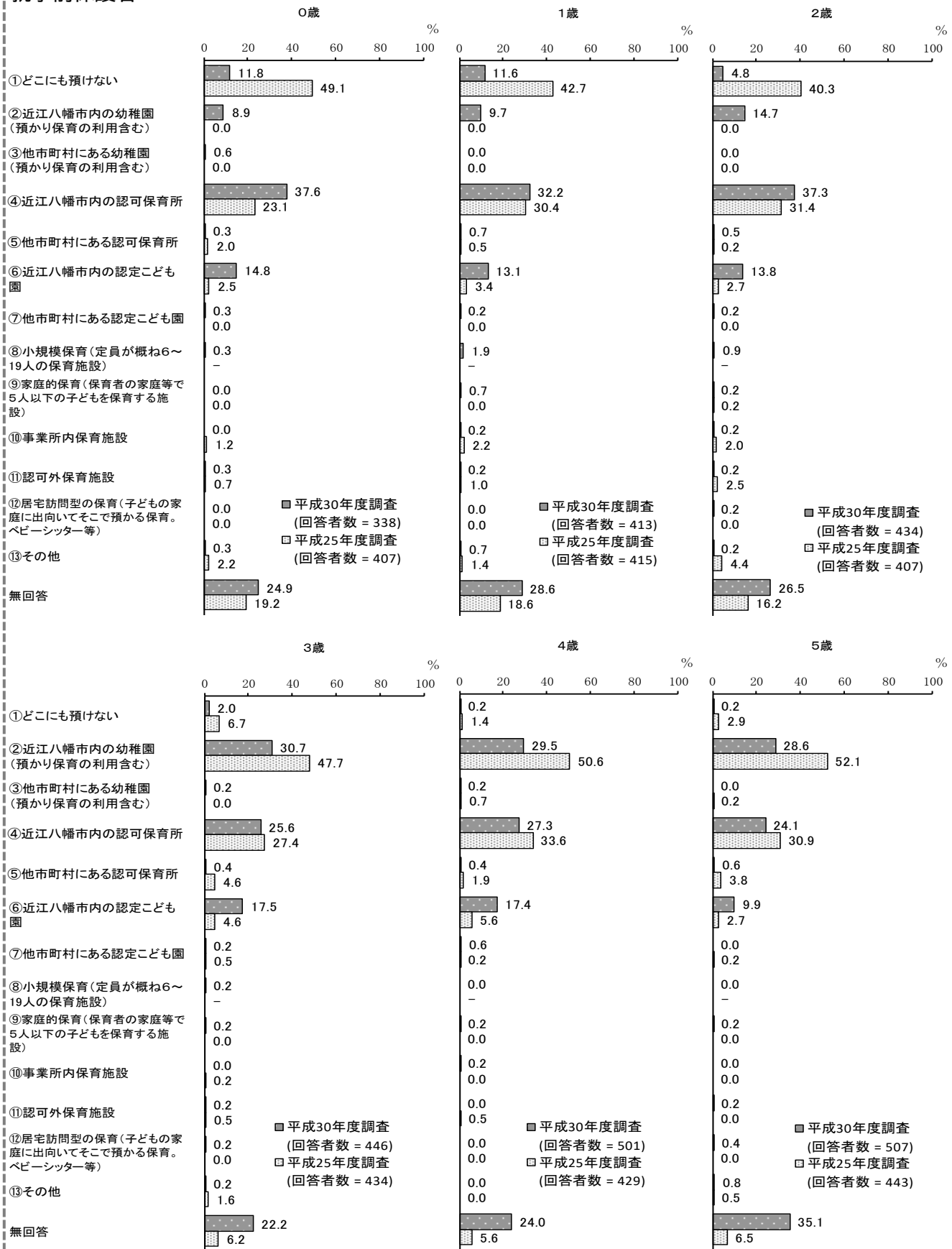
問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。



問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。



問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。

前回・前々回調査
就学前保護者

問6 お子さんは、幼稚園・保育所(園)等の内、どの施設を利用していますか。

利用開始時間

	回答者数	7時から	8時から	9時から	10時から	11時から	12時から	13時から	14時から	無回答
0歳	20	30.0	55.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
1歳	34	8.8	61.8	14.7	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
2歳	32	21.9	53.1	18.8	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
3歳	46	13.0	43.5	34.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	6.5
4歳	50	6.0	52.0	36.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
5歳	63	11.1	54.0	31.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2

利用終了時間

	回答者数	13時まで	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	20時まで	無回答
0歳	20	0.0	0.0	0.0	5.0	25.0	45.0	15.0	0.0	10.0
1歳	34	0.0	2.9	2.9	14.7	32.4	32.4	2.9	0.0	11.8
2歳	32	0.0	9.4	3.1	15.6	21.9	37.5	9.4	0.0	3.1
3歳	46	4.3	21.7	4.3	15.2	15.2	26.1	6.5	0.0	6.5
4歳	50	2.0	22.0	0.0	12.0	30.0	24.0	2.0	2.0	6.0
5歳	63	3.2	23.8	1.6	12.7	27.0	27.0	1.6	0.0	3.2

問7 幼稚園や保育所などを選ぶ場合に大切にする(した)点は何ですか。あてはまるものを最大5つまで選んでください。(現在、これらの施設を利用しているお子さんがおられない方も、大切だと思うものを選んでください。)

「自宅から近い」が最も多く77.2%が答えました。次いで「園全体の雰囲気がいよい」、「入学する小学校区にある」が多く、40%以上が答えています。

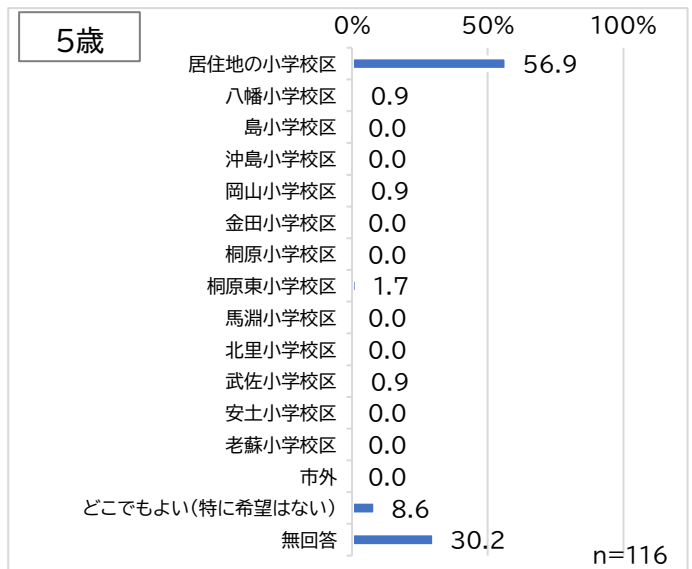
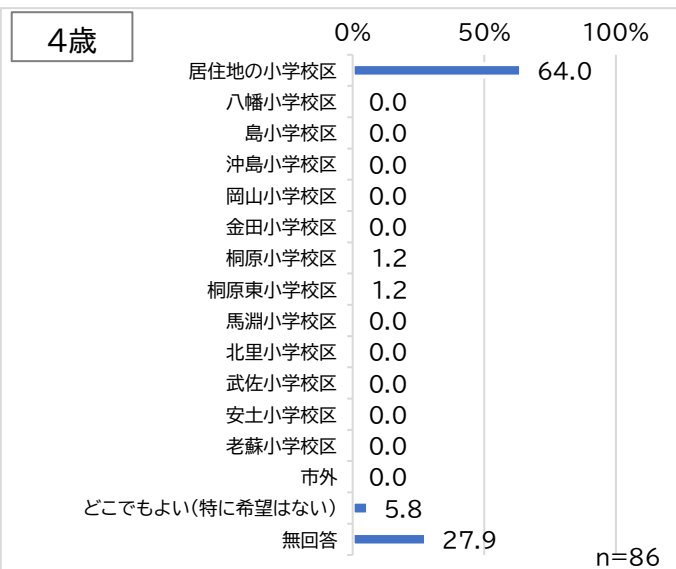
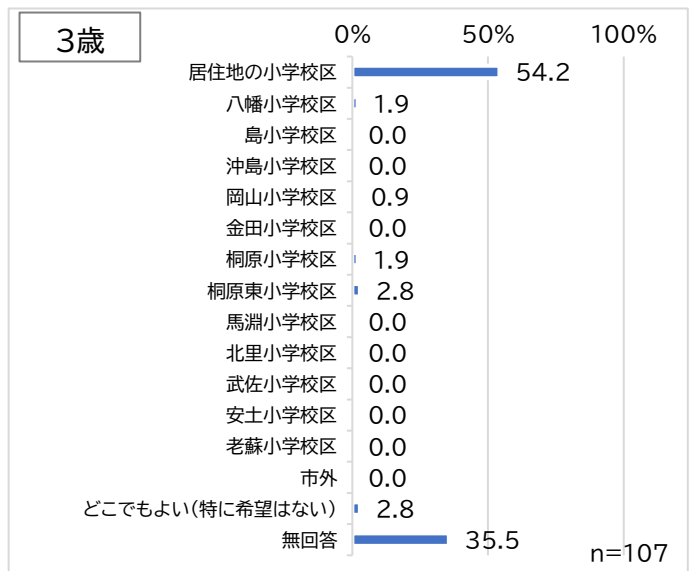
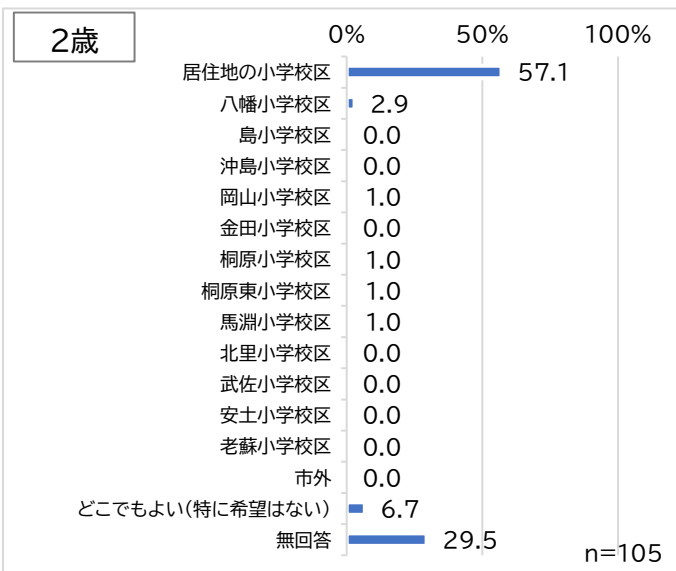
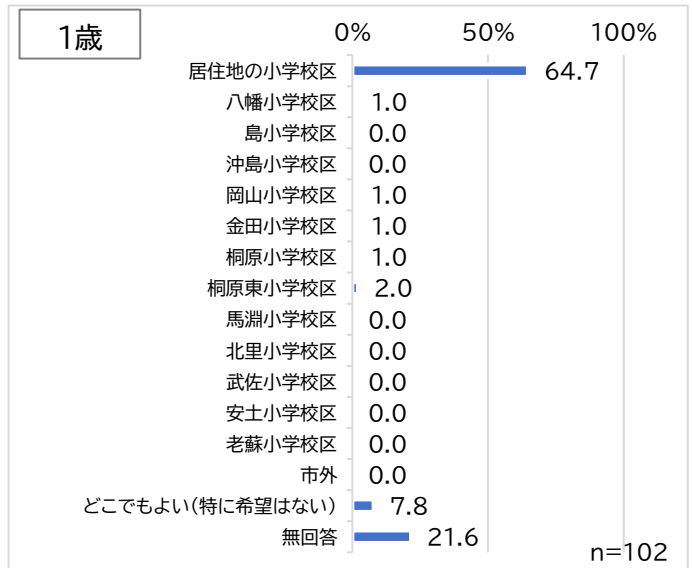
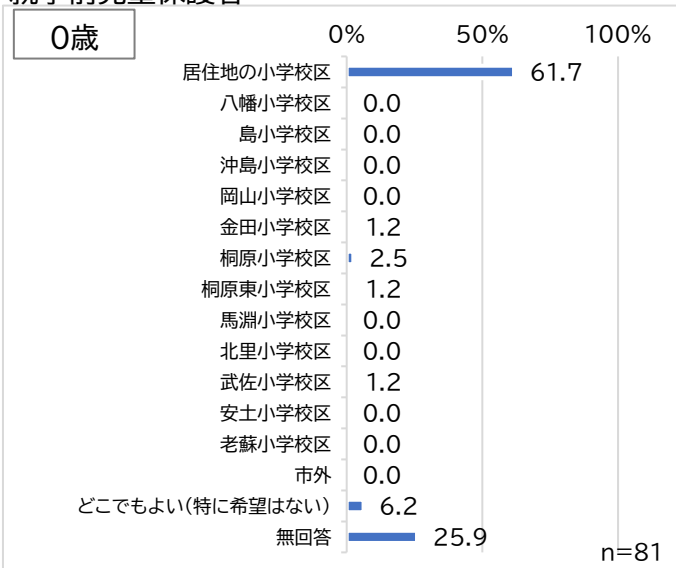
就学前児童保護者



問8 現在預けている保育施設と違う小学校区の施設に預けたい希望はありますか。また、現在預けていないお子さんについては、どこの小学校区の施設に預けたいですか。

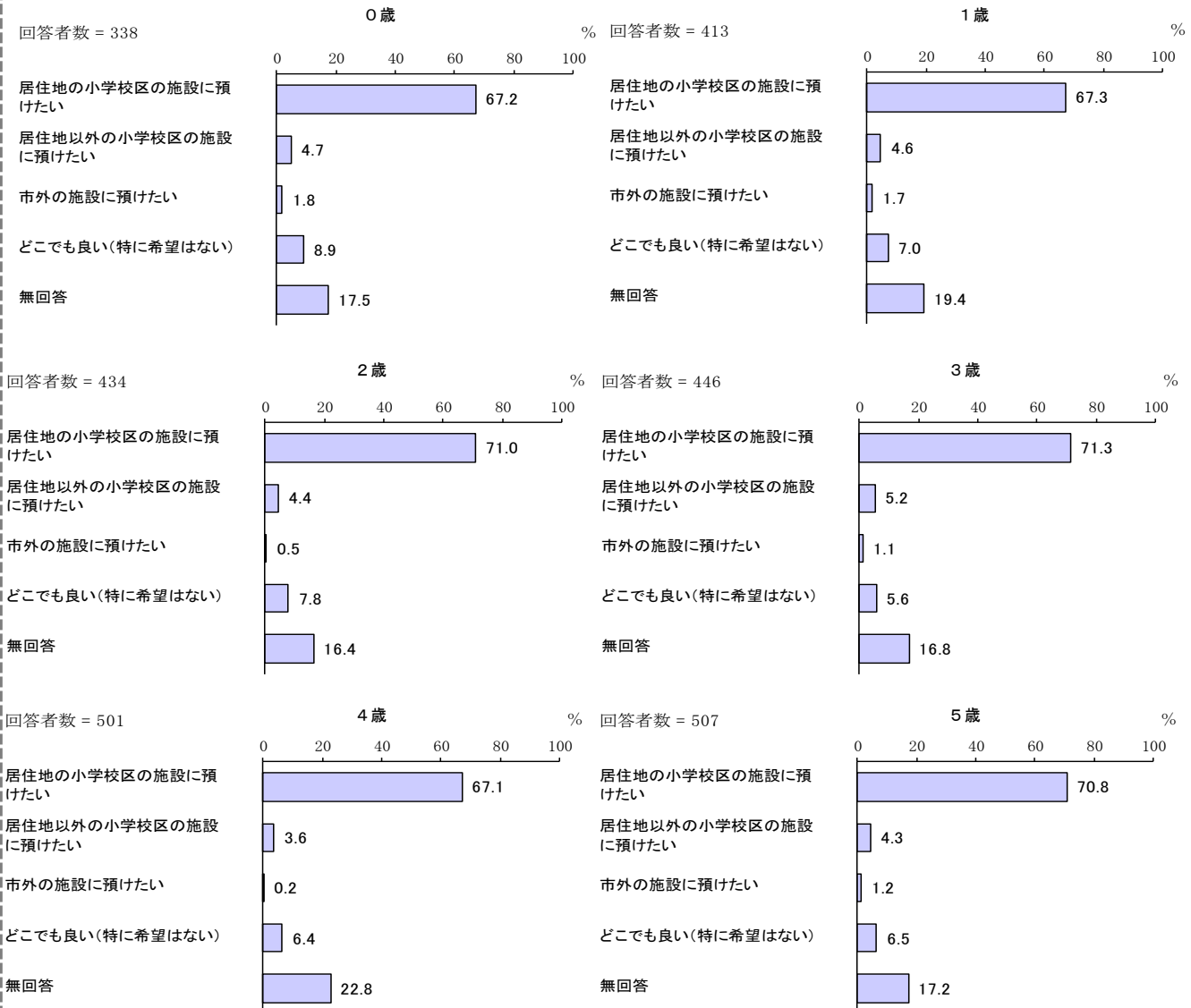
いずれの年齢も前回調査と同様に「居住地の小学校区」が最も多くなっています。

就学前児童保護者



問8 現在預けている保育施設と違う小学校区の施設に預けたい希望はありますか。また、現在預けていないお子さんについては、どこの小学校区の施設に預けたいですか。

前回調査 就学前保護者



問8 現在預けている保育施設と違う小学校区の施設に預けたい希望はありますか。また、現在預けていないお子さんについては、どこの小学校区の施設に預けたいですか。

●「居住地以外の小学校区の施設に預けたい」と答えた人の預けたい小学校区

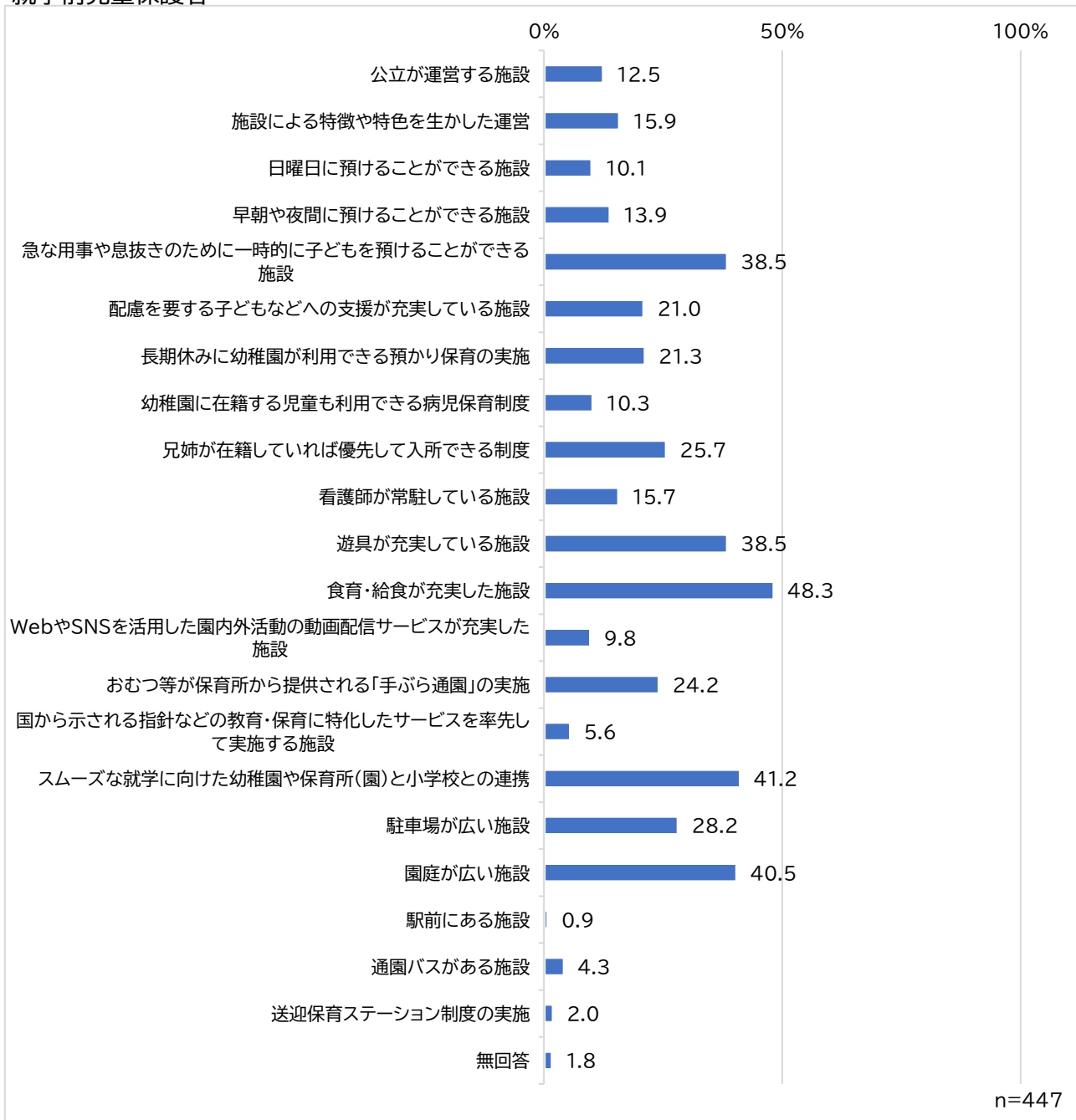
居住地以外の小学校区に預けたいと答えた人が多いのは「八幡」「桐原」「桐原東」でした。

学区	回答者数	八幡小学校区	島小学校区	沖島小学校区	岡山小学校区	金田小学校区	桐原小学校区	桐原東小学校区	馬淵小学校区	北里小学校区	武佐小学校区	安土小学校区	老蘇小学校区
八幡	3.0		0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
島	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
沖島	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岡山	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金田	3.0	66.7	0.0	0.0	0.0		0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
桐原	9.0	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0		55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
桐原東	6.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3		16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
馬淵	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
北里	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
武佐	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
安土	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		0.0
老蘇	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問9 幼稚園や保育所、子育て支援などに期待するサービスや制度は何ですか。(〇は5つまで)

「食育・給食が充実した施設」が最も多く48.3%、次いで「スムーズな就学に向けた幼稚園や保育所(園)と小学校との連携」が41.2%となっています。

就学前児童保護者

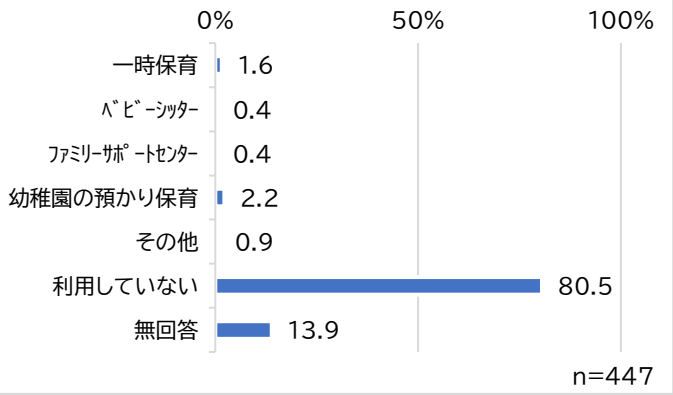


不定期や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問10 用事、親の通院、一時的な仕事などにより、不定期に利用している施設はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間(本日～1年前の間)のおおよその利用日数もお書きください。

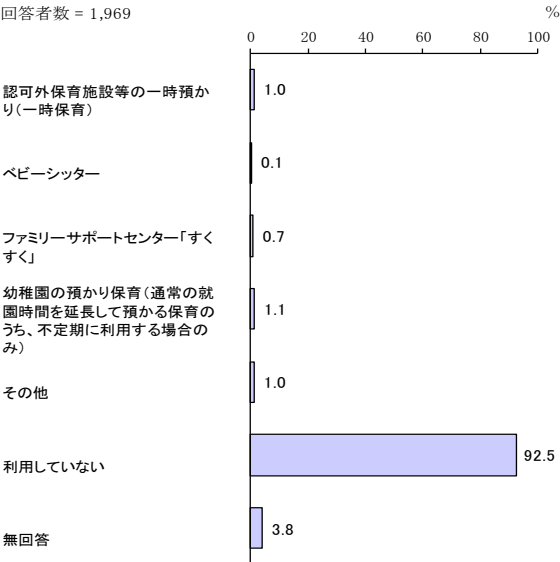
いずれも「利用していない」が多く、就学前児童保護者では80.5%、小学生児童保護者では91.9%が答えました。

就学前児童保護者



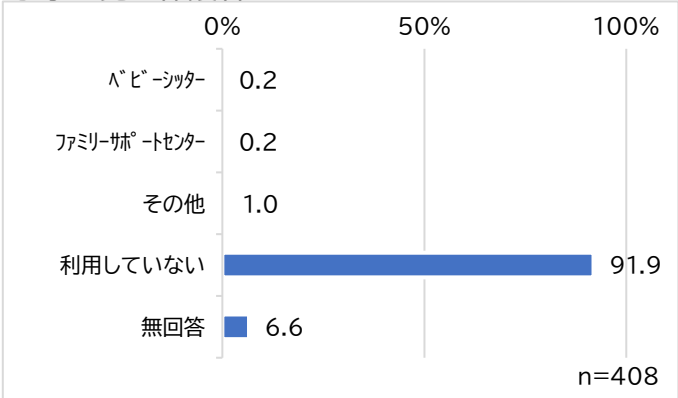
		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日～15日	16日～20日	21日～29日	30日以上	無回答
0～2歳	一時保育	5	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	ベビーシッター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	ファミリーサポートセンター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	幼稚園の預かり保育	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3～5歳	一時保育	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	ベビーシッター	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	ファミリーサポートセンター	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	幼稚園の預かり保育	10	20.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

前回調査
就学前保護者



問10 用事、親の通院、一時的な仕事などにより、不定期に利用している施設はありますか。
当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間(本日～1年前の間)のおおよその利用日数も
お書きください。

小学生児童保護者

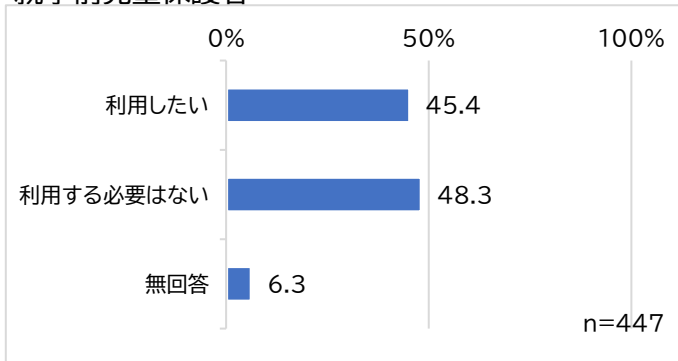


	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日～15日	16日～20日	21日～29日	30日以上	無回答
ベビーシッター	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリーサポートセンター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	4	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

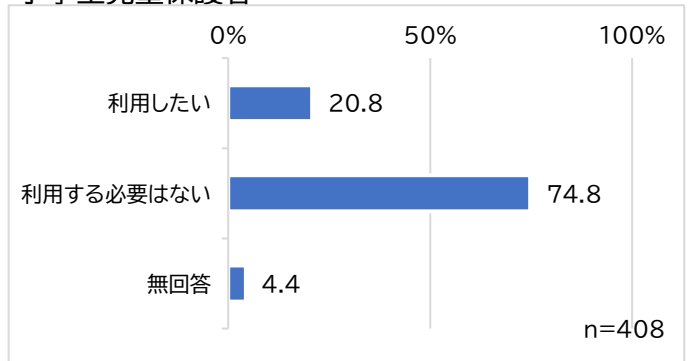
問11 用事、親の通院、一時的な仕事などで、一時的な預かり施設を利用したいですか。(○は1つ)

いずれも「利用する必要はない」の回答が多いですが、就学前児童保護者で「利用したい」と答えた人は45.4%と、小学生児童保護者と比べて約25%程度多く、前回調査からも約17%増加しています。

就学前児童保護者

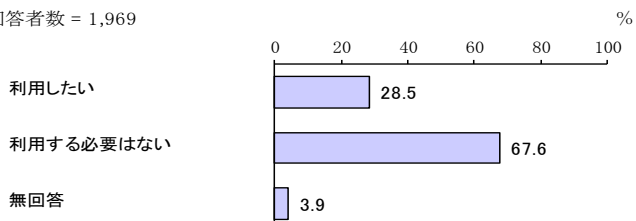


小学生児童保護者



前回調査
就学前保護者

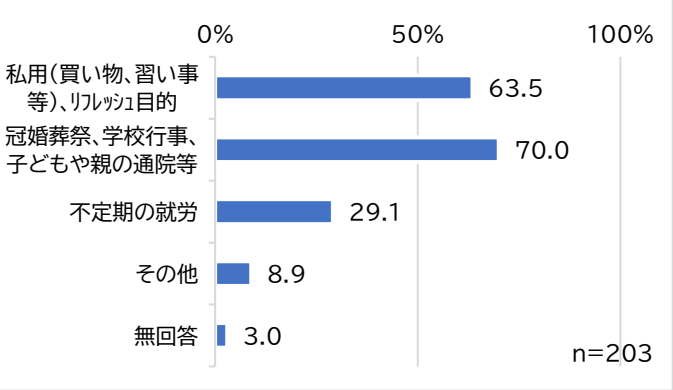
回答者数 = 1,969



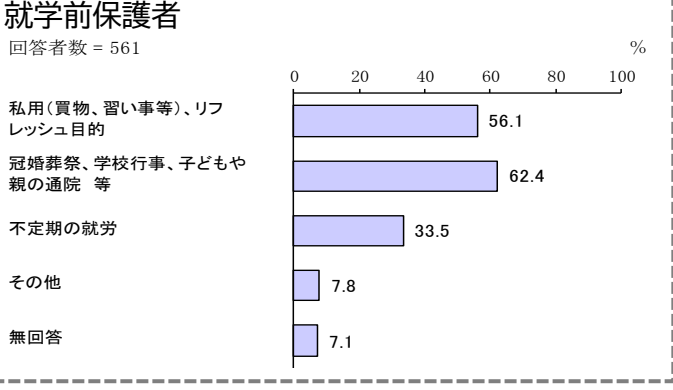
問11で「1. 利用したい」と答えた方におうかがいします。
問11-1 利用したい時について、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間に必要なおおよその利用日数をお書きください。目的別に内訳の日数もお書きください。

いずれも「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が最も多く、次いで「私用（買い物、習い事等）、リフレッシュ目的」となっています。就学前児童保護者では、前回調査と比べて「私用（買い物、習い事等）、リフレッシュ目的」と答えた人は7.4%増加しました。

就学前児童保護者



前回調査
就学前保護者



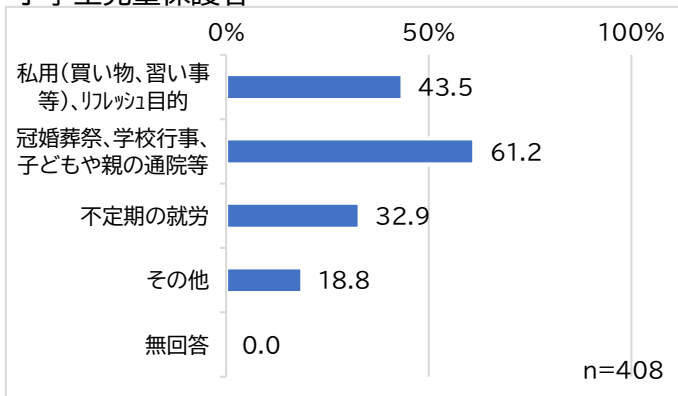
	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日～15日	16日～20日	21日～29日	30日以上	無回答
私用(買い物、習い事等)、リフレッシュ目的	129	4.7	9.3	10.1	0.8	12.4	7.0	0.8	0.0	0.0	16.3	19.4	3.9	2.3	7.0	6.2
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	142	4.2	7.7	15.5	2.8	21.8	6.3	3.5	0.0	0.0	16.2	7.0	2.1	1.4	2.8	8.5
不定期の就労	59	1.7	6.8	6.8	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	15.3	5.1	8.5	5.1	25.4	16.9
その他	18	0.0	5.6	5.6	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	11.1	5.6	11.1	27.8
合計	447	1.1	2.2	2.5	2.0	2.5	1.8	0.4	1.3	0.7	3.6	7.6	3.8	3.1	8.9	58.4

前回調査
就学前保護者

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日～15日	16日～20日	21日～29日	30日以上	無回答
合計	561	1.4	1.4	2.9	0.9	4.5	3.2	1.8	0.5	0.4	13.9	14.3	8.2	7.3	25.3	14.1
私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	315	4.4	5.4	3.5	2.2	11.1	4.8	1.9	0.6	—	16.5	24.1	3.2	4.8	12.4	5.1
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	350	3.7	6.3	10.9	2.3	19.4	3.7	2.6	1.4	—	18.3	11.7	7.1	2.9	5.7	4.0
不定期の就労	188	2.7	6.9	2.7	1.1	11.7	1.1	0.5	0.5	0.5	15.4	14.9	3.2	2.7	29.3	6.9
その他	44	15.9	4.5	9.1	—	15.9	4.5	4.5	—	—	6.8	11.4	2.3	2.3	13.6	9.1

問11-1 利用したい時について、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間に必要なおおよその利用日数をお書きください。目的別に内訳の日数もお書きください。

小学生児童保護者

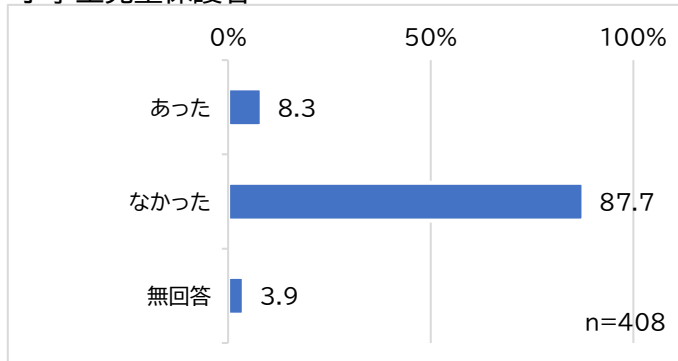


	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日～15日	16日～20日	21日～29日	30日以上	無回答
私用(買い物、習い事等)、リフレッシュ目的	37	0.0	2.7	8.1	5.4	13.5	2.7	0.0	0.0	0.0	8.1	13.5	5.4	10.8	16.2	13.5
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	52	1.9	5.8	11.5	0.0	11.5	7.7	5.8	1.9	0.0	21.2	9.6	7.7	0.0	3.8	11.5
不定期の就労	28	0.0	10.7	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	21.4	3.6	3.6	3.6	32.1	17.9
その他	16	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0	31.3
合計	408	0.2	1.5	0.5	0.2	1.0	1.2	0.5	0.0	0.5	2.2	2.2	1.5	1.5	5.1	81.9

問12 この1年間(本日～1年前の間)に保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)で、お子さんを泊まりがけで家庭以外に預けなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます)

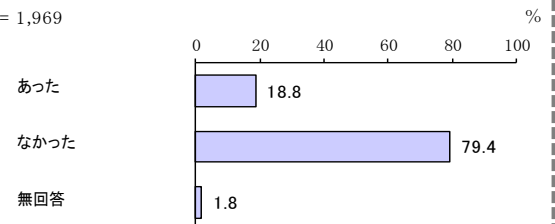
「あった」は8.3%、「なかった」は87.7%となっています。

小学生児童保護者



前回調査 就学前保護者

回答者数 = 1,969

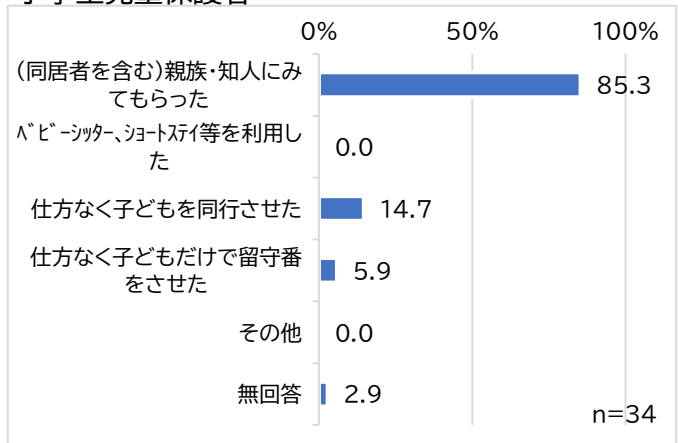


問12で「1. あった」と答えた方におうかがいします。

問12-1 対応した方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその宿泊日数をお書きください。

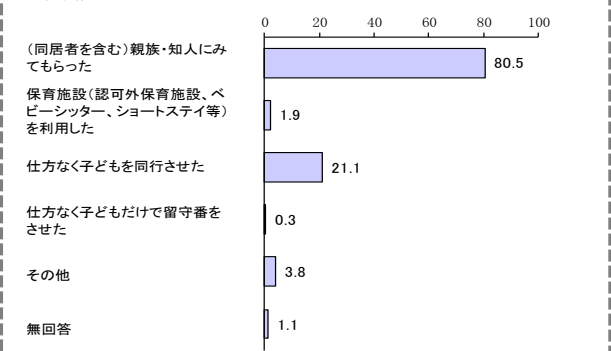
「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が85.3%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」14.7%となっています。

小学生児童保護者



前回調査 就学前保護者

回答者数 = 370



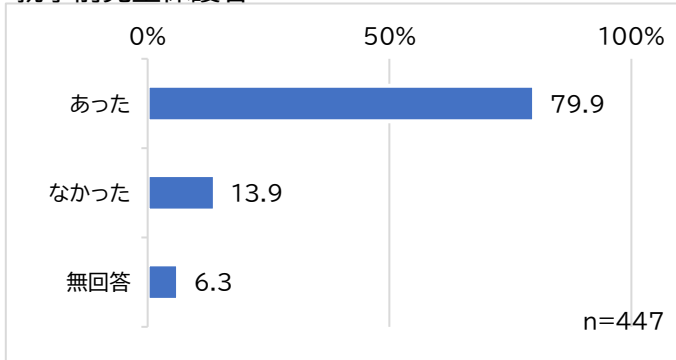
	回答者数	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11泊～15泊	16泊～20泊	21泊～29泊	30泊以上	無回答
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	29	27.6	13.8	13.8	3.4	10.3	0.0	10.3	0.0	0.0	6.9	0.0	3.4	0.0	3.4	6.9
ベビーシッター、ショートステイ等を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもを同行させた	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

お子さんの病気等の時の対応について

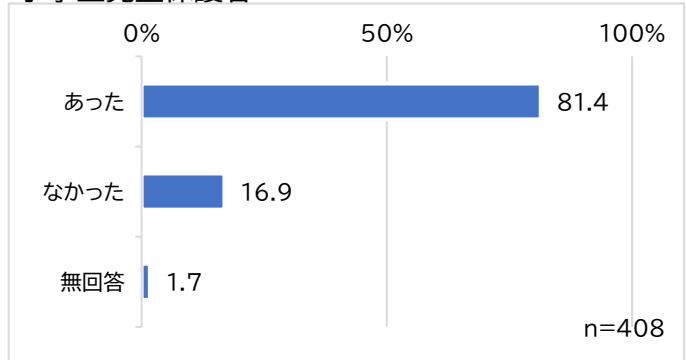
問13 この1年間(本日～1年前の間)に、お子さんが病気やケガで幼稚園・保育所(園)や小学校へ行けなかったことはありますか。

「あった」は就学前児童保護者では79.9%、小学生児童保護者では81.4%、「なかった」は就学前児童保護者では13.9%、小学生児童保護者では16.9%となっています。

就学前児童保護者

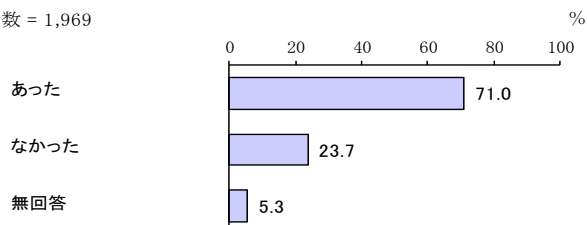


小学生児童保護者



前回調査
就学前保護者

回答者数 = 1,969

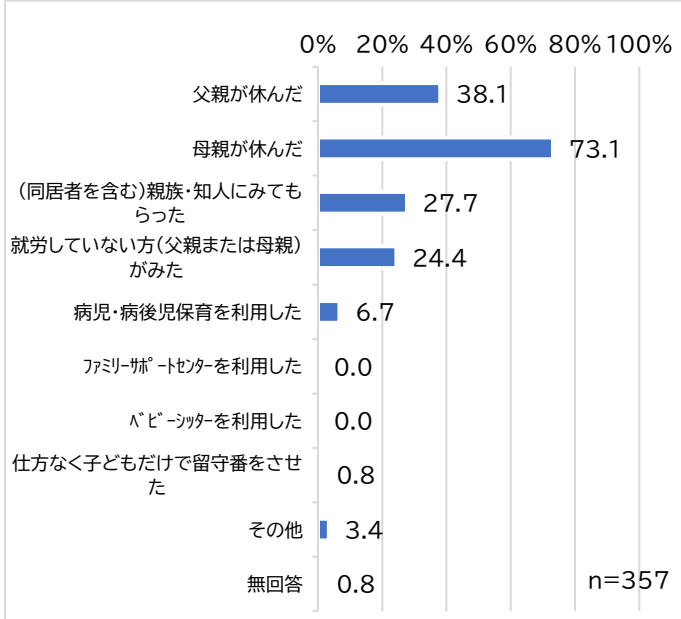


問13で「1. あった」と答えた方におうかがいします。

問13-1 対応した方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数をお書きください。半日程度の場合も1日とカウントしてください。
お子さんが2人以上いる場合は、合計した数字をお書きください。

いずれも「母親が休んだ」の割合が最も高く、次いで就学前児童保護者では「父親が休んだ」、小学生児童保護者では「親族・知人にみてもらった」が高くなっています。

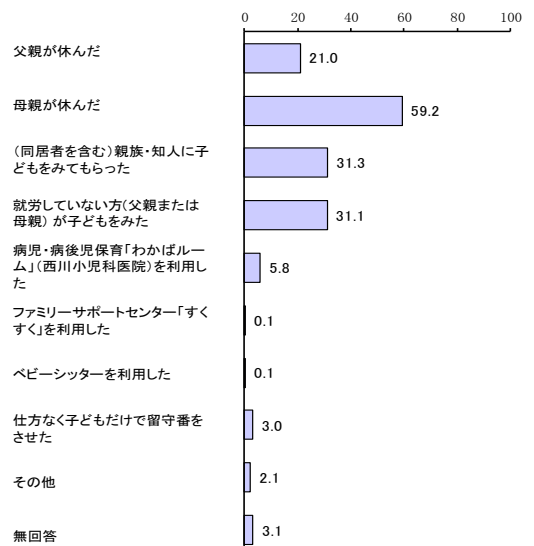
就学前児童保護者



前回調査

就学前保護者

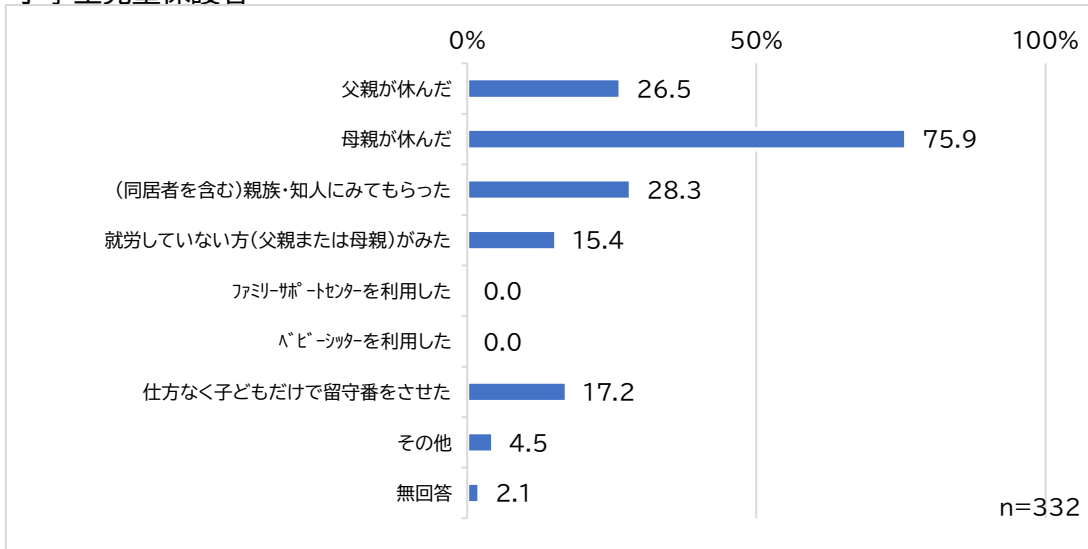
回答者数 = 1,398



		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日～15日	16日～20日	21日～29日	30日以上	無回答
0～2歳	父親が休んだ	74	10.8	13.5	16.2	2.7	17.6	1.4	2.7	1.4	0.0	8.1	1.4	2.7	0.0	1.4	20.3
	母親が休んだ	126	1.6	4.8	8.7	2.4	7.1	1.6	3.2	0.0	0.8	18.3	11.1	14.3	0.8	8.7	16.7
	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	46	6.5	8.7	13.0	2.2	13.0	2.2	8.7	0.0	0.0	13.0	6.5	0.0	0.0	4.3	21.7
	就労していない方(父親または母親)がみた	51	0.0	3.9	0.0	2.0	2.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	3.9	2.0	2.0	7.8	64.7
	病児・病後児保育を利用した	16	0.0	12.5	6.3	12.5	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	25.0
	ファミリーサポートセンターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3～5歳	父親が休んだ	88	15.9	17.0	11.4	5.7	15.9	0.0	1.1	1.1	0.0	8.0	1.1	1.1	0.0	0.0	21.6
	母親が休んだ	172	4.7	5.8	5.2	3.5	14.5	1.7	2.9	1.2	0.0	22.7	8.7	5.2	0.6	4.7	18.6
	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	74	1.4	2.7	1.4	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.9
	就労していない方(父親または母親)がみた	74	0.0	2.7	5.4	0.0	10.8	1.4	0.0	0.0	0.0	29.7	10.8	13.5	4.1	12.2	9.5
	病児・病後児保育を利用した	17	23.5	17.6	0.0	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	11.8	0.0	0.0	11.8
	ファミリーサポートセンターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問13-1 対応した方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数をお書きください。半日程度の場合も1日とカウントしてください。
お子さんが2人以上いる場合は、合計した数字をお書きください。

小学生児童保護者



	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日～15日	16日～20日	21日～29日	30日以上	無回答
父親が休んだ	88	22.7	20.5	14.8	0.0	23.9	0.0	1.1	1.1	0.0	6.8	1.1	1.1	1.1	0.0	5.7
母親が休んだ	252	5.6	11.9	14.3	4.0	21.4	3.2	5.2	3.6	0.0	14.3	5.6	4.0	0.0	2.8	4.4
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	94	12.8	14.9	10.6	6.4	25.5	3.2	4.3	0.0	0.0	10.6	1.1	1.1	0.0	5.3	4.3
就労していない方(父親または母親)がみた	51	2.0	11.8	7.8	3.9	19.6	2.0	3.9	2.0	0.0	17.6	2.0	11.8	2.0	7.8	5.9
ファミリーサポートセンターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ハビビシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	57	22.8	17.5	24.6	8.8	3.5	0.0	7.0	0.0	0.0	8.8	0.0	0.0	1.8	1.8	3.5
その他	15	6.7	13.3	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0	13.3	0.0	13.3	13.3

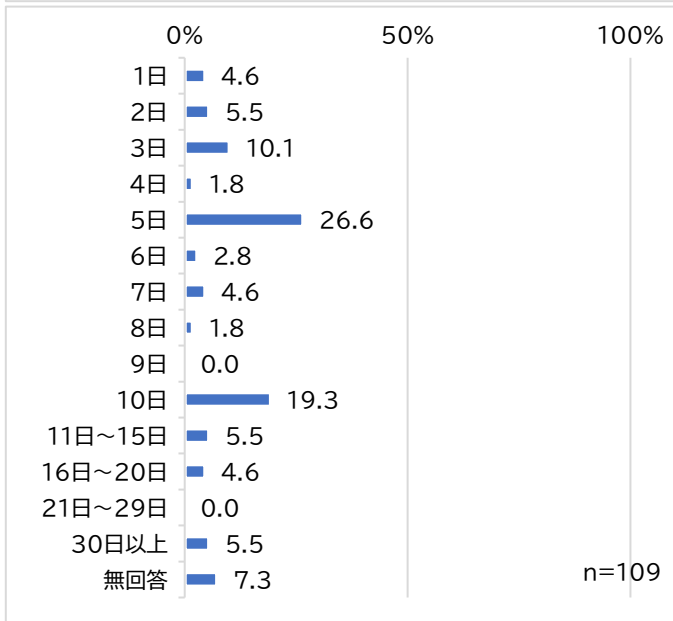
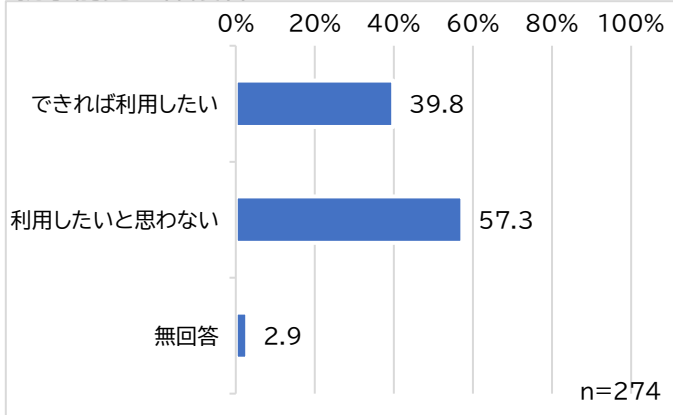
問13-1で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○を付けた方におうかがいします。

問13-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思いましたか。
利用したいと思った方は、その日数もお書きください。(○は1つ)

就学前児童保護者では、「できれば利用したい」が39.8%、「利用したいと思わない」が57.3%、小学生児童保護者では、「できれば利用したい」が21.9%、「利用したいと思わない」が75.0%となっています。

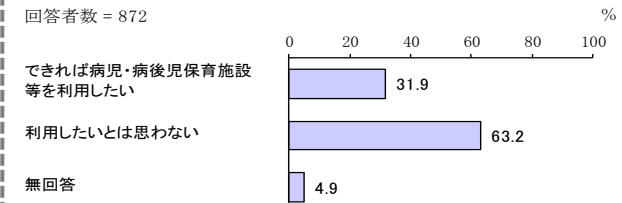
就学前児童保護者については、前回調査と比べて約8%増加しました。

就学前児童保護者

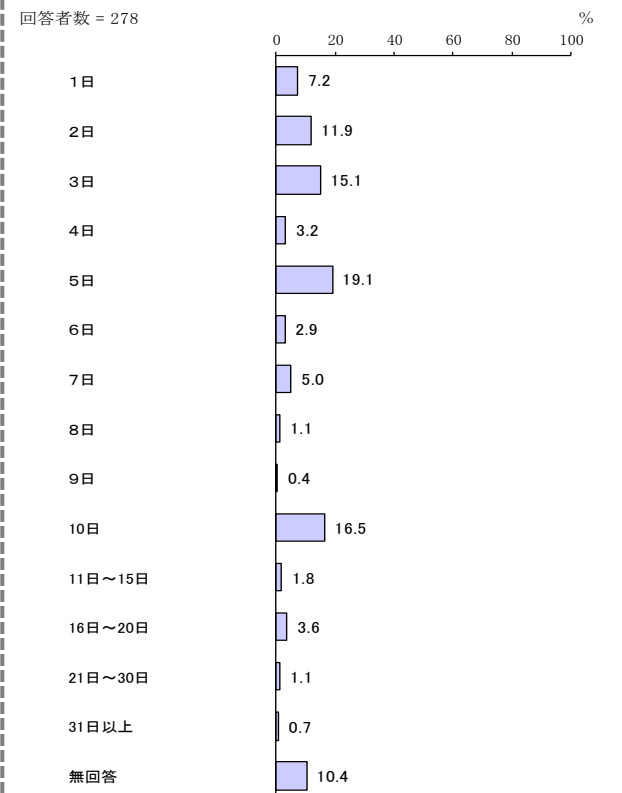


前回調査
就学前保護者

回答者数 = 872

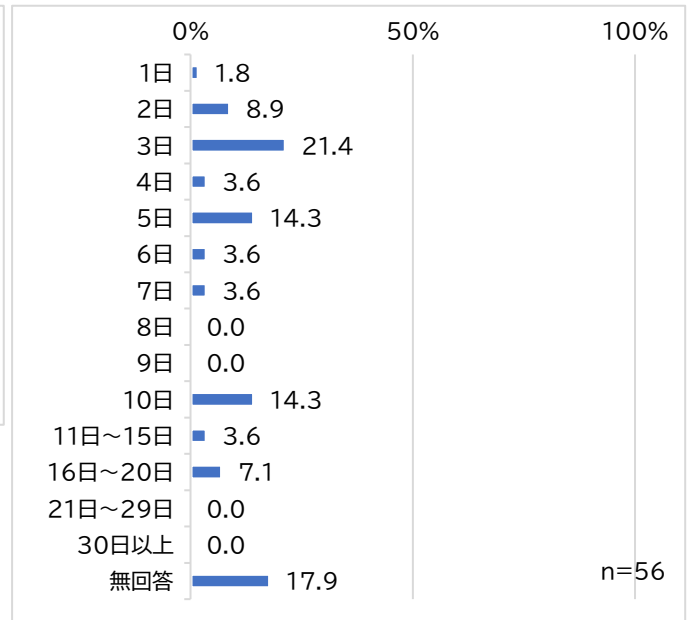
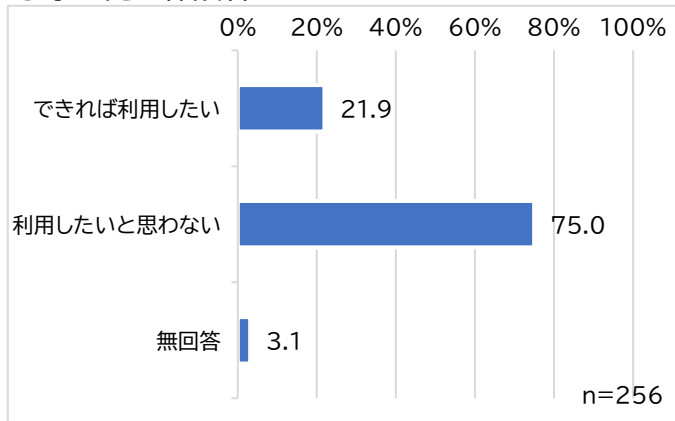


回答者数 = 278



問13-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思いましたか。
利用したいと思った方は、その日数もお書きください。(○は1つ)

小学生児童保護者

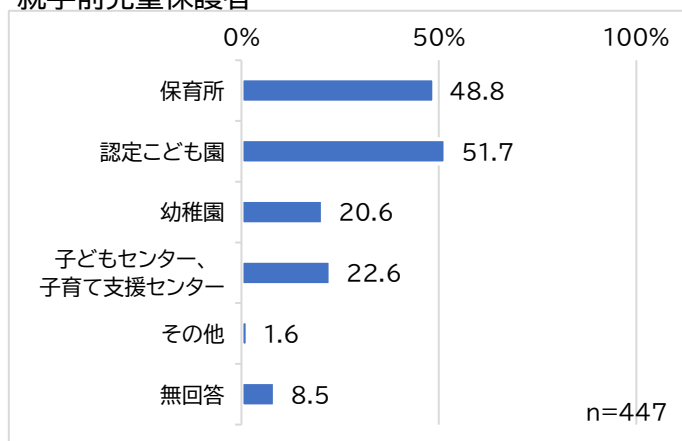


「こども誰でも通園制度(仮称)」について

問14 利用したい施設はどこですか。最大2つまで○をつけてください。

「認定こども園」と答えた人が51.7%と最も多く、次いで「保育所」48.8%となりました。

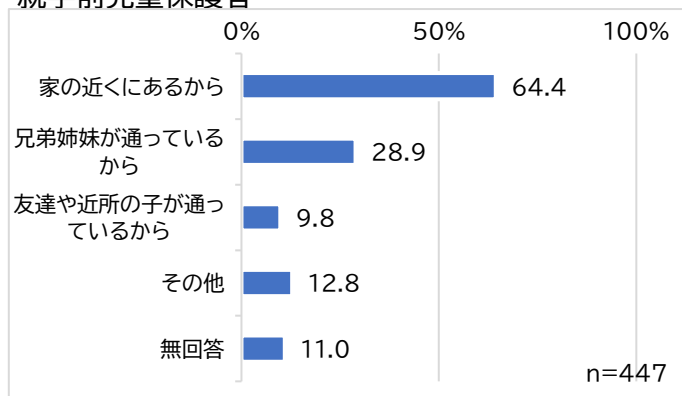
就学前児童保護者



問15 施設を選んだ理由を教えてください。(○はいくつでも)

「家の近くにあるから」と答えた人が64.4%、次いで「兄弟姉妹が通っているから」28.9%となりました。

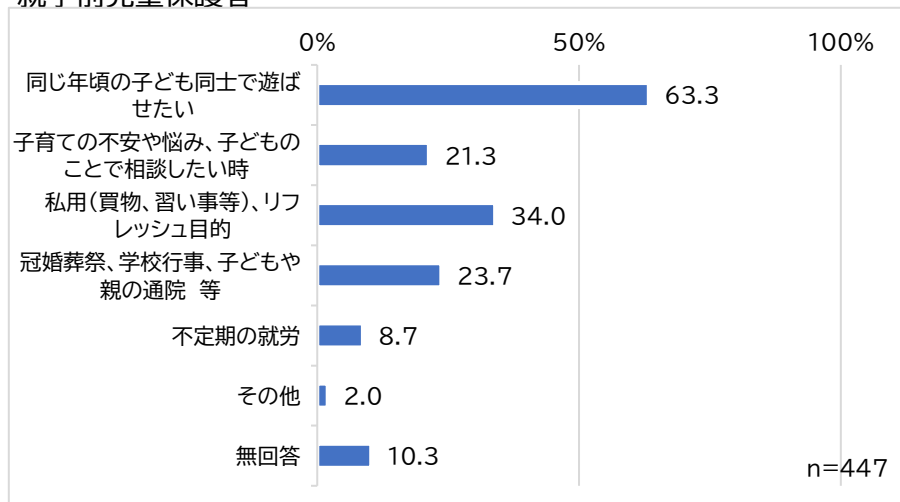
就学前児童保護者



問16 どのような目的で利用したいですか。最大2つまで○をつけてください。

「同じ年頃の子とも同士で遊ばせたい」と答えた人が63.3%、次いで「私用(買い物、習い事等)、リフレッシュ目的」が34.0%となりました。

就学前児童保護者



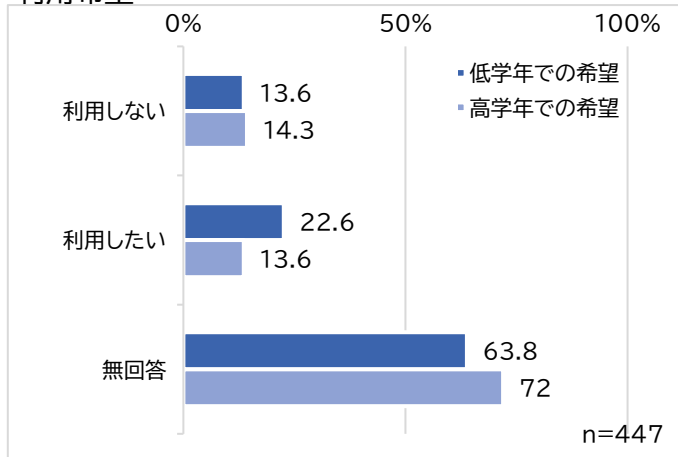
「放課後児童クラブ」等の利用について

●就学前児童保護者への質問

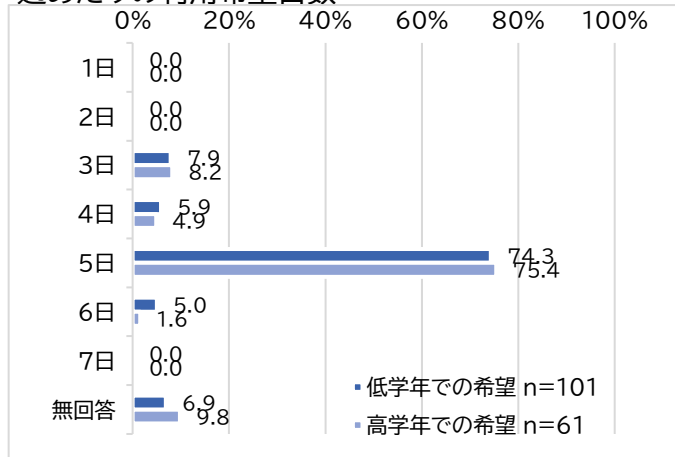
問17 「放課後児童クラブ」を利用したいですか。利用したい場合は、利用したい週あたりの日数とおおよその時間もお書きください。(利用時間は「18時」など24時間制で記入してください)

就学前児童保護者(5歳児のお子さんがおられる方のみ)で「利用したい」と答えた人は低学年での希望は22.6%、高学年での希望は13.6%で、週あたり「5日」の利用を希望している人が多くみられました。

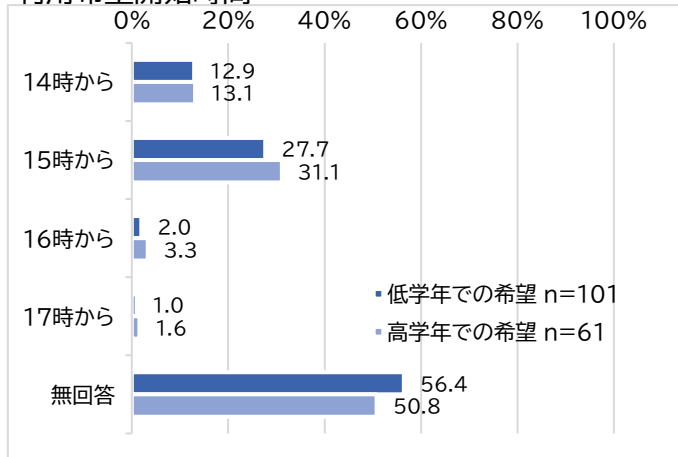
利用希望



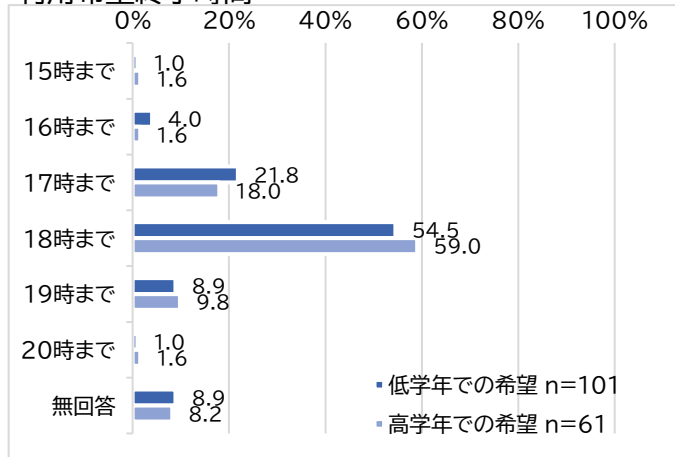
週あたりの利用希望日数



利用希望開始時間



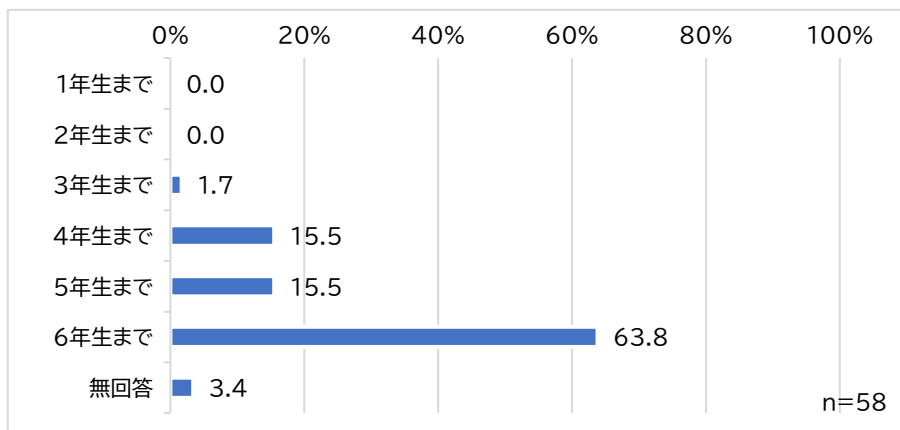
利用希望終了時間



問17で「2. 利用したい」に○をつけた方におうかがいします。

問17-1 何年生まで利用したいですか。(○は1つ)

何年生まで利用したいかについては「6年生まで」と答えた人が最も多く63.8%でした。



●小学生児童保護者への質問

問18 「放課後児童クラブ」を現在利用していますか。利用している場合は(1)(2)の両方にご回答ください。利用していない場合は、(2)へお進みください。

(1)現在の利用状況を、それぞれのお子さんの学年(2023(令和5)年4月1日現在)の欄に、利用している週当たりの日数とおおよその時間をお書きください(利用時間は「18時」など24時間制で記入してください)。また、何年生まで利用したいと考えているかをお書きください。

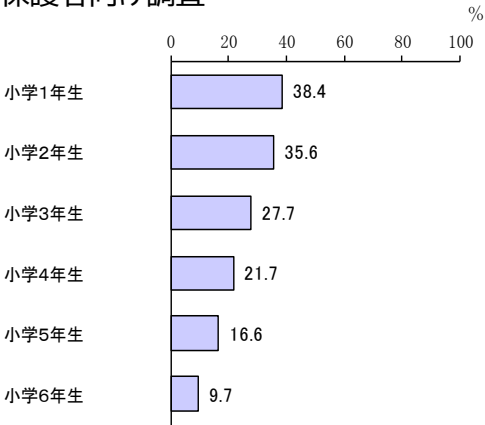
現在、放課後児童クラブを利用している人は、「5日」の利用が最も多く、「小学6年生まで」の利用を希望している人が多くみられました。

	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
小学1年生	36	2.8	0.0	2.8	8.3	83.3	2.8	0.0	0.0
小学2年生	45	0.0	0.0	11.1	8.9	75.6	4.4	0.0	0.0
小学3年生	31	0.0	3.2	3.2	16.1	77.4	0.0	0.0	0.0
小学4年生	31	0.0	3.2	3.2	12.9	77.4	3.2	0.0	0.0
小学5年生	26	0.0	0.0	11.5	7.7	73.1	7.7	0.0	0.0
小学6年生	7	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0

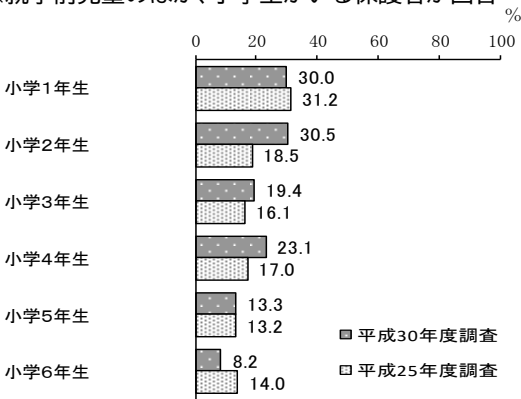
	回答者数	14時から	15時から	16時から	無回答		回答者数	15時より前	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	20時まで	21時まで	無回答
小学1年生	36	44.4	38.9	5.6	11.1	小学1年生	36	0.0	2.8	25.0	66.7	2.8	0.0	0.0	2.8
小学2年生	45	26.7	62.2	4.4	6.7	小学2年生	45	0.0	6.7	33.3	57.8	0.0	2.2	0.0	0.0
小学3年生	31	32.3	48.4	6.5	12.9	小学3年生	31	0.0	3.2	29.0	58.1	6.5	0.0	0.0	3.2
小学4年生	31	25.8	51.6	16.1	6.5	小学4年生	31	0.0	0.0	22.6	71.0	6.5	0.0	0.0	0.0
小学5年生	26	11.5	53.8	19.2	15.4	小学5年生	26	0.0	0.0	11.5	76.9	11.5	0.0	0.0	0.0
小学6年生	7	28.6	28.6	42.9	0.0	小学6年生	7	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0

	回答者数	小学1年生まで	小学2年生まで	小学3年生まで	小学4年生まで	小学5年生まで	小学6年生まで	無回答
小学1年生	36	0.0	0.0	8.3	8.3	2.8	75.0	5.6
小学2年生	45	0.0	8.9	6.7	6.7	13.3	51.1	13.3
小学3年生	31	0.0	0.0	6.5	0.0	6.5	74.2	12.9
小学4年生	31	0.0	0.0	0.0	9.7	16.1	71.0	3.2
小学5年生	26	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2	76.9	3.8
小学6年生	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3

前回調査
小学生保護者向け調査



就学前保護者向け調査
※就学前児童のほか、小学生がいる保護者が回答



問18 「放課後児童クラブ」を現在利用していますか。利用している場合は(1)(2)の両方にご回答ください。利用していない場合は、(2)へお進みください。

(2)来年以降、「放課後児童クラブ」を利用したいですか。利用したい場合、低学年(1～3年生)での利用希望と高学年(4～6年生)での利用希望について、それぞれ希望する週当たりの日数と利用時間をお書きください。

来年以降の利用希望について、低学年、高学年いずれも「5日」の希望が最も多くなりました。

<低学年(1～3年生)での利用希望>

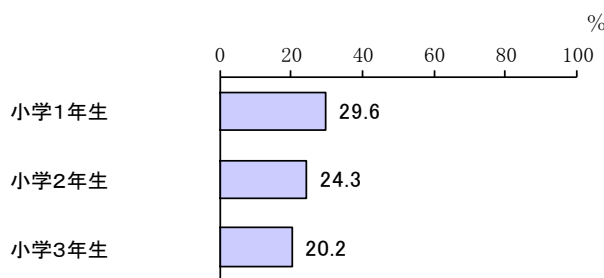
来年以降利用したい場合の、利用希望について、低学年(1～3年生)での希望は、どの学年でも「5日」が最も多くなりました。

	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
小学1年生	44	2.3	2.3	6.8	9.1	75.0	4.5	0.0	0.0
小学2年生	38	0.0	0.0	15.8	21.1	63.2	0.0	0.0	0.0
小学3年生	37	0.0	0.0	8.1	2.7	75.7	2.7	0.0	10.8

	回答者数	14時から	15時から	16時から	無回答		回答者数	15時より前	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	無回答
小学1年生	44	47.7	31.8	4.5	15.9	小学1年生	44	0.0	9.1	34.1	50.0	4.5	2.3
小学2年生	38	31.6	52.6	5.3	10.5	小学2年生	38	0.0	13.2	31.6	52.6	2.6	0.0
小学3年生	37	24.3	45.9	2.7	27.0	小学3年生	37	0.0	8.1	32.4	40.5	5.4	13.5

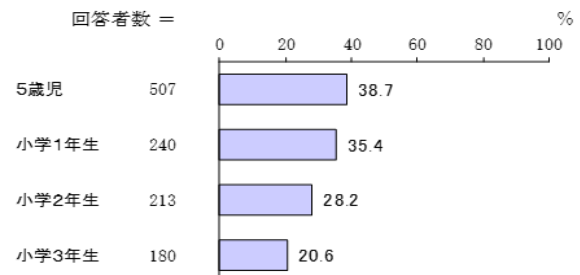
前回調査

小学生保護者向け調査



就学前保護者向け調査

※就学前児童のほか、小学生がいる保護者が回答



問18 「放課後児童クラブ」を現在利用していますか。利用している場合は(1)(2)の両方にご回答ください。利用していない場合は、(2)へお進みください。

(2) 来年以降、「放課後児童クラブ」を利用したいですか。利用したい場合、低学年(1～3年生)での利用希望と高学年(4～6年生)での利用希望について、それぞれ希望する週当たりの日数と利用時間をお書きください。

<高学年(4～6年生)での利用希望>

高学年(4～6年生)での希望も、低学年と同じく、どの学年でも「5日」が最も多くなりました。

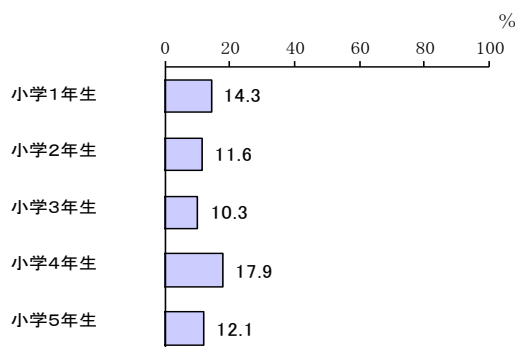
	回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
小学1年生	44	2.3	0.0	2.3	4.5	36.4	0.0	0.0	54.5
小学2年生	38	0.0	0.0	5.3	5.3	21.1	0.0	0.0	68.4
小学3年生	37	0.0	2.7	0.0	5.4	35.1	2.7	0.0	54.1
小学4年生	40	0.0	10.0	7.5	12.5	67.5	2.5	0.0	0.0
小学5年生	35	0.0	2.9	8.6	2.9	82.9	2.9	0.0	0.0

	回答者数	14時から	15時から	16時から	無回答
小学1年生	44	9.1	22.7	6.8	61.4
小学2年生	38	2.6	21.1	7.9	68.4
小学3年生	37	13.5	24.3	5.4	56.8
小学4年生	40	10.0	60.0	17.5	12.5
小学5年生	35	20.0	51.4	17.1	11.4

	回答者数	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	無回答
小学1年生	44	0.0	9.1	31.8	2.3	56.8
小学2年生	38	0.0	15.8	13.2	2.6	68.4
小学3年生	37	0.0	13.5	27.0	2.7	56.8
小学4年生	40	5.0	40.0	50.0	5.0	0.0
小学5年生	35	2.9	25.7	60.0	8.6	2.9

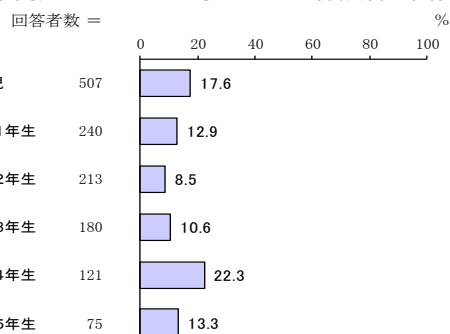
前回調査

小学生保護者向け調査



就学前保護者向け調査

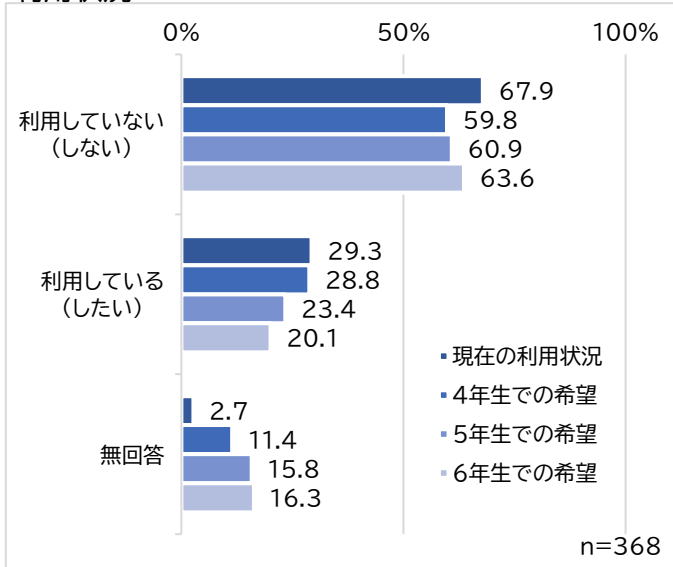
※就学前児童のほか、小学生がいる保護者が回答



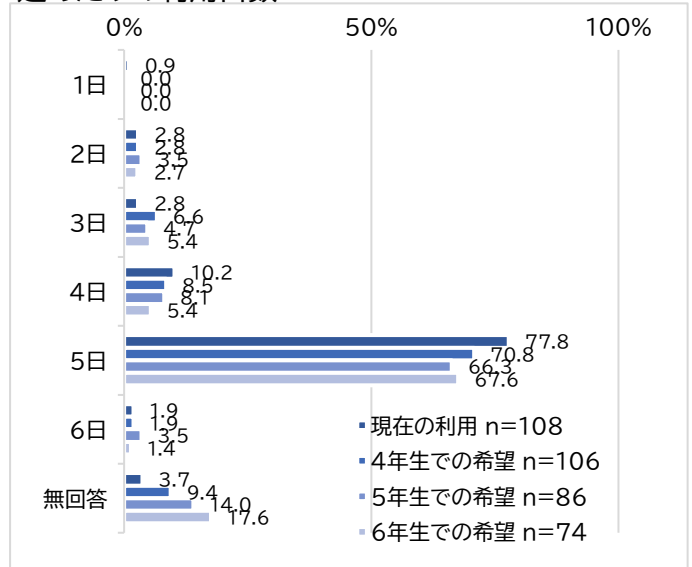
●小学3年生児童保護者、小学5年生児童保護者への質問

問19 「放課後児童クラブ」を利用したいですか。利用している(したい)場合は、利用している(したい)週あたりの日数とおおよその時間、何年生まで利用したいかもお書きください。(利用時間は「18時」など24時間制で記入してください)

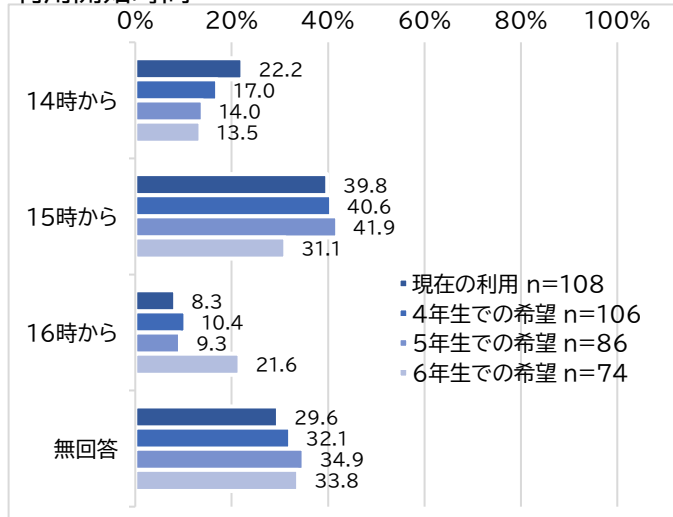
小学3年生児童保護者で、現在放課後児童クラブを利用している人は、29.3%でした。学年が上がるにつれて、利用したい割合は低くなっています。

小学3年生児童保護者
利用状況

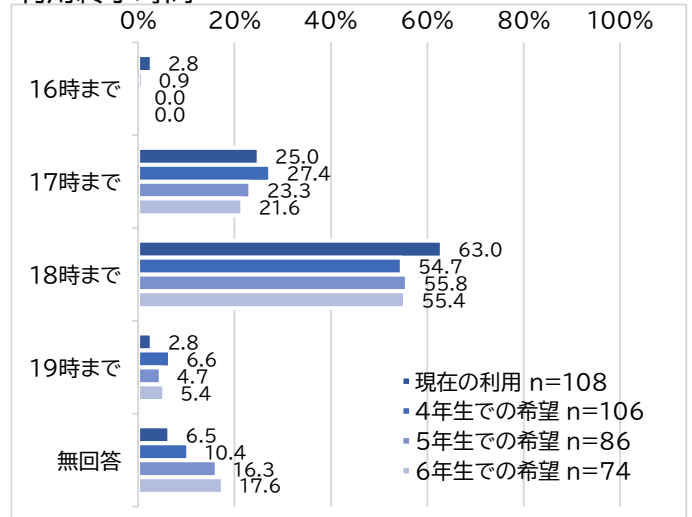
週あたりの利用日数



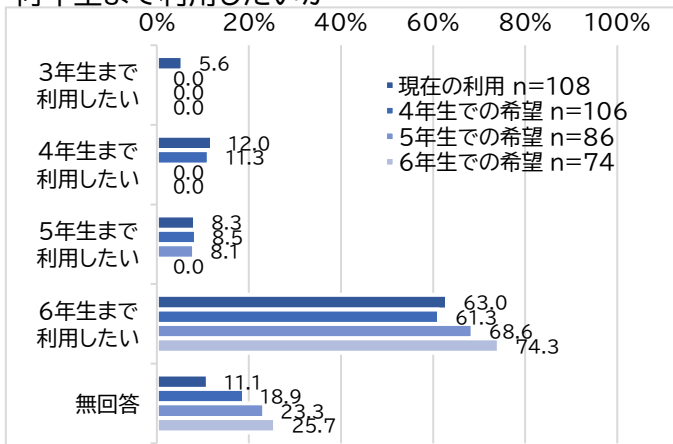
利用開始時間



利用終了時間



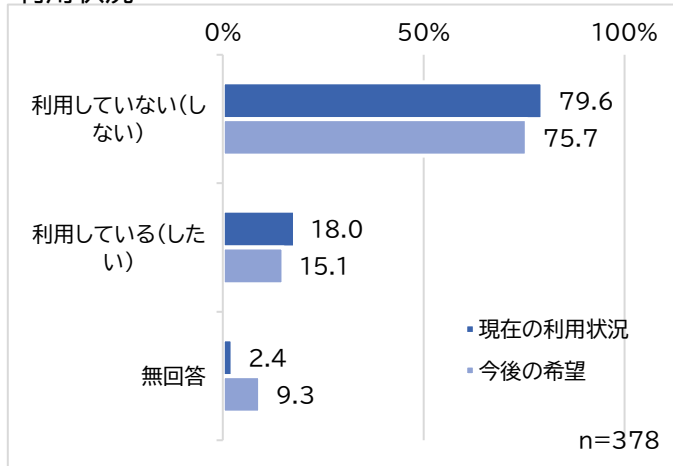
何年生まで利用したいか



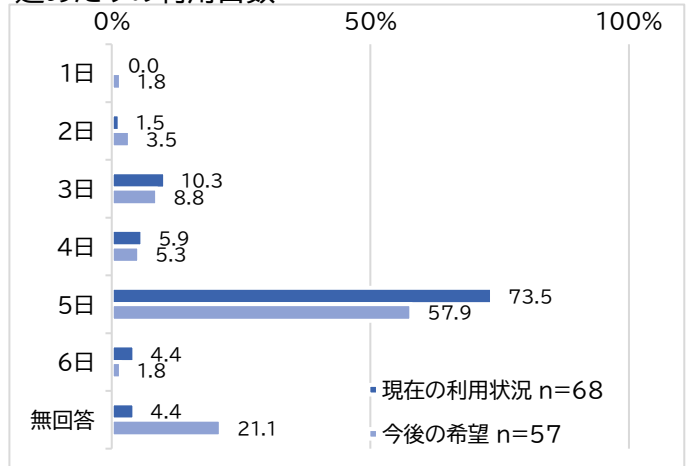
問19 「放課後児童クラブ」を利用したいですか。利用している(したい)場合は、利用している(したい)週あたりの日数とおおよその時間、何年生まで利用したいかもお書きください。(利用時間は「18時」など24時間制で記入してください)

小学5年生児童保護者で、現在放課後児童クラブを利用している人は、18.0%でした。
今後の利用希望は、15.1%で現在の利用より少なくなりました。

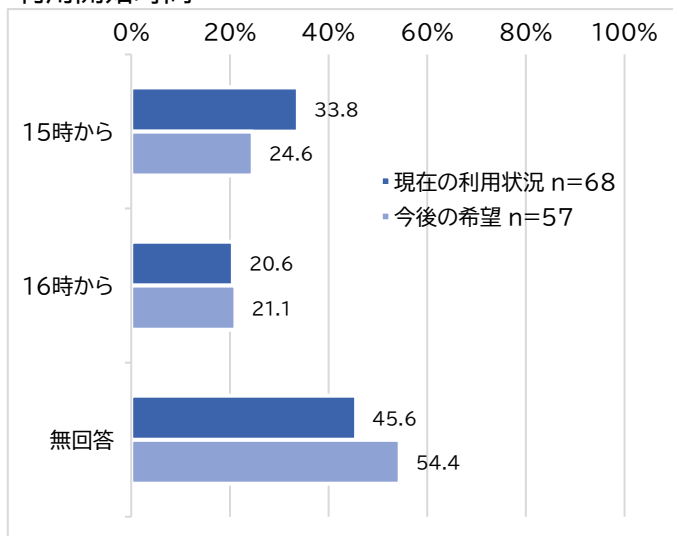
小学5年生児童保護者 利用状況



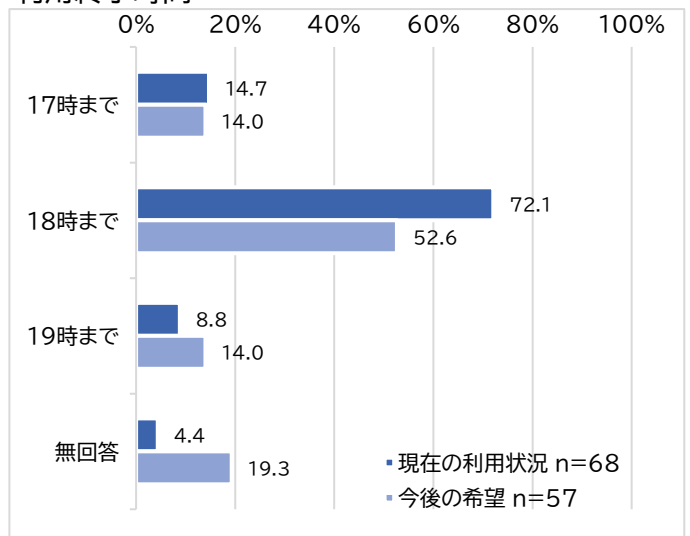
週あたりの利用日数



利用開始時間



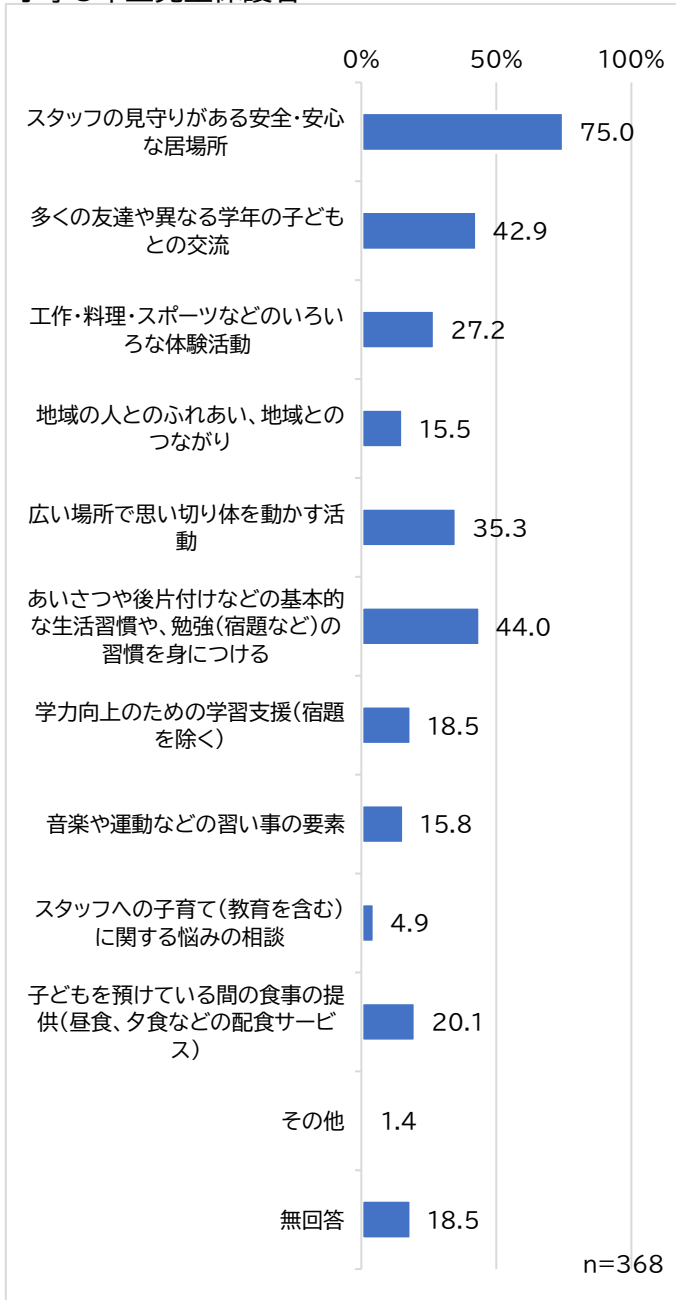
利用終了時間



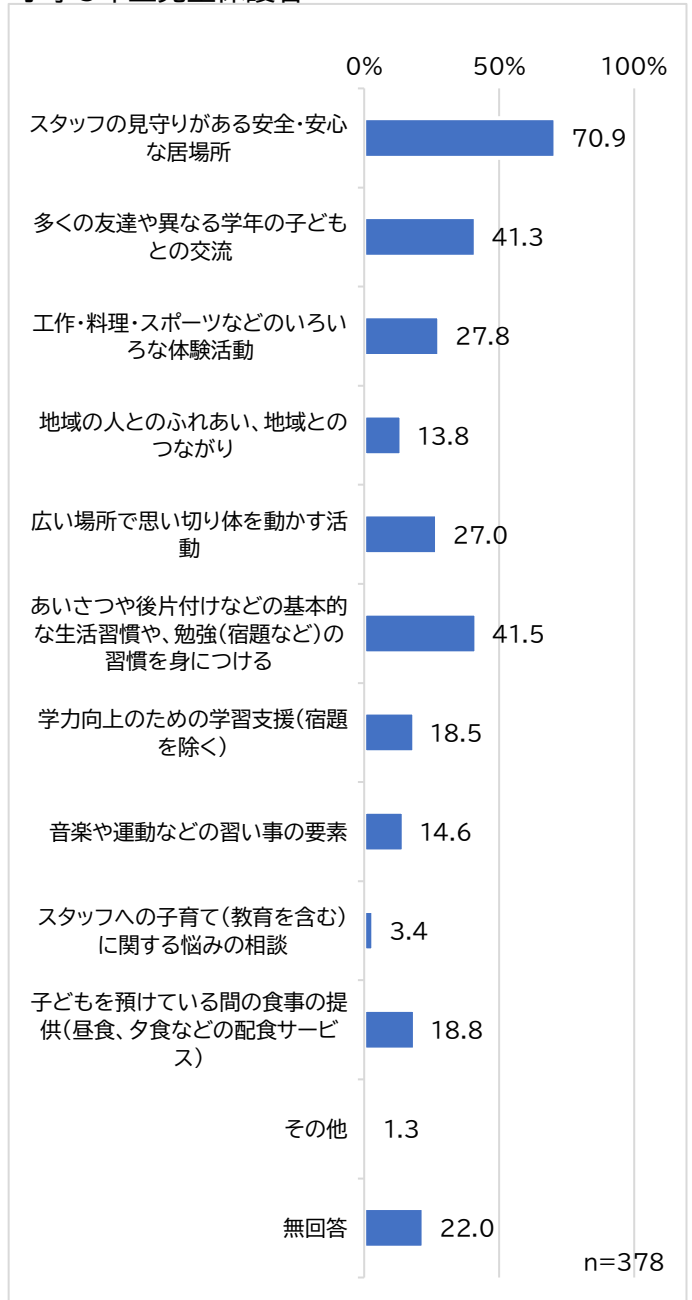
問20 「放課後児童クラブ」に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

いずれも「スタッフの見守りがある安全・安心な居場所」の割合が最も多く、次いで「あいさつや後片付けなどの基本的な生活習慣や、勉強(宿題など)の習慣を身につける」となっています。

小学3年生児童保護者



小学5年生児童保護者



放課後の過ごし方について

●小学生児童保護者への質問

問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。それぞれのお子さんの学年(2023(令和5)年4月1日現在)の欄に、希望する週当たりのおおよその日数をお書きください。

現在の利用及び低学年(1～3年生)での希望については「自宅」の割合が最も多くなりました。高学年では、3～5年生では「自宅」が多いものの、1年生と2年生では「放課後児童クラブ」も多い結果となっています。

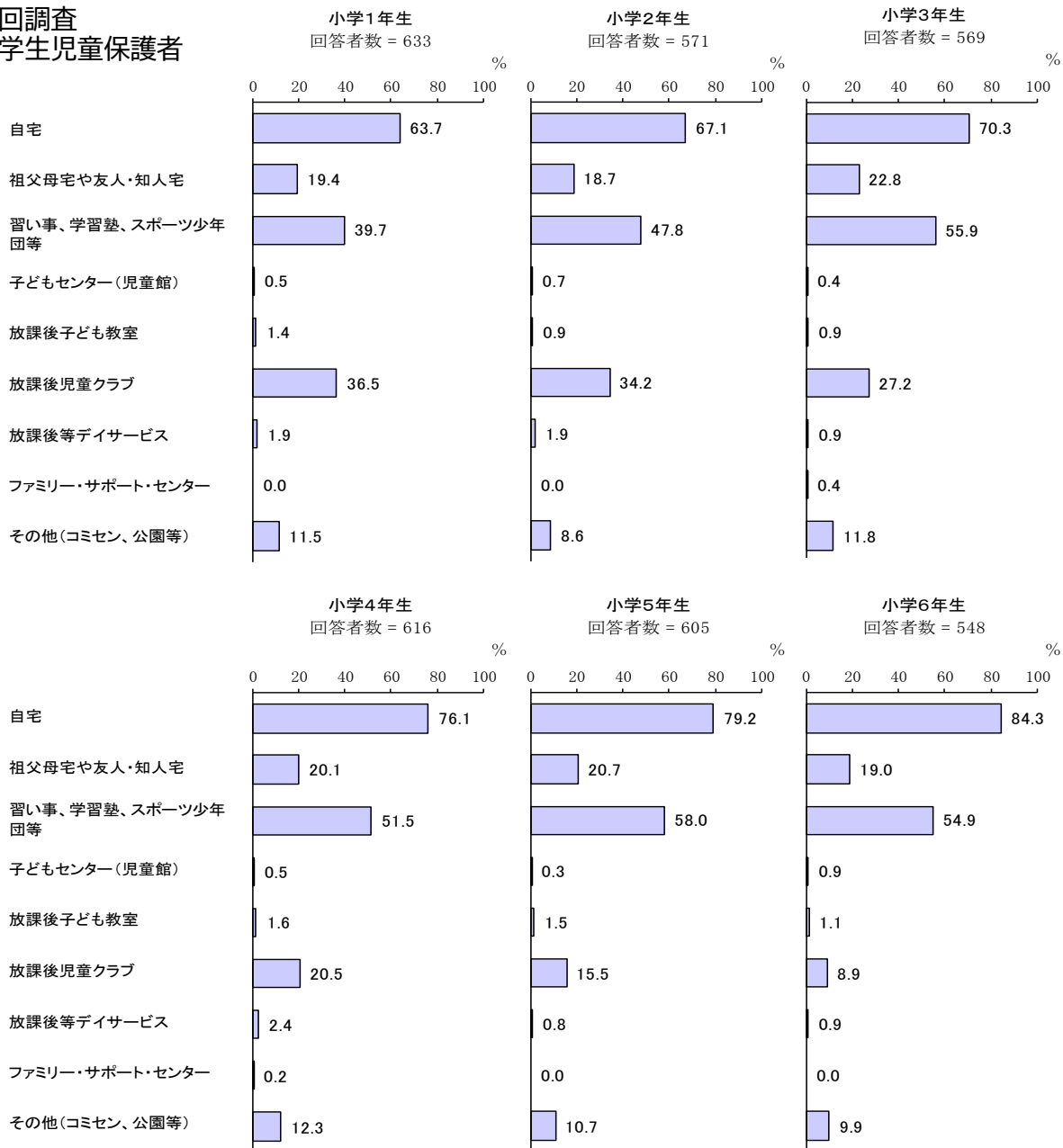
(1)現在の利用状況

いずれも「自宅」の割合が最も多く、次いで1年生と2年生は「放課後児童クラブ」、3～6年生は「習い事、学習塾、スポーツ少年団など」となっています。



問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。

前回調査
小学生児童保護者



問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。

		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
小学1年生	自宅	43	7.0	7.0	16.3	25.6	41.9	0.0	2.3
	祖父母宅や友人・知人宅	9	44.4	11.1	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	27	63.0	14.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	子どもセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	33	3.0	3.0	3.0	18.2	72.7	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	7	57.1	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0
小学2年生	自宅	53	11.3	20.8	20.8	13.2	28.3	0.0	5.7
	祖父母宅や友人・知人宅	6	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	34	29.4	47.1	11.8	8.8	2.9	0.0	0.0
	子どもセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	36	0.0	2.8	11.1	8.3	77.8	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	8	0.0	25.0	25.0	0.0	37.5	12.5	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	9	55.6	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
小学3年生	自宅	67	11.9	14.9	20.9	20.9	31.3	0.0	0.0
	祖父母宅や友人・知人宅	10	40.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	45	44.4	31.1	15.6	6.7	2.2	0.0	0.0
	子どもセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	30	3.3	3.3	3.3	6.7	83.3	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	7	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	6	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

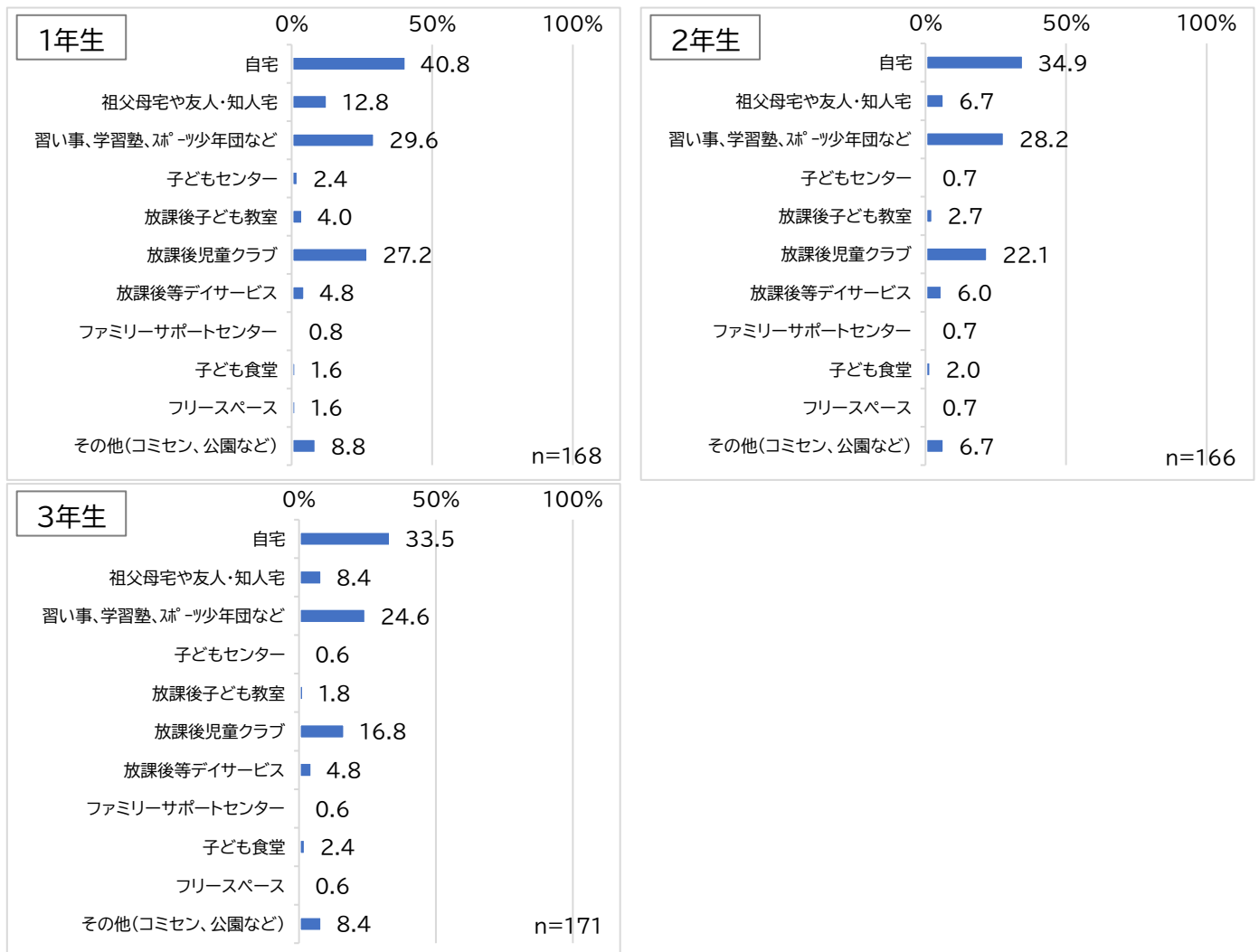
問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。

		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
小学4年生	自宅	62	4.8	21.0	19.4	21.0	30.6	0.0	3.2
	祖父母宅や友人・知人宅	6	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	45	40.0	37.8	20.0	2.2	0.0	0.0	0.0
	子どもセンター	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	25	0.0	8.0	4.0	24.0	64.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	11	0.0	18.2	18.2	0.0	63.6	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	4	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
小学5年生	自宅	70	11.4	18.6	22.9	12.9	31.4	0.0	2.9
	祖父母宅や友人・知人宅	11	54.5	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	49	28.6	36.7	28.6	6.1	0.0	0.0	0.0
	子どもセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	23	4.3	4.3	8.7	0.0	78.3	4.3	0.0
	放課後等デイサービス	4	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	8	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0
小学6年生	自宅	81	7.4	19.8	21.0	12.3	33.3	1.2	4.9
	祖父母宅や友人・知人宅	10	30.0	40.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	58	20.7	37.9	29.3	6.9	5.2	0.0	0.0
	子どもセンター	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	8	0.0	12.5	12.5	25.0	50.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

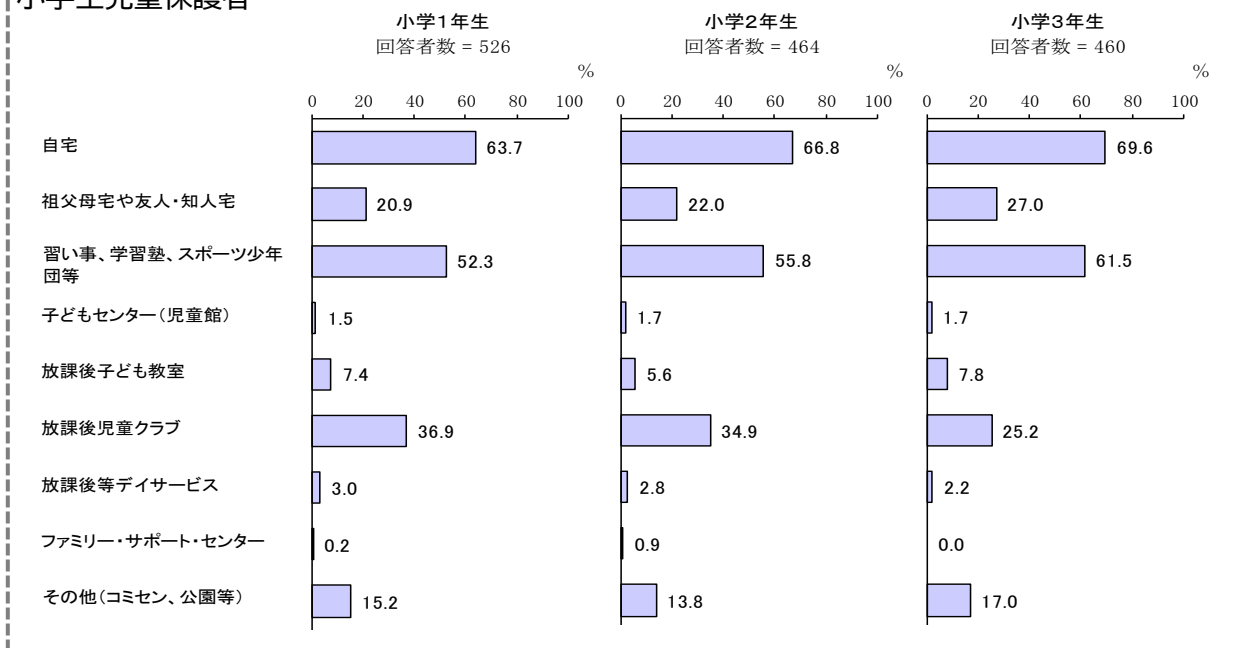
問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。

(2)低学年(1～3年生)での希望

いずれも「自宅」の割合が最も多く、次いで「習い事、学習塾、スポーツ少年団など」となっています。



前回調査 小学生児童保護者



問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。

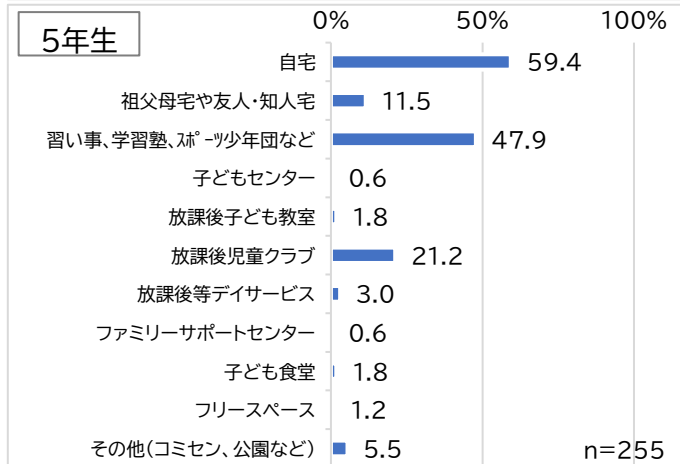
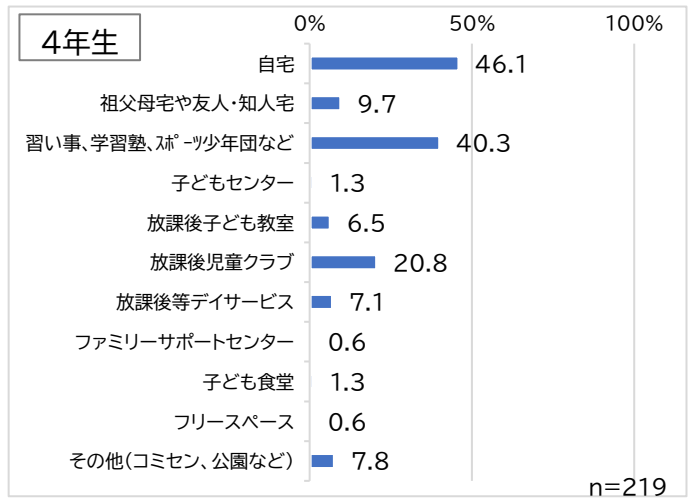
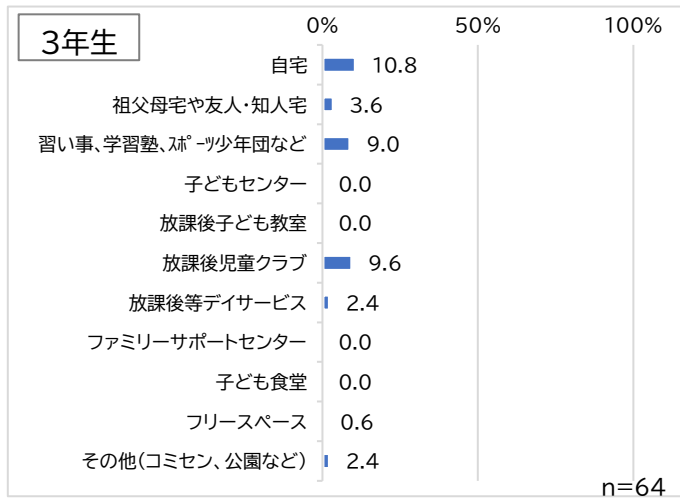
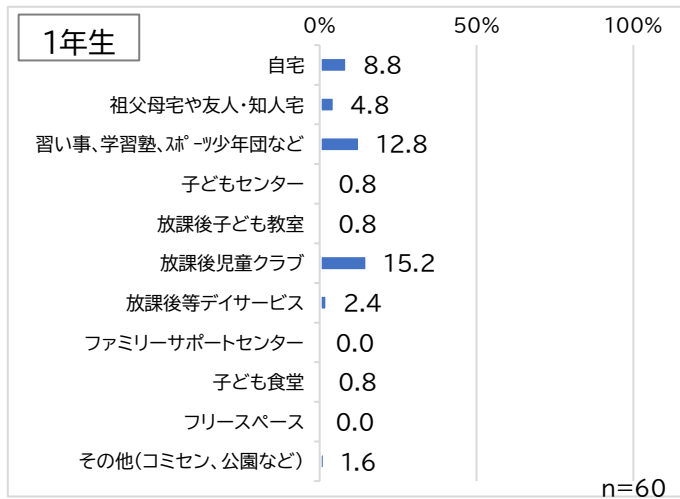
週あたりの日数

		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
小学1年生	自宅	51	7.8	11.8	27.5	23.5	27.5	0.0	2.0
	祖父母宅や友人・知人宅	16	75.0	6.3	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	37	54.1	21.6	21.6	0.0	2.7	0.0	0.0
	子どもセンター	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	5	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	34	5.9	5.9	11.8	17.6	58.8	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	6	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	11	45.5	9.1	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0
小学2年生	自宅	52	13.5	19.2	26.9	15.4	19.2	0.0	5.8
	祖父母宅や友人・知人宅	10	80.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	42	35.7	52.4	7.1	0.0	4.8	0.0	0.0
	子どもセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	4	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	33	3.0	3.0	9.1	9.1	75.8	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	9	11.1	22.2	22.2	0.0	33.3	11.1	0.0
	ファミリーサポートセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	10	30.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学3年生	自宅	56	17.9	19.6	23.2	12.5	26.8	0.0	0.0
	祖父母宅や友人・知人宅	14	64.3	21.4	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	41	46.3	29.3	17.1	4.9	2.4	0.0	0.0
	子どもセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	28	3.6	3.6	7.1	17.9	67.9	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	8	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	14	28.6	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0

問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。

(3)高学年(4～6年生)での希望

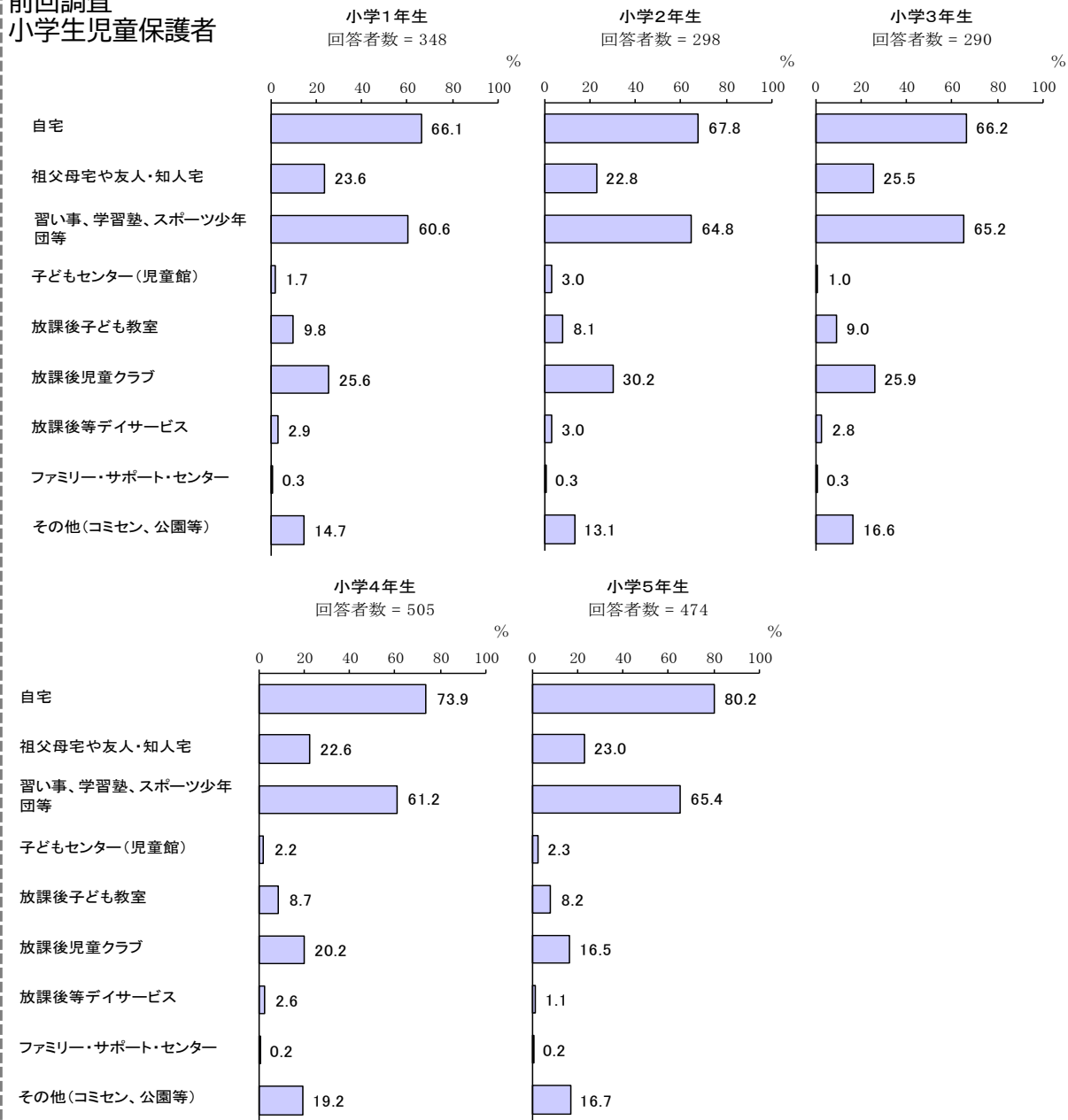
3～5年生では「自宅」の割合が最も多く、1年生では「放課後児童クラブ」、2年生は「自宅」と「放課後児童クラブ」が同数で最も多くなっています。



問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。

前回調査

小学生児童保護者



問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。

週あたりの日数

		回 答 者 数	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日
小学 1 年生	自宅	11	0.0	9.1	36.4	27.3	27.3	0.0	0.0
	祖父母宅や友人・知人宅	6	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	16	68.8	18.8	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0
	子どもセンター	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	19	0.0	5.3	10.5	26.3	57.9	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
小学 2 年生	自宅	12	8.3	25.0	33.3	16.7	8.3	0.0	8.3
	祖父母宅や友人・知人宅	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	9	33.3	55.6	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	子どもセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	12	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学 3 年生	自宅	18	11.1	16.7	33.3	11.1	27.8	0.0	0.0
	祖父母宅や友人・知人宅	6	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	15	53.3	33.3	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
	子どもセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	16	0.0	0.0	18.8	25.0	56.3	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

問21 小学校低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)の時に、放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。

		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
小学4年生	自宅	71	12.7	23.9	23.9	18.3	19.7	0.0	1.4
	祖父母宅や友人・知人宅	15	33.3	20.0	20.0	6.7	13.3	6.7	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	62	30.6	45.2	19.4	1.6	3.2	0.0	0.0
	子どもセンター	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	10	40.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	32	3.1	3.1	15.6	12.5	65.6	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	11	18.2	18.2	18.2	0.0	45.5	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	12	50.0	25.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0
小学5年生	自宅	98	14.3	22.4	20.4	12.2	29.6	0.0	1.0
	祖父母宅や友人・知人宅	19	57.9	10.5	10.5	0.0	15.8	5.3	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	79	26.6	38.0	26.6	6.3	2.5	0.0	0.0
	子どもセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	35	8.6	5.7	5.7	8.6	68.6	2.9	0.0
	放課後等デイサービス	5	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	9	33.3	44.4	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0

●小学3年生児童保護者、小学5年生児童保護者、中学2年生生徒保護者への質問

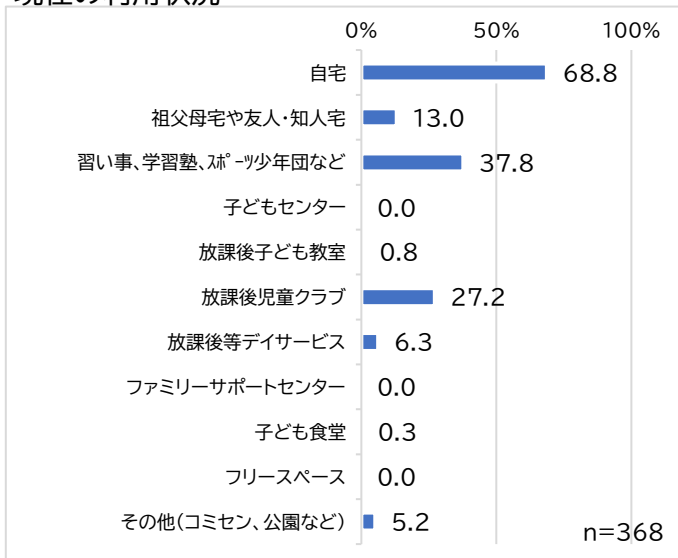
問22 放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。現在の状況と、今後について、それぞれ希望する週当たりのおおよその日数をお書きください。

現在の利用状況及び今後過ごさせたい場所は「自宅」が多いですが、中学2年生生徒保護者では、今後過ごさせたい場所として「部活動(学校)」が最も多くなりました。

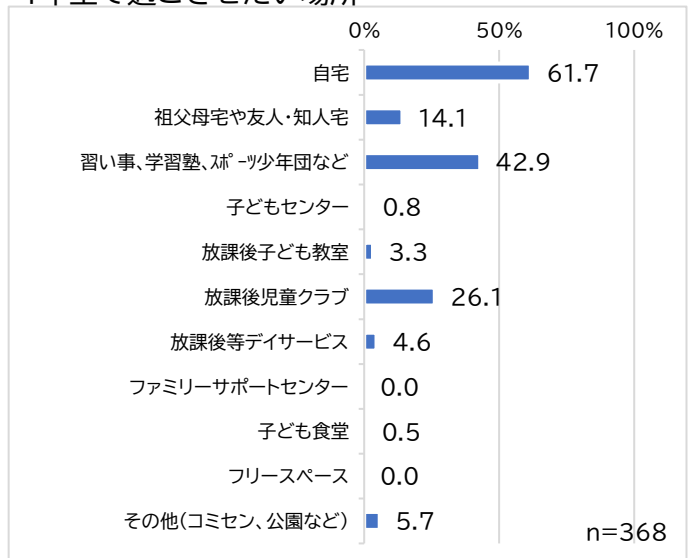
小学3年生児童保護者

現在の利用状況及び今後過ごさせたい場所はいずれも「自宅」の割合が最も多くなりました。

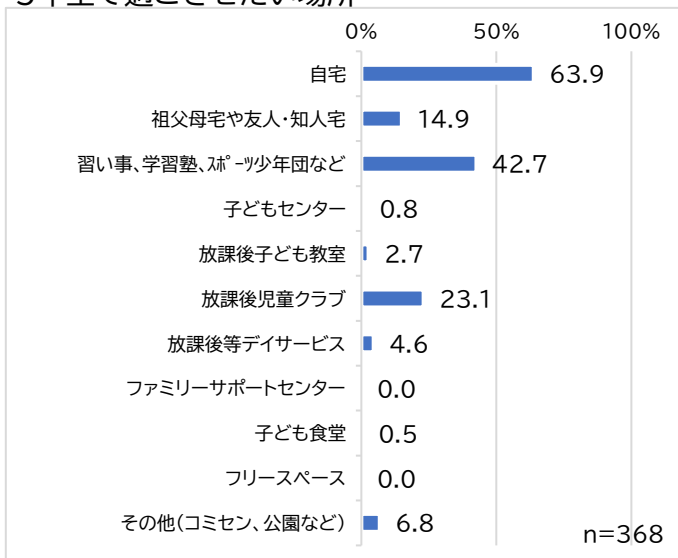
現在の利用状況



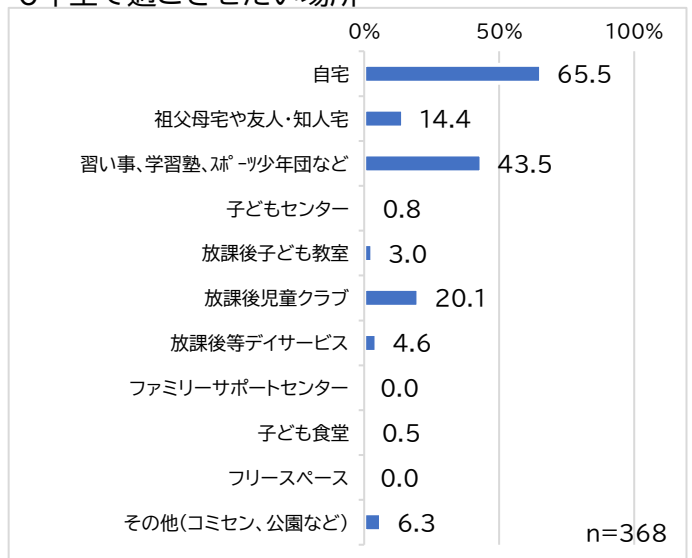
4年生で過ごさせたい場所



5年生で過ごさせたい場所



6年生で過ごさせたい場所



問22 放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。現在の状況と、今後について、それぞれ希望する週あたりのおおよその日数をお書きください。

週あたりの日数

		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
現在	自宅	253	15.0	13.0	16.6	17.4	37.2	0.0	0.8
	祖父母宅や友人・知人宅	48	43.8	22.9	10.4	8.3	14.6	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	139	41.0	25.9	17.3	12.2	3.6	0.0	0.0
	子どもセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	100	1.0	2.0	6.0	13.0	76.0	2.0	0.0
	放課後等デイサービス	23	4.3	17.4	21.7	34.8	21.7	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	19	36.8	26.3	26.3	5.3	5.3	0.0	0.0

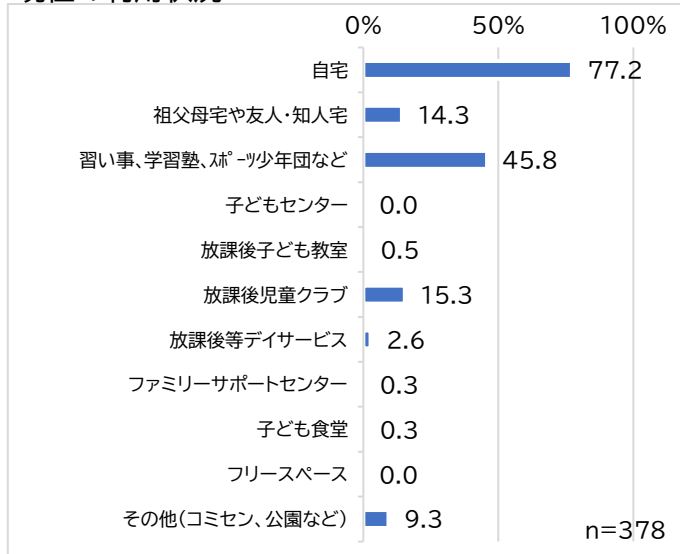
		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
小学4年生で過ごさせたい場所	自宅	227	16.7	18.9	18.9	16.3	28.2	0.0	0.9
	祖父母宅や友人・知人宅	52	50.0	25.0	5.8	5.8	13.5	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	158	36.1	29.7	18.4	11.4	4.4	0.0	0.0
	子どもセンター	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	12	41.7	25.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	96	0.0	4.2	7.3	11.5	76.0	1.0	0.0
	放課後等デイサービス	17	5.9	11.8	29.4	29.4	23.5	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	21	28.6	42.9	19.0	9.5	0.0	0.0	0.0
小学5年生で過ごさせたい場所	自宅	235	15.3	17.9	22.6	14.5	28.9	0.0	0.9
	祖父母宅や友人・知人宅	55	49.1	25.5	5.5	7.3	12.7	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	157	32.5	33.1	18.5	10.8	5.1	0.0	0.0
	子どもセンター	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	10	50.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	85	0.0	4.7	9.4	12.9	71.8	1.2	0.0
	放課後等デイサービス	17	11.8	23.5	23.5	23.5	17.6	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	25	36.0	40.0	12.0	12.0	0.0	0.0	0.0
小学6年生で過ごさせたい場所	自宅	241	14.1	18.7	21.6	13.7	31.1	0.0	0.8
	祖父母宅や友人・知人宅	53	45.3	32.1	3.8	5.7	13.2	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	160	31.9	33.1	19.4	10.6	5.0	0.0	0.0
	子どもセンター	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	11	54.5	27.3	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	74	0.0	6.8	8.1	14.9	70.3	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	17	11.8	23.5	23.5	29.4	11.8	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	23	39.1	39.1	8.7	13.0	0.0	0.0	0.0

問22 放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。現在の状況と、今後について、それぞれ希望する週当たりのおおよその日数をお書きください。

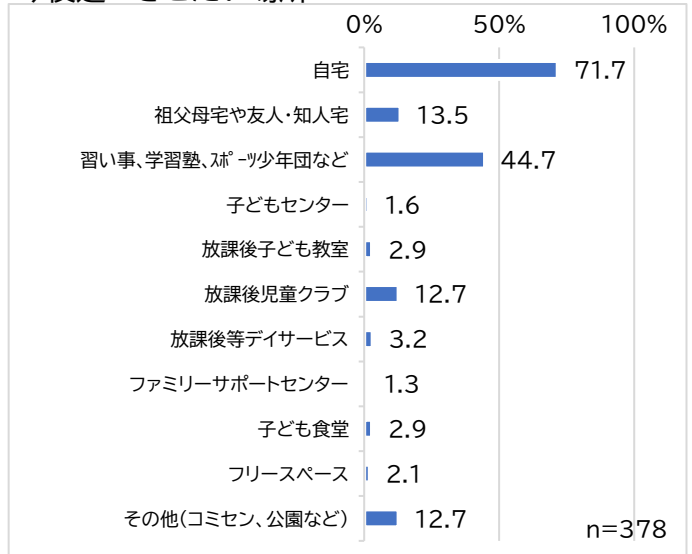
小学5年生児童保護者

現在の利用状況及び今後過ごさせたい場所はいずれも「自宅」の割合が最も多くなりました。

現在の利用状況



今後過ごさせたい場所



週あたりの日数

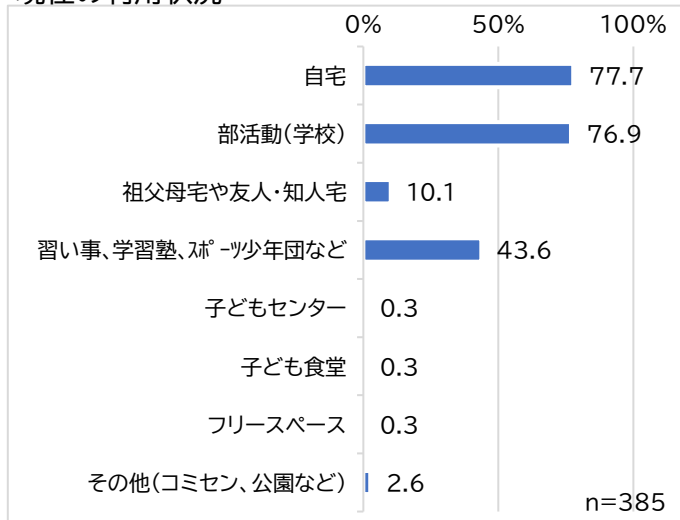
		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
現在	自宅	292	8.6	13.7	14.4	7.2	45.2	1.4	9.6
	祖父母宅や友人・知人宅	54	44.4	24.1	11.1	3.7	11.1	0.0	5.6
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	173	23.7	34.7	26.0	12.1	2.9	0.0	0.6
	子どもセンター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後子ども教室	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	58	0.0	1.7	12.1	10.3	72.4	3.4	0.0
	放課後等デイサービス	10	20.0	10.0	40.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	35	51.4	31.4	11.4	2.9	2.9	0.0	0.0
今後	自宅	271	8.9	18.1	13.3	7.7	42.8	1.5	7.7
	祖父母宅や友人・知人宅	51	37.3	31.4	11.8	3.9	11.8	0.0	3.9
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	169	23.7	39.6	21.9	10.7	3.6	0.0	0.6
	子どもセンター	6	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	放課後子ども教室	11	45.5	18.2	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0
	放課後児童クラブ	48	2.1	2.1	14.6	10.4	66.7	4.2	0.0
	放課後等デイサービス	12	25.0	0.0	50.0	8.3	16.7	0.0	0.0
	ファミリーサポートセンター	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	11	63.6	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	8	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	48	54.2	29.2	12.5	2.1	2.1	0.0	0.0

問22 放課後(平日の授業終了後)の時間を主にどのように過ごさせたいと思いますか。現在の状況と、今後について、それぞれ希望する週あたりのおおよその日数をお書きください。

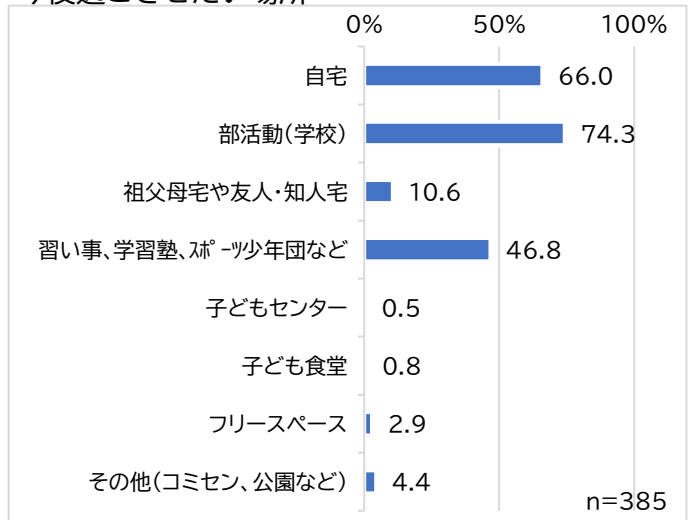
中学2年生生徒保護者

現在の利用状況は「自宅」の割合が最も多くなっています。今後過ごさせたい場所については、「部活動(学校)」が最も多くなりました。

現在の利用状況



今後過ごさせたい場所



週あたりの日数

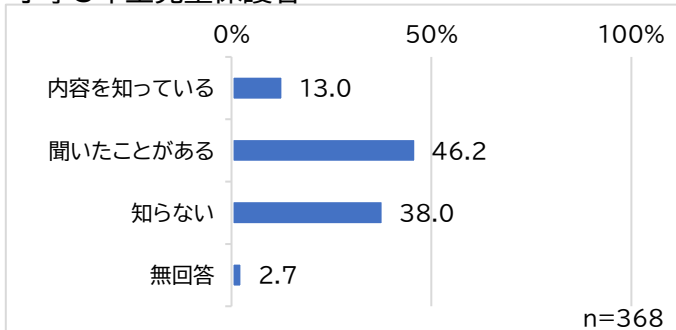
		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
現在	自宅	299	35.8	20.1	8.4	3.0	24.1	0.7	8.0
	部活動(学校)	296	2.0	3.4	11.8	54.4	26.7	1.4	0.3
	祖父母宅や友人・知人宅	39	69.2	20.5	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	168	22.0	42.9	17.3	13.1	4.2	0.6	0.0
	子どもセンター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	子ども食堂	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	10	50.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
今後	自宅	254	39.8	20.5	9.8	2.8	20.1	0.4	6.7
	部活動(学校)	286	1.4	4.2	14.7	52.1	26.6	1.0	0.0
	祖父母宅や友人・知人宅	41	80.5	14.6	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	習い事、学習塾、スポーツ少年団など	180	21.7	41.7	20.0	11.7	5.0	0.0	0.0
	子どもセンター	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子ども食堂	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フリースペース	11	36.4	27.3	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
	その他(コミセン、公園など)	17	52.9	29.4	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0

子どもの権利について

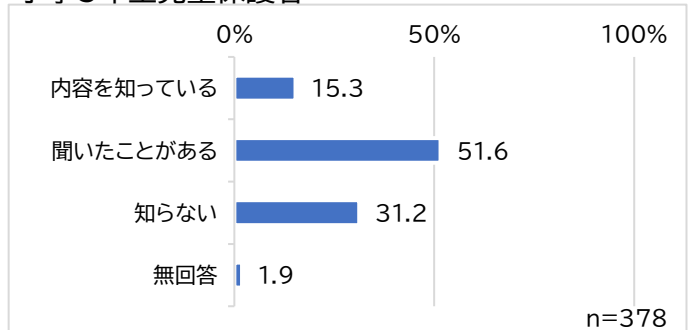
問23 「子どもの権利条約」(子どもの権利について、1989年に国際連合で採択され、1994年に日本でも守っていくことを約束した国際的なルール)を知っていますか。(○は1つ)

いずれも「聞いたことがある」の割合が最も多くなっています。前回調査と比べて「内容を知っている」「聞いたことがある」の割合は、前回54.9%に対し、今回は、小学3年生児童保護者59.2%、小学5年生児童保護者66.9%、中学2年生生徒保護者68.5%と、いずれも今回調査の方が上回っています。

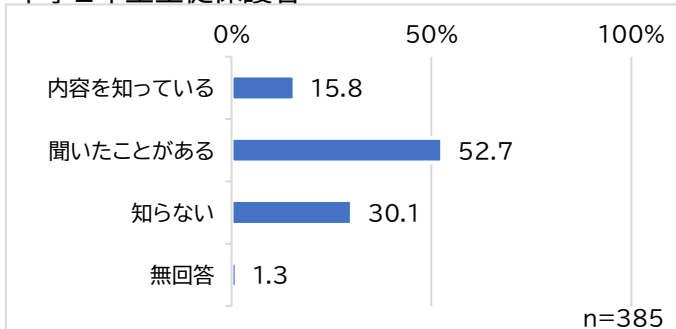
小学3年生児童保護者



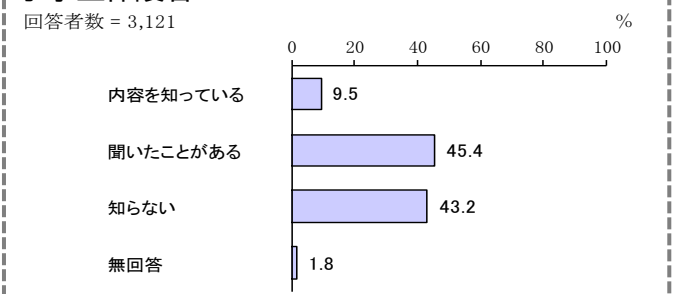
小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

前回調査
小学生保護者

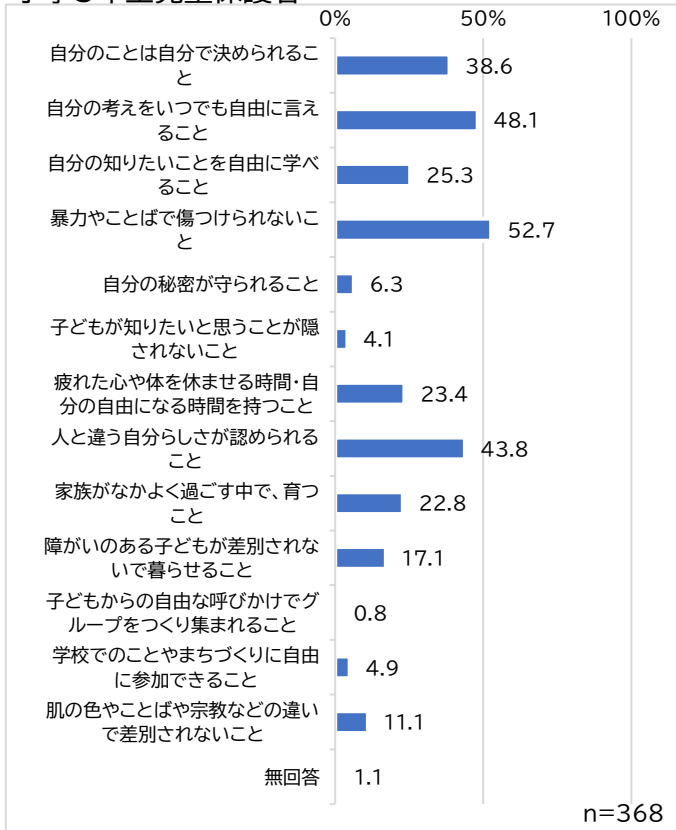
回答者数 = 3,121



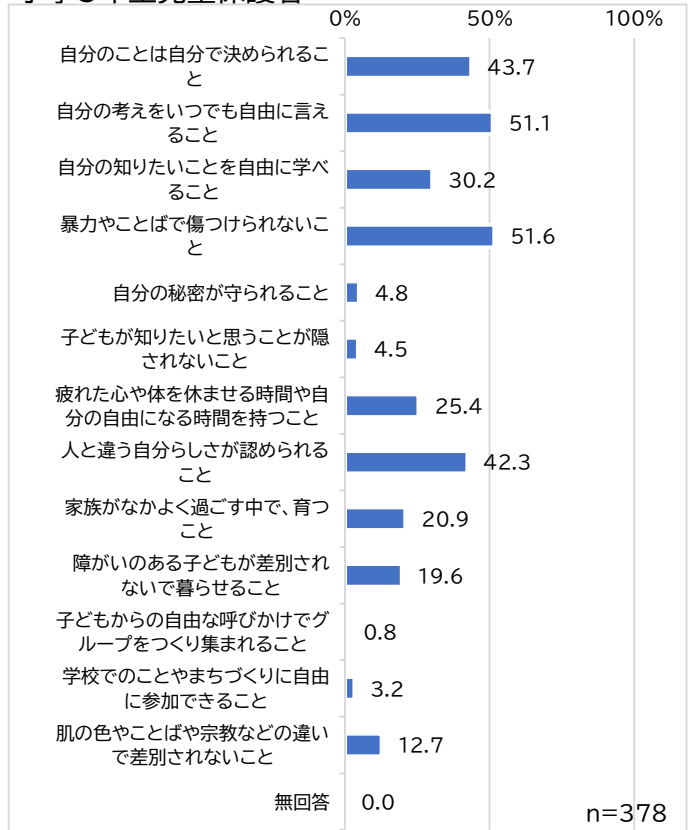
問24 子どもの権利の中で、特に大切だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

いずれも前回調査と同じく、「暴力やことばで傷つけられないこと」の割合が最も多くなっています。

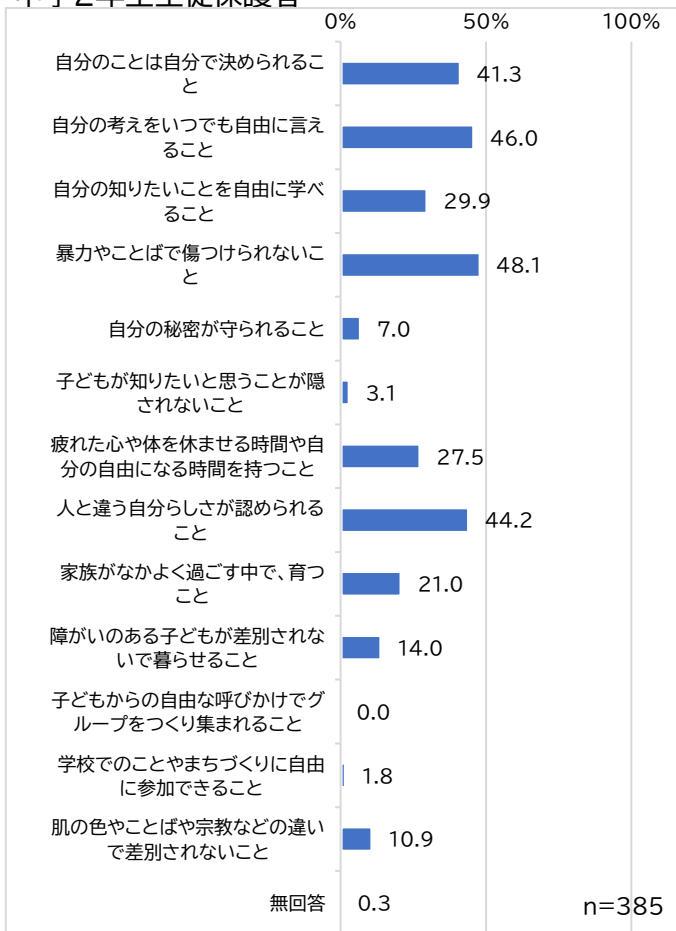
小学3年生児童保護者



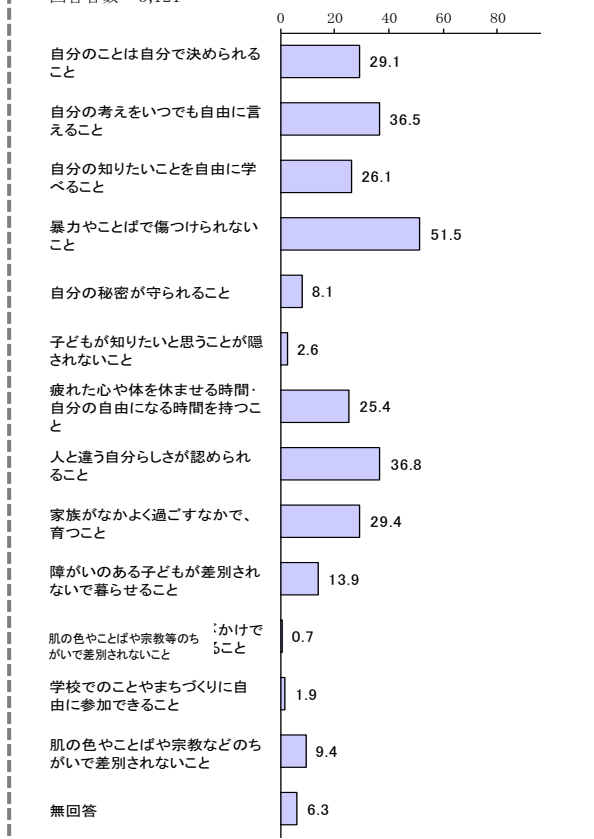
小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

前回調査
小学生保護者

回答者数 = 3,121



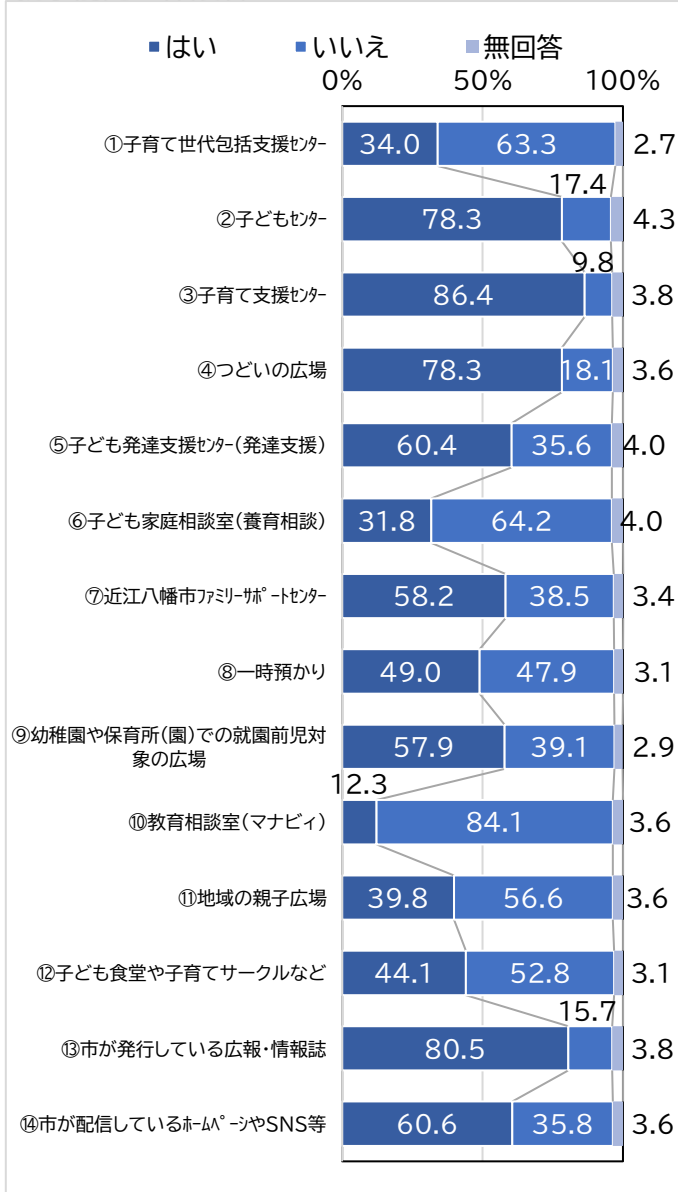
子育て環境について

問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

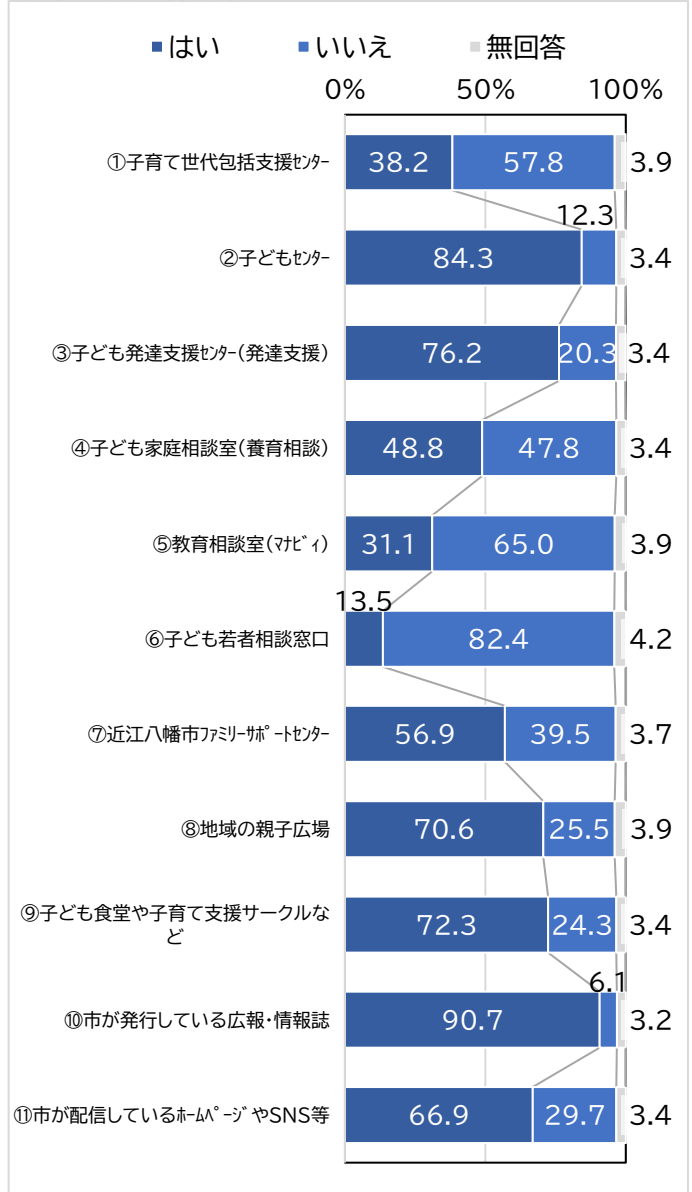
(1)周知状況

最も周知されている取り組みは、就学前児童保護者では「子育て支援センター」、小学生児童保護者では「市が発行している広報・情報誌」で、最も周知されていない取り組みは、就学前児童保護者では「教育相談室(マナビィ)」、小学生児童保護者では「子ども若者相談窓口」でした。

就学前児童保護者



小学生児童保護者



問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

前回調査 就学前保護者

回答者数 = 1,969

①子育て世代包括支援センター
(妊娠期からの支援)



②子どもセンター(旧:児童館)



③子育て支援センター



④つどいの広場(ほんわかの家、
あいあいの家)



⑤子ども発達支援センター
(発達支援)



⑥子ども家庭相談室(養育相談)



⑦近江八幡市ファミリー・サポート・
センター「すくすく」



⑧幼稚園や保育所での就園
前児対象の広場(ふれあい幼稚園・
園庭開放・きらきら広場等)



⑨地域の親子広場(まちづくり協
会がコミセンで行う親子交流の場)



⑩子ども食堂(居場所支援)



⑪市が発行している広報・情報誌



⑫市が配信しているホームページ・
タウンメール・フェイスブック



※取り組みの種類は、前回調査及び今回調査の調査票ごとに異なっています。

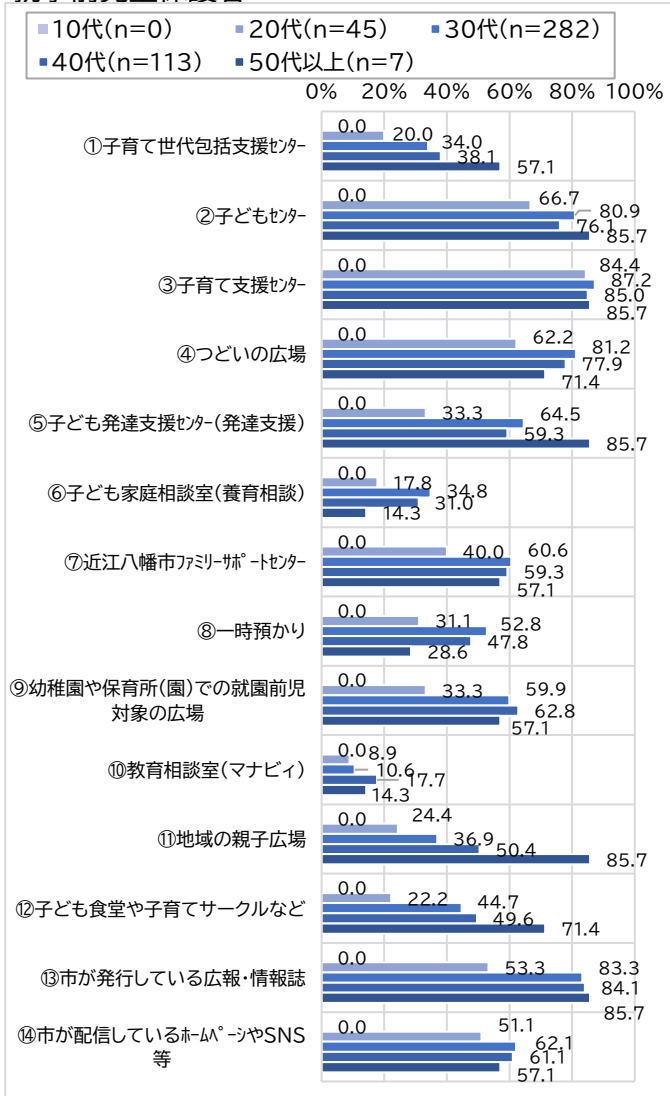
問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

回答者の年齢別にみると、就学前児童保護者は年齢が上がるに伴って周知されている割合も増えていく傾向にあり、最も増加しているのは「地域の親子広場」でした。

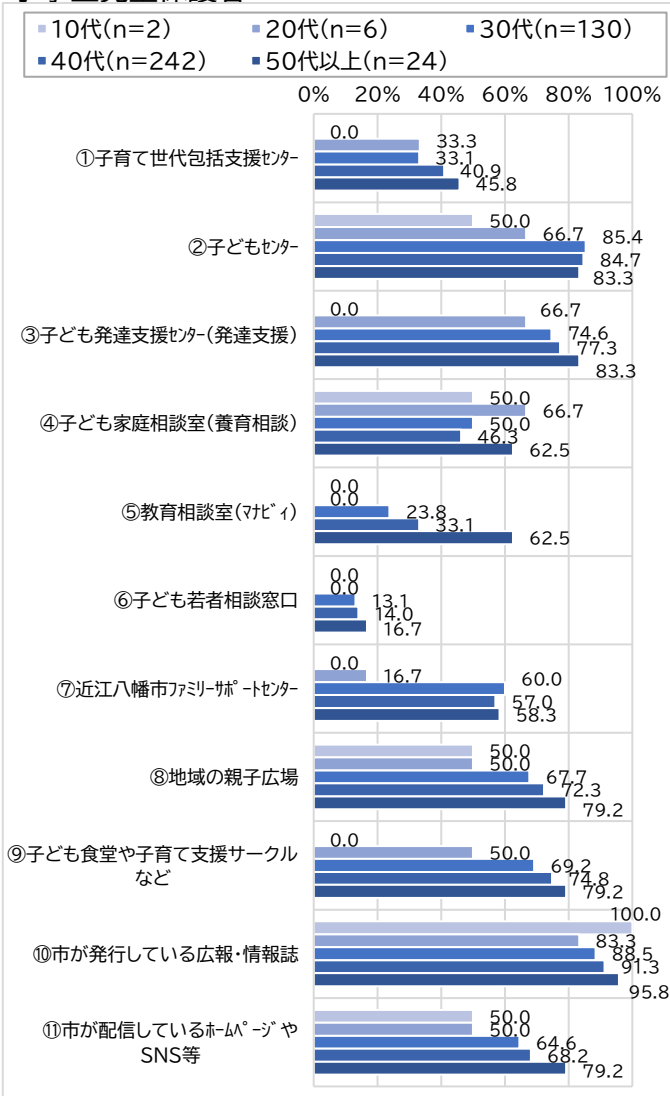
小学生児童保護者も、就学前児童保護者と同様に、年齢が上がるに伴って周知されている割合も増えていく傾向にあります。最も増加しているのは「教育相談室(マナビイ)」で、10代と20代は0%、30代は23.8%、40代は33.1%、50代以上は62.5%となっています。

【回答者の年齢×周知状況】

就学前児童保護者



小学生児童保護者

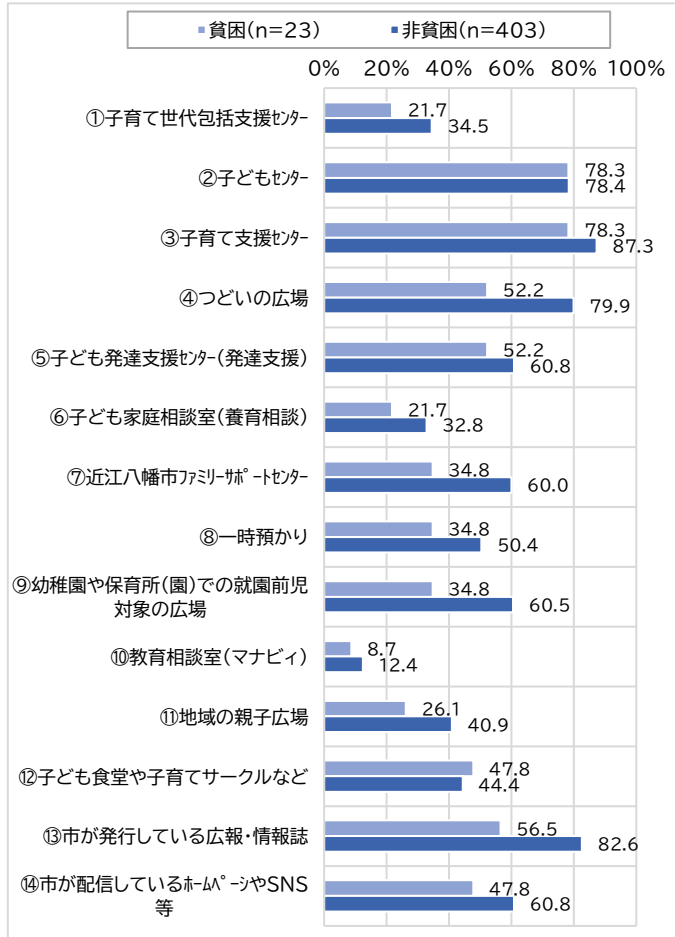


問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

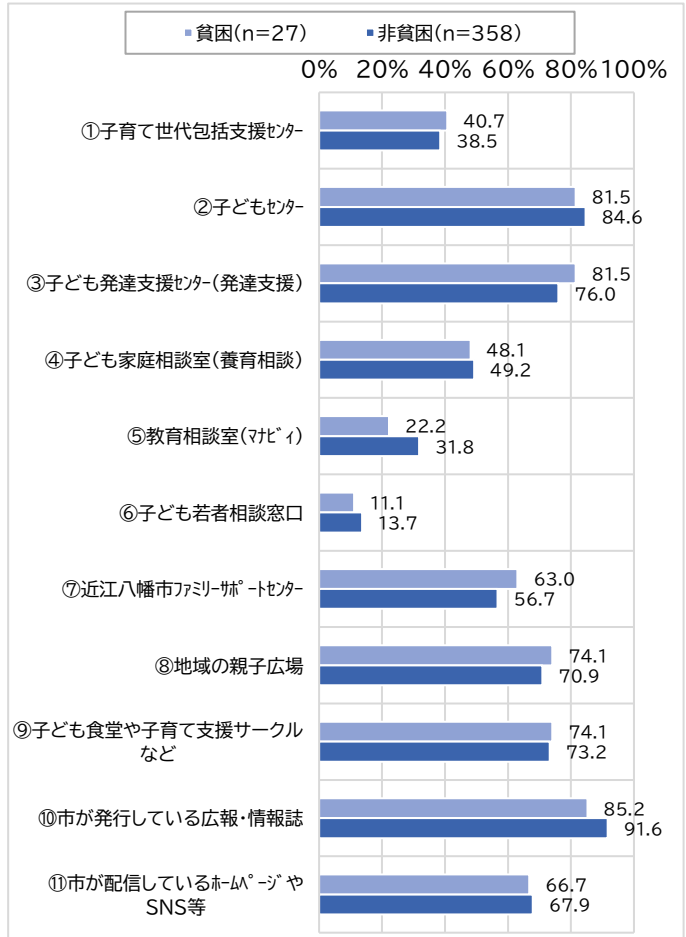
貧困度別にみると、就学前児童保護者は「子ども食堂や子育てサークルなど」を除いたすべての項目で、貧困世帯の方が非貧困世帯よりも周知度が低くなっています。

小学生児童保護者は「子ども発達支援センター」「近江八幡市ファミリーサポートセンター」「地域の親子広場」「子ども食堂や子育て支援サークル」については、貧困世帯の方が非貧困世帯よりも周知度が高くなっています。

【貧困度×周知状況】 就学前児童保護者



小学生児童保護者



○貧困世帯とは

1年間の家族全員の収入(税金と社会保険料等を引く前の総額(額面))の合計額が一定水準である127万円(※)未満とみなされる世帯(収入の選択肢の中央値をその世帯の収入とみなし、等価可処分所得を算出)

(※)一定水準の考え方

本調査では、厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」から算出された「等価可処分所得」の中央値の50%である127万円を基準とし、等価可処分所得が127万円未満の世帯を「貧困世帯」と区分しました。

※この貧困度は、ニーズ調査 問1(8)お子さんを含めた同居人数と、生活実態調査 問2世帯収入の質問から算出しています。

問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

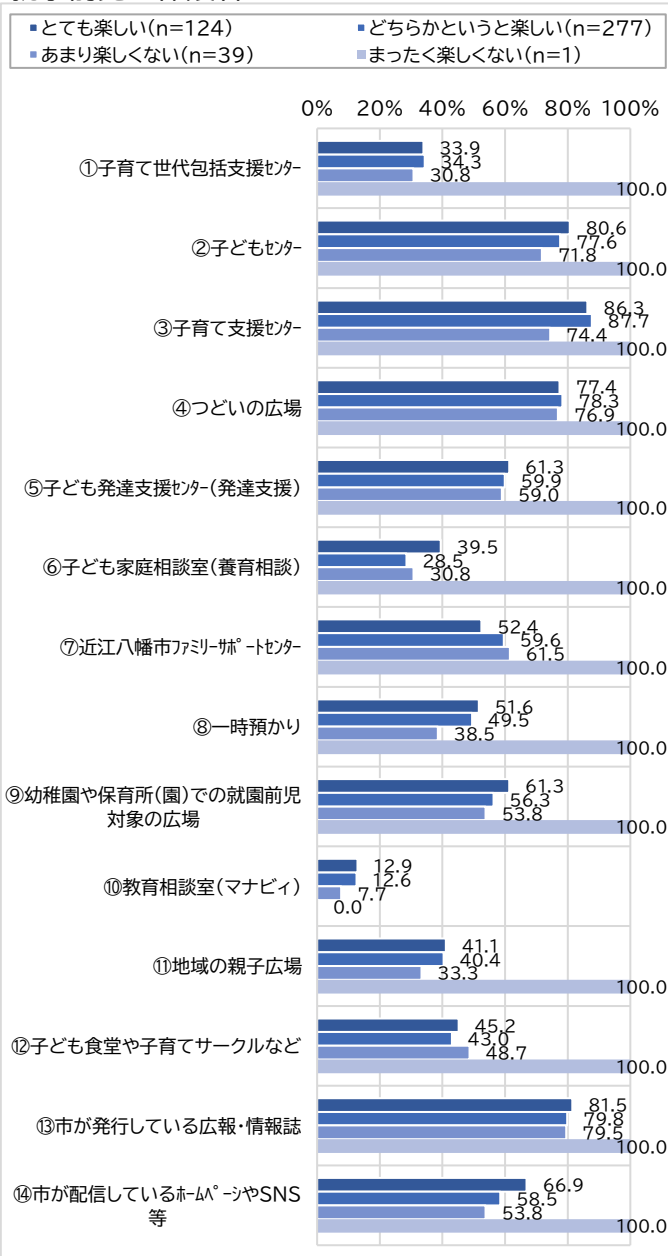
子育ての楽しさ別でみると、就学前児童保護者は、「とても楽しい」よりも「あまり楽しくない」の周知度が最も高いのは「近江八幡市ファミリーサポートセンター」、最も低いのは「一時預かり」と「市が配信しているホームページやSNS等」でした。

小学生児童保護者は、「とても楽しい」よりも「あまり楽しくない」の周知度が最も高いのは「教育相談室(マナビィ)」, 最も低いのは「地域の親子広場」でした。

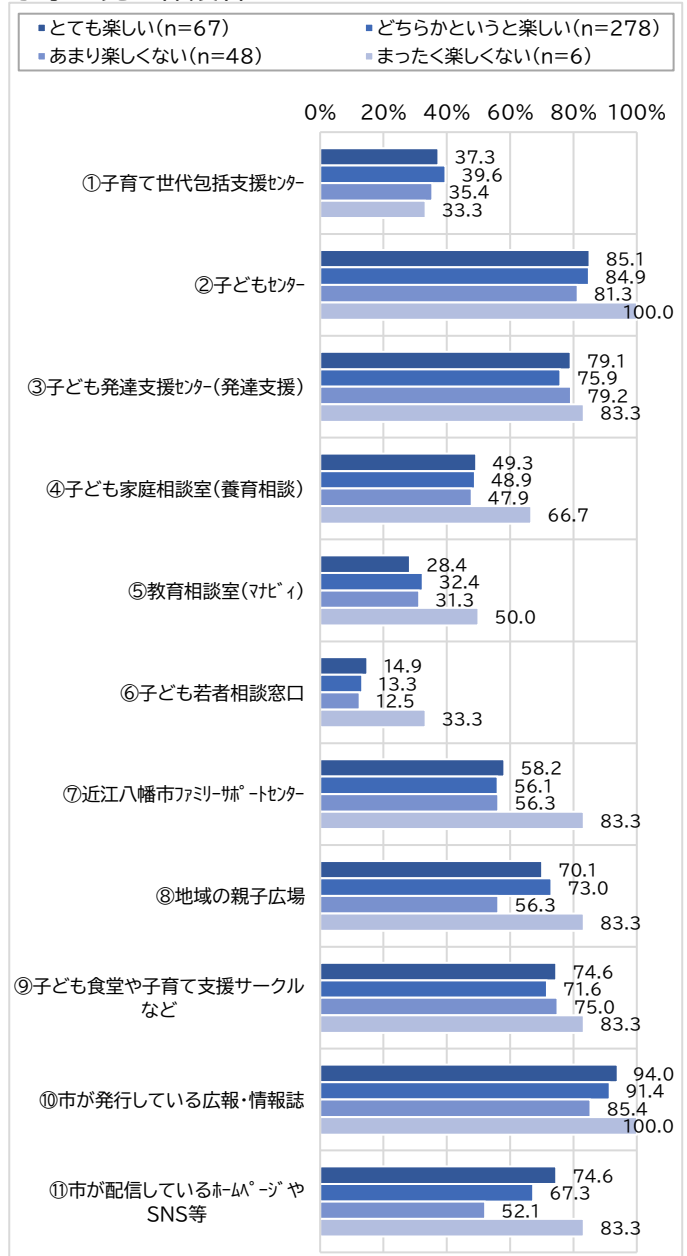
※まったく楽しくないは回答数が6件のため比較対象から除外しています。

【子育ての楽しさ×周知状況】

就学前児童保護者



小学生児童保護者

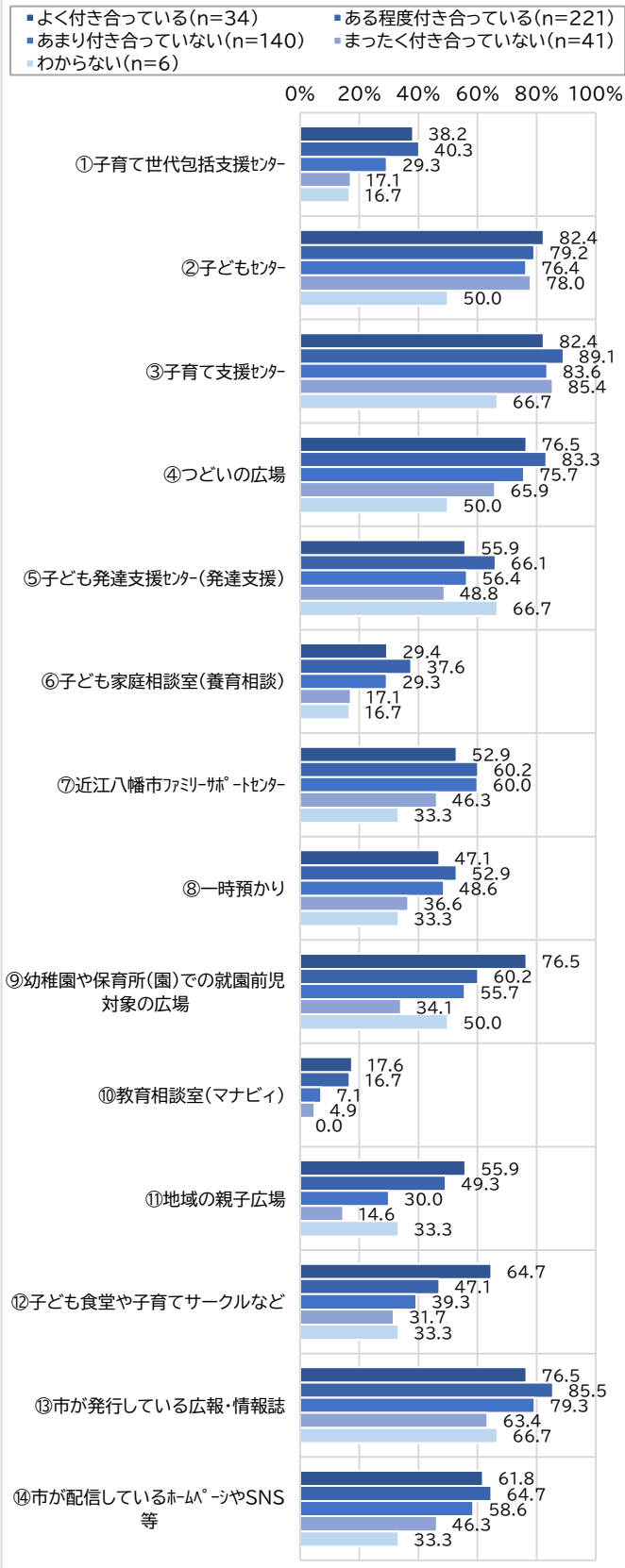


問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

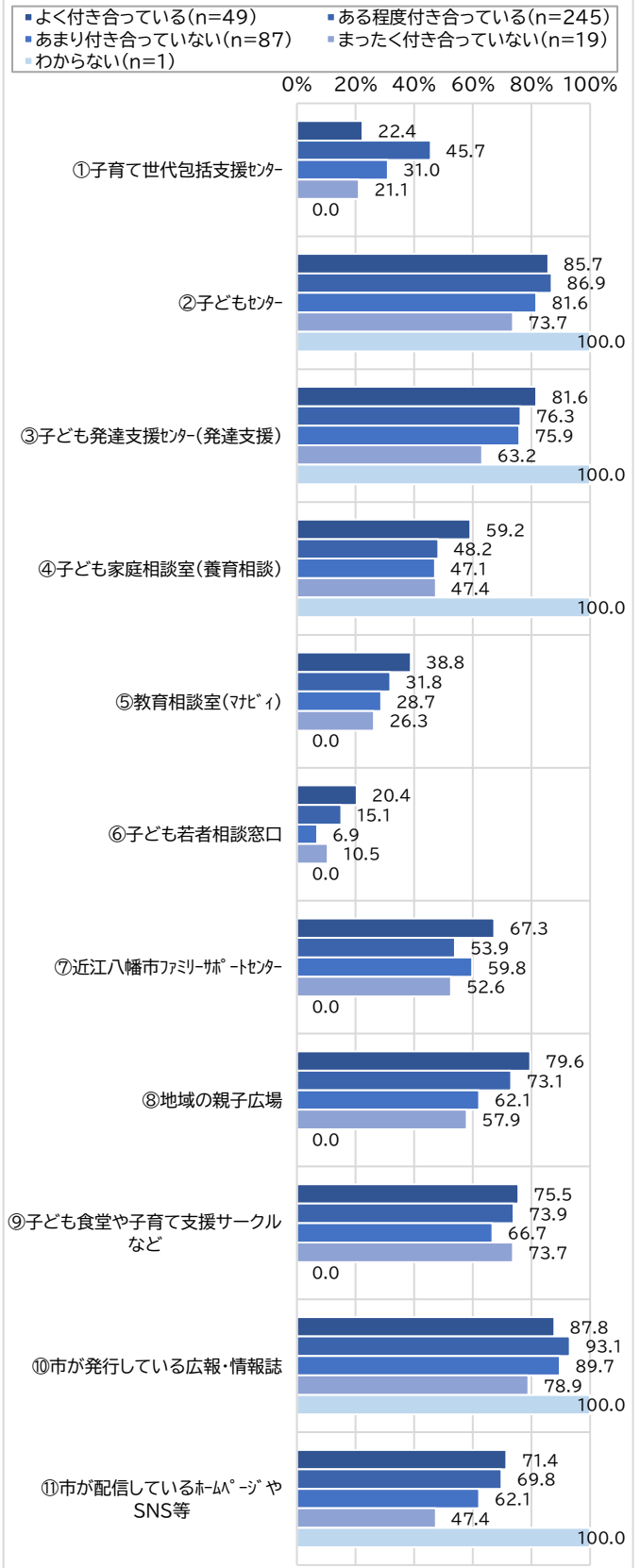
地域・近所との関わり別でみると、「よく付き合っている」と「まったく付き合っていない」との周知度の差が最も高いのは、就学前児童保護者は「幼稚園や保育所(園)での就園前児対象の広場」、小学生児童保護者は「市が配信しているホームページやSNS等」でした。

【地域・近所との関わり×周知状況】

就学前児童保護者



小学生児童保護者

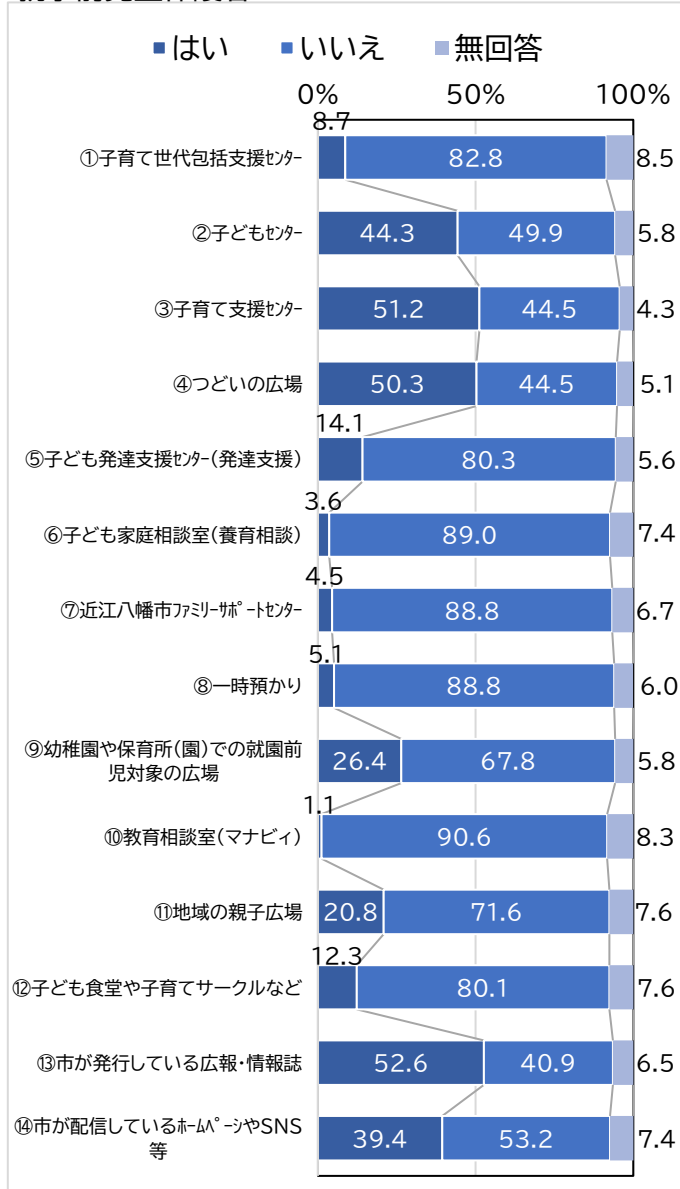


問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

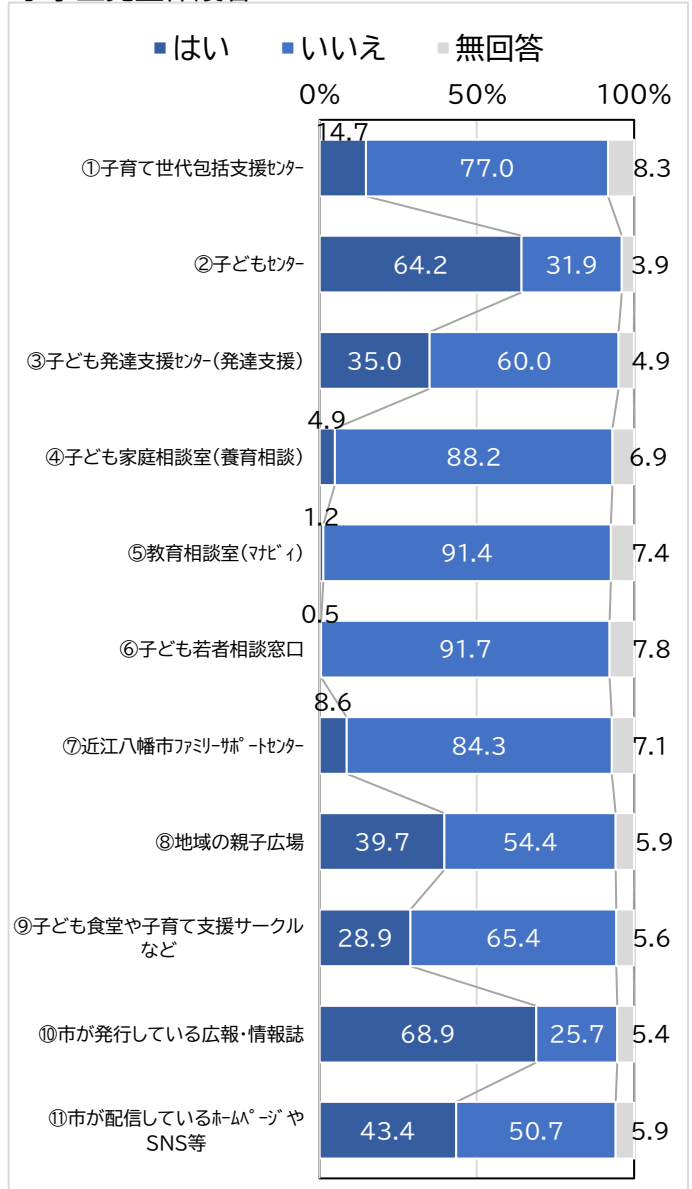
(2)利用状況

最も利用されている取り組みは、就学前児童保護者、小学生児童保護者とも「市が発行している広報・情報誌」、最も利用されていない取り組みは、就学前児童保護者では「教育相談室(マナビイ)」、小学生児童保護者では「子ども若者相談窓口」でした。

就学前児童保護者



小学生児童保護者

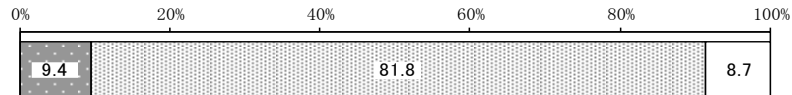


問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

前回調査 就学前保護者

回答者数 = 1,969

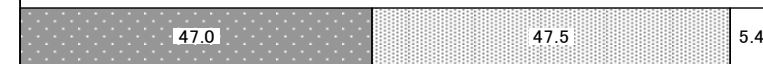
①子育て世代包括支援センター
(妊娠期からの支援)



②子どもセンター(旧:児童館)



③子育て支援センター



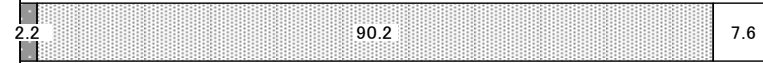
④つどいの広場(ほんわかの家、
あいあいの家)



⑤子ども発達支援センター
(発達支援)



⑥子ども家庭相談室(養育相談)



⑦近江八幡市ファミリー・サポート・
センター「すくすく」



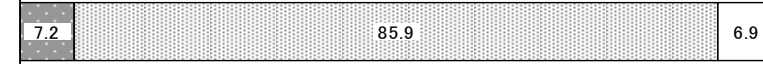
⑧幼稚園や保育所での就園
前児対象の広場(ふれあい幼稚園・
園庭開放・きらきら広場等)



⑨地域の親子広場(まちづくり協議
会がコミセンで行う親子交流の場)



⑩子ども食堂(居場所支援)



⑪市が発行している広報・情報誌



⑫市が配信しているホームページ・
タウンメール・フェイスブック



※取り組みの種類は、前回調査及び今回調査の調査票ごとに異なっています。

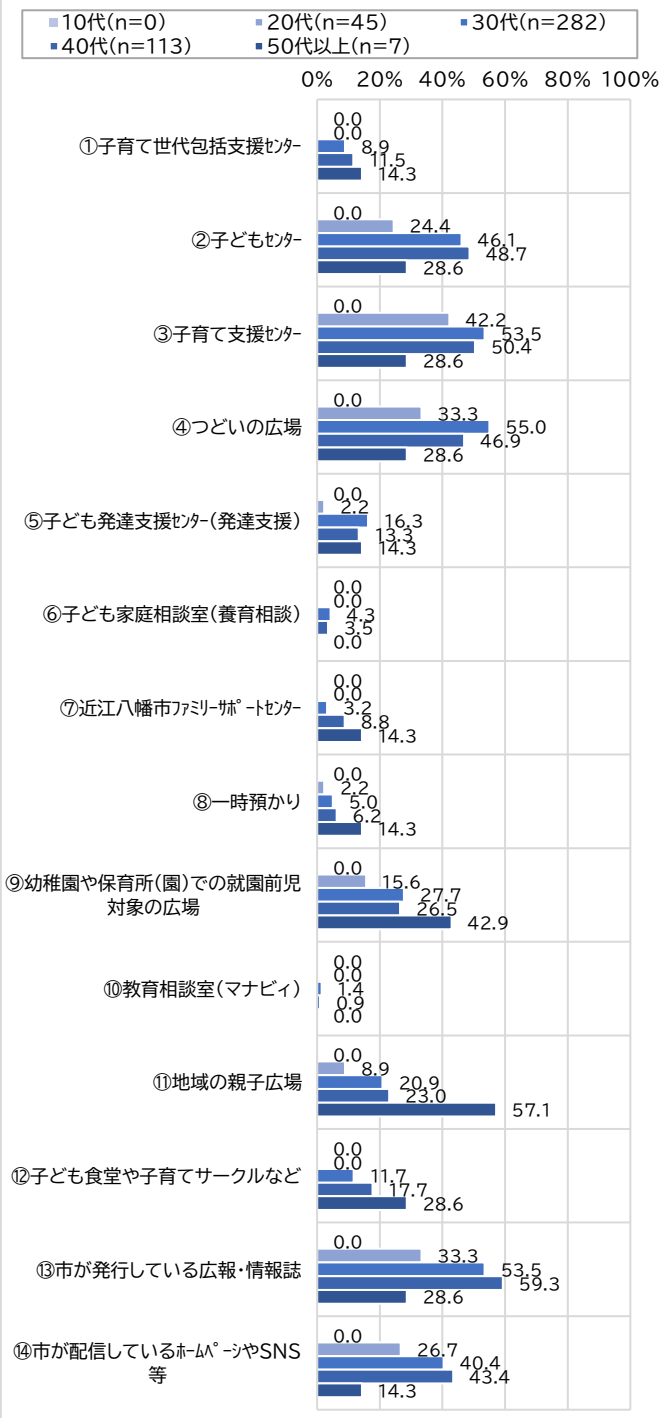
問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

回答者の年齢別にみると、就学前児童保護者は、年齢が上がるに伴って利用されている割合も増えていく傾向にあり、最も増加しているのは「地域の親子広場」でした。

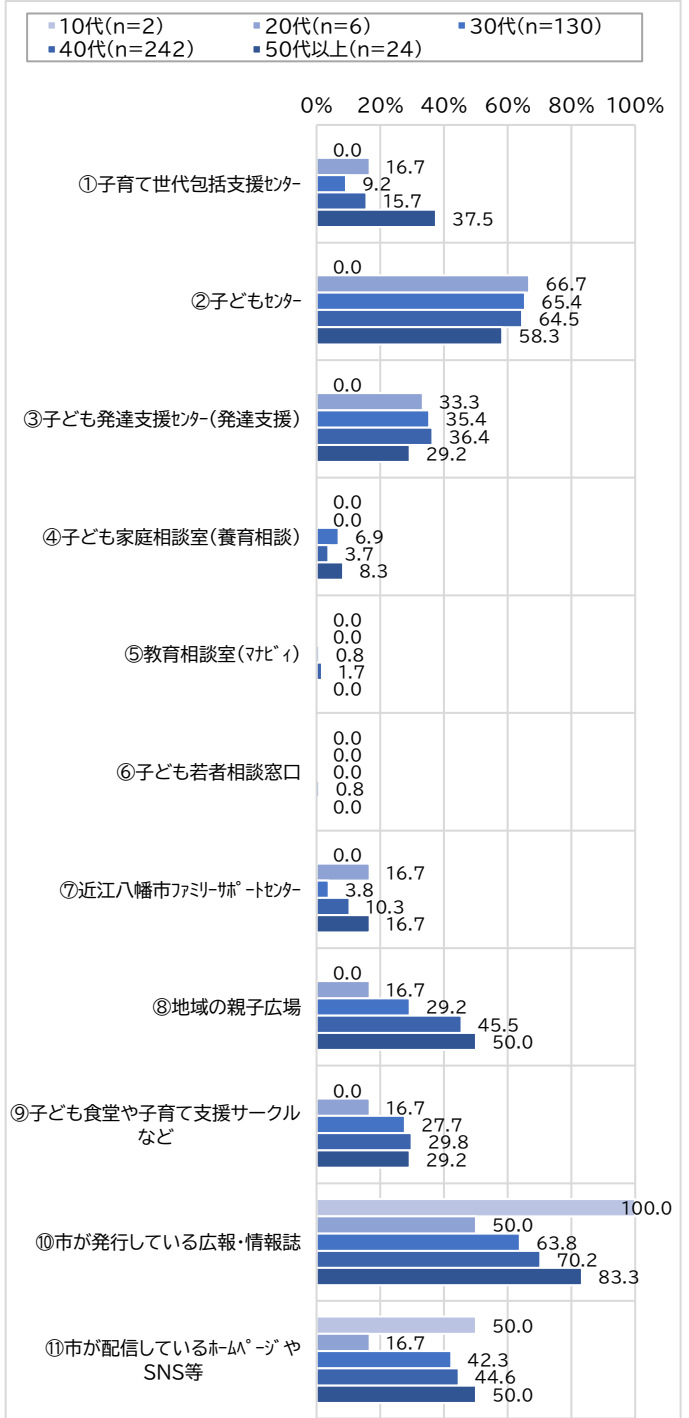
小学生児童保護者は、回答者の年齢別にみると、20代、30代では「子どもセンター」が多く利用されており、40代、50代以上では「市が発行している広報・情報誌」が多く利用されています。

【回答者の年齢×利用状況】

就学前児童保護者



小学生児童保護者



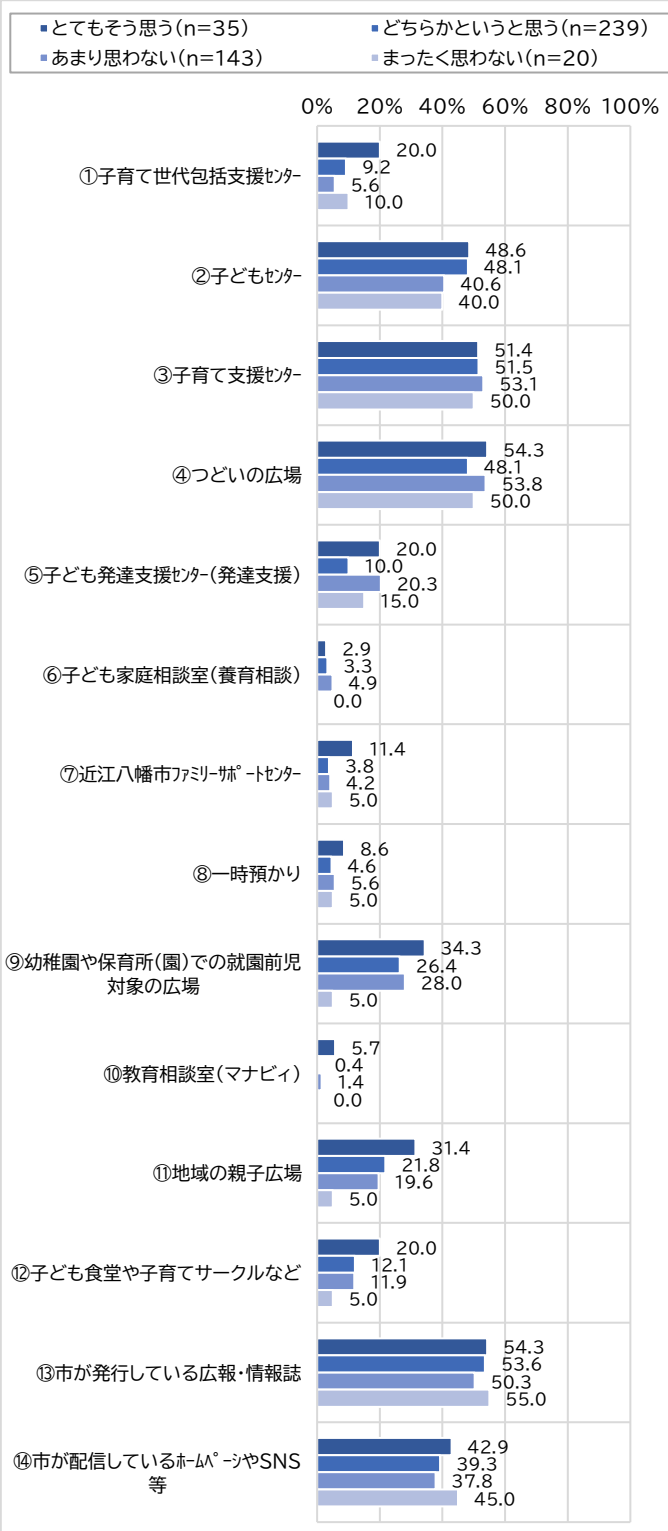
問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

子育て環境の評価別にみると、就学前児童保護者は、「まったく思わない」では「幼稚園や保育所(園)での就園前児対象の広場」「地域の親子広場」「子ども食堂や子育てサークルなど」の利用が他と比べて低くなっています。

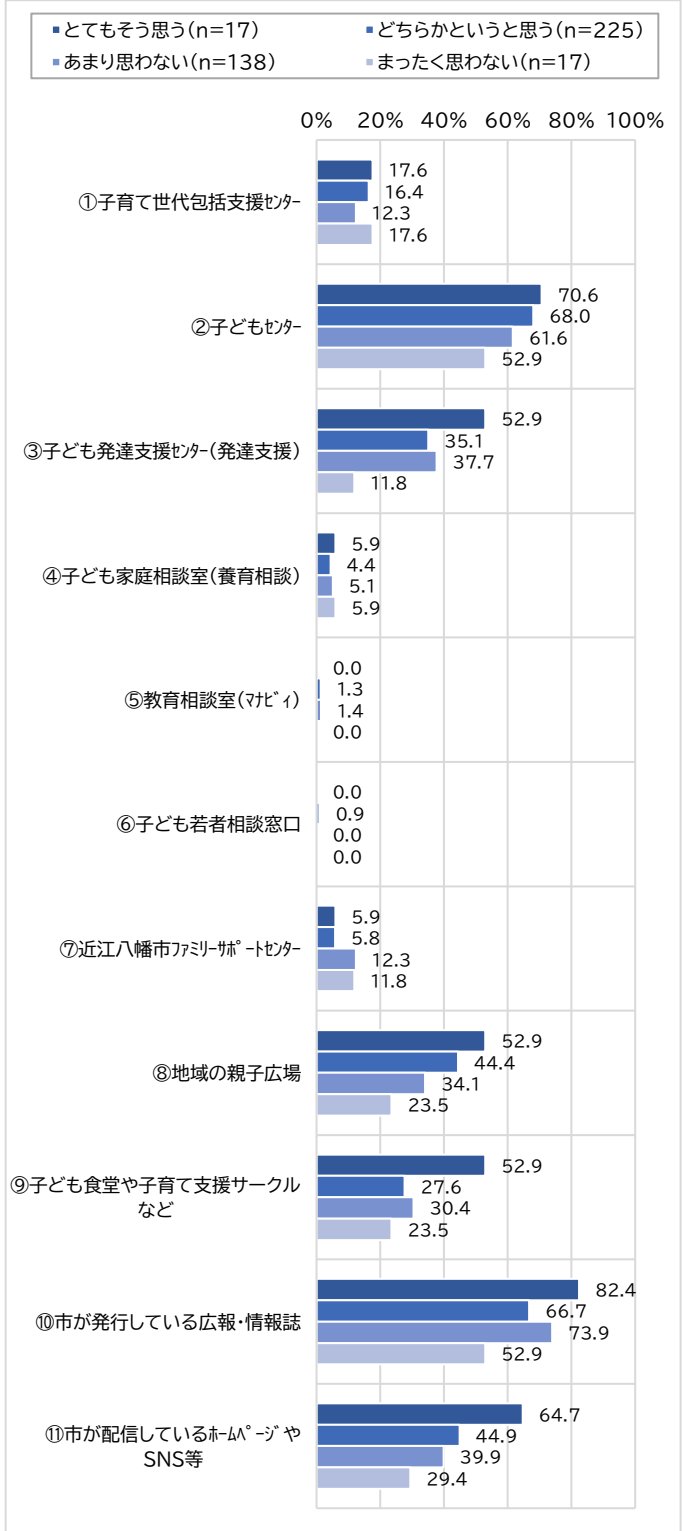
小学生児童保護者は、「まったく思わない」では「子ども発達支援センター(発達支援)」の利用の割合が他と比べて最も低く、次いで「市が配信しているホームページやSNS等」の利用も低くなっています。

【子育て環境の評価×利用状況】

就学前児童保護者



小学生児童保護者

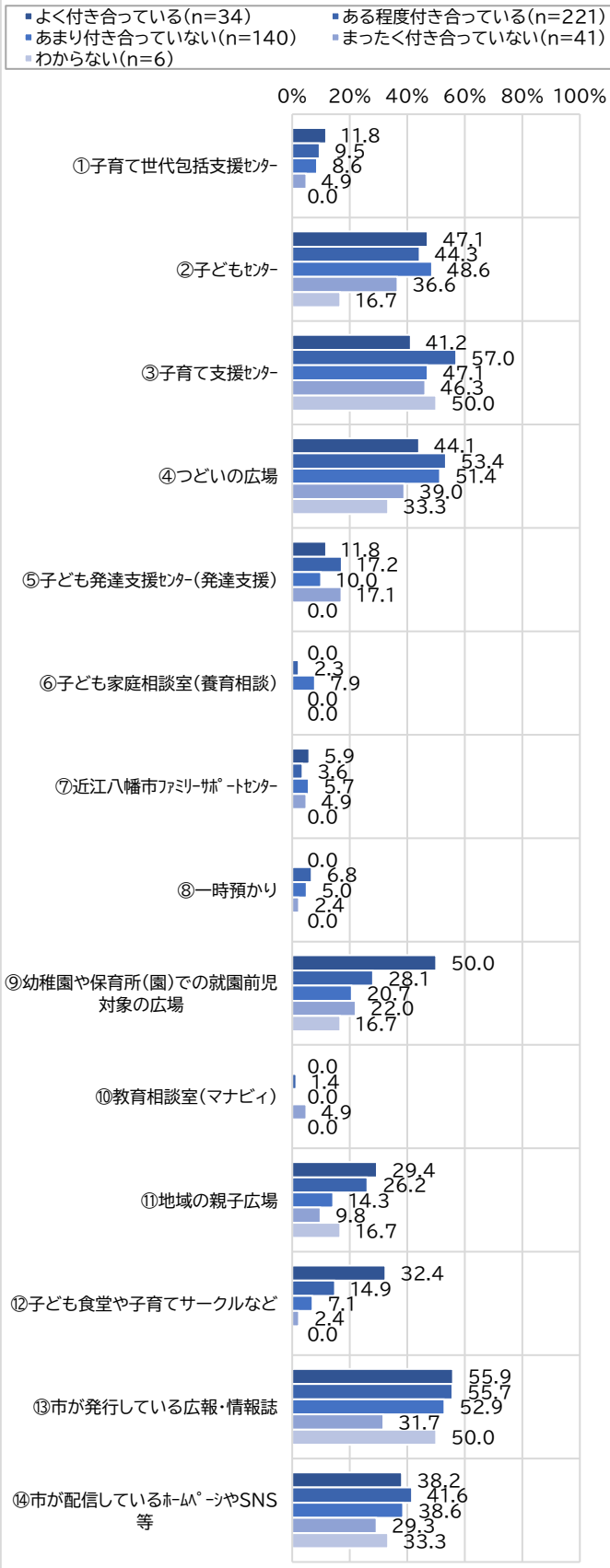


問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

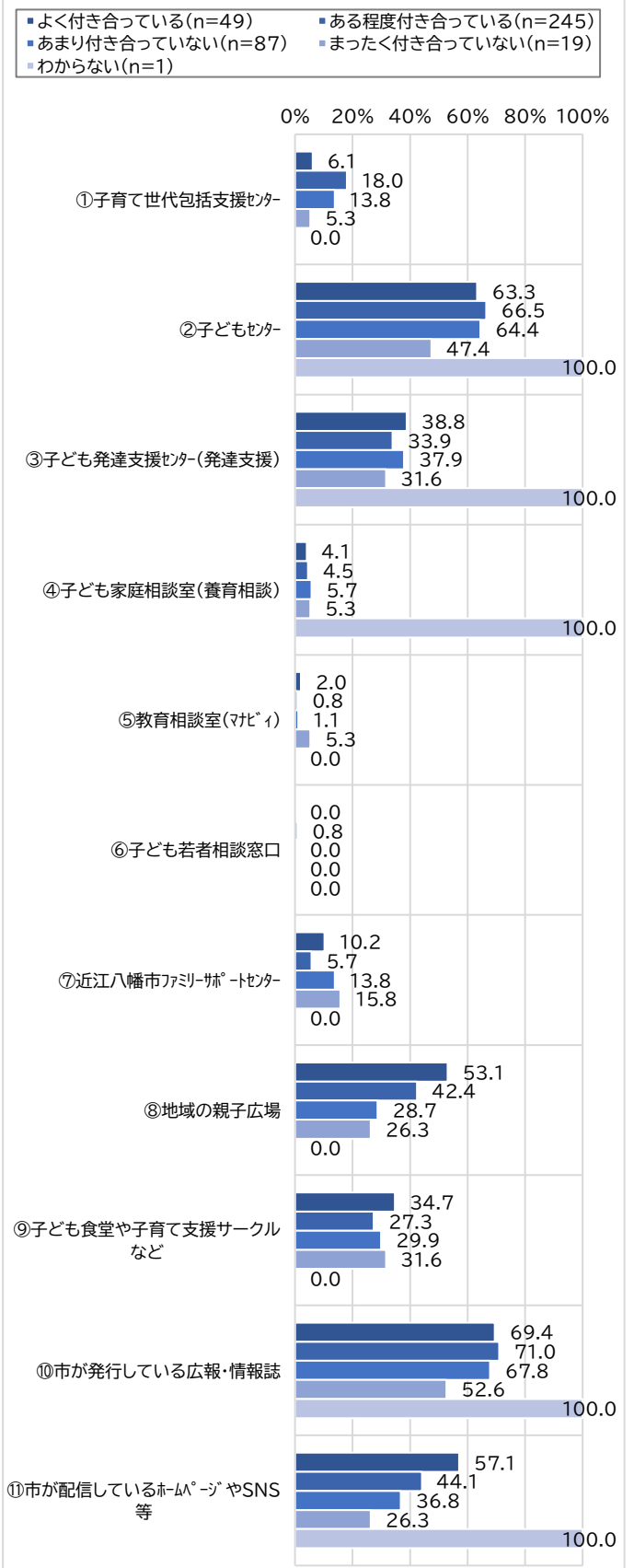
地域・近所との関わり別でみると、「よく付き合っている」と「まったく付き合っていない」との利用状況の差が最も高いのは、就学前児童保護者は「子ども食堂や子育てサークルなど」、小学生児童保護者は「市が配信しているホームページやSNS等」でした。

【地域・近所との関わり×利用状況】

就学前児童保護者



小学生児童保護者

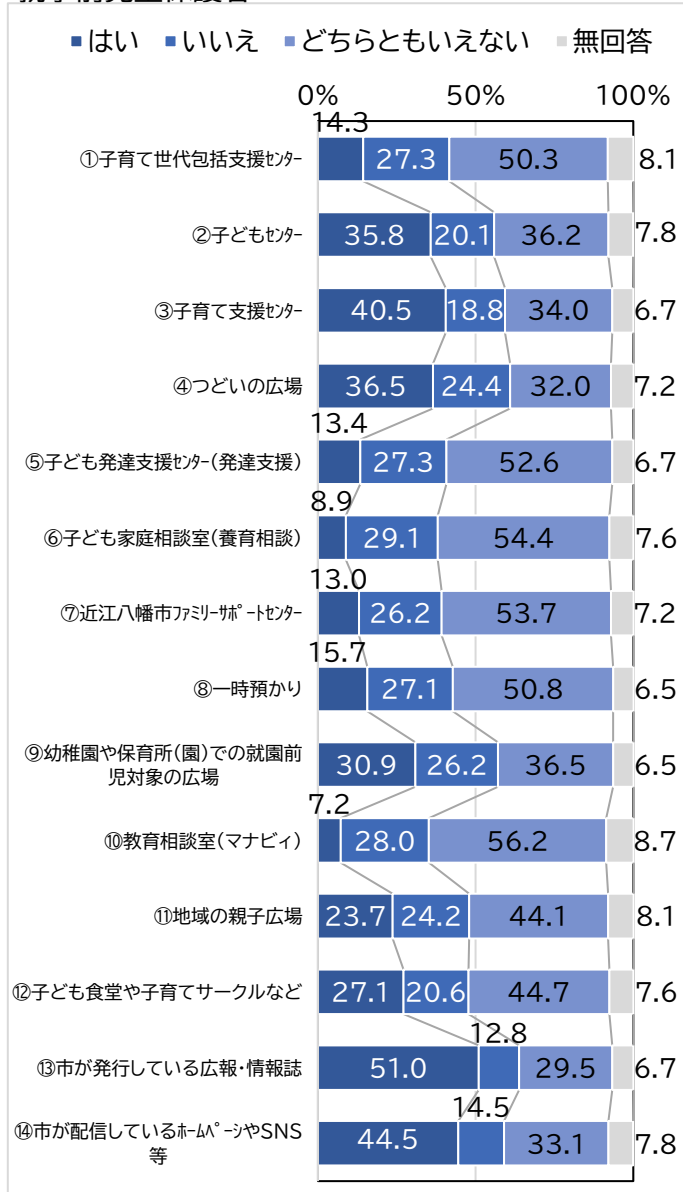


問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

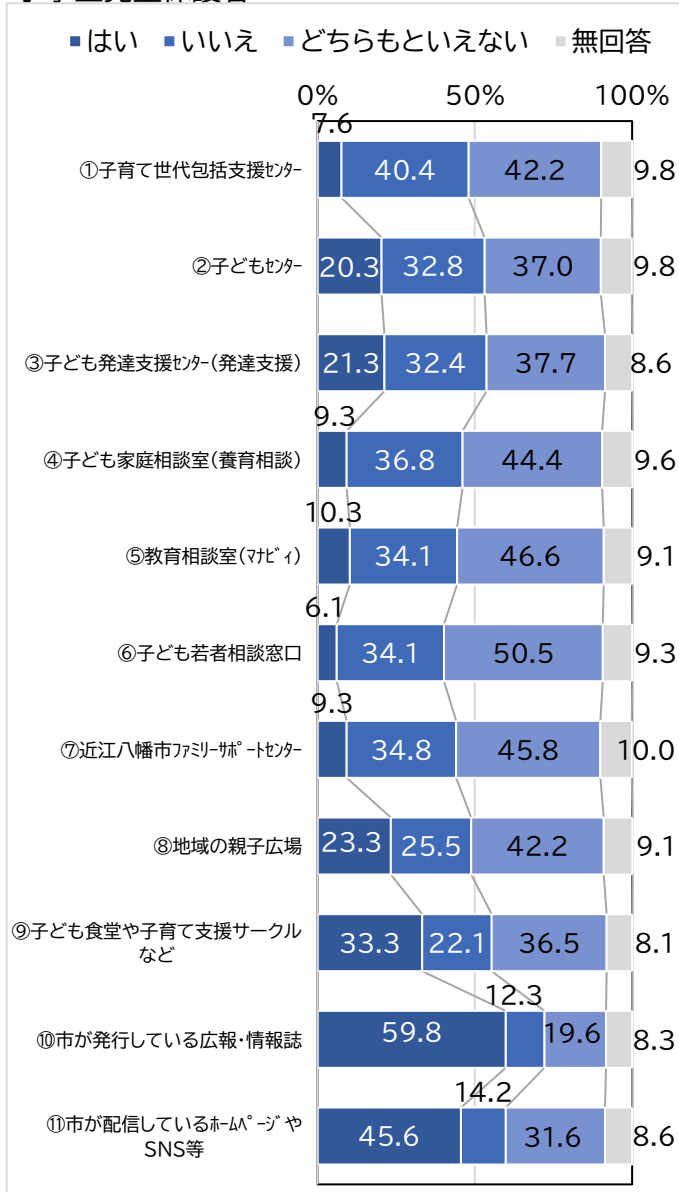
(3)今後の利用希望

最も今後の利用を希望されている取り組みは、就学前児童保護者は「市が配信しているホームページやSNS等」、小学生児童保護者は「市が発行している広報・情報誌」、最も今後利用を希望されていない取り組みは、就学前児童保護者では「子ども家庭相談室(養育相談)」、小学生児童保護者では「子育て世代包括支援センター」でした。

就学前児童保護者



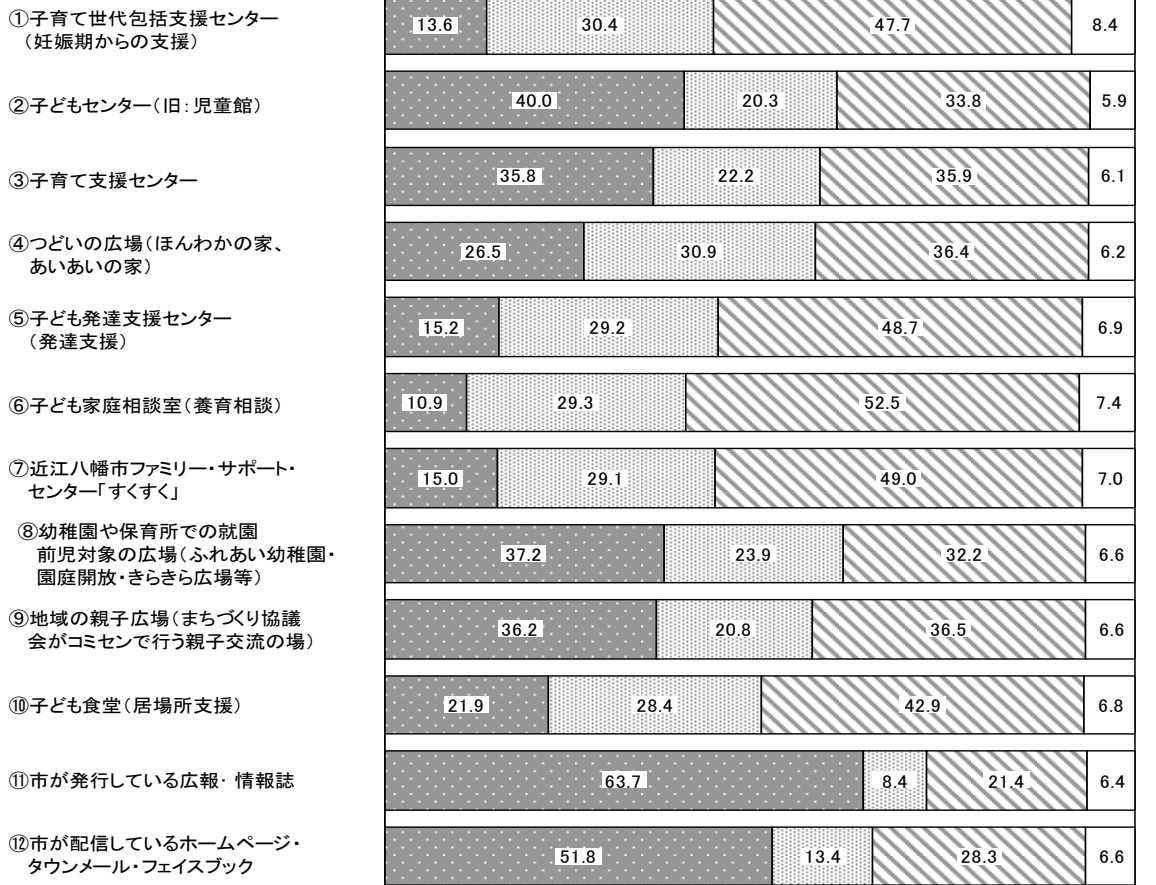
小学生児童保護者



問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

前回調査 就学前保護者

回答者数 = 1,969



※取り組みの種類は、前回調査及び今回調査の調査票ごとに異なります。

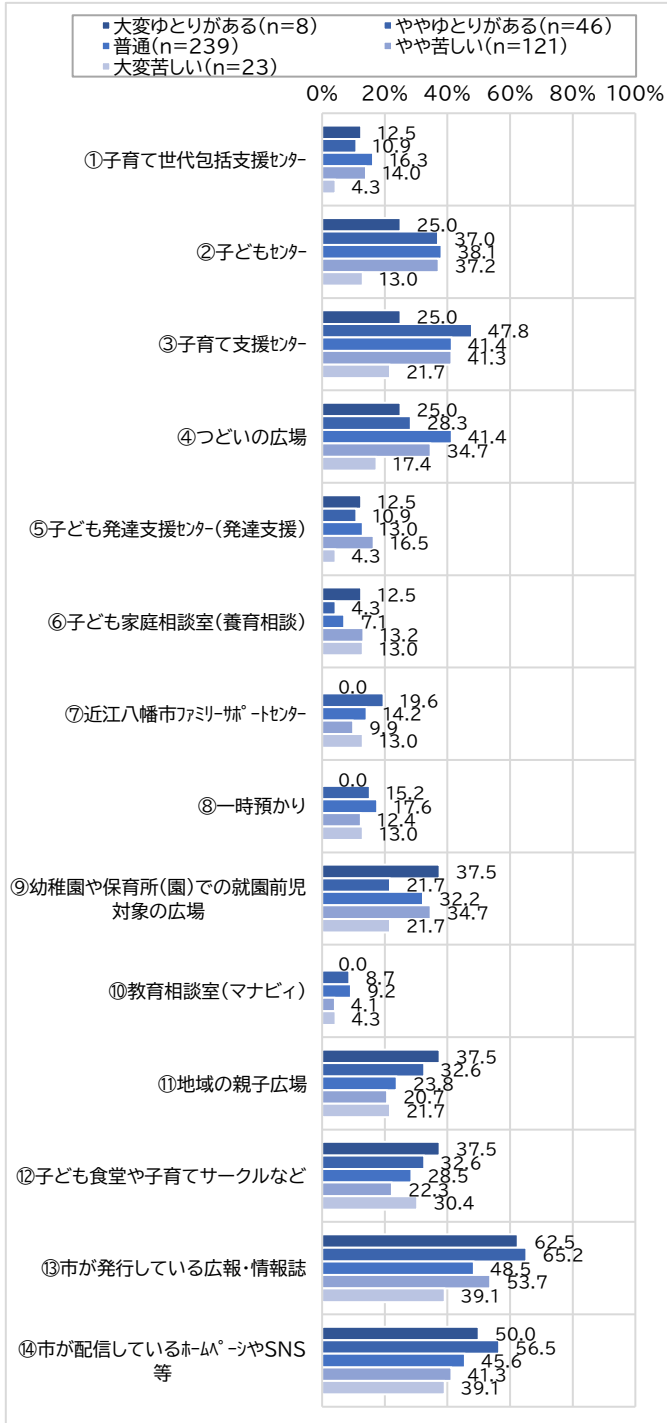
問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

暮らしの状況別にみると、就学前児童保護者は、生活が苦しい人ほど今後の利用希望の割合は低くなっていく傾向にあります。

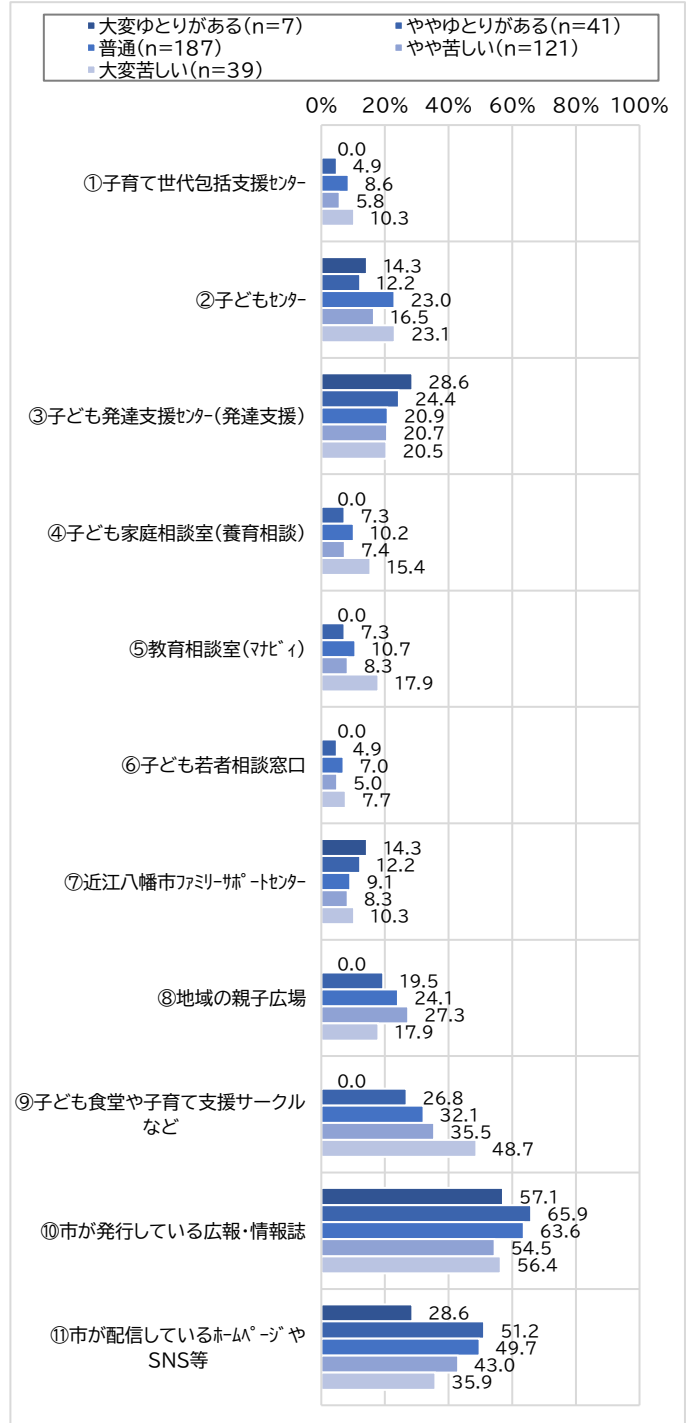
小学生児童保護者は、生活が苦しい人ほど「子ども食堂や子育て支援サークルなど」の利用希望の割合が高くなっています。

【暮らしの状況×今後の利用希望】

就学前児童保護者



小学生児童保護者

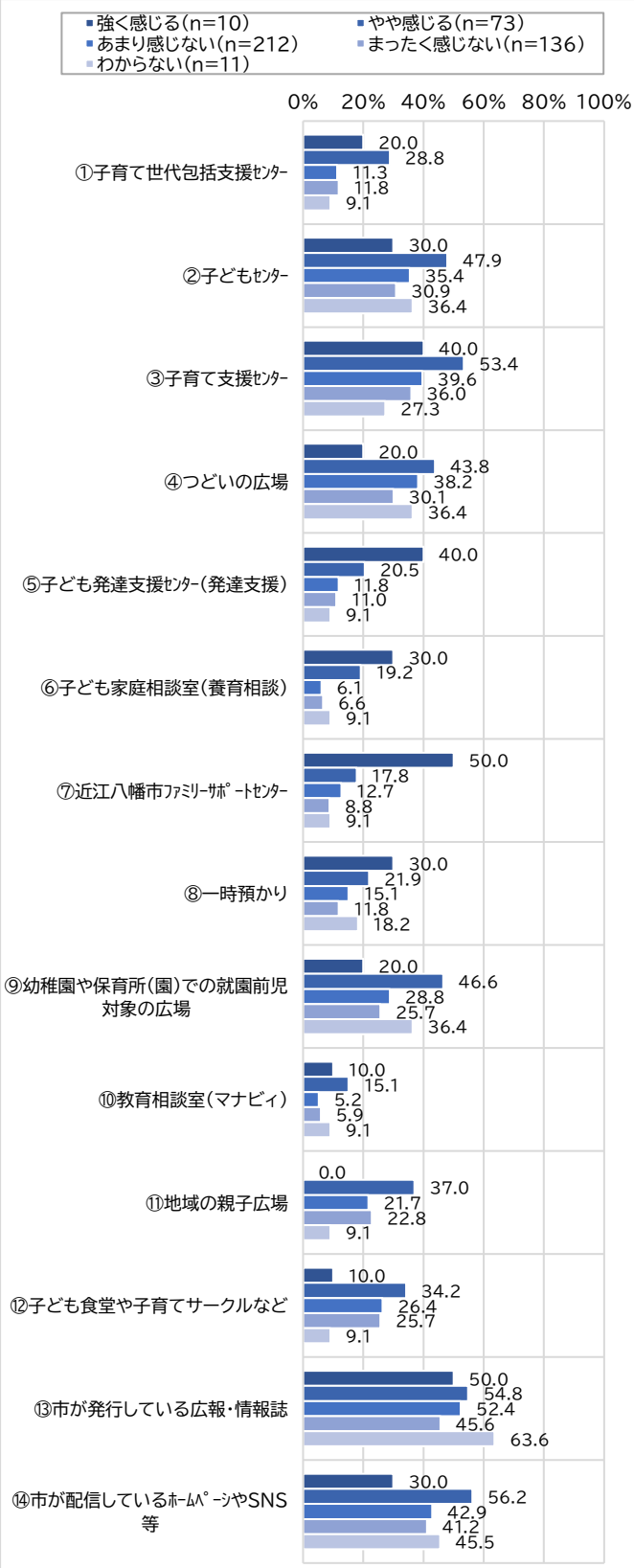


問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

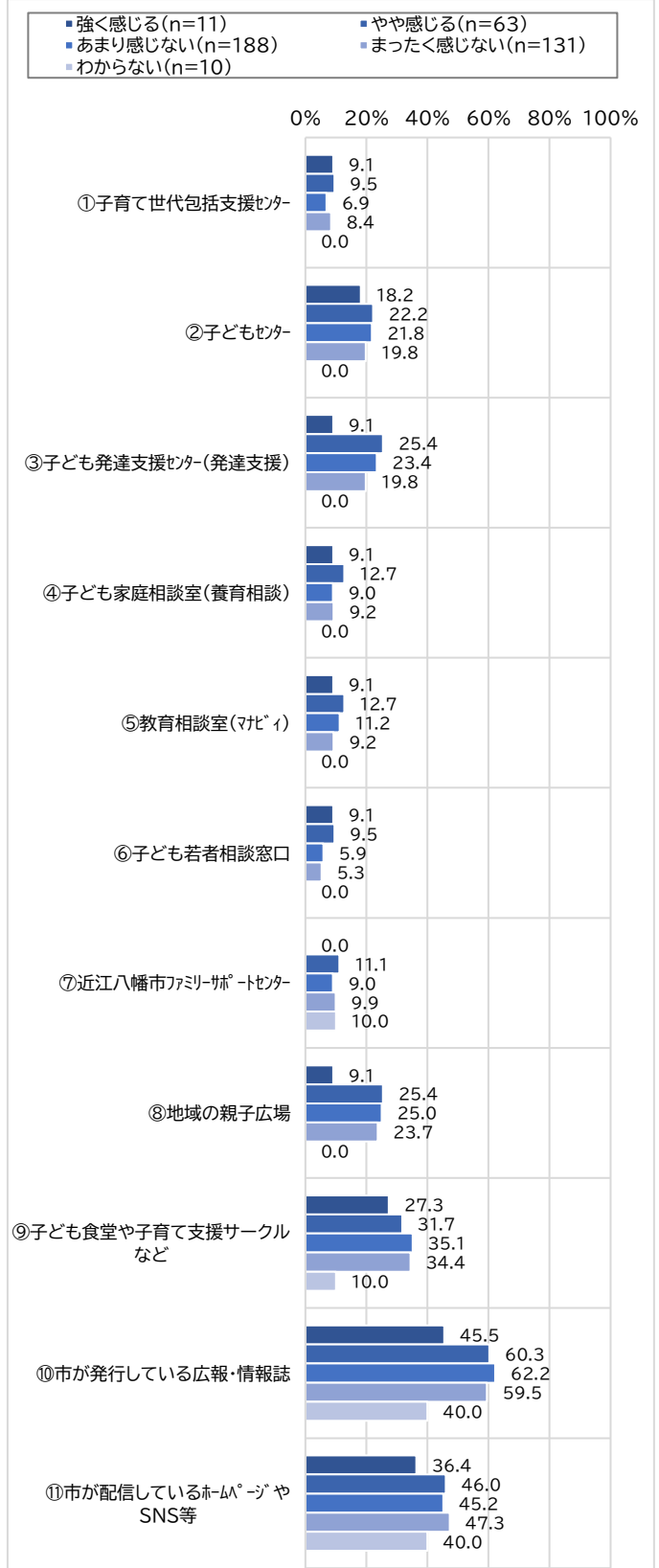
生活における孤立感別にみると、就学前児童保護者は、孤立感を感じる人ほど利用希望の割合が高い傾向にあります。

小学生児童保護者は、孤立感を「感じない」人と比べて、「感じる」人の割合が最も高かったのは「子ども家庭相談室(養育相談)」(感じない11.2%に対し、感じる18.6%)、次いで「子ども若者相談窓口」(感じない18.2%に対し、感じる21.8%)でした。

【生活における孤立感×今後の利用希望】 就学前児童保護者



小学生児童保護者



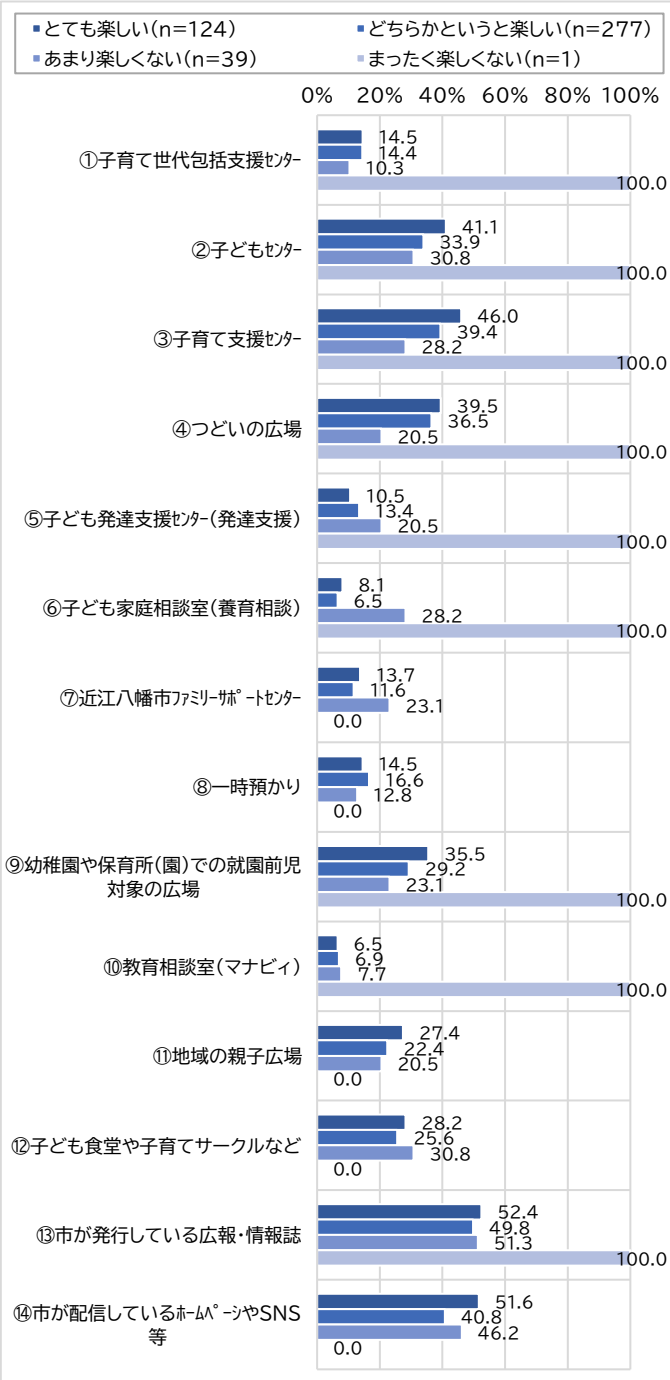
問25 下記の取り組みについて、(1)周知状況、(2)利用状況、(3)今後の利用希望について、取り組みごとにそれぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

子育ての楽しさ別にみると、就学前児童保護者は、楽しいと感じている人は「子どもセンター」「子育て支援センター」「つどいの広場」「幼稚園や保育所(園)での就園前児対象の広場」の利用希望が多く、楽しくないと感じている人は「子ども発達支援センター(発達支援)」「子ども家庭相談室(養育相談)」「近江八幡市ファミリーサポートセンター」の利用希望が多くなっています。

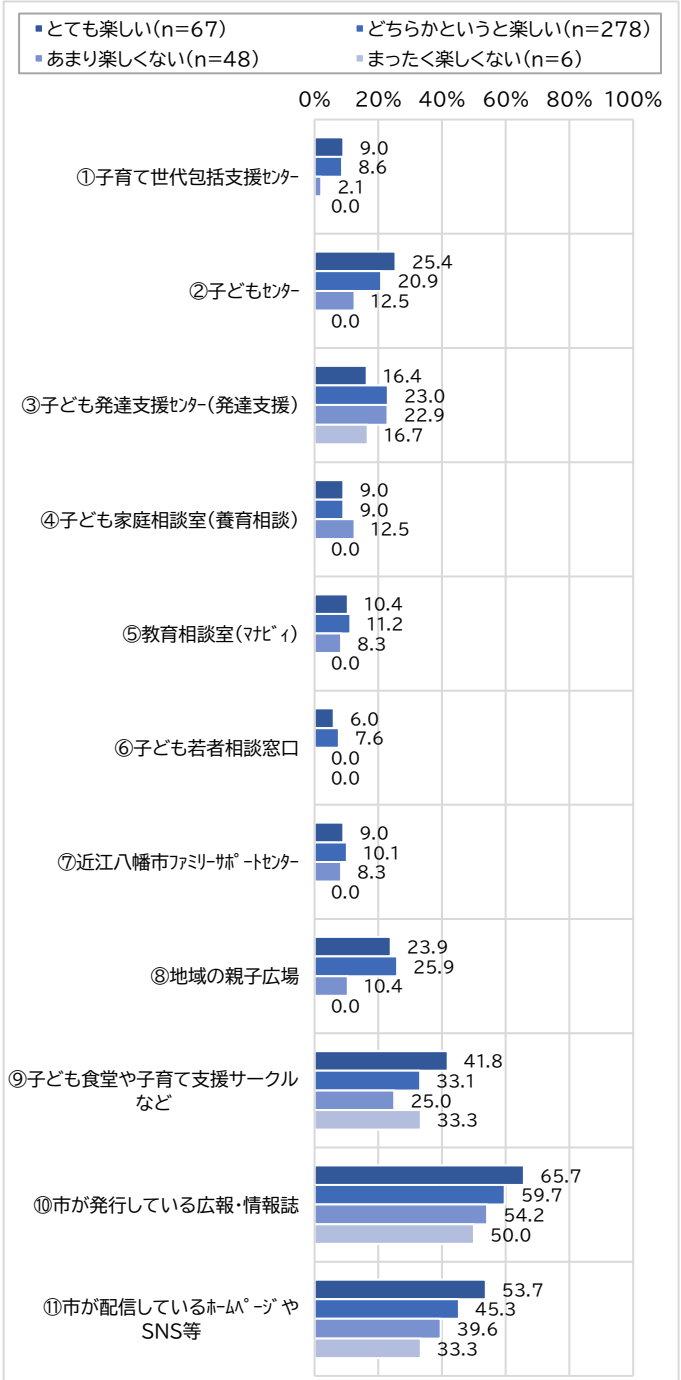
小学生児童保護者は、楽しいと感じている人は「子どもセンター」「地域の親子広場」「市が発行している広報・情報誌」「市が配信しているホームページやSNS等」の利用希望が多くなりました。

【子育ての楽しさ×今後の利用希望】

就学前児童保護者



小学生児童保護者

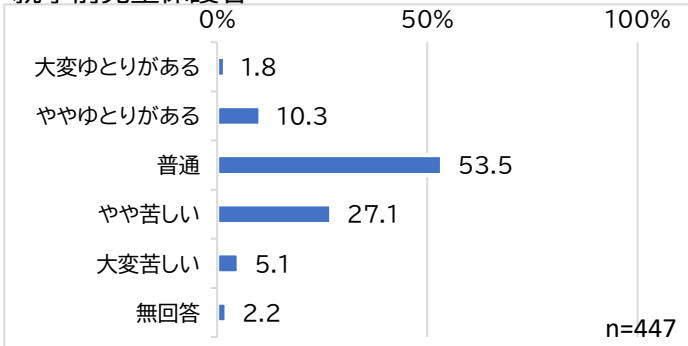


暮らしの状況について

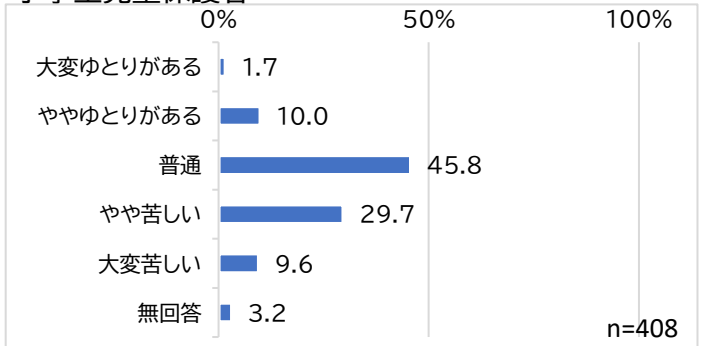
問1 ご家庭の暮らしの状況(経済的な面)は、どのように感じていますか。(〇は2つ)

いずれも「普通」と答えた人が最も多く、次いで「やや苦しい」となりました。
 小学生児童保護者で、苦しい(「やや苦しい」「大変苦しい」の合計)と答えた人は、39.3%で、前回調査と比較し、約10ポイント高くなっています。就学前児童保護者については、苦しいと答えた人が32.2%で、前回調査とほとんど変化はありません。

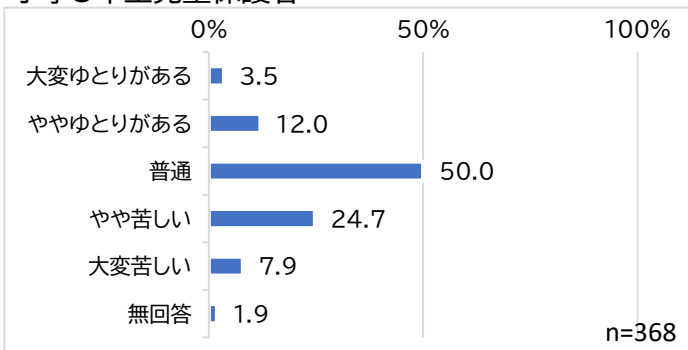
就学前児童保護者



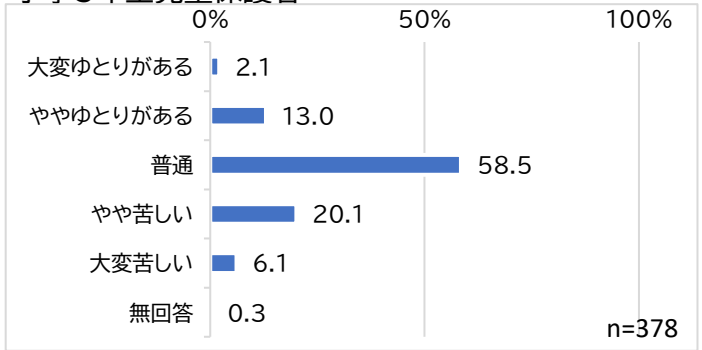
小学生児童保護者



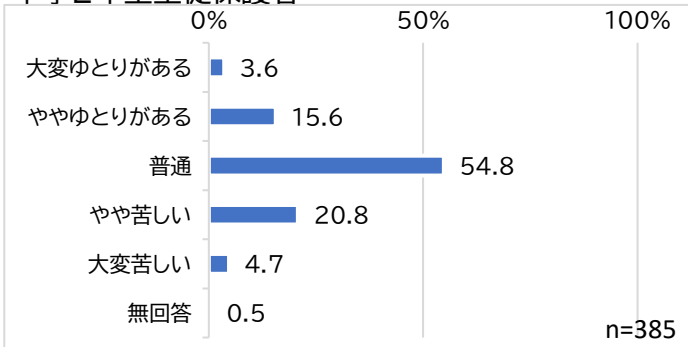
小学3年生児童保護者



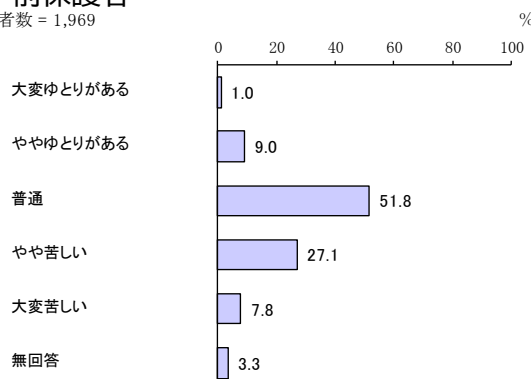
小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

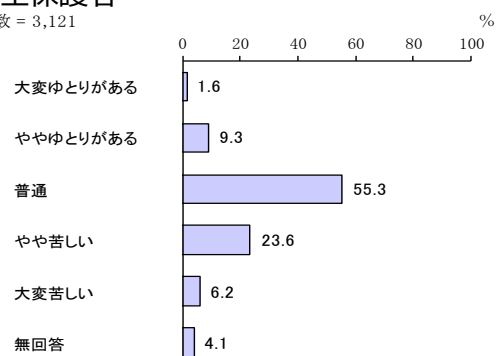
前回調査
就学前保護者

回答者数 = 1,969



小学生保護者

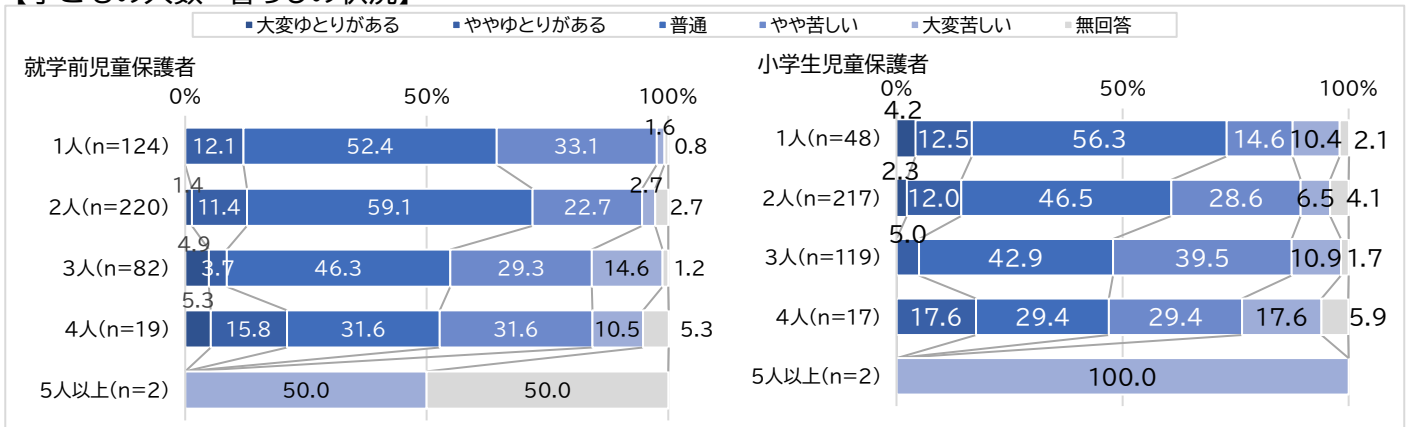
回答者数 = 3,121



問1 ご家庭の暮らしの状況(経済的な面)は、どのように感じていますか。(〇は2つ)

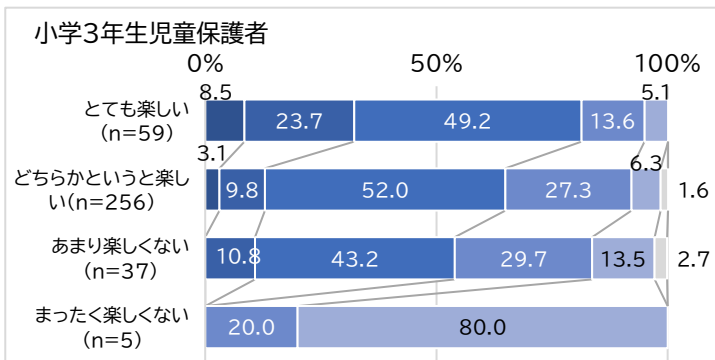
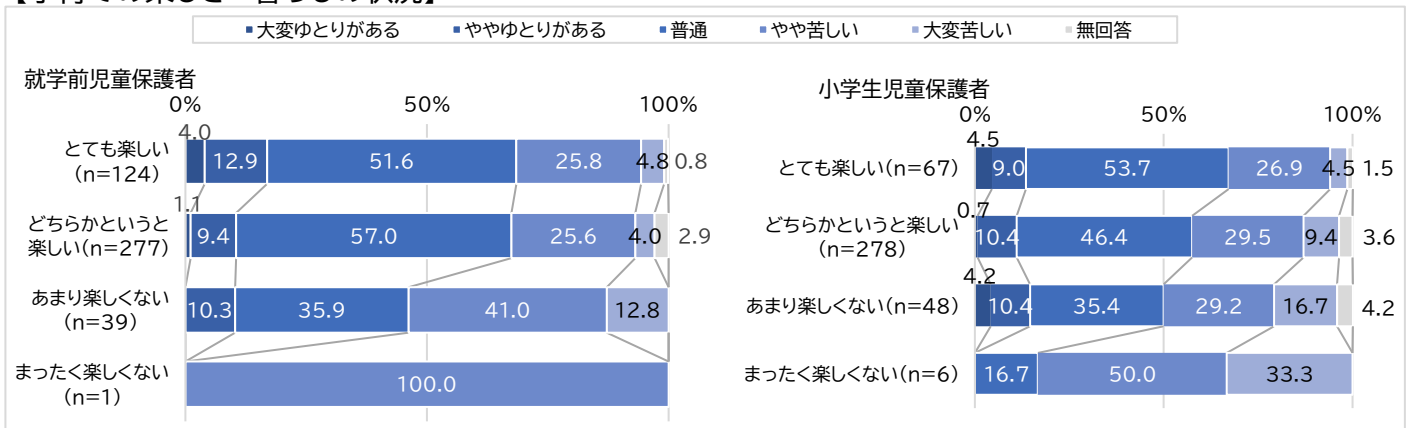
子どもの人数別にみると、就学前児童保護者、小学生児童保護者いずれも、人数が多くなるほど「苦しい」と感じる割合が高くなる傾向にあります。

【子どもの人数×暮らしの状況】



子育ての楽しさ別にみると、子育てが楽しいと感じている人ほど、暮らしにゆとりがあると答えた人が多くなりました。

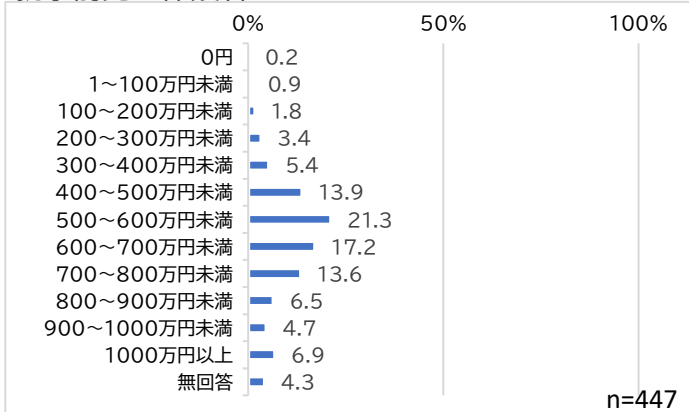
【子育ての楽しさ×暮らしの状況】



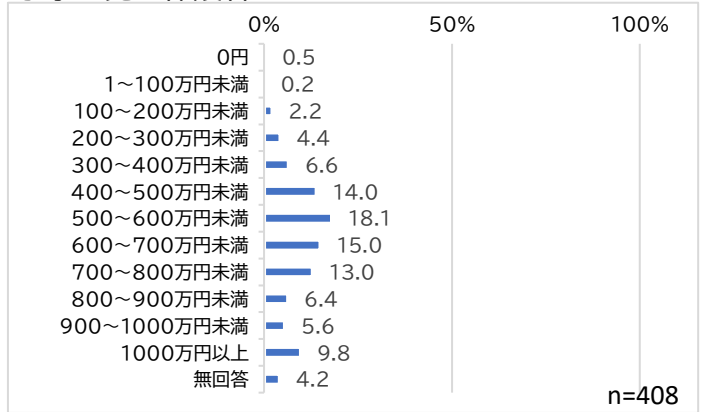
問2 暮らしを一緒にしている方、全員の収入を合わせた「世帯全体の収入（年間のボーナス含む手取り額）」は、どのくらいですか。（〇は1つ）

就学前児童保護者と小学生児童保護者では400～800万円未満、小学5年生児童保護者と中学2年生生徒保護者では500万円以上の回答が多くみられました。

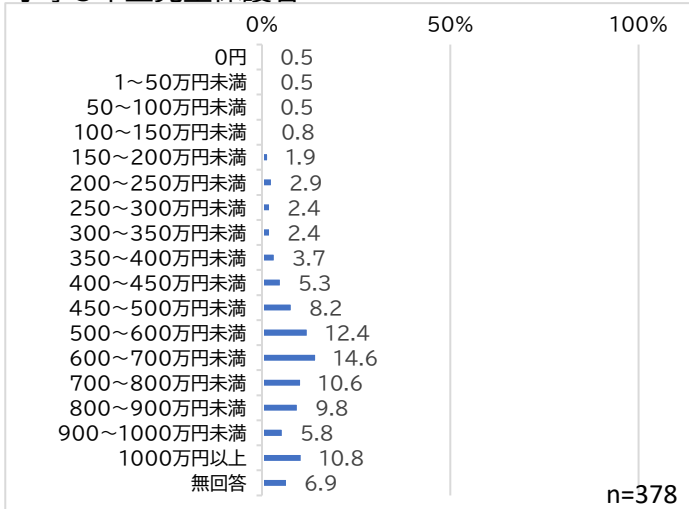
就学前児童保護者



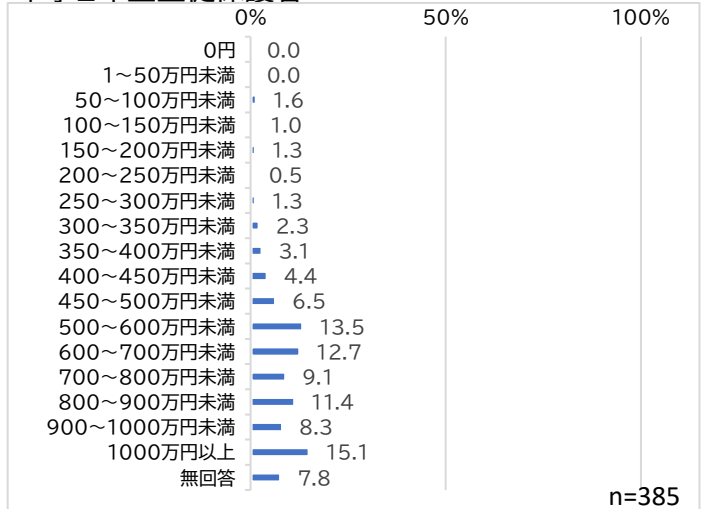
小学生児童保護者



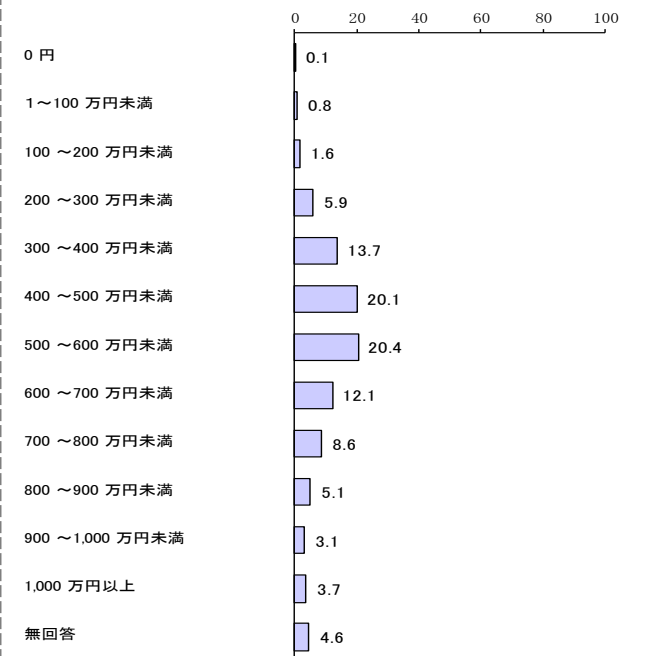
小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

前回調査
就学前保護者

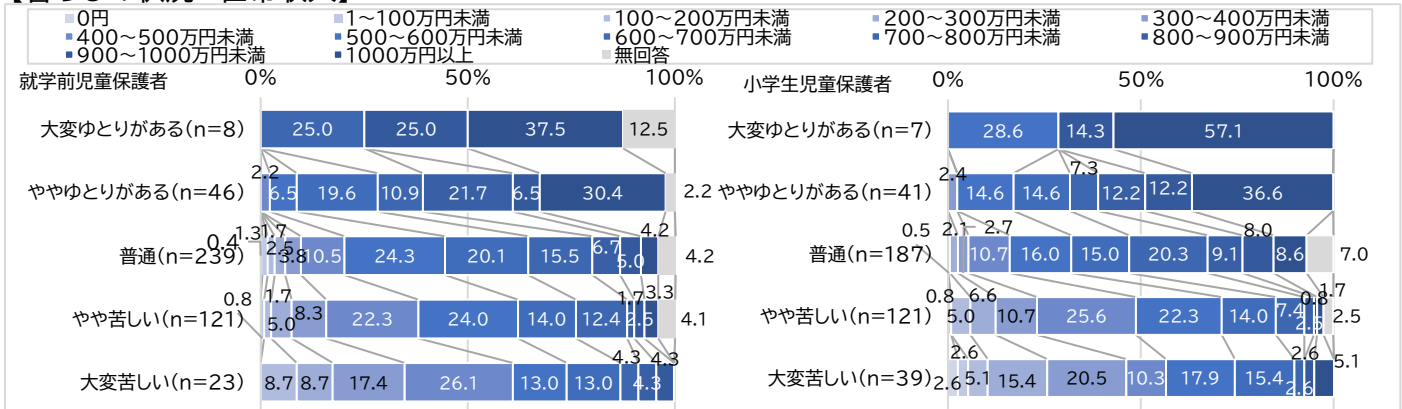
回答者数 = 1,969



問2 暮らしを一緒にしている方、全員の収入を合わせた「世帯全体の収入（年間のボーナス含む手取り額）」は、どのくらいですか。（〇は1つ）

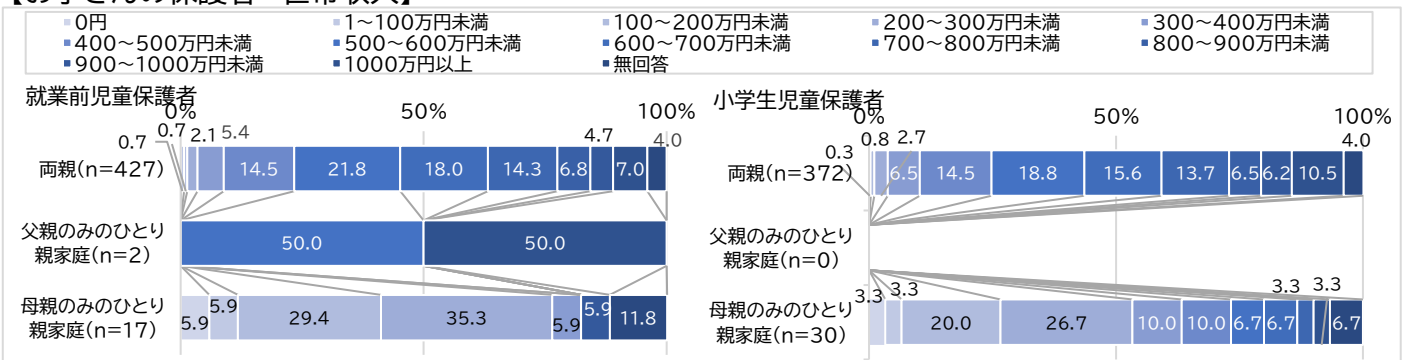
暮らしの状況別にみると、「大変苦しい」と答えた人の半数以上は500万円未満の人で、就学前児童保護者で60.9%、小学生児童保護者で56.5%いました。

【暮らしの状況×世帯収入】



お子さんの保護者別にみると、母親のみのひとり親家庭では、「大変苦しい」の半数以上が回答した500万円未満は就学前児童保護者で82.4%、小学生児童保護者で73.3%でした。

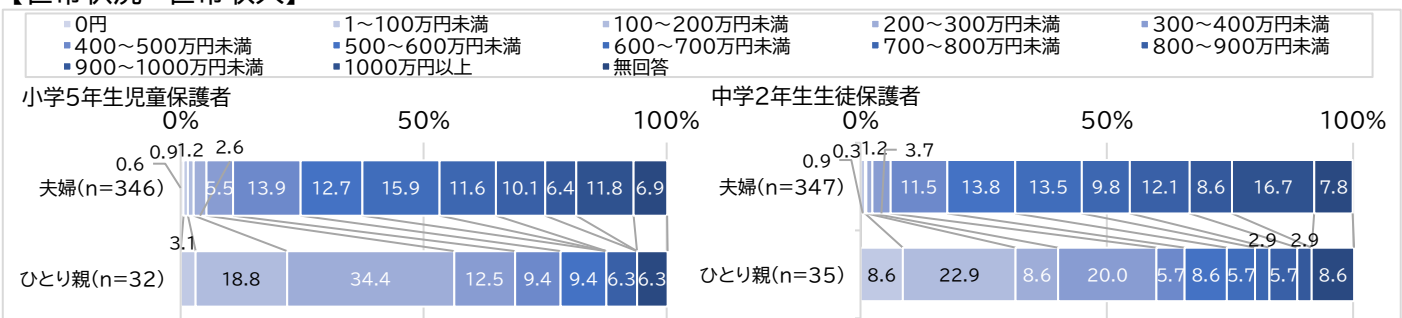
【お子さんの保護者×世帯収入】



※その他は入れていません。

世帯状況別にみると、「大変苦しい」の半数以上が回答した500万円未満は、夫婦世帯では小学5年生児童保護者24.7%、中学2年生生徒保護者17.6%ですが、ひとり親世帯では、小学5年生児童保護者78.2%、中学2年生保護者65.8%でした。

【世帯状況×世帯収入】

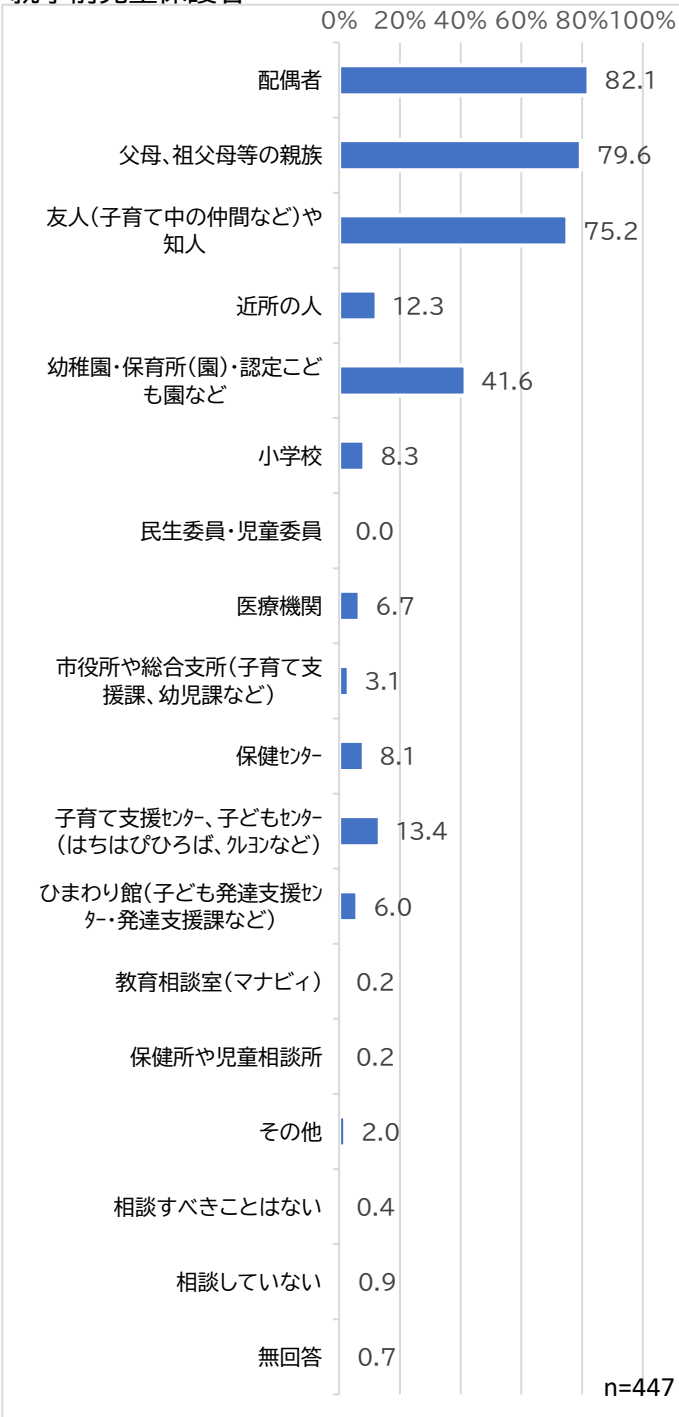


日々の子育てについて

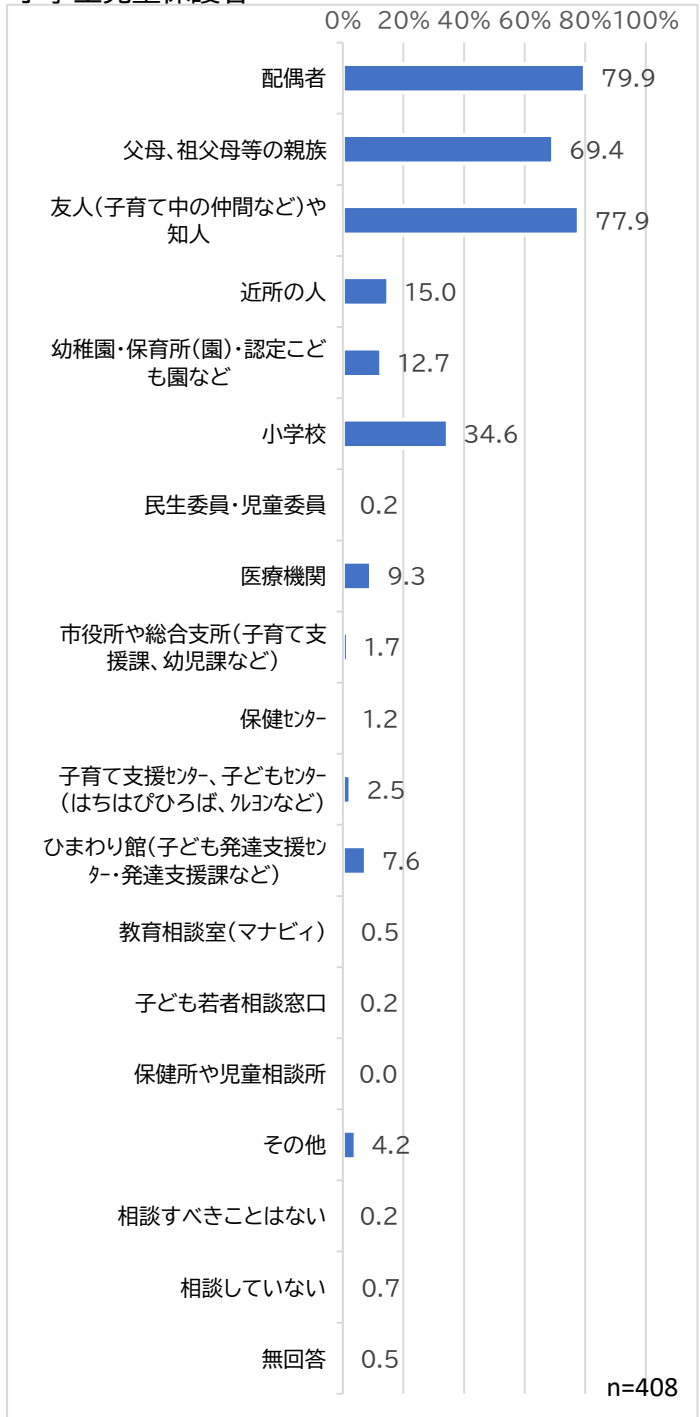
問3 子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。(〇はいくつでも)

小学生児童保護者では、「配偶者」と答えた人が最も多く、前回調査で最も多かった「友人(子育て中の仲間等)や知人」を上回りました。就学前児童保護者は、前回調査と同じく、「配偶者」が最も多く、次いで「父母、祖父母等の親族」となりました。

就学前児童保護者

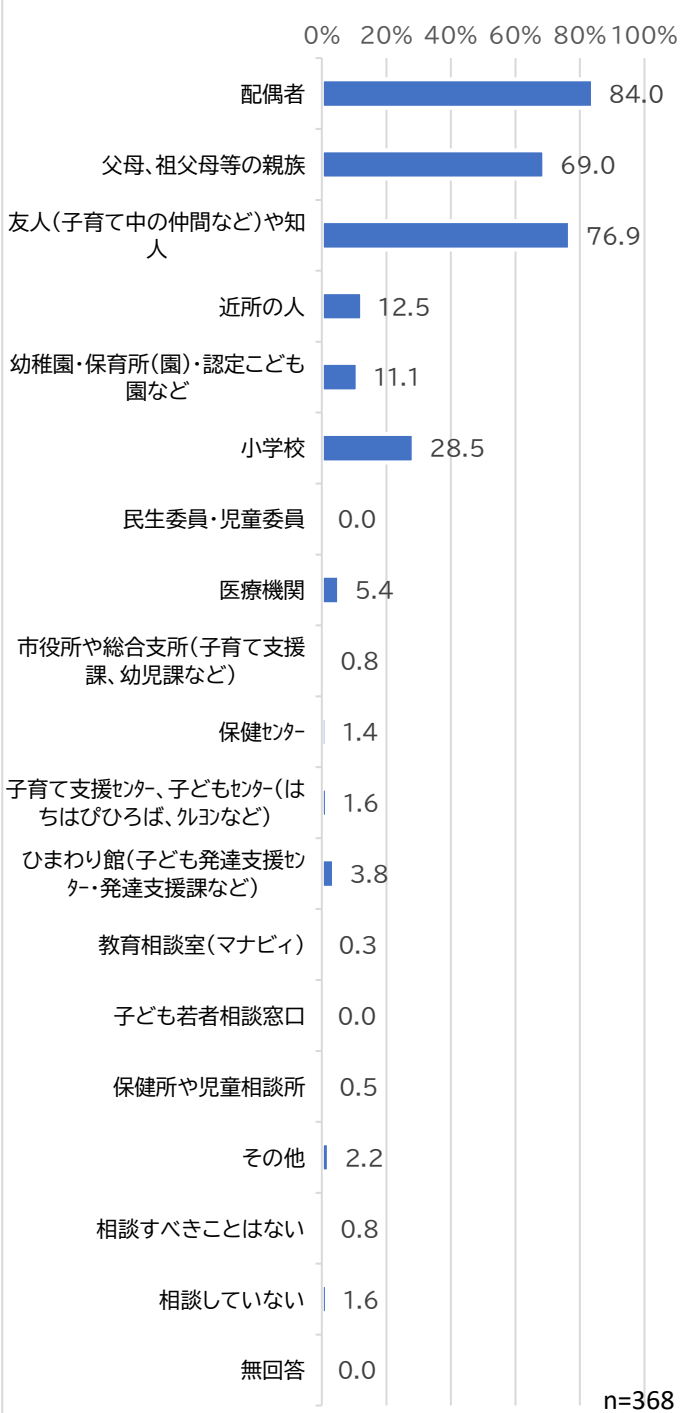


小学生児童保護者



問3 子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。(〇はいくつでも)

小学3年生児童保護者

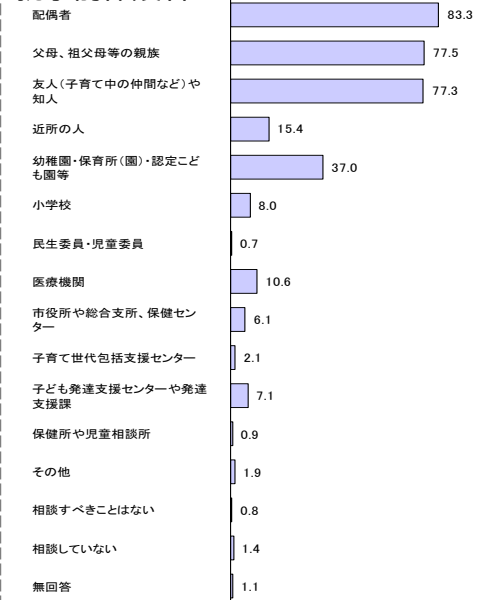


小学5年生児童保護者



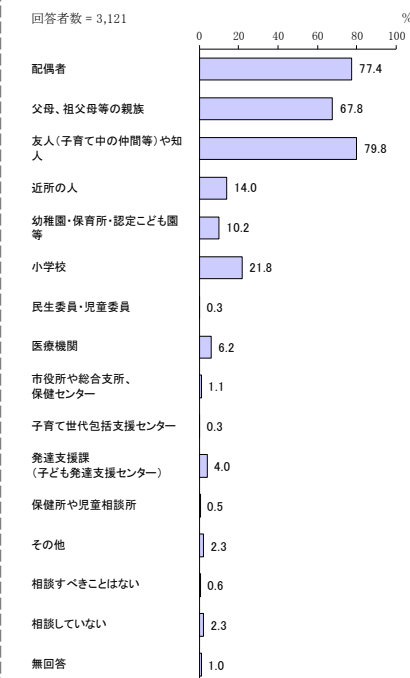
問3 子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。(〇はいくつでも)

中学2年生生徒保護者

前回調査
就学前保護者

小学生保護者

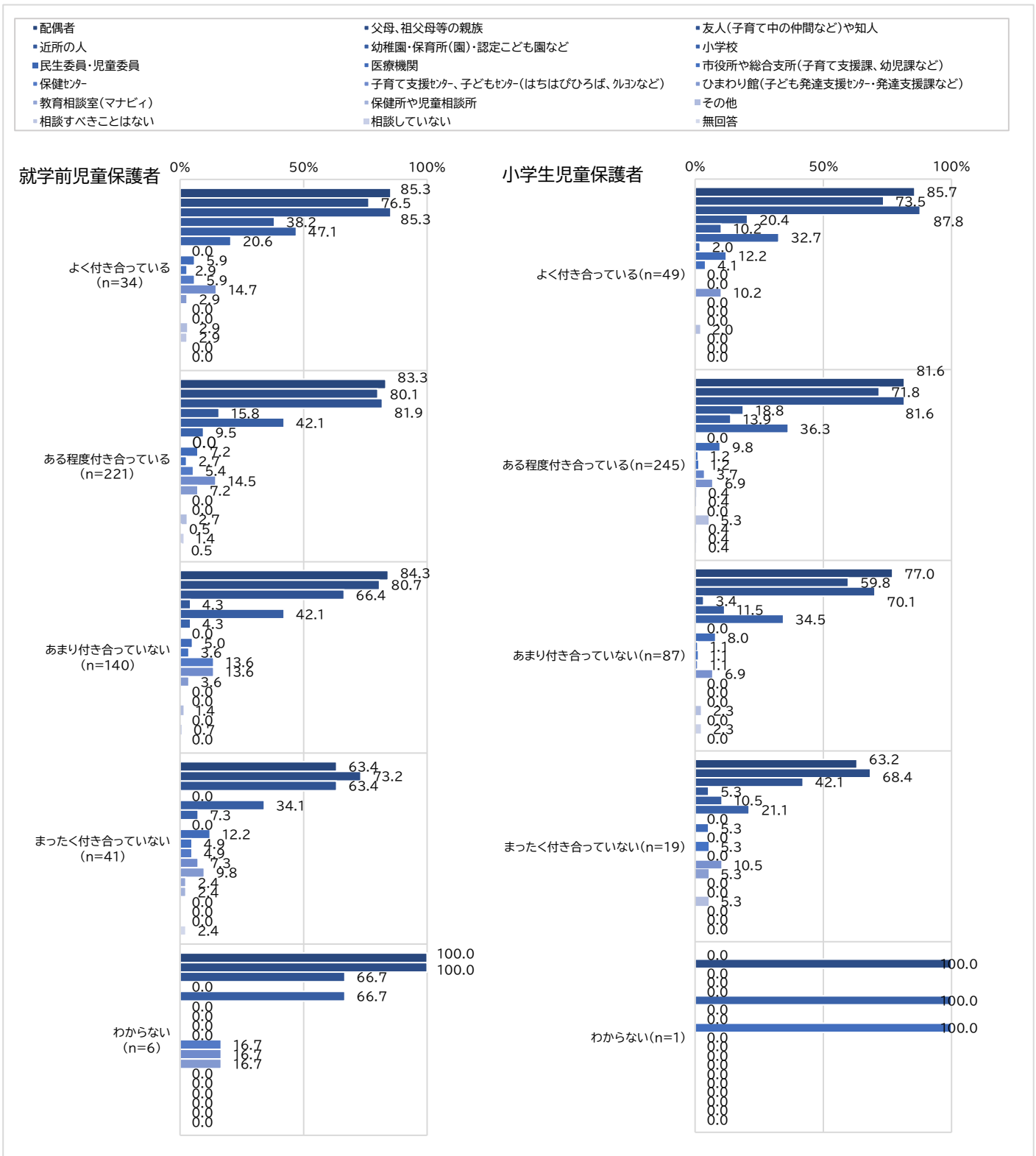
回答者数 = 3,121



問3 子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。(〇はいくつでも)

地域や近所の方との関わり別にみると、就学前児童保護者、小学生児童保護者いずれも「配偶者」「父母、祖父母等の親族」「友人(子育て中の仲間など)や知人」が多くなっています。

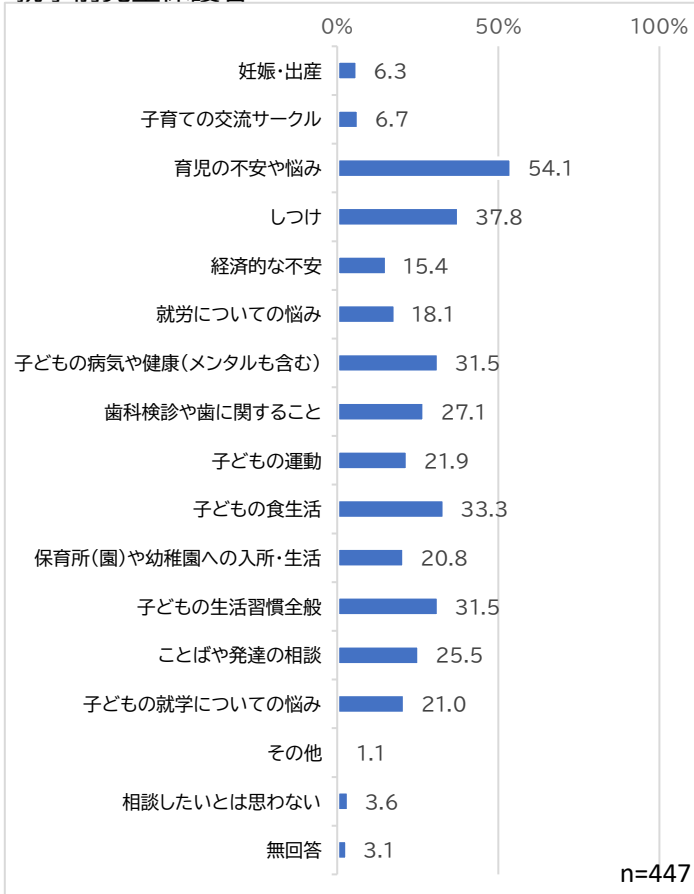
【地域や近所の方との関わり×子育てに関する悩みの相談相手】



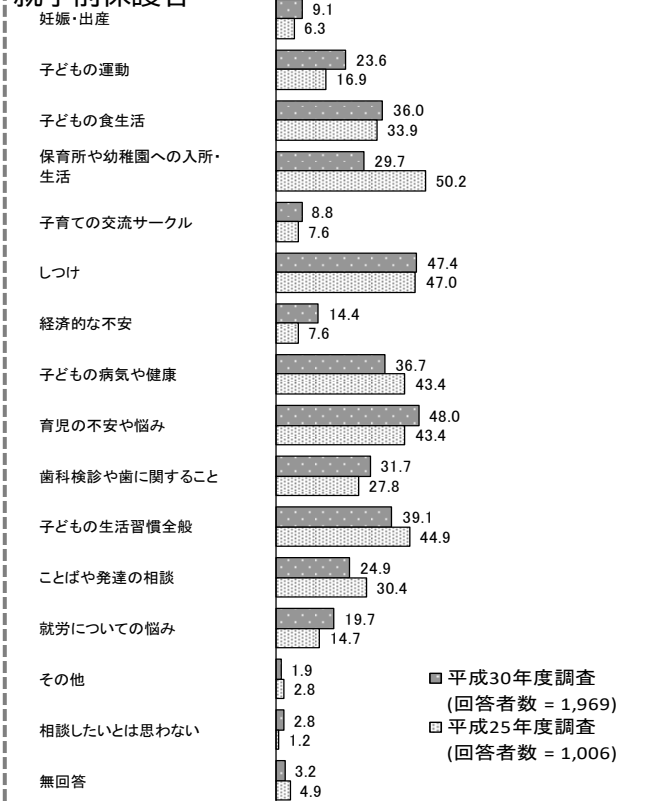
問4 今後、相談をするなら、どのようなことを相談したいですか。(〇はいくつでも)

小学生児童保護者では「子どもの学校生活」が最も多く、37.7%でした。次いで「学習の定着や発達」、「子育ての不安や悩み」となりました。就学前児童保護者は、「育児の不安や悩み」が最も多く、次いで「しつけ」、「病気や健康・生活習慣」となりました。

就学前児童保護者



小学生児童保護者

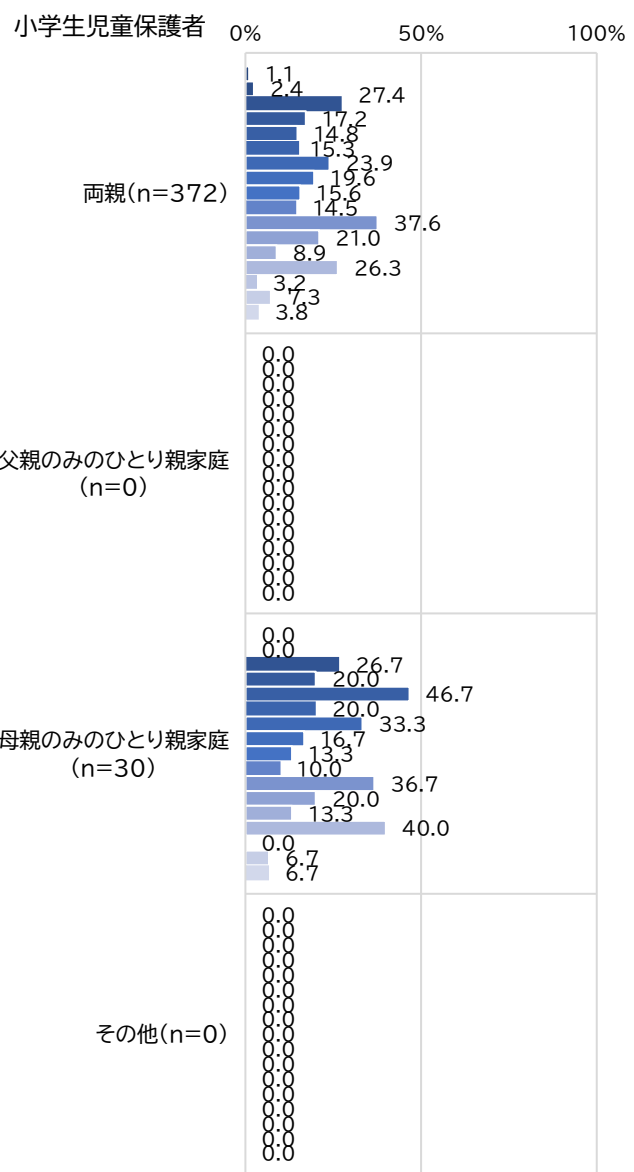
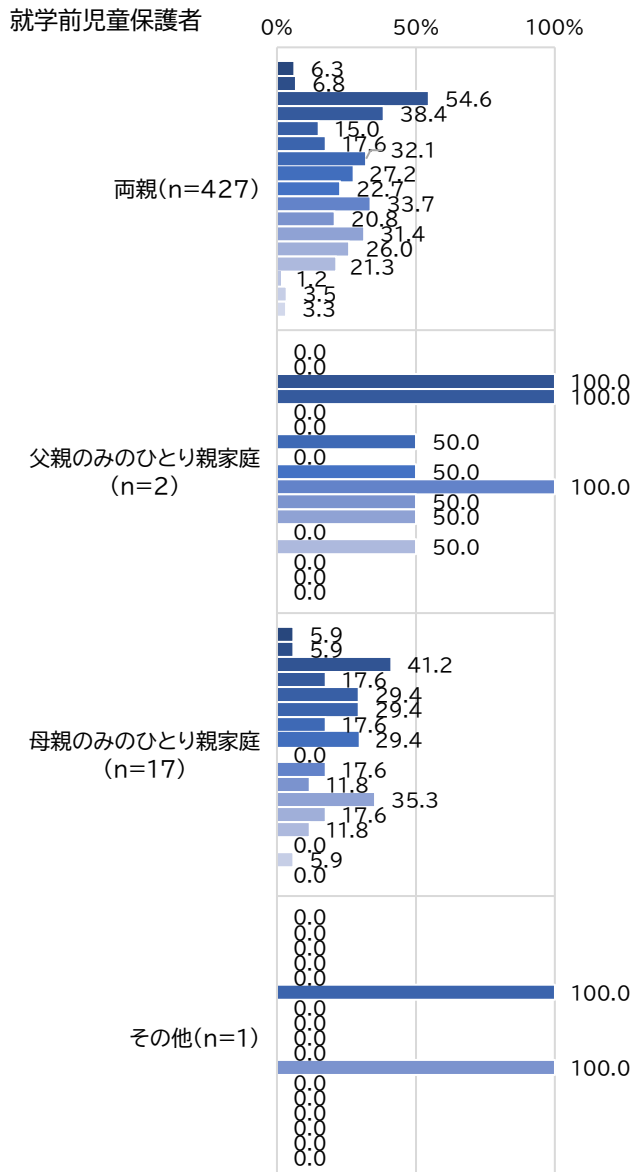
前回、前々回調査
就学前保護者

問4 今後、相談をするなら、どのようなことを相談したいですか。(〇はいくつでも)

お子さんの保護者別にみると、母親のみのひとり親家庭では、就学前児童保護者は「育児の不安や悩み」、小学生児童保護者は「経済的な不安」が最も多くなりました。

【お子さんの保護者×相談内容の希望】

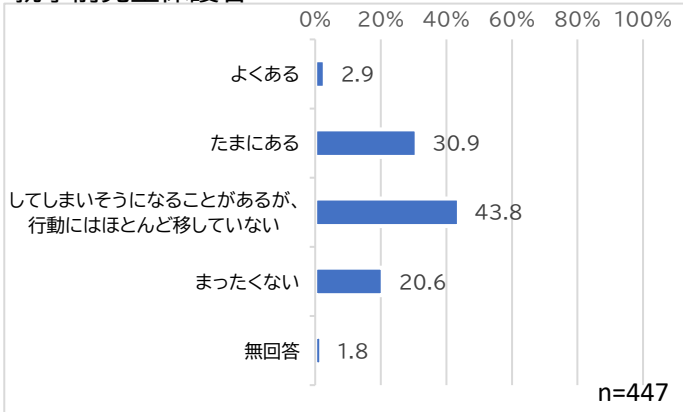
- 妊娠・出産
- 子育ての交流サークル
- 育児の不安や悩み
- しつけ
- 経済的な不安
- 就労についての悩み
- 子どもの病気や健康(メンタルも含む)
- 歯科検診や歯に関すること
- 子どもの運動
- 子どもの食生活
- 保育所(園)や幼稚園への入所・生活
- 子どもの生活習慣全般
- ことばや発達の相談
- 子どもの就学についての悩み
- その他
- 相談したいとは思わない
- 無回答



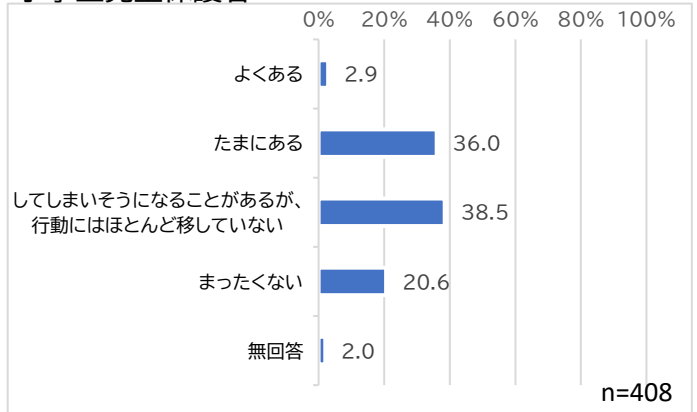
問5 お子さんに対して、思わずたいたり、心を傷つけてしまうような言動をしたり、お子さんの相手や世話をしないことがありますか。(〇は1つと、その理由)

いずれも「してしまいそうになることがあるが、行動にはほとんど移していない」と答えた人がもっと多くなりました。次いで、中学2年生生徒保護者は「まったくない」、それ以外は「たまにある」が多くなりました。

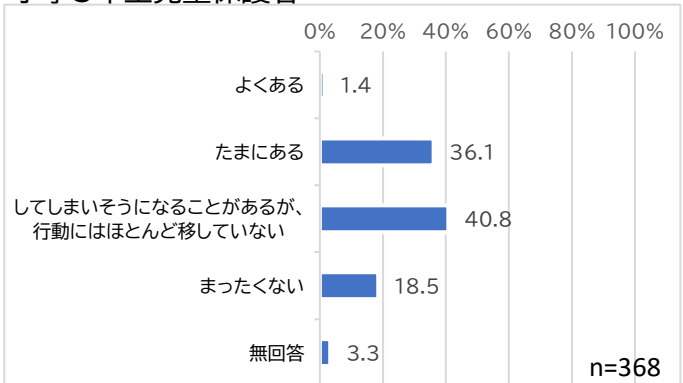
就学前児童保護者



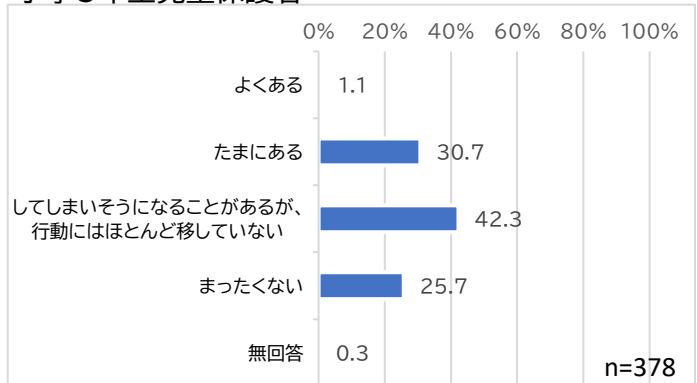
小学生児童保護者



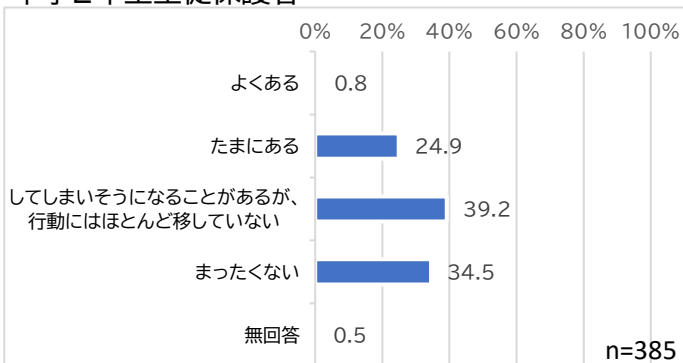
小学3年生児童保護者



小学5年生児童保護者

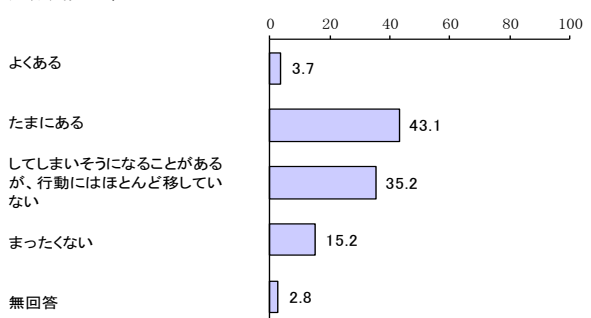


中学2年生生徒保護者



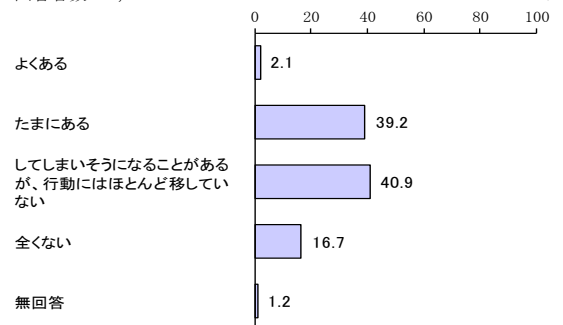
前回調査
就学前保護者

回答者数 = 1,969



小学生保護者

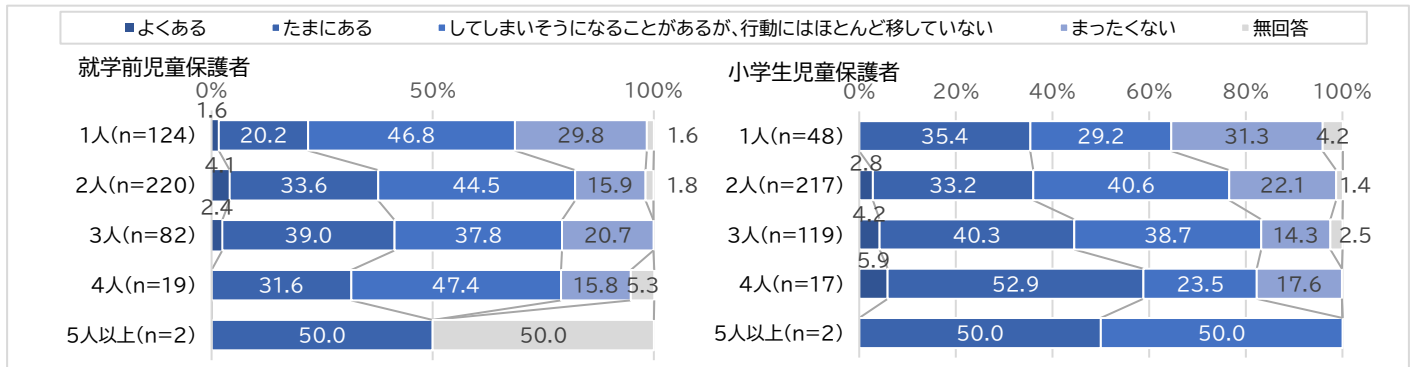
回答者数 = 3,121



問5 お子さんに対して、思わずたいたり、心を傷つけてしまうような言動をしたり、お子さんの相手や世話をしないことがありますか。(〇は1つと、その理由)

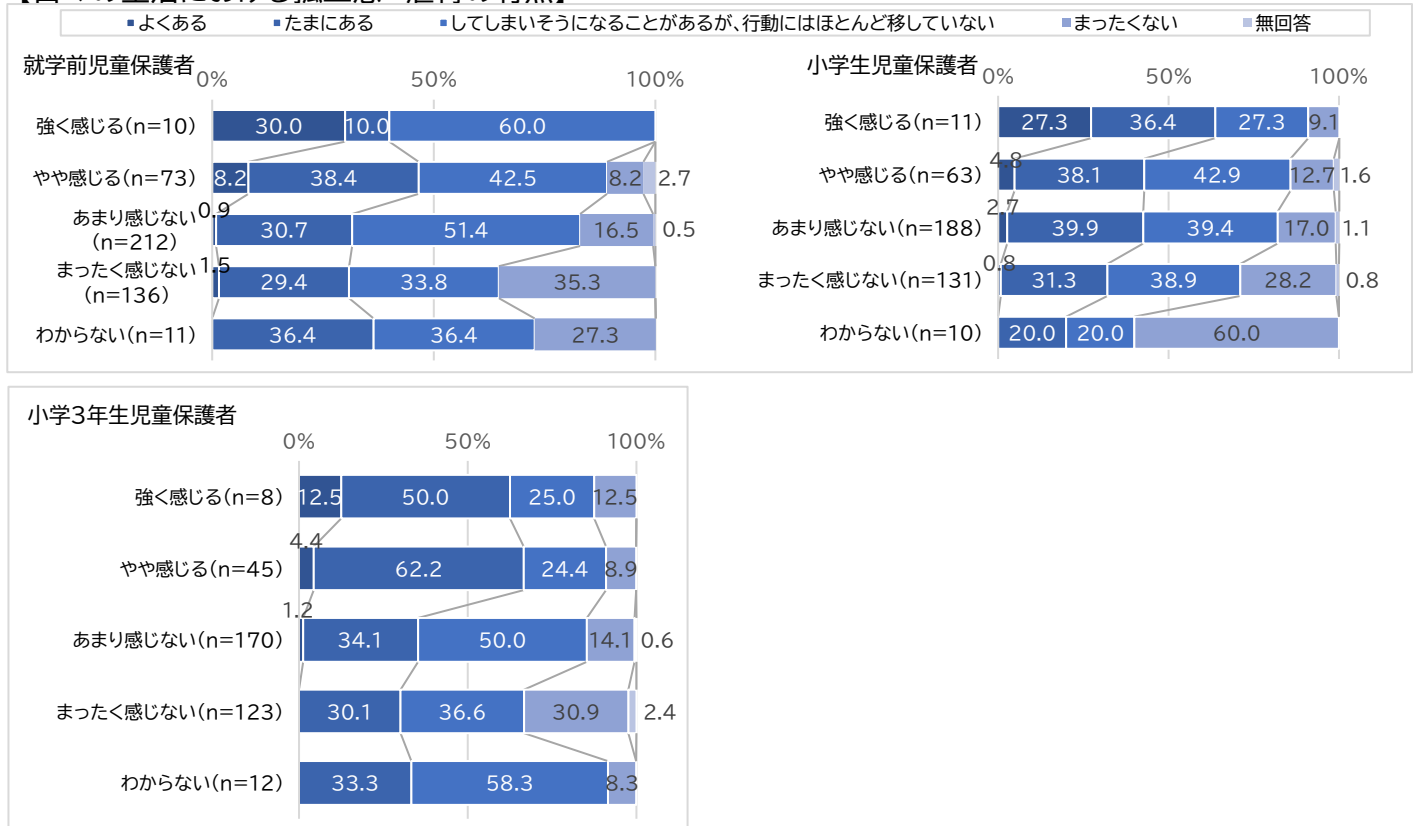
子どもの人数別にみると、小学生児童保護者では、子どもの人数が多くなるほど、「よくある」「たまにある」と答えた人が多くなりました。

【子どもの人数×虐待の有無】



日々の孤立感別にみると、孤立感を感じる人ほど、「よくある」「たまにある」と答えた人が多い傾向にあります。

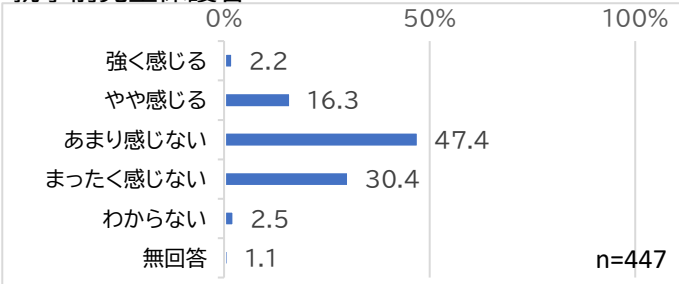
【日々の生活における孤立感×虐待の有無】



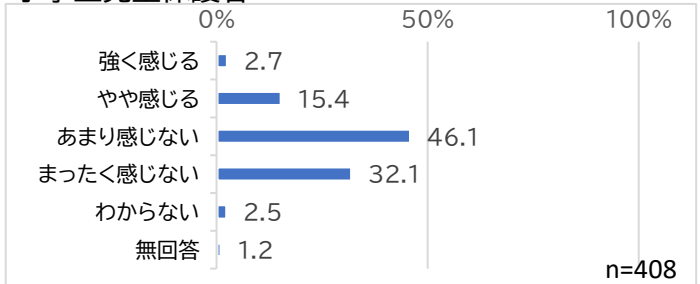
問6 日々の生活において孤立感を感じますか。(〇は1つと、その理由)

いずれも「あまり感じない」、次いで「まったく感じない」が多くなりました。「強く感じる」「やや感じる」と答えた人は、就学前児童保護者が最も多くなりました。

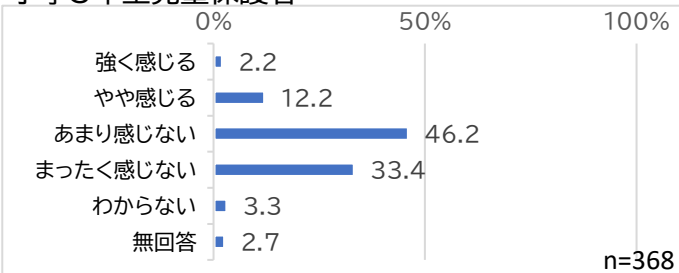
就学前児童保護者



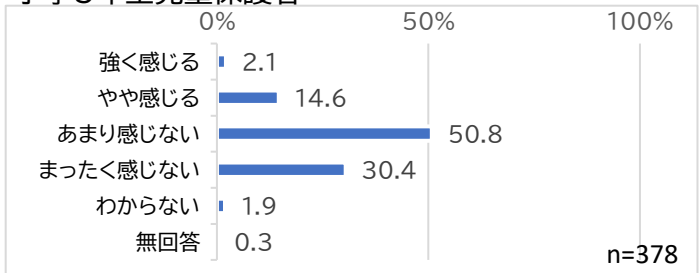
小学生児童保護者



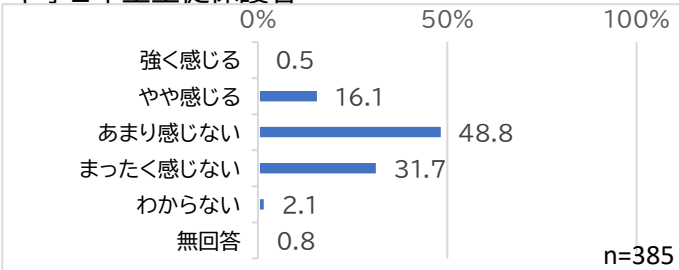
小学3年生児童保護者



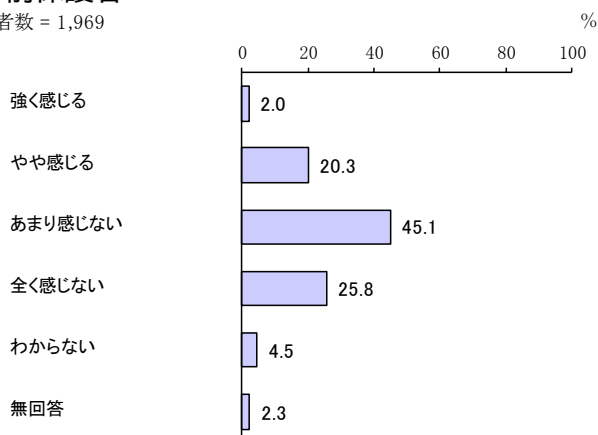
小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

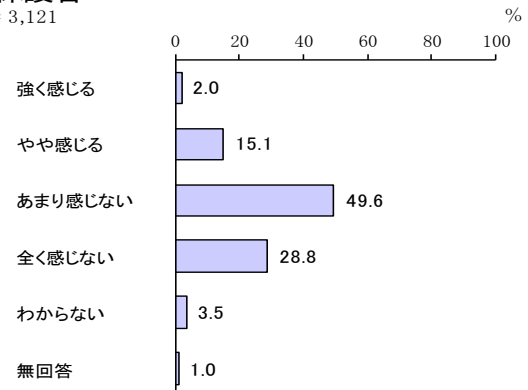
前回調査
就学前保護者

回答者数 = 1,969



小学生保護者

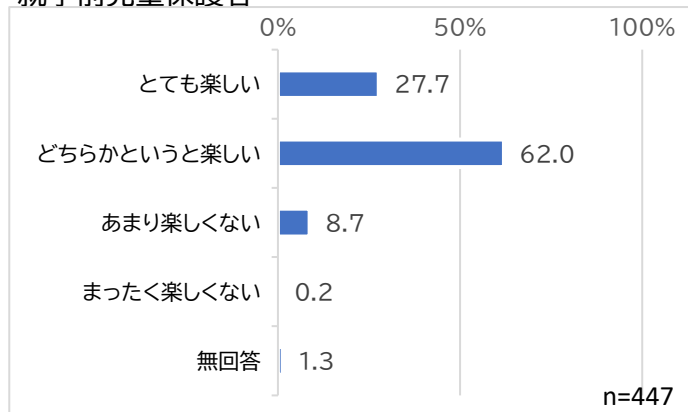
回答者数 = 3,121



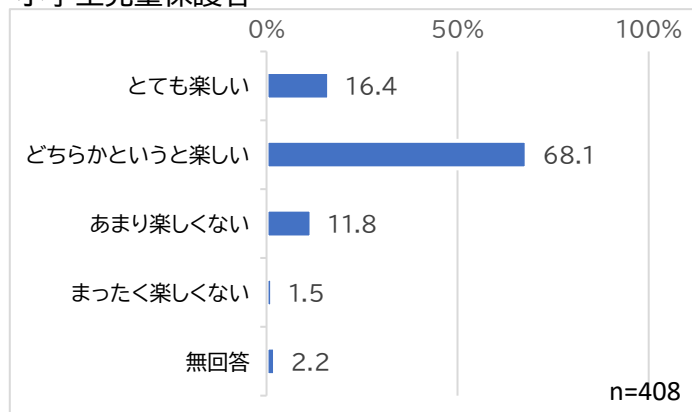
問7 あなたは、毎日の生活や子育てを楽しんでいると感じていますか。(○は1つと、その理由)

いずれも「どちらかという楽しい」、次いで「とても楽しい」が多くなりました。「まったく楽しくない」「あまり楽しくない」と答えた人は、小学5年生児童保護者が最も多くなりました。

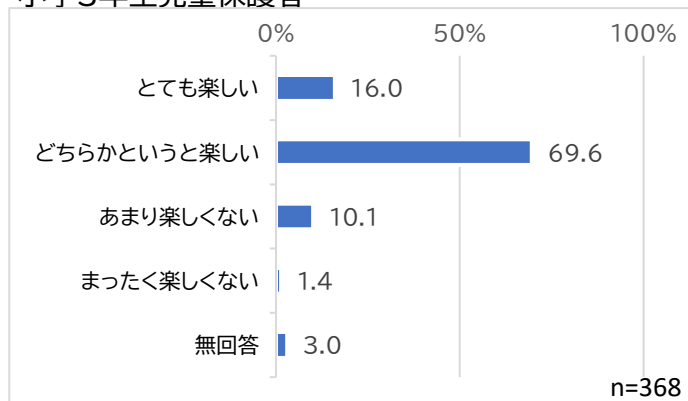
就学前児童保護者



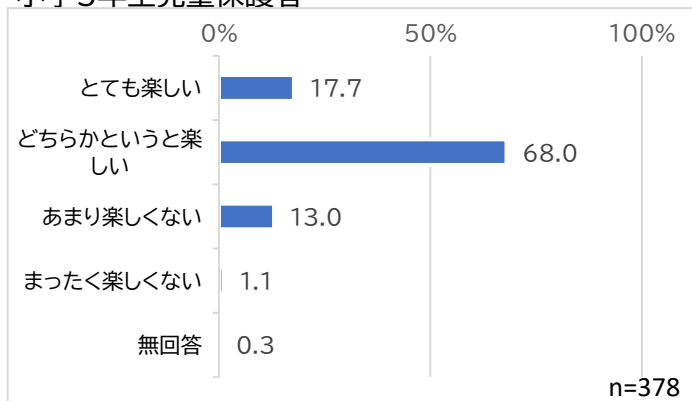
小学生児童保護者



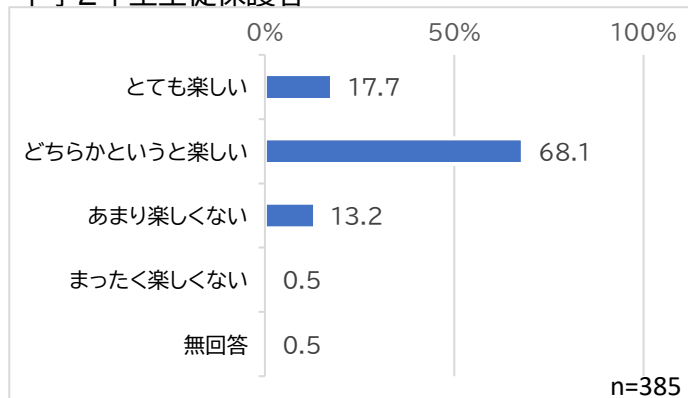
小学3年生児童保護者



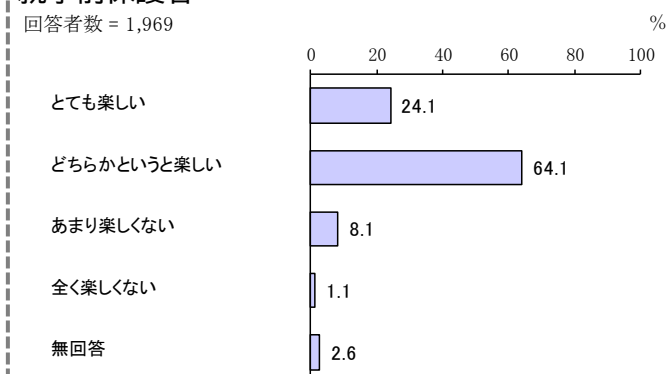
小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

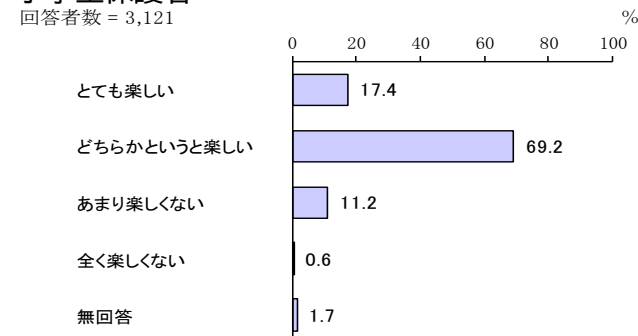
前回調査
就学前保護者

回答者数 = 1,969



小学生保護者

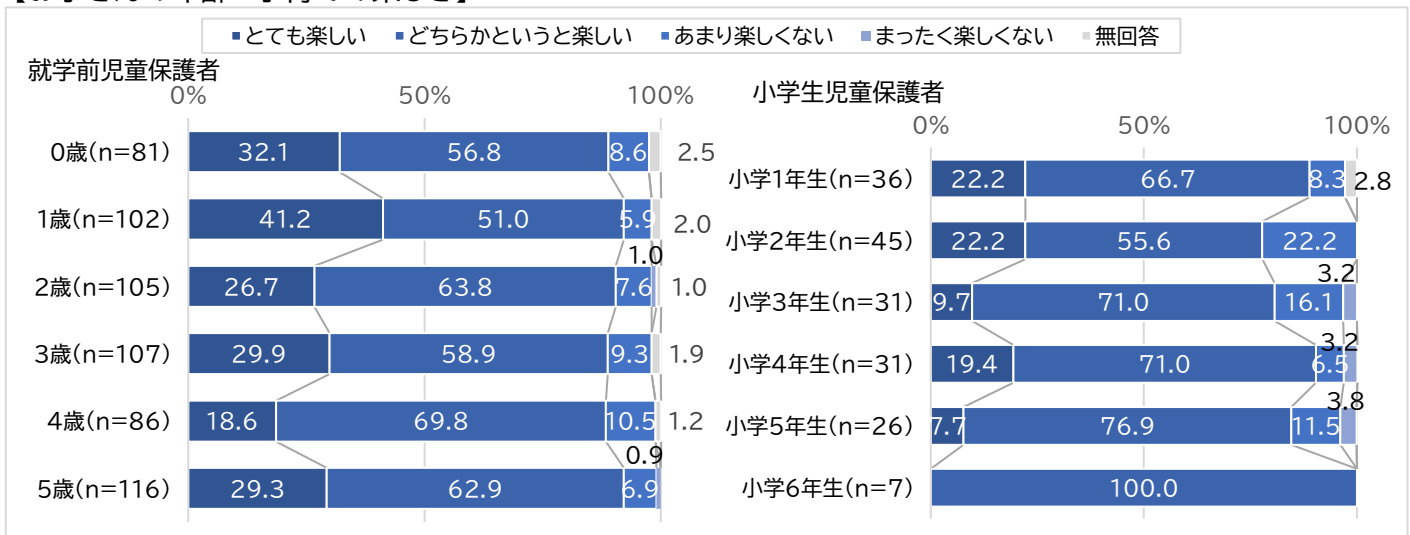
回答者数 = 3,121



問7 あなたは、毎日の生活や子育てを楽しんでいると感じていますか。(○は1つと、その理由)

お子さんの年齢別にみると、「とても楽しい」と答えた人は、就学前児童保護者では「0～1歳」、小学生児童保護者では「小学1～2年生」が多くなっています。

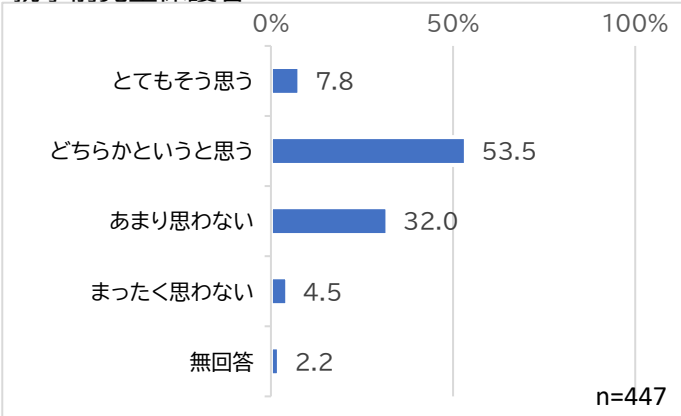
【お子さんの年齢×子育ての楽しさ】



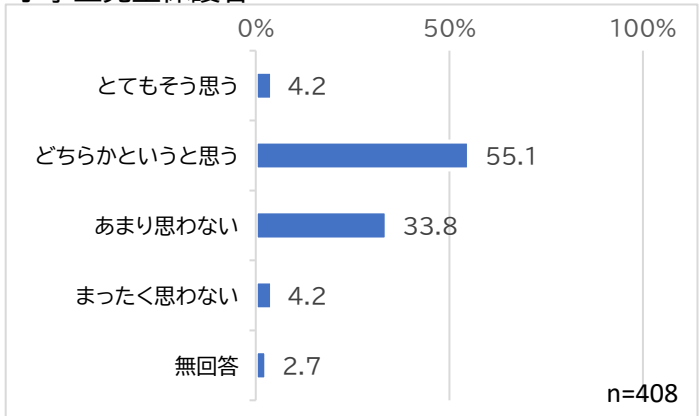
問8 あなたは、近江八幡市は子育てしやすい環境と感じていますか。(〇は1つと、その理由)

いずれも「どちらかというと思う」、次いで「あまり思わない」が多くなりました。

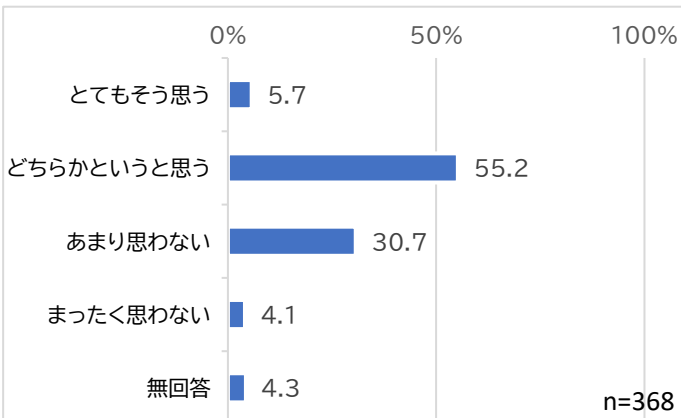
就学前児童保護者



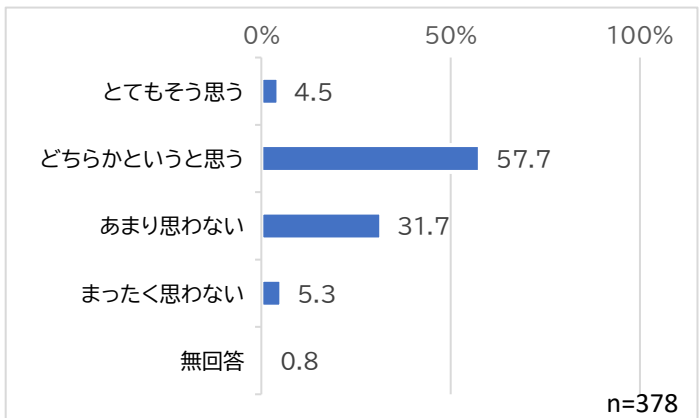
小学生児童保護者



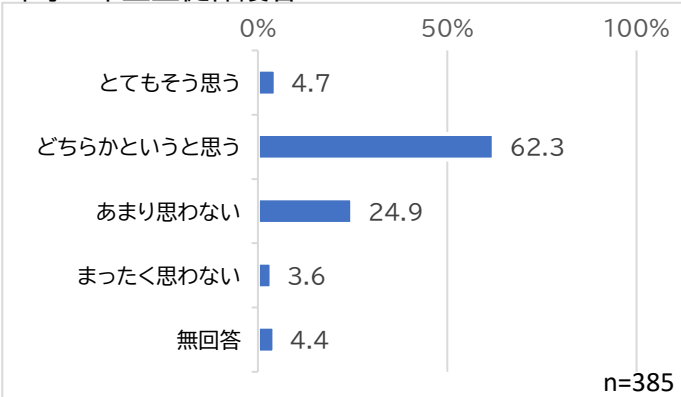
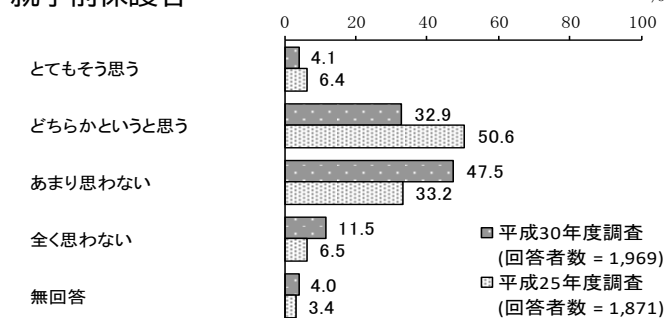
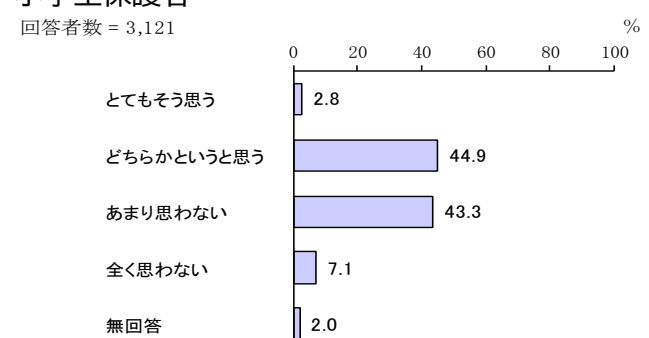
小学3年生児童保護者



小学5年生児童保護者



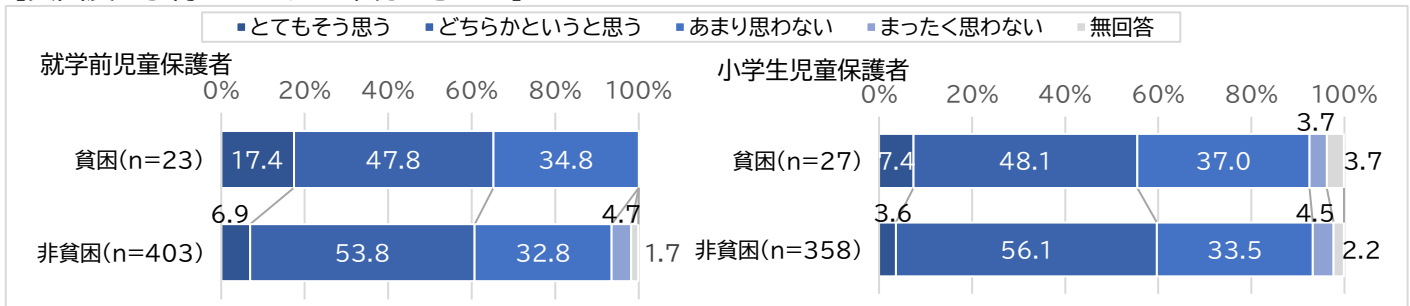
中学2年生生徒保護者

前回、前々回調査
就学前保護者前回調査
小学生保護者

問8 あなたは、近江八幡市は子育てしやすい環境と感じていますか。(〇は1つと、その理由)

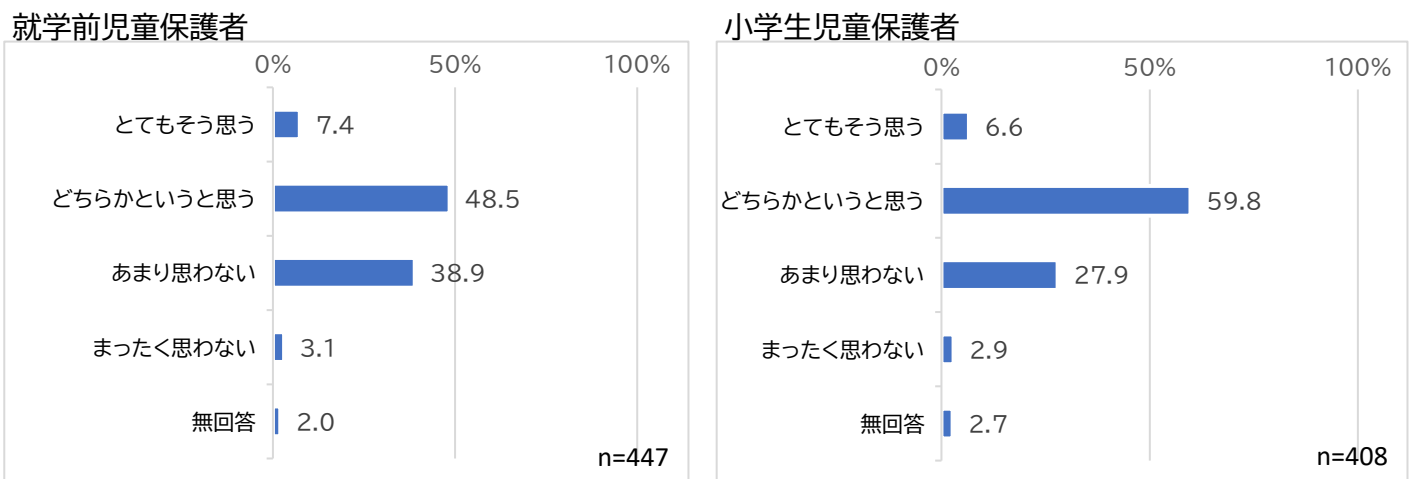
貧困度別にみると、「とてもそう思う」「どちらかという思う」と答えた人は、就学前児童保護者では「貧困世帯」の方が多く、小学生児童保護者では「非貧困世帯」の方が多くみられました。

【貧困度×子育てしやすい環境と思うか】



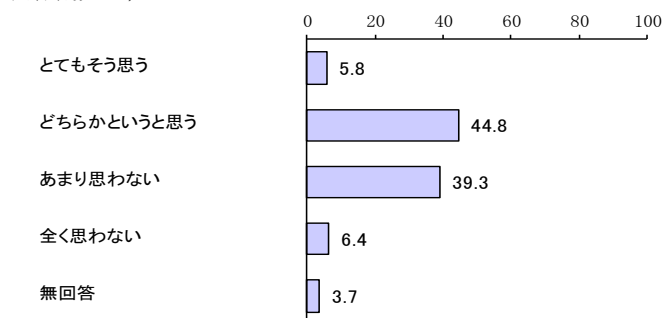
問9 あなたやお子さんは、地域社会全体(地域・企業・学校・行政など)で見守られている、応援されていると思いますか。(〇は1つと、その理由)

いずれも「どちらかという思う」が最も多く、小学生児童保護者では6割近くが答えました。



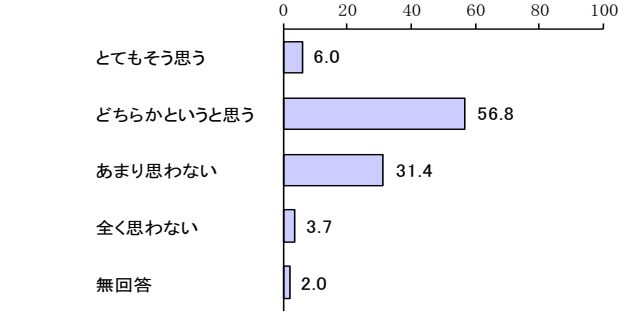
**前回調査
就学前保護者**

回答者数 = 1,969



小学生保護者

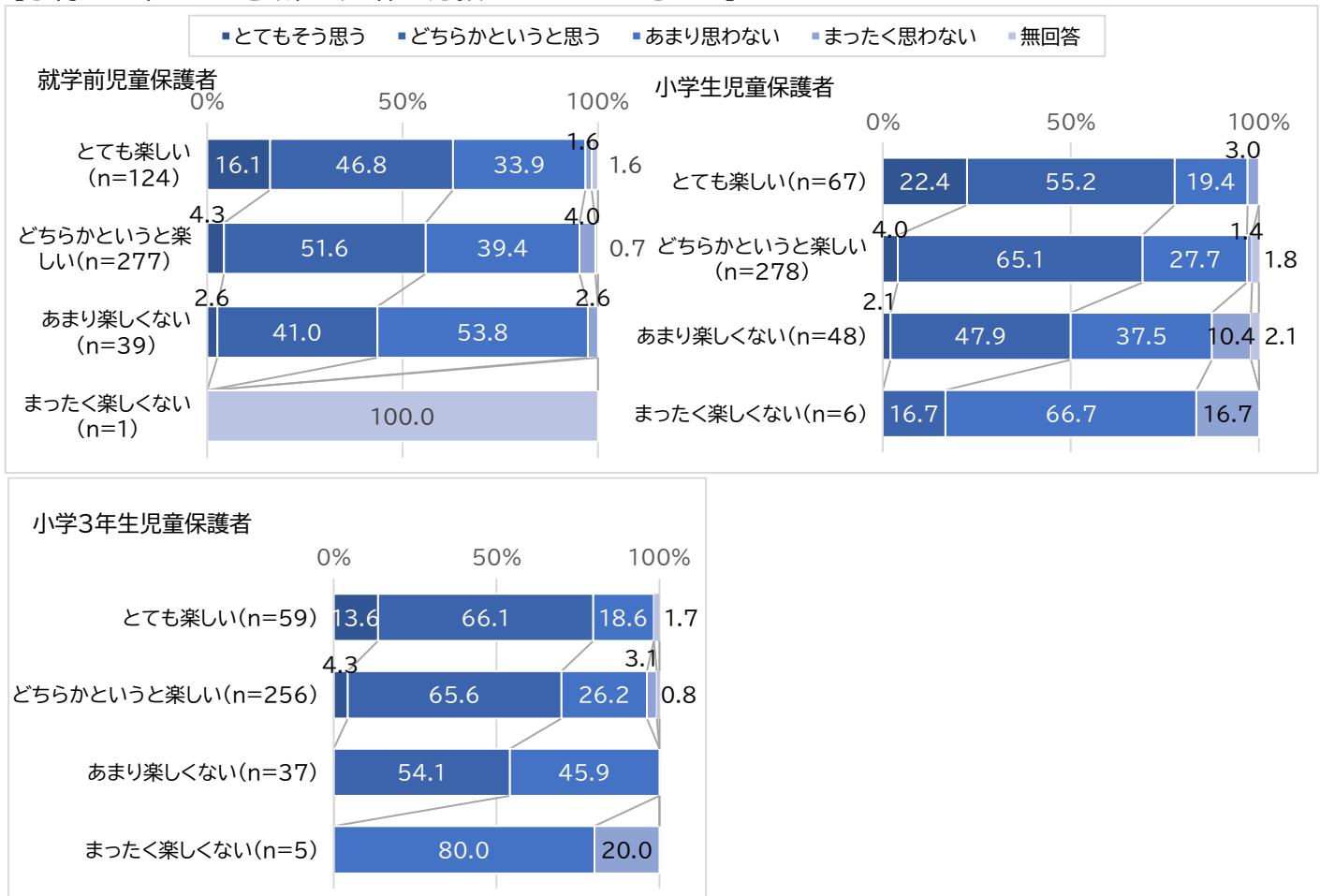
回答者数 = 3,121



問9 あなたやお子さんは、地域社会全体(地域・企業・学校・行政など)で見守られている、応援されていると思いますか。(〇は1つと、その理由)

子育ての楽しさ別にみると、「とてもそう思う」「どちらかという思う」と答えた人は、「とても楽しい」「どちらかという楽しい」と答えた人に多くみられました。

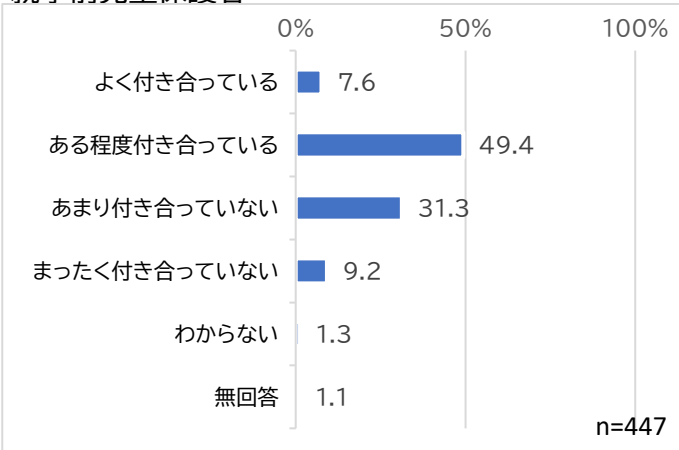
【子育ての楽しさ×地域社会全体で応援されていると思うか】



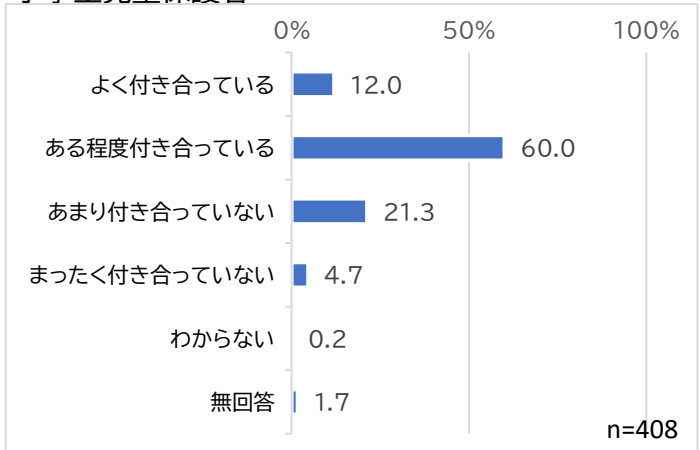
問10 あなたは、地域や近所の方と関わっていますか。(〇は1つ)

いずれも「ある程度付き合っている」が最も多くなりました。小学生児童保護者では「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」と答えた人が7割を超えました。

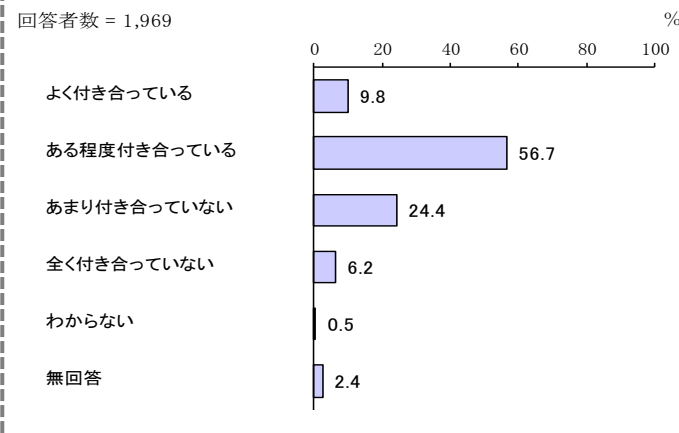
就学前児童保護者



小学生児童保護者

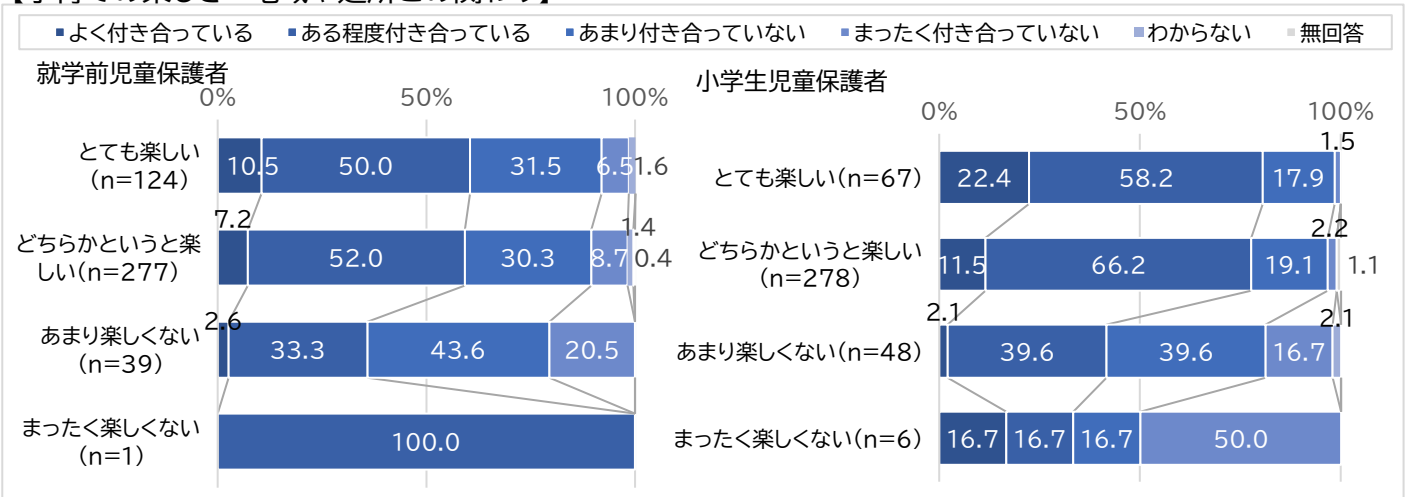
前回調査
就学前保護者

回答者数 = 1,969



子育ての楽しさ別にみると、「とても楽しい」「どちらかという楽しい」と答えた人ほど、地域や近所との関わりが多くなっています。

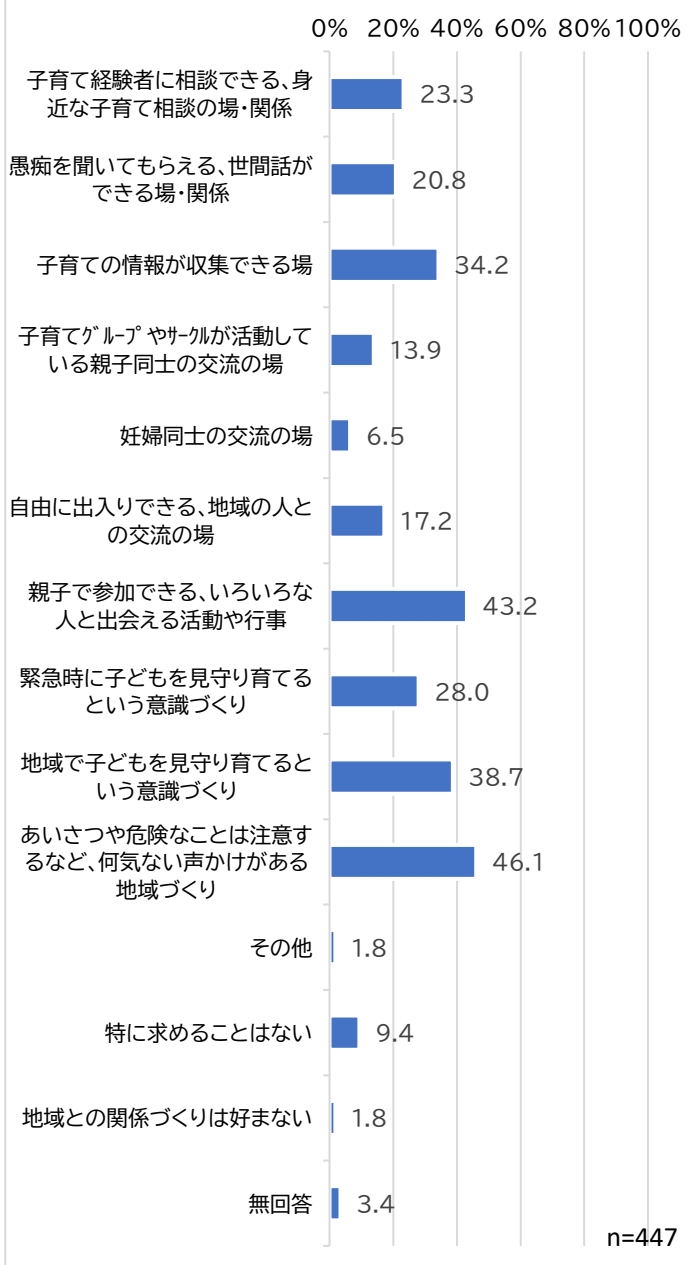
【子育ての楽しさ×地域や近所との関わり】



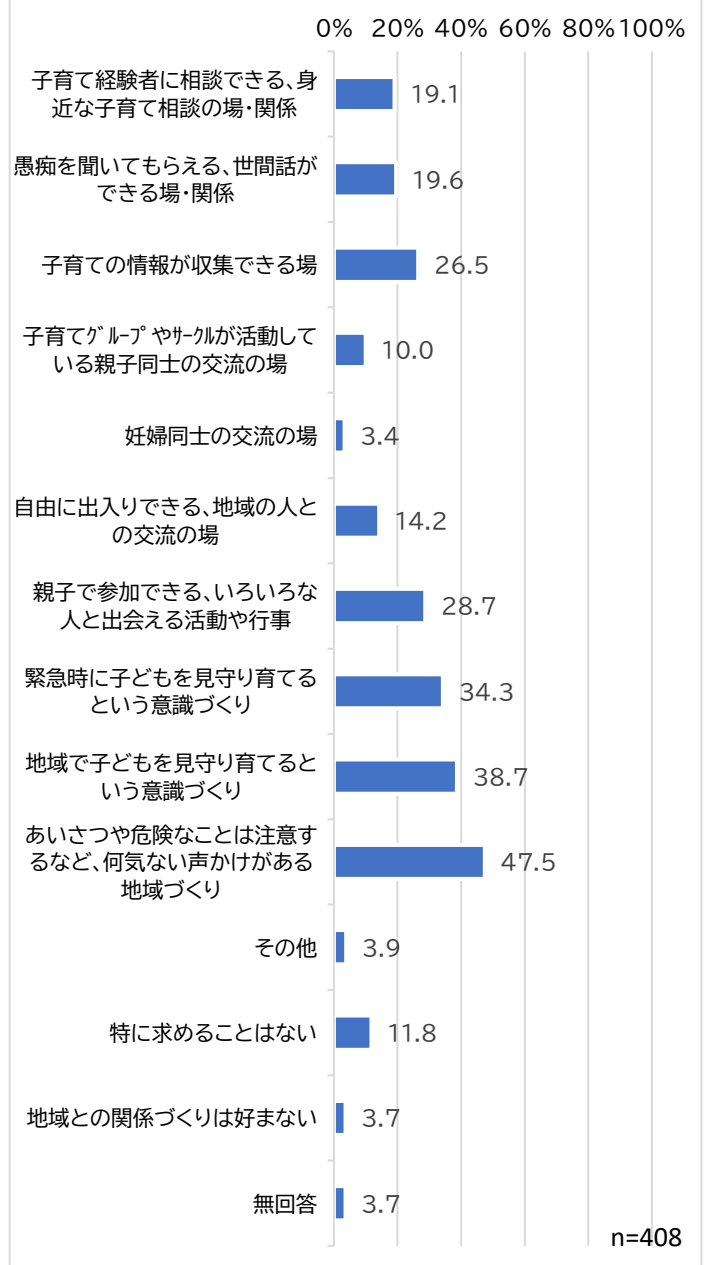
問11 小学校区や町内といった、現在住んでいる地域に対して、どんな関わりや取り組みを求めますか。(〇はいくつでも)

いずれも「あいさつや危険なことは注意するなど、何気ない声かけがある地域づくり」が最も多く、次いで「地域で子どもを見守り育てるという意識づくり」となりました。

就学前児童保護者



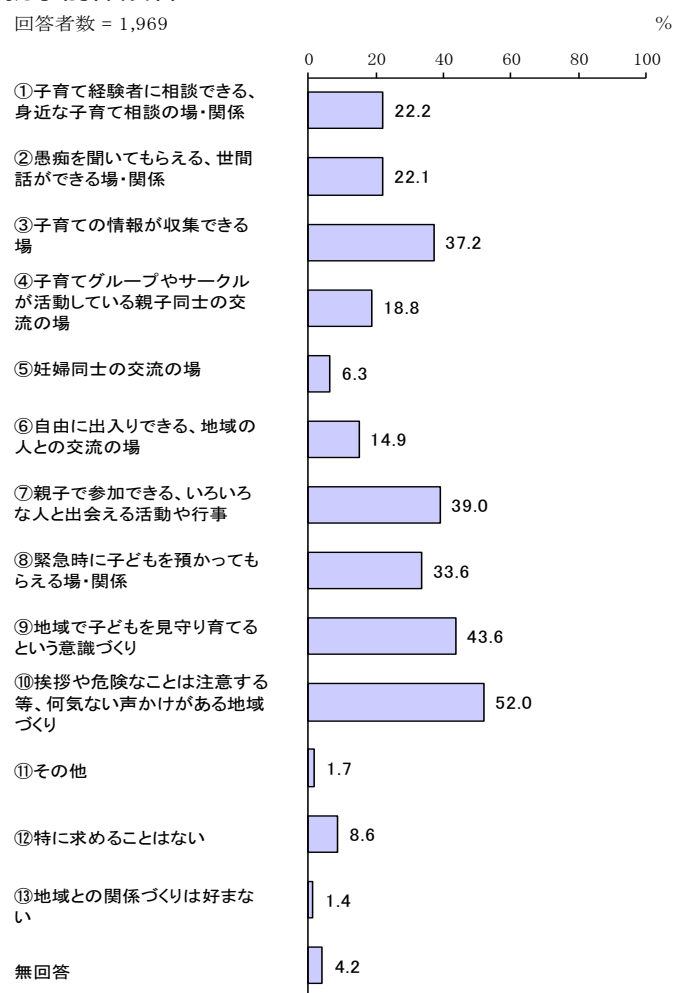
小学生児童保護者



問11 小学校区や町内といった、現在住んでいる地域に対して、どんな関わりや取り組みを求めますか。(〇は
いくつでも)

前回調査
就学前保護者

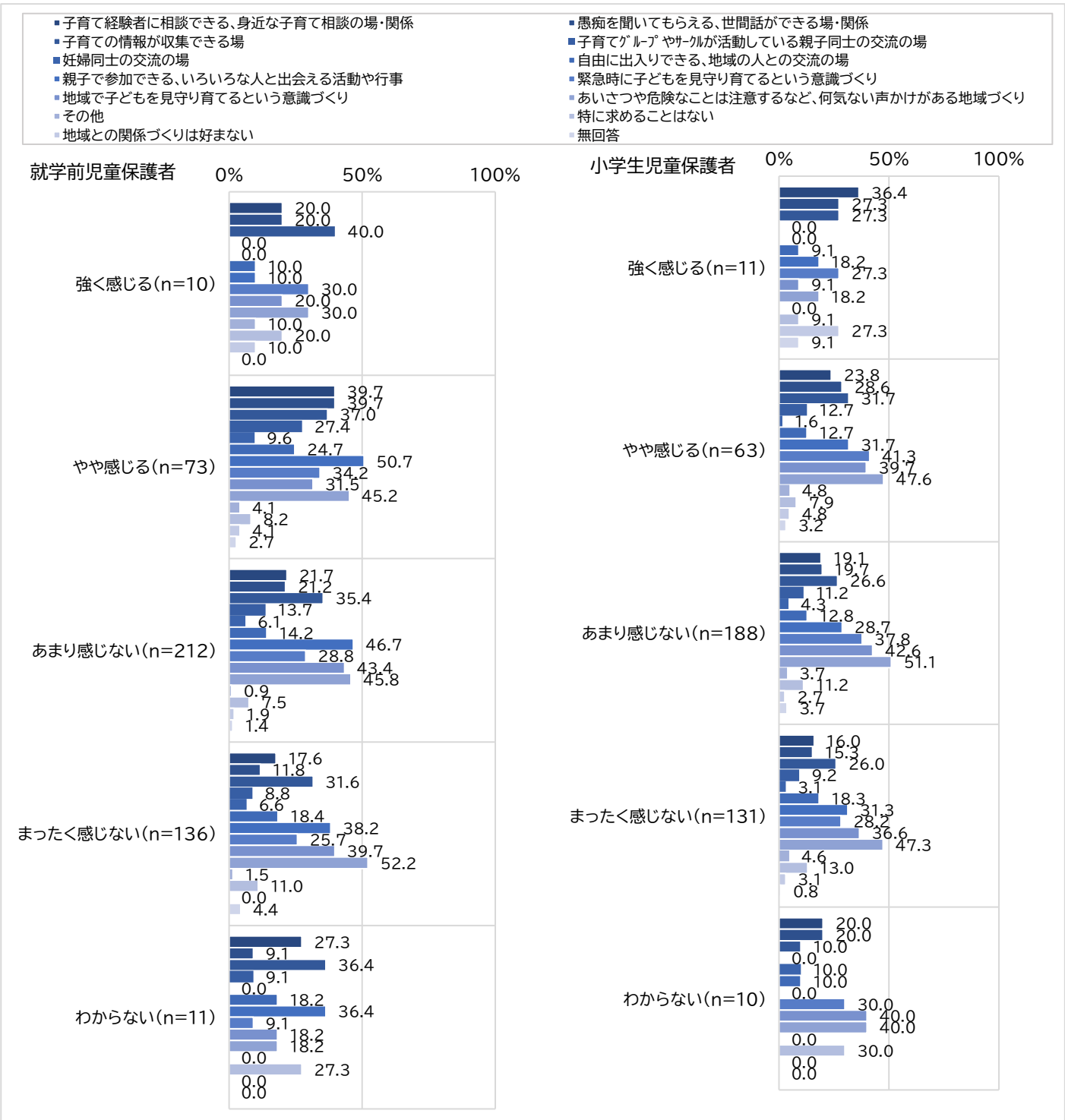
回答者数 = 1,969



問11 小学校区や町内といった、現在住んでいる地域に対して、どんな関わりや取り組みを求めますか。(〇はいくつでも)

日々の孤立感別にみると、小学生児童保護者では、孤立感を「あまり感じない」「まったく感じない」人は、「あいさつや危険なことは注意するなど、何気ない声かけがある地域づくり」を求めている人が多くなりました。

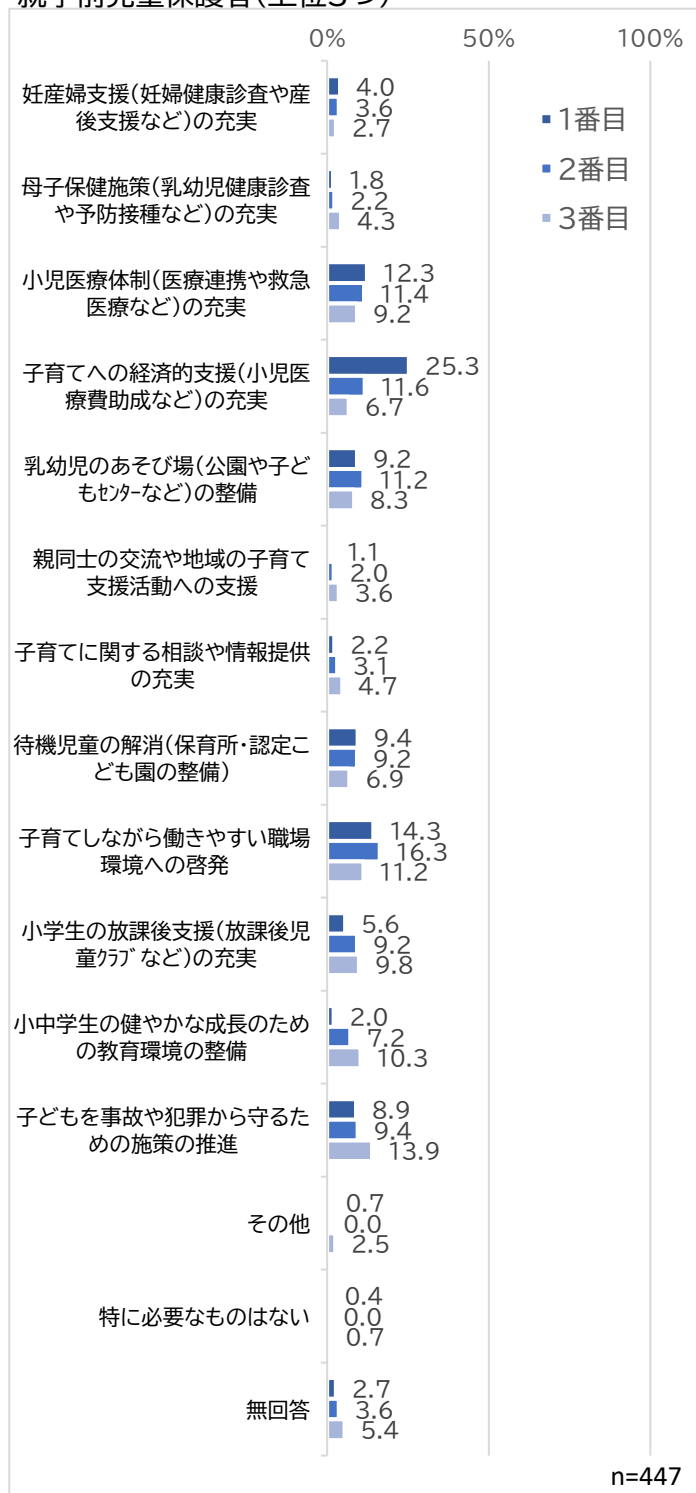
【日々の孤立感×地域に求めるかかわりや取り組み】



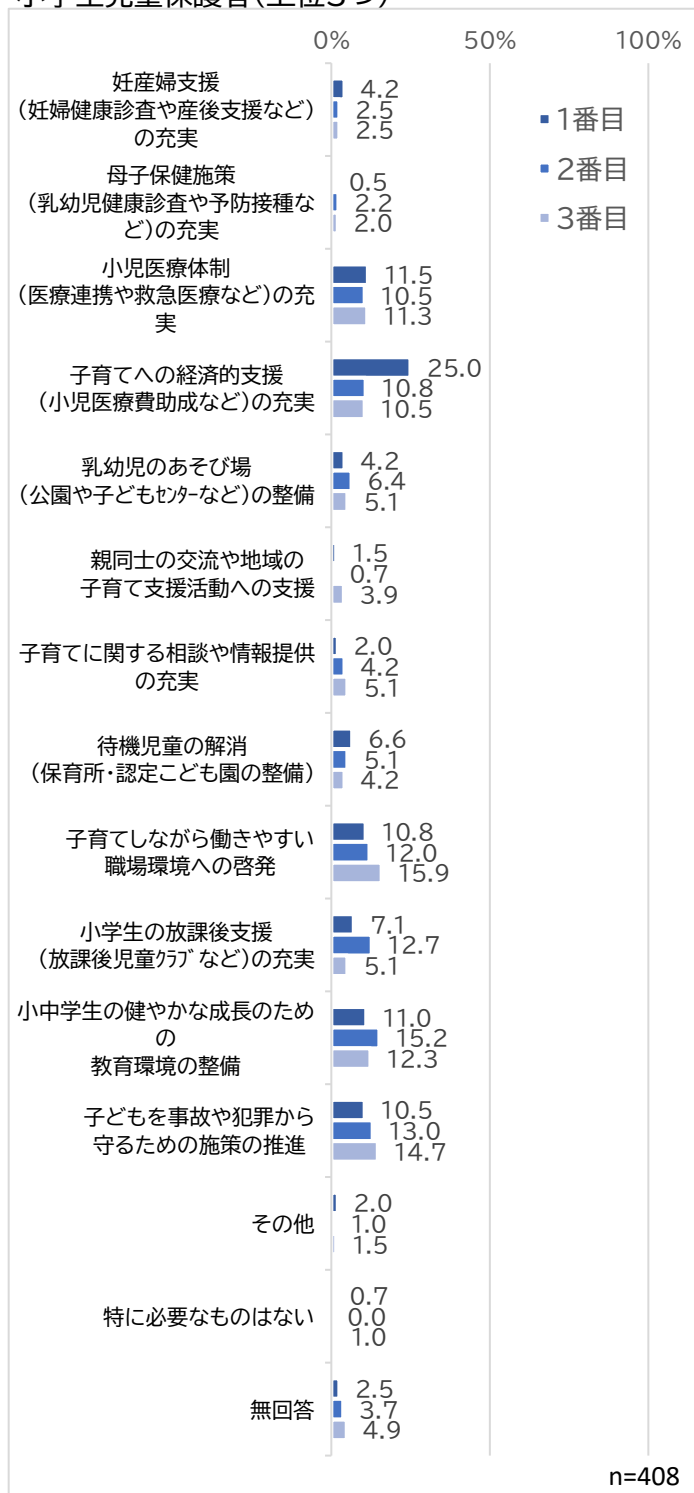
問12 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。(下表の選択肢1～14の中から、必要と思うもの上位から3つ選んで数字を記入してください)

就学前児童保護者・小学生児童保護者ともに、「子育てへの経済的支援(小児医療費助成など)の充実」と答えた人が最も多くなりました。ただし、就学前児童保護者は、前回調査と比較し、同回答の割合が、約16ポイント減少しました。

就学前児童保護者(上位3つ)

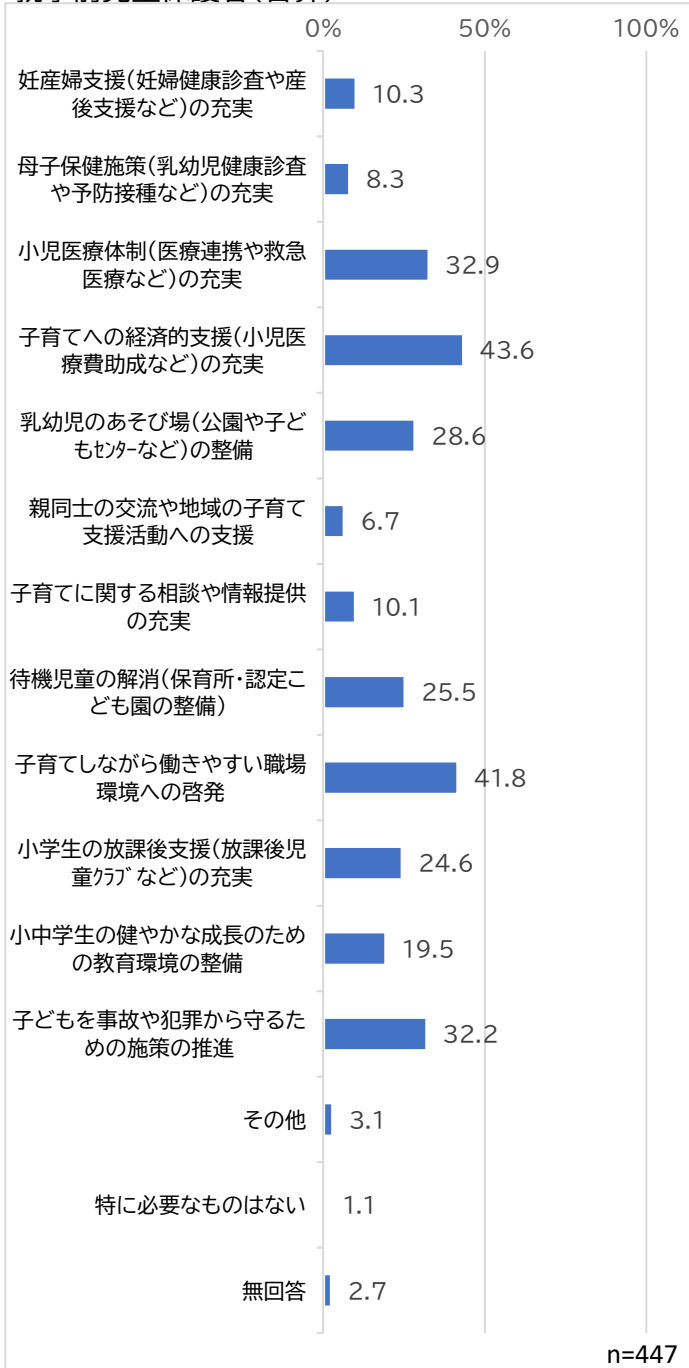


小学生児童保護者(上位3つ)

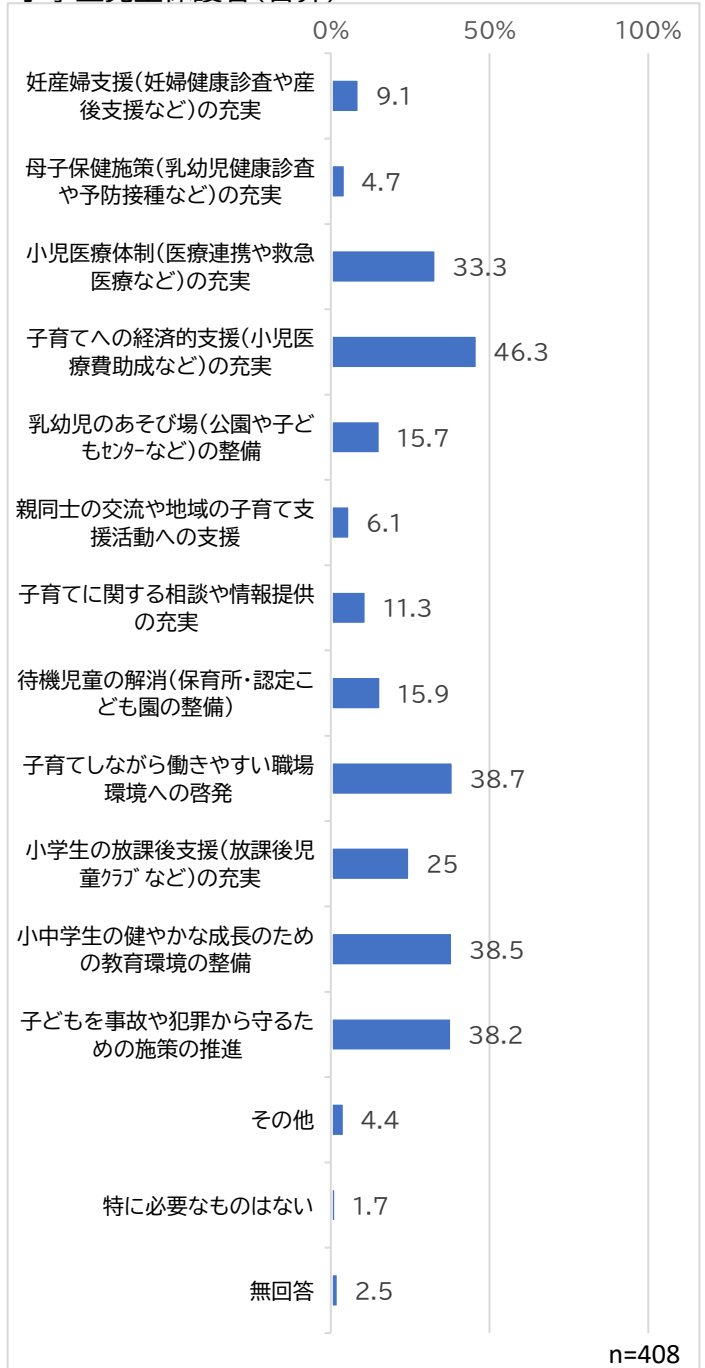


問12 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。(下表の選択肢1～14の中から、必要と思うもの上位から3つ選んで数字を記入してください)

就学前児童保護者(合算)



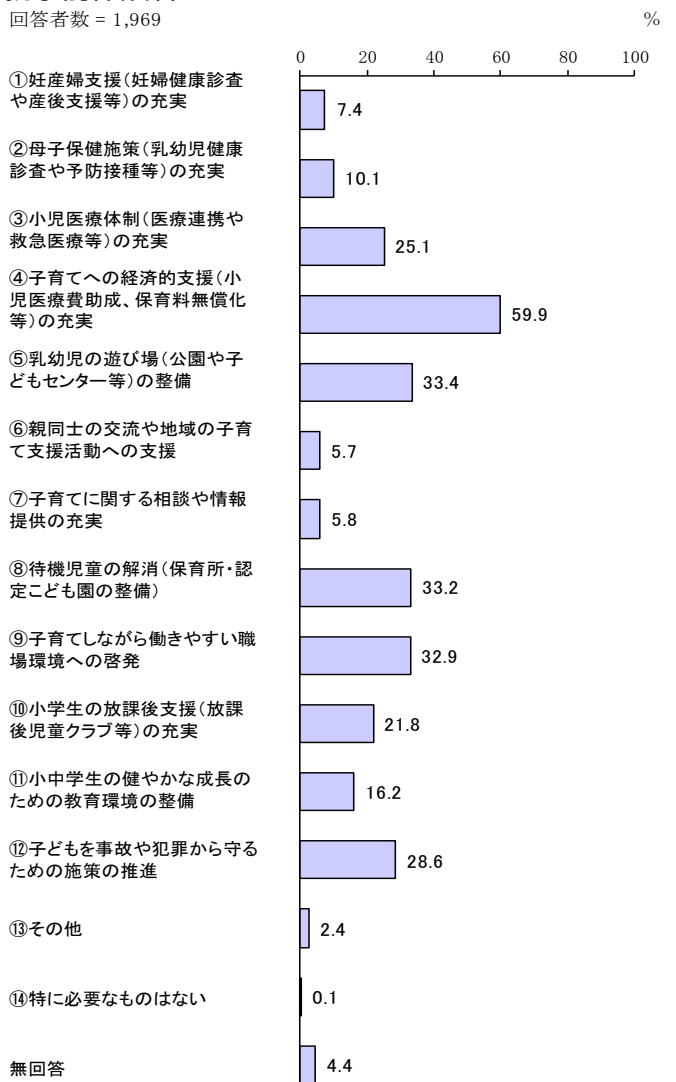
小学生児童保護者(合算)



問12 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。(下表の選択肢1～14の中から、必要と思うもの上位から3つ選んで数字を記入してください)

前回調査
就学前保護者

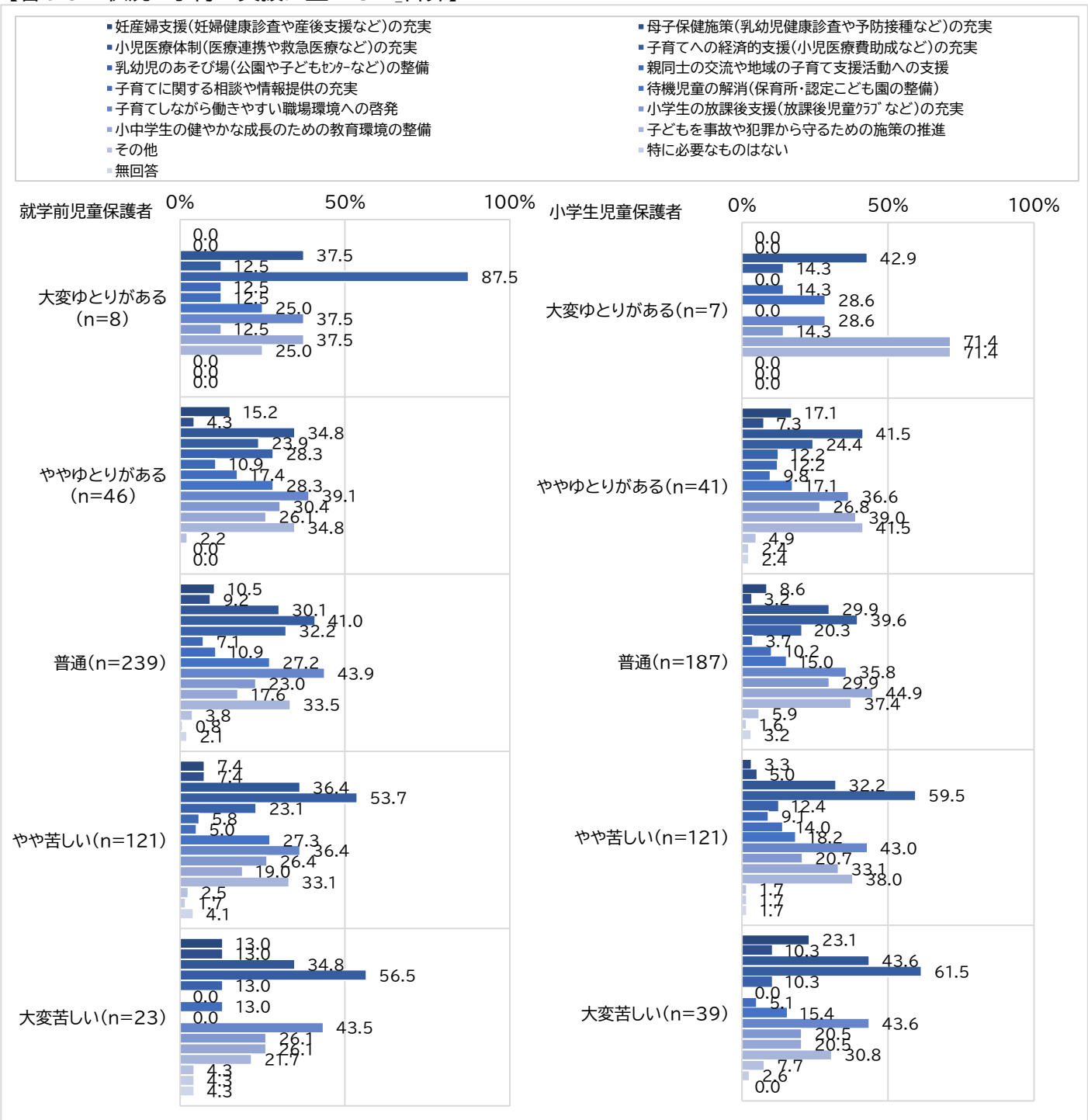
回答者数 = 1,969



問12 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのような取り組みの充実が必要だと思いますか。(下表の選択肢1～14の中から、必要と思うもの上位から3つ選んで数字を記入してください)

暮らしの状況別にみると、就学前児童保護者、小学生児童保護者いずれも、「やや苦しい」「大変苦しい」の半数以上が、「子育てへの経済的支援の充実」と答えました。

【暮らしの状況×子育て支援に望むもの_合算】



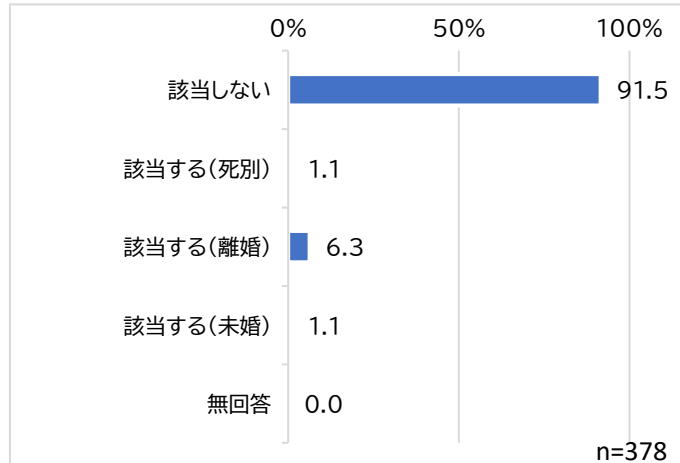
暮らしの状況について

問1 現在の状況などをお答えください。

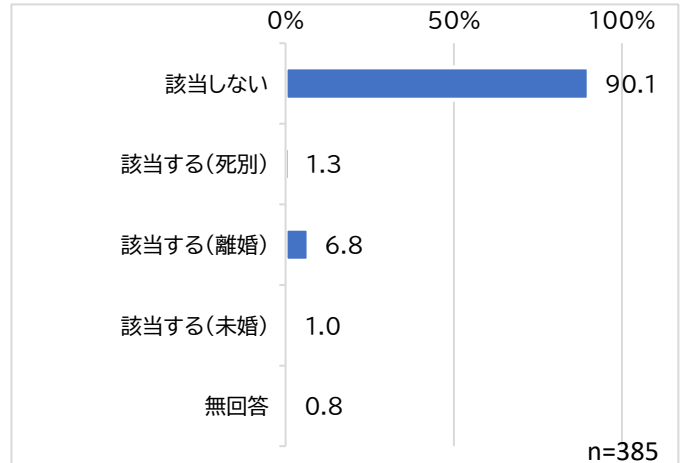
(1)あなたの世帯は「ひとり親世帯」に該当しますか。(○は1つ)

ひとり親世帯は、小学5年生児童保護者で、8.5%、中学2年生生徒保護者で、9.1%となっています。

小学5年生児童保護者



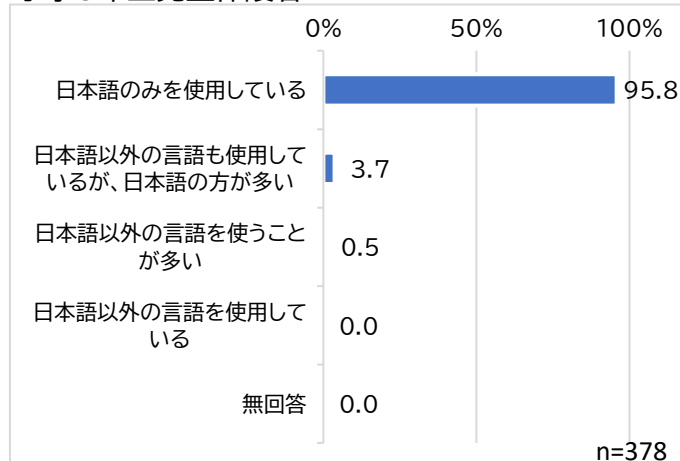
中学2年生生徒保護者



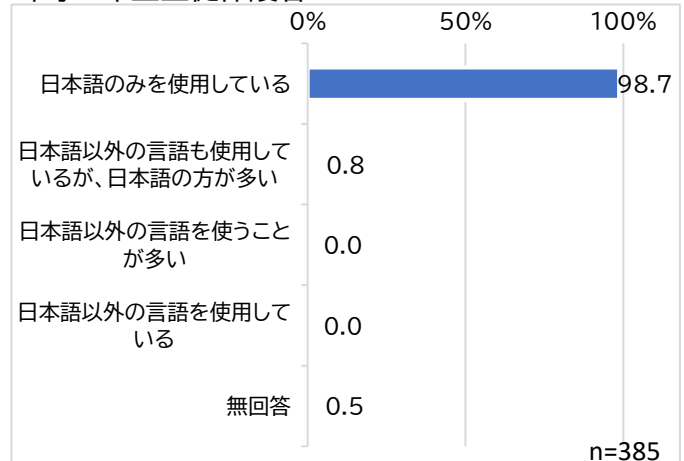
(2)家庭で使用している言語はなんですか。(○は1つ)

日本語以外の言語も使用をしている家庭は、小学5年生児童保護者で4.2%、中学2年生生徒保護者で0.8%となっています。

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者



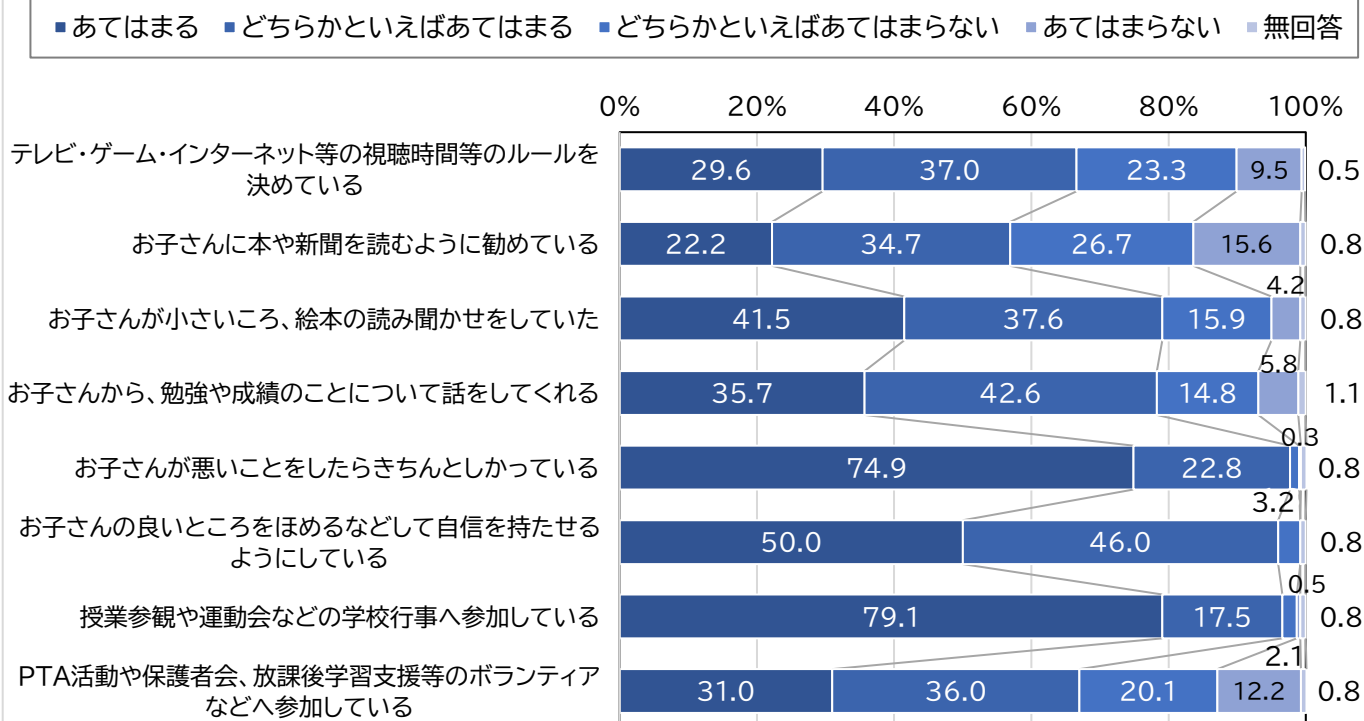
お子さんとのかかわり方について

問2 あなたとお子さんのかかわり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(それぞれ○は1つ)

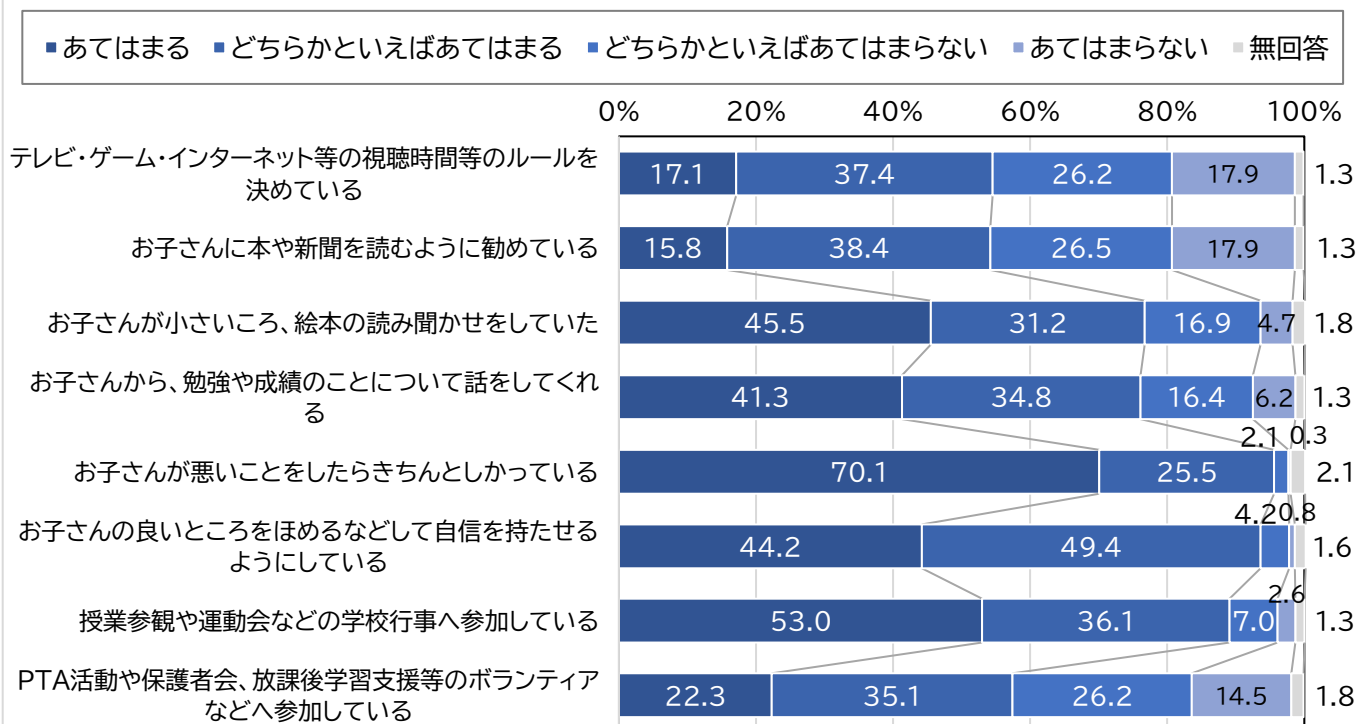
小学5年生児童保護者では、すべての選択肢で、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計が、中学2年生生徒保護者よりも高くなっています。

いずれも、「お子さんが悪いことをしたらきちんとしかっている」が、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計が最も多くなっている一方で、「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」が、最も少なくなっています。

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

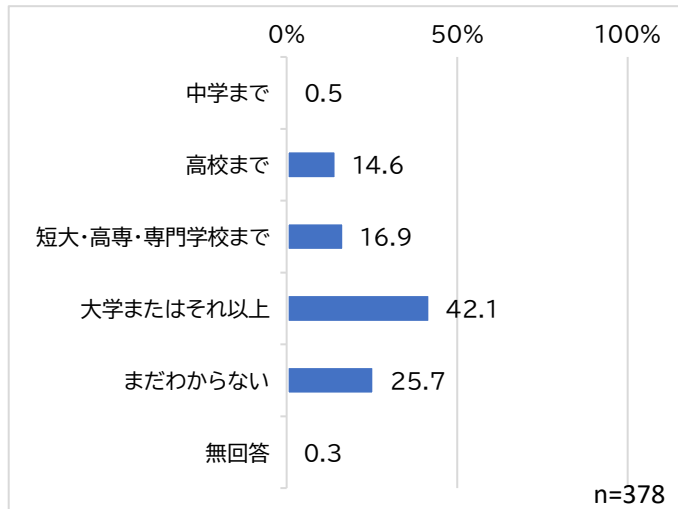


お子さんの将来について

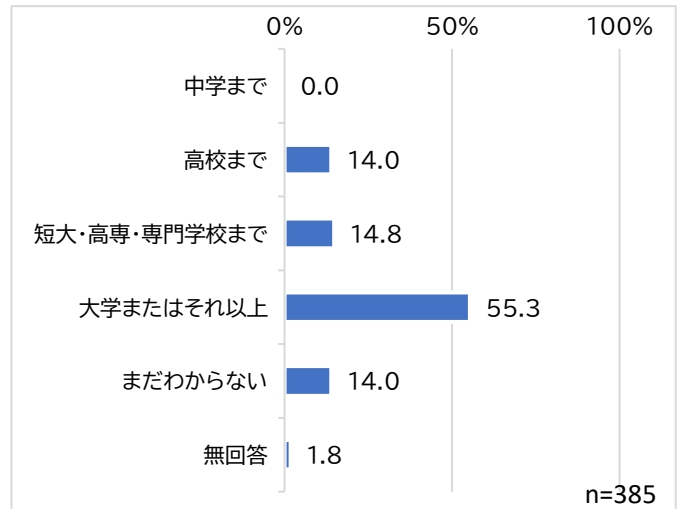
問3 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。(○は1つ)

いずれも「大学またはそれ以上」の割合が最も多く、小学5年生児童保護者では、次いで「まだわからない」となっています。一方で、中学2年生保護者では、「短大・高専・専門学校まで」と「高校まで」「まだわからない」が、ほぼ同じ割合で続いています。

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

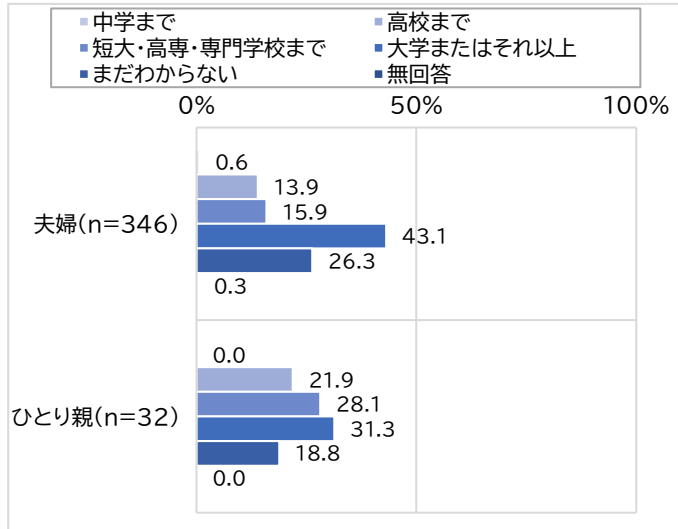


問3 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。(〇は1つ)

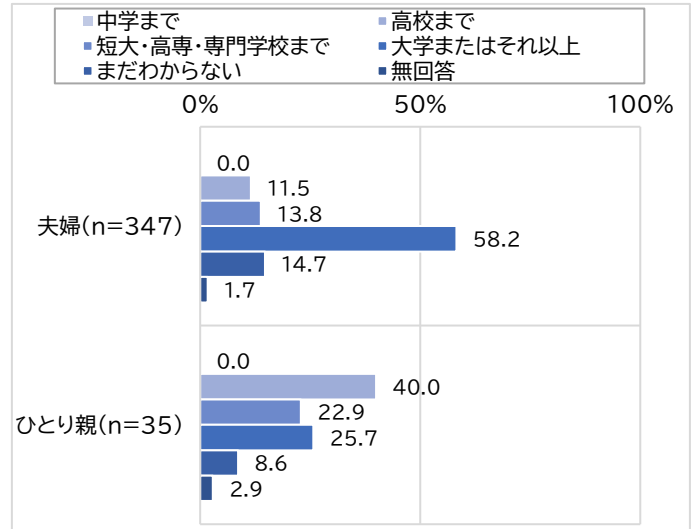
世帯状況別でみると、「大学またはそれ以上」の割合は、夫婦世帯がひとり親世帯を上回っています。

【世帯状況×将来の進学】

小学5年生児童保護者



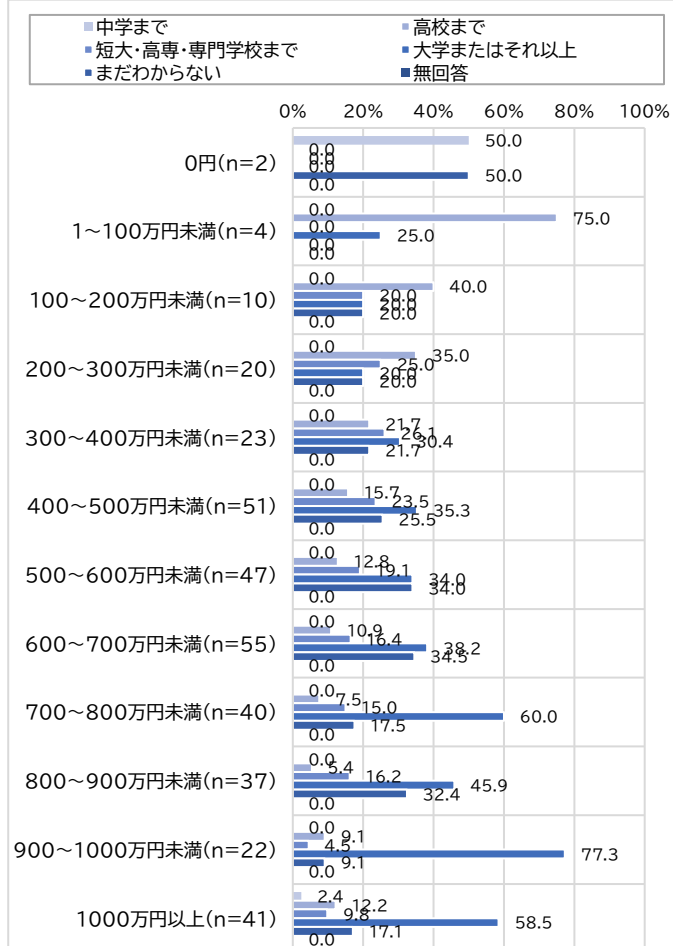
中学2年生生徒保護者



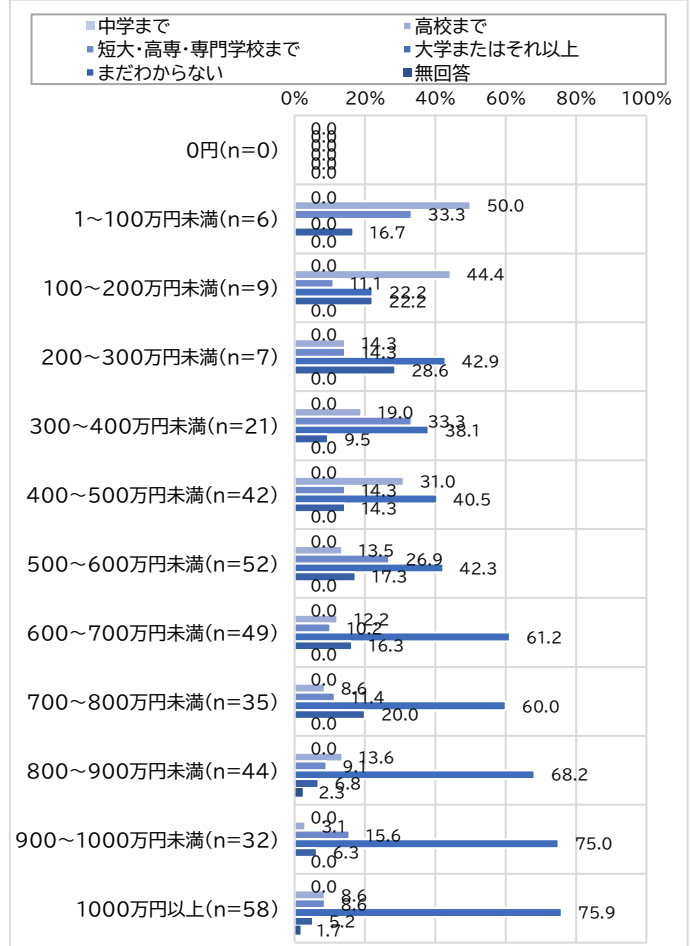
世帯収入別では、世帯収入が高いほど「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。

【世帯収入×将来の進学】

小学5年生児童保護者



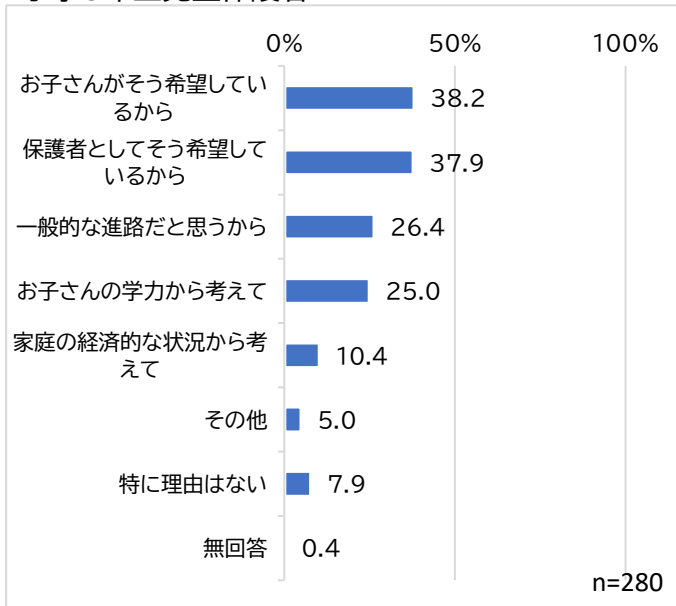
中学2年生生徒保護者



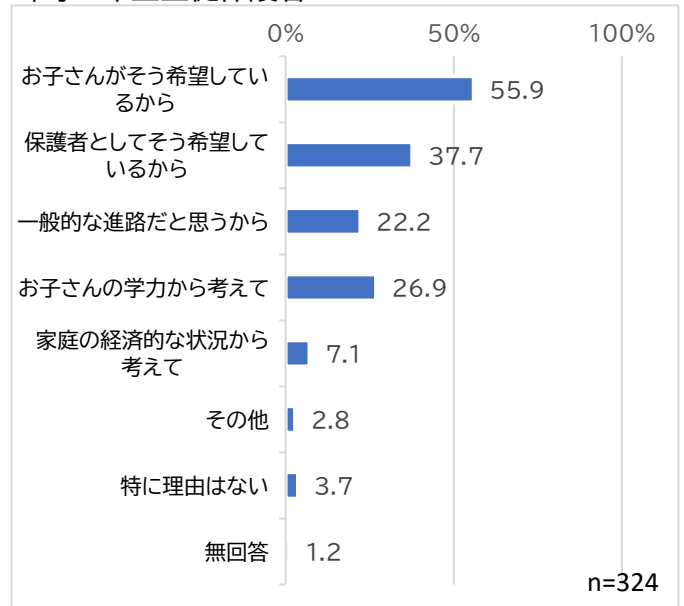
問3で1～4と答えた方におうかがいします。
問3-1 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

いずれも「お子さんがそう希望しているから」の割合が最も多く、次いで「保護者としてそう希望しているから」となっています。

小学5年生児童保護者



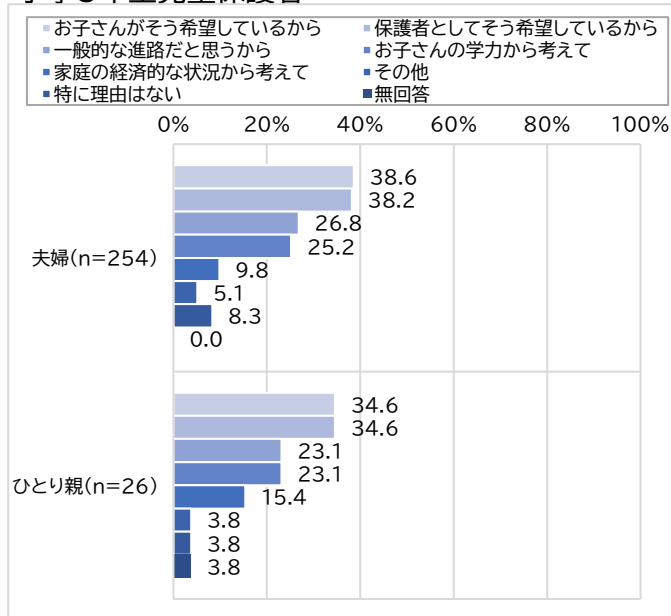
中学2年生生徒保護者



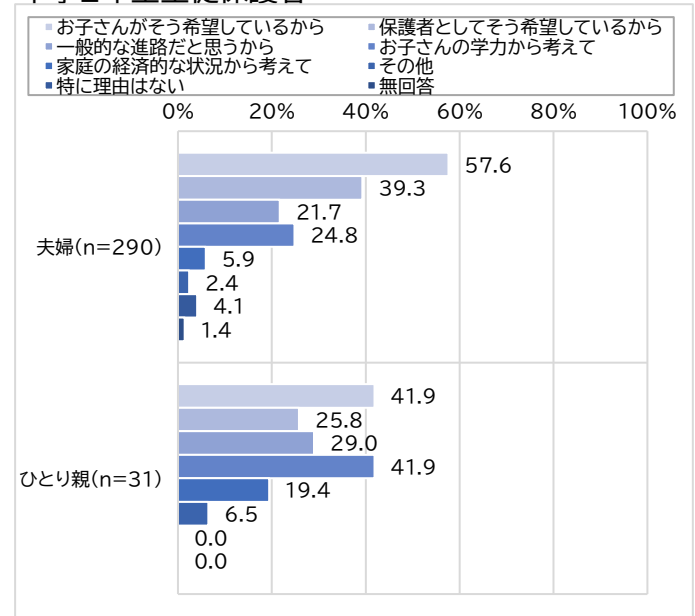
世帯状況別でみると、「家庭の経済的な状況から考えて」の割合は、いずれも夫婦世帯よりも、ひとり親世帯の方が高くなっています。

【世帯状況×進学の原因】

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

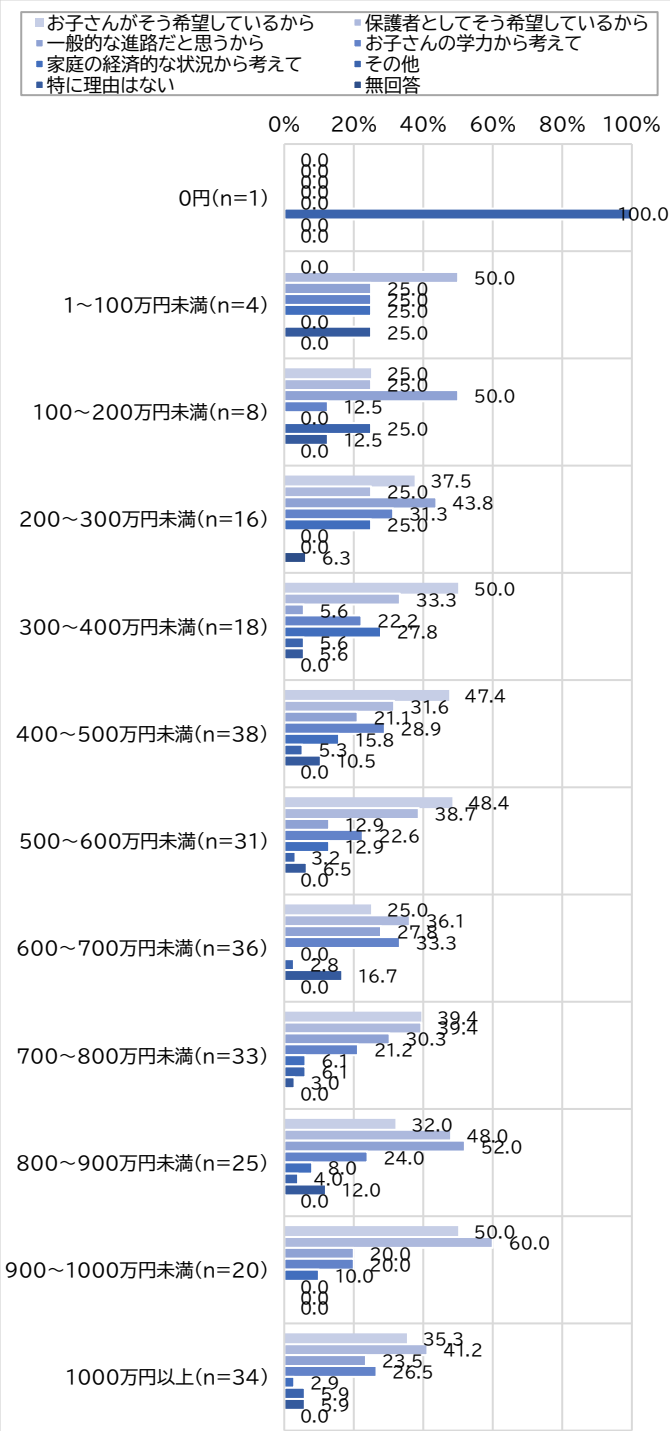


問3-1 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

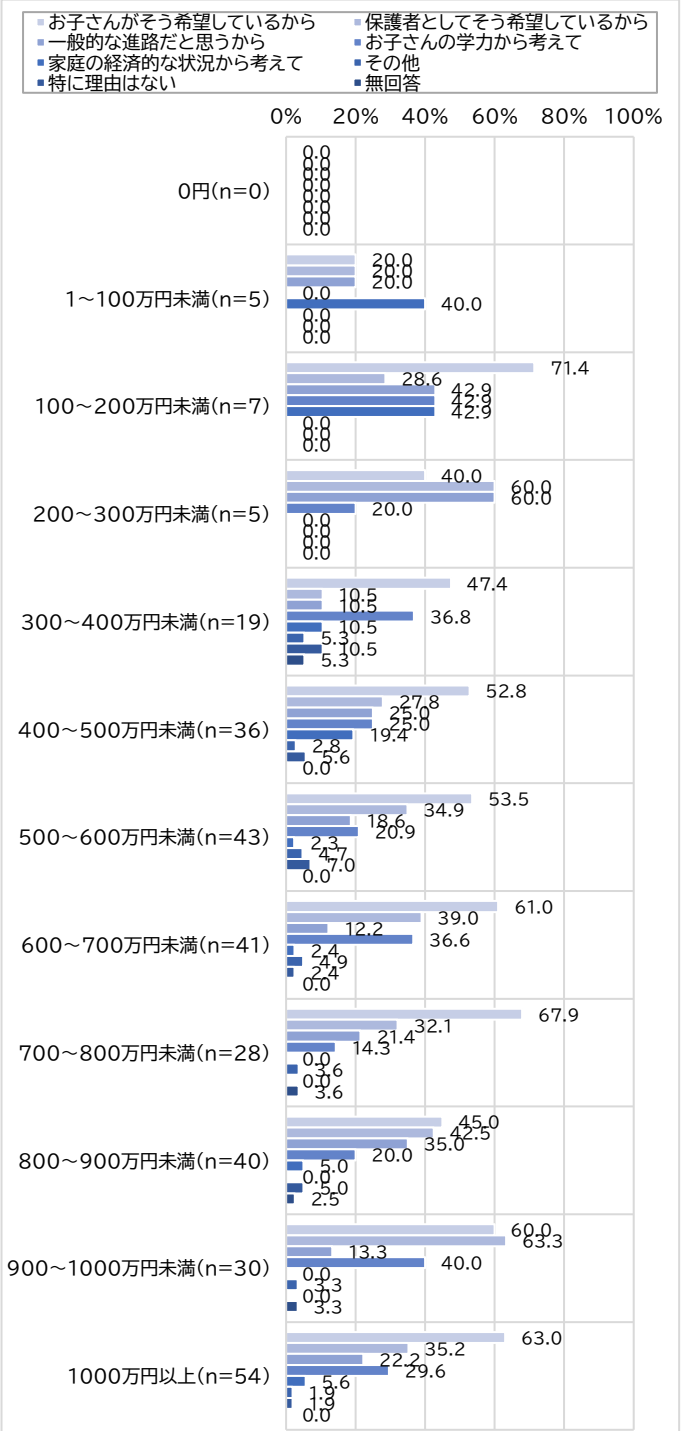
世帯収入別でみると、世帯収入が低いほど、「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が高い傾向があります。

【世帯収入×進学理由】

小学5年生児童保護者



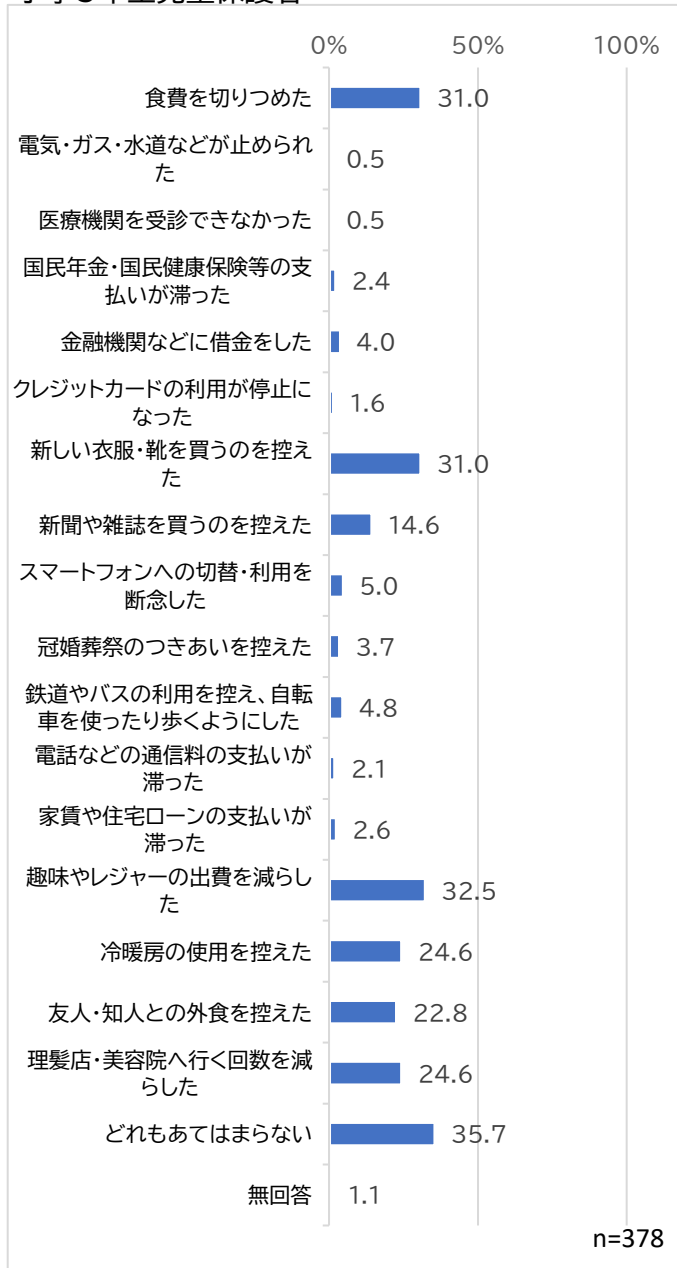
中学2年生生徒保護者



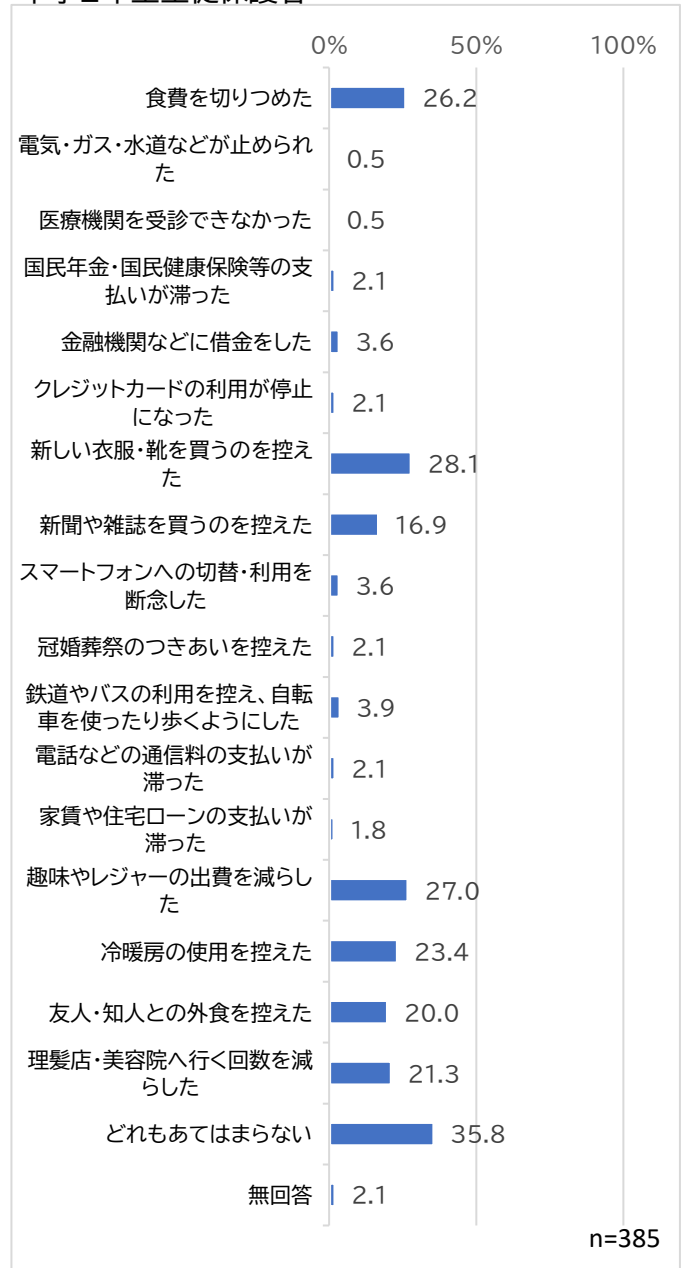
問4 あなたの世帯では、過去1年間に、以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

いずれも「どれもあてはまらない」の割合が最も多いですが、小学5年生児童保護者では、「趣味やレジャーの出費を減らした」、「食費を切りつめた」、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が30%台で、中学2年生生徒保護者では、20%台後半で続いています。

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

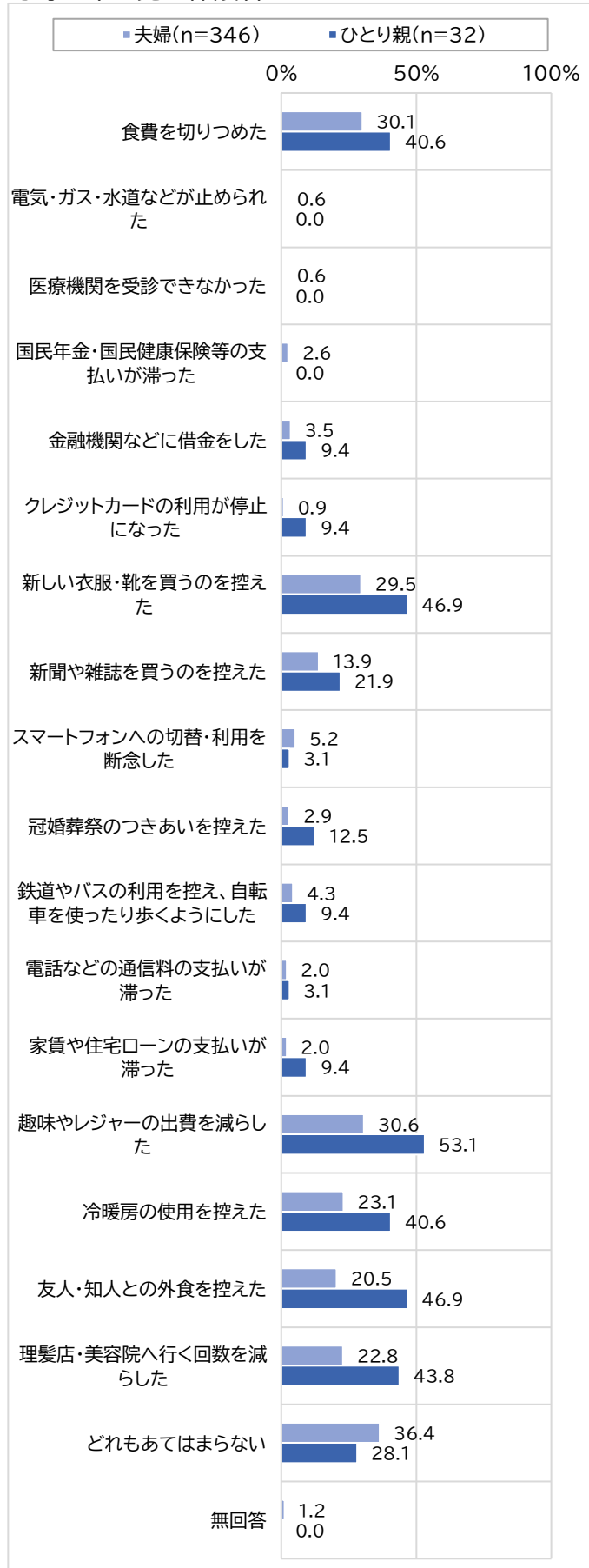


問4 あなたの世帯では、過去1年間に、以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

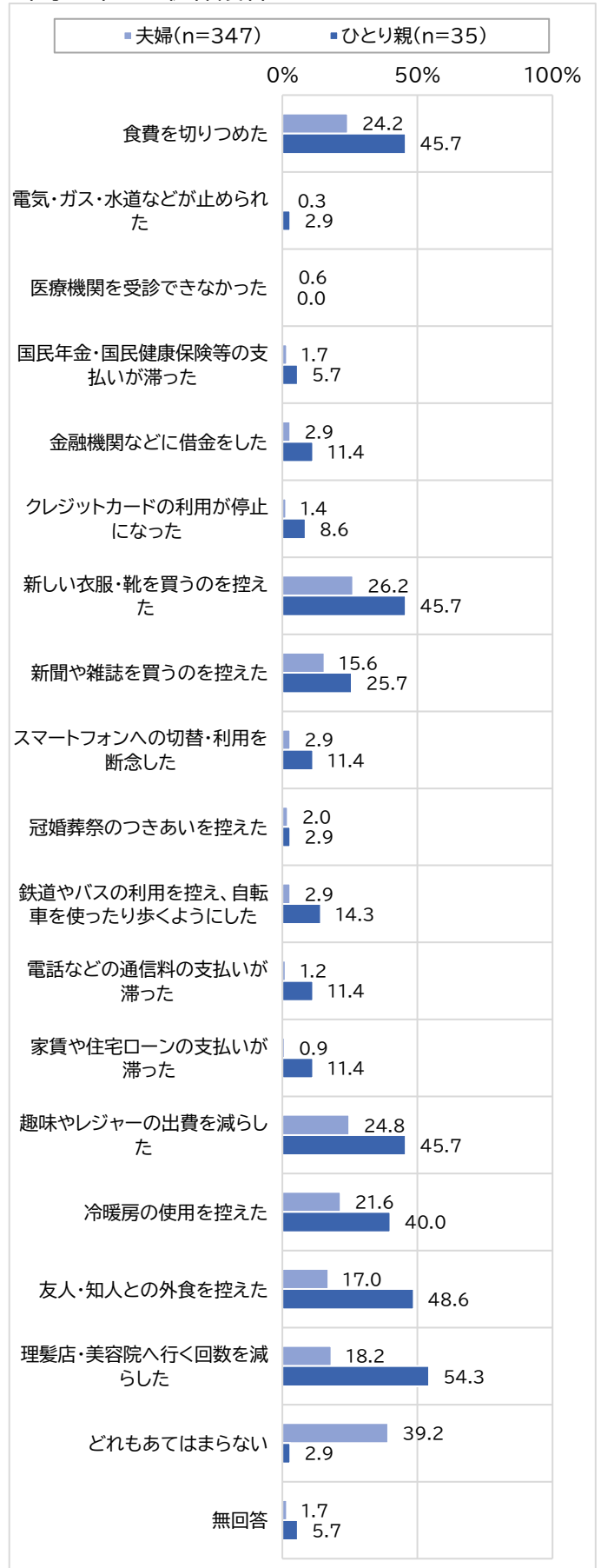
世帯状況別でみると、ひとり親世帯ほど、過去1年間に起こったことを選択する割合が高くなっています。

【世帯状況×過去1年間で起こったこと】

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

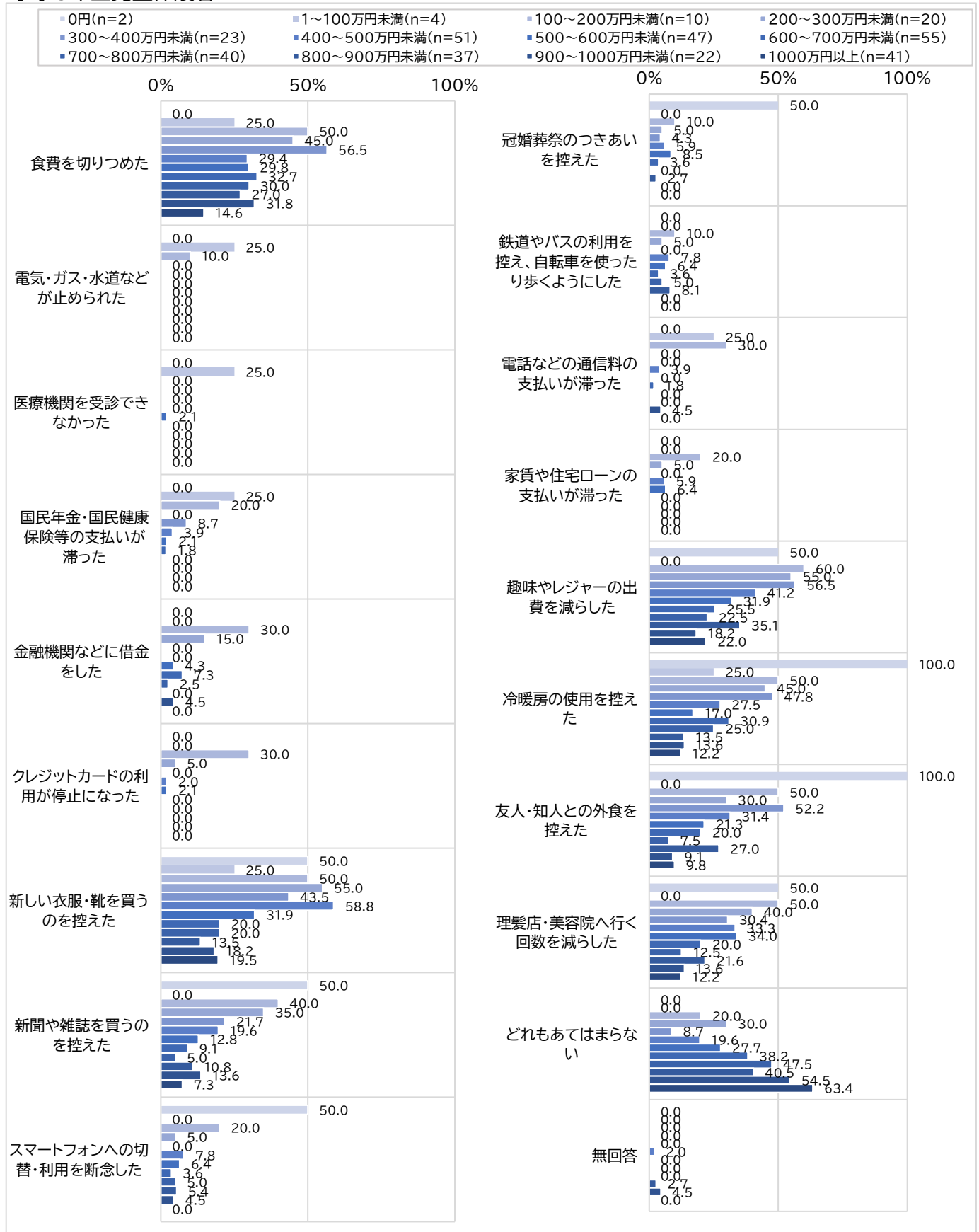


問4 あなたの世帯では、過去1年間に、以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

世帯収入別でみると、世帯収入が低いほど、過去1年間に起こったことを選択する割合が高くなっています。

【世帯年収×過去1年間で起こったこと】

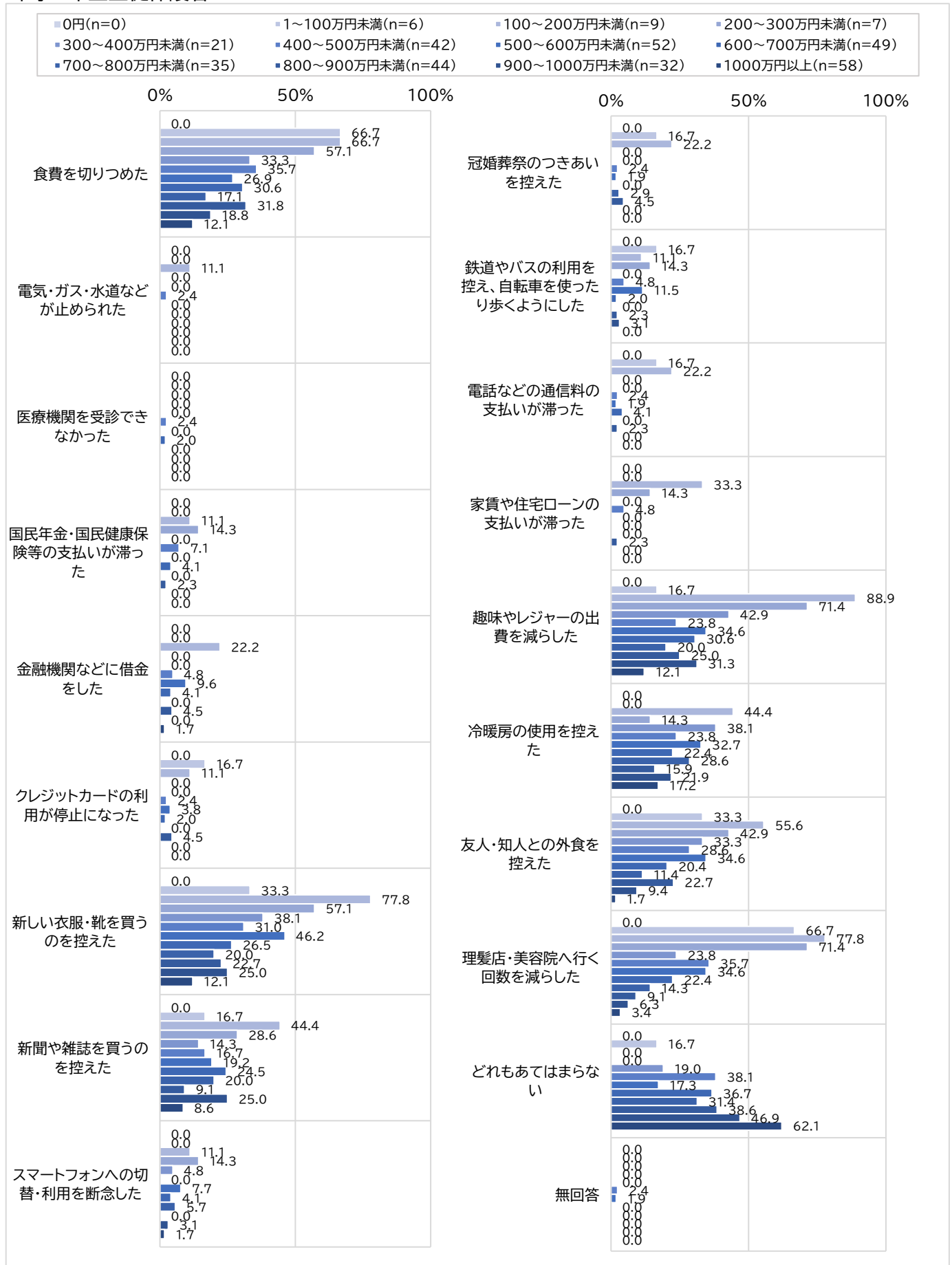
小学5年生児童保護者



問4 あなたの世帯では、過去1年間に、以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

【世帯年収×過去1年間で起こったこと】

中学2年生生徒保護者



問5 あなたの世帯では、過去1年間に、お子さんに関して以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

いずれも「どれもあてはまらない」の割合が最も多く、次いで「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけをふくむ)ができなかった」となっています。

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

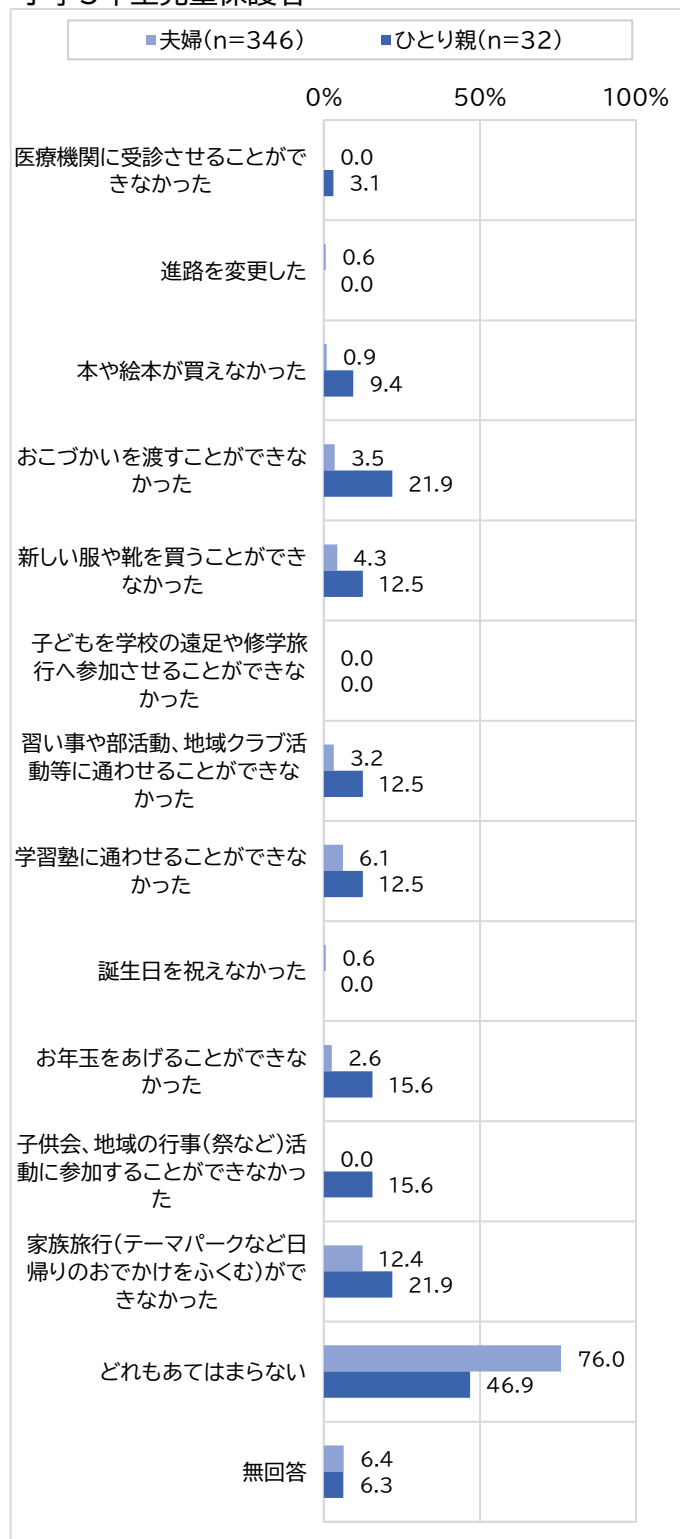


問5 あなたの世帯では、過去1年間に、お子さんに関して以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

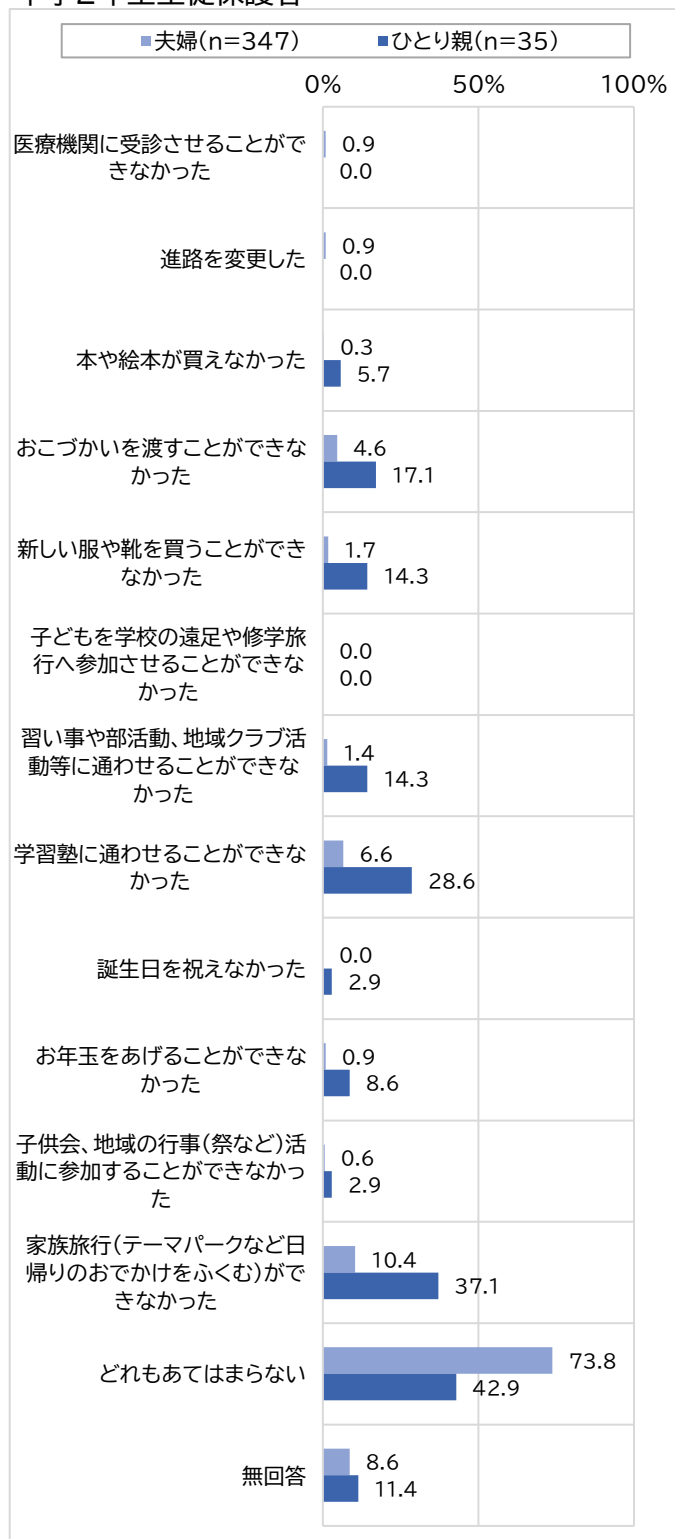
世帯状況別でみると、ひとり親世帯は、夫婦世帯よりも「どれもあてはまらない」の割合が低く、お子さんに関して起こったことの回答の割合が高い傾向にあります。

【世帯状況×過去1年間でお子さんに関して起こったこと】

小学5年生児童保護者



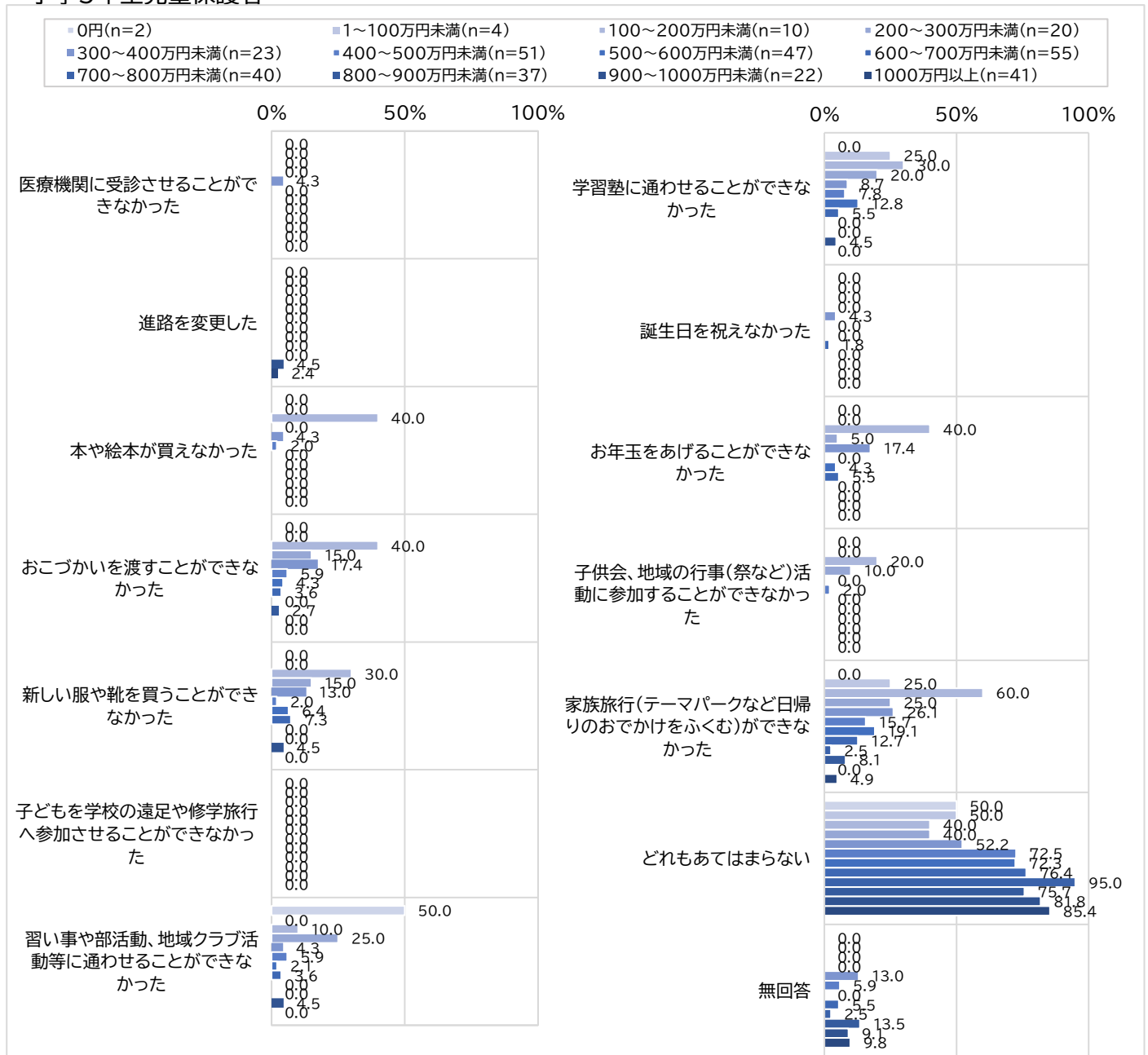
中学2年生生徒保護者



問5 あなたの世帯では、過去1年間に、お子さんに関して以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

世帯収入別でみると、世帯収入が低いほど、「どれもあてはまらない」の割合が低い傾向にあり、お子さんに関して起こったことの回答の割合が高い傾向にあります。

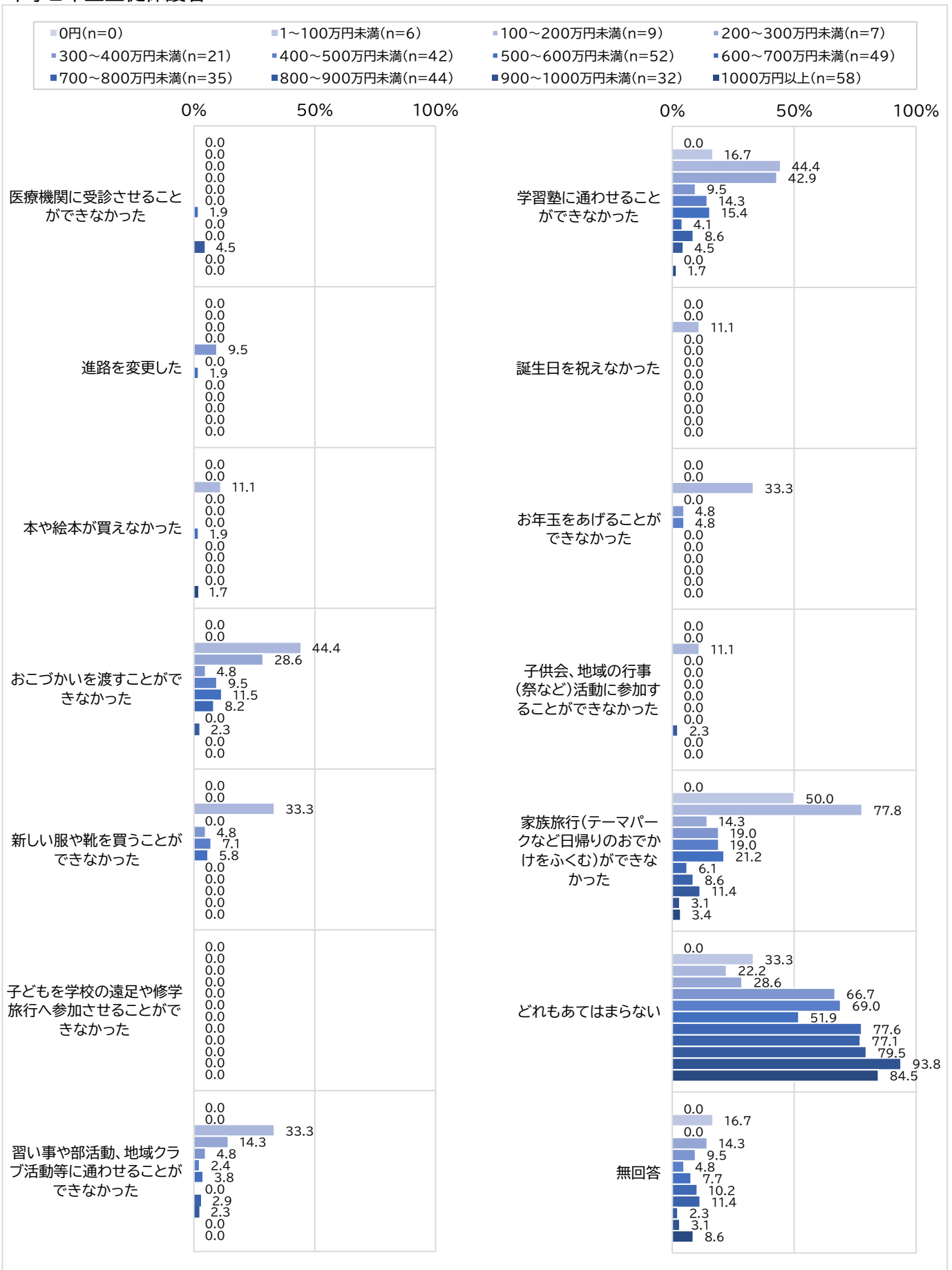
【世帯年収×過去1年間でお子さんに関して起こったこと】
小学5年生児童保護者



問5 あなたの世帯では、過去1年間に、お子さんに関して以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

【世帯年収×過去1年間でお子さんに関して起こったこと】

中学2年生生徒保護者



問6 あなたは、全体として最近の生活にどれくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(〇は1つ)

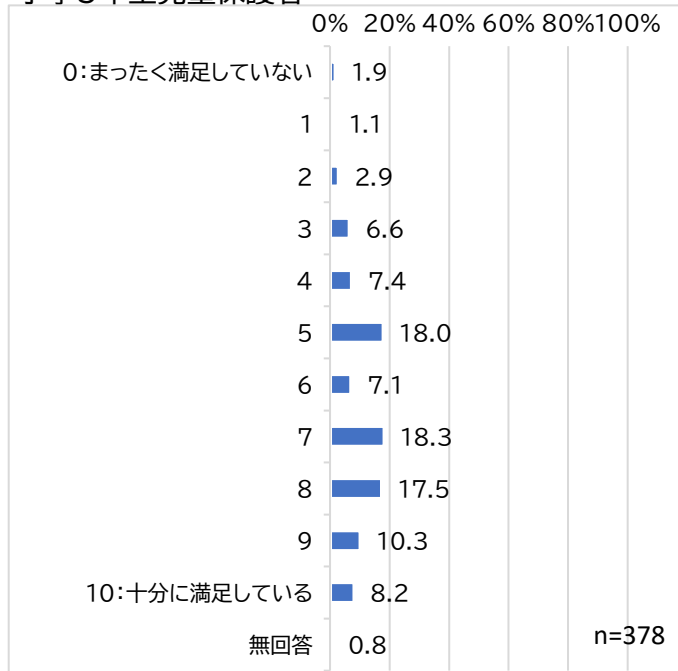
小学5年生児童保護者では、「7」の割合が最も多く、次いで「5」、「8」となっています。

無回答を除いた平均は6.36です。

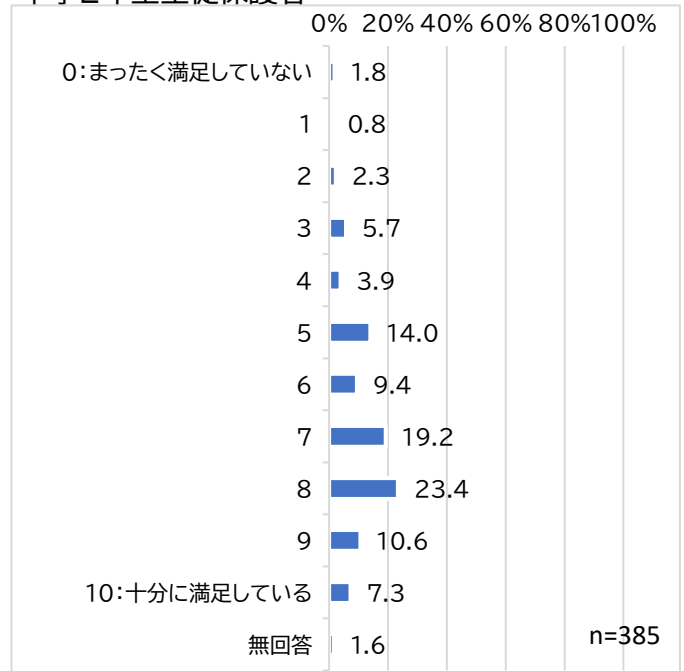
中学2年生生徒保護者では、「8」の割合が最も多く、次いで「7」、「5」となっています。

無回答を除いた平均は6.64です。

小学5年生児童保護者



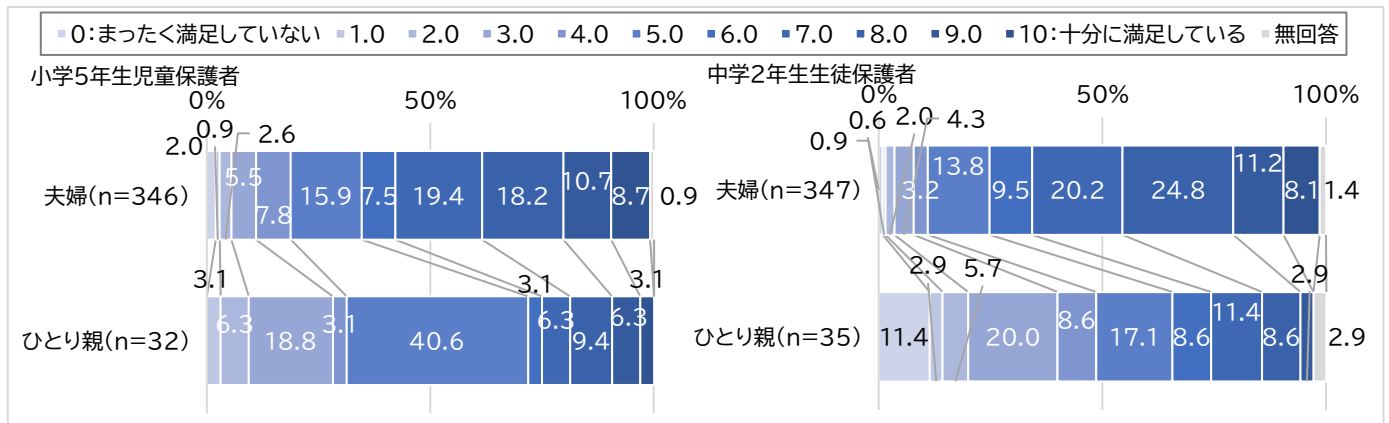
中学2年生生徒保護者



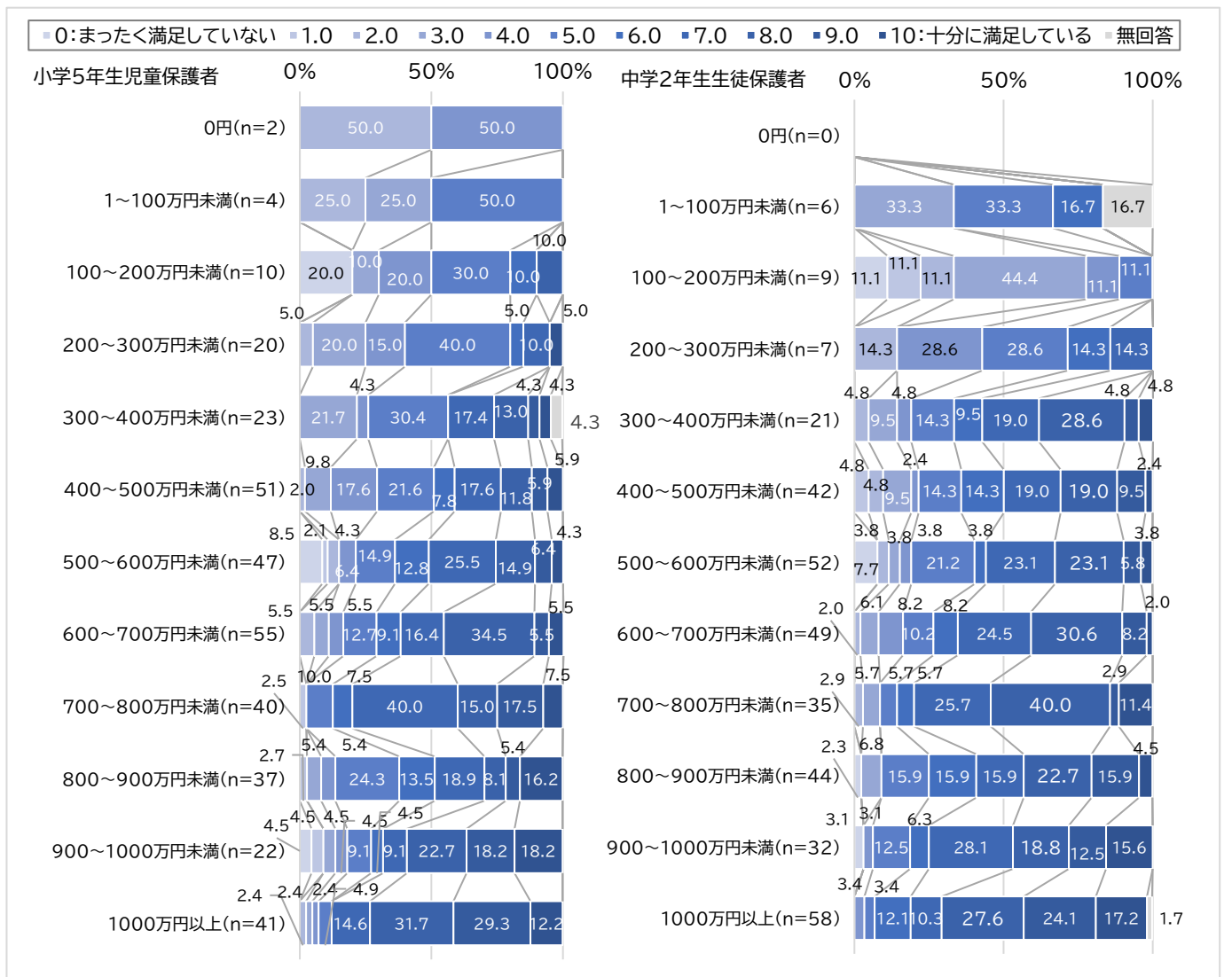
問6 あなたは、全体として最近の生活にどれくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(〇は1つ)

世帯状況別でみると、ひとり親世帯の生活の満足度は、夫婦世帯と比較し、低くなっています。

【世帯状況×生活の満足度】



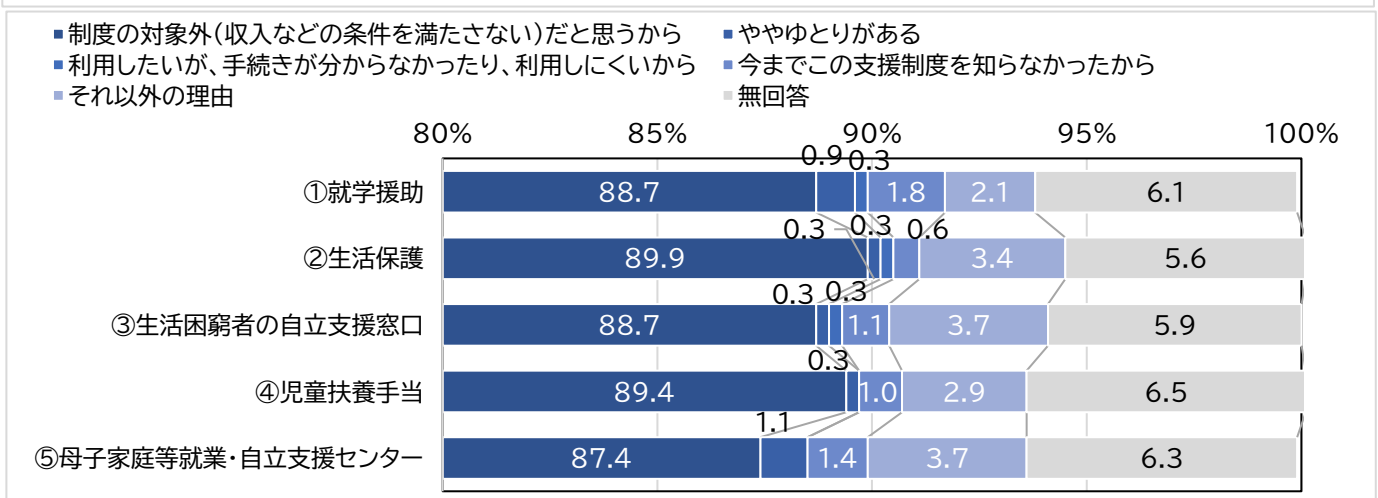
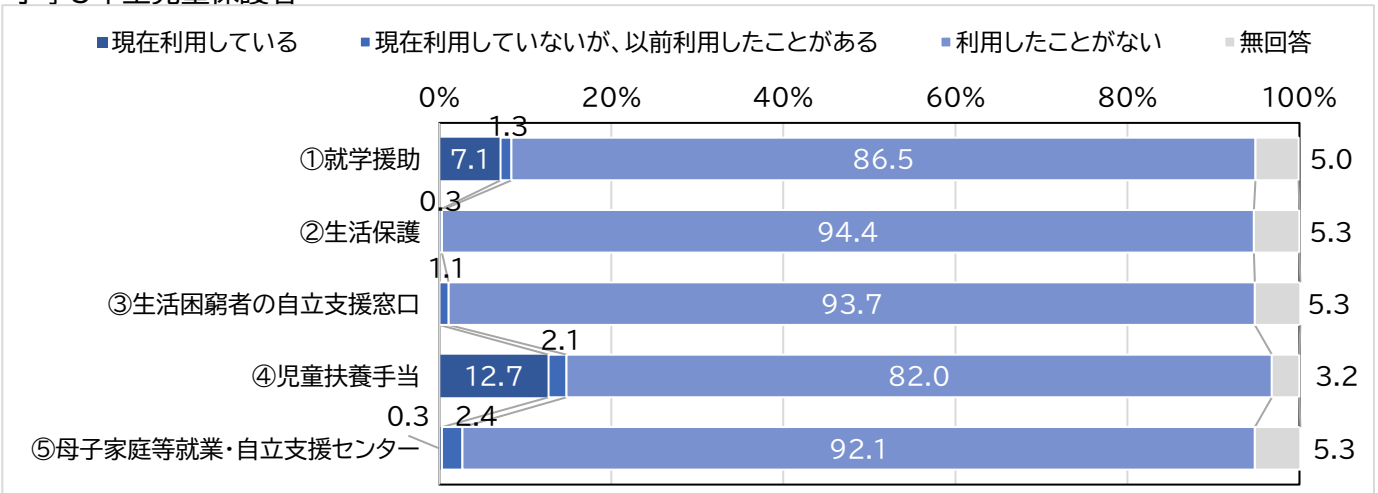
世帯収入別にみると、世帯収入が高くなるほど、生活の満足度は向上していく傾向になっています。



問7 あなたの世帯で、これまでに以下の支援制度を利用したことがありますか。「3. 利用したことがない」と答えた方は、その理由もお答えください。(それぞれ〇は1つ)

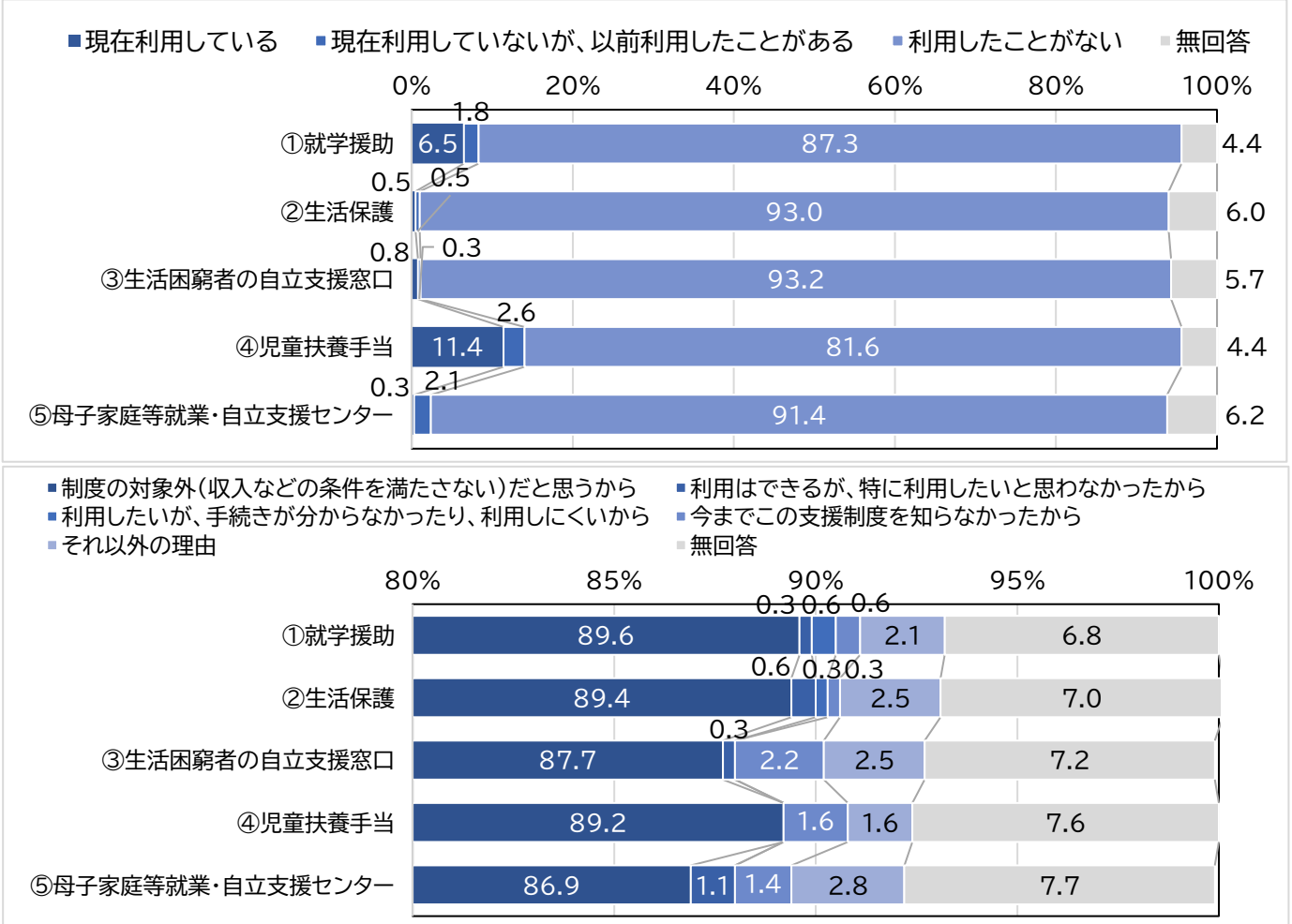
いずれも、現在利用している支援制度として「児童扶養手当」が10%台前半で最も割合が多く、次いで「就学援助」となっています。

小学5年生児童保護者



問7 あなたの世帯で、これまでに以下の支援制度を利用したことがありますか。「3. 利用したことがない」と答えた方は、その理由もお答えください。(それぞれ〇は1つ)

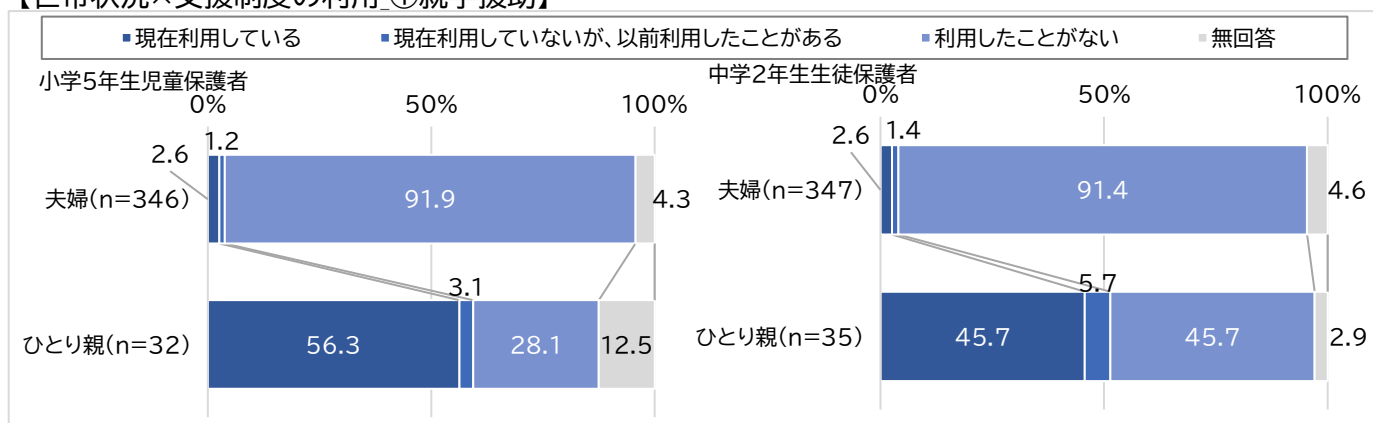
中学2年生生徒保護者



問7 あなたの世帯で、これまでに以下の支援制度を利用したことがありますか。「3. 利用したことがない」と答えた方は、その理由もお答えください。(それぞれ〇は1つ)

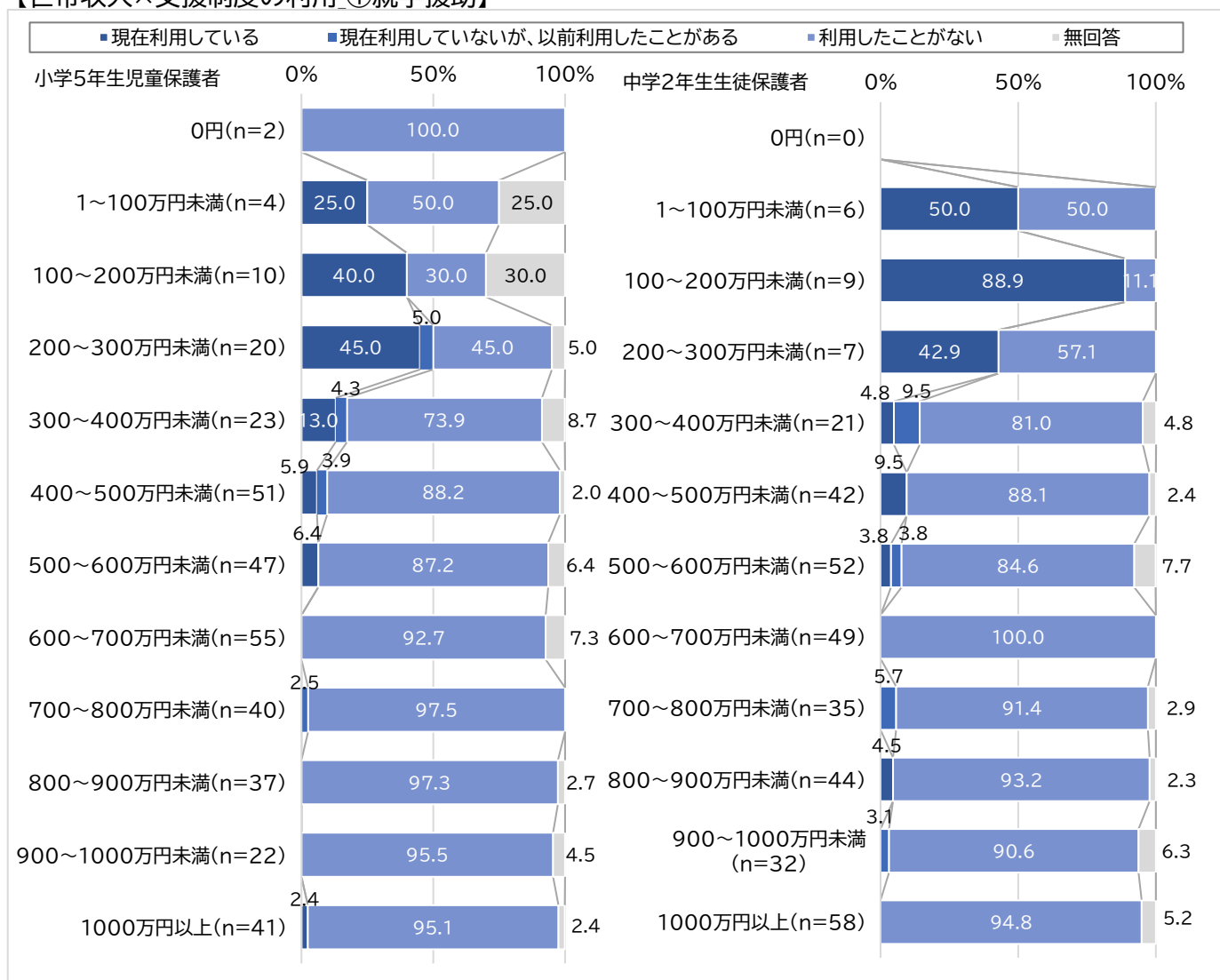
「就学援助」に着目し、世帯状況別でみると、ひとり親世帯は、夫婦世帯よりも、「現在利用している」の割合が高くなっています。

【世帯状況×支援制度の利用 ①就学援助】



世帯収入別でみると、世帯収入が高いほど、「利用したことがない」の割合が高くなる傾向にあります。

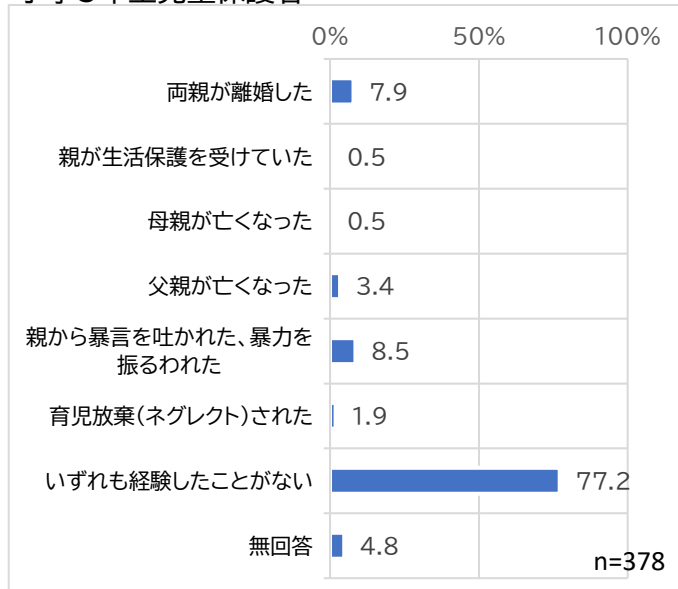
【世帯収入×支援制度の利用 ①就学援助】



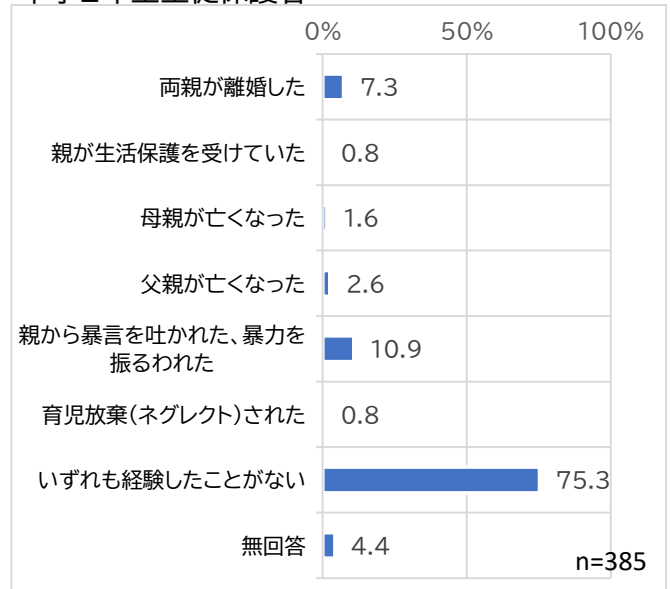
問8 あなたは成人する以前に、以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

いずれも、「いずれも経験したことがない」が最も割合が多くなっています。

小学5年生児童保護者



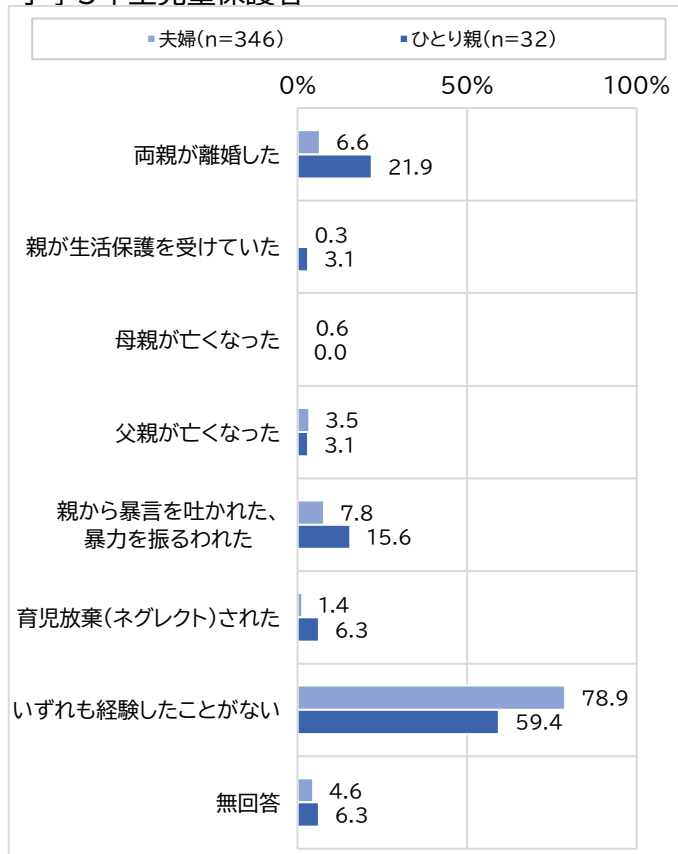
中学2年生生徒保護者



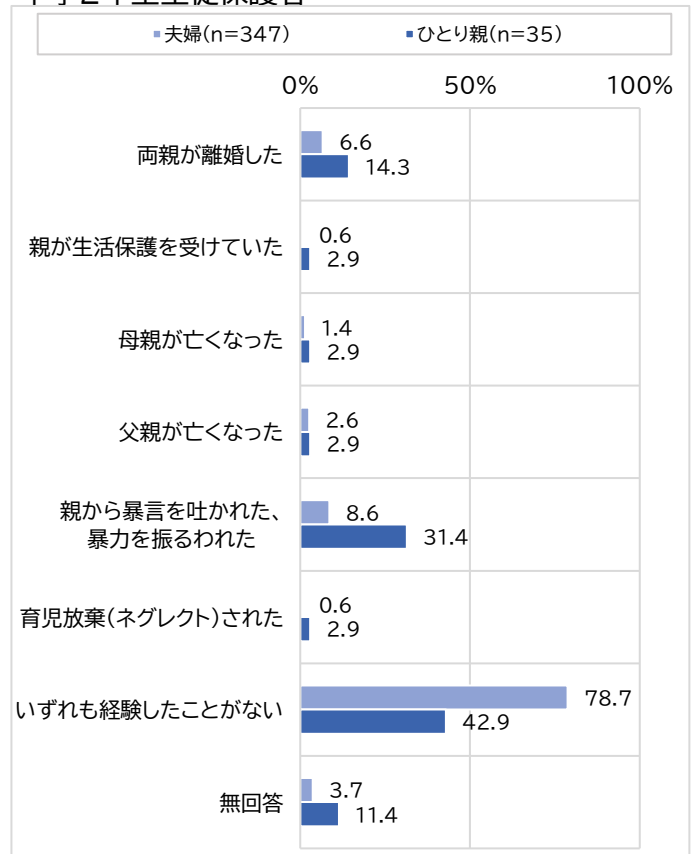
世帯状況別でみると、ひとり親世帯ほど、「いずれも経験したことがない」以外の回答の割合が夫婦世帯よりも、高い傾向にあります。

【世帯状況×成人する以前の経験】

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

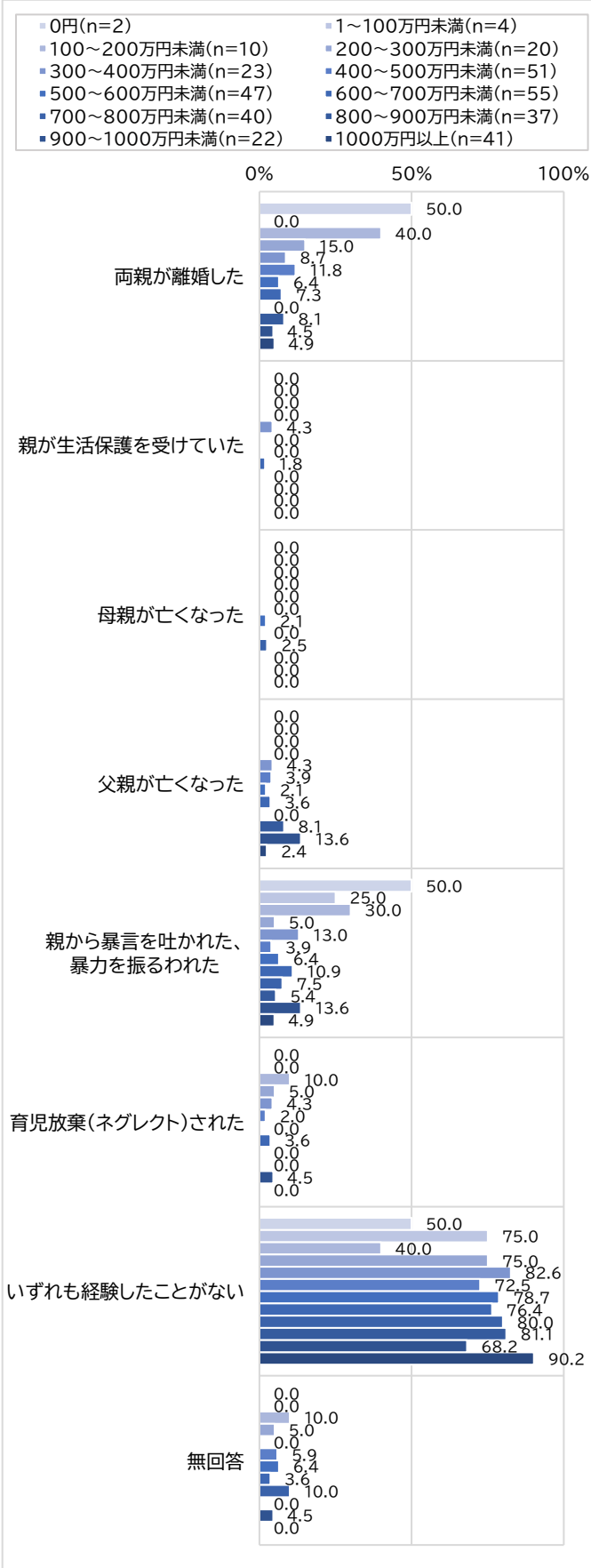


問8 あなたは成人する以前に、以下のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

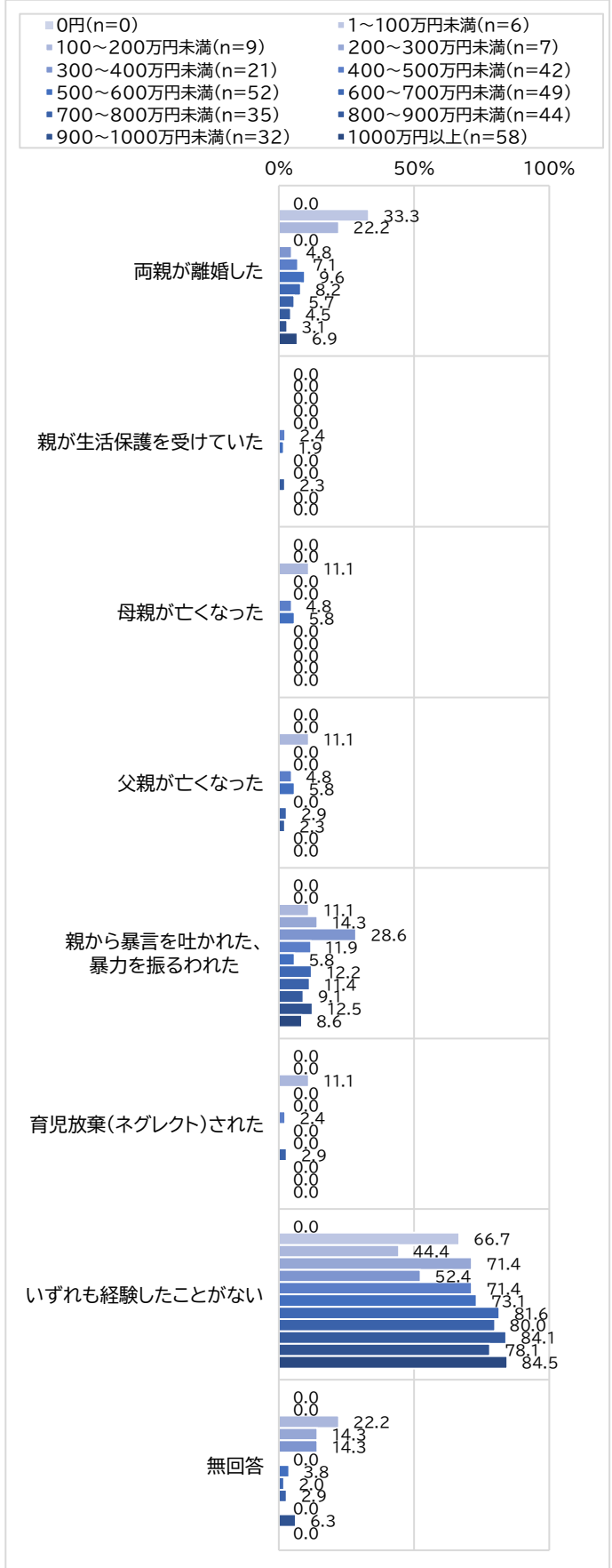
世帯収入別でみると、大きな差はありませんが、世帯収入が高いほど、「いずれも経験したことがない」の回答の割合が、高い傾向にあります。

【世帯年収×成人する以前の経験】

小学5年生児童保護者



中学2年生生徒保護者

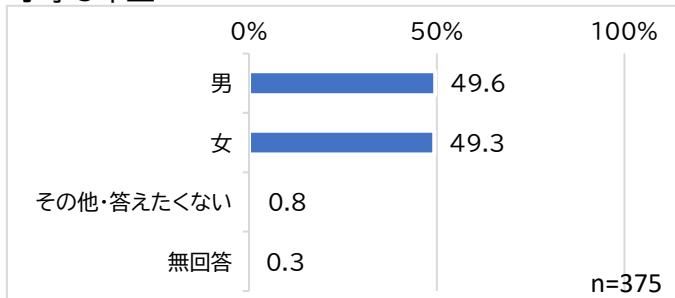


あなたのことについて

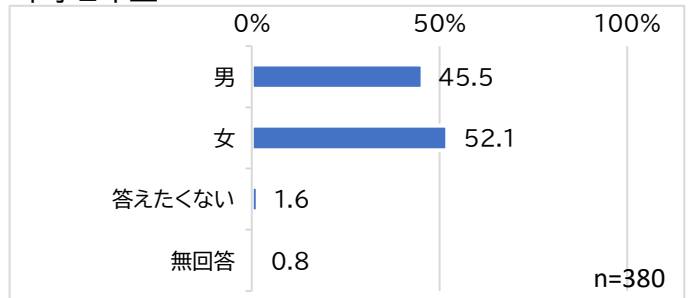
問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

男女の割合は以下のとおりです。

小学5年生



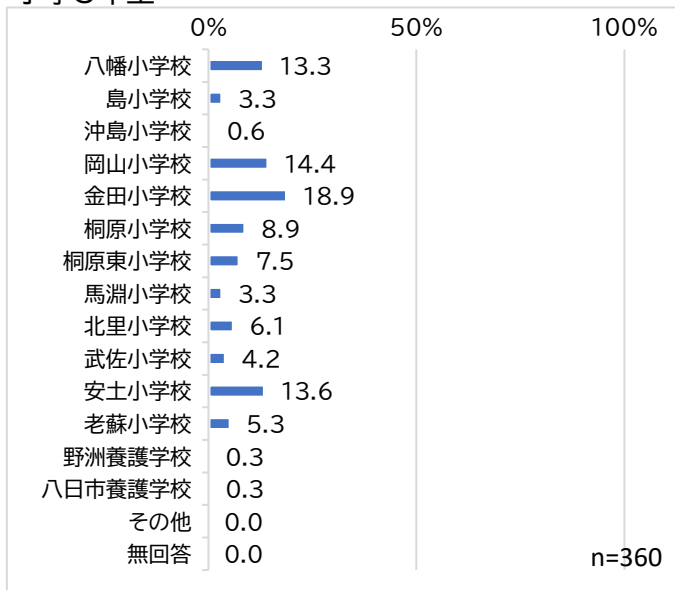
中学2年生



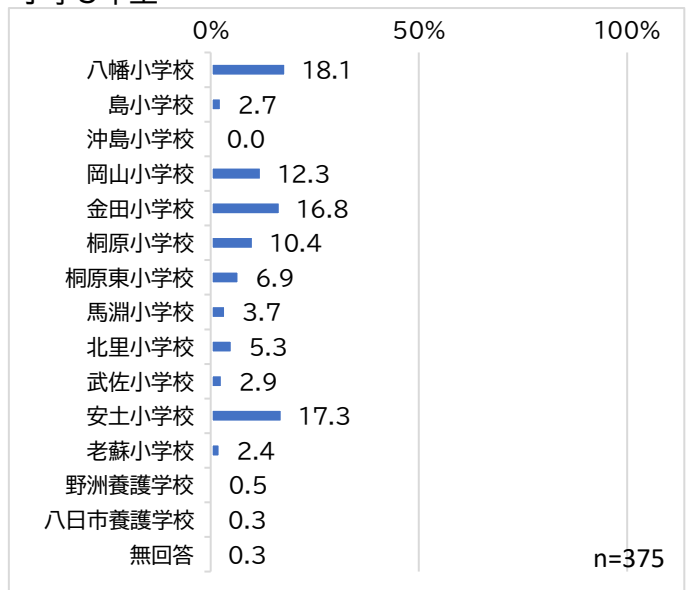
問2 あなたが通っている小学校(中学校)はどこですか。(○は1つ)

通っている小学校(中学校)の内訳は以下のとおりです。

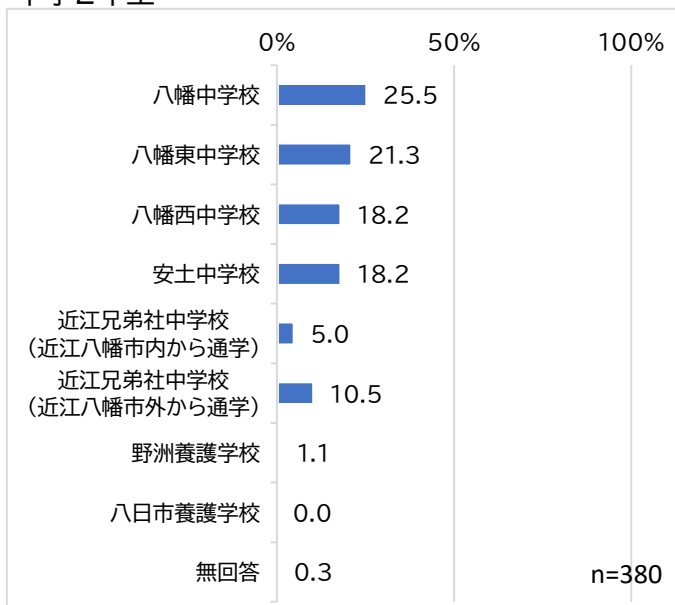
小学3年生



小学5年生



中学2年生

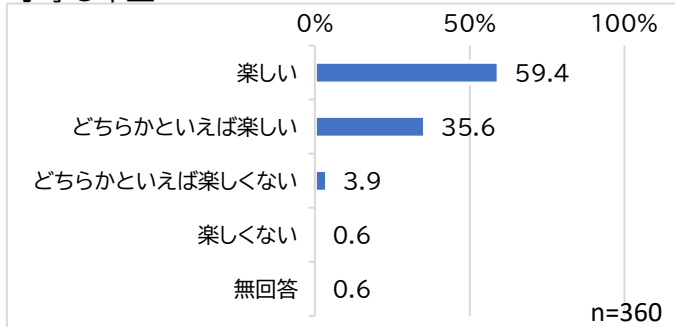


あなたのことについて

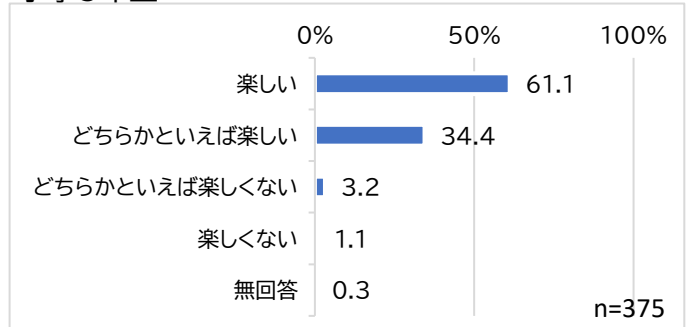
問1 あなたは、毎日が楽しいですか。(○は1つ)

「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と答えた人は、小学3年生で95.0%、小学5年生で95.5%となりました。

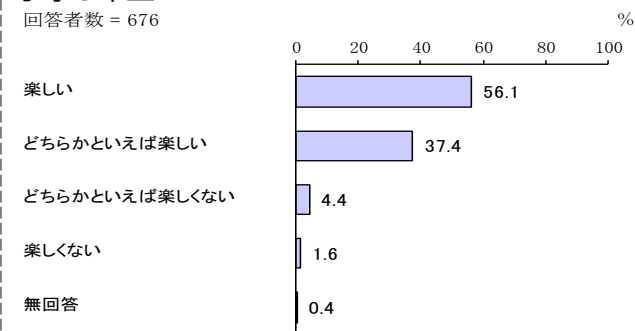
小学3年生



小学5年生

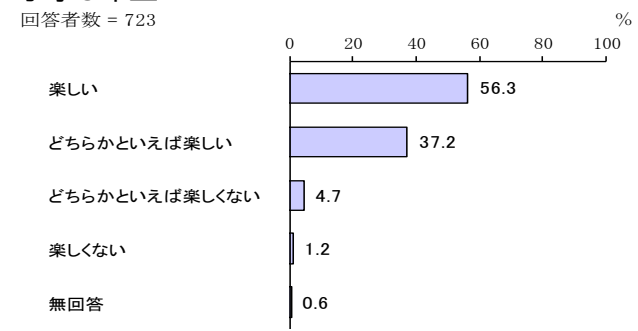
前回調査
小学3年生

回答者数 = 676



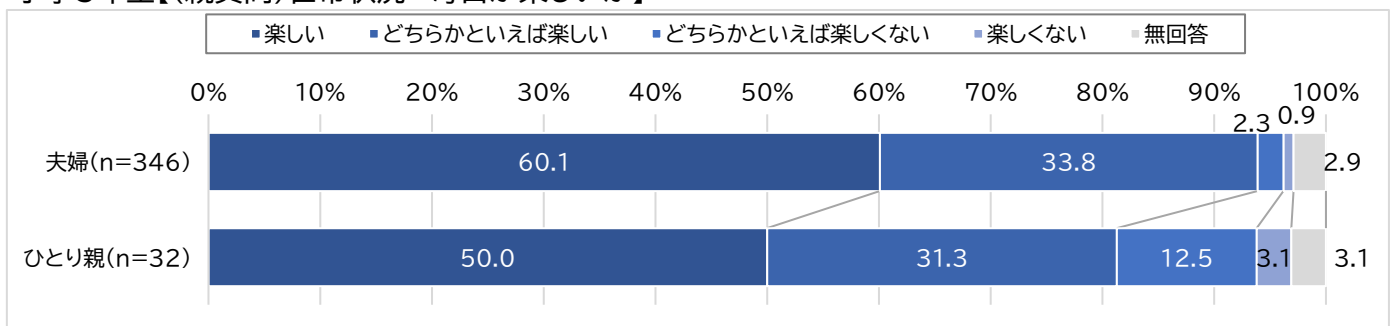
小学5年生

回答者数 = 723



世帯状況別にみると、毎日が「楽しくない」「どちらかといえば楽しくない」と答えた人は、ひとり親世帯が多くなりました。

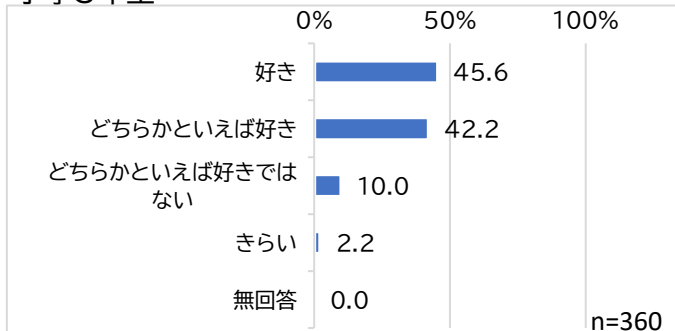
小学5年生【(親質問)世帯状況×毎日が楽しいか】



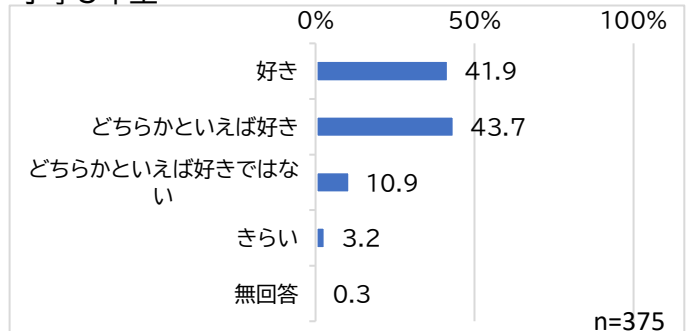
問2 あなたは、自分のことが好きですか。(〇は1つ)

「好き」「どちらかといえば好き」と答えた人は、小学3年生で87.8%、小学5年生で85.6%、中学2年生で80.2%となりました。

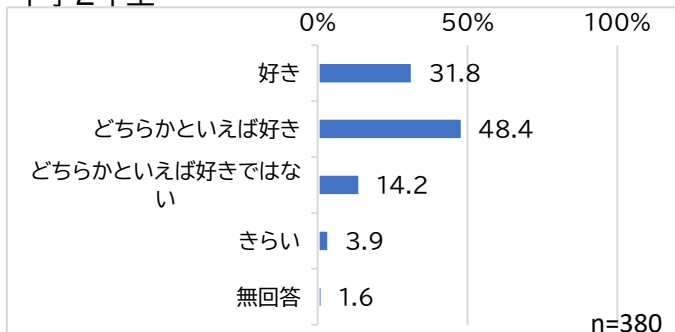
小学3年生



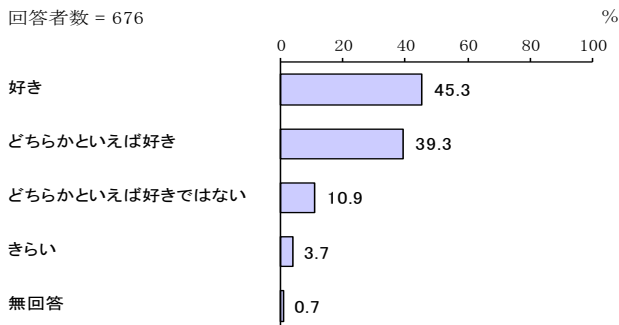
小学5年生



中学2年生

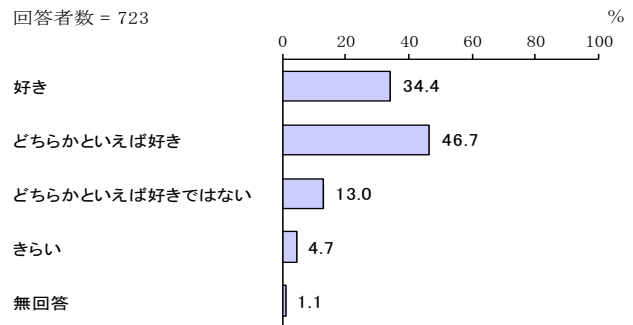
前回調査
小学3年生

回答者数 = 676



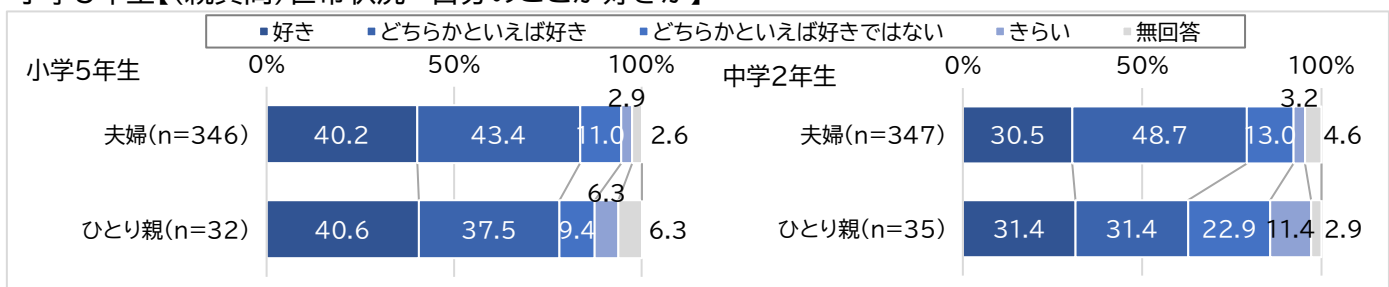
小学5年生

回答者数 = 723



世帯状況別にみると、「きらい」「どちらかといえば好きではない」と答えた人は、小学5年生、中学2年生いずれも、ひとり親世帯が多くなりました。

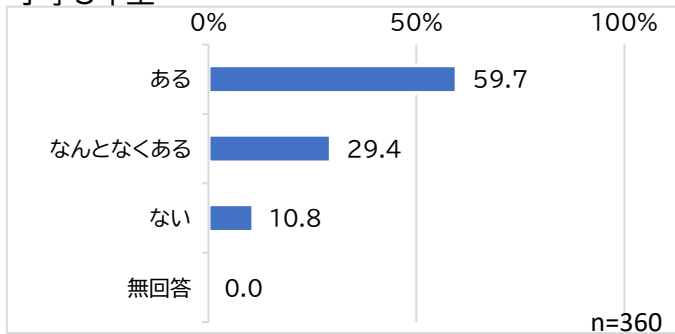
小学5年生【(親質問)世帯状況×自分のことが好きか】



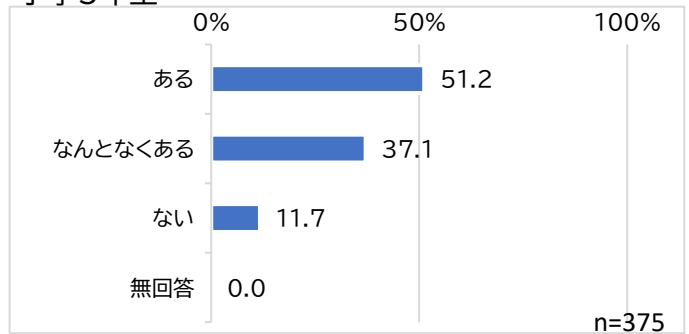
問3 「将来の夢」や「やってみたい仕事」はありますか。(〇は1つ)

「ある」と答えた人は、小学3年生と小学5年生では50%を超えましたが、中学2年生では27.9%と約半数となりました。「ない」と答えた人についても、中学2年生は、小学3年生と小学5年生の約2倍になっています。

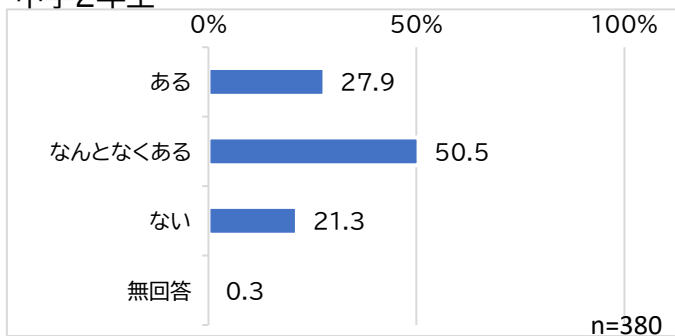
小学3年生



小学5年生

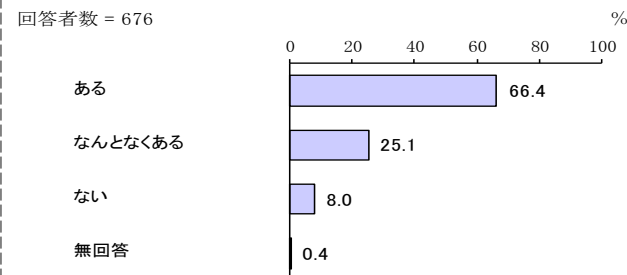


中学2年生



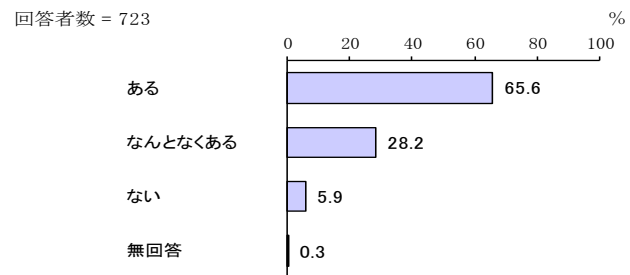
前回調査
小学3年生

回答者数 = 676



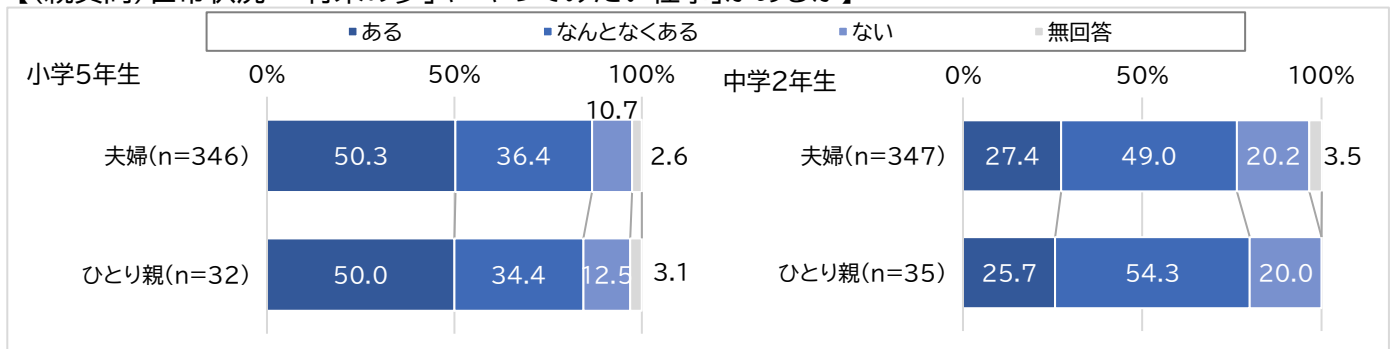
小学5年生

回答者数 = 723



世帯状況別にみると、「ない」と答えた人は、小学5年生、中学2年生いずれも、ひとり親世帯の人がわずかに多い結果となりました。

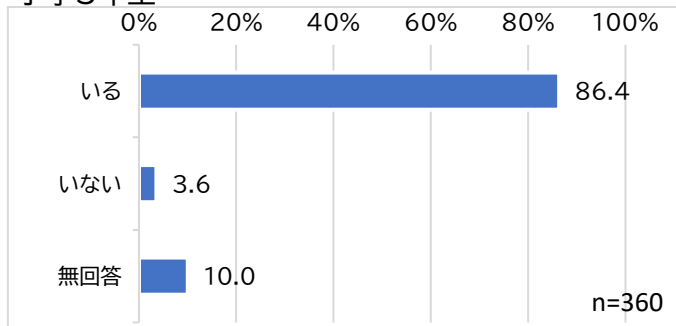
【(親質問)世帯状況×「将来の夢」や「やってみたい仕事」があるか】



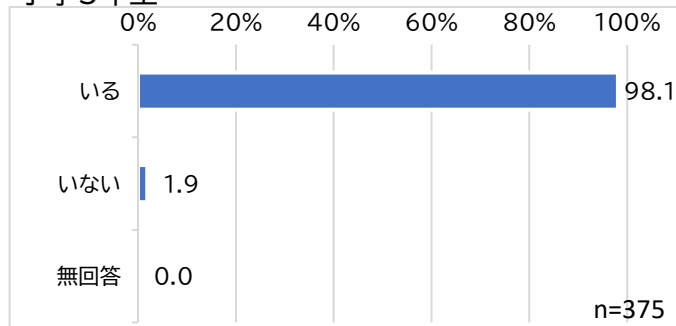
問4 困ったことや悩みがあるとき、相談できる人や話ができる人がいますか。(○は1つ)

いずれも「いる」の割合が最も多く、特に小学5年生では98.1%と高い値となっています。

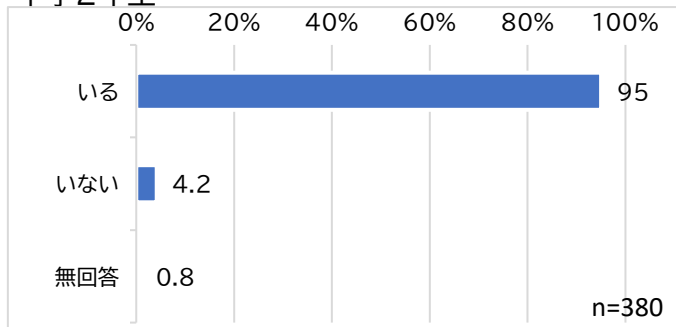
小学3年生



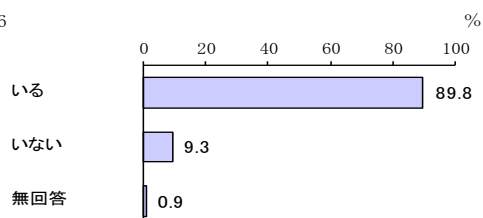
小学5年生



中学2年生

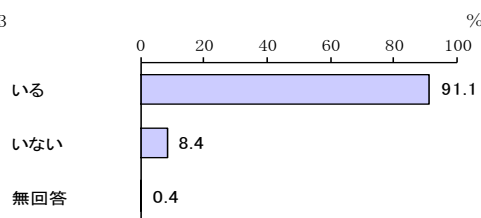
前回調査
小学3年生

回答者数 = 676



小学5年生

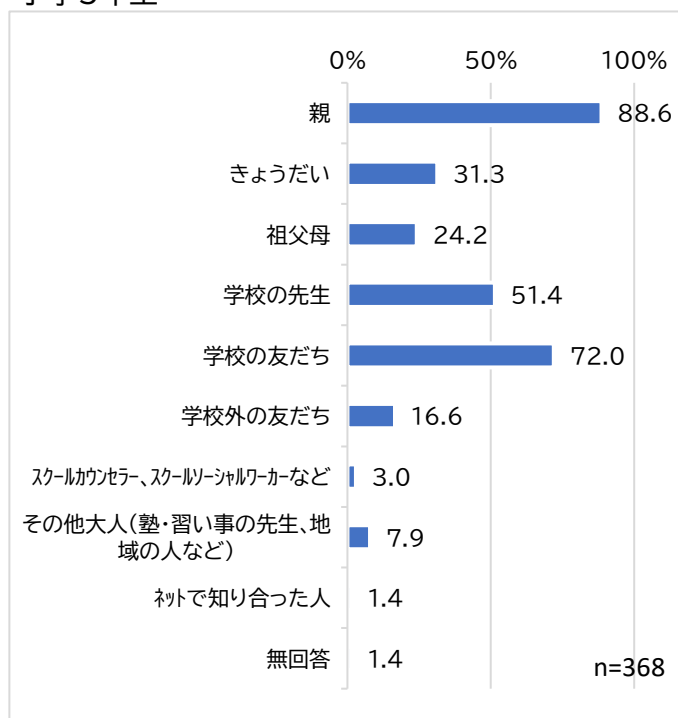
回答者数 = 723



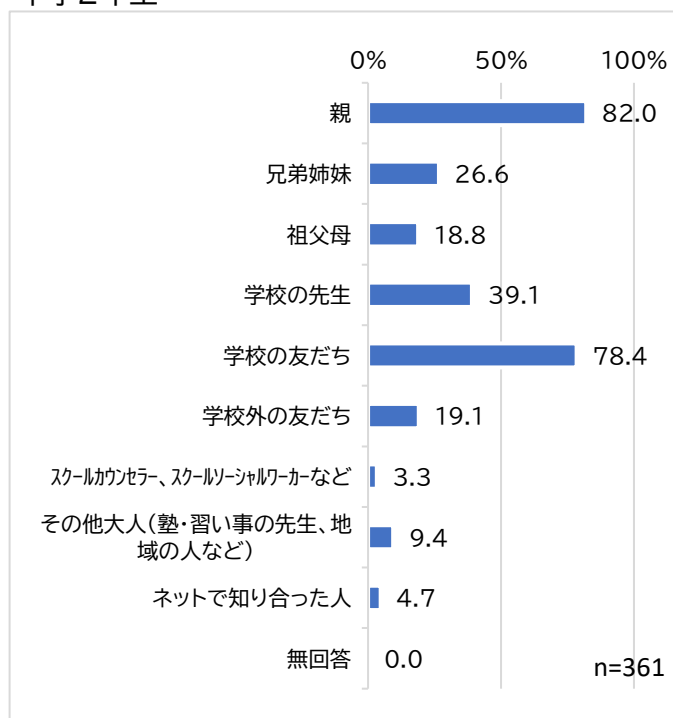
問4で「いる」を選んだ方にお聞きします。
問4-1 それは、だれですか。(〇はいくつでも)

いずれも「親」が最も多く、次いで「学校の友だち」となっています。

小学5年生



中学2年生

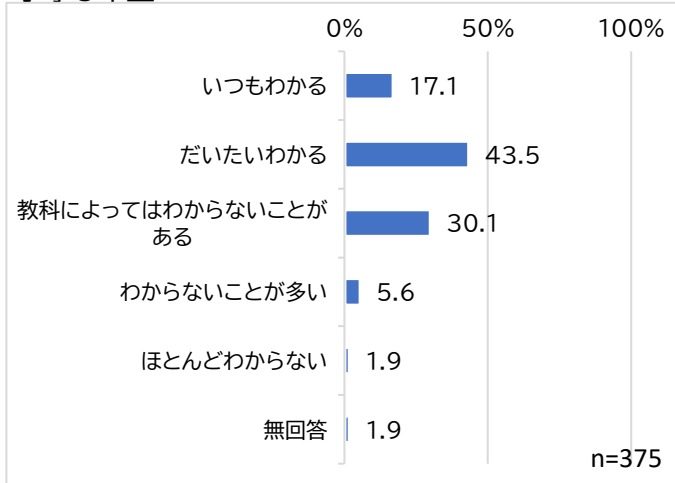


あなたのふだんの生活について

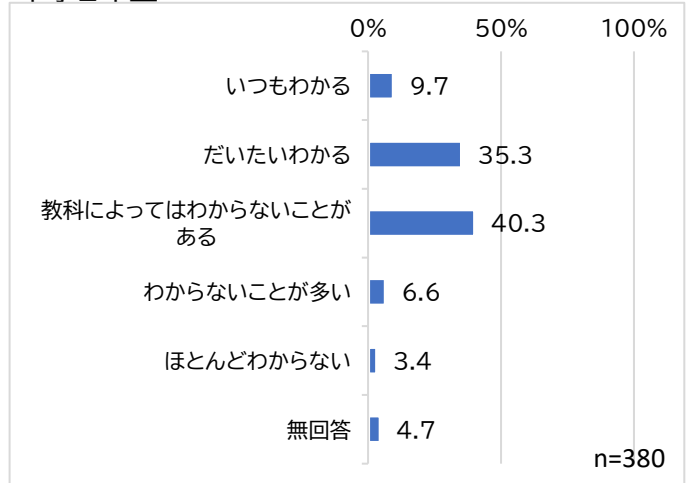
問5 学校の授業で、わからないところはありますか。(○は1つ)

小学5年生では「だいたいわかる」、中学2年生では「教科によってはわからないことがある」の割合が最も高くなりました。

小学5年生

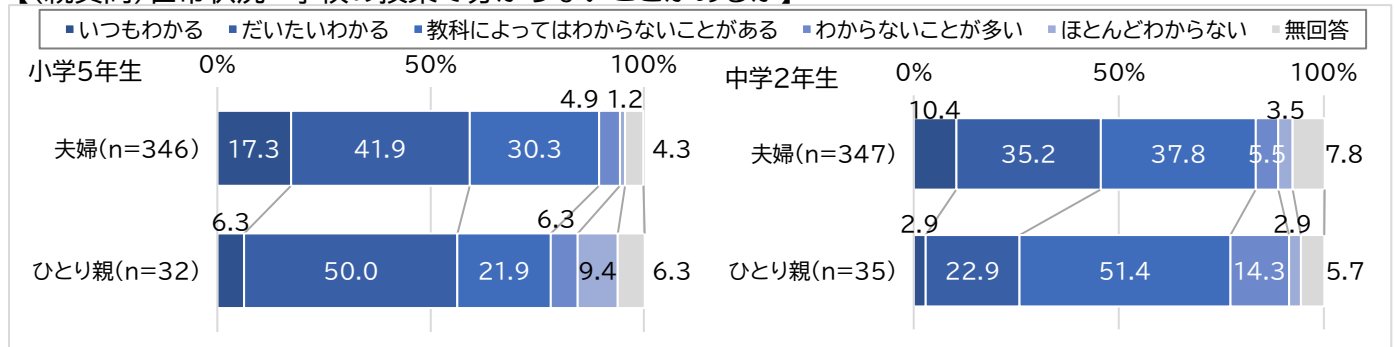


中学2年生



世帯状況別にみると、「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人は、いずれも、ひとり親世帯が多くなりました。

【(親質問)世帯状況×学校の授業で分からないことがあるか】

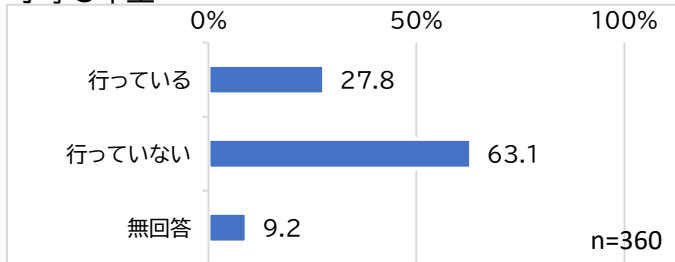


放課後児童クラブ(学童保育)について

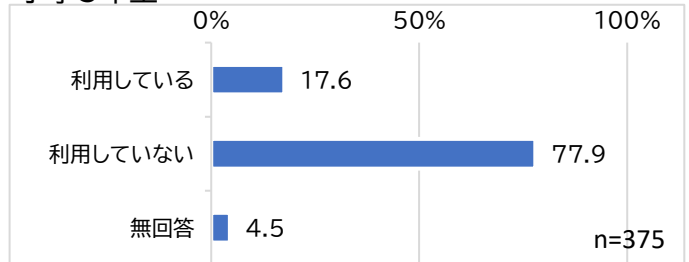
問6 「放課後児童クラブ(学童保育)」を利用していますか。(○は1つ)

「行っている(利用している)」と答えた人は、小学3年生で27.8%、小学5年生で17.6%でした。

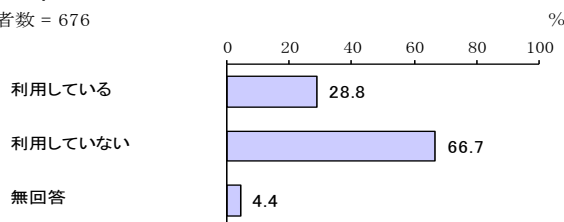
小学3年生



小学5年生

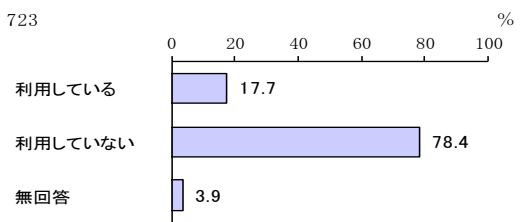
前回調査
小学3年生

回答者数 = 676



小学5年生

回答者数 = 723

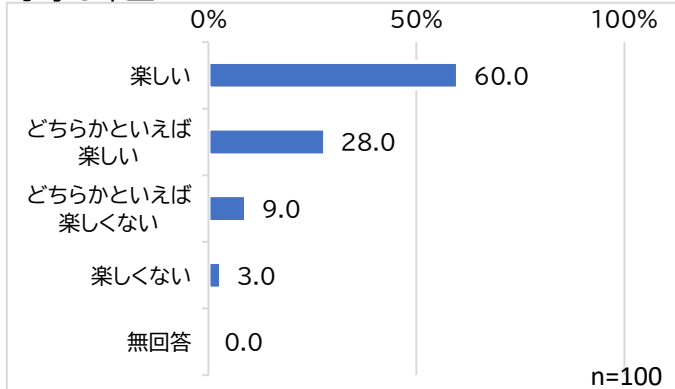


問6で「行っている(利用している)」を選んだ方にお聞きします。

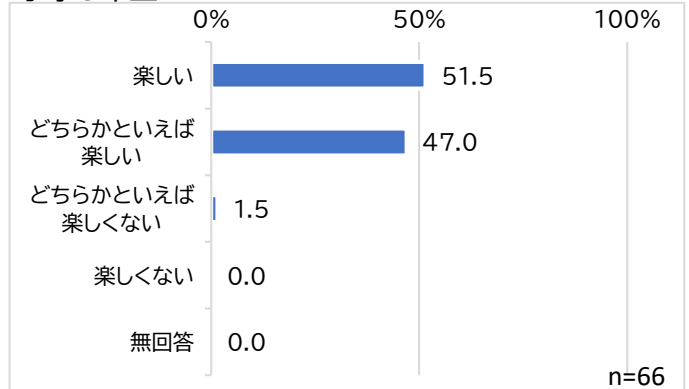
問6-1 「放課後児童クラブ(学童保育)」は楽しいですか。(○は1つ)

「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と答えた人は、小学3年生で88.0%、小学5年生で98.5%でした。

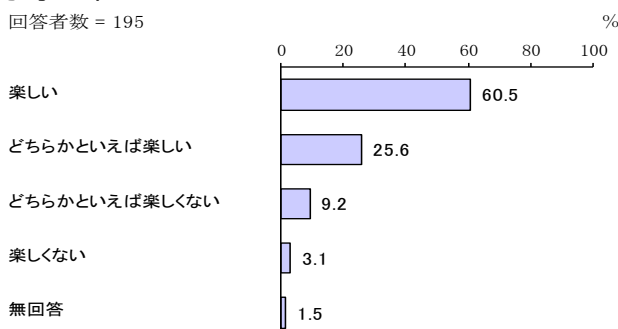
小学3年生



小学5年生

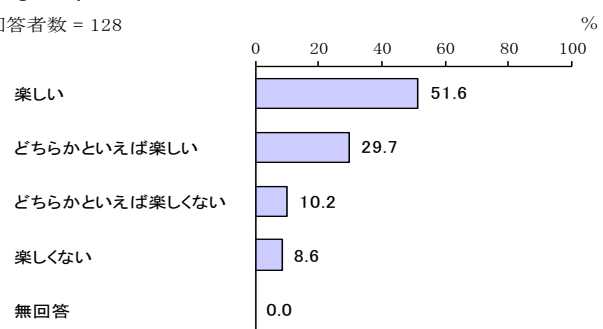
前回調査
小学3年生

回答者数 = 195



小学5年生

回答者数 = 128

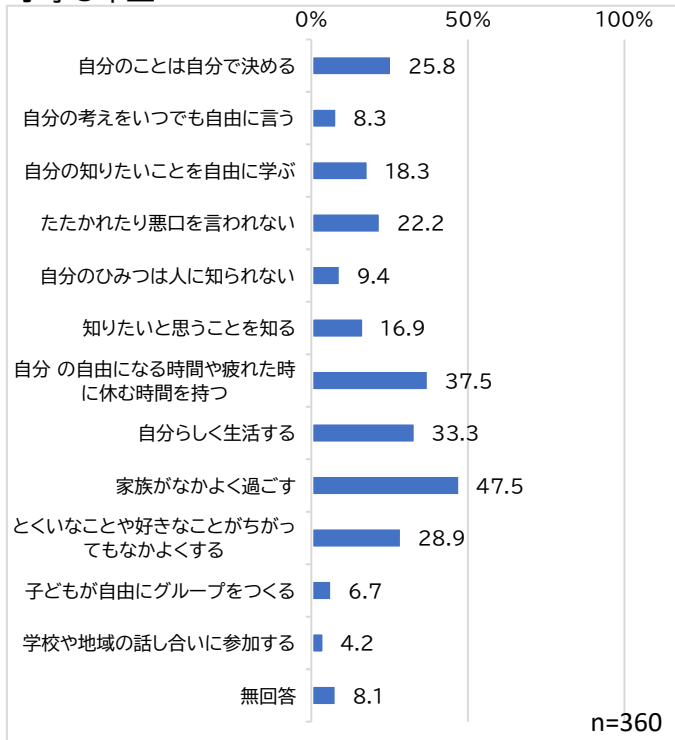


あなたが幸せに生活するために大切なことについて

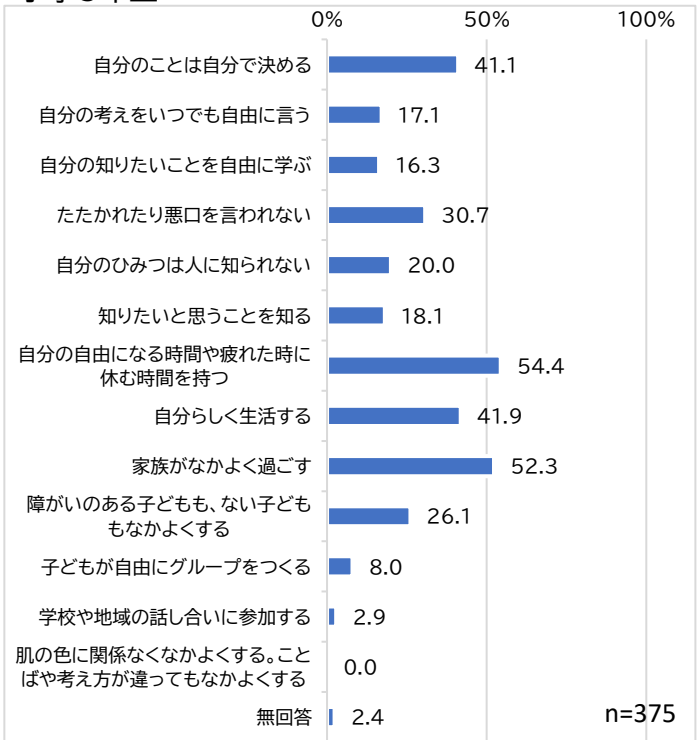
問7 あなたが幸せに生活するために、特に大切だと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

小学3年生では「家族がなかよく過ごす」47.5%、小学5年生では「自分の自由になる時間や疲れた時に休む時間を持つ」54.4%、中学2年生では「疲れた心や体を休ませる時間や自分の自由になる時間を持つこと」63.2%が、最も多い回答でした。

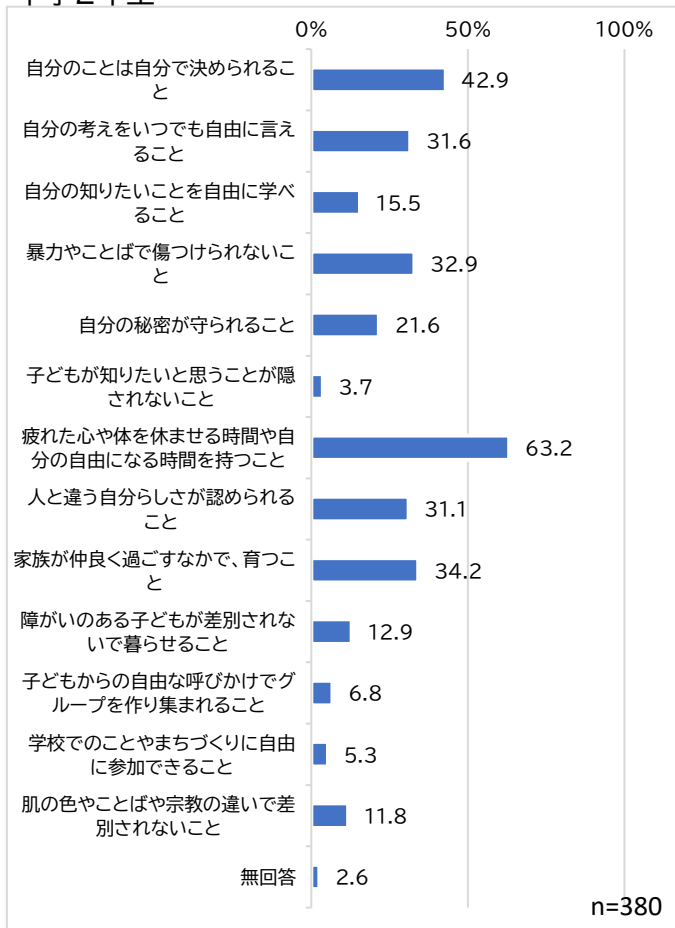
小学3年生



小学5年生



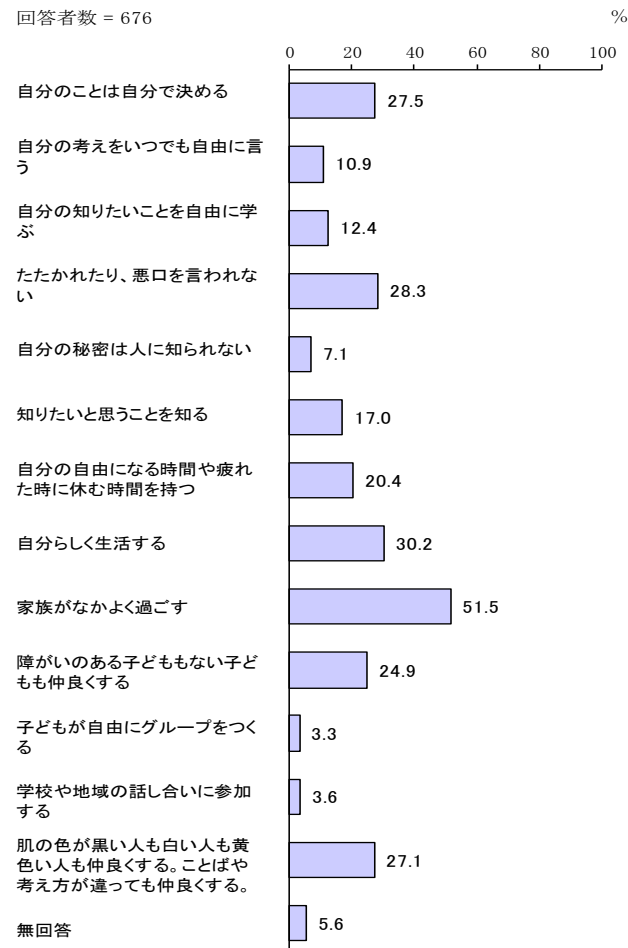
中学2年生



問7 あなたが幸せに生活するために、特に大切だと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

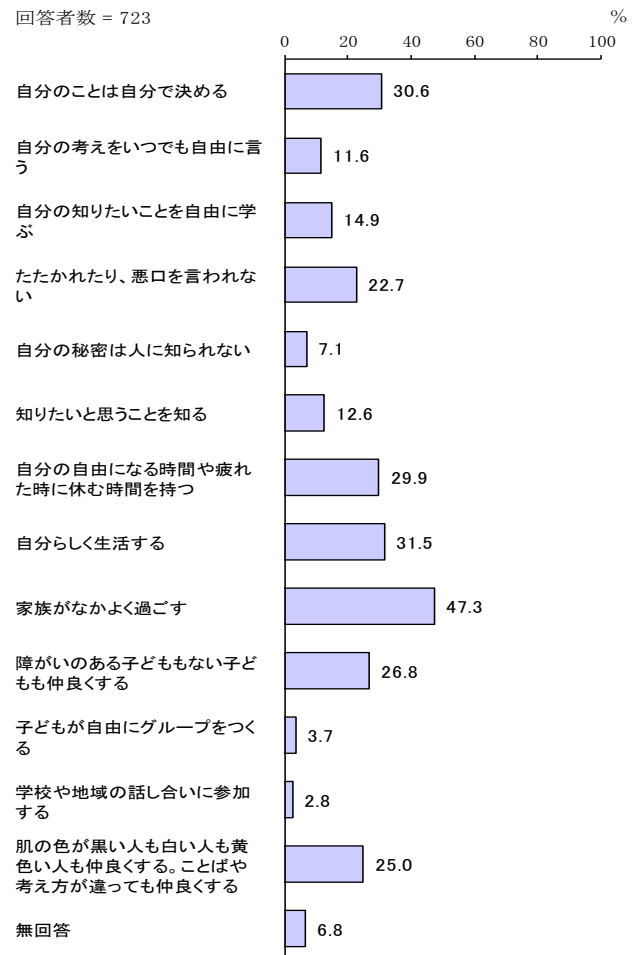
前回調査
小学3年生

回答者数 = 676



小学5年生

回答者数 = 723



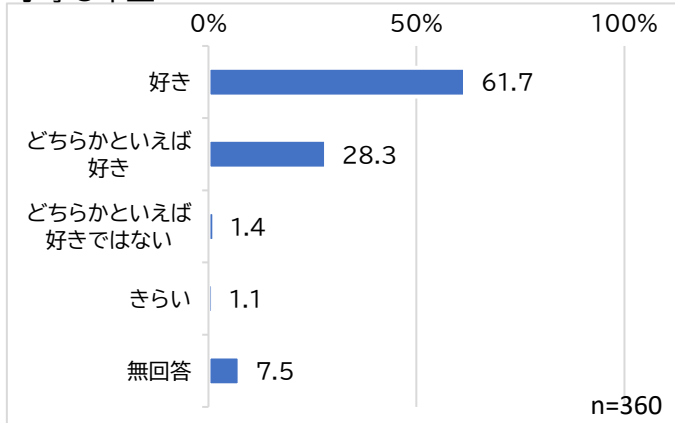
※前回調査では「子どもが、幸せに生活するために、あなたが特に大切だと思うものはどれですか」と質問しています。

近江八幡市について

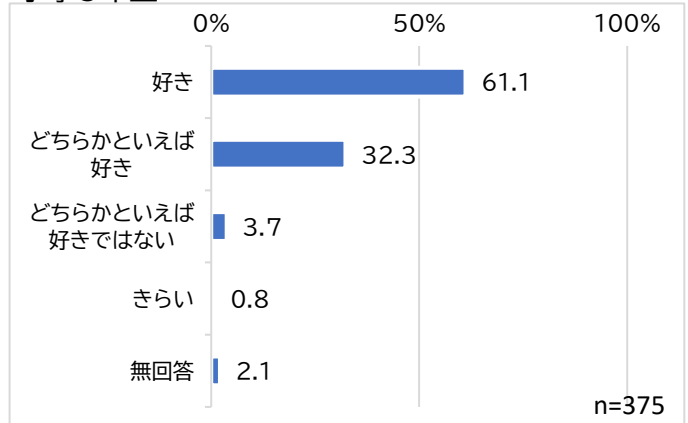
問8 あなたは、近江八幡市が好きですか。(○は1つ)

小学3年生と小学5年生では、「好き」と答えた人が最も多く、60%を超えました。中学2年生では「どちらかといえば好き」が51.8%と最も多い回答となっています。

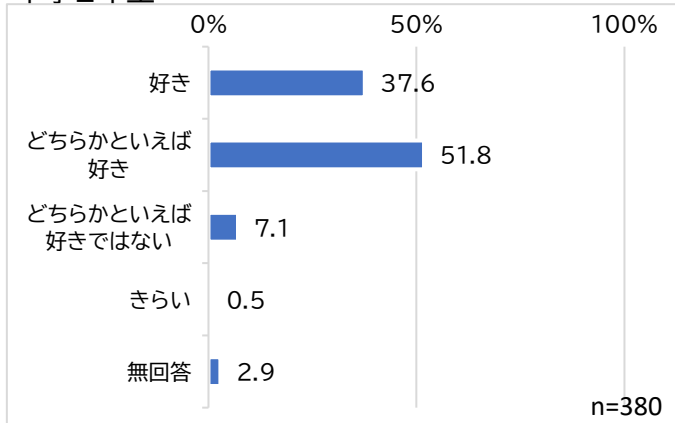
小学3年生



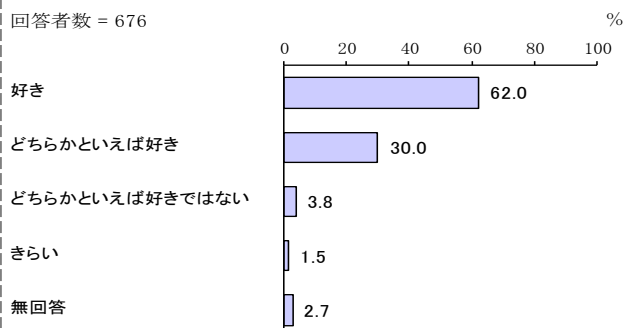
小学5年生



中学2年生

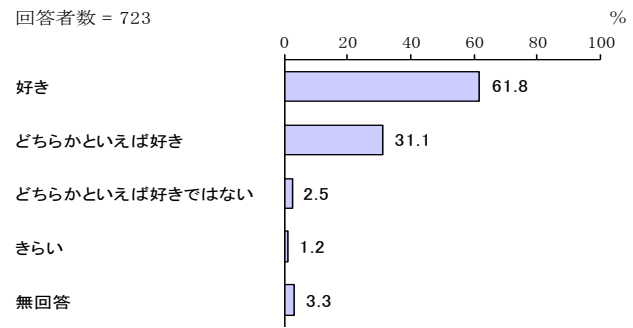
前回調査
小学3年生

回答者数 = 676



小学5年生

回答者数 = 723

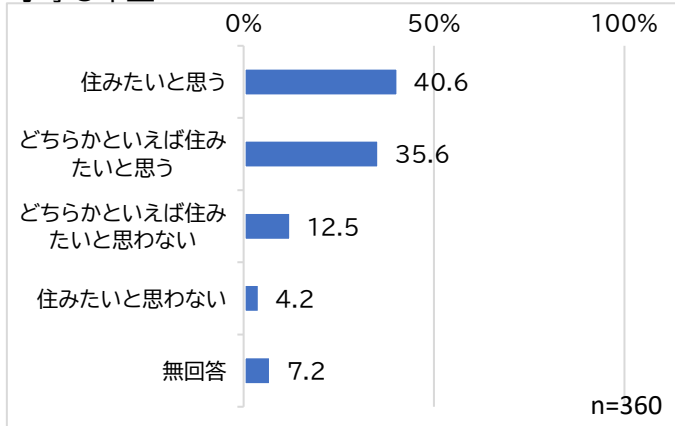


問9 あなたは、おとなになっても近江八幡市に住みたいと思いますか。(○は1つ)

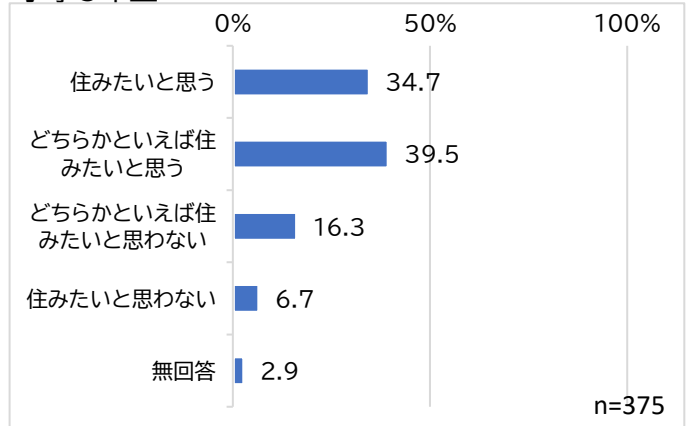
小学3年生、小学5年生ともに、「住みたいと思う」「どちらかといえば住みたいと思う」と答えた人は約75%となりました。

中学2年生は、「住みたいと思う」「どちらかといえば住みたいと思う」と答えた人は57.9%となりました。

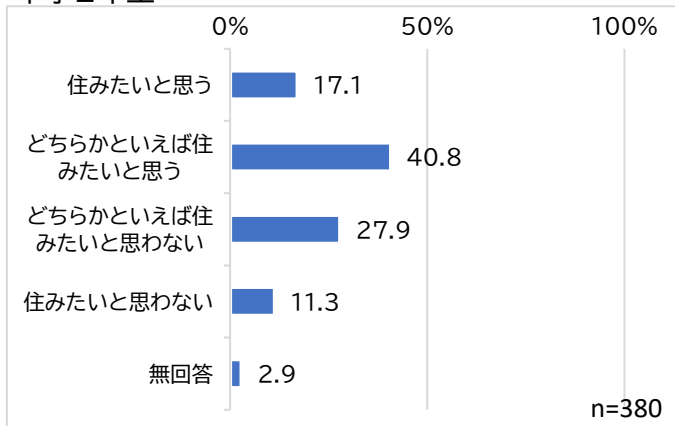
小学3年生



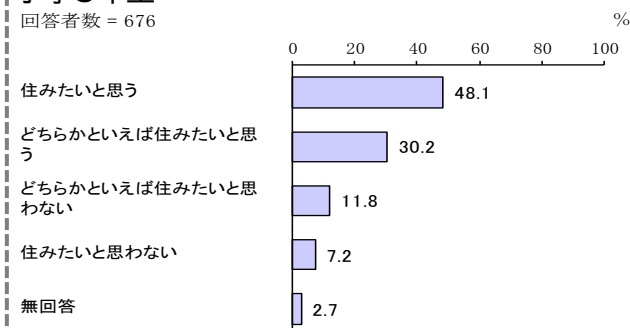
小学5年生



中学2年生

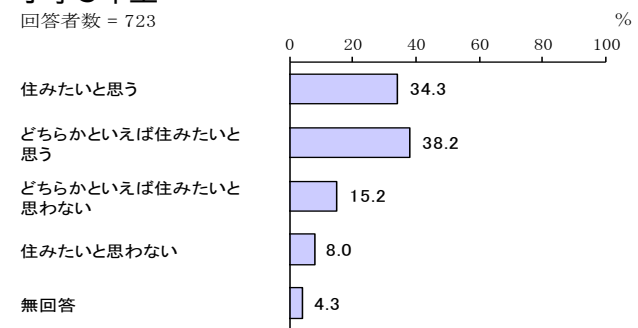
前回調査
小学3年生

回答者数 = 676



小学5年生

回答者数 = 723

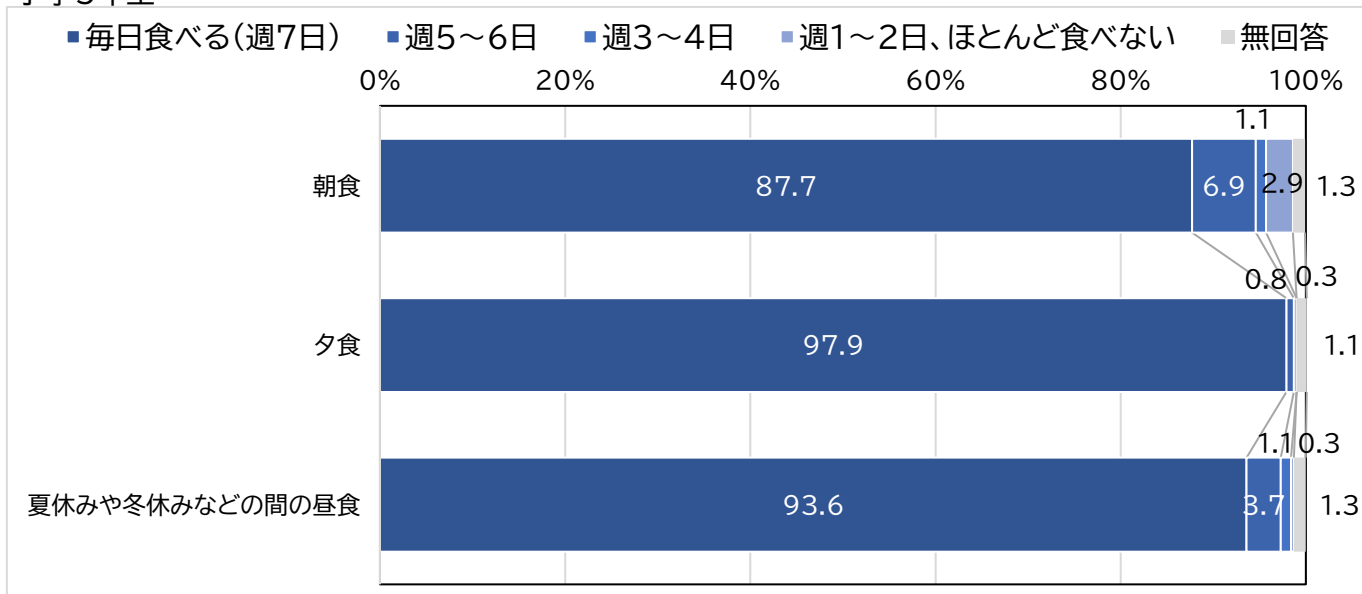


あなたのふだんの生活について

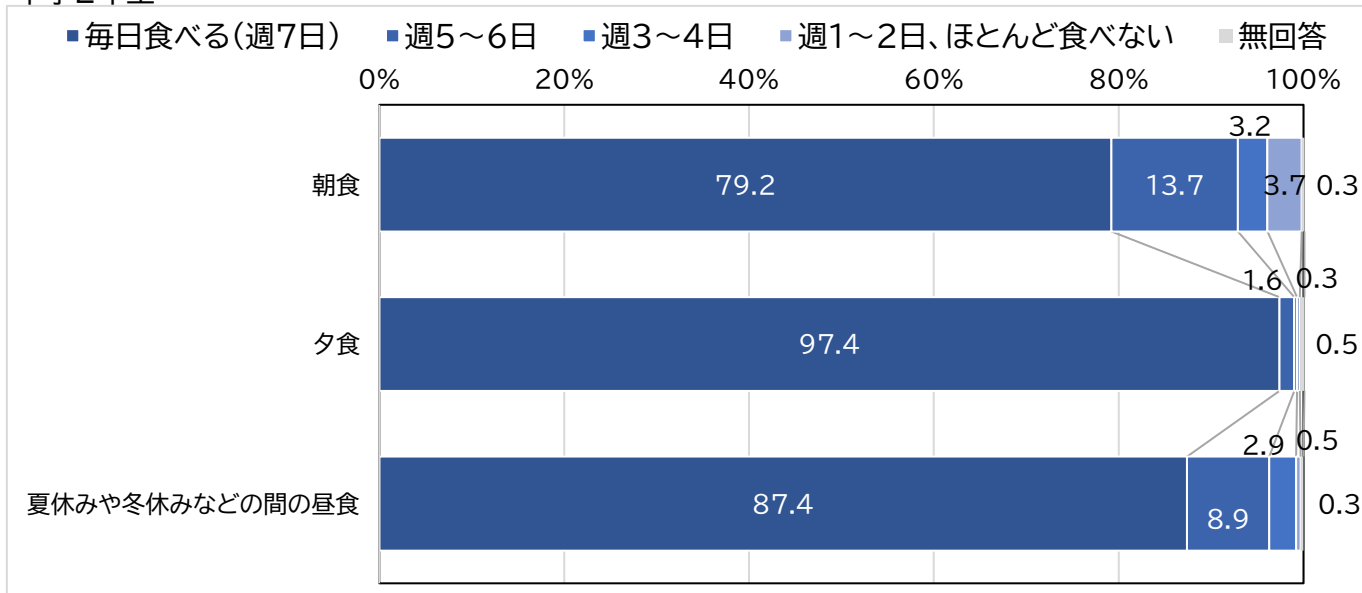
問1 あなたは週にどのくらい、食事していますか。(それぞれ○は1つ)

小学5年生で「朝食」は、「毎日食べる(週7日)」の割合が87.7%、中学2年生で79.2%となっており、いずれも、「夕食」、「夏休みや冬休みなどの間の昼食」と比較し低くなっています。

小学5年生



中学2年生

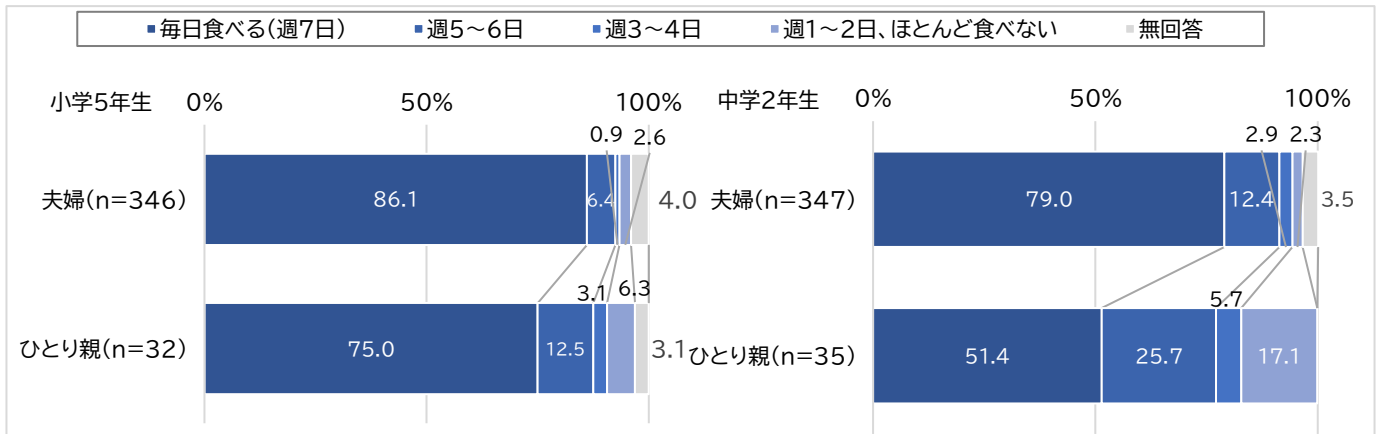


問1 あなたは週にどのくらい、食事していますか。(それぞれ○は1つ)

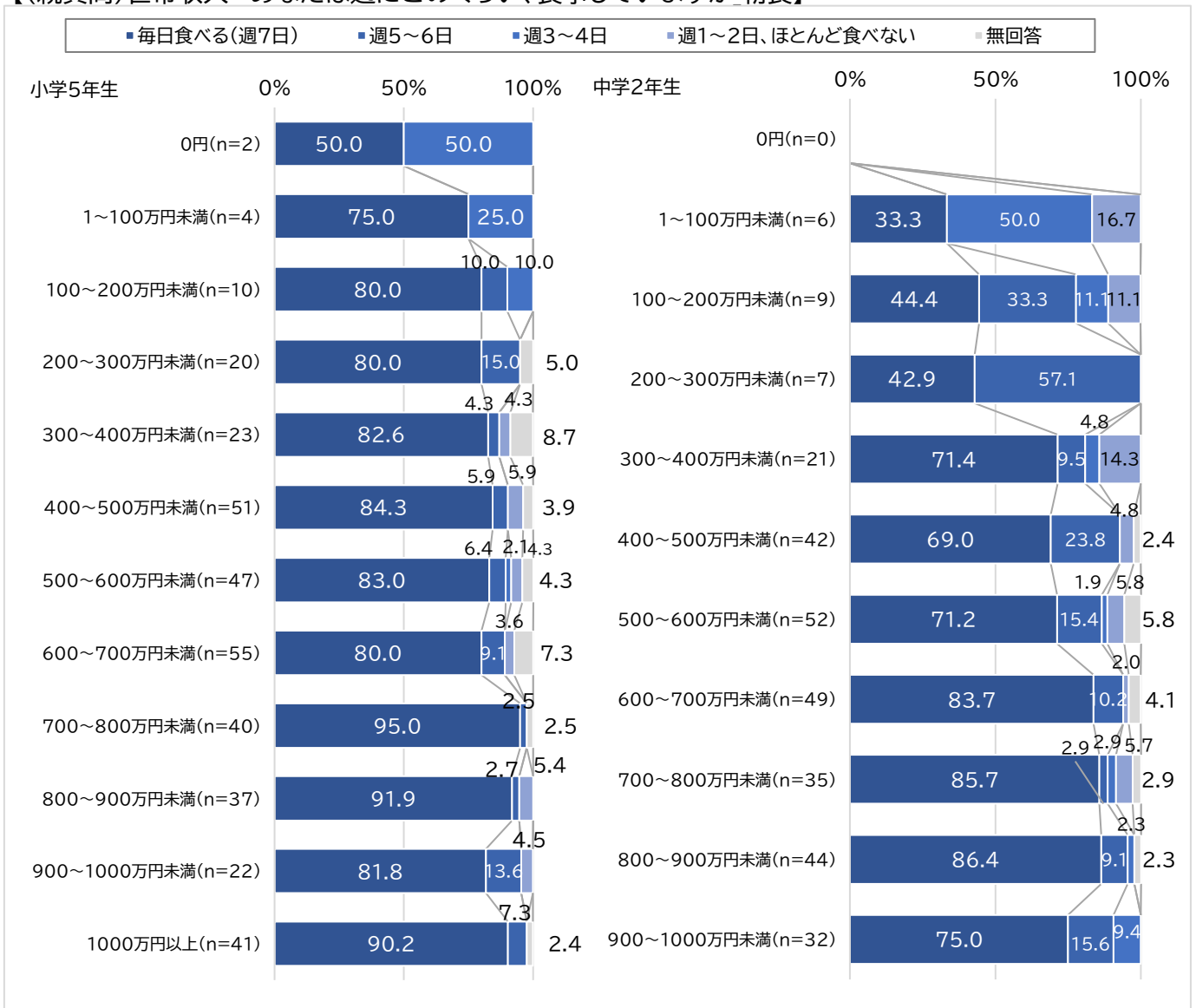
「朝食」に着目し、世帯状況別でみると、ひとり親世帯は夫婦世帯より、「毎日食べる(週7日)」の割合が低い傾向にあります。

他の食事については、世帯状況別でみても、世帯収入別にみても、傾向に大きな違いはありません。

【(親質問)世帯状況×あなたは週にどのくらい、食事していますか_朝食】

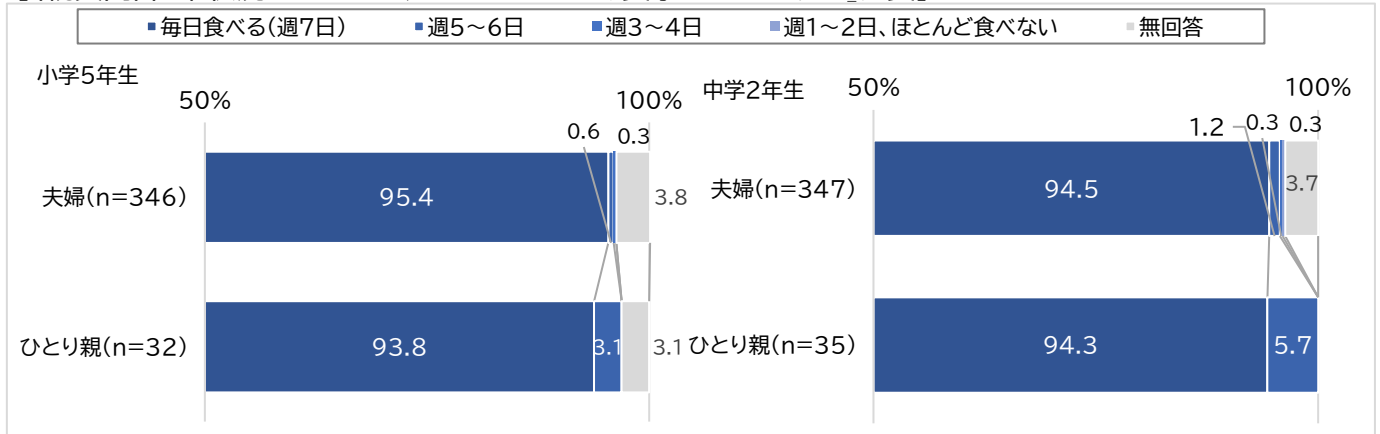


【(親質問)世帯収入×あなたは週にどのくらい、食事していますか_朝食】

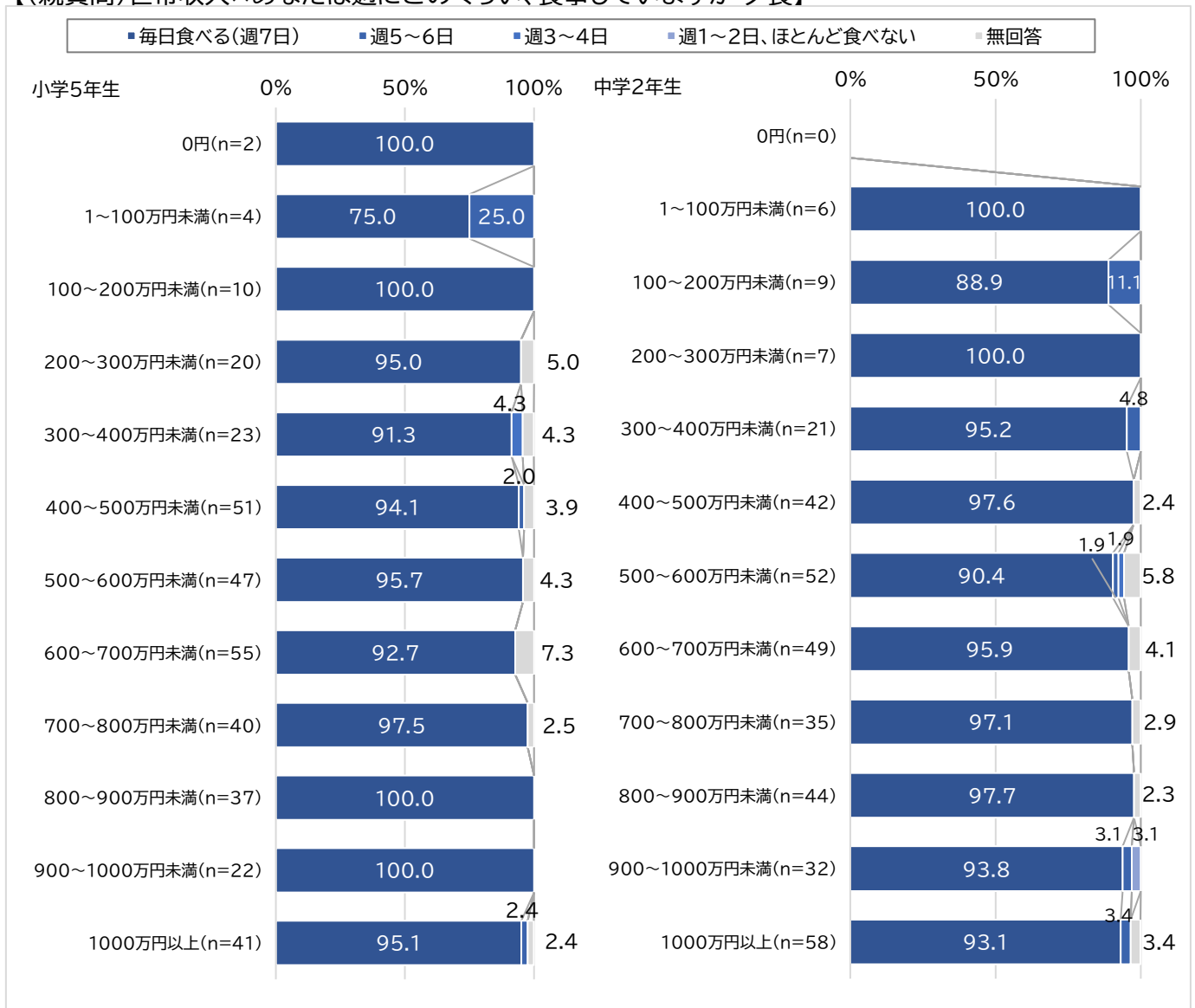


問1 あなたは週にどのくらい、食事していますか。(それぞれ○は1つ)

【(親質問)世帯状況×あなたは週にどのくらい、食事していますか_夕食】

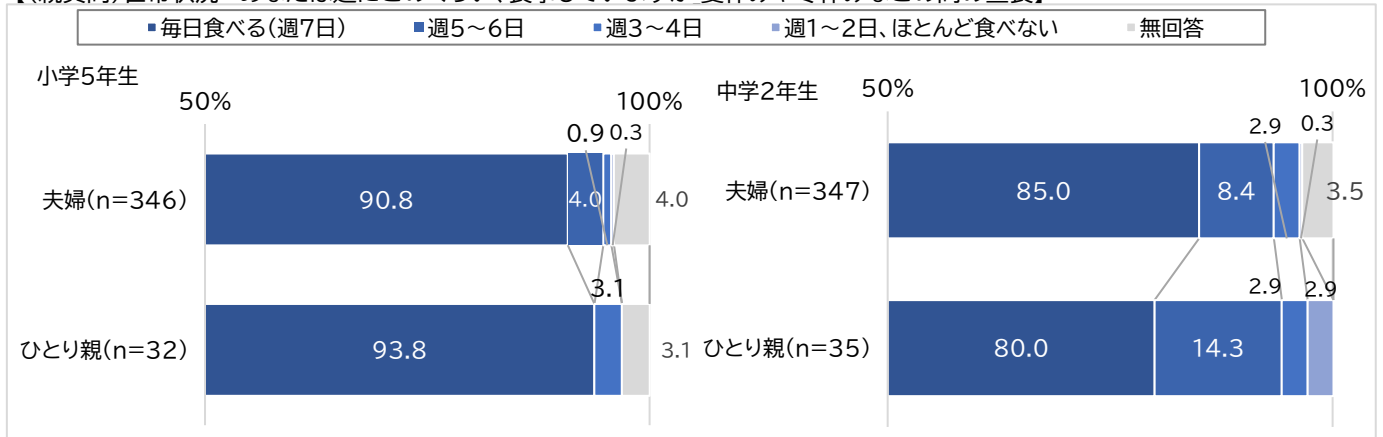


【(親質問)世帯収入×あなたは週にどのくらい、食事していますか_夕食】

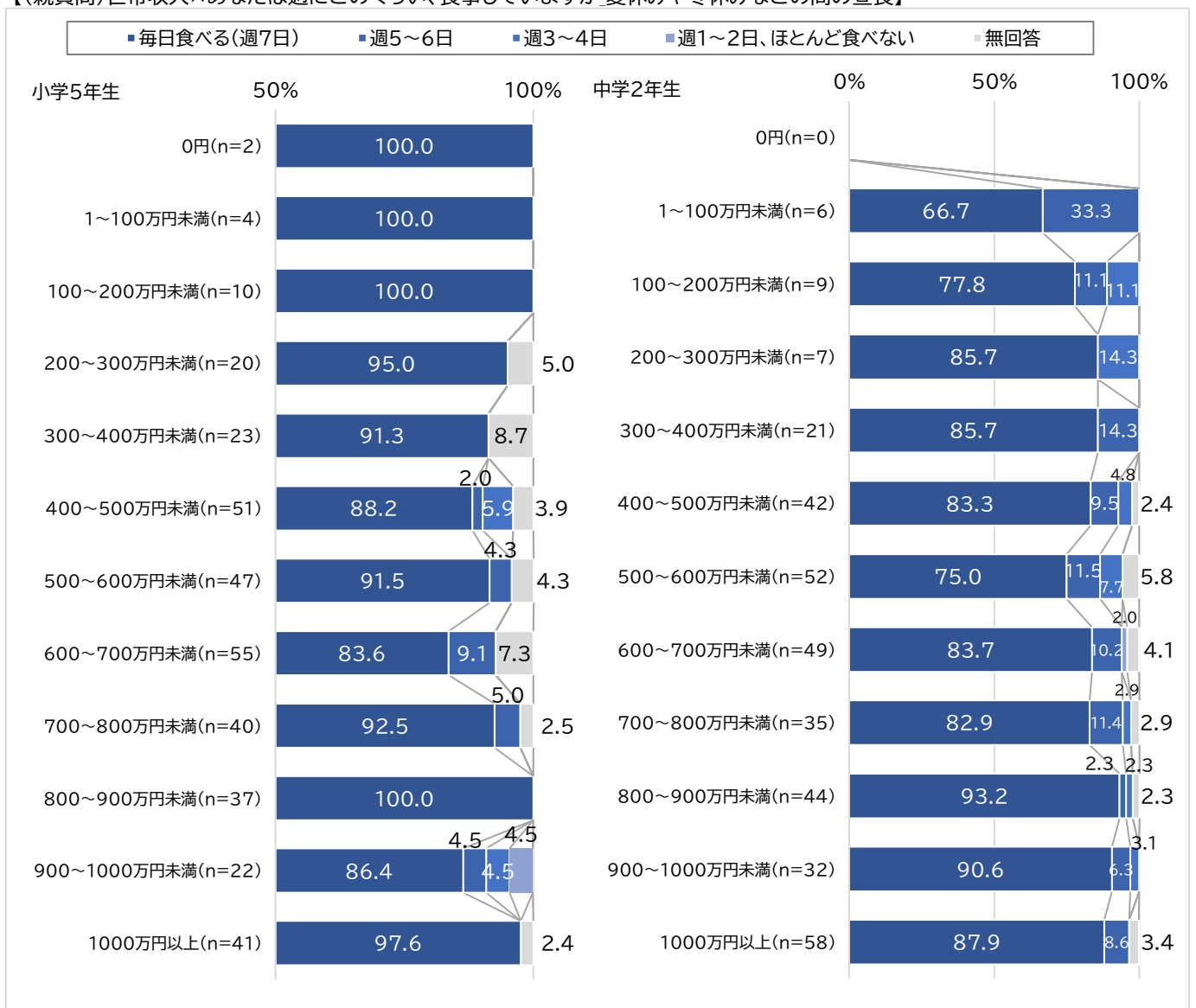


問1 あなたは週にどのくらい、食事していますか。(それぞれ○は1つ)

【(親質問)世帯状況×あなたは週にどのくらい、食事していますか 夏休みや冬休みなどの間の昼食】



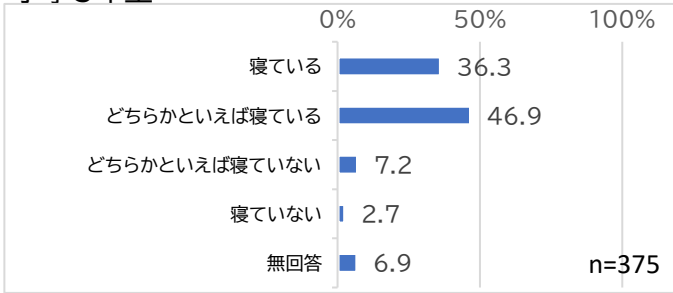
【(親質問)世帯収入×あなたは週にどのくらい、食事していますか 夏休みや冬休みなどの間の昼食】



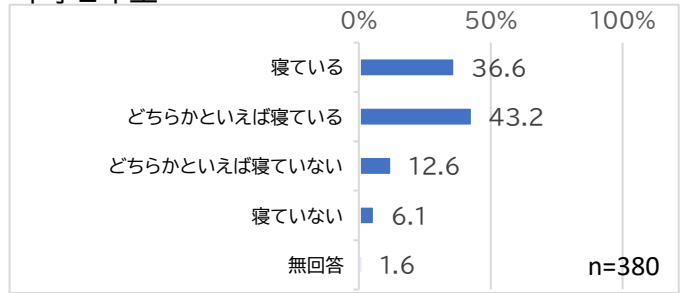
問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(〇は1つ)

いずれも、「どちらかといえば寝ている」が最も割合が多く、次いで、「寝ている」となっています。

小学5年生

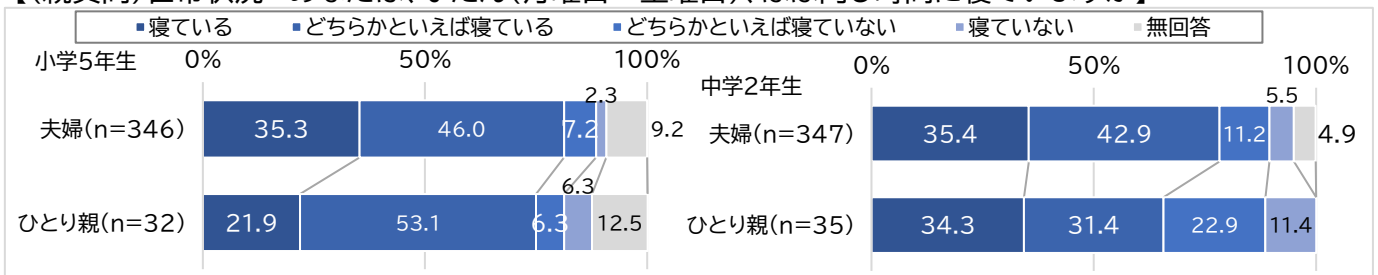


中学2年生

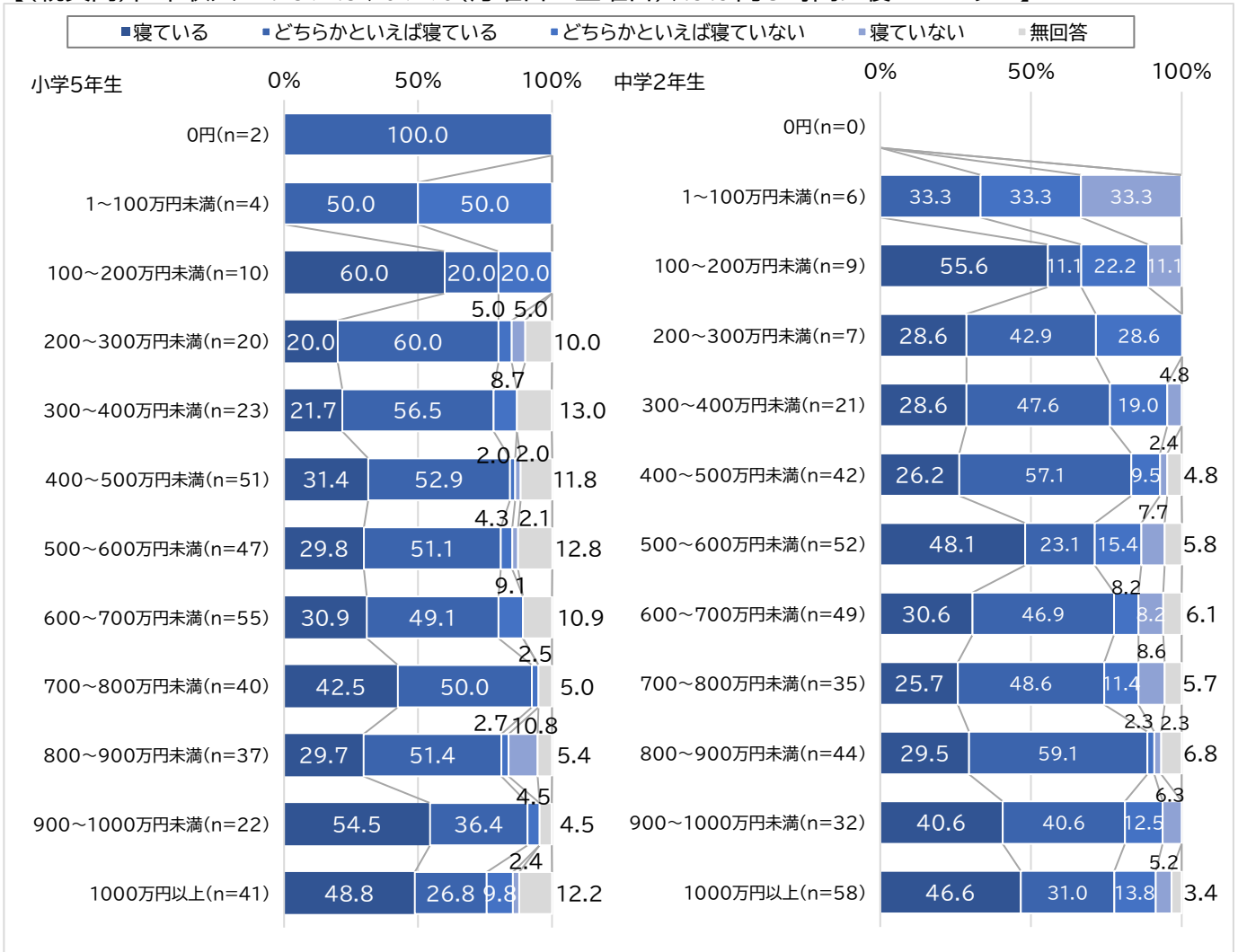


世帯状況別でみると、夫婦世帯の小学5年生児童は「寝ている」割合が、ひとり親世帯よりも、高い傾向にあります。

【(親質問)世帯状況×あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか】



【(親質問)世帯収入×あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか】



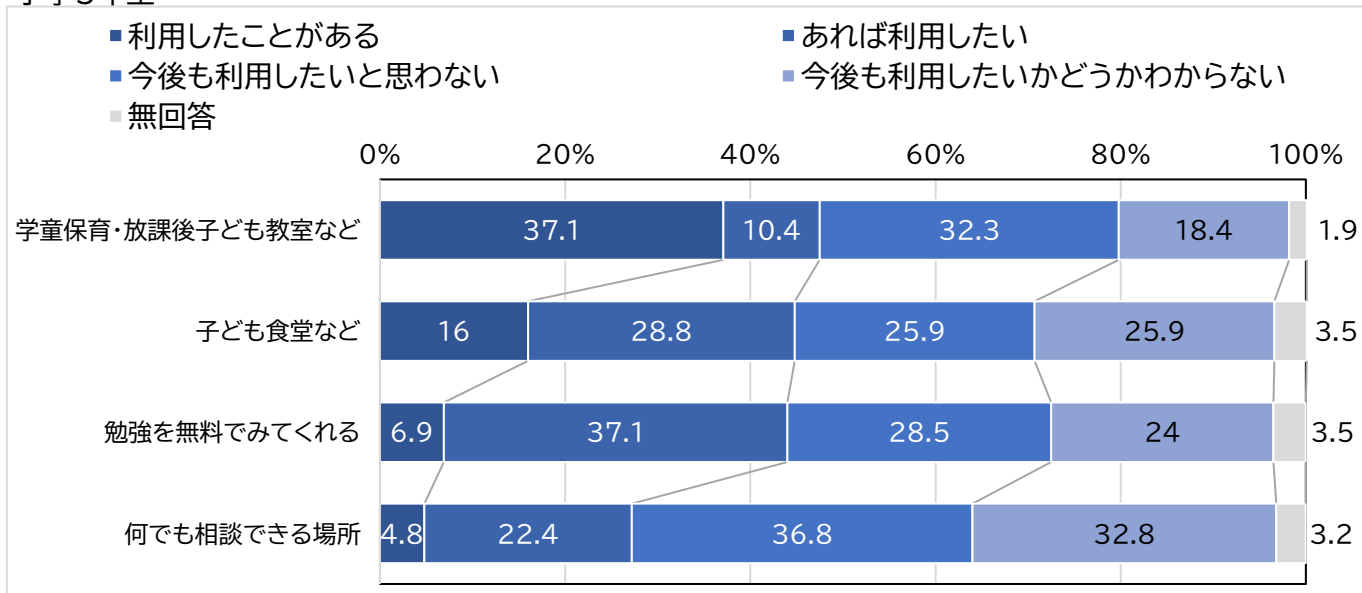
問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

小学5年生では、「利用したことがある」場所について「学童保育・放課後子ども教室など」の割合が最も多くなっています。

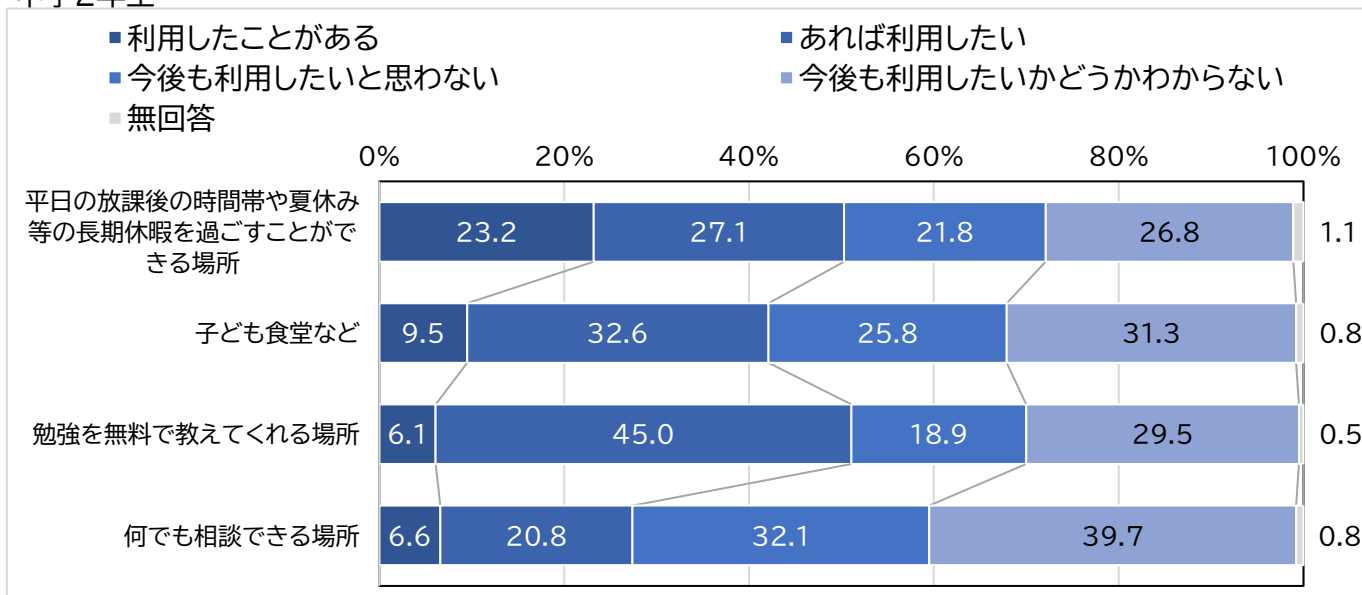
中学2年生では「利用したことがある」場所について「平日の放課後の時間帯や夏休み等の長期休暇を過ごすことができる場所」の割合が最も多くなっています。

「あれば利用したい」場所については、いずれも「勉強を無料でみてくれる」場所の割合が最も多くなっています。

小学5年生



中学2年生

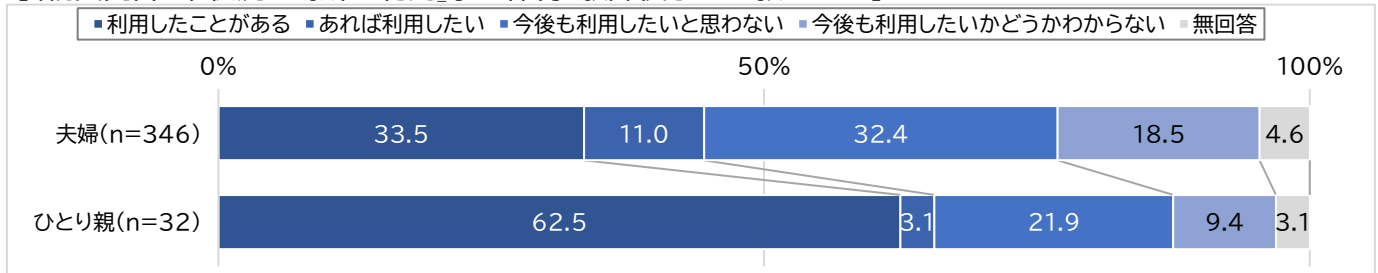


問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

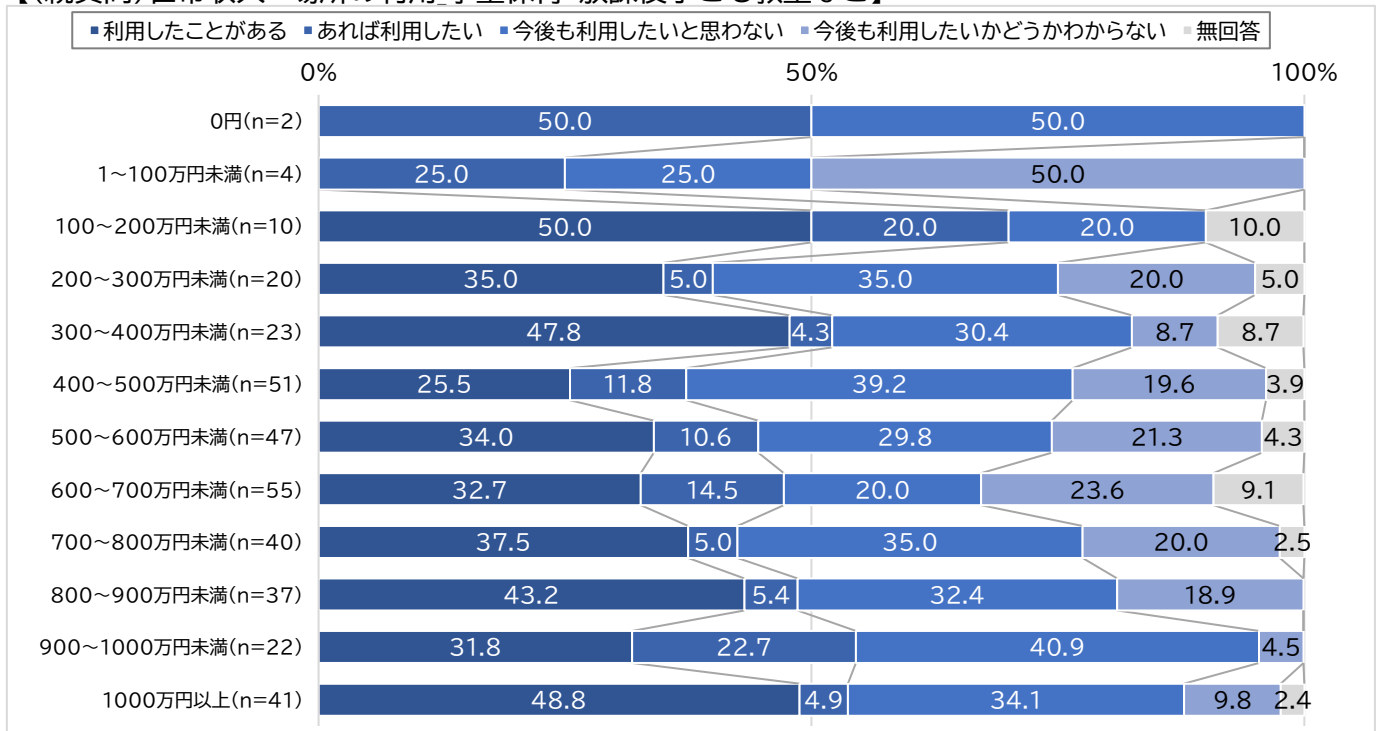
小学5年生児童、中学2年生生徒のいずれも、世帯状況別でみると「学童保育・放課後子ども教室など」、「子ども食堂など」で、ひとり親世帯の児童・生徒は、「利用したことがある」の割合が高い傾向にあります。

小学5年生

【(親質問)世帯状況×場所の利用 学童保育・放課後子ども教室など】



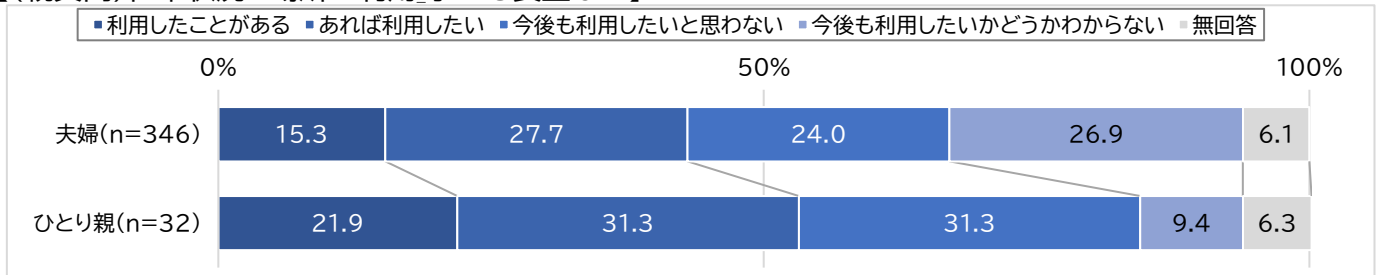
【(親質問)世帯収入×場所の利用 学童保育・放課後子ども教室など】



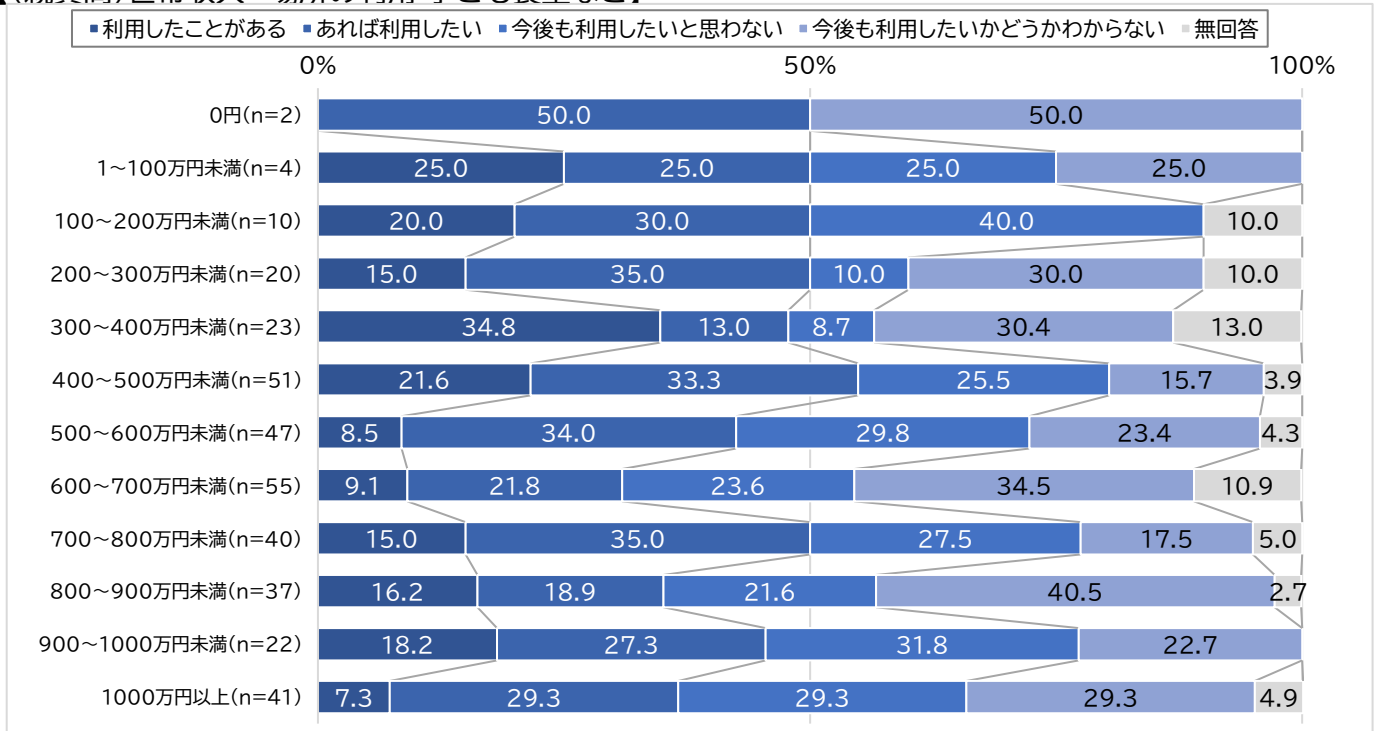
問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

小学5年生

【(親質問)世帯状況×場所の利用 子ども食堂など】



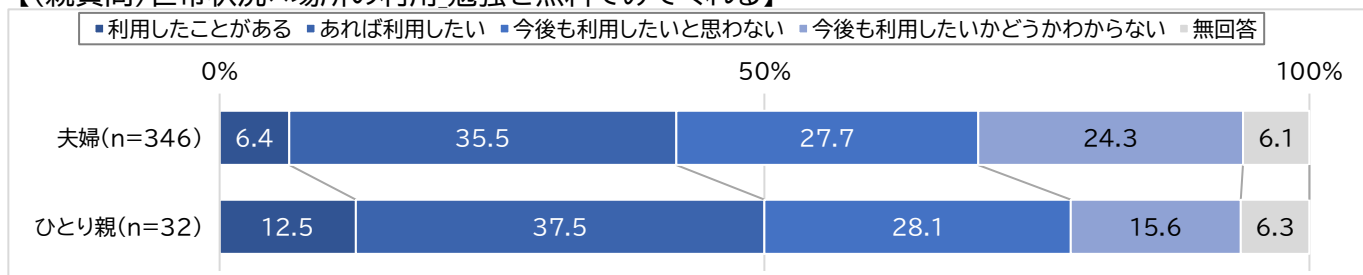
【(親質問)世帯収入×場所の利用 子ども食堂など】



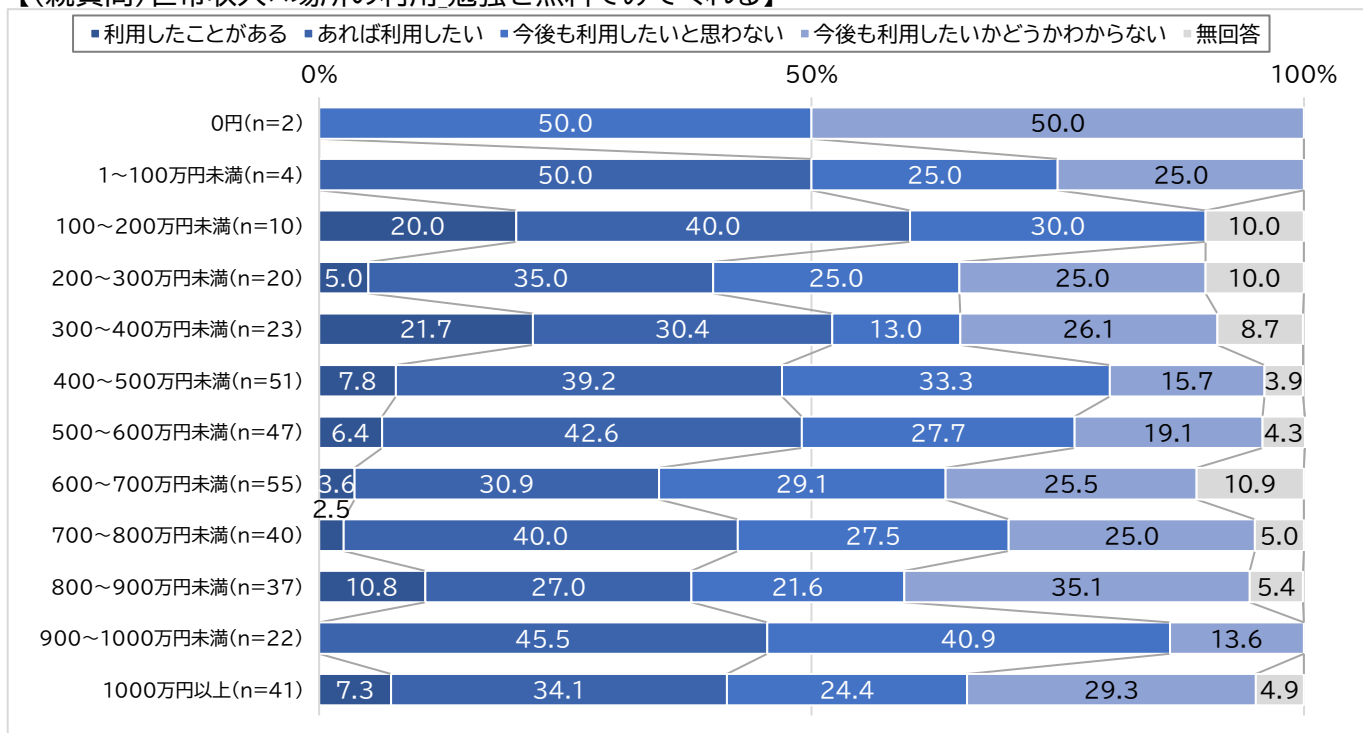
問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

小学5年生

【(親質問)世帯状況×場所の利用 勉強を無料でみてくれる】



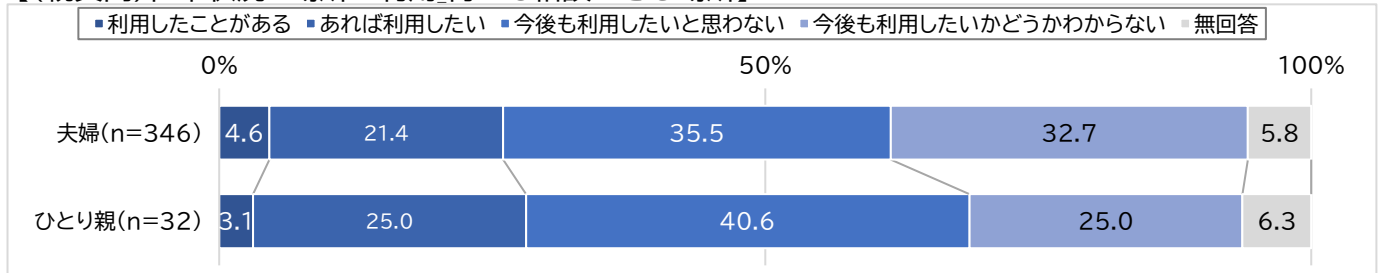
【(親質問)世帯収入×場所の利用 勉強を無料でみてくれる】



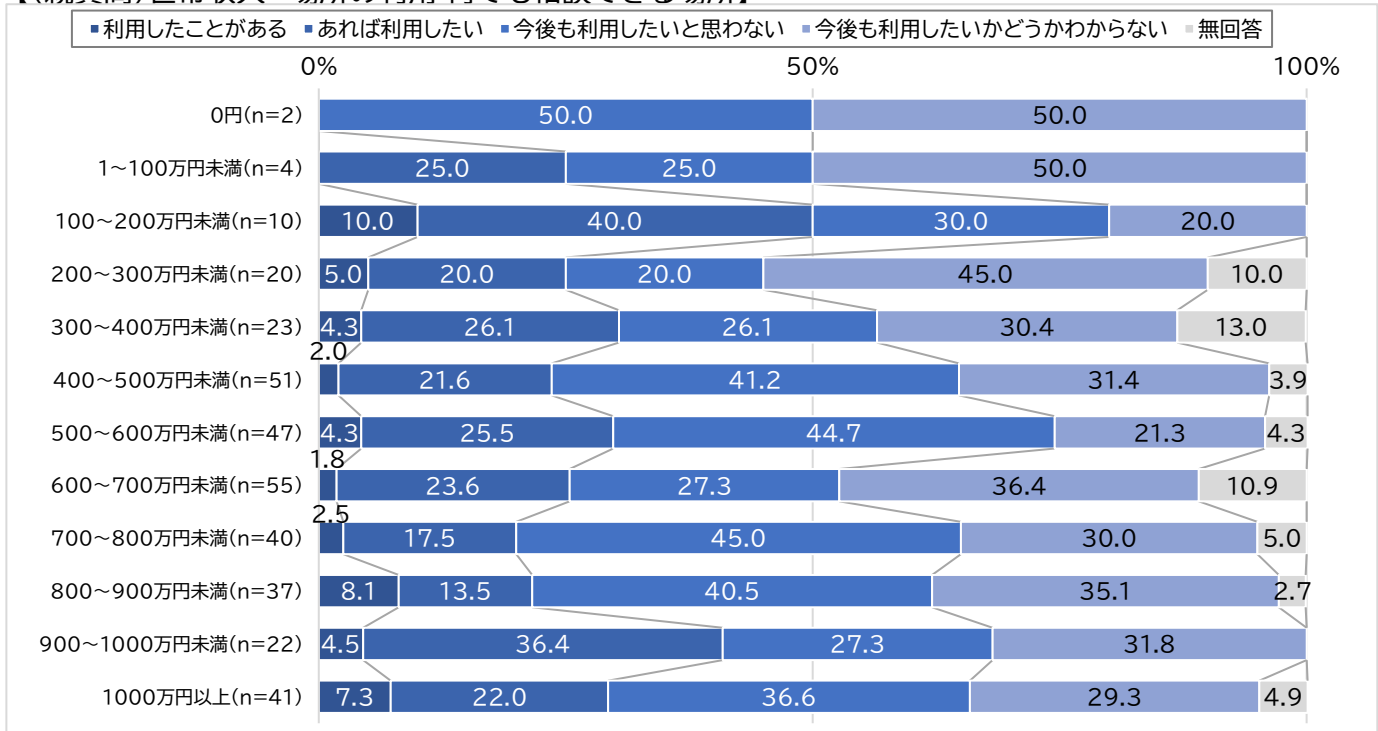
問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

小学5年生

【(親質問)世帯状況×場所の利用 何でも相談できる場所】



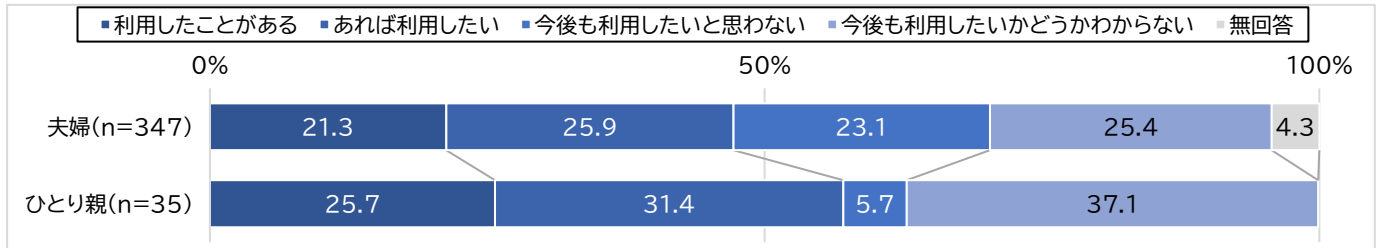
【(親質問)世帯収入×場所の利用 何でも相談できる場所】



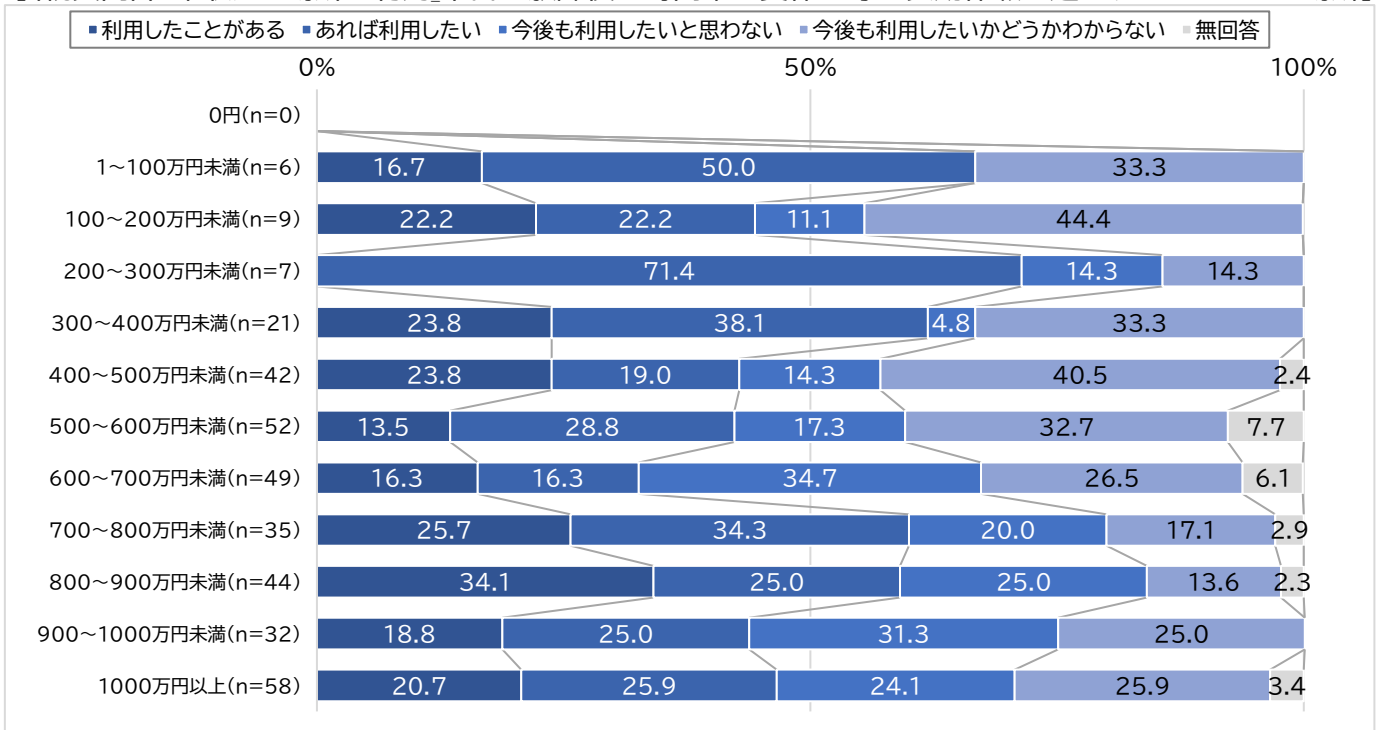
問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

中学2年生

【(親質問)世帯状況×場所の利用_平日の放課後の時間帯や夏休み等の長期休暇を過ごすことができる場所】



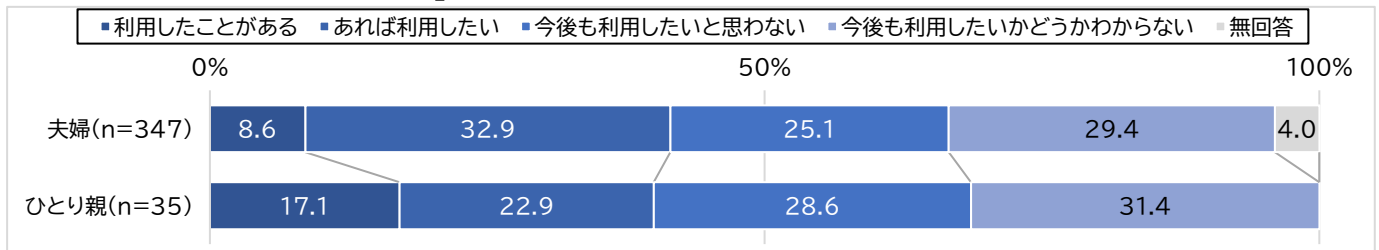
【(親質問)世帯収入×場所の利用_平日の放課後の時間帯や夏休み等の長期休暇を過ごすことができる場所】



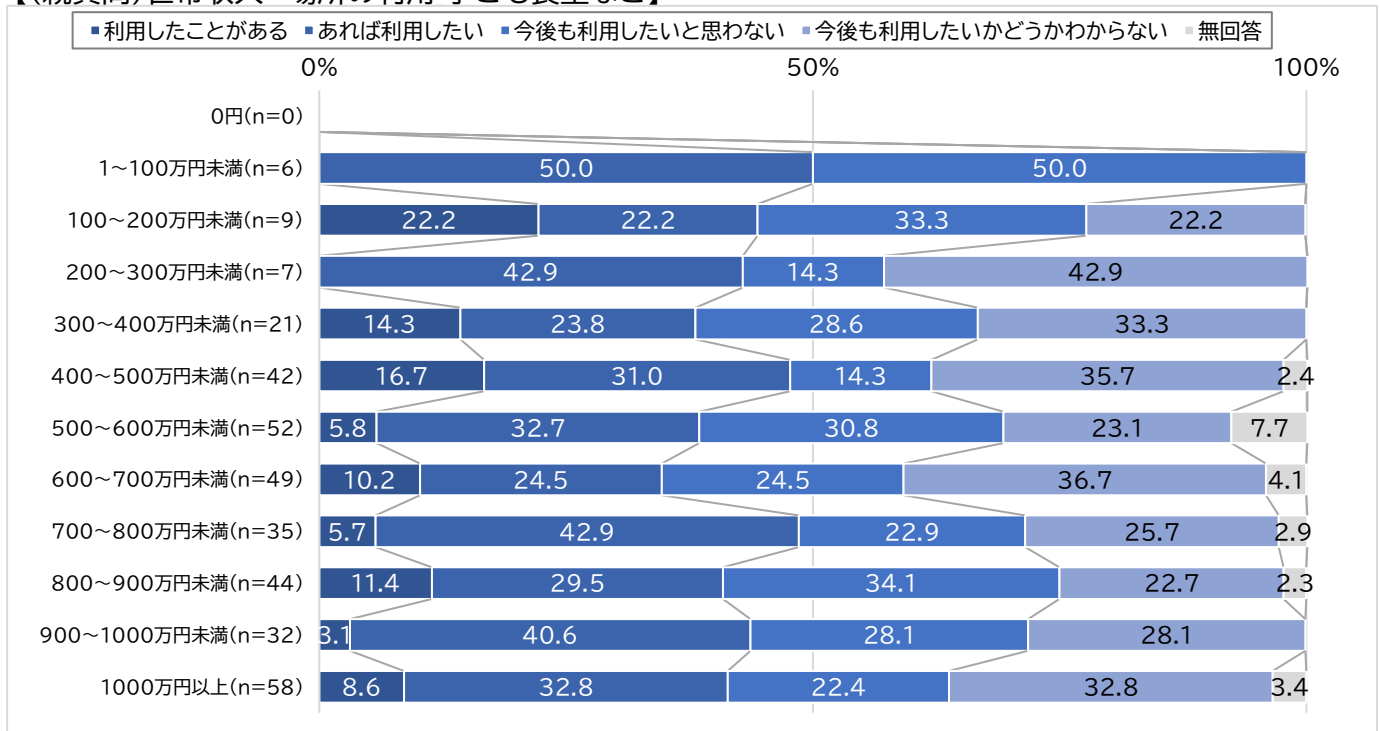
問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

中学2年生

【(親質問)世帯収入×場所の利用 子ども食堂など】



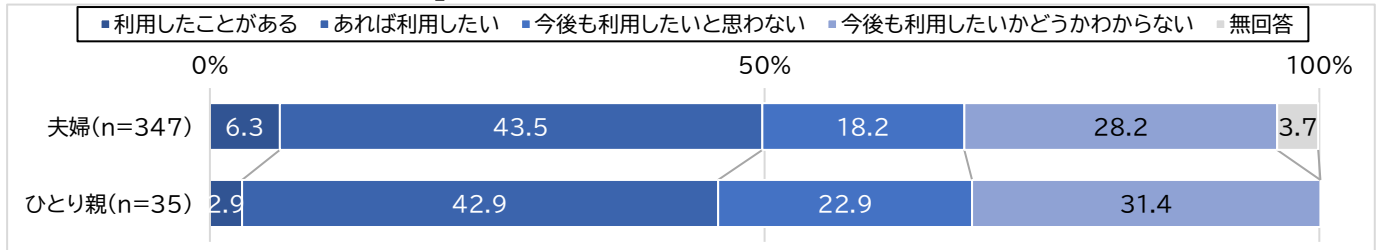
【(親質問)世帯収入×場所の利用 子ども食堂など】



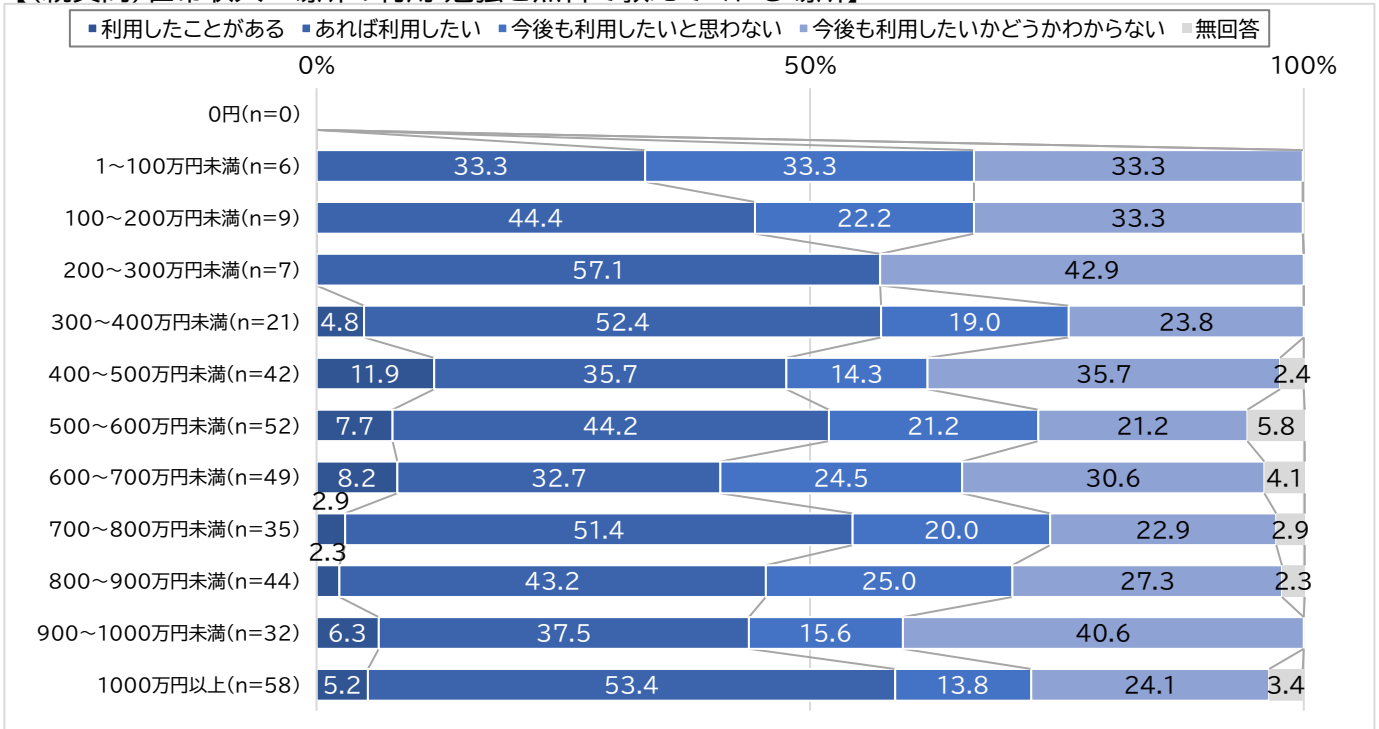
問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

中学2年生

【(親質問)世帯状況×場所の利用 勉強を無料で教えてくれる場所】



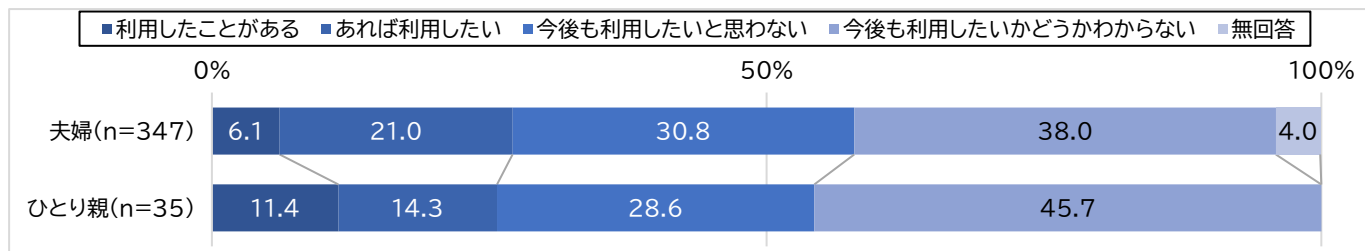
【(親質問)世帯収入×場所の利用 勉強を無料で教えてくれる場所】



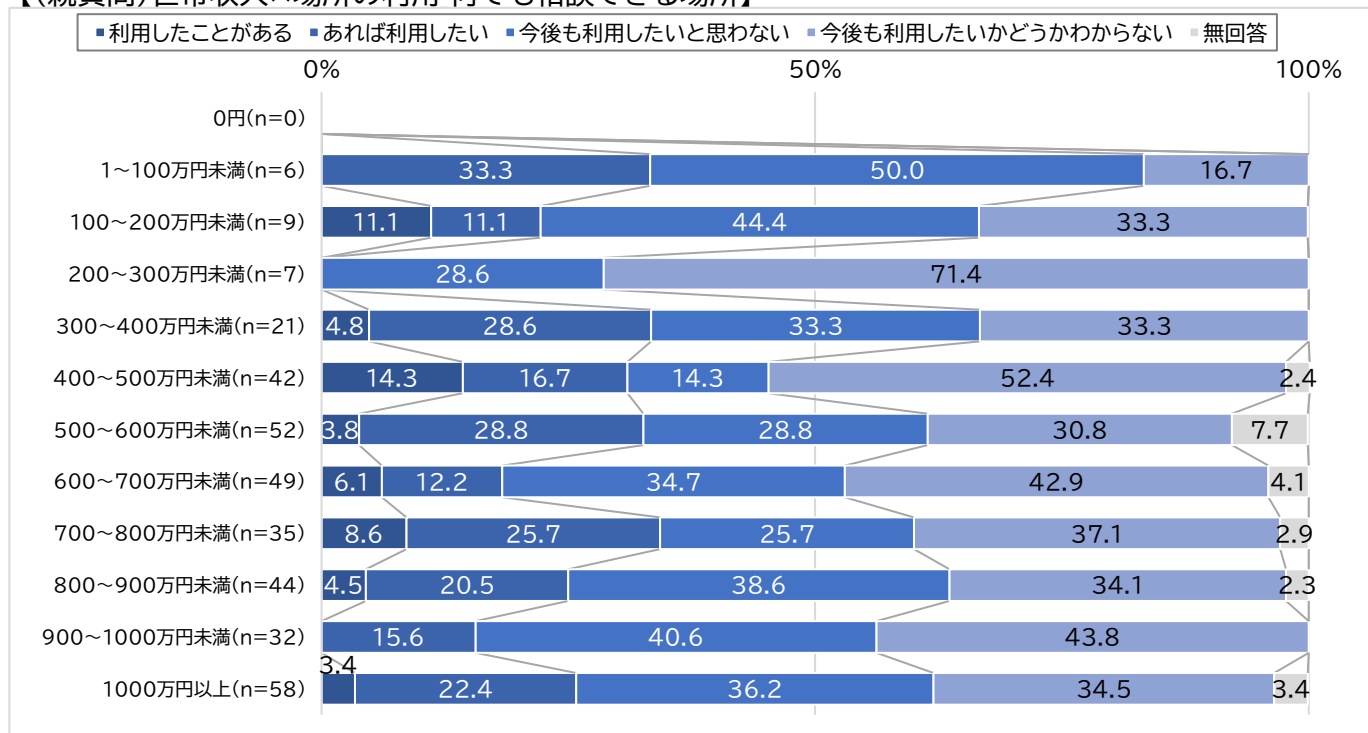
問3 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。利用したことがない場合、利用したいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

中学2年生

【(親質問)世帯状況×場所の利用_何でも相談できる場所】



【(親質問)世帯収入×場所の利用_何でも相談できる場所】

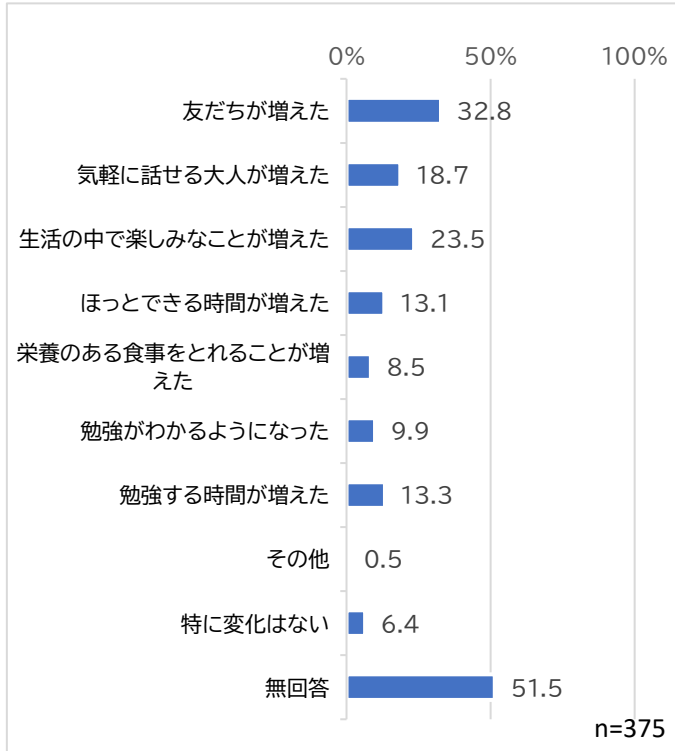


問3で1つでも「利用したことがある」を選んだ方にお聞きします。

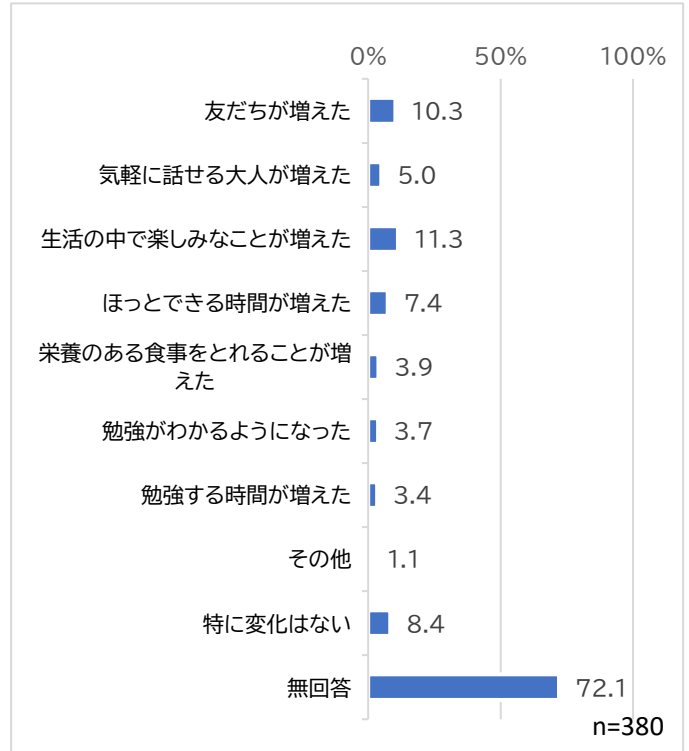
問3-1 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(〇はいくつでも)

無回答を除くと、小学5年生では、「友達が増えた」の割合が最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」となっています。中学2年生では、「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が最も多く、次いで「友達が増えた」となっています。

小学5年生



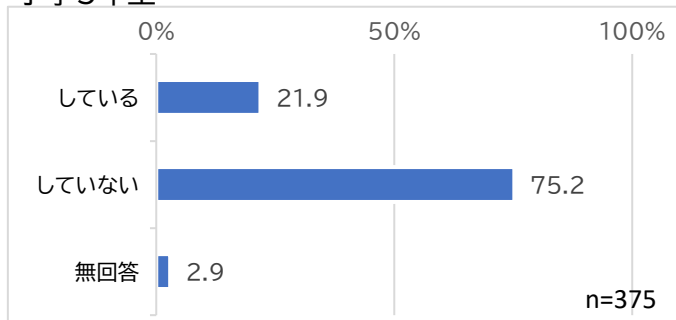
中学2年生



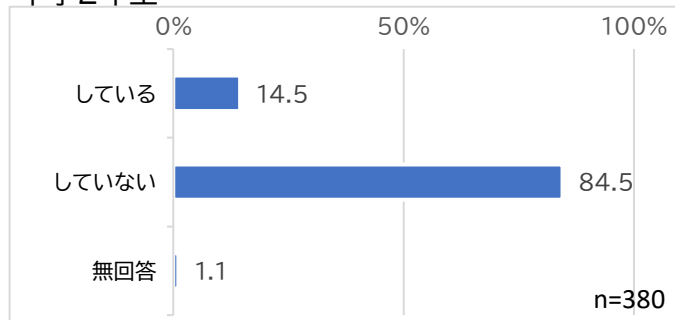
問4 あなたは、家族のお世話をしていますか。(ここでの「お世話」とは本来大人がするとされている家事や家族の世話などです。(○は1つ)

小学5年生では21.9%、中学2年生では14.5%が、家族のお世話を「している」と回答しました。

小学5年生



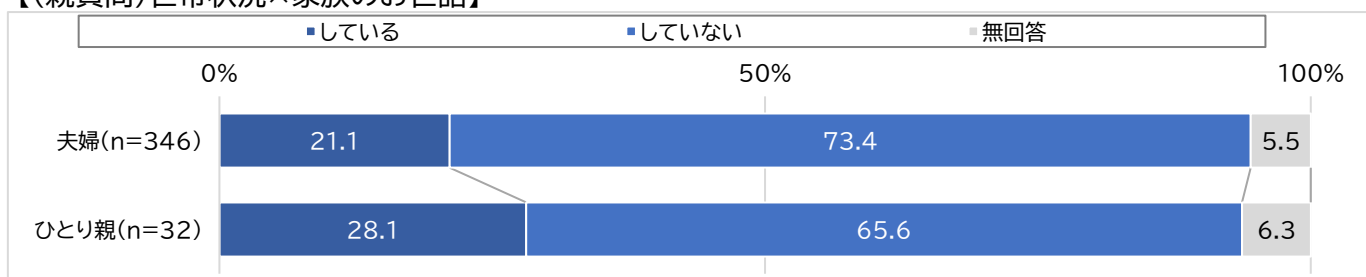
中学2年生



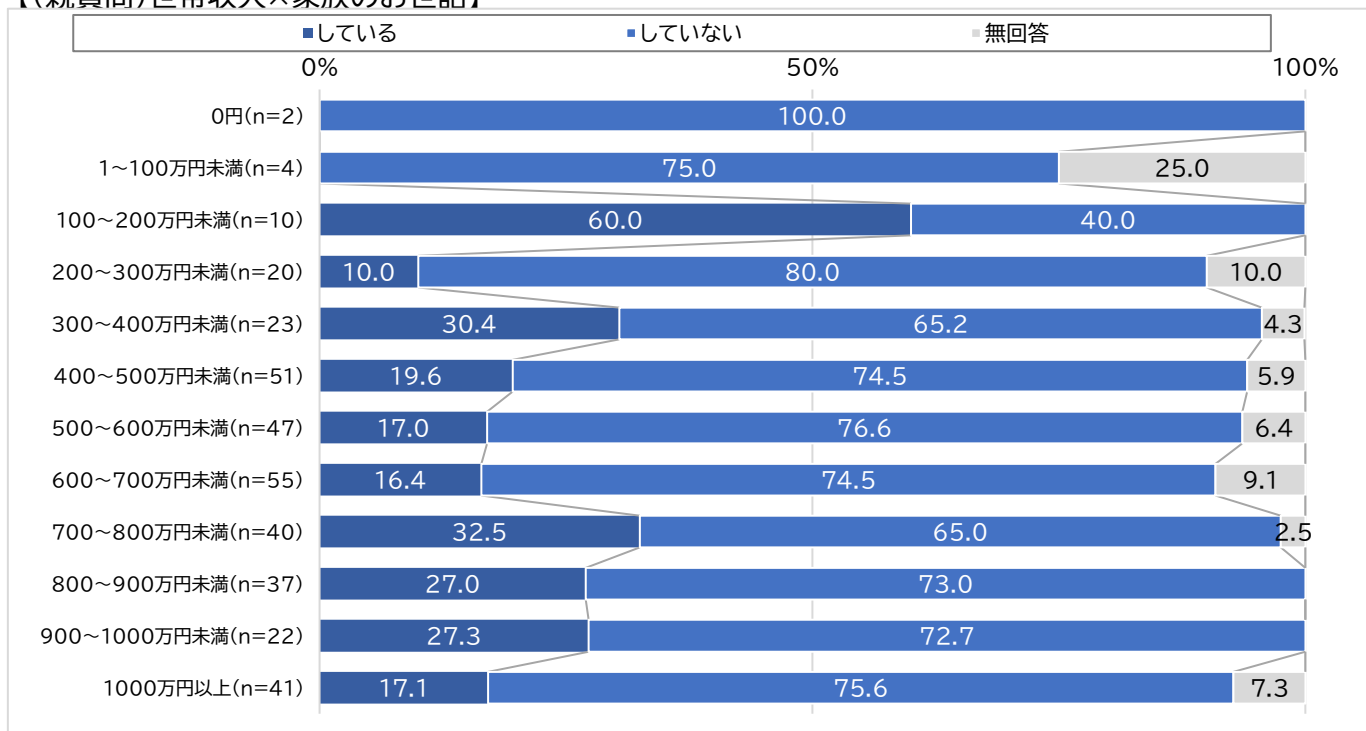
世帯状況別では、小学5年生、中学2年生いずれも、ひとり親世帯の方が、「している」と回答した人が多くなっています。

小学5年生

【(親質問)世帯状況×家族のお世話】



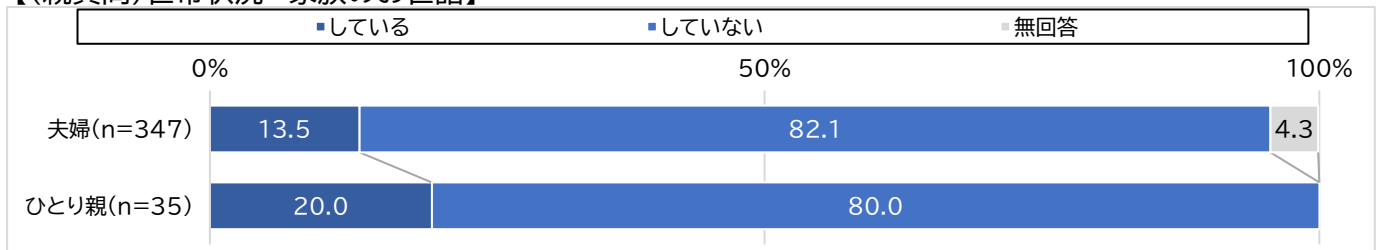
【(親質問)世帯収入×家族のお世話】



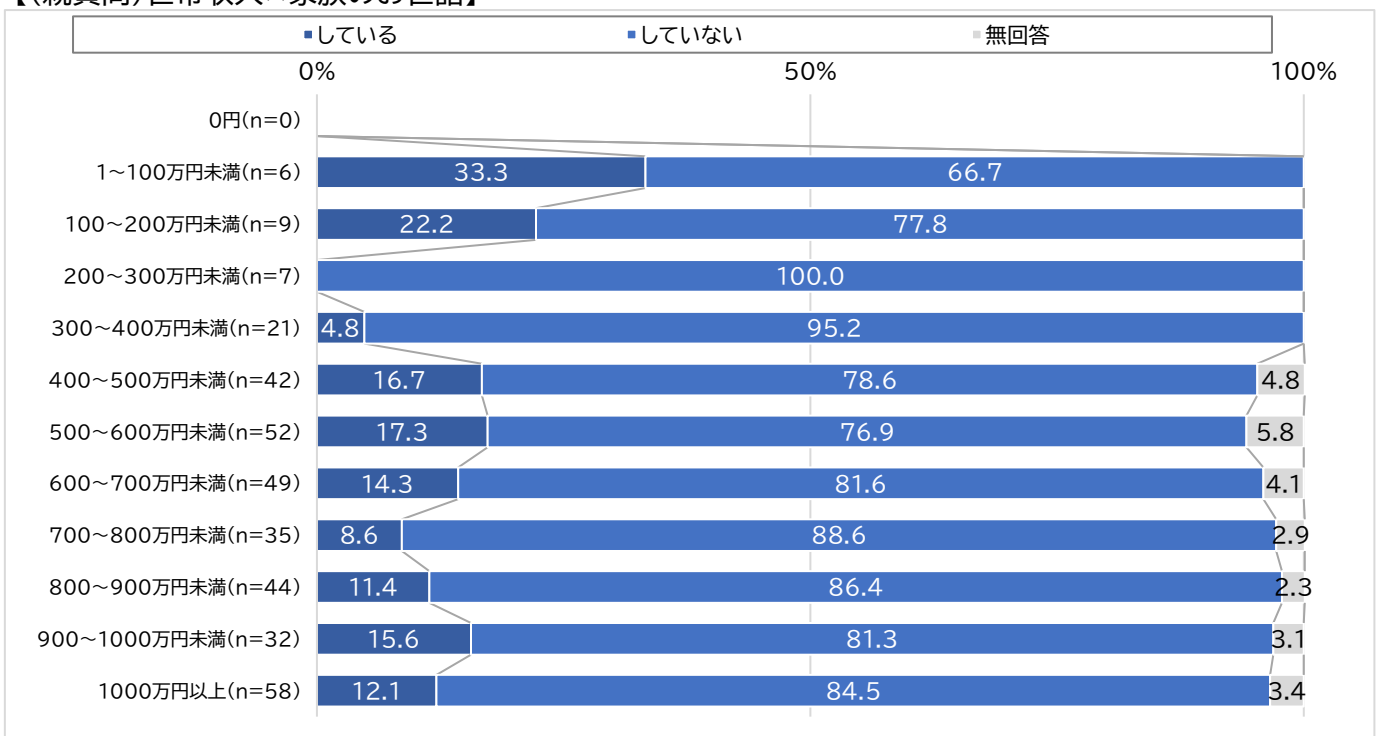
問4 あなたは、家族のお世話をしていますか。(ここでの「お世話」とは本来大人がするとされている家事や家族の世話などです。(○は1つ)

中学2年生

【(親質問)世帯状況×家族のお世話】



【(親質問)世帯収入×家族のお世話】

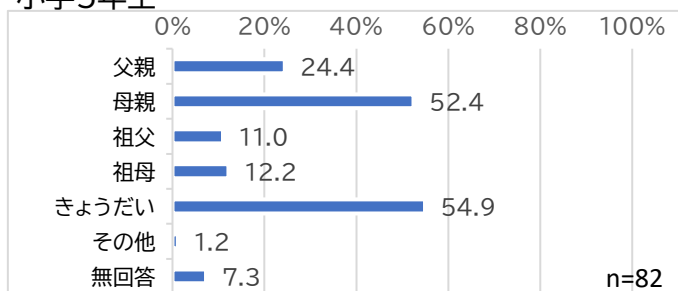


問4で「している」を選んだ方にお聞きします。

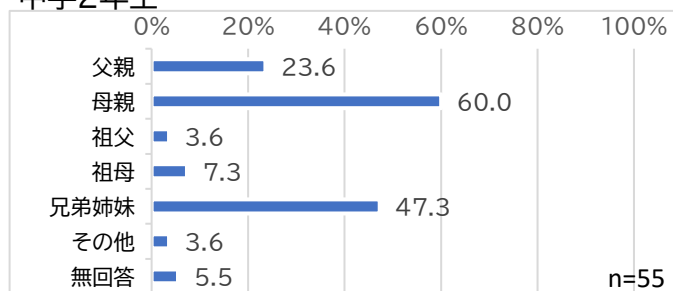
問4-1 お世話を必要としている人を教えてください。(〇はいくつでも)

小学5年生では「きょうだい」が最も割合が多く、次いで「母親」となっています。
 中学2年生では「母親」が最も割合が多く、次いで「兄弟姉妹」となっています。

小学5年生



中学2年生

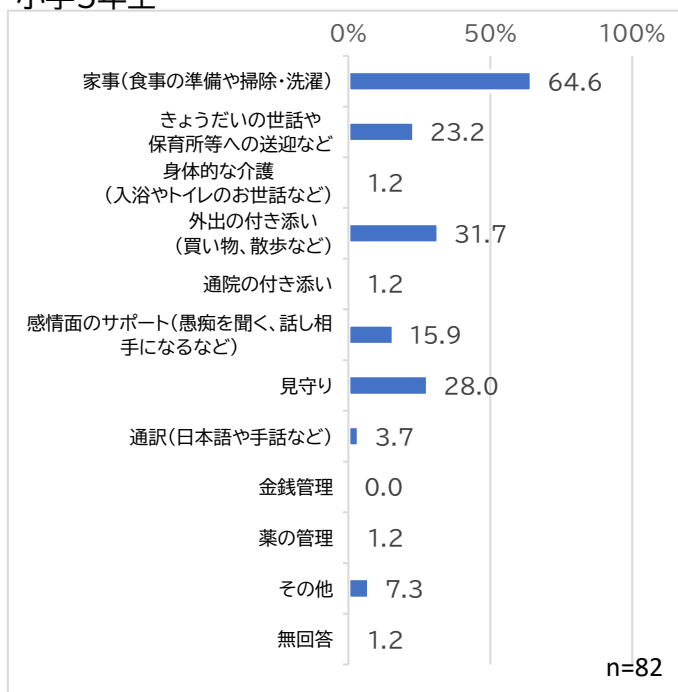


問4-2 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(〇はいくつでも)

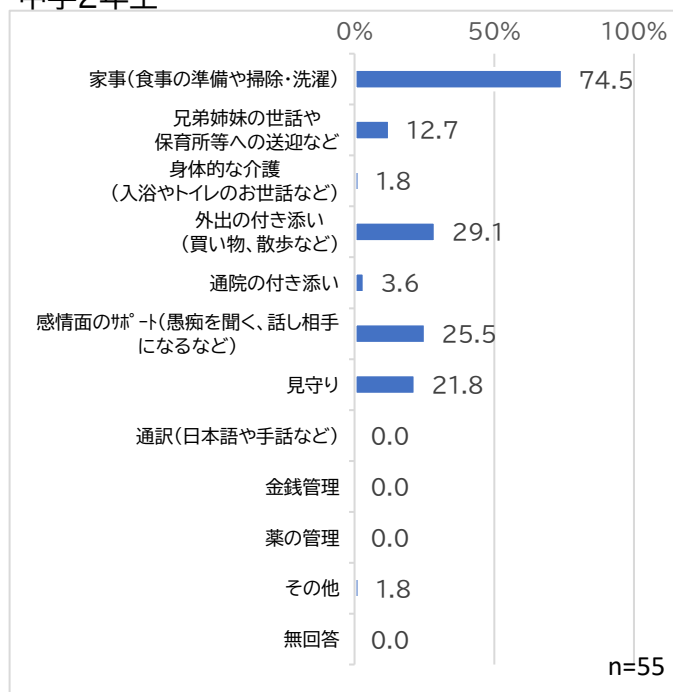
いずれも「家事(食事の準備や掃除・洗濯)」の割合が最も多く、次いで「外出の付き添い(買い物、散歩など)」となっています。

小学5年生では、3番目に「見守り」が続き、中学2年生では、3番目に「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」が続いています。

小学5年生



中学2年生

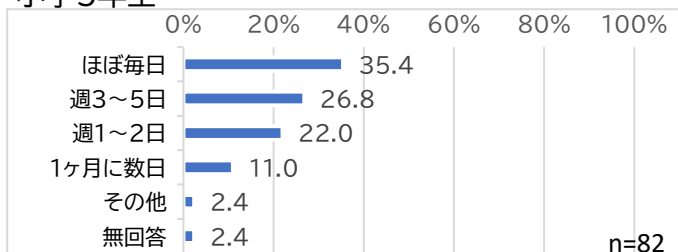


問4-3 どの程度お世話をしているかを教えてください。(〇は1つ)

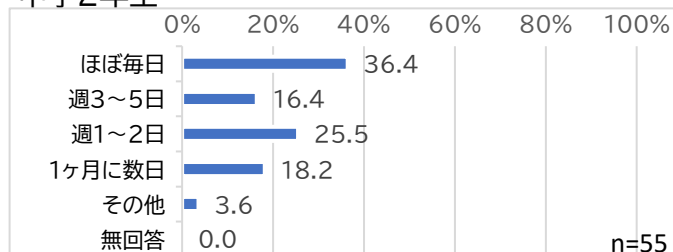
いずれも「ほぼ毎日」の割合が最も多くなっています。

小学5年生では、次いで「週3～5日」と、中学2年生では、次いで「週1～2日」となっています。

小学5年生



中学2年生

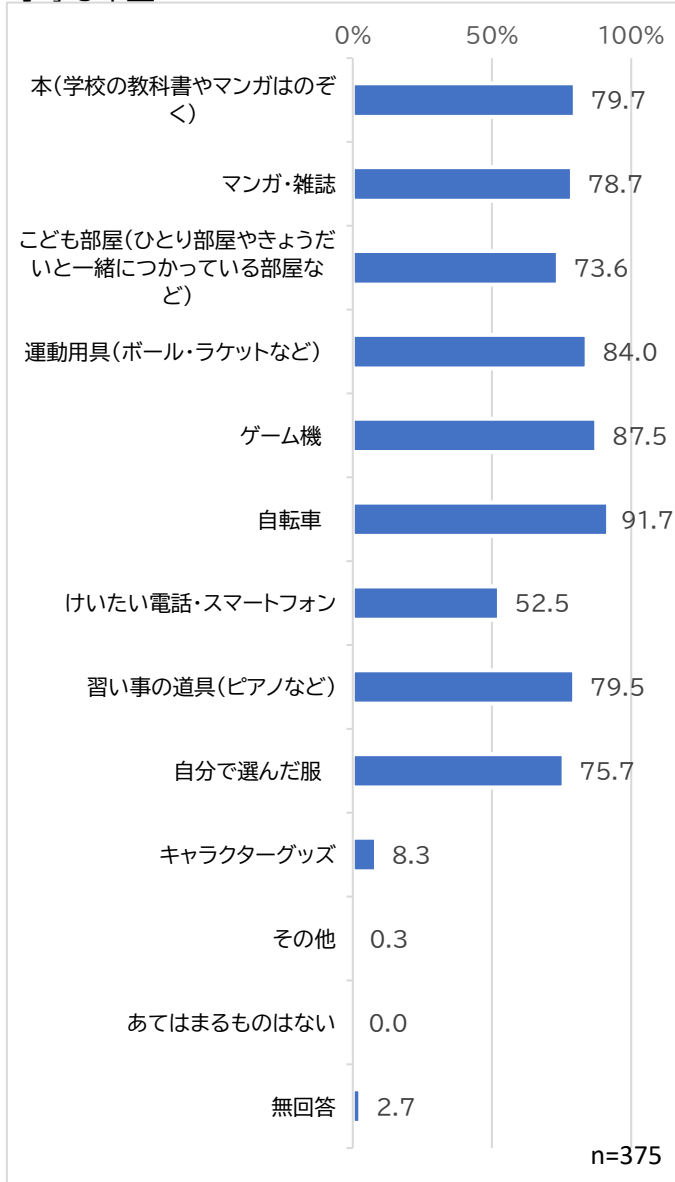


問5 あなたが持っているものや使うことができるものを教えてください。(〇はいくつでも)

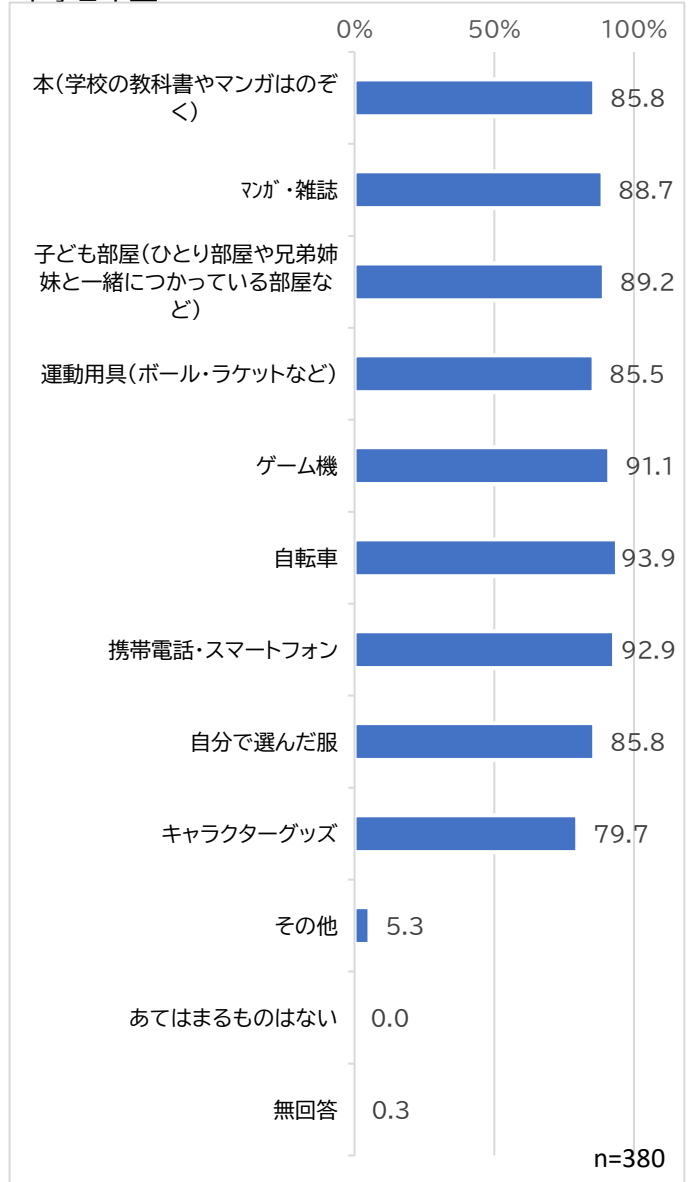
いずれも「自転車」の割合が最も多くなっています。

中学2年生は、小学5年生と比べ、すべての項目で割合が上回っています。

小学5年生



中学2年生

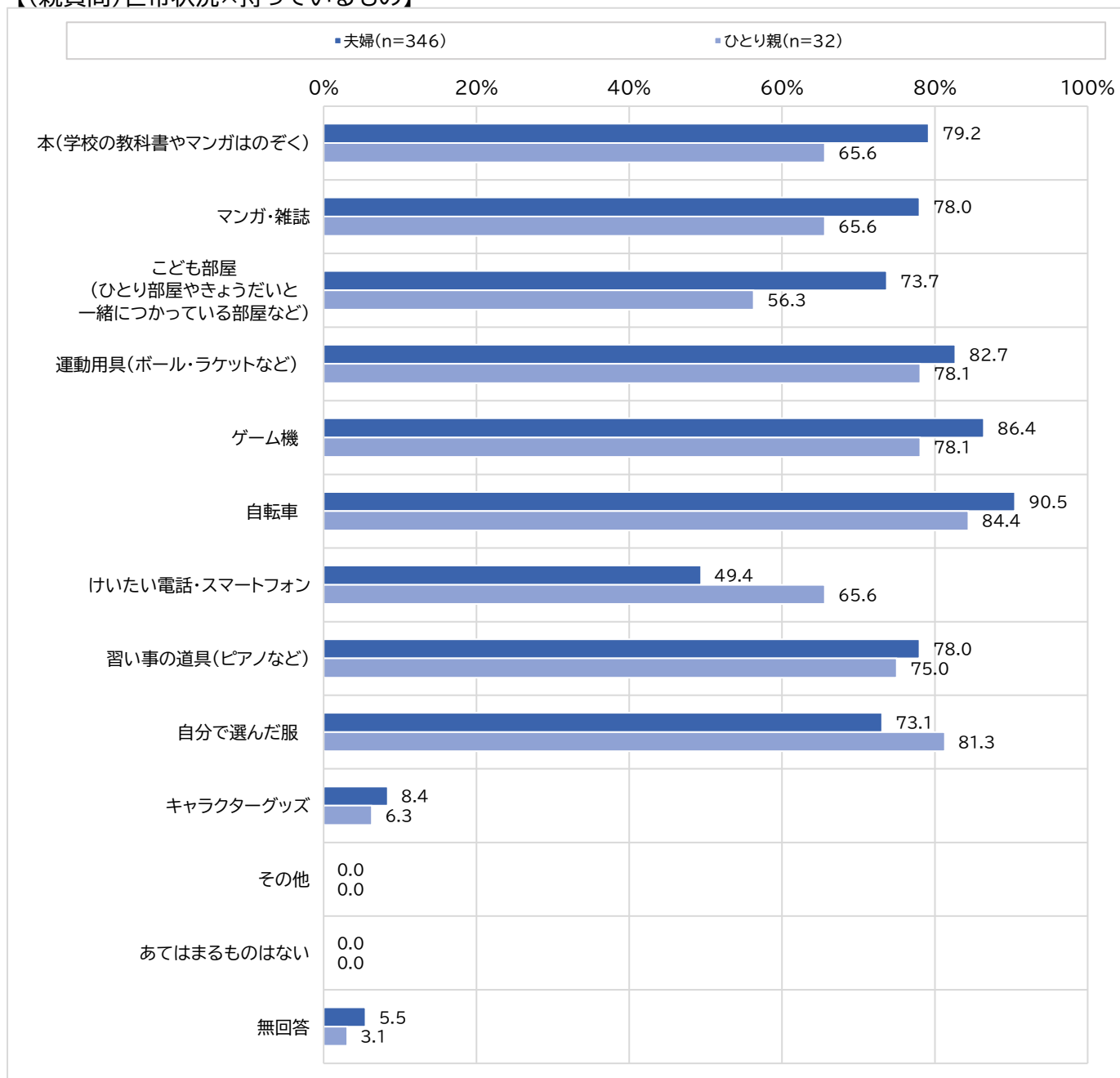


問5 あなたが持っているものや使うことができるものを教えてください。(〇はいくつでも)

世帯状況別にみると、小学5年生で「けいたい電話・スマートフォン」を持っている割合は、ひとり親世帯の児童では、夫婦世帯の児童より高くなっています。

小学5年生

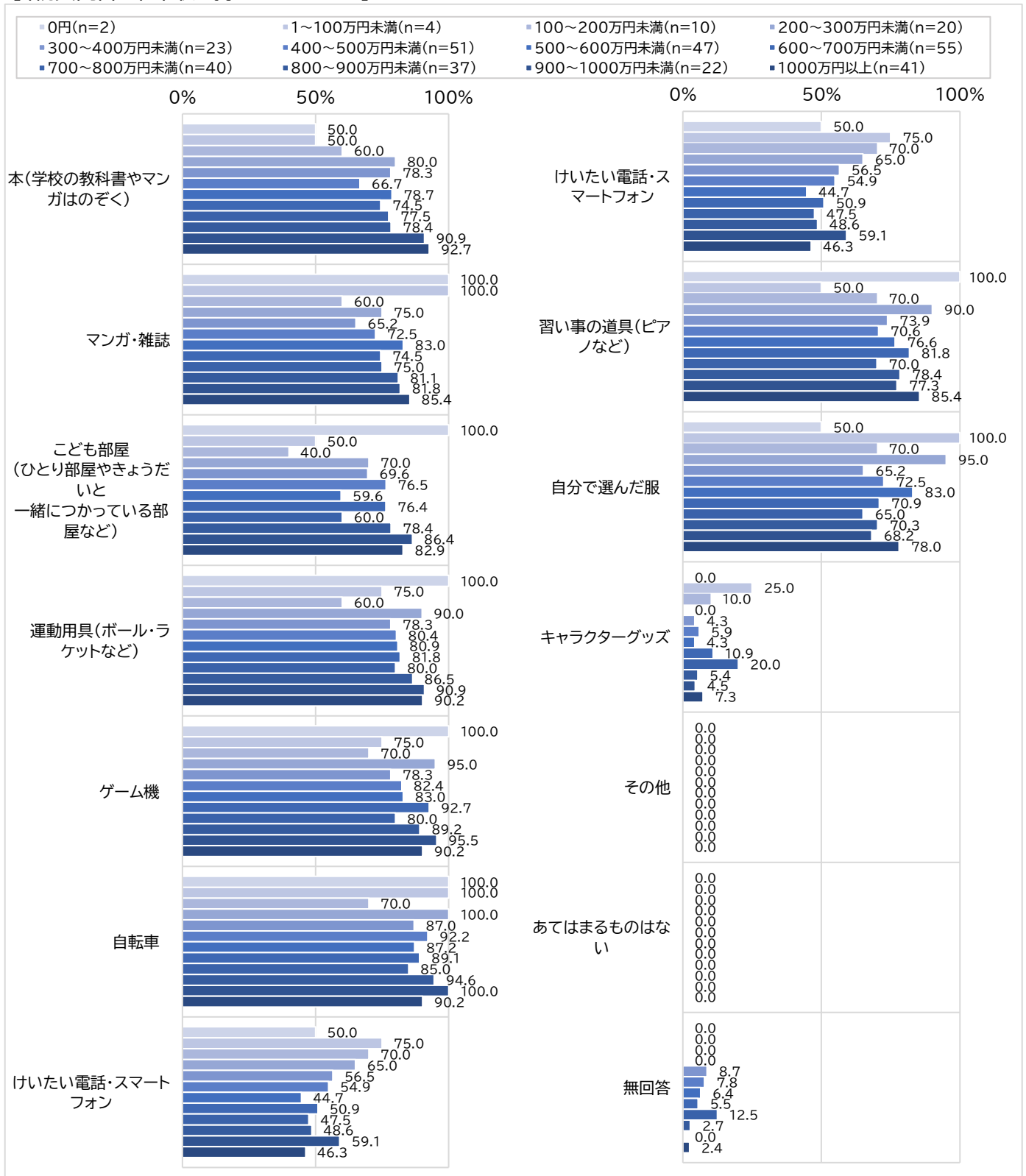
【(親質問)世帯状況×持っているもの】



問5 あなたが持っているものや使うことができるものを教えてください。(〇はいくつでも)

小学5年生

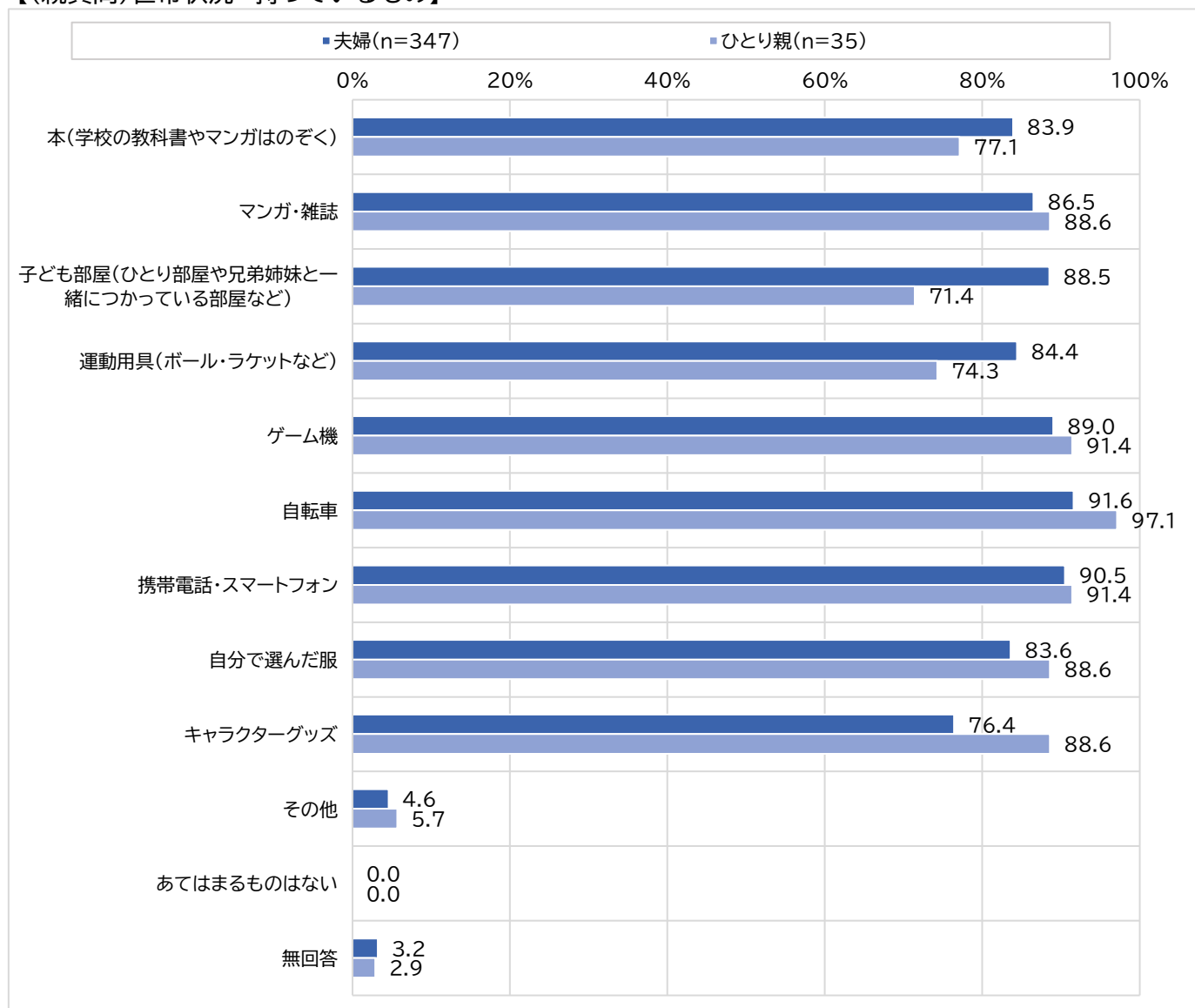
【(親質問)世帯年収×持っているもの】



問5 あなたが持っているものや使うことができるものを教えてください。(〇はいくつでも)

中学2年生

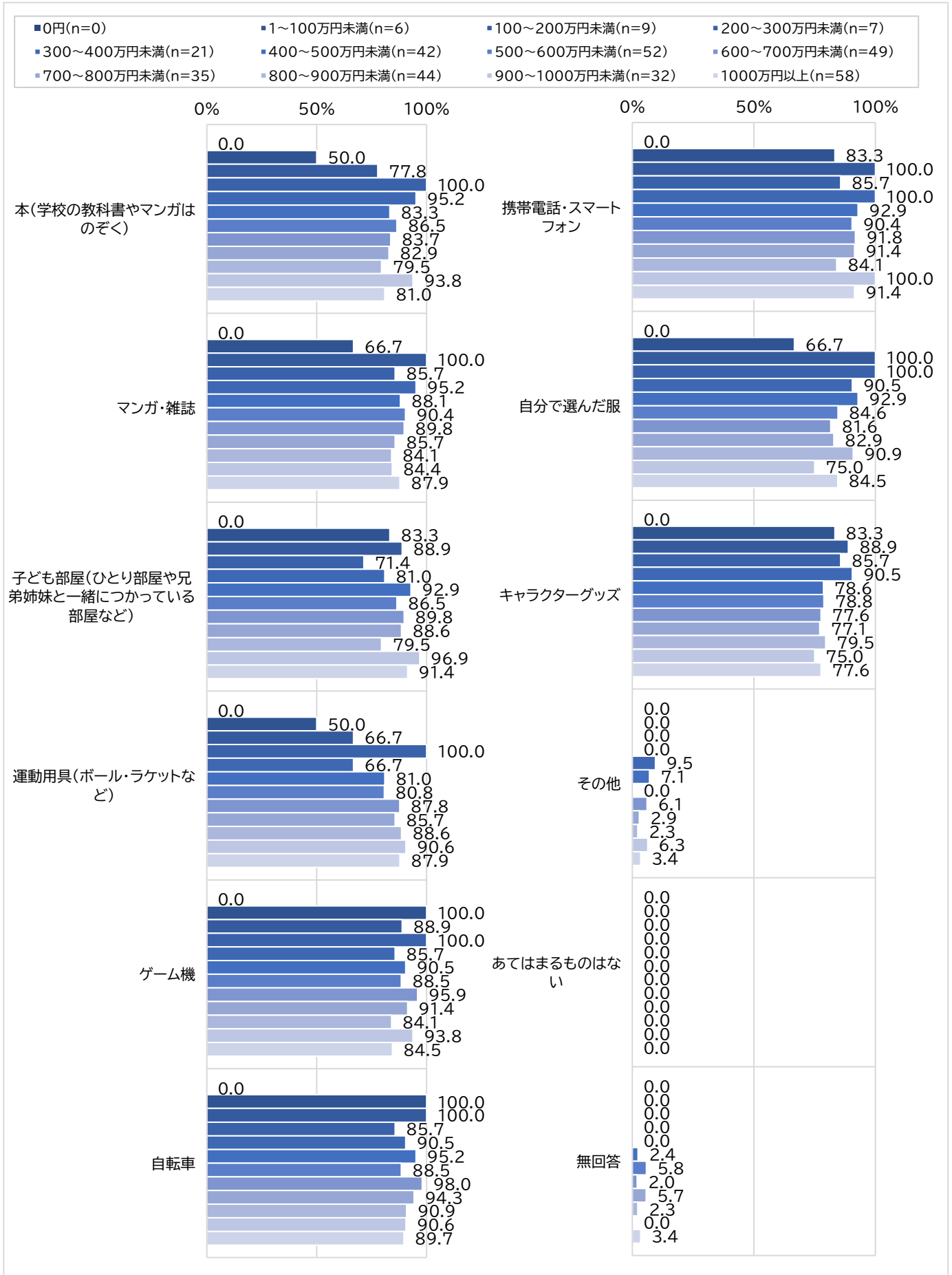
【(親質問)世帯状況×持っているもの】



問5 あなたが持っているものや使うことができるものを教えてください。(〇はいくつでも)

中学2年生

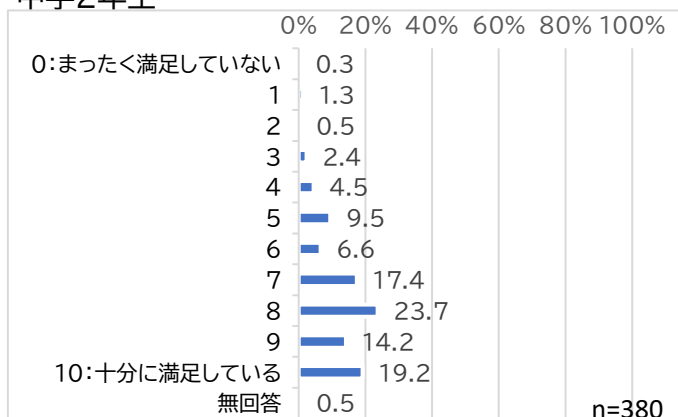
【(親質問)世帯年収×持っているもの】



問6 あなたは、全体として最近の生活にどのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(〇は1つ)

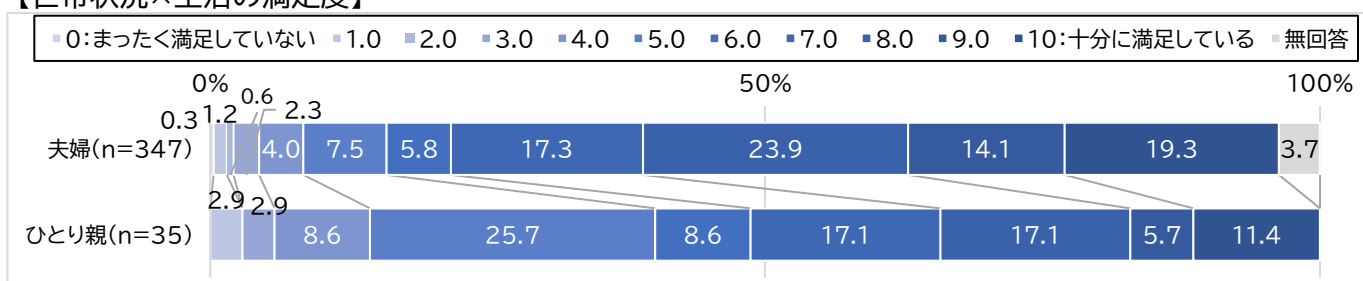
生活の満足度について、「8」の割合が最も多く、次いで「10」、「7」となっています。無回答を除いた平均は、7.49です。

中学2年生



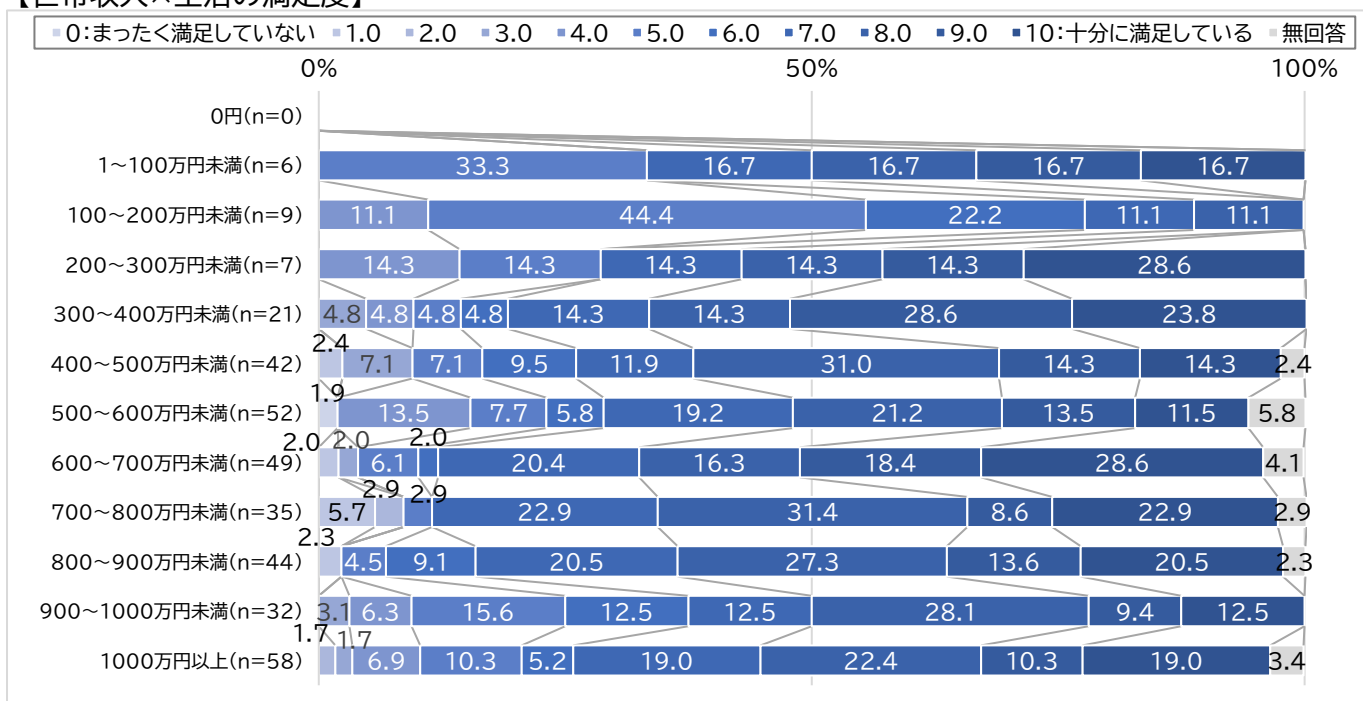
ひとり親に該当するか別でみると、ひとり親世帯に該当する子どもの生活の満足度は、ひとり親に該当しない世帯の子どもと比較し、低くなっています。

【世帯状況×生活の満足度】



世帯収入別にみると、世帯収入が高くなるほど、生活の満足度は向上していく傾向になっています。

【世帯収入×生活の満足度】

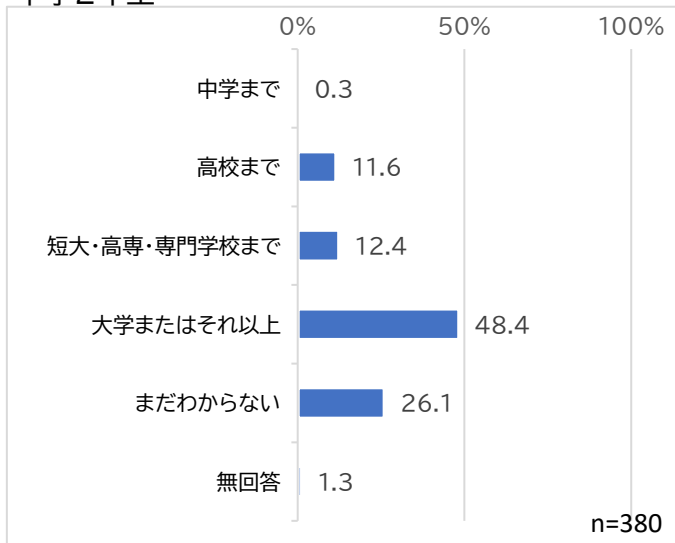


将来について

問7 あなたは、将来どの段階まで進学したいですか。(○は1つ)

「大学またはそれ以上」が最も割合が多く、約半数となっています。次いで「まだわからない」となっています。

中学2年生

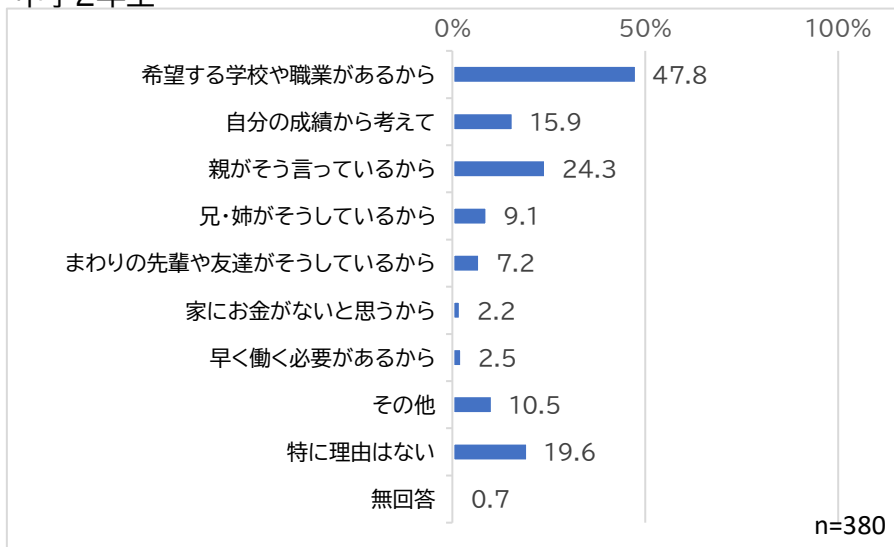


問7で1～4と答えた方におうかがいします。

問7-1 その理由はなんですか。(〇はいくつでも)

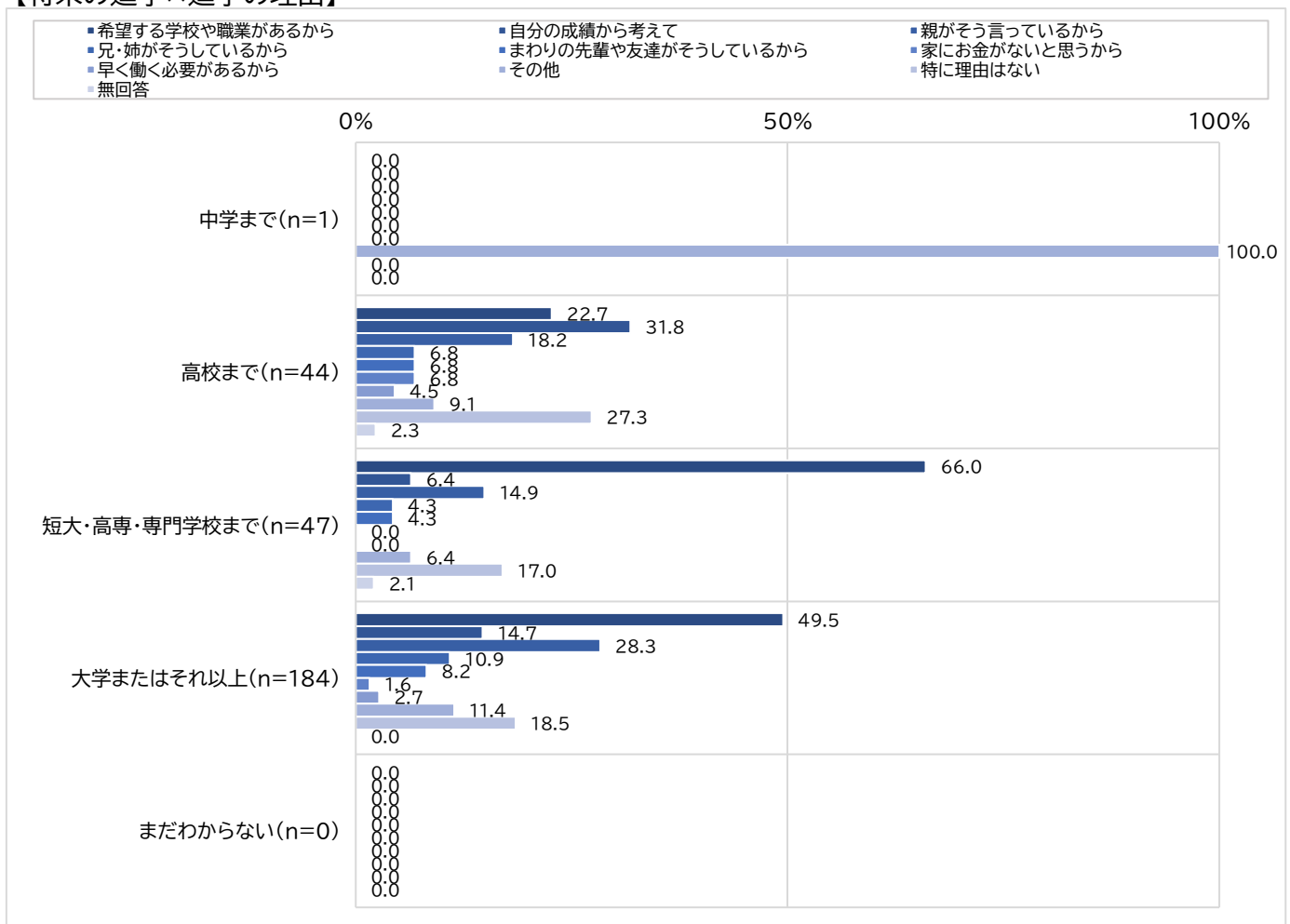
「希望する学校や職業があるから」の割合が最も多く、次いで「親がそう言っているから」となっています。

中学2年生



将来の進学希望別でみると、「高校まで」と答えた生徒は、「自分の成績から考えて」と回答した割合が、「短大・高専・専門学校まで」、「大学またはそれ以上」と答えた生徒よりも高くなっています。
「短大・高専・専門学校まで」と答えた生徒は、「希望する学校や職業があるから」と回答した割合が高くなっています。

【将来の進学×進学の理由】

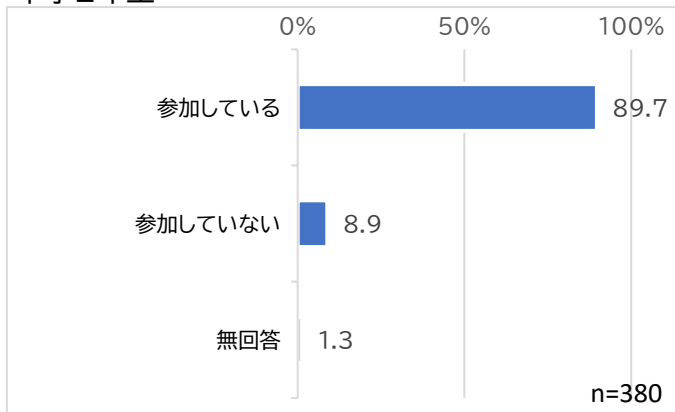


部活動・地域クラブ活動について

問8 あなたは、部活動や地域クラブ活動等の活動に参加していますか。(○は1つ)

「参加している」が89.7%、「参加していない」が8.9%となっています。

中学2年生

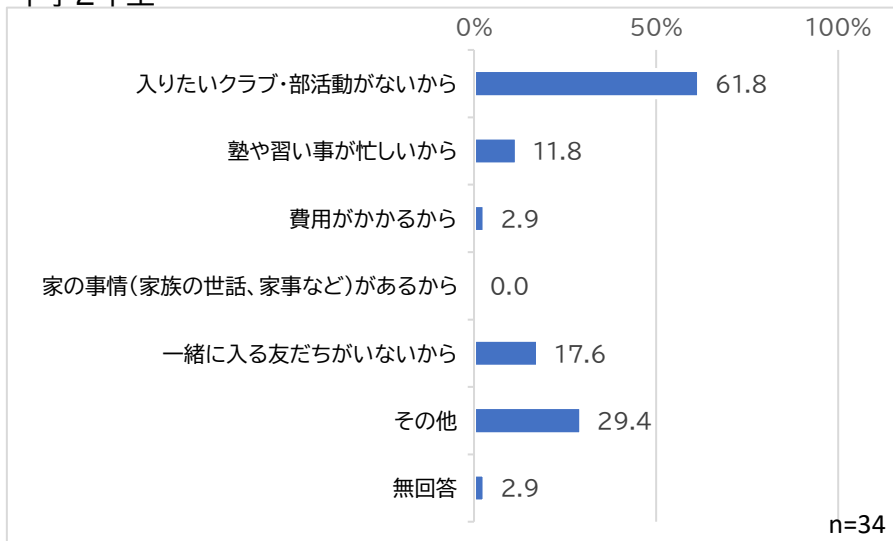


問8で「参加していない」と答えた方におうかがいします。

問8-1 その理由はなんですか。(○はいくつでも)

「入りたいクラブ・部活動がないから」の割合が最も多くなっています。

中学2年生



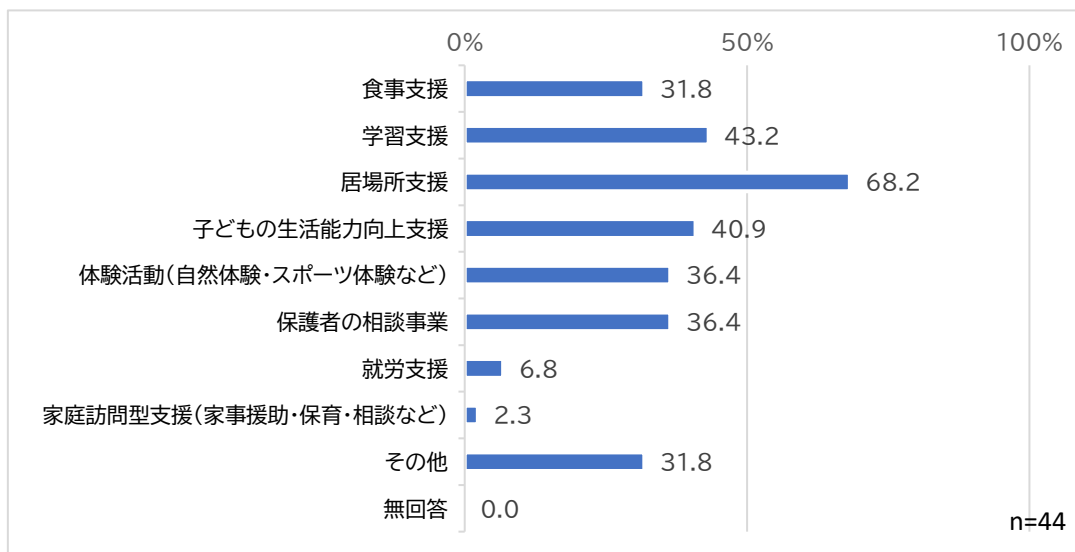
3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

※自由回答等の記載において、具体的な団体名や活動などは伏せて表記しています。

市内で活動する子ども・子育て支援に携わる団体

所属団体について

問1 所属団体で行っている支援内容を教えてください。(〇はいくつでも)



【支援内容その他】

・学生のボランティア受入。学校への付き添いなどの伴走支援。

・送迎支援

・産前・産後クラス

・医業

・学童保育

・当事者交流

・病児保育事業

・産前産後サポート

・未就学児の児童発達支援

・発達、育児相談、月一回のイベント

・昼間独居高齢者(昼食配布)

・親子の遊びの広場

・妊娠期から出産、産後の子育てまでの環境について、より女性の声が届くように市町や県等に当事者の声を伝えています。また、同じ地域の当事者同士がお産について喋り合う場も提供しています。

・多世代交流・ふれあい活動・各種講座等

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

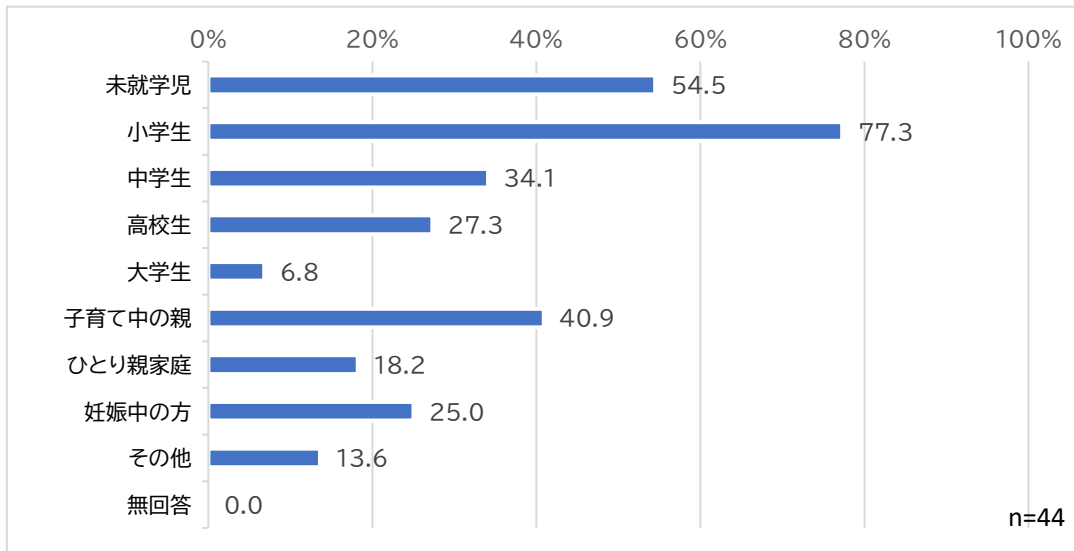
問1-1 具体的な支援内容をお書きください。

支援内容
放課後等デイサービス
子ども食堂の運営
障がい児に対する自立支援全般
主に不登校ひきこもりのご家庭のサポート。居場所を開所し食堂としての食事の提供と親の会にてお話し会。また、個別相談やひとり親世帯へのお弁当や物資の配食。サロンとしてヨガや姿勢教室、みそ作りなどを通してひきこもりの世帯の居場所としても対応しています。
学校の長期休みの間、希望者に昼食の提供 学童内塾での学習支援 他学区の学校迎え、その他の塾送りなど送迎支援 安心安全な居場所の提供
子ども店長によるマルシェの開催等
妊娠期のクラス ベビーヨガセラピー 離乳食クラス等
風邪などの診療
放課後や休日の余暇支援や学習支援等
親子ヨガ、自然体験イベント、リユース品無償譲渡会、料理・保存食作りの体験、等
子ども食堂支援
放課後や長期休みの学童保育
保護者の就労時間に児童を保育する
交流会
「4.子どもの生活能力向上支援」について、実生活と知識の部分でリンクしないことが多いので、保護者より実体験を聞いて、それを支援内容に組み込んで行っている。
病気の保育園児の保育事業
子供の育児相談や不登校児童・保護者に対しての相談
主に未就学の子と親が参加する場所。子供と離れて親がゆっくりできる時間、同じ世代の親子で繋がり情報交換をする場を提供している。
「2.学習支援」「3.居場所支援」「6.保護者の相談事業」について、1対1での個別での支援行っており、主に学習支援やSSTに関する内容を、保護者様のニーズや児童の様子に合わせて1時間で実施している。 また居場所支援の一つとして、障がいの有無にかかわらず未就園児・未就学児を対象に教室開放を行っている。 また、「4.子どもの生活能力向上支援」について、机上で行った学習支援やSSTを実生活に結び付けられるように支援を行っています。
こどもに継続して関わり気持ちの変化等に気づき寄り添ったり、自身で行動できるように支援する
長期休みの給食支援
絵本を通じて親子と触れ合い、新しい絵本との出会いの場としてご利用いただいています
学童保育
妊娠時期から高校生、保護者まで連続的な切れ目の無い伴走サポート
宿題
保護者が就労している家庭を対象に、異年齢での集団生活を通して年齢に応じた役割を学び、遊びを通して、心身のたくましい成長を促している。 また保護者・子どもと信頼関係を築き安全に子どもが過ごせる場、安心して子どもを預けられる場の提供を行う
児童発達支援ガイドラインに示されている5領域の支援とその保護者の育児等相談支援
「1.食事支援」長期休暇中に数回の手作り昼食 「2.学習支援」宿題の見守り 「3.居場所支援」放課後居場所作り 「5.体験活動(自然体験・スポーツ体験など)」外遊びの野球やサッカー 「6.保護者の相談事業」定期的な保護者会開催
長期休暇中の手作り昼食用意、放課後の居場所作り、宿題の見守り、外遊びのサッカー・野球など、定期的な保護者会
手作りおやつ、季節の行事など
おやつを提供、宿題を見る、保護者の相談にのる。
母乳育児を中心とした子育て全般の相談や話し合いが出来る場所 母子の健やかな生活の為の学びの場所 お母さんたちの居場所、仲間作りの場
宿題を教える。放課後の居場所作り、おやつ、食事作りや当番活動、長期休みのときの合宿や工作

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

「1. 食事支援」子ども食堂での食事と親子食堂は手作りお弁当のお渡し 「2. 学習支援」子ども食堂前に書道教室をしたり食後に宿題をする 「3. 居場所支援」食後のあそび場提供
放課後児童クラブ
自然素材や廃材等を利用して、簡単に出来るおもちゃ作り。
月2回、教室を開放し誰でも事業所に遊びに来れる形態。基本的にお子様の自由遊びの傍らで保護者と発達や育児相談。保護者同士をつなぐ場として提供している。 月1回、はちばち広場の貸室を借りてイベント実施。
宿題の支援、体幹トレーニング、SSTなど
会食型食堂・ひとり親家庭支援(パントリー)・放課後支援(宿題・ダンス教室・遊び場提供)
ファミリー・サポート・センター事業、託児等の保育、養育支援訪問事業、家事援助
色々なおもちゃを使って、親子で遊びの楽しさを知ってもらう居場所づくり。 絵本の読み聞かせ。ミュージックケア。 食育講座などのイベントも開催。
・県民に向けた「妊娠～出産～産後について」のアンケート ・「滋賀のお産をしゃべり隊」として、奇数月に一度、各市町を回って、その地域を中心に、それぞれの参加者の妊娠出産産後子育てについてお喋りする時間を提供。 また、滋賀のお産環境についても共有
①教育機関に訪問し、ふれあいを通して「赤ちゃんについて知る」「親の思い」「育児体験」等の授業として学びになるよう活動する ②高齢者施設に訪問し、笑顔の時間を共有できる多世代交流をする ③親子で楽しめる場づくり ④子育てや親子時間に役立つ講座開催

問2 所属団体で行っている支援の対象者は誰ですか。(〇はいくつでも)

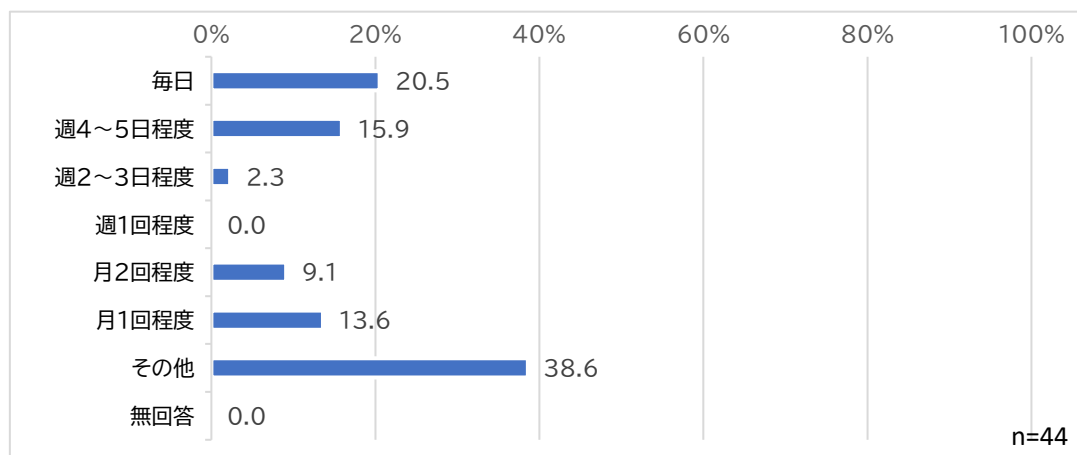


【支援対象者その他】

- ・地域住民全般
- ・不登校ひきこもり
- ・育休中父親
- ・母乳育児に関心のある学生、祖父母
- ・絞ると上記が対象者ですが、基本は誰でもOKにしています。
- ・高齢者

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

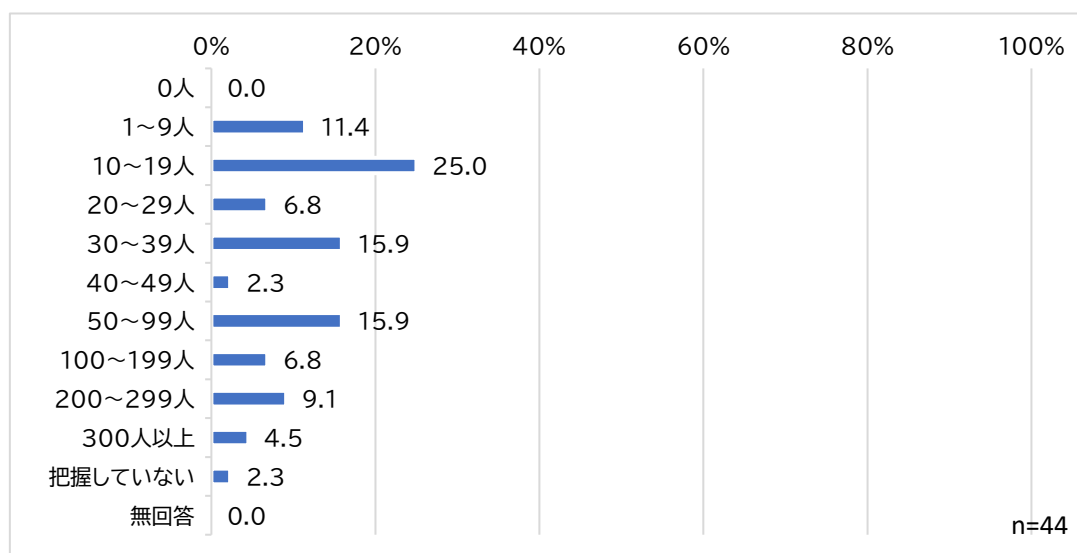
問3 所属団体の活動実施の頻度を教えてください。(○は1つ)



【活動頻度その他】

- ・年に1回
- ・月4から5回
- ・日曜日祝日祭日以外
- ・週5～6
- ・週6日提供
- ・不定期
- ・月曜～土曜、祝日 10時～19時で実施。(年末年始、GWは休み)
- ・週5, 6日程度
- ・週5～6日程度
- ・週6日程度
- ・週5～6日
- ・子ども食堂は年5回 親子食堂は年6回の予定(R6年度)
- ・週6日
- ・月1回の活動ですが、準備の月と開催の月で分かれています。
- ・月～土曜日の週6日
- ・会食型年10回程度・放課後支援宿題は開館日 ダンスは月3回 ひとり親家庭支援毎月1回
- ・不定期開催(時期によりばらつきあり)

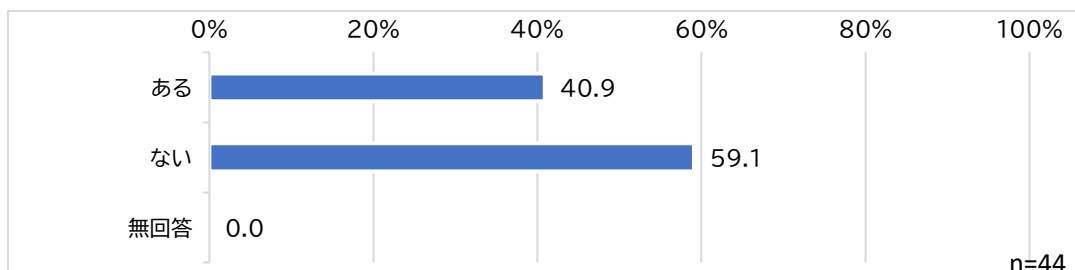
問4 所属団体の月平均利用数(月単位で活動していない場合は、月平均に換算した場合)はどれくらいですか。延べ人数でお答えください。(○は1つ)



困難な家庭の子どもの状況について

問5 所属団体における日ごろの業務の中で、経済的に困窮するなど困難を抱えている家庭(困難な家庭)の子どもや保護者に接することがありますか。(〇は1つ)

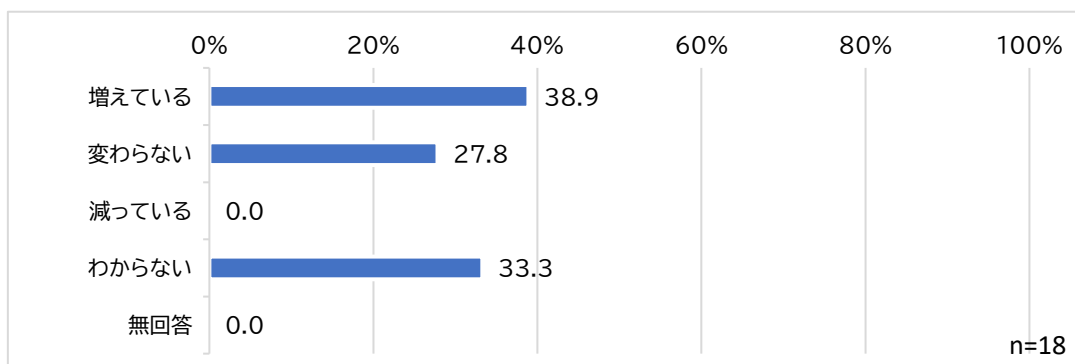
「ない」が「ある」を上回っていますが、40%以上の団体が「ある」と回答しています。



問5で「ある」と答えた方におうかがいします。

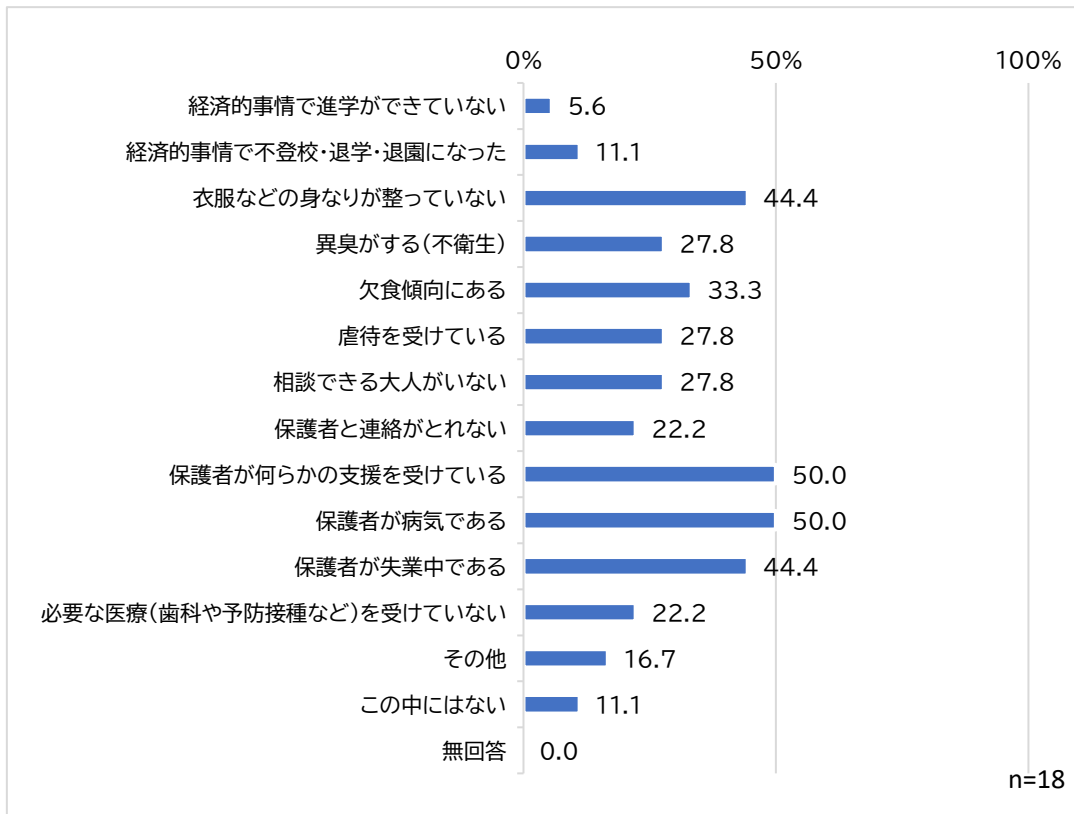
問5-1 困難な家庭の子どもや保護者の数は、5年前と比べてどのように変化していますか。
(5年前以降に設立された団体は設立時と比べてどのように変化していますか。)(〇は1つ)

「増えている」が最も多く、次いで「わからない」となっています。
5年前と比べて、「減っている」は0となっています。



問5-2 これまでの経験のなかで、下記のような状況がみられる子どもに接することがありましたか。
(〇はいくつでも)

「保護者が何らかの支援を受けている」、「保護者が病気である」が最も多く、次いで「保護者が失業中である」、「衣服などの身なりが整っていない」が最も多くなっています。



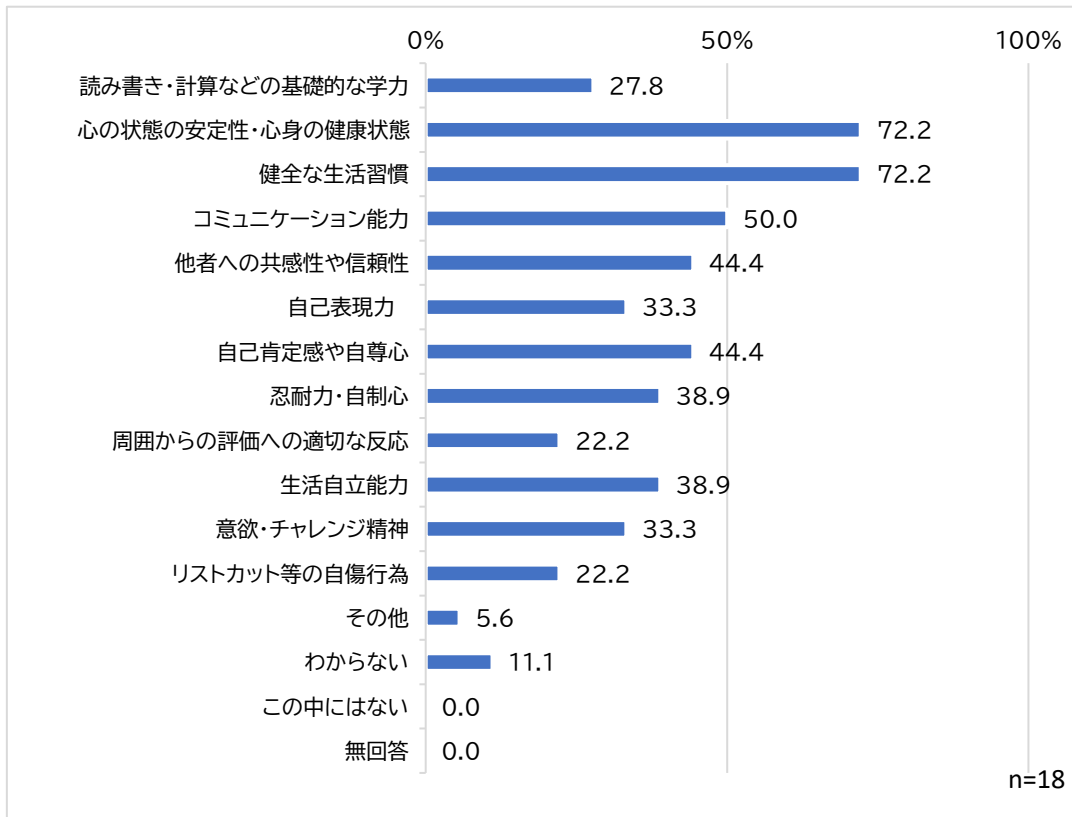
【子どもの状況その他】

- ・保護者が発達障害など
- ・経済的理由で登園できなくなった
- ・経済的な理由ではないが、不登校に対して親から相談がある。

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問5-3 これまでの経験のなかで、困難な家庭環境が子どもにどのような悪影響を与えると感じましたか。(〇はいくつでも)

「心の状態の安定性・心身の健康状態」、「健全な生活習慣」が77.2%と最も多くなっています。



【子どもへの影響その他】

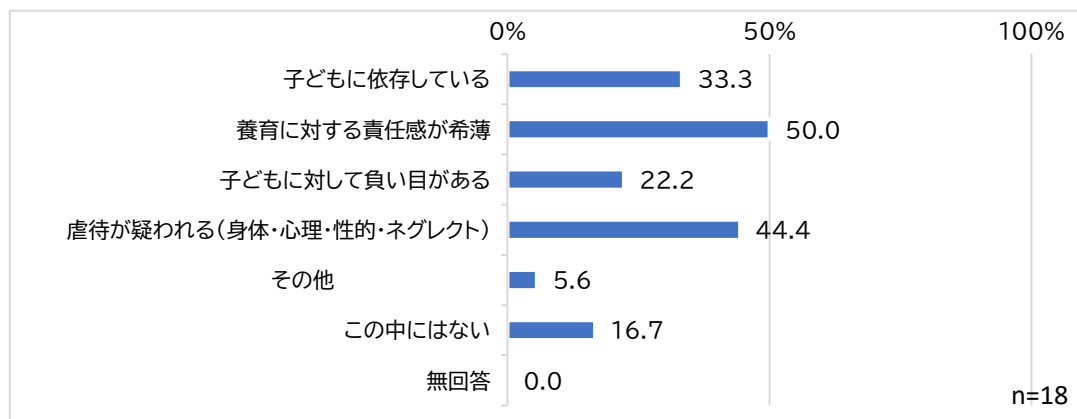
・家庭だけの問題ではないようにも感じています

問5-4 具体例などがあればお書きください。

困難な家庭の子どもの状況・影響について
障がい児の中には保護者様も何らかの障がいを持っているケースがある。その場合、色々な生活に影響が出ていると感じる。
不登校ご家庭ですが、接する人が極端に減るので、親子の共依存関係が生まれやすく分離が難しい事が多い。過去には通報も2件。1件は精神的虐待。もう1件は家庭内暴力。
シングルマザーで仕事が忙しくいつも留守にしている
任意の予防接種はお金がかかるので受けさせられない。☒ 中学生女兒しんどいと訴えて早退して一人で来院。診察時リストカットに気づき色々話をして自分を傷つける行為はしないようにと話す。ただ親には言うて欲しくないと言われる。
在宅で常に座位での生活時間が長く、歩行確立が出来ていない2歳児
食事を学校給食に頼っている家庭がある
保護者が地域で孤立し、学校との関係も悪いため、子どもに色々な選択肢がない状態だった。
親からの暴言(あほ、ばけ、おまえなどの心無い言い方)

問5-5 これまでの経験のなかで、子どもとの関わり方で下記のような特徴がみられる保護者に接することがありましたか。(〇はいいくつでも)

「養育に関する責任感が希薄」が最も多く、次いで「虐待が疑われる(身体・心理・性的・ネグレクト)」となっています。



【保護者の特徴その他】

・子育てを悩みながらされている。

具体例
ネグレクト
一部ではあるが食事を適切に与えないなど虐待案件があった。
保護者がなぜこうなってるのか?をいつも考えます。 不登校のご家庭は24時間親子が一緒にいる人もいます。依存関係になるのは必然です。子どもの困難の度合いによって家庭内がギクシャクするところから始まりエスカレートしていくケースが多いです。
学校がある日にひまわり館に出入りする子どもがおり、学校を通じて保護者に連絡をとってもらったが、保護者は迎えに来ず、教頭先生が、迎えに来られた
予防接種の予約をしているのに忘れる保護者が結構多い
ダウン症の児童育児家庭でネグレクト、要保護児童対策協議会で協議が必要な家庭の対応
食事の準備ができないことが疑われる
・子どもの育てにくさに母がイライラして暴言や手が出る。・母が心身ともに不安定なため子どもも不安定になり、学校に行けない。母は子どもが学校を休むとしんどくなり養育ができない。
親からの暴言

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問5-6 これまでの支援に対し、どのような効果があったと思いますか。(自由回答)

支援の効果
本人の変化、相談員を通じての家族の気づき
状況が酷い場合は相談支援員や児相を交えて解決方法を模索している。
とにかく親の話を聞く。親子分離。伴走型支援によって親子で回復するケースは多かったです。出席認定のお願いができないご家庭へ付き添い学校と保護者の間を取り持って子どもさんが他で過ごすことをみとてもらえたり、ご家庭にベストなつなぎ先へお連れしたりしました。また、居場所を開け続けることで地域への安心も届けられました。
放課後や休日の居場所づくりができた。利用されていなければ家に帰ってゲームをしたり、動画を見ているだけだったと思う。
直接の支援は行わず、学校や関係機関につなぐ支援が中心でしたが、どこにも行く先がない子どもにどのような支援ができるのがまだ手探りです。
職員とのやり取りを通して、コミュニケーション能力の向上、性格の改善等がみられた。
子供達が健やかに育っているのを見たときに良かったと思います。
学童保育所にいる間は安心して過ごせるようにできた事も多いと思うが、家庭環境までをサポートするまでは力不足とを感じる
子どもと一緒に過ごす場所で親のケアをすることで子どもが自立できる
子育て世代の集える場所として認知
ひとり親世帯の方へのお弁当の支援では、お弁当の日はゆっくり子どもと接することができると喜ばれている。
ひとり親家庭支援事業では、毎月のパンドリーの案内を待っておられる声が届いている。
子どもの預かりや母の気持ちを聞くなどすることで、子育ての負担の軽減になった。
グループワークなど子育ての悩みを話す場で、親の話を寄り添って聞くことで、気持ちが楽になり元気になって帰ってもらうことができた。

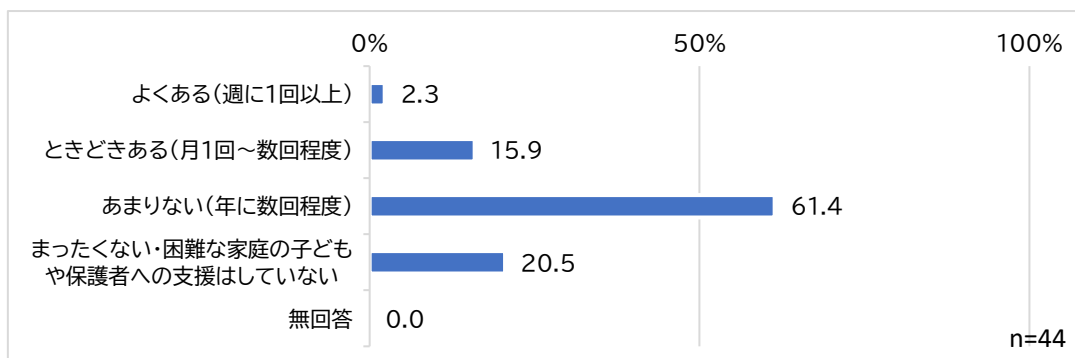
問5-7 これまでの支援のなかで、どのような点が困難であると感じていますか。(自由回答)

困難であると感じていること
どうしても段階を踏む必要があり、時間がかかる
家庭内の状況を全て把握することは出来ないで、児相に相談する線引きが難しい。無理に親子を離してしまうと、より困難な状況になることもあった。
つなぎ先が少ない。公的機関との連携がそこまでじゃないのでここまでの情報が全くない状態での相談。子どもさんの状態が重く心をほぐすことに長くかかってしまうケースなど。
受けた相談内容を、どこに繋いだらいいのか、子育て支援の場合、特にわかりません。
経済格差により、サービス提供に工夫が必要と感じる。
個人情報の扱いというか、情報が少ない。また学校との連携が取りにくい
診察時間内ではゆっくりと時間をとって話すことができない
踏み込める範囲に限界がある。家庭環境までを改善するまでには多方面からの支援が必要
支援者側の経済的困難
話を聞くことしか出来ない点、保育中に相談を受けると支援員が足りなくなる点
ひとり親世帯へは公式ラインによりお弁当の受け渡しが、去年に比べスムーズになったが、ラインを入れその時間に在宅をお願いしているのに留守の場合がたまにあり、食べ物なので玄関外へ置いておくこともできず、持帰るしかないことがある。
物価高騰で生活が大変であること
・信頼関係を築くこと。
なかなか心を開いてくれない人の支援。

関係機関との連携について

問6 所属団体において、困難な家庭の子どもや保護者への支援を行うために他の機関や団体と連携する機会はどの程度ありますか。(〇は1つ)

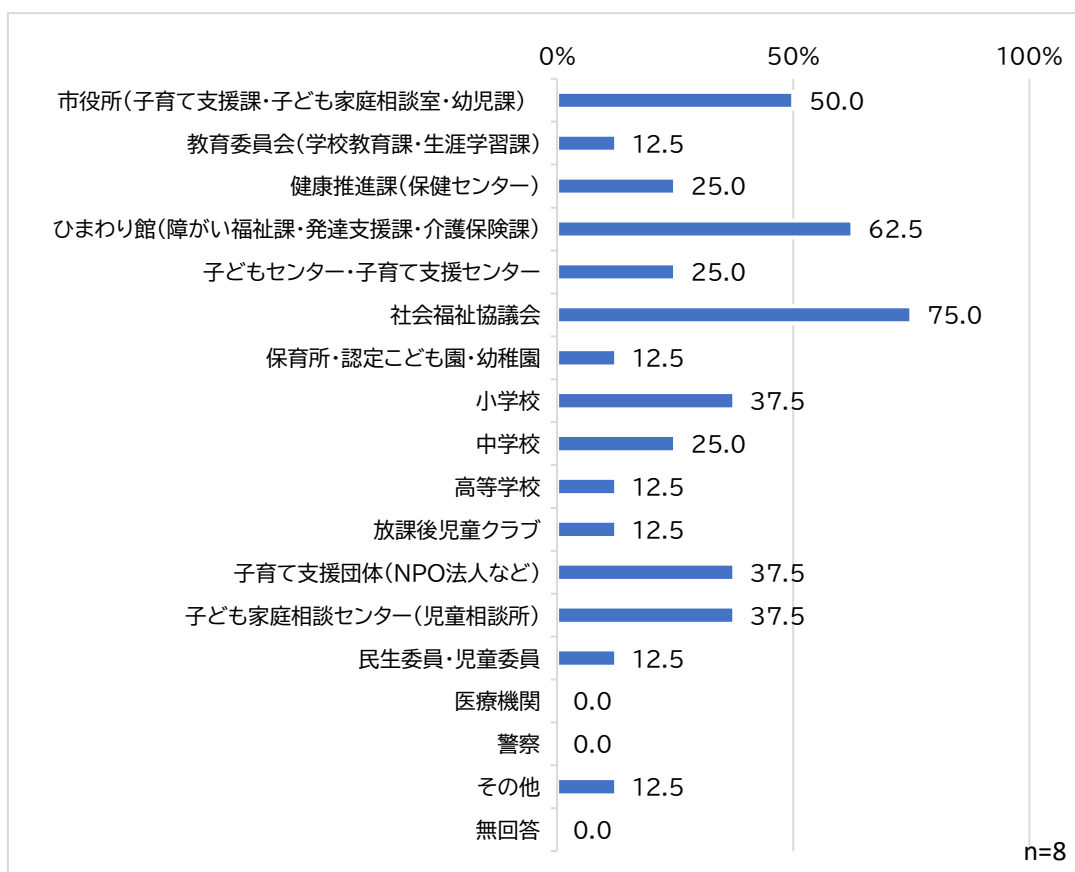
「あまりない(年に数回程度)」が61.4%と最も多くなっています。



問6で「よくある」「ときどきある」と答えた方におうかがいします。

問6-1 現在、困難な家庭の子どもや保護者への支援を行ううえで、連携している機関や団体などがありますか。(〇はいくつでも)

「社会福祉協議会」が最も多く、75%となっています。

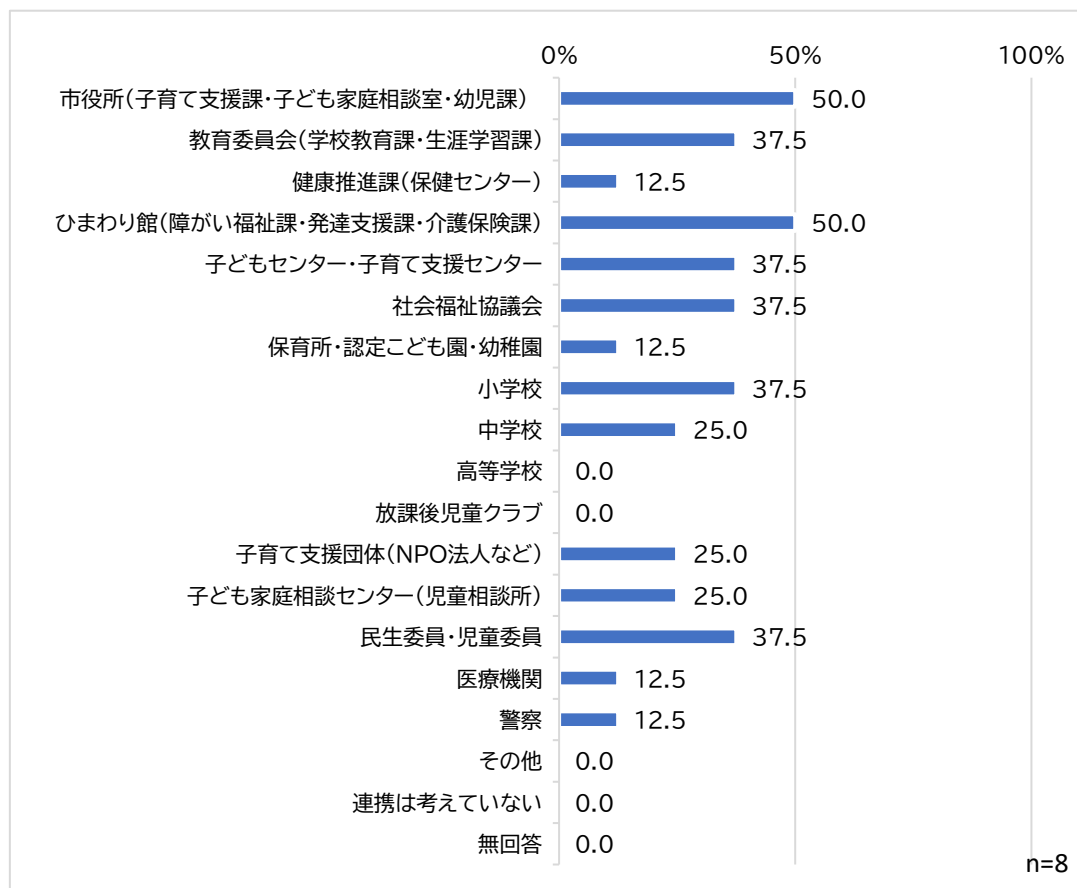


【連携している機関や団体その他】
・相談支援事業所

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問6-2 今後、困難な家庭の子どもや保護者への支援を行ううえで、連携を考えている機関や団体などがありますか。(〇はいくつでも)

「市役所(子育て支援課・子供家庭相談室・幼児課)」と「ひまわり館(障がい福祉課・発達支援課・介護保険課)」が最も多くなっています。



3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問7 様々な支援を行うなかで、所属団体の活動全体に対する課題はありますか。(自由回答)

<資金面>

活動全体に対する課題
物価高、職員の賃金アップを図る中での、令和6年4月の報酬改定で報酬単価が下がること。
資金繰り 無報酬での支援の限界
経済事情。
はちはびひろばの前で活動をしているが、駐車場代がかかる。
金銭面でのやりくり

<体制、人材等>

活動全体に対する課題
支援員の確保 賃金アップは可能だが、扶養の範囲でとなると週に働ける日数がどんどん少なくなる。
人員確保
学童が増えてなかなか細やかなところに手が回らない
地域活動者、ボランティアの不足
自校舎では、OT・PT・STなどの専門的な支援を実施できる職員が居ないため、他の校舎のOT・PT・STのお話を聞いて勉強を行っているが、実践に移す上で困難を期している所はある。
ご利用を希望されても送迎の都合などですべての希望に答えられない
支援員の確保
支援者の確保
直接現在困っていることはないが、スタッフの人数、時間・資金的な余裕が今後増えれば、更に活動を広げられると思う。
運営側の人手不足、資金不足、周知が足りずもっと早く知りたかったという人に時々出会うことがある
子育て真っ最中のスタッフによる運営のため、できることをコツコツ続けることです。
業務が多岐に渡り行き届かない時もあるのでは、と感じる
活動の継続と発展性。 場所や資金だけでなく主体的に活動してくれるメンバー作り
わずかな時間でしか活動ができていないこと

<周知活動等>

活動全体に対する課題
妊娠中の方々の認知度が広がらない
こちらの努力不足もあるが、周知活動があまりできていない。
多世代への周知(特に妊娠希望されてる方や、初めての妊娠をされた方とその配偶者)

<行政や学校等との連携>

活動全体に対する課題
今後増えることが予想される中、市や相談員、学校との連携が必要
当活動は、全ての小学生対象と、ひとり親世帯対象の二本だてで実施していますが、ひとり親家庭の情報が行政から得られないため大変苦勞しています。スタッフの人的つながりだけに頼っているのが現状です。行政からひとり親家庭さんに当活動のことを知らせてもらうことはできないのでしょうか。また当活動の取り組みの中で知った子どもの困難さを行政に知らせたり訴えたりしても、なかなか動いてもらえず、虚しいばかりで心を痛めています。

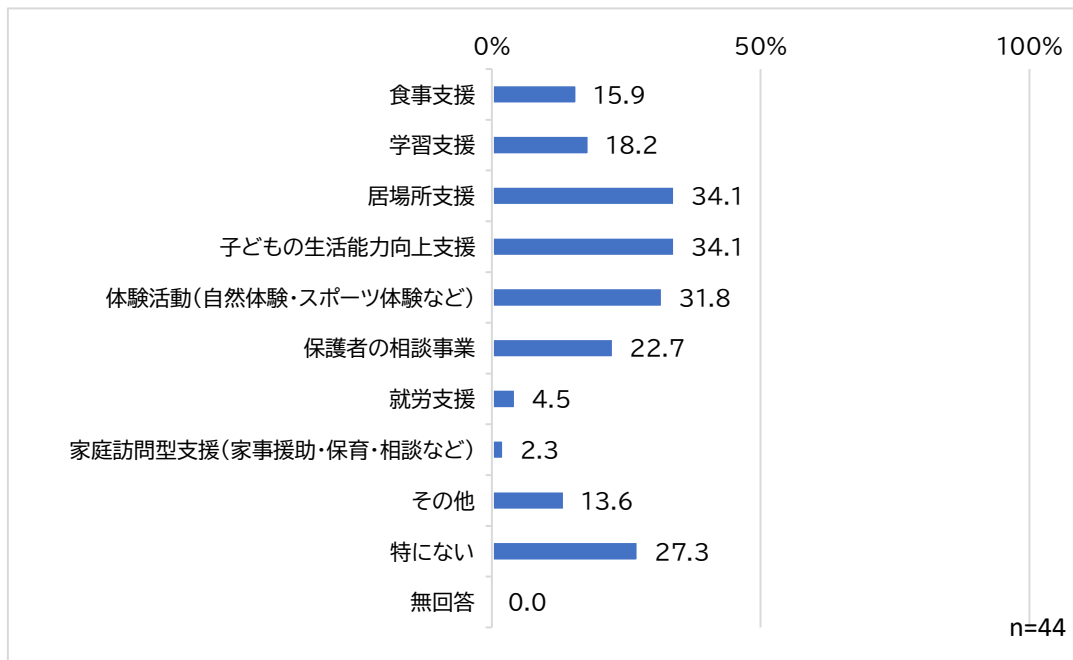
<保護者や児童への支援等>

活動全体に対する課題
通所児童全員への平等な支援 安心して保護者が働ける学童
子どもの実態と保護者のニーズへの乖離やもっと支援を受けたいが支給量に限度があること
家庭での虐待がないか？把握する。
外国籍の子がいます。保護者とのコミュニケーションが難しい。
ひとり親家庭支援事業では、物資を買うための資金確保や宿題支援ではボランティア指導者の確保
短時間の場所提供のみなので、その時間を充実させる方策

支援活動の課題と今後の取り組みについて

問8 所属団体において、今後取り組みたいと考えている支援内容はなんですか。(〇はいくつでも)

「居場所支援」、「子どもの生活能力向上支援」が最も多く、次いで「体験活動(自然体験・スポーツ体験など)」となっています。



【取り組みたい支援その他】

- ・不登校ひきこもり等の支援
- ・交流
- ・市内の情報提供
- ・未就学児対象での小集団
- ・幼児教育における多様な学びの確保と確立
- ・現在の内容を引き続き進めます。

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問8-1 取り組みたいと考えている具体的な支援内容

<食事支援>

取り組みたい支援
現在の活動に加え、こども食堂的な食の集い場を設けていきたい
フードドライブ活動で子ども食堂への支援も考えたい。
休み期間に弁当を作るのが大変
掃除やおやつ当番などを子どもたち主体でできるよう支援したい
掃除やおやつ当番を子どもたちが主体的にできるよう支援したい。
コロナ前にやっていた「あかちゃん食堂」お母さんと離乳食作りや「おやこ食堂」遊びの場と食事の提供を再開できればと思っています。

<居場所支援>

取り組みたい支援
つながっているひとり親世帯、不登校世帯への週に1回の学習支援と15歳以上の職場体験(お弁当屋)。
高校生の不登校の居場所。
丸ごとひっくるめてのフリースクール事業を考えています。
幼稚園・保育園とは別の第3の選択肢として確立させる
メンバー間での交流を深め、ここに参加したら大丈夫と思って育児を楽しむ事ができる居場所づくり。

<体験活動>

取り組みたい支援
サッカーやドッチビーなど皆に広げたい。
自然探検など実施したい。
キャンプ、昆虫採集など
多世代交流
現在主体となって活動してくれている未就園児だけでなく、年齢を問わず体験できる事業をする。

<相談事業>

取り組みたい支援
子育て支援事業のことなのか、事業所のことなのかは質問ではわからないのですが、毎週利用時の質の高い家庭相談
「6.保護者の相談事業」はひとり親世帯のお弁当配付の時にちょっとした困りごとなどないか聞き取りができれば関係機関に繋ぐこともできる。
相談を受けたことに対して、具体的なアドバイスや必要な専門的な機関や他団体につないでいけるようにしたいと思っています。

<その他>

取り組みたい支援
学区社協やまちづくり協議会等で実施されている子育て支援事業、なかでもひとり親家庭への支援の取り組みについて、助成をするなど関わってきたい。
ひとりじゃないと思える当事者のつながり
不登校に力を入れたい。
若い世代が多用しているInstagramを使って、他の支援団体、市民サークルなどの紹介を積極的にしたい。
1~2回/週で2時間の小集団をを実施していきたいと考えている。
基本的な生活力をつける
現在のところ新たなことは考えていないのですが、絵本を通じて広げられたらいいなと思っています。
習い事
今の障がい児に対する療育の質を向上させる

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問9 困難な家庭の子どもや保護者に対し、どのような支援がもっと必要だと思いますか。所属する団体で実際に取り組まれている支援いかにかわらずお答えください。(自由回答)

<学習支援>

必要な支援
教育
多様な学びへの理解と配慮
義務教育後の支援が、途絶えてしまうことで、困難な家庭の子どもの将来の展望がない。
八幡学区もそうですが、子ども食堂や放課後教室がイベント化していて(それはそれで意味はあるのですが)本当に支援を必要とする子ども達が参加できないこともあるように思います。学区内に2~3か所あればきめ細かい支援ができるのではないのでしょうか。その場所を提供してほしいです。(例えば、八幡学区であれば子どもセンター・旧教育集会所・ひまわり館など)学習保証をねらいとして月2回放課後教室の取り組みをされていますが、本当に必要なのは中学生への受験対策ではないのでしょうか。多くの子どもたちが塾通いをする中で、取り残されていったように思います。中学生への支援は学校教育課か生涯学習課がされるのかは知りませんが、色々な課でそれぞれ総合的に取り組むより集中してやってほしいです。

<居場所支援>

必要な支援
安心して行ける場所と、安心して話せる人
参加無料のイベントを開催して、楽しんでもらえるようにしています。また子ども用品交換会などに取り組んでいます。(ピースマムとして)

<相談事業>

必要な支援
相談、話が出来る場所、人、関係づくりと受け取る側の意識向上
相談先や居場所。公、民含めた適切などころへ繋ぐ支援。
困難な家庭の子や保護者は視野が狭まっていると思われるので、自力で支援団体を探すのは困難かと思います。
人目につく場所で、 『ほけんの窓口』や『旅行代理店』のようなぎっくばらんに立ち寄れる場所があるといいのではないのでしょうか。 両者は敷居低く、入りやすい工夫が大いにあると思います。子育て支援の窓口もそうあるべきだと思います。
自校舎で知った困難な家庭のお子様や保護者様に関する情報共有がスムーズにできる環境
こどもの話をきき、信じる 子ども自身が解決しようがない課題がある場合は改善できる方法を考えて、職員で共有する
何かの支援を受ける際の支援を活用する側の敷居が下がる(気軽に相談や利用ができる地域の風土づくり)取り組み
スーパーや商業施設、図書館やコミセンなどオープンな場所でいつでも相談や話が出来る場所(予約や定員など制限がないなどできるだけ気軽に寄れるよう)
ありのままを素直に相談できる機関
継続して相談できる機関が必要。
困ってから助けてと言にくい状況があると思うので、どの状況でも必ず出会える、顔見知りや信頼関係を持てる関係を、妊娠期から持つことが必要ではないかと思います。

<経済的支援>

必要な支援
助成金の枠が狭すぎる、180人児童がいても助成金を受けられるのは数名しかいない。 3人目の児童の保育料は補助して欲しい
市の助成金制度
保育料の減免、無償化
ひとり親家庭への経済的支援
継続的な経済的支援
補助金を増やす
以前に市の助成金に関して、ひとり親家庭の方が、少し給与が上がった事により助成金の対象ではなくなった。そんなに所得が増えたわけではないのに。とおっしゃった方がおられました。

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

<情報発信>

必要な支援
まず、困難を抱える子どもや保護者への受けられる支援情報が届きにくいということがあります。この頃は、様々な支援が多方面からあるにも関わらず、それを知らない家庭がかなりあります。若い親向けにSNSなどを使って市内で実施されている支援情報を届けてあげてほしいと思います。
どこに相談したらいいかが明確にわかると相談しやすいのかなと思います。 困難な家庭の方は、時間的にも気持ち的にも、自ら情報収集をされてSOSをだすのが難しいのではないかと思いますので、「こんな支援を受けることができる」というのがわかりやすいように、情報を届けてもらえるといいなと思います。 後から、こんな支援があったんだと感じる事もあるので、受身な人にも届きやすい支援があればいいと思います。
保護者様が相談できる所の周知

<その他>

必要な支援
家庭単位ではなく、社会全体で子どもを育てる機運の醸成と仕組化
愛情や心のふれあい等が必要
もっと他機関と連携がとりたい。定期的に会議等を行い支援の方向性を相談したい。

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問10 近江八幡市に対する子どもの貧困対策に関するご要望などがあればご記入ください。

<食事支援>

ご要望
物価が高騰して今までよりも生活費が膨らんでいる家庭がほとんどだと思います。その中でもまだ小学校や幼稚園で給食があるのは有難いという話を聞きます。子どもにとって「食事」が何より大事だと思います。そのあたりを対策していただけると有難いです

<居場所支援>

ご要望
学童にこどもを預けている世帯より、子どもだけで時間をすごさなければならない児童が沢山いると思う簡単に犯罪に巻き込まれやすい時代になってきており、居場所づくりが大切だと思う。
コミセン等、子どもが自分で行ける所での 学びの場、遊びの場。
仮に漫画図書館(飲食自由)のようなものがあれば、さまざまな子供が集まるきっかけになると思います。貧困家庭には食事を提供する、居場所になる。管理運営も子供に関わらせるなど。

<経済的支援>

ご要望
支援金等が必ずしも子供に使われているわけではない場合があるので、資金用途などを明確にできる仕組みづくりをお願いしたい。
助成金制度で先に全額払わないといけないので半額でいいようにしたほうが負担が減る
ファミサポの利用料の助成。まずは、ひとり親家庭などに対して検討していただきたい。
補助金増額してあげてほしいです。

<情報発信>

ご要望
情報弱者の状態にある貧困家庭に情報が行き届く仕組みづくり

<その他>

ご要望
就労支援
お子様に関わる全ての関係機関での連携・情報共有が行えると良いかと考えます。
当団体は母乳育児を中心に支援しています。貧困対策として母乳で育てることはミルク代の削減だけでなく母子の長期にわたる健康につながり、医療費の削減に効果的であるといわれています。近江八幡市として母乳育児推進、母乳で育てたいお母さんの支援により一層力を入れて頂きたいと思います。
貧困家庭に対する経済的支援はもちろんですが、教育的支援をするための学生ボランティアを市として確保してほしいです。本市には大学がないため学生ボランティアが集めにくいのです。子どもの貧困対策は行政だけでできるものではないので、私達のボランティア活動に対して理解をしていただきたいのと協力・連携もお願いしたいです。
その時々で支援してもらうことももちろん大事ですが、そもそも貧困にならない為に、貧困を脱出するために、という支援があればいいと思います。
企業から、ひとり親家庭対象のイベント(生活物資の配布含む)の提案がありました。これまでも困っている子育てに世帯に何か物資のプレゼントを、という声かけをいただいたことが数回ありました。対象者を限定したイベントは周囲の目があたりで、親子が来づらいのではないかと思います。せっきくの申し出を活かしていません。今後こういった企業の申し出にどのように答えていけるか、関係機関さまにもご相談したいです。

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

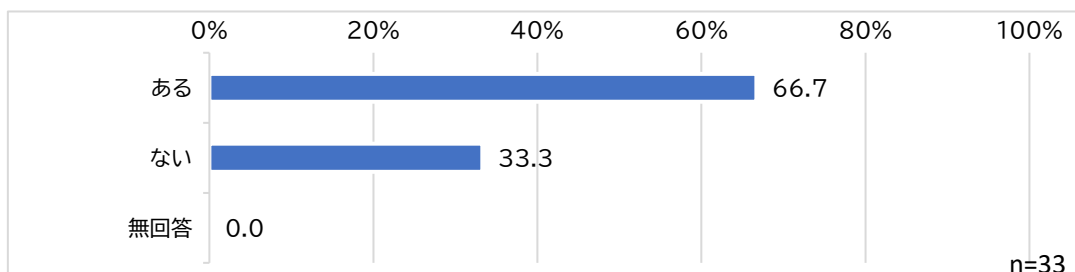
※自由回答等の記載において、具体的な団体名や活動などは伏せて表記しています。

市内の保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校

勤務されている学校園について

問1 勤務されている学校園における日ごろの業務の中で、経済的に困窮するなど困難を抱えている家庭（困難な家庭）の子どもや保護者に接することがありますか。（〇は1つ）

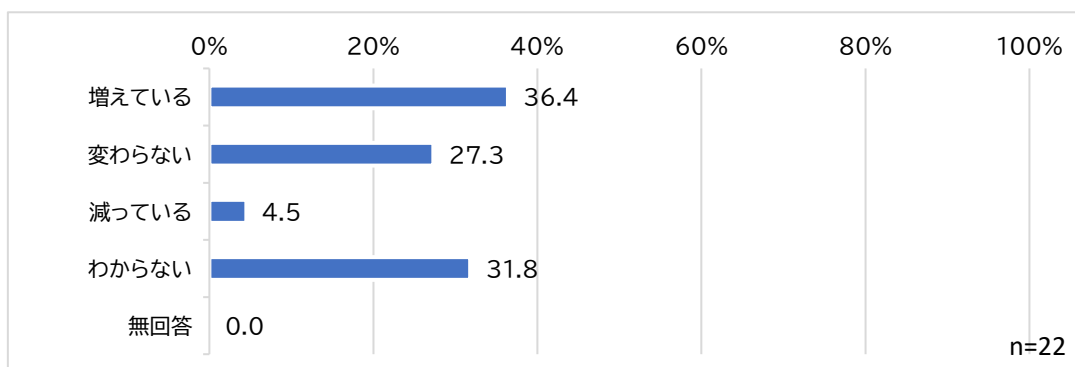
「ある」が66.7%となっています。



問1で「ある」と答えた方におうかがいします。

問1-1 困難な家庭の子どもや保護者の数は、5年前と比べてどのように変化していますか。（〇は1つ）

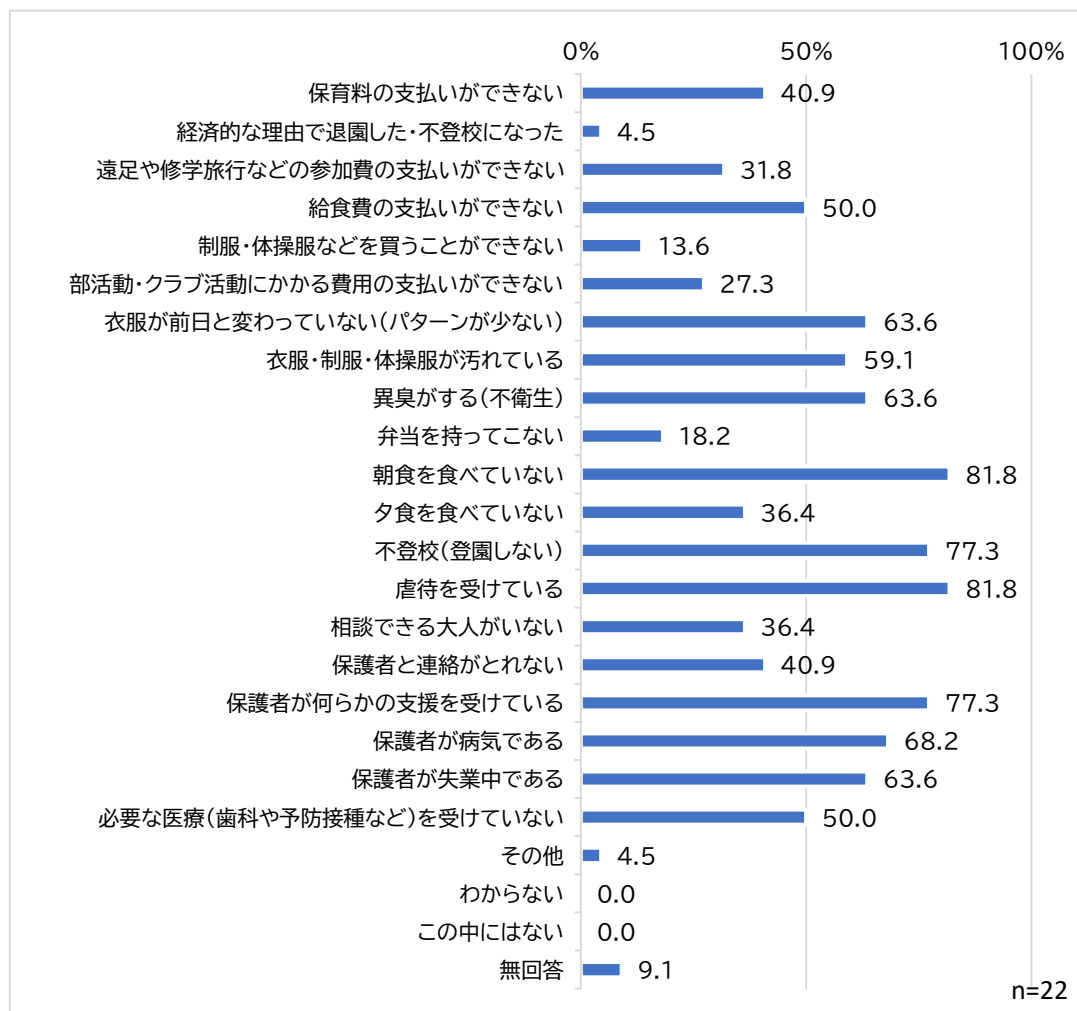
「増えている」が最も多く、次いで「わからない」となっています。



3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

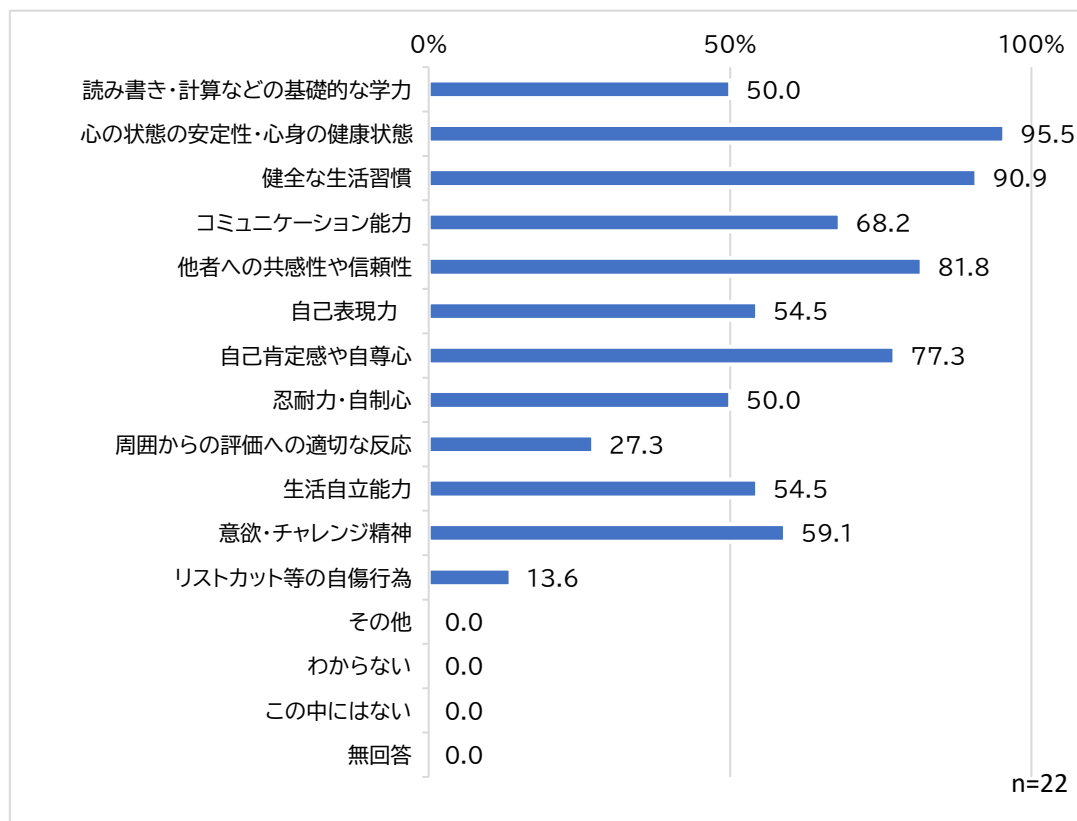
問1-2 これまでの経験のなかで、下記のような状況がみられる子どもに接することがありましたか。(〇はいくつでも)

「朝食を食べていない」、「虐待を受けている」が81.8%と最も多く、次いで「不登校(登園しない)」、「保護者が何らかの支援を受けている」も77.3%と高い水準となっています。



問1-3 これまでの経験のなかで、困難な家庭環境が子どもにどのような悪影響を与えると感じましたか。(〇はいくつでも)

「心の状態の安定性・心身の健康状態」が最も多く、次いで「健全な生活習慣」となっています。「他者への共感性や信頼性」、「自己肯定感や自尊心」も約80%と高くなっています。



問1-4 具体例などがあればお書きください。

困難な家庭の子どもの状況・影響について

保育料は無償化のため問題ないが、諸費の引き落としが残高不足でできず、現金徴収の期日を延ばしてほしいという申し出があり後日納入された。

保護者自身の生き立ちや特性等が、子育ての困難さや家庭環境のしんどさに影響していた。加えて、身近に相談したり頼れる親戚や友人がおられず、孤立しているケースがあった。

- 保育料が支払えないわけではないが、滞りがちである。(口座振替ができず現金徴収)
- 欠席日数が年間50日を越えたり、遅刻や欠席が続いたりする。その為、集団での経験が 少なくなりがちである。
- 面前DVやネグレクト傾向にある。
- 要受診の健診がなかなか受けられない。

おむつの購入が難しく園に借りにこられたケースがあった。長期欠席の後、出席したときに体重や体力の低下が見られた。継続して登園できるように支援をしている。食事に困り、園に食材がないか(食べられるものがないか)聞きに来られたことがあった。

十分な食事とゆっくり時間をかけて楽しむという団らんの経験が乏しく、学校生活へ向かう体力的、精神的基盤が築かれていないと思われる家庭がある。

生活習慣が整わず、欠席がちになり、学力が厳しくなる。学校や家に居場所が見つけれず、早婚や若年出産、離婚につながるケース。生活が安定していたら、出席率が上がり、いろいろな経験ができたのではと思うケース。支援級に就学したが、生活が安定していて、保育所にたくさん来られていたら・・・と思うことがある。

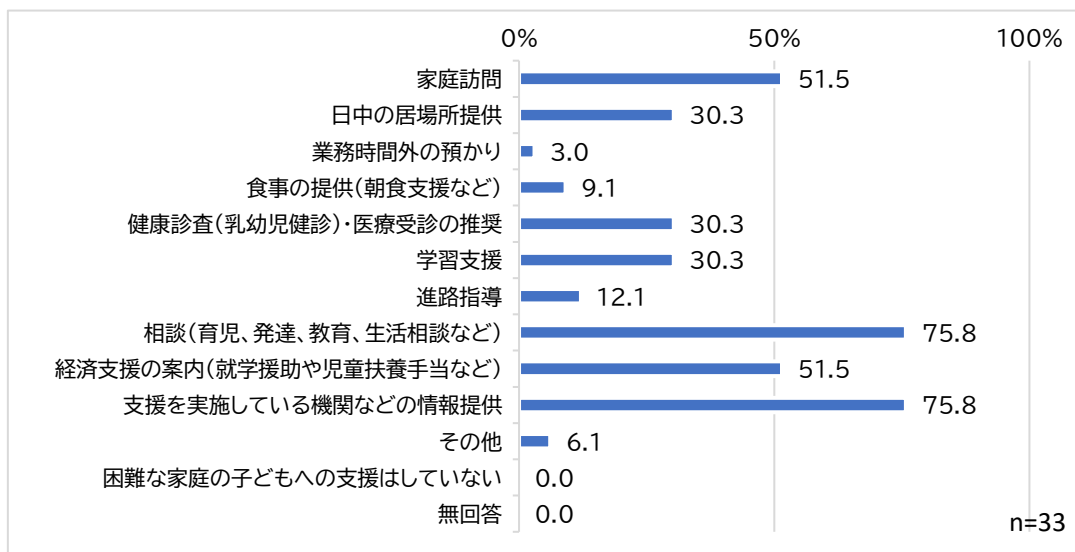
父母が不仲であり、父が家庭に帰らない。母や病気を患っており働けないにもかかわらず、父の収入を生活費として母に渡される額が十分ではないというケースがありました。2人姉妹のケースでしたが、2人とも自己肯定感が低く、学校に登校しづらい状況となっていました。

諸費の支払いについては引き落とし不能となる家庭が増え1名から5名程度になっている。虐待については増えているわけではないが深刻化している。

困難な家庭の子どもへの支援について

問2 勤務されている学校園では、困難な家庭の子どもや保護者にどのような支援を行っていますか。(〇はいつでも)

「相談(育児、発達、教育、生活相談など)」、「支援を実施している機関などの情報提供」が75.8%と最も多くなっています。



【支援内容その他】

- ・支援を実施している機関との情報共有
- ・電話連絡、登降園時に連携

具体的な支援内容

朝の送り出しがお母さんにはできないので、お祖父さんが仕事に行く前に学校へ送り届けてもらう。7時10分ごろ。

保護者や他機関との連携

とにかく保護者との距離間を保ちながらでは、ありますが、声掛け(たわいもない会話を交え)は、忘れずに心掛けています。それを糸口として、色々な情報をキャッチして繋げるようしています。

子どもの様子、家庭の困難さの内容や原因に応じた情報提供をおこない、関係機関に繋げる。

朝や夕方、タイミングを見ての家庭訪問

登校の呼びかけ。家庭訪問。相談者の紹介。

市の福祉に相談

日頃から保護者からの話や相談がしやすい関係性を作っておく

相談など保護者から希望があれば対応できるが、希望がなければ、担任の定例の個別懇談や家庭訪問で行う。
経済面では、就学支援制度。

保護者の育児不安解消の為の相談事業・就学援助の案内

保護者の方との、話し合いからの相談

- 子どもの様子(喜んで生活や活動を進めている、良好な友だち関係 など)を通して登園が続くような声かけや働きかけ
- 家庭での様子(保護者、子どもともに)の聞き取り

話しやすい関係づくり

担任や支援加配による見守り、家庭訪問、コミセンと協力しての居場所づくり、生活力育成等

SCやSSWを活用した教育相談。家庭教育支援員や訪問教育相談員を活用した家庭訪問。別室での学習支援。発達支援課、子ども家庭相談室、特別支援学校などへの学校としての相談。

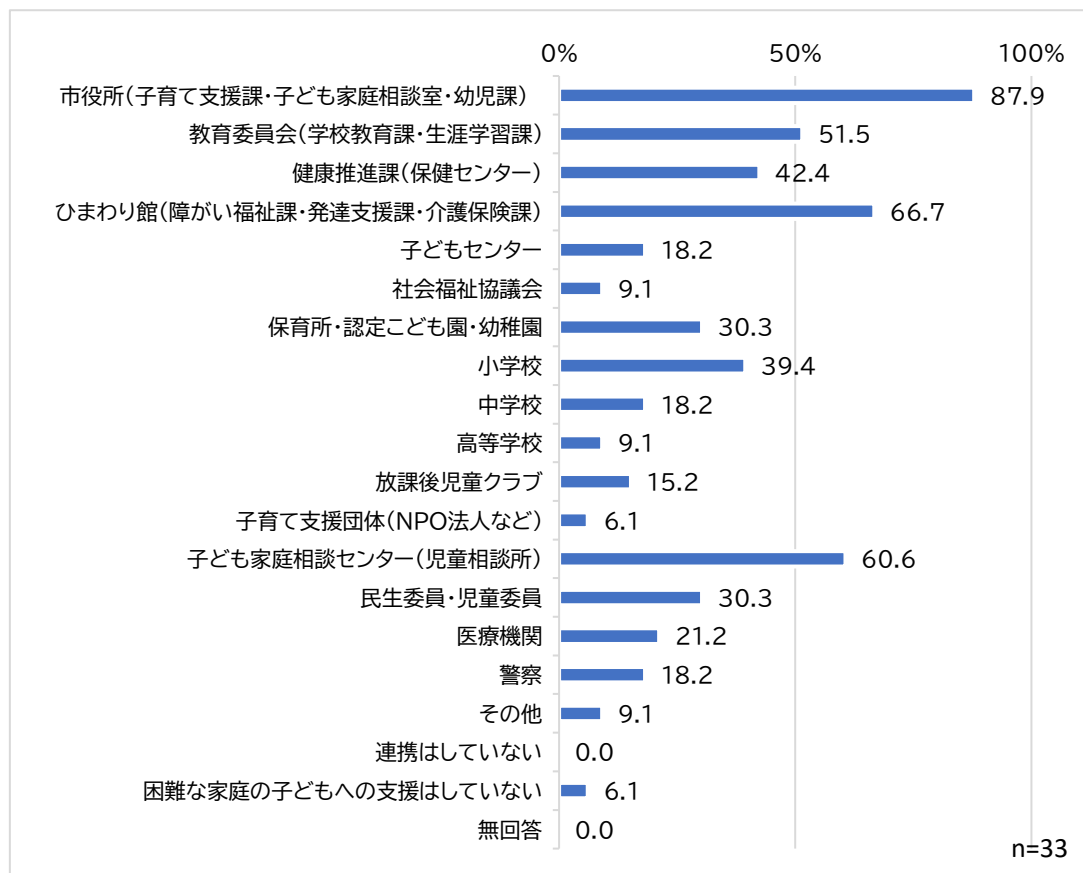
保護者から相談があれば対応する。

日頃より話しやすい雰囲気をつくり関係づくりしている。欠席が続くときは電話をしたり、家庭訪問をしたりしている。

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問3 現在、困難な家庭の子どもや保護者への支援を行ううえで、連携している機関や団体などがありますか。(〇はいくつでも)

「市役所(子育て支援課・子ども家庭相談室・幼児課)」が87.9%と最も多くなっています。



【連携している機関や団体その他】

- ・子ども家庭相談室
- ・コミュニティセンター
- ・特別支援学校

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問4 困難な家庭の子どもや保護者への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。(自由回答)

困難であると感じていること
一度了解を得ても、次回会う時には内容が変わっている。
数の増加
保護者、家庭を正しく理解すること。家庭内が見えにくい。
相手からの情報発信がない場合の支援
価値観の違いから、積み上がらない
園では、家庭を支援する専門の役割を担う職員がいないので担任・園長・副園長が事あるごとに対応している。担当職員がいると他機関との連携・訪宅などの支援がスムーズに進むのではないと思われる。
・家庭訪問をさせてもらえない家庭があること ・保護者の経済的自立への支援がうまく進まないこと ・生活環境の安定への支援が進まないこと
保護者については、信頼関係を築ける人材が必要。
プライバシーのこと
子どもの支援にあたって保護者にはたらきかけていくが、支援を積極的に望まれないと進めていきづらい。
保護者の方の考え方や受け止めが様々であるため、関わり(情報提供や相談)をすることも難しいケースがある。
子育て能力が厳しいので、園でできていることを家庭でも取り組むことができないので、積み上がらない。子どもさんが育てにくいケースが多いので、子どもの成長が感じられず、子育てをよけいに敬遠してしまう。悪循環がたちきれない。
保護者の感情にむらがあり、生活リズムが整わないことから、登園時間が遅くなったり、園から、出欠確認の連絡をしないと応答がない場合もある。
保護者の認識(無関心)や、保護者の精神的な不安定。家庭内(家族)の介護や看病などの困難さ。
地域性からか、なかなか困難な家庭の状況が見えにくい現状があり、把握しにくい。
こども・保護者との信頼関係がしっかりできていないと話にならないので必要な支援ができない。
○登園が続かない為、連携が図りづらい。電話がつながりにくい。
信頼関係の中で、どのような支援をしていくか、どこまで支援をするか、緊急性があるか、支援の方法など状況にあわせて慎重に行う必要がある。園内で共有しながら進めていくようにしている。支援が途切れないように寄り添う支援を常に考えていくことが大切であるが、難しさも感じている。
連絡の取りづらさ(居留守も含めて)。
課題が多岐にわたっていたり、かなり深刻なケースもあったりする。支援の内容が生存確認的なことや、現状を維持するにとどまってしまう、変わらない状態に行き詰ってしまう。こういった時に困難さを感じる。
学校としてできること、ケースに関われる期日には限界がある点。関係機関の役割を正しく知って、連携をとることが必要だと感じている。関係機関を招いてのケース会議の重要性を感じる。
家庭により困難な状況は異なり、支援の方法も異なるため。金銭の問題を学校からは言い出しにくい。保護者からサインがあったら、支援の話を始めやすい。そもそも支援を受けることを断られたり、手続きをすることをめんどうがられたりすることがある。
家庭のことや自分の悩み等を話してくださる方は対応できるが、話されなかったり、隠そうとされている方については対応が難しいと感じる。経済的な支援の案内は分かりやすいところに掲示することなどはできるが声をかけることは難しい。

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問5 困難な家庭の子どもや保護者に対し、どのような支援がもっと必要だと思いますか。勤務されている学校園で実際に取り組まれている支援いかにかわらずお答えください。(自由回答)

必要な支援
連絡がつかなくても、根気強く連絡を取る。
話し相手だと思います。とりあえず、心を許して 伝えられる人の存在
現状、多くの関係機関が関わり、適切な情報共有と対応を行っていると感じられるケースがほとんどである。
関係機関との連携
経済面だけでなく、車がないので送迎に苦勞されていたり、天候の悪い日は欠席となったりして欠席が多い。また、下の子が熱を出すなどした場合も送迎が困難になる。送迎などの支援があればと思う。地域の中にあるそのような支援は紹介したがあまり関わりもないのか利用しづらいようである。
地域をあげて、困難な家庭への訪問や協力を増やしていく。
訪問の際には、その家庭に食材提供などがなされると、訪問がスムーズに行くと思われるので、実施していただきたい。
学校においては、学力をつけるために補助ができる人材。
平等で、なるべくお金がかからないように気をつける
子どもや保護者と話す。困っていること、不安に思っていること等を聞き取り、情報提供する。困難な家庭ほど連絡がとれないことは多いが、粘り強くはたらきかけていく。
一人一人の家庭にあった支援はどこで受けられるのか、行政機関等と連携をこちらから行いいてもらうように伝える。
多方面との連携が必要だと思う。
学校では、主に子どもの支援を行っているが、家庭に関してできることには限界がある。
園生活が困らないような物的支援
こども・保護者が必要だと感じていることに対しての支援。
対象園児の心と体の健康状態を日々細やかに見取り関わること。まずは園児と信頼関係を築くこと。
保護者の思いや家庭状況に応じた支援の在り方や手立てを見つける。
様々な要因を考え、関係機関との連携を細やかにとること。
園だけの支援では難しいケースには、関係機関と連携をしながら多方面からの呼びかけや支援が必要である。(子どもの安全や生活の維持、保護者の就労、生活の経済支援、地域の支えなど、それぞれの役割にあわせたアプローチが必要なケースもあるため、連携を行う必要がある。)
フードバンクの活用
就労支援
夜間の見守り(夜間、児童だけで過ごしていると思われることがある)
父子家庭で、経済的に支援を受けられた方がいいと思われる家庭でも、なかなか申請に踏み切ってもらえない家庭があった。市の福祉ともつなぎにくかったことがある。その方の様々な思いを大切にしながら、少し近いところで気軽に相談できる人がいることが大切だと感じた。
ライフラインだけは何とか絶たれないような支援。
保護者がいない(一時的にでも)子どもたちの入所施設が、満員状態だと聞いた。定員を増やして、緊急時に必ず対応できるような施設の充実。
それぞれの困りごとに対して、どのような相談機関があるのか適時にアナウンスすることが必要だと思います。困りごとを抱えている人ほど、そのような情報をつかむことが難しいように思います。各機関が横の連携をとり、相談者がどこへ最初に行かれても正しくつながれるとよいと思います。また、学校等の身近な支援者も各種相談機関を正しく把握して適切にアナウンスできるようにしておきたいと思います。
保護者の状況にもよるが、物資等の提供。
支援を受けたい時に声を伝えに行く、相談に行く窓口の一本化。①手続きはその窓口で全て終わること。②提出する書類が少ないこと。③様々な機関の支援が連動して行われること。
様々な困難さの家庭があるので、例えば経済的になら市にはこんな支援制度がある、精神的にならこんな支援制度があるなどの研修があればそれをもとに学校園が支援を紹介していけるのではと考えます。相談機関や支援機関を職員が把握して適切な相談につなげ連携していくことが大切だと考えます。

3. 子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査 ①貧困対策に関する調査

問6 近江八幡市に対する子どもの貧困対策に関するご要望などがあればご記入ください。

ご要望
みんなで見守り、話し、共にいることを伝えていきたいと思います。
誰もが情報をキャッチできるように発信して下さい。
家庭や保護者が安定してこそ、学習へ向かえる環境になります。一人でも多くの児童・生徒への支援が進みますよう、ご支援いただきたいです。 よろしくお願いします。
子どもの居場所づくりの充実。子どもだけが家にいる状況を改善するため、地域に子どもの活動の場(習い事含む)を充実させる取組。
働く人に優しいまち(制度)が充実すれば親が働きながら子育てすることで親の教育力が上がり、結果的に子どもの貧困対策になるのではないかと思います。
貧困対策以外にも、外国籍の子どもが増えてきています。言葉や文化の違いから園生活に馴染めず、乱暴な姿を見せたり、落ち着いた生活が送れない子どもがいます。通訳等の対応を行政の方で手厚く配置していただきたい。
貧困や虐待の家庭に関して、市から情報収集ための電話をくださりありがとうございます。家庭への介入や働きかけも一緒に進められるとありがたいです。 また、近隣からの通報に対して八幡署はすぐ対応していただき、学校との情報共有も密にさせていただき大変ありがたいです。 給食費や振込手数料など、保護者の負担が更に軽減していくと、ありがたいです。
貧困の連鎖が代々続くことがないよう、奨学金制度や就労支援。
進学や就労など、自分で人生を切り拓いていく中で、子どもが自分の夢や希望をもてる生活が送れる環境をつくっていくことが大切。「どうでもいい」「てきとうにできていればいい」「どうせ」などと投げやりな気持ちを抱かなくていいような社会にしていきたいと思う。努力やがんばりが何かしら形になって実感でき、次またやってみよう、もう少しがんばってみようと前向きになれる温かく守られる家庭や地域づくりが少しでも前進すればと思う。草の根活動的に地域の方で手を差し伸べてくださっている方もおられます。
どんな貧困対策があるのか(施策的なこと)勉強不足で知らないことも多いので、学習できる機会があるとうれしい。保育所としては子どもが保育所に来た時に、できる限りの支援をしていきたいと考えている。
授業日数に応じた「給食日数」をしっかりと確保すること。

IV 資料編(グラフデータ・調査票見本)

IV 資料編(グラフデータ)

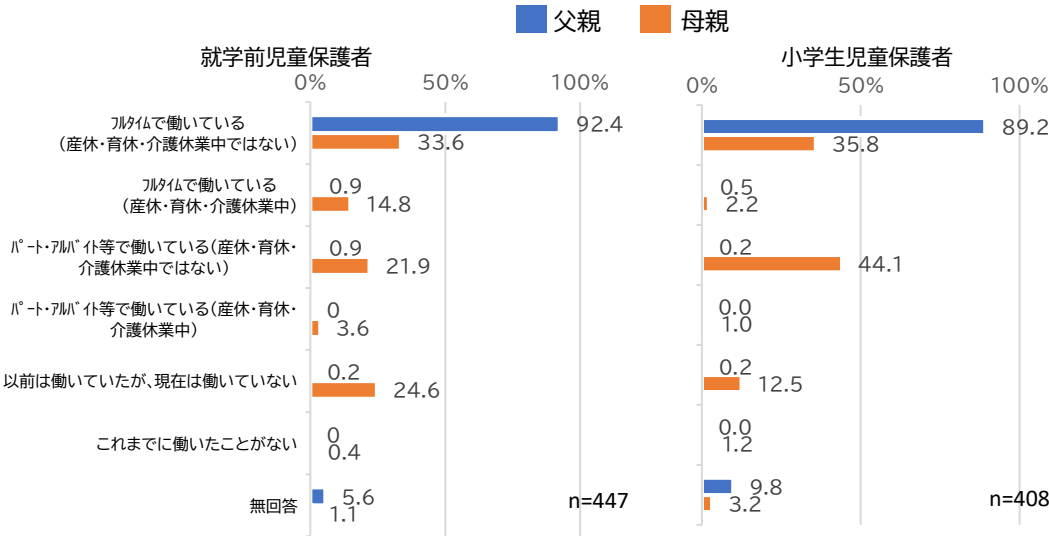
1. ニーズ調査のまとめと課題

●保護者を対象とした調査

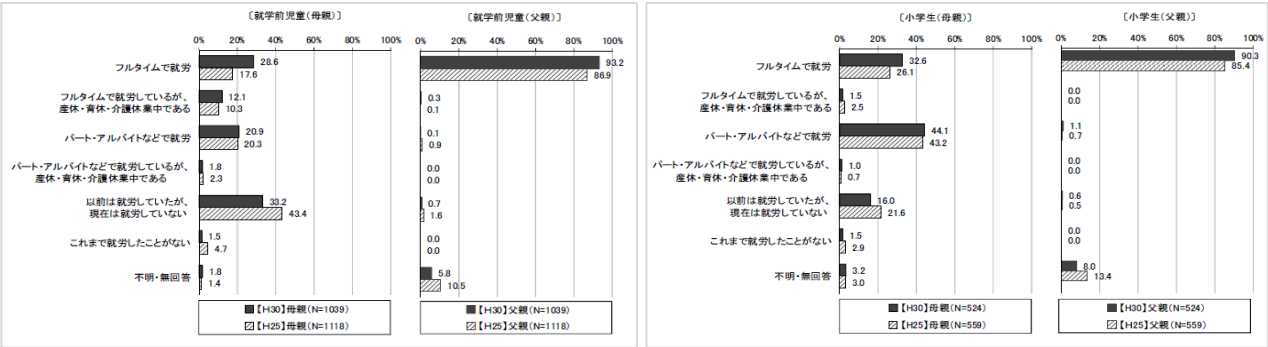
(2)保護者の就労状況について

問3 現在の働いている状況をお答えください。

<東近江市との比較>



※当市調査結果を加工

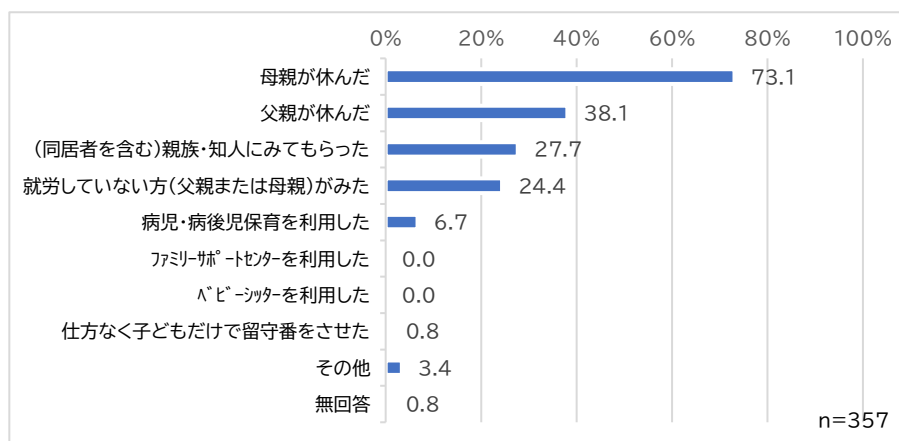


平成31年3月『東近江市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査』より

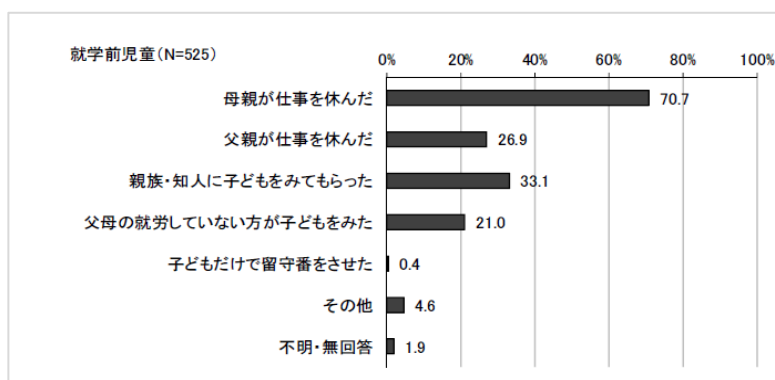
(4)お子さんの病気等の時の対応について

問13 この1年間(本日～1年前の間)に、お子さんが病気やケガで幼稚園・保育所(園)や小学校へ行けなかったことはありますか。

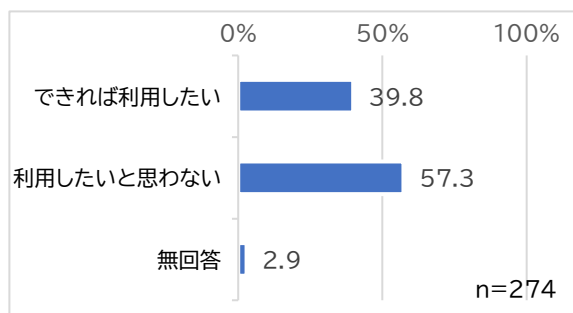
<東近江市との比較>



※当市就学前児童調査結果を一部加工



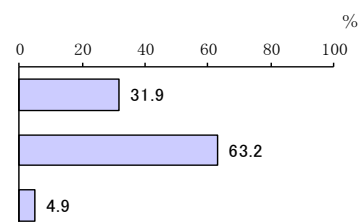
平成31年3月『東近江市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査』より



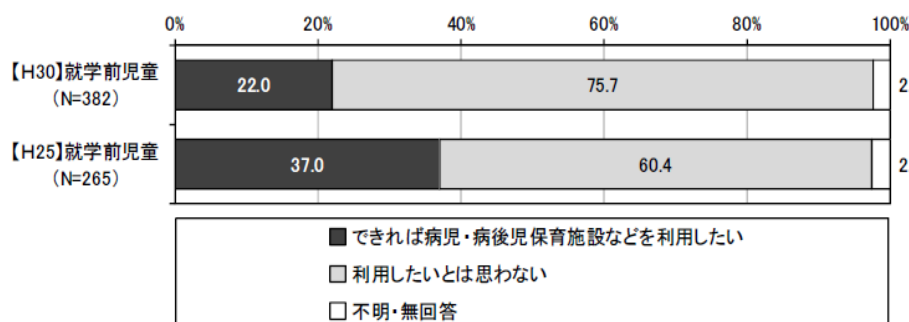
※当市就学前児童調査結果

回答者数 = 872

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい
利用したいとは思わない
無回答



※当市就学前児童 前回調査結果



平成31年3月『東近江市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査』より

2. 生活実態調査のまとめと課題

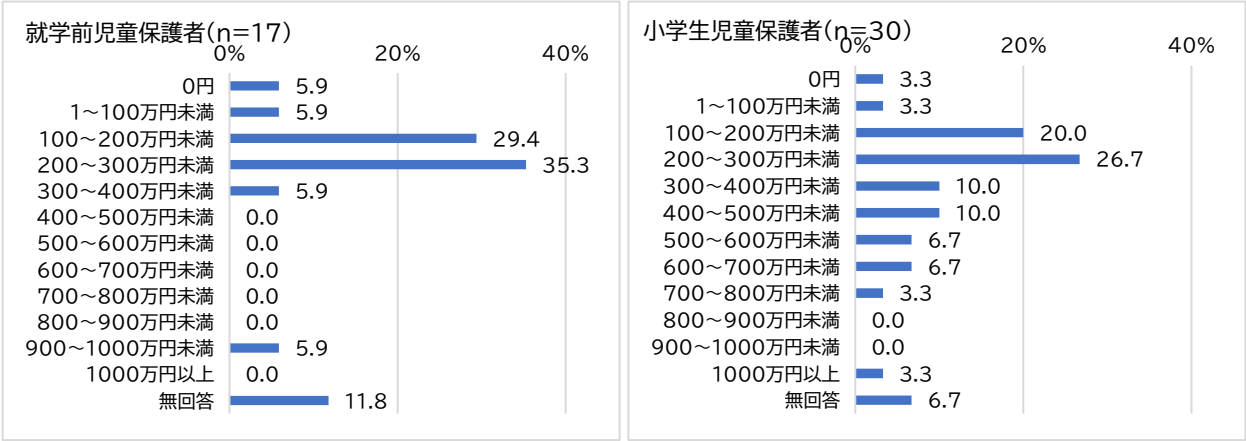
●保護者を対象とした調査

【結果】

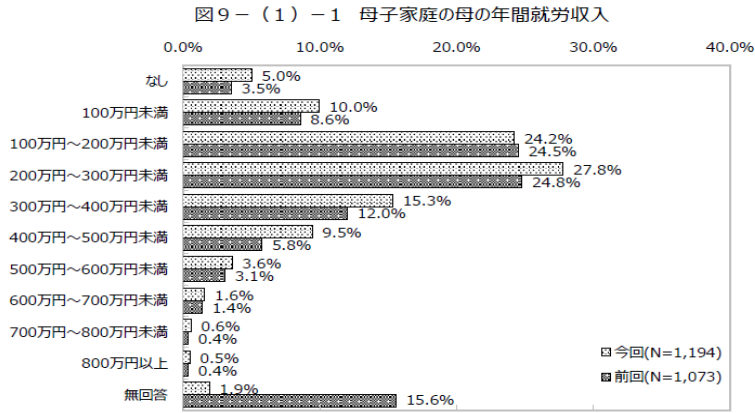
(1)暮らしの状況について

問2 暮らしを一緒にしている方、全員の収入を合わせた「世帯全体の収入（年間のボーナス含む手取り額）」は、どのくらいですか。

<県の調査との比較>



※当市調査結果を加工



令和6年1月『滋賀県ひとり親家庭等生活実態調査』より

3. 貧困対策に関する調査のまとめと課題

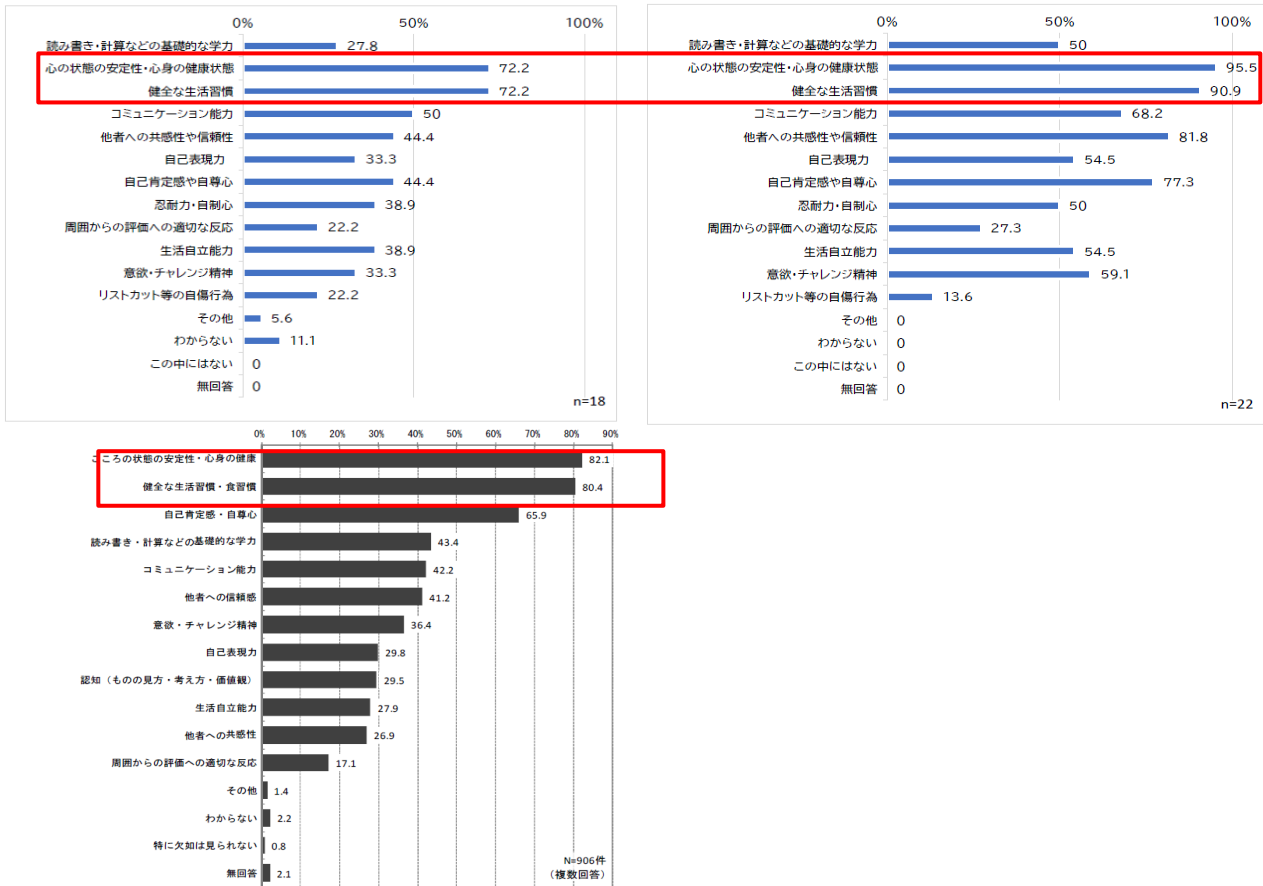
●子ども・子育て支援に携わる団体、学校園を対象とした調査
【結果】

(1)所属団体、学校園について

問5-3 これまでの経験のなかで、困難な家庭環境が子どもにどのような悪影響を与えると感じましたか。

<県・国の調査との比較>

(左上図:団体一今回調査、右上図:学校園一今回調査、下図:「支援者に対するアンケート調査」)



(4)支援活動の課題と今後の取り組みについて

問5 困難な家庭の子どもや保護者に対し、どのような支援がもっと必要だと思いますか。勤務されている学校園で実際に取り組まれている支援いかにかわらずお答えください。

<県の調査との比較>

